

山 梨 県 北 杜 市

堰口遺跡

県営耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業
白州地区堰口工区その2に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第2分冊

2020

山梨県中北農務事務所
北杜市教育委員会

山 梨 県 北 杜 市

せきぐち

堰口遺跡

県営耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業
白州地区堰口工区その2に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

第2分冊

2020

山梨県中北農務事務所
北杜市教育委員会

目 次

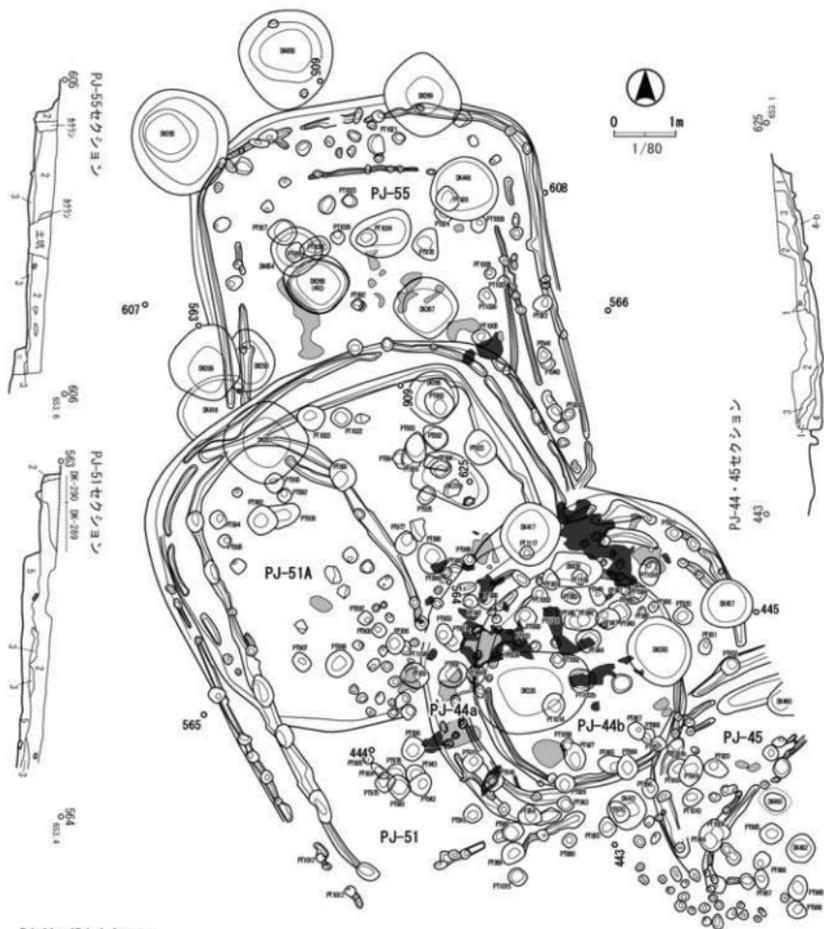
第3章 縄文時代の遺構と遺物

第1節 住居と遺物

PJ044号・PJ045号・PJ051号・PJ055号住居全体図	1
PJ044号・PJ045住居	2～23
PJ051号住居	24～51
PJ055号住居	52～72
PJ047号住居	73～99
PJ049号住居	100～114
PJ052号住居	115～119
PJ056号住居	120～131
PJ060号住居	132～137
PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居	138～163
PJ058号・PJ059号住居	164～170
PJ063号住居	171～178
PJ065号・PJ066号住居	179～195
PJ069号住居	196～199
PJ070号・PJ072号・PJ078号住居	200～218
PJ071号・PJ073号・PJ074号住居全体図	219
PJ071号・PJ073号・PJ074号住居	220～250
PJ075号・PJ079号・PJ088号住居	251～277
PJ076号・PJ082号・PJ083号住居	278～298
PJ077号・PJ095号住居	299～310
PJ080号・PJ081号・PJ087号・PJ093号・PJ101号住居・PJ103号住居	311～333
PJ093号・PJ101号住居	334～339
PJ084号住居	340～357
PJ085号住居	358～364
PJ086号住居	365～382



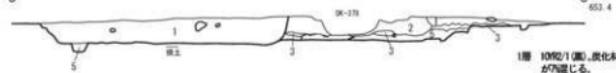
調査区全体図 (1/700)



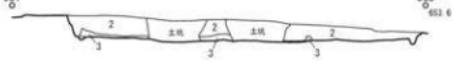
PJ-44・45セクション
444



PJ-51セクション
565



PJ-55セクション
607



- 1層 10%の1(面)炭化材および炭化材が土壌化した層、焼土5%の赤層が不混じる。
- 2層 10%の2(赤層)に炭化材、焼土が混じる。
- 3層 10%の3(赤層)に炭化材が混じる。
- 4層 PJ-44号住居埋土、10%の1(赤層)に10%の赤層焼土が混じる。
- 4+層 4層よりやや明るい。
- 5層 PJ-51号住居、PJ-45号住居埋土

PJ044号・PJ045号・PJ051号・PJ055号住居全体図

PJ044号住居

位置：D-7グリッドに位置する。PJ45号住居、PJ51号住居、PJ55号住居を切る。DK328号、DK350号、DK413号、DK417号土坑に切られ、DK438号、DK457号土坑を切る。

規模：同一地点で繰り返し建替え、反復利用している。最大のプランはおよそ5.5mの円形で、堅穴の深さは30cm、PJ044a号住居と呼ぶ。

最も小さいプランは3.5mの円形で、堅穴の深さは40cmである。最も小さく深いプランをPJ044b号住居とする。

PJ044a号住居は埋土下層で焼土と炭化材が出土し、焼土住居と考えられる。炭化材の分布は堅穴の最大プランに合致することから、本住居は最も新しい遺構と判断した。

埋土：PJ044b号住居埋土上に炭化材層（1層）が薄く堆積し、その上位に黒褐色土層がレンズ状に堆積する。PJ044b号住居の埋土（7層）は地山由来の黄褐色土粒子が多く混じる灰褐色で、PJ044a号住居埋土との差異は明瞭であった。

床面：黄褐色砂質の地山を平らに掘り込み、床面としている。踏みかたまって硬化した箇所は検出されなかった。住居中央の地床炉付近がややくぼんでいた。

炉：住居中央に浅いくぼみを伴う地床炉を検出した。

周溝：同心円状に最低5本の周溝を検出した。

柱穴：PJ044a号住居とした最も新しく、最もプランが広がった段階の柱穴は、PT903、975、976、962、951、919、932、1016、1117号ピットと思われる。2本の柱穴が並ぶ箇所があり、柱の更新も想定される。PT919号ピットは隣接するPT918号ピットに切られるため、この段階の住居を切る遺構が想定されるが、明確に確認することができなかった。

一段階先行する住居の柱穴は、PT998、900、902、917、918b、867、930、964、951号ピットを想定した。さらに一段階先行する住居の柱穴は、PT949、999、869、926、865号ピットの5ヶ所を想定した。さらにDK350号土坑に切られた1基を想定できると思われる。

最も古く、小さなプランのPJ044b号住居の柱穴は、PT945、946、933、934、927、1098、866、957の4ヶ所を想定した。これらはいずれもピット2基ずつが並ぶため、建物位置、規模を大きく変更することなく建替えられた可能性がある。

以上のほかにも柱穴にふさわしい大きさのピットが多数検出されているが、柱穴の組み合わせを想定できなかった。

出土遺物：土器と石器が埋土から多量に出土した。

44号住居と44b号住居で出土した土器の総量は63,713gで、型式ごとの内訳は諸磯式27,873g、諸磯a式1,290g、諸磯b式15,348g、北白川下層Ⅱc式142g、中越式3,667g、神ノ木式3,077g、有尾式6,097g、関山式122g、堂之上2式27g、型式が特定できない破片6,002gである。

出土した石器は、石鏃78点、削器6点、石匙13点、石錐9点、両極石器4点、打製石斧4点、磨石類8点、ハンマー1点、磨製石斧2点、礫器1点、円礫2点、黒曜石石核4点、黒曜石原石12点、剥離のある剥片13点である。このほか黒曜石を主とする剥片1,236点3,167gが出土した。未成品を含む石鏃が多く、磨製石斧破片は、PJ106号住居、SY13号集石土坑の出土破片と接合した。

時期：出土土器から44号住居は諸磯b式期に廃絶し、44b号住居は諸磯a式期に廃絶したと推測される。

PJ044号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	径 (cm)	深さ (cm)	覆土色	備考 (遺物など)
PT-864	44住 南東壁	28	46	10R2/3(繪輪)に10YR4/6(褐)が3%、炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PT-865に切られる。有尾式、諸磯式
PT-865	44住内	30	35	10R2/3(繪輪)に10YR4/6(褐)が3%、炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PT-866が新しい。
PT-866	44住内	15	26	10R2/3(繪輪)に10YR4/6(褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PT-867に切られる。神ノ木式、諸磯式

PJ044号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	径 (cm)	深さ (cm)	覆土色	備考(遺物など)
PT-667	44住内	25	60	10R3/3(縹緋)に10R4/6(褐)が2%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴
PT-669	44住 西壁	30	53	10R2/3(黒褐)に10R4/6(褐)が5%混入。炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	縹緋a式
PT-670	44住 南0.5m	29	36	10R9/2(黒褐)に10R4/6(褐)が1%混じる。	DK-413に切られる。
PT-900	44A住内	36	63	10R9/4(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。柱底を横出。有尾式、縹緋b式
PT-902	44A住内	40	27	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	大きな40-40 縹緋b式土器まとも
PT-903	44A住 北西壁	40	53	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。中越式、神ノ木式、有尾式、縹緋式
PT-916	44A住内	22	25	10R9/3(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	縹緋式
PT-917	44A住内	25	50	10R2/3(黒褐)に10R3/4(縹緋)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴
PT-918	45住内	28*18	24	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PF319を切る。中越式、縹緋式
PT-918b	45住内	32*22	40	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴
PT-919	45住内	41*30	68	10R4/3(にぶい黄褐)に10R4/4(褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。PF318に切られる。
PT-921	44A住内	22	20	10R4/4(褐)。シルト粒土。ややしまる。	神ノ木式、縹緋式
PT-926	44住 南壁	28	38	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	縹緋b式
PT-927	44住内	34	42	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴。有尾式
PT-930	44A住内	30	65	10R2/3(黒褐)に10R4/6(褐)が1%混入。炭化物が0.5%混じる。シルト粒土。しまる。	中越式、有尾式、縹緋式
PT-931	44A住内	20	37	10R2/3(黒褐)に10R2/2(黒褐)が10%、10R4/6(褐)が7%混入。炭化物が1%混じる。シルト粒土。しまる。	
PT-932	45住 北壁	31	65	10R2/3(黒褐)に10R3/3(縹緋)が5%混入。炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。PJ45号住居南溝を切る
PT-933	44住内	13*20	34	10R9/4(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	縹緋式
PT-934	44住内	27*20	42	10R9/4(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	土器小片
PT-944	44住内	35	25	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が2%混じる。シルト粒土。ややしまる。	神ノ木式、縹緋式
PT-945	44住内	23	35	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	縹緋b式
PT-946	44住内	23	35	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が2%混じる。シルト粒土。ややしまる。	縹緋式
PT-947	44住内	28*20	46	10R2/3(黒褐)に10R3/3(縹緋)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	縹緋b式
PT-948	44住内	20*32	15	10R9/3(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	
PT-949	44住内	33	56	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	神ノ木式、縹緋b式
PT-950	44住内	37*20	18	10R9/3(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	中越式、神ノ木式、縹緋b式
PT-951	44住 北壁	33*23	62	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴、縹緋b式
PT-954	44A住内	31	58	10R2/3(黒褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。中越式、縹緋b式
PT-955	44住 南0.5m	27*25	36	10R9/2(黒褐)に10R4/6(褐)が2%混入。炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-957	44住内	25	35	10R9/2(黒褐)に10R4/6(褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式、縹緋式
PT-962	51住内	30*32	58	10R9/4(縹緋)に10R4/4(褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴、縹緋b式
PT-964	44住 北東壁	23	32	10R9/3(縹緋)に炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	神ノ木式、縹緋b式
PT-965	44住内	10	19		木鼻式、縹緋式
PT-966	44住内	13	30		縹緋b式
PT-967	44住内	16	22		中越式
PT-968	44住内	13	26		
PT-975	51住内	28	72	10R9/4(縹緋)に10R4/4(褐)が10%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PF976を切る。PJ44a号住居柱穴。木鼻式、中越式、有尾式、縹緋式
PT-976	51住内	30	40	10R9/4(縹緋)に10R4/4(褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴、縹緋式
PT-990	44住 南1.0m	18	25	10R9/4(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	
PT-996	44住北端	11	27		神ノ木式
PT-997	44A住内	22	33	10R9/3(縹緋)。シルト粒土。ややしまる。	
PT-998	44A住内	23	30	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ44a号住居柱穴。土器小片
PT-999	44住内	29	40	10R9/3(縹緋)に炭化物が3%、10R4/6(褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-1000	44住内	26	18		有尾式、縹緋式
PT-1001	44住内	20*15	17		
PT-1002	44住内	21*18	20	10R9/3(縹緋)に10R3/4(縹緋)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	有尾式
PT-1002b	44住内	35	55		PJ44号住居地床内2に切られる。古い居住期の柱穴
PT-1016	44A住内	43*28	52		PJ44a号住居柱穴。中越式、神ノ木式
PT-1098	44住内	21	36		土器小片
PT-1106	44住 北壁	26*20	7		
PT-1117	51住 南東壁	18	70		DK417土坑1に切られる。土坑底面を横出。PJ44a号住居の柱穴と思われる。

PJ045 号住居

位置：D-7 グリッドに位置し、PJ44 号住居に切られ、PJ51 号住居を切る。

規模：遺構の 3/4 が農地の造成で削平され、形状、規模は不明である。ほぼ同一地点で 2 軒がずれて重複している。かつそれぞれの住居が建替えを経ている。

埋土：暗褐色土が堆積していた。堅穴が浅く残るのみで土層断面図は省略した。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込み、床面としている。硬く踏みしまった箇所は確認されなかった。

炉：床面が被熱、焼土化した箇所が 4 ヶ所検出された。これらが地床炉と思われる。

周溝：2 軒がずれて重複する状況を示す周溝を検出した。北側に位置し PJ44 号住居と重なり合うプランを示す周溝は同心円状に複数本が検出された。南側の周溝も最低 2 本が確認された。

柱穴：遺構の一部のみを検出したため柱穴の組み合わせは不明である。PT920、984、1004、986、987、988、989 号ピットは柱穴にふさわしい大きさと深さで、2 基ずつ並んでいるため同時期に機能していた可能性がある。北側の周溝とあわせるると他の諸磯式期の住居に似た形状、柱穴配置となる。

南側のやや隅丸方形の周溝に伴う柱穴は調査区外に存在すると思われ、不明である。

出土遺物：遺構の保存状態が不良で遺物も少ない。

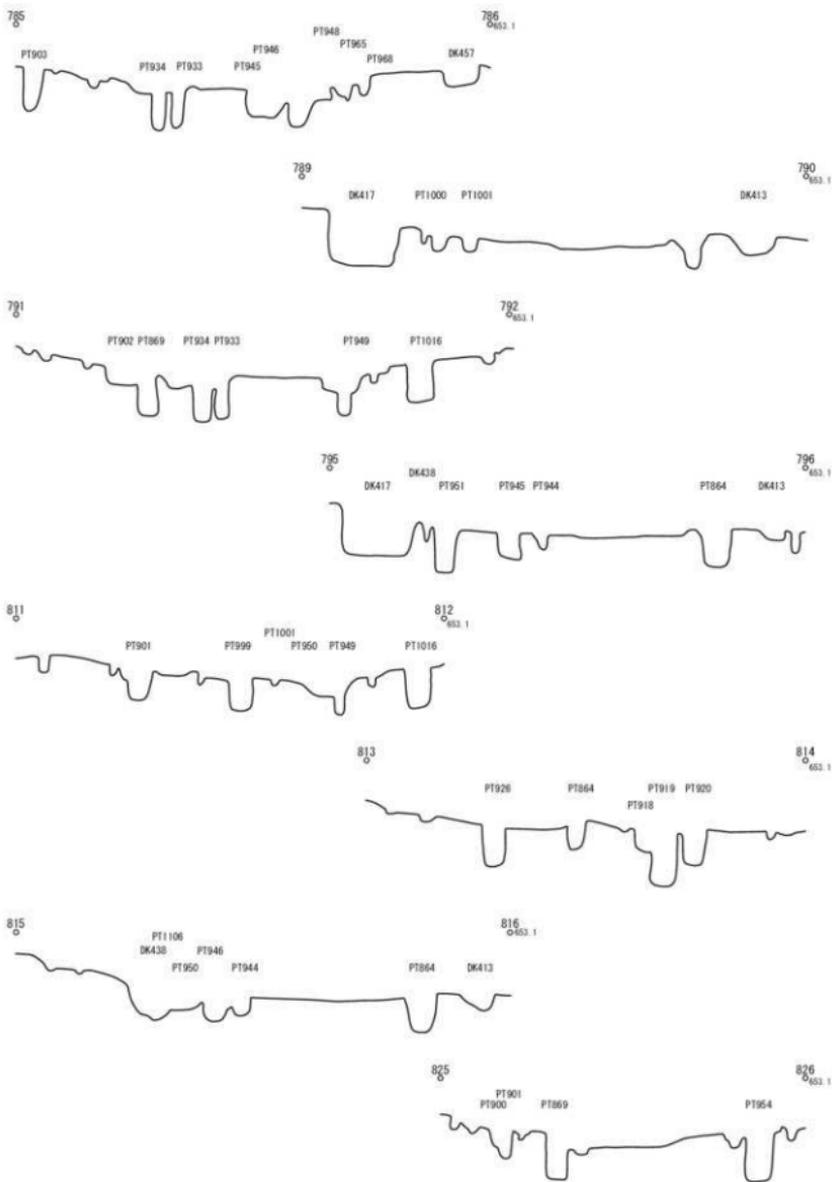
出土土器は 1,840 個で、型式ごとの内訳は神之木台式 27 個、木島式 11 個、中越式 213 個、神ノ木式 233 個、関山式 29 個、有尾式 275 個、諸磯式 776 個、諸磯 a 式 25 個、諸磯 b 式 20 個、諸磯 c 式 17 個、北白川下層 II c 式 16 個、型式が特定できない破片 180 個である。

出土した石器は、石鏃 1 点、両極石器 2 点、磨石類 1 点、黒曜石石核 1 点、黒曜石原石 2 点、黒曜石を主とする剥片 51 点 155 個である。

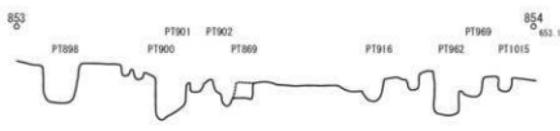
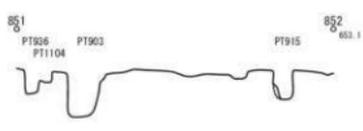
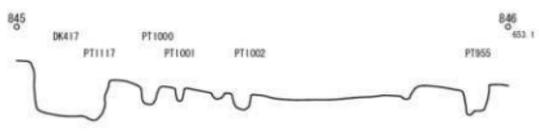
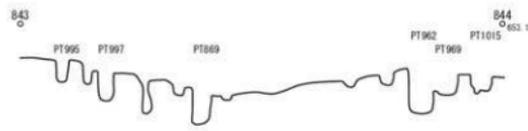
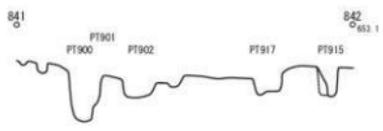
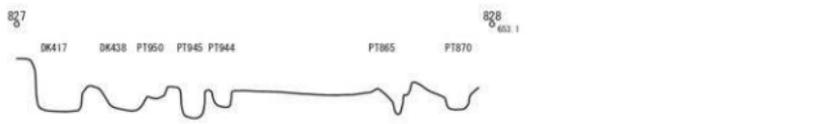
時期：遺構の保存状態が悪く、遺構の時期を明示する遺物も出土していない。44 号住居との重複関係、遺構の形状から円形プランの住居は諸磯式期と推測される。南側の隅丸長方形と思われるプランは神ノ木式もしくは有尾式期の可能性が考えられる。

PJ045 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	埋土色	備考(遺物など)
PT-920	45 住内	35×(22)	45	10R2/4(暗褐)に 10R4/4(褐)が 5% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	神ノ木式
PT-956	45 住 西壁	23×23	23	10R2/2(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	有尾式、諸磯式
PT-964	45 住内	32×	53	10R2/4(暗褐)に 10R4/6(褐)が 2% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式、北白川下層 II b 式?、神ノ木式、諸磯式
PT-965	45 住内	30×(33)	45	10R2/3(暗褐)に 10R2/4(暗褐)が 2% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	関山式、諸磯 a 式
PT-966	45 住内	24×	30	10R4/4(褐)に炭化物が 1% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式
PT-987	45 住内	23×(18)	35	10R4/4(褐)。シルト粒土。ややしまる。	諸磯式
PT-988	45 住内	30×(30)	38	10R2/3(暗褐)に 10R2/4(暗褐)が 1% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-989	45 住内	23×(23)	47	10R2/3(暗褐)に 10R2/4(暗褐)が 1% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-1004	45 住内	55×(41)	55		
PT-1010	45 住内	23×20	20		
DK-460	45 住内	50(57)×	46	10R2/3(暗褐)に 10R4/4(褐)が 5% 混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ45 号住居を切る。諸磯 a 式?土器小片
DK-461	45 住内	37×(48)	40	10R2/3(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	ミニチュア土器、中越式、神ノ木式、諸磯式
DK-462	45 住内	42×	35	10R2/3(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	中越式、諸磯式

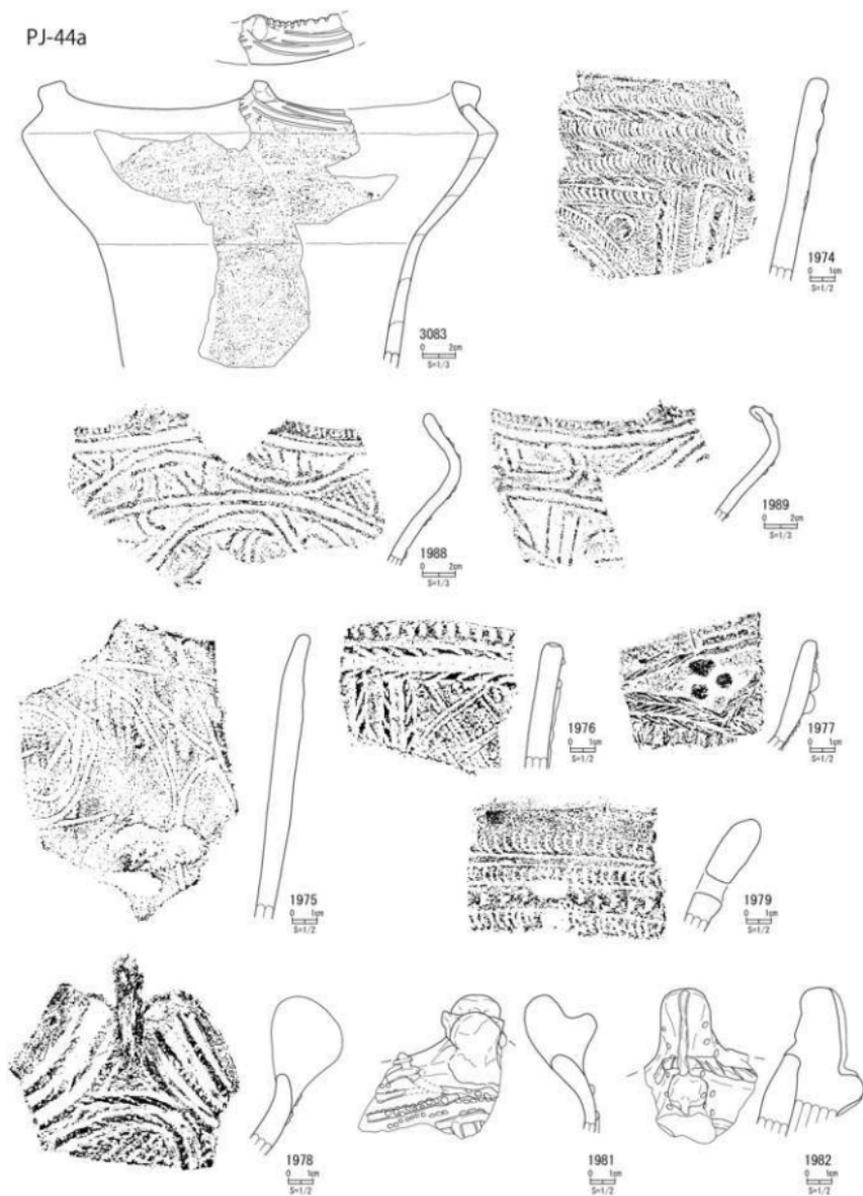


PJ044号・PJ045住居

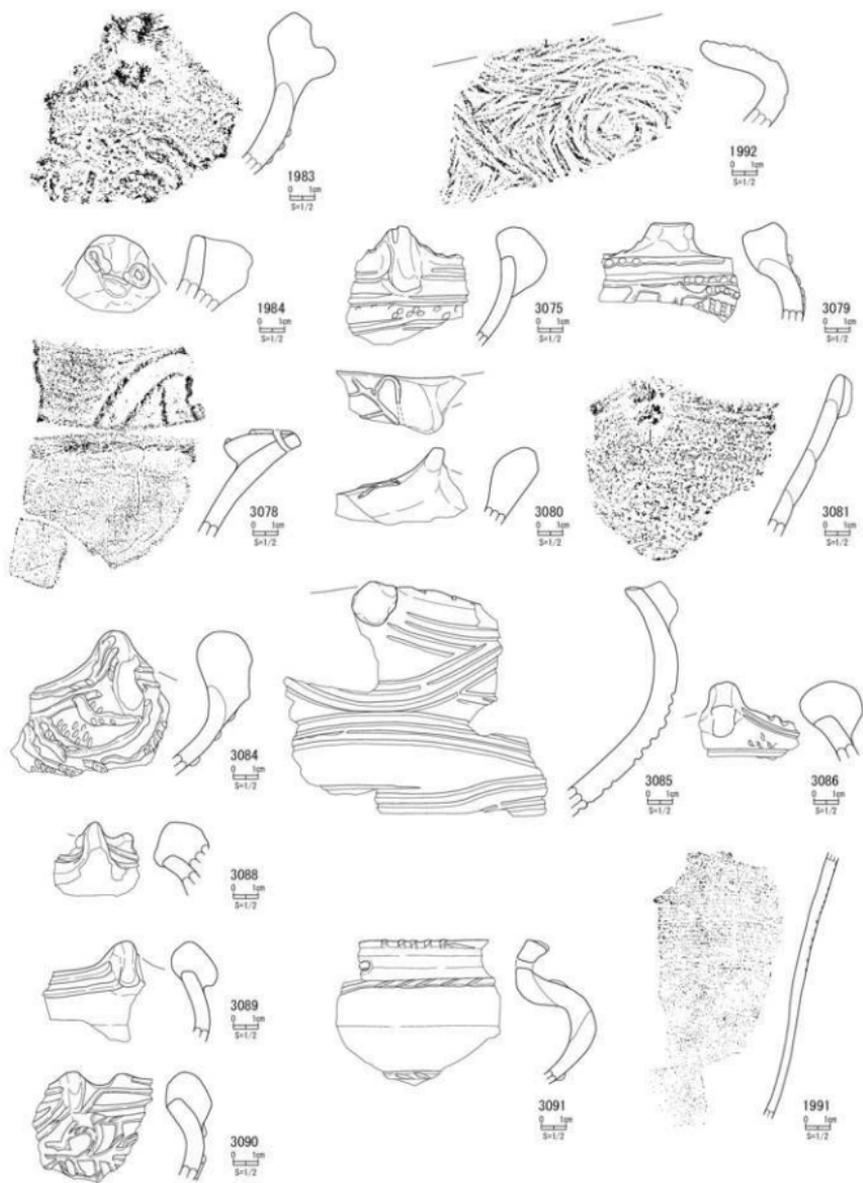


PJ044号・PJ045住居

PJ-44a



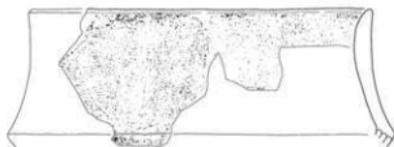
PJ044 号住居出土遺物



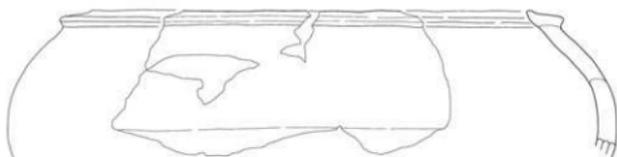
PJ044 号住居出土遺物



1985
0 1cm
5:1/2



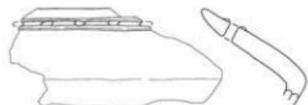
3093
0 2cm
5:1/2



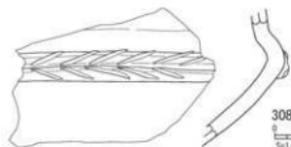
3094
0 2cm
5:1/2



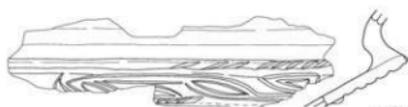
3087
0 1cm
5:1/2



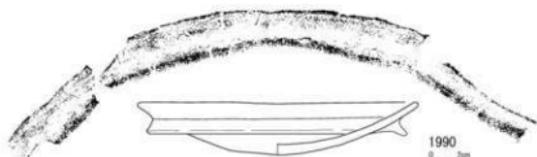
3092
0 1cm
5:1/2



3082
0 1cm
5:1/2



3076
0 1cm
5:1/2



1990
0 2cm
5:1/2



3077
0 1cm
5:1/2

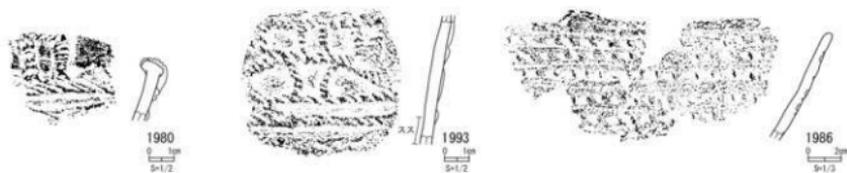


3095
0 2cm
5:1/2

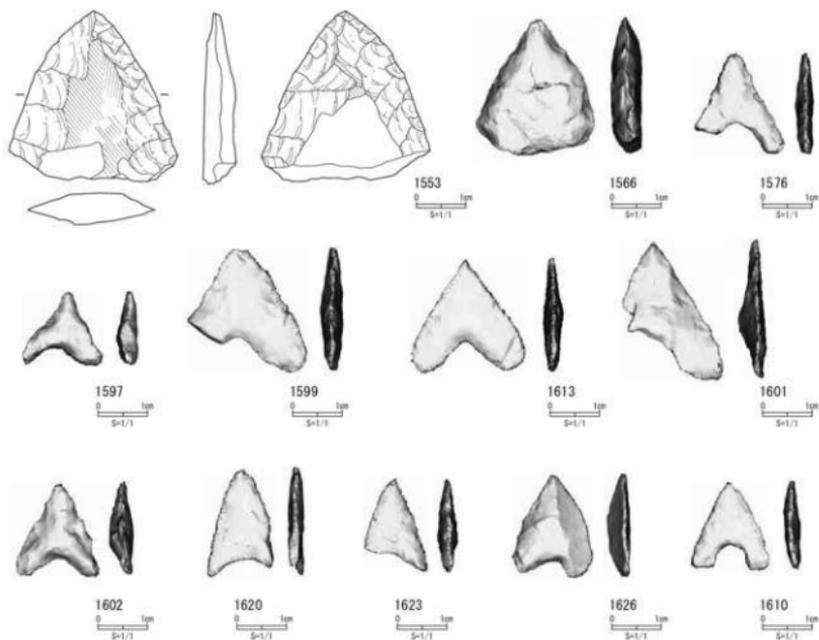
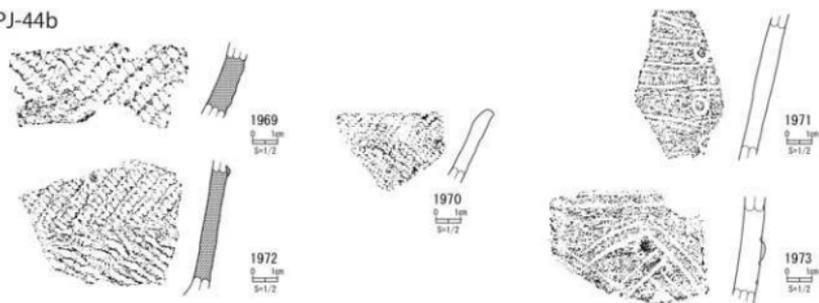


1987
0 1cm
5:1/2

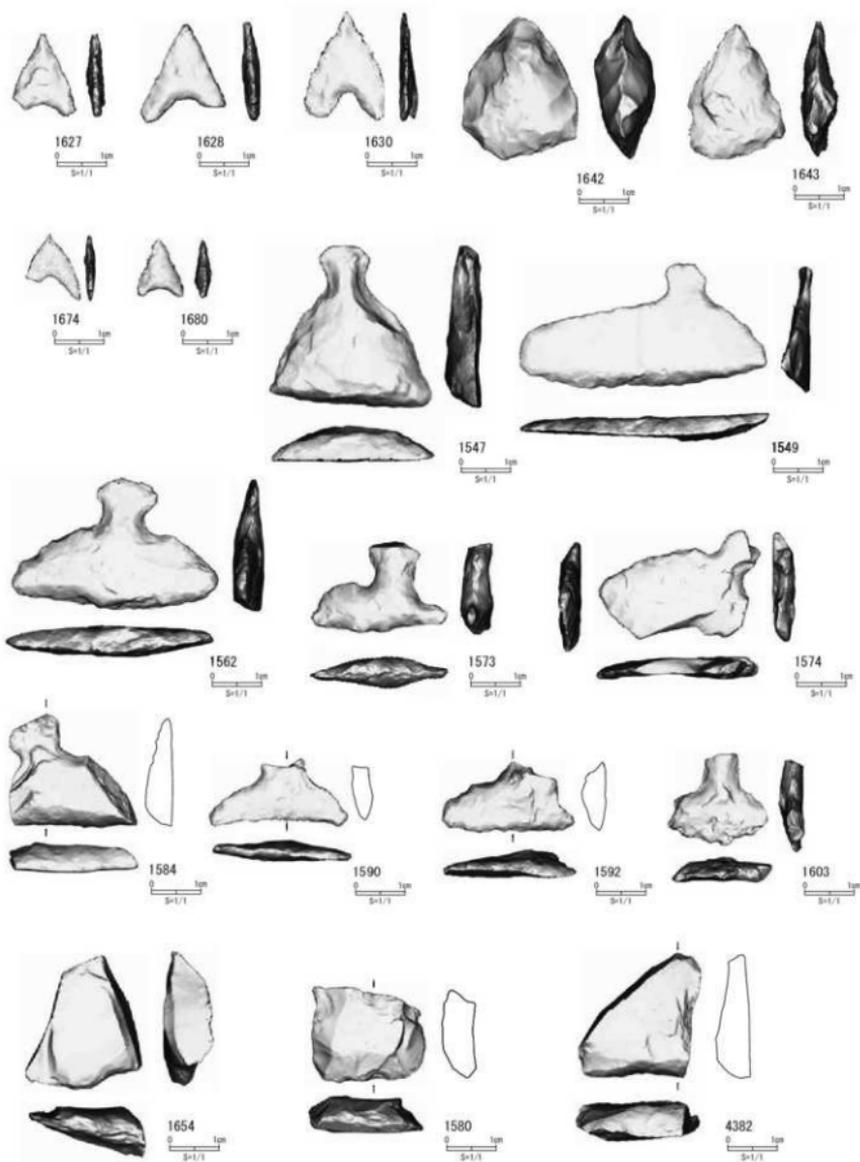
PJ044 号住居出土遺物



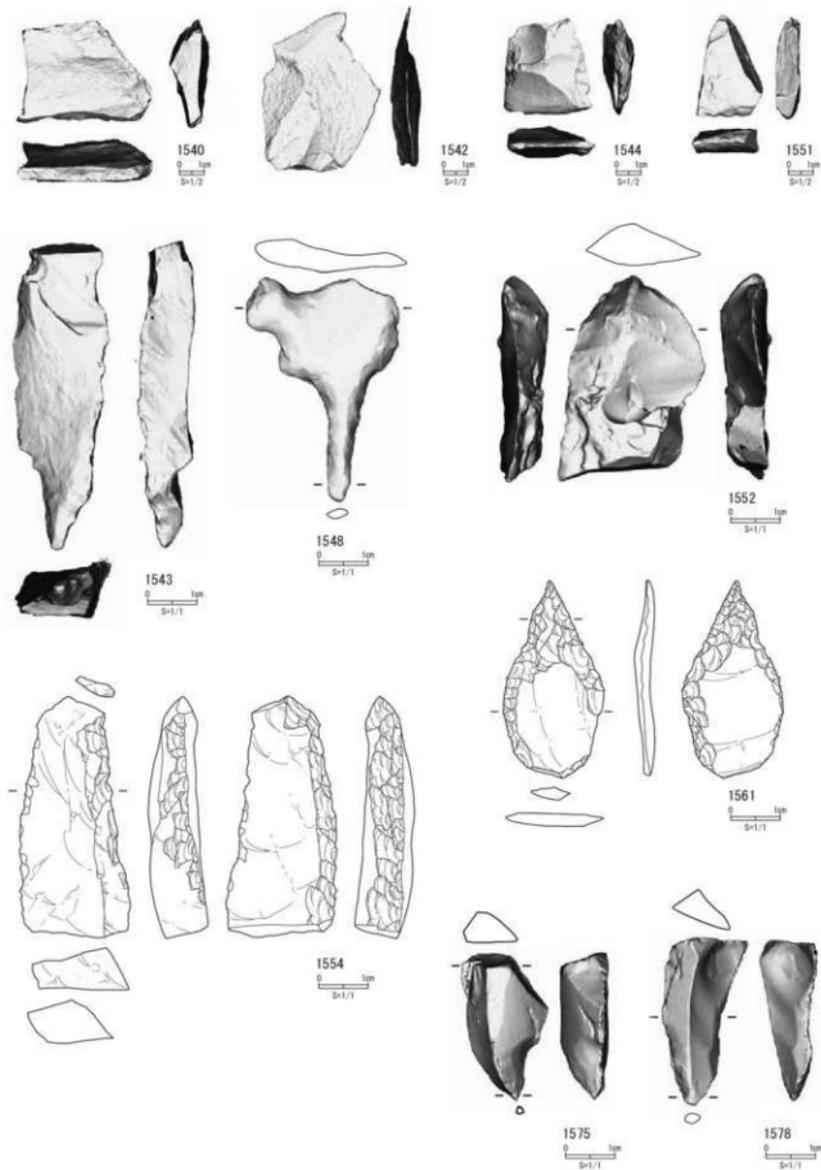
PJ-44b



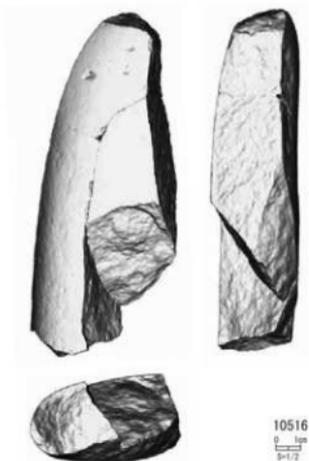
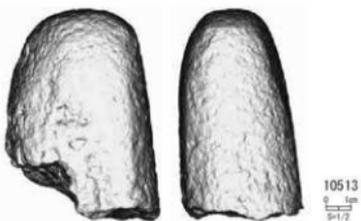
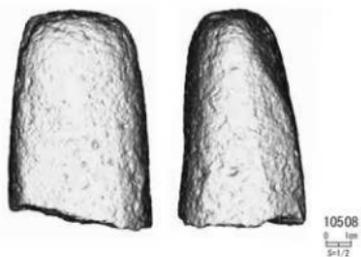
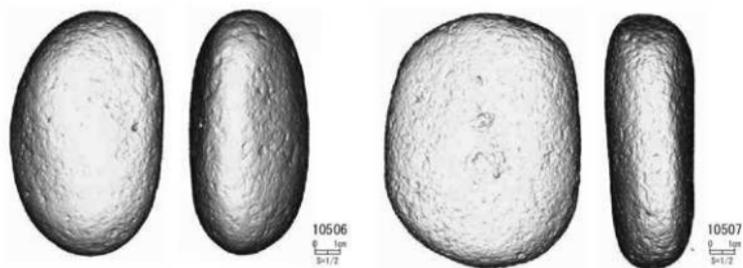
PJ044 号住居出土遺物



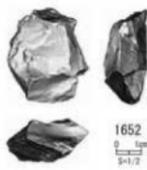
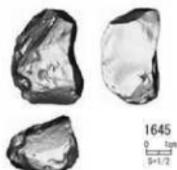
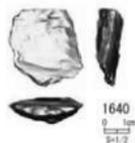
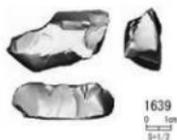
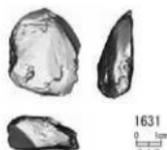
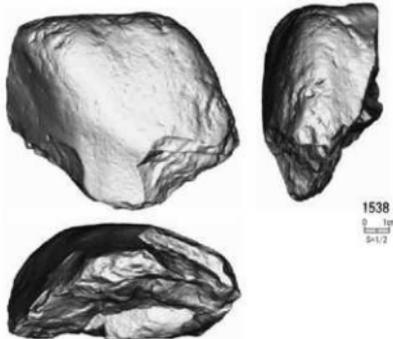
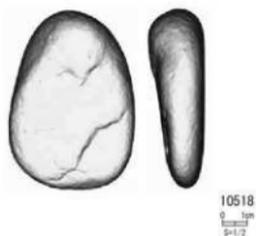
PJ044 号住居出土遺物



PJ044 号住居出土遺物



PJ044 号住居出土遺物



PJ044 号住居出土遺物

PJ044 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口徑 の 縦	器高 の 横	底径 の 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
1909	PJ-44B	胴部				27.0	破片	10YR7/4 10YR6/4	P.赤色号住居埋土一括、羽状縁文。内面は棒状工具による円的なナミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。隠埋式か
1970	PJ-44B	口縁部				9.0	破片	5YR6/6 5YR5/4	P.赤色号住居埋土一括、斜縁文。口縁部と縁の施文方向と下位の施文方向が異なり、羽状縁文風に見える。内面は指頭圧痕が残るナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式か
1971	PJ-44B	胴部				22.0	破片	7.5YR4/2 5YR5/4	P.赤色号住居埋土一括、円文と肋骨文が強く施文される。内面縁位のナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式
1972	PJ-44B	胴部				33.0	破片	10YR7/4 5YR6/6	P.赤色号住居埋土一括、反鋸歯状を用いた羽状縁文。貼付文。内面は棒状工具によるナミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。隠埋式
1973	PJ-44B	胴部				35.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	P.赤色号住居埋土一括、半截竹管による歯状文。貼付文。内面はナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式
1974	PJ-44 10	口縁部				90.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	竹管押し文。円文、鋸み痕等。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式古式段
1975	PJ-44 12	口縁部 ～胴部				94.0	破片	7.5YR7/6 5YR4/3	棒状工具による窪み木の環状文の施文。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式
1976	PJ-44	口縁部				62.0	破片	5YR3/2 5YR3/2	口唇部斜め、斜め浮線文。竹管絞。縄文地文。内面横方向のナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1977	PJ-44	口縁部				30.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	波状口縁。結節浮線文。断面突起が凸凹した起付文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1978	PJ-44	口縁部				74.0	破片	5YR3/2 5YR3/2	波状口縁。断面が退化。単純化した突起。結節浮線文。縄文地文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1979	PJ-44	口縁部				66.0	破片	5YR4/6 5YR5/6	幅広い竹管押し文。押し文のあいだに凸凹のある低い帯等。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式古式段
1980	PJ-44	口縁部				10.0	破片	10YR5/2 10YR3/3	内外に広い口唇部。口唇上と口縁部に結節浮線文。内面ナミガキ調整。灰色の色調で繊維を含まない胎土。器壁は5mm。北白川下層Ⅱc式
1981	PJ-44	口縁部				41.0	破片	5YR4/8 5YR4/4	断面突起のある波状口縁。口唇部に斜め。断面は目鼻が分かる形状。隣接貼付痕に連続ごと縄文地文。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1982	PJ-44	口縁部				54.0	破片	7.5YR7/8 7.5YR6/6	断面突起のある波状口縁。断面突起は塊状に变形。突起部に斜突文。鋸み痕等。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。器壁は放射した灰色。発色。隠埋式中段階
1983	PJ-44	口縁部				66.0	破片	5YR3/2 7.5YR6/6	断面突起のある波状口縁。断面は上下に分けた突起状に变形。縄文地文と浮線文。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1984	PJ-44	口縁部				22.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	断面突起のある波状口縁。細粒土で目を表現。突起先端には口と思われる沈線。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1985	PJ-44	胴部				92.0	破片	7.5YR3/2 7.5YR3/2	有孔透鉢群片。木の葉文。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1986	PJ-44	口縁部				109.0	破片	5YR6/6 5YR4/3	小突起のある口縁部。口縁部は磨歯状工具の遺点文と竹管押し文が交互に施文される。口唇部に磨歯状工具の押し。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。器壁はやや薄手。有底式
1987	PJ-44	胴部				89.0	破片	5YR4/4 5YR4/4	半截竹管の小斜めな波状文を施文後、全面に縄文地文。内面はへら状工具によるヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式
1988	PJ-44	口縁部 ～胴部				189.0	破片	5YR3/2 5YR3/3	1989と同一体。断面突起が退化した小突起のある波状口縁。結節浮線文と縄文地文。口唇部斜め。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1989	PJ-44	口縁部 ～胴部				159.0	破片	5YR3/2 5YR4/4	1988と同一体
1990	PJ-44	口縁部 ～底部				214.0	破片	2.5YR4/6 5YR5/6	浅鉢底部破片。薄い壁がつく。新石器上層には研磨磨形され、皿状器として再生している。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1991	PJ-44 11	胴部				225.0	破片	5YR5/4 5YR4/4	半截竹管の平行沈線を重ねる。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1992	PJ-44	口縁部				69.0	破片	5YR4/6 5YR4/4	波状口縁。結節浮線文。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。隠埋式中段階
1993	PJ-44	胴部				28.0	破片	7.5YR3/2 7.5YR5/3	結節浮線文。内面指頭圧痕が残るナミガキ調整。器壁5mm。灰色の色調で胎土に繊維を含まない。北白川下層Ⅱc式
3075	PJ-44	口縁部				25.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	退化した断面突起と平行沈線。口唇部斜め。隠埋式中段階
3076	PJ-44	胴部				90.0	破片	7.5YR4/1 7.5YR4/1	透鉢。腹部から外反する口縁部。張り出し部に斜め縁線。下位に木の葉文。隠埋式古式段階から中段階
3077	PJ-44	口縁部				30.0	破片	7.5YR5/4 5YR5/6	鉢形土器。平場で縁をもつ口縁上端。内外面ナミガキ調整。隠埋式か
3078	PJ-44	口縁部				73.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	透鉢。平場で幅広い口縁部に垂文文と縦方向の穿孔。隠埋式中段階
3079	PJ-44	口縁部				48.0	破片	7.5YR5/4 5YR5/6	退化した断面突起とソーメン状の結節浮線文。隠埋式中段階
3090	PJ-44	口縁部				24.0	破片	7.5YR5/4 5YR5/6	退化した断面突起。平坦な口縁上端にソーメン状浮線文様。隠埋式中段階
3081	PJ-44	口縁部				47.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	退化した断面突起。波状口縁。内面は窪みヨコナデ。隠埋式中段階
3092	PJ-44	胴部				100.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	透鉢。腹部から外反する口縁部。張り出し部に2条の斜め帯等。隠埋式古式段階

PJ044 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm 破	器高 cm 積	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
3063	PJ-44	口縁部				321.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	波状口縁の頂部に退化した敷面突起。平行沈線と縄文。口唇部剥み。隣接b式中段階
3064	PJ-44	口縁部				51.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	波状口縁の頂部に退化した敷面突起。ソーマン状隆帯文。隣接b式中段階
3065	PJ-44	口縁部				106.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	波状口縁。敷面突起が退化したボタン状胎付文。平行沈線。口唇部剥み。隣接b式中段階
3066	PJ-44	口縁部				19.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	やや退化した敷面突起。平行沈線。口唇部剥み。隣接b式中段階
3067	PJ-44	口縁部				84.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	浅鉢。直立する口唇部に剥み。口縁上縁に孔列。隣接b式中段階
3068	PJ-44	口縁部				13.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	退化した敷面突起。ソーマン状隆帯文。隣接b式中段階
3069	PJ-44	口縁部				19.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	退化した敷面突起。平行する隆帯文。隣接b式中段階
3090	PJ-44	口縁部				28.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	退化した敷面突起。口唇部と口縁部にソーマン状隆帯文。隣接b式中段階
3091	PJ-44	口縁部				75.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	浅鉢。幅広い口唇部にソーマン状隆帯。腹部に穿孔あり。胴部張り出しの上下に剥み隆帯が混る。隣接b式中段階
3092	PJ-44	口縁部				45.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	浅鉢。口縁部に2本の隆帯に挟まれた孔列。隣接b式中段階
3093	PJ-44	口縁部				156.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	直立する口縁。張り出した肩部からすぼまる頸部。
3094	PJ-44	口縁部				435.0	破片	5YR5/4 5YR5/4	浅鉢か。幅広く既製の口唇部。
3095	PJ-44	胴部				31.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	丸く窪った胴部。やや深めに施文した爪形押引き文。隣接a式か

PJ044 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1538	PJ-44	硬器	ホルンフェルス	1/1	85.0	96.0	50.0	393.30	茎戸残を打割。鋭利な縁辺に刃部調整
1539	PJ-44	打製石斧	粘板岩	3/4	43.0	90.0	16.0	66.40	打製石斧が磨礫面で折損。横刃形石器のようにみえる
1540	PJ-44	削器	頁岩	3/4	44.0	65.0	13.0	33.90	頁岩剥片の縁辺に急傾斜の刃部。刃部にはわずかに磨痕あり
1541	PJ-44	打製石斧	粘板岩	1/1	52.0	49.0	9.0	29.70	器体は薄い。風化して使用痕不明
1542	PJ-44	削器	砂岩	1/1	65.0	47.0	12.0	28.40	細粒砂岩剥片の薄い縁辺に刃部。刃部には微小剥削とわずかな磨痕
1543	PJ-44	石錐	頁岩	3/4	65.0	21.0	11.0	14.70	断面三角形の剥片の打点割に石粒様の挟り調整。反対側面は細く縁状に調整。磨丸端に磨痕。石粒製作上で石錐に製作変更か
1544	PJ-44	削器	泥岩	1/1	39.0	37.0	12.0	17.70	剥片の薄い縁辺部に刃こぼれと磨痕
1545	PJ-44	打製石斧	ホルンフェルス	-	-	44.0	14.0	33.10	基部が突った打製石斧の基部剥片
1546	PJ-44	打製石斧	頁岩	-	-	-	-	17.40	薄い刃部の縁辺部に調整跡と磨痕
1547	PJ-44	石匙	頁岩	1/1	32.0	32.0	7.0	6.60	平面正三角形の石匙。器面が風化して使用痕不明
1548	PJ-44	石錐	頁岩	1/1	46.0	31.0	5.0	6.00	石匙転用の石錐。鎌刃部に使用痕あり。破損した石匙を石錐につくり直したか
1549	PJ-44	石匙	頁岩	1/1	25.0	49.0	4.0	4.80	器面は風化して使用痕不明
1550	PJ-44	削器のある剥片	頁岩	1/1	-	-	-	6.70	剥片の縁辺に海獣状の調整跡。器面が風化して使用痕不明
1551	PJ-44	削器	頁岩	1/1	-	-	-	13.60	やや厚く端部を折り取った素材の薄い縁辺に刃部。刃部に磨痕あり
1552	PJ-44	削器	黒曜石	1/1	29.0	44.0	10.0	9.60	断面が狭る剥片素材の両側縁に刃部。一边は調整刃部。一边は素刃で、ともに刃こぼれ。灰色夾雑物が混じる透明黒曜石
1553	PJ-44	石錐	泥岩	3/4	34.4	(34.1)	7.0	(7.09)	局部磨製石錐。未成品？基部に挟り調整。表面に研磨面。磨製石斧の破片を素材としたか。
1554	PJ-44	削器	チャート	1/1	23.0	49.0	11.0	13.00	断面四角形の棒状剥片素材の二辺に急傾斜の刃部。重箱のある暗灰色チャート
1555	PJ-44	削器のある剥片	珪質頁岩	1/1	29.0	34.0	10.0	13.50	断面が狭る剥片の二辺に調整跡。やや突る端部を刃部にした石錐のプランクか。暗灰色の珪質頁岩
1556	PJ-44	削器のある剥片	黒曜石	1/1	-	-	-	1.80	剥片の一端に調整跡。石錐未成品か。透明な黒曜石
1557	PJ-44	石匙	黒曜石	1/2	21.0	-	7.0	3.60	刃部削折損。断面のある半透明黒曜石
1558	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	33.1	22.0	12.9	6.58	黒石が狭る素材を両面加工。素材の厚みが取れていない段階。灰色夾雑物が混じる半透明黒曜石
1559	PJ-44	削器のある剥片	黒曜石	1/1	-	-	-	3.40	ズリ面が狭る縦長剥片の一端に刃こぼれ。灰色夾雑物が混じる透明黒曜石
1560	PJ-44	削器のある剥片	黒曜石	1/1	-	-	-	3.50	断面が狭る剥片素材の薄い縁辺に微小な剥削。淡黒黒曜石

PJ044号住居 石器観察表

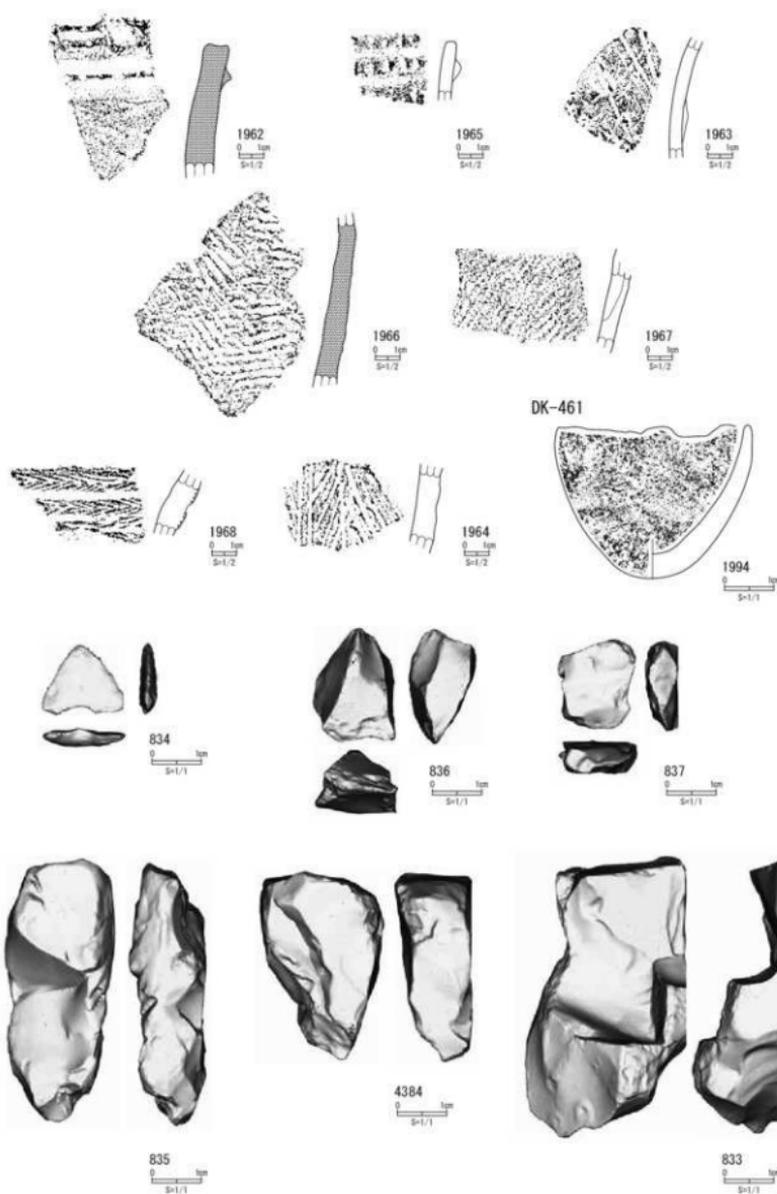
整理番号	注記	器種	石種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1561	PJ-44	石鏃	珪質頁岩	1/1	40.0	20.0	4.0	2.80	割片の打合創に鋒部を作出、薄い削を縁辺調整してつまみ部とする。鋒部先端に磨痕あり。青灰色珪質頁岩
1562	PJ-44	石匙	チャート	1/1	27.0	42.0	6.0	5.70	淡い緑灰色と赤色のチャート
1563	PJ-44 サンプル①	石鏃	黒曜石	1/1				0.80	小さな割片の二辺に調整割痕。石鏃未成品か、白錆のある漆黒黒曜石
1564	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4				1.10	ズリ面が残る薄い割片素材の二辺に調整割痕。石鏃未成品か。葛湯状半透明黒曜石
1565	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2				0.74	両面加工。片縁折痕。白錆の漆黒黒曜石
1566	PJ-44 サンプル②	石鏃	チャート	1/1	27.5	23.9	5.5	4.17	未成品。両面加工。三角の形状で基部調整は未了。黒錆のある灰色チャート
1567	PJ-44	割製のある割片	黒曜石					1.70	割片の一边に刃こぼれ。灰色夾層物が望む葛湯状半透明黒曜石
1568	PJ-44	割製のある割片	黒曜石	1/1				2.50	縁面が残る割片の一边に微小割痕。葛湯状半透明黒曜石
1569	PJ-44	割製のある割片	黒曜石					2.20	縁面が残る割片の一边に微小割痕。赤みがかった漆黒黒曜石
1570	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	19.6	19.7	4.9	1.54	両面加工。いくらか三角形になりつつある段階。灰色夾層物が望む透明黒曜石
1571	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	25.9	18.8	4.3	2.05	縁面が残る割片の縁辺を両面加工しはじめた段階。黒錆の透明黒曜石
1572	PJ-44	割製のある割片	黒曜石	1/1				2.40	打面に縁面が残る黒曜石の薄いつまみ部を削り、縁面を調整して透明黒曜石
1573	PJ-44	石匙	黒曜石	1/1	19.0	27.0	7.0	2.10	ミニチュア石匙か。器面がすりガラス状。被熱したか。葛湯状半透明黒曜石
1574	PJ-44	石匙	チャート	1/2	31.0	-	4.0	2.90	三角形の石匙。片側欠損。刃部は両面調整で薄く仕上げ。黒錆の青緑色チャート
1575	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	31.0	17.0	10.0	4.70	縁面が残る新面五角形の砕片の縁部に新面三角形の磨痕。鋒部に使用痕あり。黒曜入り半透明黒曜石
1576	PJ-44 サンプル②	石鏃	黒曜石	3/4	20.5	-	3.4	(0.60)	凹基。長脚。両面加工。片側欠損。赤曜入り半透明黒曜石
1577	PJ-44	石匙	チャート	-	-	-	8.0	4.00	黒基石匙のつまみ部。基部は欠損。種茶緑のある青灰色チャート
1578	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	33.0	17.0	7.0	2.90	縁面が残る新面三角形の割片素材。一边を調整割痕。鋒部に使用痕あり。やや透明な黒色黒曜石
1579	PJ-44	割製のある割片	黒曜石	1/1				4.30	削じれた不整形割片の薄いつまみ部を削り、縁面を調整して透明黒曜石
1580	PJ-44	両縁石鏃	黒曜石	1/1	20.0	23.0	8.0	4.00	縁部を折り返した厚手割片素材。葛湯状透明黒曜石
1581	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	27.0	19.0	8.0	2.60	厚みのある割片素材。つまみ部と鋒部をつくり出し。葛湯状半透明黒曜石
1582	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	20.2	19.2	5.0	1.92	未成品。凹基。両面加工。先端と基部欠損。透明黒曜石
1583	PJ-44	割製のある割片	黒曜石	1/1				2.30	縁面がある薄い割片の縁辺を調整割痕。石鏃ブランクか。赤褐色色入りの半透明黒曜石
1584	PJ-44	石匙	珪質頁岩	1/2	23.0	25.0	6.0	3.20	刃部両端欠損。刃部は急縁斜で傷痕状。縁のある青灰色珪質頁岩。磨入石材か
1585	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2	-	18.1	3.1	(0.62)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
1586	PJ-44	石鏃	珪質頁岩	1/2	-	-	3.6	(1.01)	未成品か。基部欠損。縁辺調整は粗い。白錆のある青灰色珪質頁岩
1587	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	23.4	-	3.1	(0.70)	凹基。長脚。絶身。両面加工。ていねいな割製の破片。片側欠損。黒曜入り半透明黒曜石
1588	PJ-44 サンプル②	石鏃	黒曜石	3/4	19.7	-	3.9	(0.84)	凹基。片面加工。縁辺のみ両面調整。片側欠損。縁辺調整が粗く未成品か。半透明黒曜石
1589	PJ-44	石匙	黒曜石	1/2	-	-	2.3	(0.46)	基部欠損。両面加工。ていねいな割製の破片。赤褐色色入りの半透明黒曜石
1590	PJ-44	石鏃	珪質頁岩	3/4	14.0	28.0	4.0	1.30	薄く両面調整仕上げの刃部は内湾。つまみ部上面は欠損か。青灰色チャート
1591	PJ-44	石鏃	チャート	1/1	23.8	16.7	4.0	1.53	縁辺調整。基部欠損。未成品。黒錆の青灰色チャート
1592	PJ-44	石匙	黒曜石	3/4	14.0	27.0	5.0	1.60	つまみ部欠損。刃部は片面調整。黒錆の透明黒曜石
1593	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	31.2	24.5	6.0	3.89	未成品。両面加工。三角形状になってきた段階のブランク。赤褐色色入りの半透明黒曜石
1594	PJ-44	石匙	黒曜石					1.10	ミニチュア石匙か。快り調整があるつまみ部の小破片。葛湯状半透明黒曜石
1595	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.1	(0.26)	小指の爪欠の小さな石鏃。先端部。基部欠損。両面加工。透明黒曜石
1596	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.7	(0.34)	小形。凹基。両面加工。先端。両側部欠損。縁面はすりガラス状。被熱か。縁のある半透明黒曜石
1597	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	16.0	16.0	4.0	0.59	小形。凹基。両面加工。素材の厚みが残る種茶緑なつくり。透明黒曜石
1598	PJ-44	石鏃	黒曜石	-	-	-	3.8	(0.41)	先端のみ破片。両面加工の破片。赤褐色色入りの黒曜石
1599	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	(24.3)	-	4.3	(1.56)	凹基。両面加工。片側欠損。赤褐色色入りの黒曜石
1600	PJ-44	石鏃	珪質頁岩	1/1	25.0	17.0	9.0	3.30	厚みのある素材。鋒部とつまみ部をつくり出し。鋒部先端欠損。使用痕あり。青灰色珪質頁岩
1601	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2	28.2	-	5.3	(1.37)	大形。凹基。両面加工。片側欠損。赤褐色色入りの黒曜石
1602	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	19.3	17.2	5.2	0.93	凹基。両面加工。素材の厚みが残るやや種茶緑なつくり。葛湯状半透明黒曜石

PJ-044 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1603	PJ-44 6	石匙	黒曜石	3/4	19.0	20.0	5.0	1.30	ズリ面が残る素材。刃部調整は粗雑。ミニチュア石匙か。灰色縞の黒曜石
1606	PJ-44	彫刻のある 剥片	黒曜石					0.70	剥片の一端に調整断面と刃こぼれ。透明黒曜石
1607	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	21.1	12.7	2.6	0.74	未成品。凹基、片面加工、縁辺のみ両面調整。片縁欠損。透明黒曜石
1608	PJ-44	石錐	黒曜石	1/2				0.82	未成品。基部削欠損。両面を粗く調整した段階。灰色縞のあるブルーブラック黒曜石
1610	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	18.1	16.3	2.7	0.46	凹基、両面加工、長脚。灰色縞のある漆黒黒曜石
1611	PJ-44 サ ンプル②	石錐	黒曜石	1/1	22.0	12.0	6.0	1.30	親指爪大のつまみ割に類似。基部はすりガラス状。被熱痕か、灰色侵入りの半透明黒曜石
1612	PJ-44	石錐	黒曜石	1/2	-	-	2.6	(0.53)	凹基、両面加工。片脚大きく欠損。漆黒黒曜石
1613	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	23.5	23.2	3.7	1.12	凹基、両面加工。ていねいな調整剥製の痕跡。赤褐色侵入り黒曜石
1614	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	16.8	-	2.4	(0.31)	凹基、両面加工。ていねいな調整剥製。透明黒曜石
1615	PJ-44 サ ンプル②	石錐	黒曜石	3/4	16.1	-	3.1	(0.35)	凹基、両面加工。片脚大きく欠損。基部はすりガラス状。被熱痕か、黒斑の半透明黒曜石
1616	PJ-44	石匙	下呂石	1/2	17.4	20.0	3.3	0.79	ミニチュア石匙。刃部片縁が欠け欠損。下呂石と思われる白粒子の散る灰色石材
1617	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	32.0	7.0	3.0	0.70	剥片素材。二辺を調整し細長い器種を作成。裏面状半透明黒曜石
1618	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	(19.2)	(13.9)	4.0	(0.84)	凹基、両面加工。両脚先欠損。黒侵入り半透明黒曜石
1619	PJ-44	石錐	黒曜石	1/2	18.5	-	5.1	(0.68)	凹基、両面加工。片脚先欠損。片縁大きく欠損。片面に縞面が残る。未成品か。黒侵入り半透明黒曜石
1620	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	22.2	13.2	2.8	0.56	凹基、両面加工。片脚縁欠損。漆黒黒曜石
1621	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	19.7	-	2.5	(0.47)	凹基、両面加工。片脚縁欠損。灰色縞のある透明黒曜石
1622	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	18.3	16.7	2.7	0.87	未成品。凹基、両面加工。先端欠損。粗い調整剥製。透明黒曜石
1623	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	18.8	-	3.8	(0.48)	凹基、両面加工。片脚欠損。裏面状灰色黒曜石
1624	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	24.8	-	4.4	(0.94)	凹基、長脚、両面加工。片脚欠損。赤褐色侵入り黒曜石
1625	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	17.6	-	4.4	(0.57)	凹基、両面加工。片脚欠損。素材の縞面が残るやや粗なつくり。灰色縞の半透明黒曜石
1626	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	21.2	16.2	4.3	1.04	凹基、片面加工。三角形の縁がある剥片素材。縁をそのまま残し裏面のみ調整剥製。白粒の漆黒黒曜石
1627	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	(17.0)	-	3.0	(0.41)	凹基、両面加工。片脚欠損。透明黒曜石
1628	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	(20.5)	-	3.3	(0.62)	凹基、長脚、両面加工。片脚先欠損。黒縞の半透明黒曜石
1629	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	21.2	14.4	2.6	0.65	未成品。凹基、両面加工。片脚欠損。黒縞の透明黒曜石
1630	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	23.4	18.1	3.1	0.86	凹基、両面加工。先端が細く尖る。赤褐色侵入り黒曜石
1631	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	38.1	29.3	14.2	17.00	ズリ。白粒のある半透明黒曜石
1632	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	43.0	24.3	11.8	12.50	ズリ。縞のある透明黒曜石
1633	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	34.0	33.0	21.0	23.20	ズリ。白色夾雑物が望む。縞のある半透明黒曜石
1634	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	35.0	23.0	15.0	21.90	ズリ。白粒のある漆黒黒曜石
1635	PJ-44	石核	黒曜石		34.0	24.1	11.0	8.80	片面にズリ面がのこる剥片。漆黒黒曜石
1636	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	43.0	32.0	15.0	18.00	ズリ。灰色の縞かな縞がある透明黒曜石
1637	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	33.0	23.0	12.0	14.00	ズリ。灰色の縞かな縞がある透明黒曜石
1638	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	62.5	25.5	23.3	35.10	風化してやや角が取れた割面状の標本。半透明黒曜石
1639	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	43.0	22.2	14.1	14.80	風化した割面状の標本。黒縞のある半透明黒曜石
1640	PJ-44	剥片	黒曜石	1/1	33.0	28.1	8.7	9.60	ズリ。灰色の縞かな縞がある半透明黒曜石
1641	PJ-44	剥片	黒曜石		42.5	16.0	16.8	9.40	片面にズリ面が残る剥片。灰色がかった縞模様漆黒黒曜石
1642	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	29.9	24.1	11.2	6.99	未成品。基部がやや出る三角形が仕上がった段階。素材の縞面が残る。両面加工。赤褐色侵入りの黒曜石
1643	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	29.7	20.8	7.7	3.55	未成品。両面加工。基部平坦。三角形が仕上がった段階。白粒のある漆黒黒曜石
1644	PJ-44	石錐	黒曜石	1/1	26.8	24.3	8.0	5.72	未成品。縞面が残る。先端方向が分かる程度の段階。赤褐色侵入り黒曜石
1645	PJ-44	石核	黒曜石	1/1	41.0	29.9	23.3	29.30	河川転石の五角縁。赤褐色侵入り黒曜石
1646	PJ-44	石核	黒曜石	1/1	33.0	23.7	21.7	21.80	河川転石の五角縁。白色夾雑物が望む透明黒曜石
1647	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	26.0	17.7	12.9	9.50	ズリ。一部に割面あり。漆黒黒曜石
1648	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	37.5	31.8	15.8	14.70	ズリ。白色夾雑物が望む透明黒曜石
1649	PJ-44	両峰石器	黒曜石	1/1	26.0	22.0	13.0	6.70	ズリ面が残る薄片状の両峰に調整剥製。白粒のある漆黒黒曜石
1650	PJ-44	原石	黒曜石	1/1	28.5	17.8	9.1	3.20	ズリ。白粒のある漆黒黒曜石
1651	PJ-44B	石錐	黒曜石	3/4	24.5	24.8	6.8	2.86	PJ-44B 号住居出土。未成品。打面が残る剥片の厚い側面を両面から集中的に調整剥製。薄い縁辺はつつかず。先端方向が分かる程度の成形。灰色夾雑物が望む半透明黒曜石
1652	PJ-44B	石核	黒曜石	1/1	39.0	29.9	15.8	17.00	ズリ。白粒のある漆黒黒曜石
1653	PJ-44	石錐	黒曜石	3/4	25.2	22.5	4.5	2.40	未成品。素材を両面加工。先端方向が分かる段階。裏面状透明黒曜石
1654	PJ-44	両峰石器	黒曜石	1/1	26.0	26.0	8.0	4.90	薄みのある剥片の両端に調整剥製。裏面状半透明黒曜石

PJ044号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1655	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	23.0	26.4	6.1	2.13	未成品。凹基、両面加工。片削先端欠損。基部が闊くやや大きめの石鏃製作を要したか。
1656	PJ-44B	石鏃	黒曜石	3/4	20.4	20.6	4.2	1.26	未成品。三角形になった段階。厚みのある縁辺は両面加工。赤褐色色入り黒曜石。
1658	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	16.2	18.3	5.4	1.18	未成品。両面加工。基部は平ら。ほぼ矩形が仕上がった段階。裏面状半透明黒曜石。
1659	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	14.2	16.3	5.0	1.22	未成品。小形。凹基、片面加工。縁面が鋭いが石鏃基部が仕上がった段階。縁のある透明黒曜石。
1660	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	19.7	12.1	3.4	0.88	未成品。大形石鏃の基部破片か。透明黒曜石。
1661	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	22.0	23.7	4.4	0.88	凹基、両面加工、細身。片削先端欠損。素材の反りが残る。裏面状半透明黒曜石。
1662	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	24.5	18.9	7.4	2.58	未成品。前面三角形の削片素材の縁辺を片面から剥離しはじめた段階。先端が欠損して放棄か。黒色の半透明黒曜石。
1663	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	-	(15.8)	4.2	0.69	凹基、両面加工、先端欠損。漆黒黒曜石。
1664	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/4	-	-	2.7	0.35	大形石鏃の基部破片か。白筋のある透明感が強い灰色黒曜石。
1665	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	22.4	19.1	3.6	1.37	未成品。両面加工。三角形が仕上がった段階。透明黒曜石。
1666	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	18.5	-	3.1	0.48	凹基、長細、両面加工。片削欠損。裏面状半透明黒曜石。
1667	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	18.2	16.0	3.0	0.43	凹基、両面加工。灰色基のある透明黒曜石。
1669	PJ-44	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	0.31	未成品。両面加工。基部の削片か。漆黒黒曜石。
1670	PJ-44	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	0.13	両面加工。先端部の破片。透明黒曜石。
1671	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	22.3	-	2.5	0.46	凹基、やや長細、両面加工。片削欠損。ていねいなくつくりの佳品。黒筋のあるやや褐色がかかった黒曜石。
1672	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	(18.1)	-	3.7	0.50	凹基、両面加工。片削欠損。透明黒曜石。
1673	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.67	未成品。大形。両面加工。基部削片が大きく欠損。ていねいなくつくり。漆黒黒曜石。
1674	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	14.6	-	2.3	0.21	小形。凹基、長細、両面加工。片削欠損。先端がぼくそく尖る。透明黒曜石。
1675	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	-	(14.4)	3.0	0.37	小形。凹基、両面加工。先端、片削欠損。灰色半透明黒曜石。
1676	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	20.9	(14.7)	4.7	(1.28)	未成品。凹基、両面加工。裏面入り透明黒曜石。
1677	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	5.1	0.64	大形。凹基、長細、両面加工。両面欠損。ていねいなくつくりの佳品。裏面入り半透明黒曜石。
1678	PJ-44	石鏃	黒曜石	3/4	16.5	10.3	2.8	0.44	未成品。細身の三角形。縁辺のみ調整。縁のある半透明黒曜石。
1679	PJ-44 土サンプル①	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	0.14	基部破片。赤褐色色入り黒曜石。
1680	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	12.9	10.4	3.1	0.23	小形。凹基、両面加工。透明黒曜石。
1681	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	25.6	14.8	4.8	1.55	未成品。細身の三角形。片面は縁辺加工のみ。素材の縁が残る。縁のある半透明黒曜石。
1682	PJ-44B	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.46	PJ44B号住居出土。未成品。戻った削片の縁辺に調整痕跡。器体中心で折損。縁のある半透明黒曜石。
1683	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	12.6	12.1	5.9	0.90	未成品。小形。三角形が仕上がった段階。素材の厚みが残る。黒筋のある透明黒曜石。
1684	PJ-44	石鏃	黒曜石	1/1	16.9	13.4	5.1	1.00	未成品。三角形が仕上がった段階。素材の厚みが残る。裏面状半透明黒曜石。
4372	PT-975	刺座のある削片	黒曜石	1/1	-	-	-	2.30	PT975号ビット出土。縁面が残る小さな削片の縁辺に調整痕跡。裏面入り半透明黒曜石。
4376	PT-916	刺座のある削片	黒曜石	1/1	30.4	20.6	8.4	5.80	PT916号ビット出土。ズリ面がある削片の薄いつい面に調整痕跡。白筋のある漆黒黒曜石。
4378	PT-900	石鏃	黒曜石	3/4	(15.5)	-	2.9	0.42	PT900号ビット出土。凹基、長細、両面加工。片削欠損。透明黒曜石。
4382	PT-1096	両極石鏃	緑頁岩	1/1	32.0	21.0	7.0	5.80	PT1096号ビット出土。一辺に石鏃が両面状の刃部。破損品が素材か。折り取った面の縁辺につぶれ状の使用痕。黄灰色地質質。
10506	PJ-44	磨石類	安山岩類	1/1	10.2	6.2	4.9	425	磨き痕跡あり
10507	PJ-44	磨石類	安山岩類	1/1	10.4	8.0	3.5	457	扁平二磨面。両面に磨り面と射打凹みニッ所等。両側面にも射打面
10508	PJ-44	磨石類	砂岩	1/2	(9.3)	6.0	5.3	390	検査石。安山岩質の粗粒砂岩
10509	PJ-44	円盤	安山岩類	1/1	3.6	2.1	1.9	18	ウズラ巨大の楕円形。使用痕なし
10510	PJ-44	磨石類	安山岩類	1/3	48.0	71.0	40.0	247	石鏃状。両面に磨り面。片面に射打凹み。両側面は検査石状。多孔質安山岩
10511	PJ-44	磨石類	安山岩類	1/4	35.0	72.0	65.0	232	断面楕円形で側面に検査石状。多孔質安山岩
10512	PJ-44	磨石類	砂岩類	3/4	(9.0)	6.0	3.8	259	断面土層平楕円形。平坦な一面に射打凹みニッ所。磨理面が大きく欠損。射打面の一面に射打痕。細粒砂岩
10513	PJ-44 カクラン	磨石類	安山岩類	1/2	65.0	67.0	48.0	306	断面楕円形。平坦な二面に射打凹みが別になって形成される。広い側面は検査石状で、射打痕もある。多孔質安山岩
10514	PJ-44	ハンマー	砂岩類	1/2	50.0	17.5	20.1	36	断面隅丸方形の棒状石器。残存部に使用痕はないが、形状からハンマーと判断。細粒砂岩
10515	PJ-44 13	磨製石斧	安山岩類	1/6	88.0	54.0	74.0	418	断面楕円形。一面に鋭い稜線。割れて小片化した接合。多孔質安山岩
10516	PJ-44	磨製石斧	緑色珪	1/4	135.0	55.0	32.0	160	PJ-106・整理番号 10502、S-13・整理番号 11225と接合。基部側縁部の破片。割られて小片化した破片が接合。
10517	PJ-44	磨製石斧	緑色珪	-	-	-	-	6	基部の小破片。突った先端に調整痕。
10518	PJ-44 B	円盤	砂岩類	1/1	7.2	5.1	2.2	116	PJ44B号住居出土。扁平な円盤の薄いつい面にわずかに射打痕。



PJ045 号住居出土遺物

PJ045 号住居 土器観察表

実測番号	注記 (W-015-302)	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	底厚 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
1962	PJ-45	口縁部	-	-	-	27.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	PJ045号住居出土土316と接合。角ばった口唇部、口唇に平行する断面三角形の隆帯、外面ナズ調整、内面傾位の条痕文。器壁は10mm程度。胎土に繊維を含む。神ノ木台式	
1963	PJ-45	胴部	-	-	-	11.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	粗雑な格子目文。内外面ともに指頭圧痕が目立つ。胎土に繊維を含まない。木島式	
1964	PJ-45	胴部	-	-	-	17.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5/6	集合条線文。内面ヨコナズ調整。胎土に繊維を含まない。踏破c式段階	
1965	PJ-45	口縁部	-	-	-	5.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	口縁部に断面かマコボ形の低い隆帯。口唇部と隆帯上に断面状工具の刻突文。器壁は4.5mmと薄い。胎土に繊維を含まない。神ノ木式か	
1966	PJ-45	胴部	-	-	-	52.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/2	羽状縄文。内面指頭圧痕が目立つヨコナズ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
1967	PJ-45	胴部	-	-	-	23.0	破片	5YR4/6 5YR3/3	斜縄文。内面指頭圧痕が目立つヨコナズ。胎土に繊維を含まない。有尾式か	
1968	PJ-45	胴部	-	-	-	20.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	扁平な結節浮線文。内面ヨコミガキ。胎土に繊維を含まない。踏破b式中段階	
1964	DK-461	口縁部 ~底部	3.8	3.1	丸底	15.0	2/3	10YR5/4 10YR5/3	DK461号土坑出土。尖底のミニチュア土器。胎土に繊維を含まない。中趾式か	

PJ045 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0833	PJ-45 I	石核	黒曜石		54.0	30.0	30.0	34.00	白色夾雑物の節理面がある半透明黒曜石
0834	PJ-45	石錐	黒曜石	3/4	14.7	(16.5)	3.3	(0.61)	凹基。やや長楕。両面加工。両端先端欠損。透明な黒曜石
0835	PJ-45	鹿溝	黒曜石		54.0	22.0	14.3	17.60	角がややとれたズリ。透明黒曜石
0836	PJ-45	高棒石器	黒曜石	1/1	22.0	18.0	14.0	4.50	端面が残る厚手破片の両端に衝撃割面。透明黒曜石
0837	PJ-45	高棒石器	黒曜石	1/1	19.0	17.0	6.0	2.10	端面が残る厚手破片の高棒に衝撃割面。結のある葛湯状半透明黒曜石
4384	PT-920	原石	黒曜石		39.8	25.4	15.1	17.30	角がややとれた端面。葛湯状半透明黒曜石
10519	PJ-45	磨石類	安山岩類					32	扁平に磨り減りした磨石の小破片



PJ045

片断状況を南から撮影。写真右側は農地の崩平により遺構が失われていた

PJ051号住居

位置：D-6グリッドとD-7グリッドにまたがる。PJ44号住居に切られ、PJ55号住居と重複する。DK283号土坑、DK378号土坑、DK417号土坑など諸磯式期の大きな土坑に切られる。

規模：最も拡張した段階は、長軸8.1m、短軸6.7mの隅丸長方形で、堅穴の深さは北壁沿いで45cmが残る。一回り小さなプランは長軸7.7m、短軸5.5mで、堅穴の深さは50cmである。

遺構の北西角に周溝が楕円形にめぐり4基の柱穴と思われるピットを検出した。これをPJ51A号住居とする。PJ51A号住居は長軸5.2m、短軸3.3mの小判形で、深さは35cmである。

埋土：地山由来の黄褐色土の粒子、小ブロックが多く混じる暗褐色土が堆積し、上位にはPJ55号住居床面と思われる薄く水平に堆積する層層が観察された。埋土断面からPJ51A号住居がPJ51号住居より新しい遺構であると観察された。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。やや硬く踏みまっていた。

炉：PJ51A号住居の中央に床面が被熱、焼土化した箇所を検出した。これはPJ51A号住居の地床炉と思われる。PJ51号住居の炉は検出されなかった。PJ51A号住居の堅穴がPJ51号住居床面よりやや低く掘り込まれているため、失われた可能性がある。

周溝：長方形プランに沿って複数本の小溝を検出した。東壁沿いでは3本の小溝が平行してめぐっている。PJ51A号住居プランを示すと思われる小判形にめぐる小溝も検出された。

柱穴：最も新しいPJ51A号住居の柱穴は、PT893、894、897、907号ピットの4基と考えた。これらは細く深い柱穴で、小判形プランの長軸に平行する長方形に配置されている。短辺の外側、棟持柱の位置に小さなピットがあり、これらも柱穴の一部かもしれない。

長方形プランのPJ51号住居で、最も大きく新しい段階の柱穴は、PT883、960、961、1014号ピットの4基で、棟持柱位置にPT1022、963号ピットの2基がある。

先行する居住期の柱穴は、PT882、938、906、1002b号ピットの4基にPT927号ピットが棟持柱位置に付属する。北側短辺の棟持柱位置にピットは検出されなかった。

さらに古い段階の居住期の柱穴は、PT959、892、896、901号ピットの4基を想定した。

以上の柱穴の組み合わせのほかにも柱穴にふさわしい形状のピットがあるが、合理的な組み合わせは分からなかった。特にPT961、PT906号ピットの周辺には深いピットが重複している。一部はPJ44号住居柱穴とみられるが、PJ51号住居で柱の更新が繰り返されたとみられる。

出土遺物：PJ51号住居は埋土断面の観察からPJ51A号住居とPJ55号住居に切られると判断したが、調査時にはPJ51号住居を先に発掘した。そのためPJ51A号住居の遺物との分離が不十分で、かつPJ55号住居の遺物が本住居に混ざることとなった。

またPJ44号住居とも重複するため諸磯式土器の大きな破片が混ざることになった。出土位置、出土状況からPJ55号住居に帰属する可能性があるものは土器観察表に所見を記載した。

さらに、PJ51号住居には斜縄文、羽状縄文、菱形構成の縄文が施文される土器で胎土質、内面調整に大きな違いを感じないものが混在し、神ノ木式とも有尾式とも区別が難しい。神ノ木式から有尾式への変化は当然、漸移的であったと思われる。

観察表では菱形構成をとる土器は有尾式とし、縄文地文のみで判断しなければならない場合には、斜縄文、羽状縄文を施文した土器を神ノ木式とした。

出土した土器の総量は79,383gで、木鳥式606g、中越式9,460g、神ノ木式15,666g、有尾式29,992g、諸磯式2,416g、前期土器破片20,009gなどである。わずかな出土量だが神ノ木台式、関山式、堂之上Z式、上広甍式土器破片がみられる。また管玉状の土製品もある。

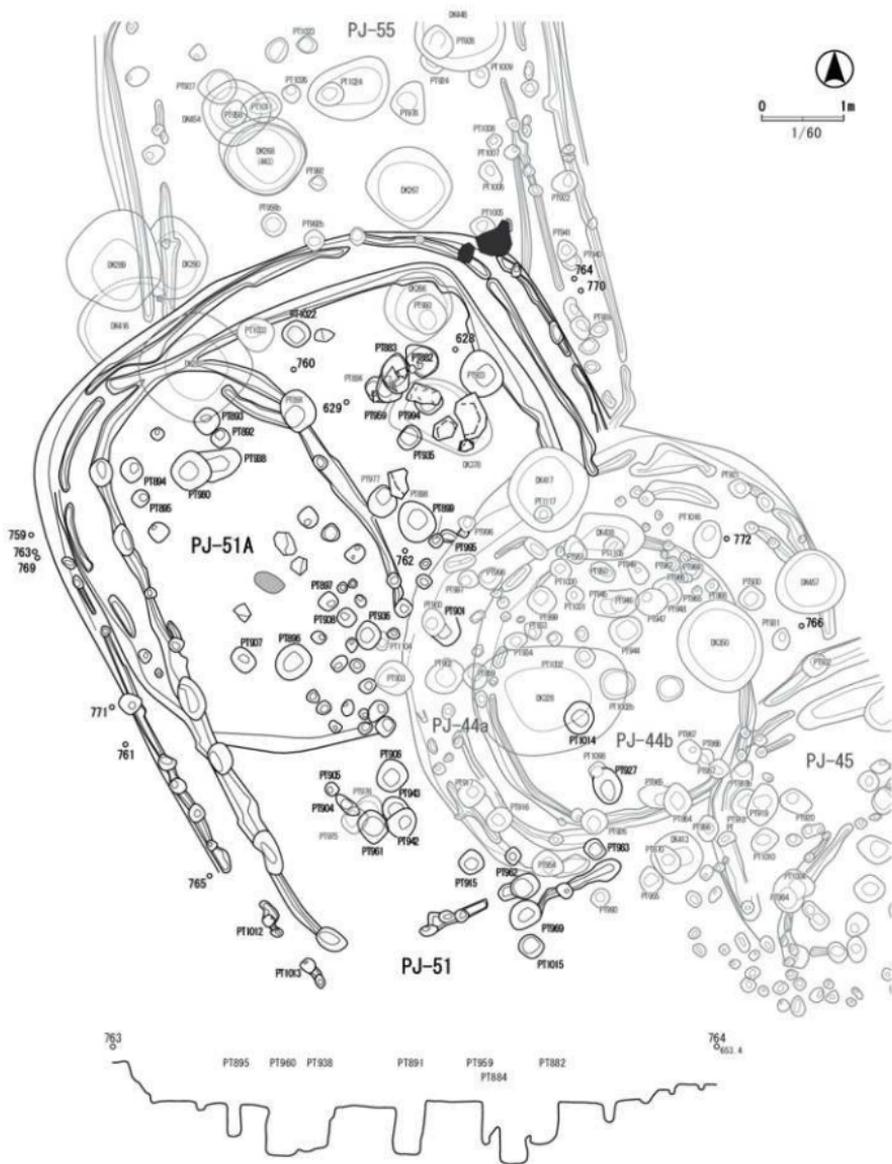
出土した石器は、石鏃106点、石匙17点、削器5点、石錐8点、両極石器6点、打製石斧1点、石皿破片1点、台石5点、磨石類11点、磨製石斧2点、礫器2点、軽石製品1点、ハンマー1点、剥

隙のある黒曜石剥片 18 点、黒曜石原石 10 点、礫 1 点で、このほか黒曜石を主とする剥片 1,957 点、4,392g が出土した。

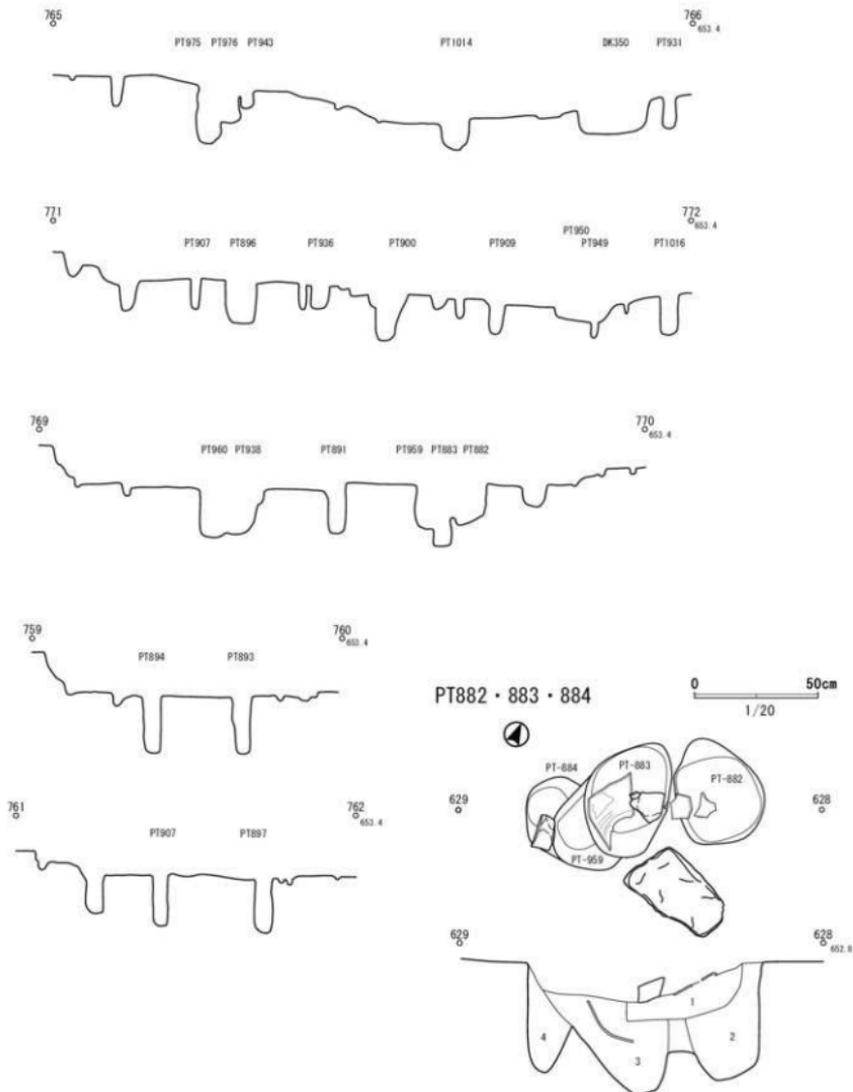
時 期：遺構の構築時期、居住期間を示す遺物は出土しなかった。破片資料、柱穴から出土した土器破片などから、PJ51 号住居は神ノ木式から有尾式の移行期に廃絶していたと推測される。PJ51A 号住居は、有尾式期には廃絶していたと考えられる。

PJ051 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-882	51 住内	37×40	50	10YR2/3(雑褐色)。	古い居住期の柱穴
PT-883	51 住内	33	75	10YR2/2(黒褐色)に 10YR2/3(黒褐色)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	最新段階の柱穴。神ノ木式、有尾式
PT-882	51A 住内	21×18	50	10YR2/3(雑褐色)に 10YR2/4(雑褐色)が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴。中越式、有尾式
PT-893	51A 住内	28	72	10YR2/3(雑褐色)に 10YR2/4(雑褐色)が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ51A 号住居柱穴。神ノ木式
PT-894	51A 住内	22	72	10YR2/3(雑褐色)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ51A 号住居柱穴
PT-896	51A 住内	20	40		
PT-896	51A 住内	43×38	50	10YR4/6(褐)。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴。木島式、有尾式
PT-897	51A 住内	21	50	10YR2/4(雑褐色)。シルト粒土。ややしまる。	PJ51A 号住居柱穴。有尾式
PT-899	51 住内	14	18		中越式。神ノ木式、有尾式
PT-901	44A 住内	19	35	10YR2/4(雑褐色)。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴
PT-904	51 住内	30×19	43		中越式
PT-905	51 住内	16×13	20		
PT-906	51 住内	30	63	10YR2/3(雑褐色)に 10YR4/3(にぶい黄褐色)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴。石部。有尾式?
PT-907	51 住内	32×20	65	10YR2/4(雑褐色)。シルト粒土。ややしまる。	PJ51A 号住居柱穴。有尾式
PT-908	51A 住内	20×10	26		有尾式
PT-915	51 住内	27	35	10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-935	51 住内	25	25	10YR2/4(雑褐色)に 10YR4/4(褐)が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-936	51A 住内	27	25	10YR2/3(黒褐色)。シルト粒土。ややしまる。	大きさ 20×22
PT-938	51A 住内	44×32	53	10YR2/4(雑褐色)に 10YR4/4(褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	古い居住期の柱穴。有尾式
PT-942	51 住内	39×35		10YR4/6(褐)。	中越式。神ノ木式
PT-943	51 住内	30×54	75	1 層 10YR4/4(褐)に 10YR4/6(褐)が 30%混じる。シルト粒土。ややしまる。 柱底 10YR2/4(雑褐色)。	木島式
PT-959	51 住内	30	55	10YR2/4(雑褐色)に 10YR4/6(褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PT884 を切る。古い居住期の柱穴。神ノ木式、有尾式
PT-960	51A 住内	40	60	10YR4/4(褐)に 10YR2/4(雑褐色)と炭化物が 3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	最新段階の柱穴。有尾式?
PT-961	51 住内	30	60	10YR2/4(雑褐色)。シルト粒土。ややしまる。	最新段階の柱穴。中越式。神ノ木式
PT-962	51 住内	30	58	10YR2/4(雑褐色)に 10YR4/4(褐)が 5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	踏張り式
PT-963	44A 住内	23	42	10YR2/3(雑褐色)に 10YR2/4(雑褐色)が 3%、10YR4/6(褐)のロームブロックが 1%混じる。シルト粒土。しまる。	最新段階の柱穴。中越式、有尾式
PT-969	51 住内	33	27	10YR2/3(雑褐色)に 10YR4/4(褐)が 10%混じる。シルト粒土。ややしまる。	踏張り式
PT-994	51 住内	30×23	26	10YR2/4(雑褐色)に炭化物が 1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-995	51 住南壁	16	26		神ノ木式
PT-1012	51 住南西 0.5m	13	52		
PT-1013	51 住南西 0.5m	15	55		PJ51 号住居南西内の小ピット。中越式
PT-1014	44 住内	34	76	10YR4/6(褐)。シルト粒土。しまる。	最新段階の柱穴。PJ46 床下で検出。神ノ木式、有尾式
PT-1015	51 住南端	28	18	10YR2/3(雑褐色)に 10YR2/4(雑褐色)が 3%混じる。シルト粒土。しまる。	神ノ木式?
PT-1022	51 住内	23	45	10YR2/4(雑褐色)。シルト粒土。しまる。	最新段階の柱穴。中越式

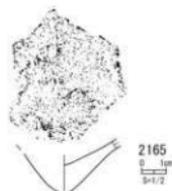
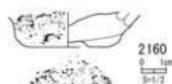
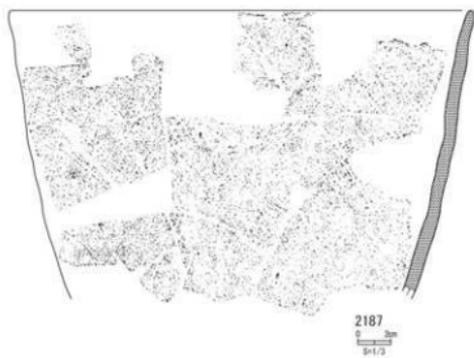
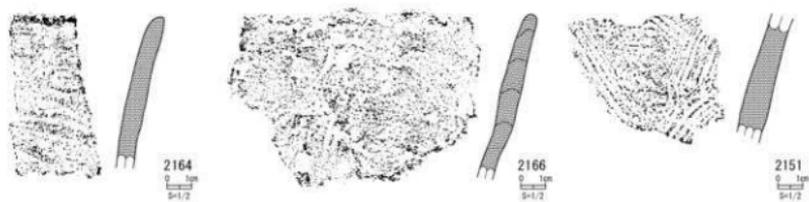
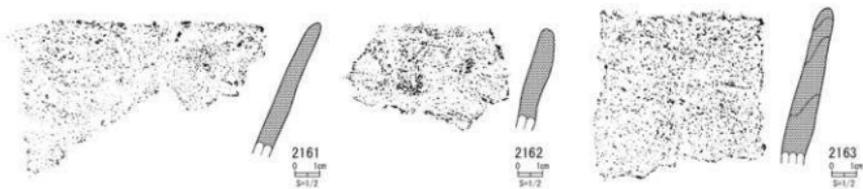
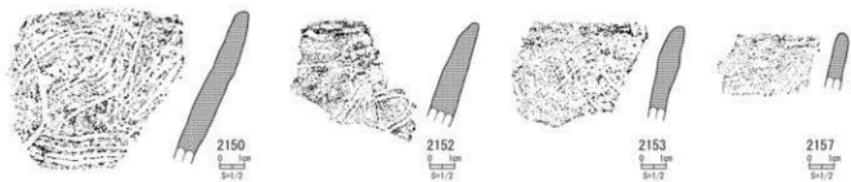


PJ051 号住居



- 1層 10RQ/4層組に10RQ/2(黒土)が10%、10RQ/6(赤)が9%炭化物が混入するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。
- 2層 10RQ/4層組に10RQ/6(赤)が20%炭化物が混入するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。
- 3層 10RQ/4層組に10RQ/6(赤)が10%混入するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。
- 4層 10RQ/4層組に10RQ/6(赤)が15%炭化物が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。

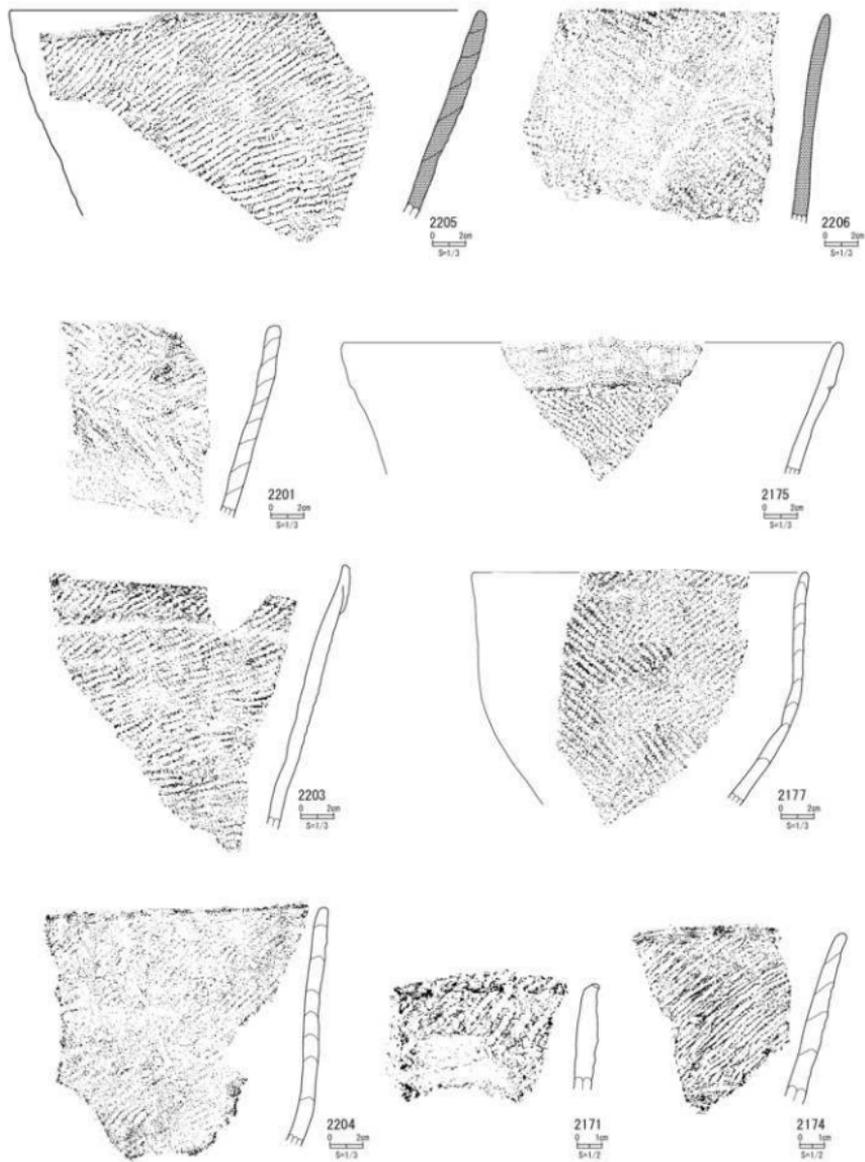
PJ051号住居



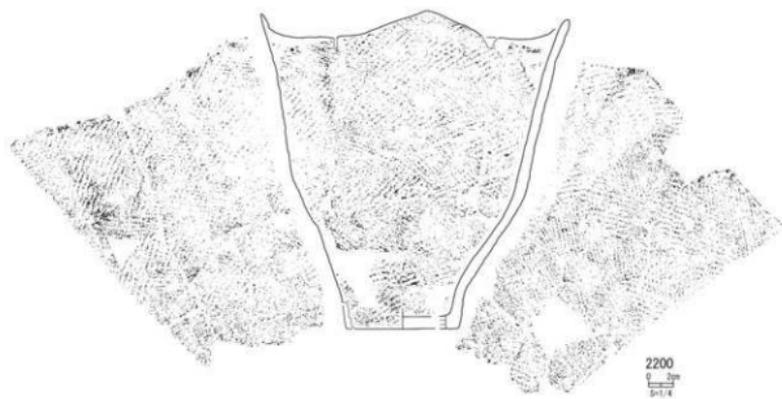
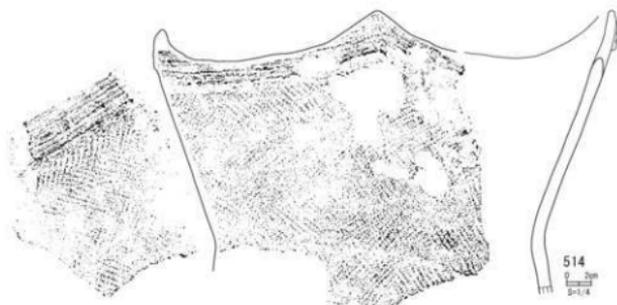
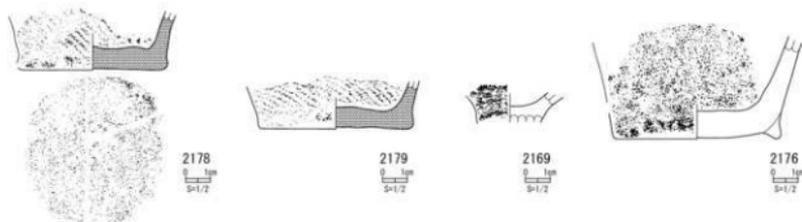
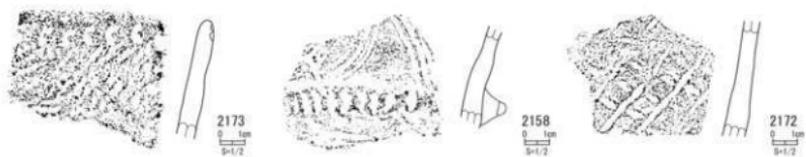
PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



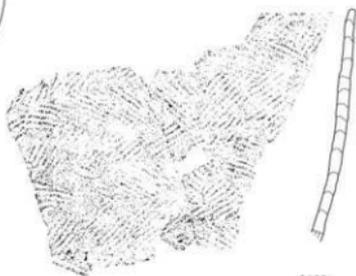
PJ051 号住居出土遺物



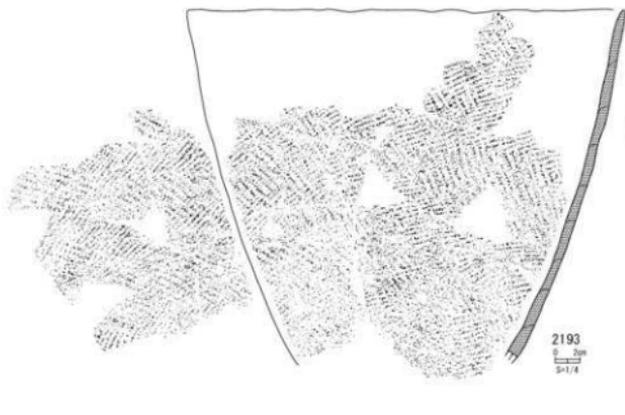
PJ051 号住居出土遺物



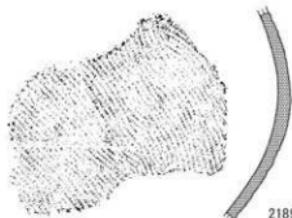
2196
0 2cm
S=1/4



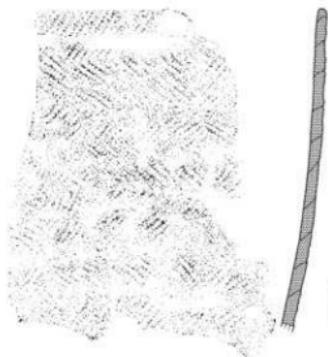
2198
0 2cm
S=1/4



2193
0 2cm
S=1/4



2189
0 2cm
S=1/4

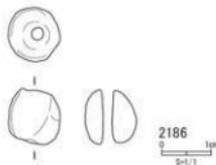
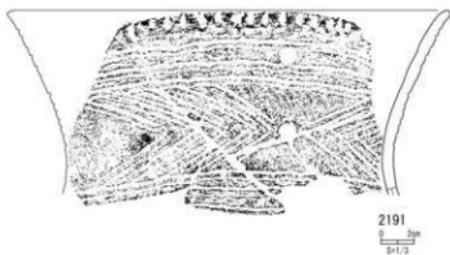
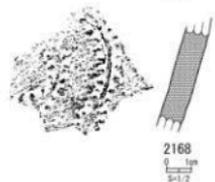
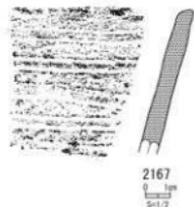
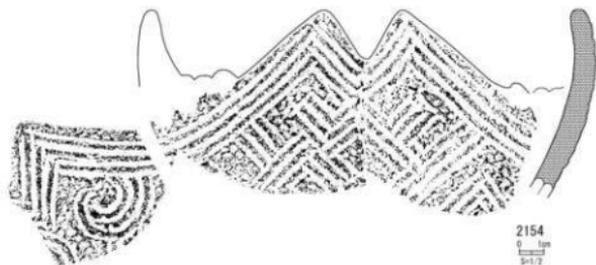
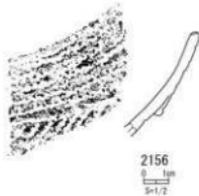
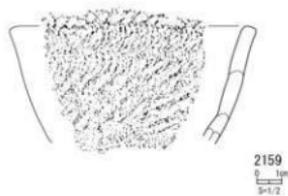


2202
0 2cm
S=1/4

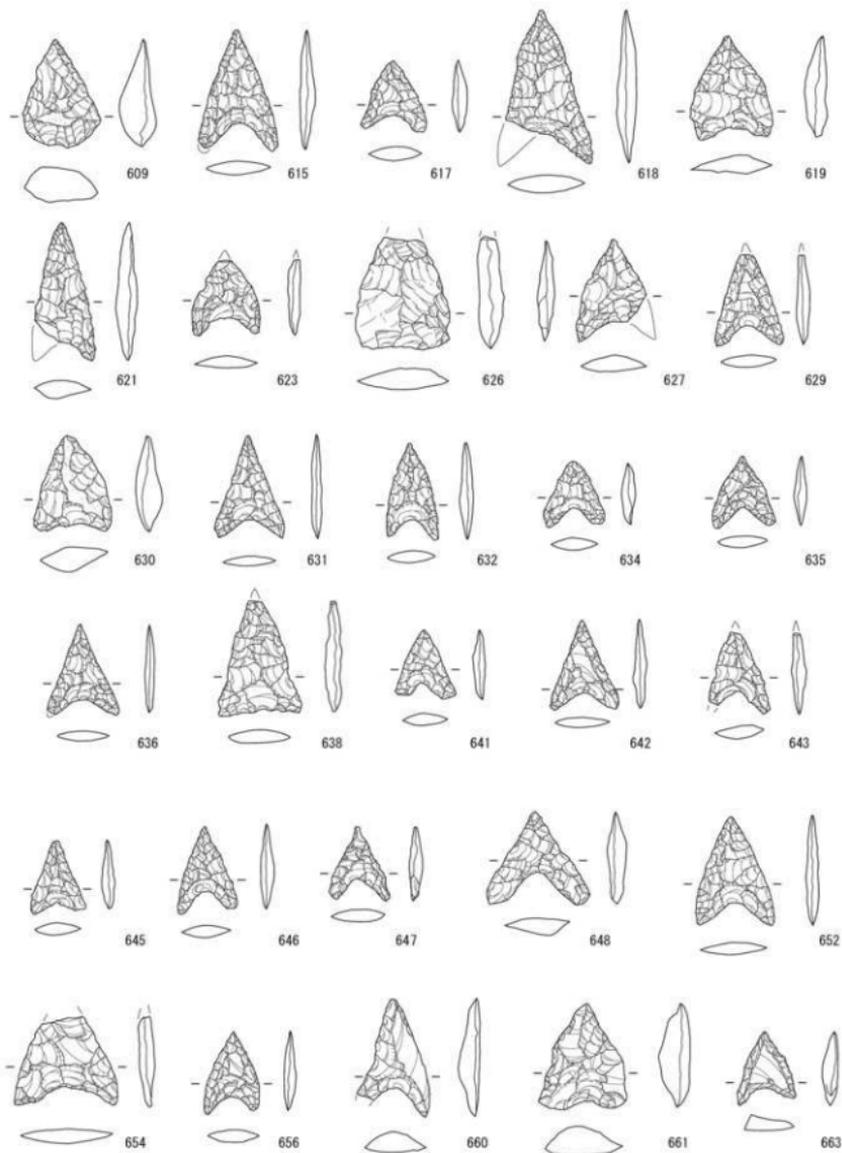
PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



0 1cm
 5+1/2

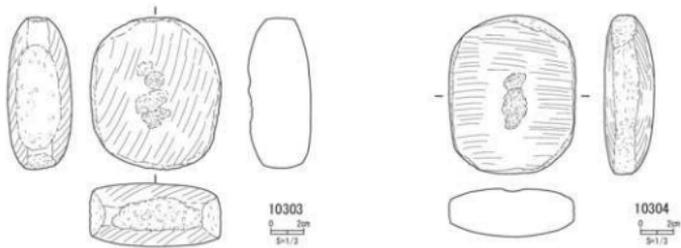
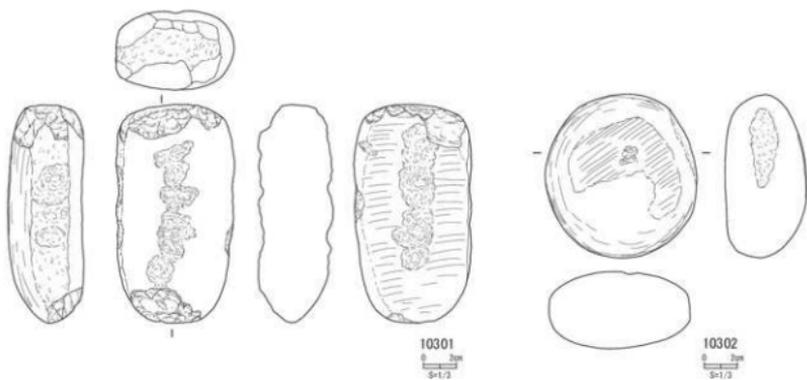
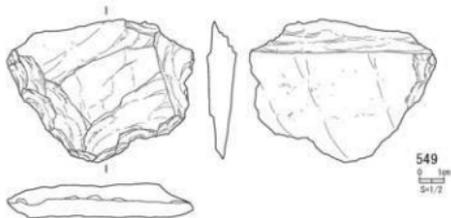
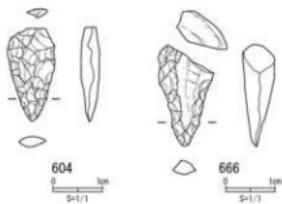
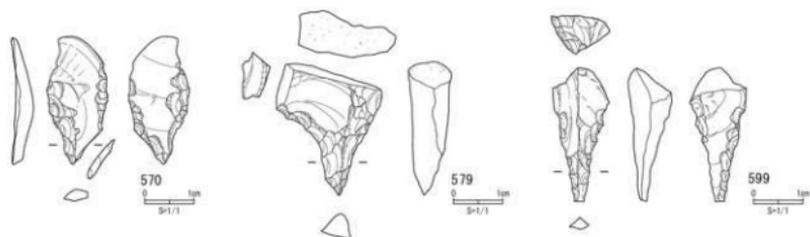
PJ051 号住居出土遺物



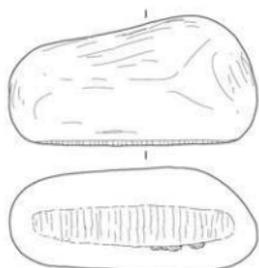
PJ051 号住居出土遺物



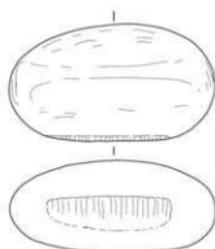
PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



10307
0 2cm
S=1/3



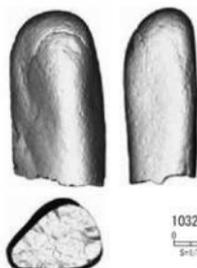
10306
0 2cm
S=1/3



10308
0 2cm
S=1/2



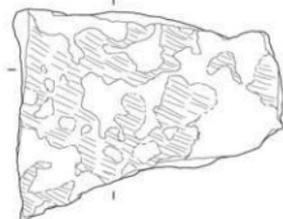
10319
0 2cm
S=1/2



10320
0 2cm
S=1/2



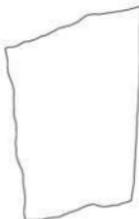
10315
0 2cm
S=1/4



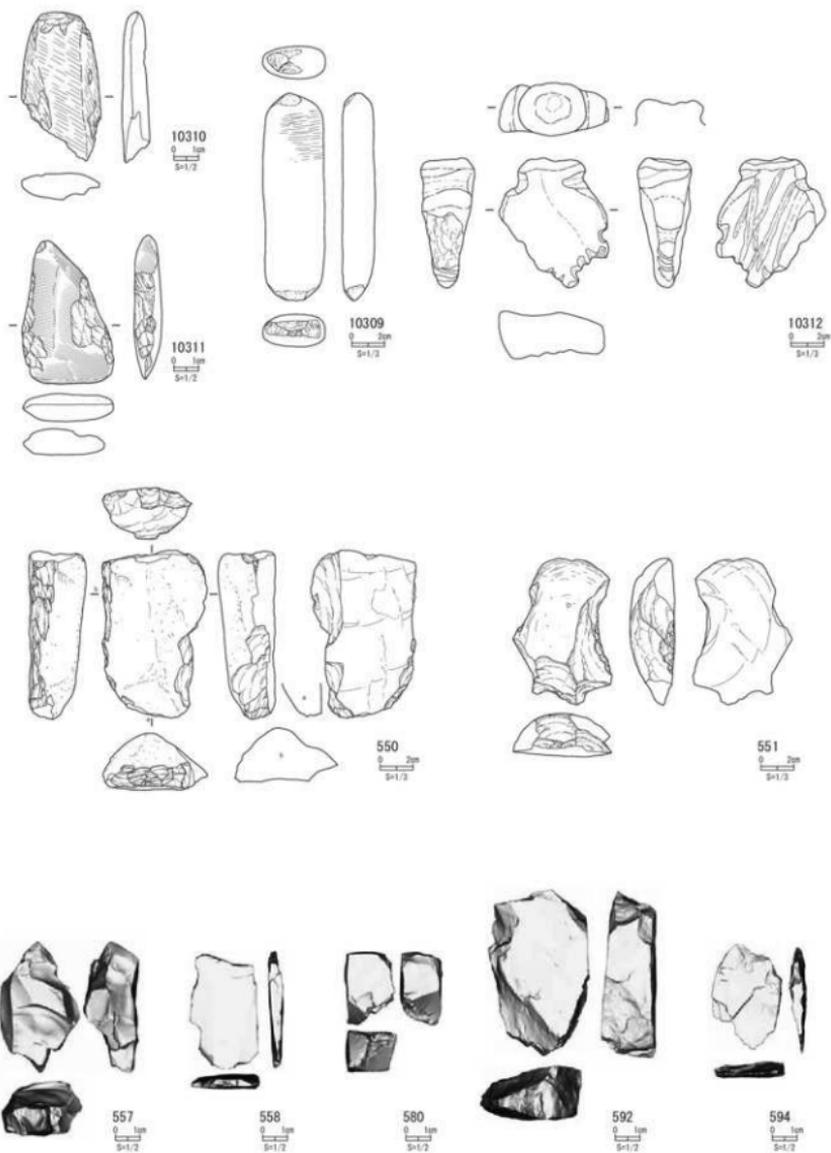
10313
0 2cm
S=1/4



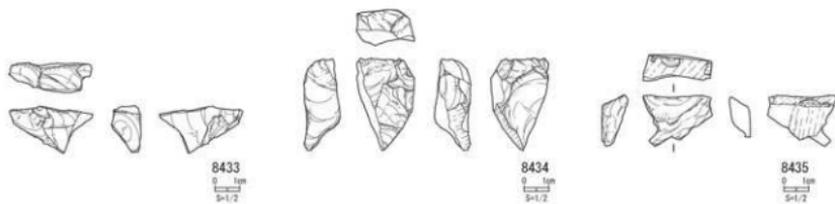
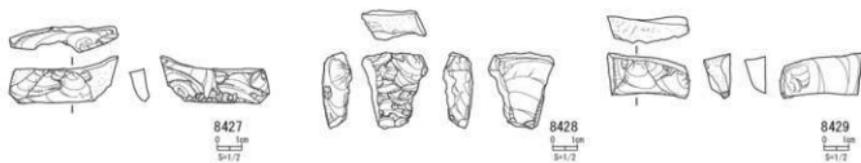
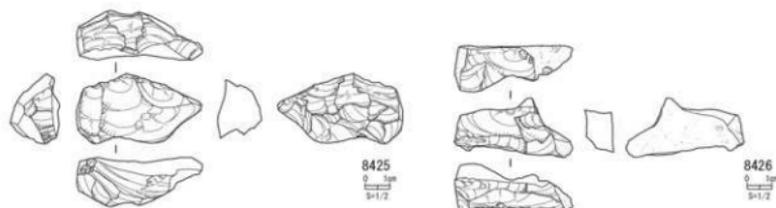
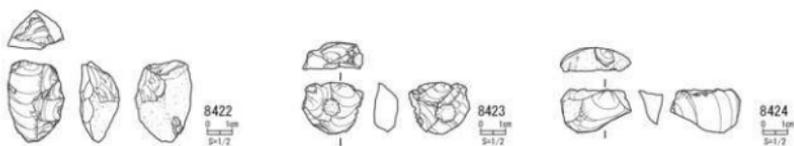
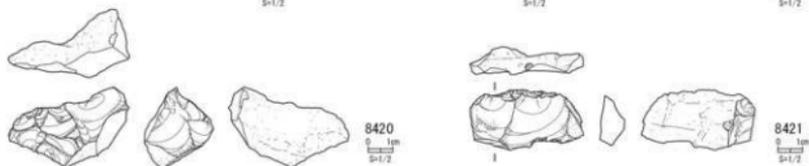
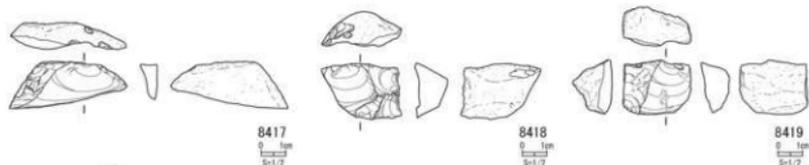
10314
0 2cm
S=1/4



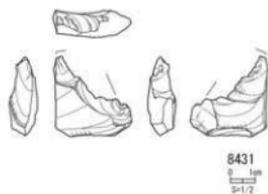
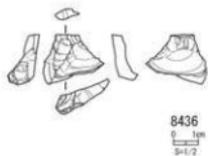
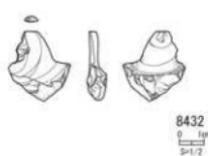
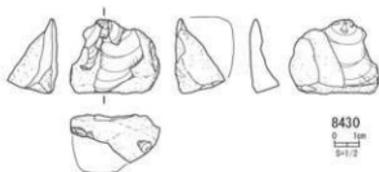
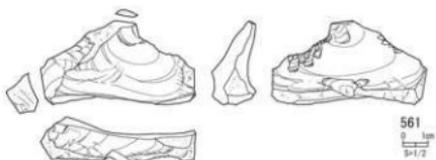
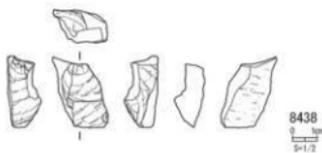
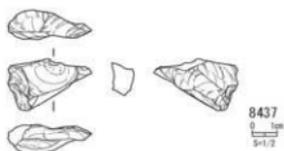
PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物



PJ051 号住居出土遺物

PJ051号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
514	PT-803 器5, Pj-51 64, Pj-51 器1, Pj-51 器2, Pj-51, Pj-51 39, Pj-40, Pj-55	口縁部 ～胴部	(36.6)	-	-	1,638.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	PT803号ピット埋土に落ち込むように出土。Pj40号住居埋土、Pj55号住居埋土出土域と接合もしくは同一層体。波状口縁。肥厚部に磨面剥剥。下位は平紋の粗線文。内面は指頭圧痕がわずかに残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。有蓋式。Pj55号住居埋土に集積された土器破片がDj07号土坑より埋れ込み。またPT803号ピット埋土に圧縮。沈降する過程で落ち込んだ可能性あり。
2051	Pj-51 28, Pj-55, Pj-54	口縁部 ～胴部	(26.0)	-	-	1,077.0	破片	7.5YR5/3 5YR4/4	PT804号ピット南側。床面から10cmほど浮いて出た。羽状口縁。口唇部から口縁部内面にかけては網文施文。胎土に繊維を多量に含む。補修跡あり。神ノ木式。Pj55号住居から直生した可能性あり。
2150	Pj-51	口縁部	-	-	-	47.0	破片	5YR6/4 7.5YR3/3	平行波線の粗線文が施文。内外面ともに指頭圧痕が目立ち凸出あり。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2151	Pj-51	胴部	-	-	-	35.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	条線施文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2152	Pj-51	口縁部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR3/1	2本一組の平行波線が施文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2153	Pj-51	口縁部	-	-	-	20.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	口唇部の一部にのみ。格子目文と波線文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2154	Pj-51, 10-1568, J-6-2	口縁部	(17.6)	-	-	149.0	破片	5YR4/3 7.5YR4/3	J-6-2グリッドとPj51号住居埋土から出土した破片と接合。大きな2本の突起と3本の小突起がある波状口縁。網文施文。竹管平行波線に横方向文字様を直出。内面はいいないなミが半調整。胎土に繊維を含む。岡山式
2155	Pj-51	胴部	-	-	-	8.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/1	口縁部近くの破片。肥厚する口縁部。下位に貝殻施文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。磨面は4mm以下と薄手。胎土に繊維を含まない。上広式
2156	Pj-51	口縁部	-	-	-	14.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/2	2155と同一層体か。波状口縁。口唇部にのみ。口縁部に段差。貝殻施文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。磨面は4mm。段差部は7mm。胎土に繊維を含まない。上広式
2157	Pj-51	口縁部	-	-	-	8.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/3	擦痕状の粗線文とすかな網文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式か
2158	Pj-51	胴部	-	-	-	36.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/6	口縁部付近と思われる破片。幅広で薄い割み磨面。下位に格子状?象徴文。内面ナデ調整。磨面は8.5mm程度。胎土に繊維を含まない。神ノ木式か
2159	Pj-51	口縁部	(10.0)	-	-	30.0	破片	5YR4/3 5YR4/3	口唇部に網文。口縁部に二列の爪形文。下位は網文。内面に磨面剥剥が一列あり。内面は細線文と指頭圧痕が残る。堂之上2式か
2160	Pj-51	底部	-	-	4.0	31.0	破片	10YR3/1 7.5YR7/6	底部破片。丸底に胎土結を貼付して平らな底面をつくる。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2161	Pj-51	口縁部	-	-	-	39.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/3	外面は擦痕状のナデ。内面は指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中越式
2162	Pj-51	口縁部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR5/4	内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2163	Pj-51	口縁部	-	-	-	61.0	破片	5YR5/6 7.5YR3/2	内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2164	Pj-51	口縁部	-	-	-	23.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	内外面とも指頭圧痕がやや残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2165	Pj-51	底部	-	-	-	10.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/4	尖底。胎土に繊維を含まない。中越式
2166	Pj-51	口縁部	-	-	-	60.0	破片	5YR5/6 5YR4/4	内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維が少量混じる。中越式
2167	Pj-51	口縁部	-	-	-	31.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/4	内面をそいで口縁部。平行波線文。網文施文? 内面はいいないなミが半。黒沢式か
2168	Pj-51	胴部	-	-	-	27.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	竹管を刺突した粗線文と磨面施文。内面はいいないなミが半調整。胎土に繊維を含む。黒沢式か
2169	Pj-51	胴部	-	-	-	16.0	破片	7.5YR3/1 5YR6/6	胴部の底部。刺突列。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2171	Pj-51	口縁部	-	-	-	49.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR3/1	口唇部に網文。外面に結節網文。内面に指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2172	Pj-51	胴部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR7/4	合磨網文。内面は指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2173	Pj-51	口縁部	-	-	-	27.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	口縁部に半割竹管を斜めに刺突。斜線文。外面は輪郭み盛が残る。内面は指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2174	Pj-51	口縁部	-	-	-	37.0	破片	5YR6/6 7.5YR3/1	反磨磨面。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式

PJ051 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	高さ cm	底径 cm	底径 高さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2175	PJ-51 69	口縁部	(30.6)	-	-	80.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/2	肥厚する口縁の下端に段差。段差に沿って刺突列。末端部分の縄文？内面は横ナ字調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2176	PJ-51 52	胴部～ 底部	-	-	6.8	85.0	破片	7.5YR6/4 5YR6/6	上げ底の底面。内外面とも指頭圧痕が目立つ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2177	PJ-51	口縁部 ～胴部	(20.4)	-	-	169.0	破片	5YR3/3 7.5YR3/3	口縁部に輪郭み痕が残り。肥厚帯口縁の名残のようにみえる。羽状縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナ字調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2178	PJ-51	胴部～ 底部	-	-	9.2	172.0	破片	5YR4/6 5YR5/6	底面木炭痕。斜縄文。内面は指頭圧痕が残る。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式	
2179	PJ-51	胴部～ 底部	-	-	9.2	170.0	破片	2.5YR4/8 7.5YR6/6	底面木炭痕。やや上げ底気味。斜縄文。内面ナ字調整。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式	
2180	PJ-51	胴部～ 底部	-	-	9.5	139.0	破片	7.5YR3/3 5YR5/6	底面網代圧痕。羽状縄文。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2181	PJ-51	胴部	-	-	-	69.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/6	波状口縁の胴部破片。刺突列。押引文。平行沈線。胴部は縄文地文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2182	PJ-51	口縁部	-	-	-	11.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/3	角ばった口唇部。口縁部上端に刺突列。下位に押引文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2183	PJ-51	口縁部	-	-	-	27.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	口唇部と口縁部上端に刺突列。下位は刺突列と押引文の菱形文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維をわずかに含む。有尾式	
2184	PJ-51	胴部	-	-	-	73.0	破片	5YR4/4 2.5YR3/3	波状口縁。刺突文で菱形文様を構成。内外面に細密な条痕状の調整痕。胎土に繊維を含む。有尾式	
2185	PJ-51	口縁部	-	-	-	91.0	破片	5YR6/6 7.5YR3/1	幅広い肥厚帯口縁。刺突列と帯歯状工具の平行沈線。下位は菱形文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を少量含む。有尾式	
2186	PJ-51		1.1	1.0	1.1	1.0	ほぼ完整	2.5YR3/4 2.5YR3/4	管玉状の有孔土製品。	
2187	PJ-51	口縁部 ～胴部	(28.3)	-	-	432.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	格子目文。内外面とも指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中継式	
2188	PJ-51 62	口縁部 ～胴部	-	-	-	251.0	破片	5YR4/4 5YR3/4	斜縄文。内面は凹凸が著しい。胎土に繊維を含み。金雲母が埋まる。神ノ木式	
2189	PJ-51 64、PJ-51	胴部	-	-	-	247.0	破片	5YR4/6 7.5YR5/6	斜縄文。内面はていねいなミガキ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2190	PJ-51、PJ-45	口縁部	-	-	-	220.0	破片	5YR4/6 5YR5/6	口唇部と口縁部に竹管押引文。竹管平行沈線で幾何学文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を含まない。調整a式。PJ44号住居からの混入か。	
2191	PJ-51、D-6-22、 O-7-3	口縁部	(27.0)	-	-	264.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR4/6	口唇部に刻み。竹管平行沈線で波縄文。幾何学文。凹凸状の円文。内面はヨコナ字ミガキ調整。胎土に繊維を含まない。調整a式。PJ44号住居からの混入か。	
2192	PJ-51	口縁部	-	-	-	363.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	波状口縁。口縁部に沿って3列の竹管押引文。下位に5列くらいの竹管押引文で菱形文様。胴部は結節縄文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2193	PJ-51 25、PJ-51	口縁部 ～胴部	-	-	-	2,726.0	破片	2.5YR4/4 7.5YR3/2	整わない菱形構成の縄文。内面は指頭圧痕が目立つ。胎土に繊維を含まない。有尾式	
2195	PJ-51	口縁部 ～胴部	-	-	-	635.0	破片	2.5YR4/4 5YR4/4	波状口縁。竹管押引文で菱形文様を構成。内面ヨコナ字調整。胎土に繊維を含む。有尾式	
2196	PJ-51 1	口縁部 ～胴部	-	-	-	648.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	PJ51A号住居の西壁寄り。床面から16cm浮いて出土。波状口縁。先端が平なへら状工具の押引文で菱形文様を構成。文字状に菱形文が埋まる箇所にかすかな縦位の区画文あり。胴部は羽状縄文。内面は格子状の凹凸。胎土に繊維を多量に含む。有尾式	
2197	PJ-51 48、PJ-51 64、PJ-51 35	口縁部	-	-	-	939.0	破片	5YR4/6 7.5YR3/3	PT005号ビット削削。床面出土。斜縄文。内面は輪郭み痕の凹凸。指頭圧痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。補綴あり。神ノ木式	
2198	PJ-51 61	口縁部 ～胴部	-	-	-	745.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/2	PJ51A号住居の地床炉周辺。床面で出土。小波状口縁か。整わない菱形構成の縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナ字調整。胎土に繊維を含まない。有尾式	
2199	PJ-51 42、PJ- 51 40、PJ-51 13、 PJ-51	口縁部 ～胴部	(41.6)	-	-	2,350.0	破片	5YR6/6 7.5YR4/3	PJ51号住居北壁沿いとPJ51A号住居西壁沿いの床面から埋土層で出土。羽状縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナ字調整。胎土に繊維を多量に含む。補綴あり。神ノ木式	
2200	PJ-51 3、PJ-51 62、PJ-51	口縁部 ～底部	24.8	25.9	9.0	1,872.0	4/5	7.5YR4/3 5YR3/4	PJ51A号住居地床炉の北西。床面から15cm浮いて出土。波状口縁。内そぎ状の口唇部。整わない菱形構成の縄文。内面は凹凸が残る。胎土に繊維を含む。エゴマ種子が多量に混入する。有尾式	
2201	PJ-51 41	口縁部 ～胴部	-	-	-	138.0	破片	2.5YR4/4 5YR4/3	PT1022支脚。床面から10cm浮いて出土。羽状縄文。内面は輪郭み痕と指頭圧痕が残る。条痕状の調整痕。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	

PJ051号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2202	PJ-51 10, PJ-51 63, PJ-51	口縁部 ～胴部	-	-	-	941.0	破片	7.5YR5/4 5YR3/4	PJ51A号住居床面に散らばって破片が出土。肥厚帯口縁。菱形構成の縄文文。内面は指張圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を少量含む。有底式
2203	PJ-51	口縁部 ～胴部	-	-	-	336.0	破片	5YR5/4 5YR5/6	小突起のある肥厚帯口縁。縄文。内面は指張圧痕が顕著。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2204	PJ-51 28	口縁部 ～胴部	-	-	-	387.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR3/3	PTX05号ピット南側の床面出土。斜縄文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2205	PJ-51 27	口縁部 ～胴部	(28.6)	-	-	304.0	破片	7.5YR6/6 5YR6/6	PTX06号ピット脇の床面出土。斜縄文。内面は指張圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2206	PJ-51 28	口縁部 ～胴部	-	-	-	740.0	破片	7.5YR4/6 7.5YR3/3	PTX05号ピット南側の床面で2204とともに出土。粗雑な菱形に施文される羽状縄文。内面は指張圧痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。神ノ木式
3096	PJ-51	口縁部	-	-	-	17.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR4/3	断面突起が二つの乳頭状突起に退化。扁平な結節浮線文。波状口縁。踏踏b式中段部
3097	PJ-51	口縁部	-	-	-	20.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	肥厚口縁上に竹管平行浮線。有段部下位に縄文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維をわずかに含む。有底式

PJ051号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0549	PJ-51	打製石斧	粘板岩	1/2	59.0	71.0	13.0	57.10	折損した打製石斧の刃部破片。刃部に磨料あり。光沢のある黒灰色の粘板岩
0550	PJ-51 15	石器	BA7:3AL	3/4	102.0	64.0	33.0	258.30	断面が節理面で割れた蓋円縁の二辺に刃部調整痕。器面が風化臭味で使用痕不明。青灰色の珩質黄ホルンフェルス
0551	PJ-51 75	石器	BA7:3AL	1/1	90.0	62.0	27.0	164.40	北壁沿い、床面から3cm深いで出土。円縁面が大きく残る珩質素材の二辺に割製。石器もしくは石杓か。砂泥交互並列の黒灰色ホルンフェルス
0552	PJ-51	石錐	頁岩	1/1	77.0	40.0	20.0	50.00	破片の尖った部位を錐とする。錐部に磨料と線条痕。薄い縁辺部に微小割製と磨料。磨器として使用か。青灰色でやや砂質の頁岩
0553	PJ-51 14	石器	珩質頁岩	1/1	61.0	55.0	12.0	41.70	PJ51A号住居北壁沿い、床面からやや深いで出土。節理面の割れがある扇形の割片の二辺に鋸歯縁状の刃部。わずかに磨料。白粉のある青灰色珩質頁岩
0555	PJ-51	石器	砂岩類	3/4	37.0	60.0	9.0	21.50	素刃石器の刃部に顕著な磨料。細粒砂岩
0556	PJ-51	原石	黒曜石					12.10	角縁ズリ。黒曜の透明黒曜石
0557	PJ-51	原石	黒曜石					31.10	角縁ズリ。一尖コア。透黒の黒曜石
0558	PJ-51	原石	黒曜石					8.60	板状の角縁ズリ。黒曜の半透明黒曜石
0559	PJ-51	石匙	黒曜石	1/1	19.0	24.0	3.6	1.11	ミニチュア石匙。刃部調整なし。折損部に微小割製とつぶれ。裏面状半透明黒曜石
0560	PJ-51	石匙	珩質頁岩	1/1	32.0	44.0	7.0	10.00	打製物の薄い磨料に刃部とし、分厚く実用性を欠く刃部形状となっている。白粉のある青灰色珩質頁岩
0561	PJ-51	割製のある 割片	黒曜石	1/1	35.0	63.0	17.0	23.70	断面、節理面が各所に残る厚手の割片の板状の一辺に微小割製。黒曜の半透明黒曜石
0562	PJ-51	割製のある 割片	黒曜石	1/1				6.50	角縁ズリ面が残る割片の縁辺に微小割製。黒曜のある透明黒曜石
0563	PJ-51	石器	珩質頁岩	3/4	25.0	48.0	7.0	8.10	調整加工による隆起刃部以外に、割片縁辺部に微小割製が残る。刃部端の尖った箇所は磨料あり。石錐として使用か。青灰色珩質頁岩
0564	PJ-51	割製のある 割片	黒曜石	1/1				1.30	角縁ズリ面が残る小割片に微小割製
0565	PJ-51	石錐	黒曜石	1/2	16.3	14.4	8.2	2.05	厚みのある小さな素材に調整痕。錐部が欠損した石錐のつまみ部か。もしくは石錐未成品かも。裏面状透明黒曜石
0566	PJ-51	割製のある 割片	黒曜石	1/1	46.0	15.0	5.0	3.20	断面が残る細長い割片の縁辺に微小割製。透明黒曜石
0567	PJ-51	石錐	黒曜石	1/2	30.0	13.0	3.0	0.90	折り取った割片素材に錐部をつくる。先端にややつぶれ。黒曜の半透明黒曜石
0568	PJ-51	石匙	黒曜石	1/2	-	-	-	3.9 (0.71)	未成品。薄い割片素材の縁辺に調整痕。器体半分が折損。透黒黒曜石

PJ051 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0569	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石					1.00	ズリ面が残る剥片に微小剥離。漆黒黒曜石
0570	PJ-51	石錐	黒曜石	3/4	25.6	12.4	3.5	0.87	鋒部先端の使用痕は分からない。黒底の半透明黒曜石
0571	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石					1.20	破面が残る小剥片の二辺に掻器刃部のような調整剥離と微小剥離。透明黒曜石
0572	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	43.0	18.0	5.0	2.70	ズリ面を打面にした縦長剥片の二辺に微小剥離。漆黒黒曜石
0573	PJ-51	石錐	黒曜石	1/2	16.6	11.6	4.3	0.82	未成品。基部微砕片。剥片素材に調整剥離。大きな尖鋭物があり折損。放棄か。漆黒黒曜石
0574	PJ-51	石錐	黒曜石	-	-	-	3.3	0.49	未成品。剥片素材の両面に調整剥離。器体中央で折損。漆黒黒曜石
0575	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	22.0	35.0	5.0	3.80	扇形の剥片の二辺に微小剥離。霧濃状透明黒曜石
0576	PJ-51	石匙	チャート	1/1	27.0	40.0	5.0	4.70	両面する刃部。反対側折損。刃部にやや摩耗あり。黒底のある暗赤茶色チャート
0577	PJ-51	石匙	珪質頁岩	3/4	36.0	61.0	12.0	23.10	掻器の刃部は一部が折損。上部微砕は両面調整。刃部端の突端が磨耗。石錐として使用か。白底のある青灰色珪質頁岩
0578	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				0.60	指爪大の小さな剥片の二辺に微小剥離。ガジリかも。漆黒黒曜石
0579	PJ-51	石錐	黒曜石	1/1	25.0	21.0	9.0	3.30	破面が残る素材に尖った鋒部をつくる。鋒部先端に微小剥離。霧濃状半透明黒曜石
0580	PJ-51	原石	黒曜石					14.00	角様ズリ。サイコロ形。漆黒黒曜石
0581	PJ-51	原石	黒曜石					6.30	角様ズリ。一発コア。霧濃状半透明黒曜石
0582	PJ-51	石錐	黒曜石	3/4	17.5	10.9	1.6	0.24	未成品。ズリ面が残る薄い剥片の縁辺に調整剥離。器体中央で折損。三角形形状が分かる段階。漆黒黒曜石
0583	PJ-51	石匙	チャート	1/1	26.0	45.0	7.0	8.10	細かな彫理が網目の目状に入る青灰色チャート
0584	PJ-51	石匙	泥岩	1/1	30.0	57.0	10.0	7.80	風化した使用痕不明。黄色に風化した暗青灰色の泥岩
0585	PJ-51	石匙	珪質頁岩	1/1	35.0	50.0	8.0	17.20	破面が残る素材。掻器状の刃部。白底のある青灰色珪質頁岩
0586	PJ-51	石匙	珪質頁岩	1/1	21.0	37.0	6.0	4.80	側縁に破面が残る打面。白底のある青灰色珪質頁岩
0587	PJ-51	石匙	黒曜石	1/1	28.0	13.0	5.0	1.40	ミニチュア石匙か。打面に破面が残る。刃部調整なし。黒底のある透明黒曜石
0588	PJ-51	石匙	緑色岩類	-	-	-	7.0	5.80	つまみ部。刃部折損。山梨県東部村川水産産の青灰色の緑閃岩か
0589	PJ-51	石匙	黒曜石	1/2	41.0	26.0	8.0	10.00	刃部折損。残った刃部に刃こぼれと磨耗あり。球粒が望める霧濃状半透明黒曜石
0590	PJ-51	石匙	珪質頁岩	1/1	32.0	47.0	7.0	8.00	管理面を打面とする素材。二辺に刃部。刃部の縁がやや摩耗。白底のある淡緑灰色のシルト質珪質頁岩
0591	PJ-51	石匙	珪質頁岩	1/1	30.0	50.0	8.0	11.90	打面に破面が残る素材。二辺に刃部。刃部に刃こぼれと磨耗あり。緑灰色の珪質頁岩。融入石材
0592	PJ-51 24	原石	黒曜石					64.50	薄い楕円の角様ズリ。一発コア。白底がある霧濃状半透明黒曜石
0593	PJ-51	原石	黒曜石					8.80	風化した剥離面状の破面。透明黒曜石
0594	PJ-51	原石	黒曜石					5.30	薄い剥片状のズリ。白底のある漆黒黒曜石
0595	PJ-51	石匙	珪質頁岩	1/2	29.0	-	9.0	6.20	刃部折損。白底のある青灰色珪質頁岩
0596	PJ-51	削器	珪質頁岩	1/2				1.50	剥片の二辺に刃部調整。別の二辺に微小剥離。青灰色珪質頁岩
0597	PJ-51	原石	黒曜石					5.90	板状の角様ズリ。一発コア。漆黒黒曜石
0598	PJ-51	原石	黒曜石					10.50	角柱状のズリ。一発コア。白底のある半透明黒曜石
0599	PJ-51	石錐	珪質頁岩	1/1	26.0	11.0	8.0	1.50	断面三角形の砕片状素材に尖った鋒部をつくる。先端折損。青灰色珪質頁岩
0600	PJ-51	両極石器	黒曜石	1/1	23.0	17.0	6.0	2.00	破面が残る断面三角形の素材。片端は折り取り。両端面に衝撃剥離。黒底のある霧濃状半透明黒曜石
0601	PJ-51	両極石器	黒曜石	1/1	12.0	14.0	6.0	0.90	断面三角形の小剥片の二辺に衝撃剥離。透明黒曜石
0602	PJ-51	両極石器	黒曜石	1/1	19.0	16.0	6.5	2.40	折り取った素材の薄い両面に衝撃剥離。透明黒曜石
0603	PJ-51	両極石器	黒曜石	1/1	23.0	22.0	16.0	6.20	破面が残る砕片の二辺に衝撃剥離。黒底の透明黒曜石

PJ051号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0004	PJ-51	石鏃	珪質頁岩	1/2	18.8	9.4	3.7	0.62	小さな石鏃。先端がわずかに磨耗。白筋のある青灰色珪質頁岩
0005	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	17.0	-	3.1	0.43	凹基、両面加工、両脚欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0006	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	17.1	-	3.0	0.43	凹基、両面加工、片脚欠損。ていねいなくつくり。黒筋のある葛湯伏半透明黒曜石
0007	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	25.1	-	2.5	0.51	凹基、長脚、両面加工、片脚欠損。先端がすぼまる。片面に素材刺断面が残る。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0008	PJ-51 伊 I	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.9	0.27	PJ51A号住居地床穿出土。小形、凹基、両面加工、両脚欠損。白筋点のある漆黒黒曜石
0009	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	22.1	15.7	7.2	1.88	未成品。基部削り素材の厚みが残る。黒底の半透明黒曜石
0010	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.4	0.53	凹基、両面加工、両脚欠損。ていねいなくつくり。葛湯伏半透明黒曜石
0011	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	20.0	(10.9)	4.4	0.75	凹基、両面加工、器体長軸方向に大きく折損。すりガラス状に変質。被熱か、半透明黒曜石
0012	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	19.7	-	3.1	0.51	凹基、両面加工、片脚欠損。先端がややすぼまる。漆黒黒曜石
0013	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	-	14.0	2.9	0.39	凹基、両面加工。先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0014	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	18.4	-	2.7	0.42	凹基、両面加工。先端、片脚欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0015	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	24.7	15.6	3.3	0.64	凹基、両面加工、片脚先端欠損。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0016	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	18.2	-	2.9	0.42	凹基、両面加工、片脚欠損。先端がややすぼまる。ていねいなくつくり。漆黒黒曜石
0017	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	15.4	13.2	3.3	0.36	凹基、両面加工。黒筋のある透明黒曜石
0018	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	31.5	-	4.5	(1.27)	凹基、細身、両面加工。先端がすぼまる。片脚欠損。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0019	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	21.5	16.5	5.0	1.22	凹基、両面加工。先端がすぼまる。素材の厚みが残る。灰色夾雑物が望む透明黒曜石
0020	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.2	0.47	凹基、やや細身、両面加工。両脚先端が欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0021	PJ-51	石鏃	チャート	3/4	28.1	-	4.8	(1.11)	大形、凹基、細身、両面加工。片脚欠損。暗灰色の灰色チャート
0022	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	(16.4)	-	2.2	0.26	凹基、両面加工。先端、片脚欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0023	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	(15.5)	13.7	2.8	0.43	凹基、片面加工。片面は縁辺研磨のみ。先端欠損。筋のある透明黒曜石
0024	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	23.4	-	2.9	0.38	凹基、やや長脚、両面加工、片脚欠損。先端がすぼまる。ていねいなくつくり。漆黒黒曜石
0025	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	17.0	9.0	3.0	0.40	両尖七音形石鏃の折損部を再研磨し、ミニチュア石鏃に転用か。微小な夾雑物が望む葛湯伏半透明黒曜石
0026	PJ-51	石鏃	石英岩	3/4	22.4	19.1	5.6	2.52	未成品。両面加工。先端欠損。裏りのある石英岩
0027	PJ-51	石鏃	チャート	3/4	21.4	-	4.0	0.73	凹基、両面加工。先端がすぼまる。片脚欠損。赤色不透明チャート
0028	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	-	12.4	2.3	0.22	凹基、両面加工。器体中央から先端部が大きく欠損。ていねいなくつくり。黒底のブルーブラック黒曜石
0029	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	(19.3)	14.2	3.0	0.50	凹基、両面加工。先端欠損。ていねいなくつくりの優品。黒筋のある透明黒曜石
0030	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	20.2	15.4	5.8	1.22	未成品。凹基、両面加工。素材の厚みが残る。片面に微塵。灰色黒曜石
0031	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	21.6	14.0	2.3	0.37	凹基、両面加工。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0032	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	20.0	10.8	2.9	0.40	凹基、細身、両面加工。先端がすぼまる。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0033	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	22.3	-	2.4	0.40	凹基、両面加工。片脚欠損。先端がすぼまる。透明黒曜石
0034	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	13.9	12.3	3.0	0.30	凹基、両面加工。片脚先端がわずかに欠損。黒底の透明黒曜石
0035	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	14.2	12.6	2.5	0.25	凹基、両面加工。先端がすぼまる。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0036	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	19.5	14.6	2.0	0.29	凹基、両面加工。片脚先端欠損。ていねいなくつくりの優品。透明黒曜石
0037	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	(14.2)	12.6	3.2	0.37	凹基、両面加工。先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0038	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	23.2	16.6	3.4	0.92	未成品。両面加工。先端欠損。透明黒曜石

PJ051 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0639	PJ-51	両縁石器	黒曜石	1/1	14.0	14.0	4.0	1.00	指爪大の薄い割片の二辺に衝撃割痕。基端伏透明黒曜石
0640	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	17.3	-	2.6	(0.39)	凹基、両面加工。両端先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0641	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	13.9	12.4	2.7	0.27	小形、凹基、両面加工。透明黒曜石
0642	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	18.1	13.9	2.7	0.36	凹基、両面加工。片面に素材割断面が大きく残る。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0643	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	16.1	-	3.2	(0.37)	凹基、両面加工。先端、片鋭欠損。透黒黒曜石
0644	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	20.8	-	4.1	(0.61)	凹基、両面加工。片鋭欠損。断面三角形の素材の厚みが残る。灰色半透明黒曜石
0645	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	14.7	10.9	2.9	0.28	小形、凹基、両面加工。夾雑物が望む透明黒曜石
0646	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	17.7	12.2	3.1	0.35	凹基、両面加工。基端伏半透明黒曜石
0647	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	15.5	12.5	3.1	0.28	凹基、両面加工。先端がすぼまる。黒底の透明黒曜石
0648	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	19.2	20.7	3.8	0.72	凹基、長脚、両面加工。鋭利部、割部に素材面が残る。透明黒曜石
0649	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	16.6	(13.0)	3.3	(0.55)	凹基、両面加工。両端欠損。黒底の透明黒曜石
0650	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	16.9	-	3.6	(0.46)	凹基、両面加工。片鋭欠損。基端伏半透明黒曜石
0651	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	23.1	(13.6)	3.3	(0.74)	凹基、片面加工。片面は縁辺調整のみ。表面が表面に薄く残る素材。種別なくつくり。黒底のブルーブラック黒曜石
0652	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	22.5	16.0	3.1	0.71	凹基、両面加工。ていねいなくつくりの微品。黒底のある半透明黒曜石
0653	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	22.7	-	2.2	(0.32)	凹基、両面加工。片面に素材割断面が残る。片鋭欠損。割部先端が突る。ていねいなくつくり。透黒黒曜石
0654	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	21.1	3.6	(0.99)	大形、凹基、両面加工。先端欠損。基部に鋭利割とつぶれ。使用痕か、ざらついた基端伏半透明黒曜石
0655	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.7	2.5	(0.33)	凹基、やや長脚、両面加工。先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0656	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	16.5	11.6	2.9	0.34	凹基、両面加工。片面に素材割断面、主割断面が残る。透明黒曜石
0657	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	18.0	18.3	4.7	1.46	未成品。両面加工。三角形が分る段階。内部にひび割れ。被熱か。基端伏半透明黒曜石
0658	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	20.0	14.7	6.2	1.12	未成品。両面加工。素材の厚みが残る。二等辺三角形の形状ができた段階。白筋のある透黒黒曜石
0659	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	20.6	15.6	5.8	1.42	未成品。両面加工。三角形ができた段階。基端伏半透明黒曜石
0660	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	24.7	-	4.7	(0.83)	断面三角形の縁がある割片素材。凹基、両面加工。片端先端欠損。見ようによってはミニチュア石鏃のよう。基端伏半透明黒曜石
0661	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	21.9	17.7	6.4	1.74	凹基、片面加工。片面は縁辺加工のみ。素材の厚みが残る。灰色半透明黒曜石
0662	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	18.0	11.4	2.2	0.40	未成品。凹基、薄い割片素材を縁辺のみ調整。片鋭欠損。種別なくつくり。黒底の半透明黒曜石
0663	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	14.7	11.5	3.0	0.34	小形、凹基、縁辺加工。片面縁辺のみを調整。素材の厚みが残る。種別なくつくり。透黒黒曜石
0664	PJ-51	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.3	(0.19)	凹基、両面加工。大形石鏃の片端のみを破片。基端伏透明黒曜石
0665	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	12.0	13.4	3.3	0.32	小形、凹基、両面加工。黒底のある透明黒曜石
0666	PJ-51	石鏃	珪質頁岩	-	-	-	6.0	(1.08)	鋒部のみの破片。使用痕は分からない。白筋のある青灰色珪質頁岩
0667	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	14.6	-	2.4	(0.20)	凹基、両面加工。片鋭欠損。透明黒曜石
0668	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	13.1	3.6	(0.67)	薄い割片素材の縁辺のみを調整。未成品か完成品かわからない。種別なくつくり。オシガラス状。被熱か。既入りの半透明黒曜石
0669	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	17.2	-	3.0	(0.50)	凹基、両面加工。片面に素材割断面が残る。割部が粗く未成品か。透明黒曜石
0670	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	18.3	22.0	5.5	1.97	未成品。ズリ面が残る割片素材。両面加工。三角形が分る段階。先端欠損。白色夾雑物が望む基端伏半透明黒曜石
0671	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	34.1	27.0	13.0	10.93	未成品。かなり厚みのある素材。黒底の半透明黒曜石
0672	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	18.4	19.0	6.3	1.69	未成品。先端折損。基部側から深い割痕が入り。先端が折損か。黒底の透明黒曜石

PJ051 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0673	PJ-51 土 サンプル①	石鏃	黒曜石	3/4	16.8	-	3.4	0.63	未成品、両面加工。三角形状が分かる段階。角部欠損。灰色夾雑物が定着する墓溝状半透明黒曜石
0674	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	22.6	-	3.2	0.61	大形、凹基、長脚、両面加工。片面に素材側面が残る。ていねいなくつくり、長軸方向で器体が大きく欠損。漆黒黒曜石
0675	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	18.4	-	2.7	0.38	凹基、両面加工。片面に破面が残る。片脚欠損。白筋のある漆黒黒曜石
0676	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	33.4	23.3	8.7	5.92	未成品、両面加工。大形品のプランク。白筋のある漆黒黒曜石。白筋が年輪状にみえるよう素材の加工を調整か。
0677	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	28.7	21.4	8.7	4.65	未成品。ズリ面が残る素材。墓溝状透明黒曜石
0678	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	15.0	11.6	2.5	0.45	未成品。凹基、細身、両面加工。先端と片脚欠損。漆黒黒曜石
0679	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	16.1	(12.9)	3.3	0.47	凹基、両面加工。先端、両脚先端欠損。種だなくつくり。白筋のある灰色半透明黒曜石
0680	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	18.8	17.2	4.3	1.00	未成品。両面加工。漆黒黒曜石
0681	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	20.6	16.4	4.8	1.00	凹基。片面加工。片面は縁辺調整のみ。素材の厚みが残る。未成品か。透明黒曜石
0682	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	(10.8)	-	2.2	0.20	小形、凹基、両面加工。先端先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0683	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	13.7	13.2	3.1	0.47	小形、平基。両面加工。漆黒黒曜石
0684	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.2	0.35	凹基、両面加工。両脚先端欠損。墓溝状透明黒曜石
0685	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	15.8	3.3	0.43	凹基、両面加工。先端欠損。ていねいなくつくり。灰色夾雑物が定着する黒戻り透明黒曜石
0686	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	17.5	-	3.2	0.40	凹基、両面加工。先端、片脚欠損。黒戻りのある半透明黒曜石
0687	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.3	0.62	大形、両面加工。基部欠損。調整粗く未成品か。白筋のある漆黒黒曜石
0688	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	19.9	17.2	7.8	1.80	未成品。基部側未調整で素材の厚みが残る。両面加工。漆黒黒曜石
0689	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.2	0.22	凹基。片面加工。片面に素材側面が大きく残る。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
0690	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.2	0.38	凹基、両面加工。片脚欠損。先端すぼむ。片面に素材側面が残る。漆黒黒曜石
0691	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.5	0.23	凹基、両面加工。先端、片脚欠損。墓溝状透明黒曜石
0692	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/1	21.7	15.8	6.8	2.19	未成品。反って厚みがある素材。墓溝状透明黒曜石
0693	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	15.9	10.5	3.2	0.58	未成品。凹基。縁辺調整のみ。先端に衝撃割。長軸方向に大きく欠損。墓溝状半透明黒曜石
0694	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	12.0	2.5	0.24	凹基、両面加工。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
0695	PJ-51 土 サンプル①	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.4	0.21	両面加工。先端のみの破片。黒戻りのある墓溝状透明黒曜石
0696	PJ-51	石鏃	黒曜石	-	-	-	1.8	0.11	凹基。両面加工。片脚のみの破片。黒戻りのある墓溝状透明黒曜石
0697	PJ-51	石鏃	黒曜石	-	-	-	0.06	0.06	小形。凹基。片脚のみの破片。白筋のある漆黒黒曜石
0698	PJ-51	石鏃	黒曜石	-	-	-	0.09	0.09	凹基。片脚のみの破片。透明感がない結晶性の黒曜石。神津島産か
1604	PJ-44 床下	石鏃	黒曜石	3/4	-	19.6	3.1	0.62	PJ44号住居床下出土。凹基、両面加工。先端欠損。赤褐色戻り黒曜石
1605	PJ-44 床下	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.78	PJ44号住居床下出土。未成品。片面加工。縁辺のみ両面調整。基部欠損。赤褐色戻り黒曜石
1609	PJ-44 床下	石鏃	黒曜石	3/4	19.5	-	5.0	0.69	PJ44号住居床下出土。凹基、両面加工。片脚欠損。黒戻り半透明黒曜石
3628	PJ-51	割断のある 剥片	黒曜石	1/1	-	-	-	4.70	破面が残る剥片の一端に微小割面。黒戻りのある墓溝状半透明黒曜石
3629	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	15.9	(12.9)	3.3	0.42	凹基、両面加工。片脚欠損。白色夾雑物が定着する黒筋のある透明黒曜石
3630	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	22.1	13.8	4.7	1.26	未成品。破面が残る剥片素材の縁辺を調整。二等辺三角形状が分かる段階。基部割折り取りもしくは折損。黒戻り半透明黒曜石
3631	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.84	未成品。三角形状ができた段階。先端欠損。黒戻り透明黒曜石
3632	PJ-51	両端石器	黒曜石	1/1	19.0	13.0	3.0	0.70	薄い破片の二辺に衝撃割。漆黒黒曜石

PJ051号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3633	PJ-51	石鏃	黒曜石	1/2	14.1	17.3	3.1	0.71	未成品。両面加工。基部残りの剥離中に大きく折損。放棄か。既入り葛湯伏半透明黒曜石
3634	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	-	(12.6)	2.6	(0.31)	凹釜。両面加工。先端、片欠損。ていねいなく作り。漆黒黒曜石
3635	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石					1.00	指爪大剥片の打面から調整剥離。葛湯伏半透明黒曜石
3636	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石					0.30	小さな剥片剥片の縁辺に調整剥離。透明黒曜石
3637	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	22.8	16.7	3.9	0.11	未成品。ズリ面が残る剥片素材の打面側へ裏裏から調整剥離。漆黒黒曜石
3638	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	19.6	13.6	3.0	0.77	未成品。ねじれのある剥片素材の縁辺のみを剥離。三角形ができた段階。雑造なつくり。漆黒黒曜石
3639	PJ-51	剥離のある 剥片	黒曜石					1.20	剥片に深い押圧剥離。剥片が折損。葛湯伏半透明黒曜石
3640	PJ-51	石鏃	黒曜石	3/4	15.0	14.6	3.3	0.55	未成品。正三角形の形状。基部と側部から剥離をはじめ、片脚が欠損。葛湯伏半透明黒曜石
4370	PT-905	石鏃	黒曜石	1/1	33.1	21.9	13.9	8.21	未成品。PT905号ビット出土。黒化剥離面が残る厚手の石核素材の片面側に調整剥離。三角形の形状が取れはじめた段階。葛湯伏半透明黒曜石
4371	PT-961	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.70	PT961号ビット出土。ズリ面がある厚手の破片の一边に調整剥離。両端石器の折損品か。葛湯伏透明黒曜石
4372	PT-975	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.30	PT975号ビット出土。破面が残る板状剥片の一边に調整剥離。黒既入りの半透明黒曜石
4373	PT-938	石鏃	珪質頁岩	1/1	32.0	40.0	6.0	8.60	PT938号ビット出土。刃部は片刃。刃部とつまみ部以外は素材無調整。白筋のある青灰色珪質頁岩
4375	PT-906	石鏃	頁岩	1/1	33.0	53.0	8.0	11.00	PT906号ビット出土。極長剥片素材。刃部は片刃。翼部は両面から調整。破面が黒化し使用度が分らないが、若手の刃こぼれがある。黄黒く黒化した暗青灰色頁岩
4377	PT-942	石鏃	チャート	3/4	20.9	13.7	2.4	0.50	PT942号ビット出土。凹釜。片面加工。片脚欠損。調整面で薄く割れた剥片素材。片面は縁辺調整のみ。青灰色チャート
4403	PT-1012	石鏃	珪質泥岩	1/1	33.7	16.9	8.4	4.05	未成品。PT1012号ビット出土。石核形。両側面が残る素材の両面から調整。明灰色の珪質泥岩。既入り石材か
8359	PJ-51	角器	泥岩	1/2				19.70	縦長素材の両側面に刃部。破面が黒化し使用度不明。黄色に黒化した暗青灰色泥岩
8417	PJ-51	石核	黒曜石					7.60	ズリ。漆黒黒曜石
8418	PJ-51	石核	黒曜石					7.60	黒化剥離面状の破面。葛湯伏透明黒曜石
8419	PJ-51	石核	黒曜石					8.30	黒化剥離面状の破面。剥離面縁部に摩耗あり。葛湯伏透明黒曜石
8420	PJ-51	石核	黒曜石					19.60	河川転石状の破面と黒化剥離面。大粒の夾雑物が置ける葛湯伏透明黒曜石
8421	PJ-51	石核	黒曜石					9.90	ズリ。縁のある葛湯伏透明黒曜石
8422	PJ-51	石核	黒曜石					9.40	ズリ。赤褐色既入り黒曜石
8423	PJ-51	石核	黒曜石					4.50	灰色の大粒球果が置ける。葛湯伏半透明黒曜石
8424	PJ-51	石核	黒曜石					4.30	ズリ面が残る。葛湯伏半透明黒曜石
8425	PJ-51	石核	黒曜石					22.90	西方から剥離。破面が残らない。葛湯伏半透明黒曜石
8426	PJ-51	石核	黒曜石					14.30	黒化剥離面状の破面が残る。葛湯伏透明黒曜石
8427	PJ-51	石核	黒曜石					5.80	ズリ面が残る。一边に微小剥離。打撃工具との接触痕か。白筋のある透明黒曜石
8428	PJ-51	石核	黒曜石					8.10	河川転石状の破面が残る。葛湯伏半透明黒曜石
8429	PJ-51	石核	黒曜石					6.10	ズリ面が残る。黒色系黒曜石
8430	PJ-51	剥片	黒曜石					11.90	ズリ面が残る末端肥厚剥片。剥片縁部に潰れ。透明黒曜石
8431	PJ-51	剥片	黒曜石					7.60	末端肥厚剥片。黒既入り透明黒曜石
8432	PJ-51	剥片	黒曜石					3.20	ズリ面が残る末端肥厚剥片。透明黒曜石
8433	PJ-51	石核	黒曜石					5.40	灰色既入り黒曜石。槍峰産?

PJ051 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
8434	PJ-51	石核	石英岩					12.00	結晶面が残る透明石英岩
8435	PJ-51	石核	石英岩					4.80	結晶面が残る透明石英岩
8436	PJ-51	剥片	石英岩					3.00	末端肥厚薄片、透明石英岩
8437	PJ-51	石核	石英岩					6.00	白色半透明石英岩
8438	PJ-51	石核	石英岩					7.90	アキタ状の線面が残る。白色半透明石英岩
10001	PJ-51 46	磨石類	安山岩類	3/4	(85.0)	72.0	48.0	653	P.51 号住居東壁沿い、PT03 号住居南側の床面出土。石盤型。平坦な二面に磨料。敲打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。側面二面にも敲打集中の凹み。長軸端部に割れ。被熱。黒変箇所あり。多孔質安山岩
10002	PJ-51 18	磨石類	安山岩類	1/1	100.0	93.0	51.0	594	P.51A 号住居中央の床面出土。平坦な一面が磨料。敲打痕。裏面と側面にも敲打痕。多孔質安山岩
10003	PJ-51 29	磨石類	安山岩類	1/1	92.0	79.0	42.0	412	P.51 号住居床面出土。平坦な二面に磨料。一面に敲打集中の凹み二ヶ所。側面二面は平地で敲打痕。多孔質安山岩
10004	PJ-51 23	磨石類	安山岩類	1/1	97.0	73.0	32.0	340	P.51A 号住居中央やや西寄りの床面で出土。使用減りして扁平。やや凸面状の平坦な一面は磨料に磨耗し。敲打痕あり。裏面の平坦な面には敲打集中の凹み二ヶ所。側面二面と長軸両端部に敲打痕。被熱し一面が黒変。多孔質安山岩
10005	PJ-51	磨石類	安山岩類	1/3	(58.0)	67.0	47.0	204	断面楕円形。両面に磨減と敲打集中の凹み。一側面に長軸石。長軸端部に敲打痕。多孔質の安山岩
10006	PJ-51	磨石類	花崗岩類	1/1	57.0	126.0	73.0	728	断面三角形の扉状の狭い縁面一面が珪礫石。長軸端部一面に敲打。
10007	PJ-51 20	磨石類	安山岩類	1/1	66.0	152.0	74.0	1,086	P.51A 号住居中央、床面出土。断面三角形の扉状。平坦面が平滑に磨料。狭い縁面一面が珪礫石。
10008	PJ-51	磨石類	安山岩類	1/1	106.0	60.0	35.0	276	断面楕円形。平坦な二面に敲打痕。多孔質安山岩
10009	PJ-51 68	ハンマー	砂岩類	1/1	127.0	38.0	21.0	176	P.51A 号住居西端、床面出土。棒状扉状の長軸端部に敲打による平坦面。細粒砂岩
10010	PJ-51	磨製石斧	蛇紋岩	1/2	(60.0)	(32.0)	11.0	31	刃部を欠損し、器体に割れ。割れが、表面に長軸に斜交する研磨痕。緑色。水色。乳白色の縦線様の蛇紋岩
10011	PJ-51 66	磨製石斧	蛇紋岩	3/4	59.0	(38.0)	11.0	35	P.51 号住居、PT05 号ビット西側の床面出土。破損した磨製石斧を研磨高さ。水色と乳白色の縦線様の蛇紋岩
10012	PJ-51 6F1	軽石製品	軽石	3/4	80.0	(66.0)	32.0	101	P.51A 号住居地床出土。P.55 号住居で類似した軽石製品が出土
10013	PJ-51 31	台石	安山岩類	不明	(232.0)	(167.0)	(97.0)	4,500	P.51 号住居 PT05 号ビット南西の床面出土。凹凸がある標面の凸部が顕著に磨料。
10014	PJ-51 70	台石	安山岩類	不明	(230.0)	(174.0)	(125.0)	5,500	円盤破片。平坦面にやや磨料あり。
10015	PJ-51 45	石皿	安山岩類	—				3,200	P.51 号住居 PT02 号住居上面の床面で出土。皿部に磨料。被熱して黒変、赤変した箇所あり。多孔質安山岩
10016	PJ-51 19	台石	安山岩類	不明				625	P.51A 号住居床面出土。平坦面が磨料。台石の一部とみられる破片。多孔質安山岩
10017	PJ-51 30	台石	安山岩類	不明				106	台石の一部と思われる剥片。平坦面が平滑に磨料。多孔質安山岩
10018	PJ-51	磨石類	安山岩類	不明				84	磨石類の一部とみられる破片。側面に敲打痕。平坦な二面に磨料あり。多孔質安山岩
10019	PJ-51	鏝	安山岩類	—				230	ハマグリ形をした扉状破片。わずかな磨料と敲打あり。薄い縁面に割れ。多孔質安山岩
10020	PJ-51 48	磨石類	砂岩類	1/2				418	断面三角形の棒状扉状。縁面が珪礫石。被熱。破砕。細粒砂岩
10021	PJ-51 17	台石	安山岩類	不明				1,750	P.51A 号住居床面出土。台石と思われる破片。平坦な二面にわずかな磨料。多孔質安山岩
10018	PJ-51 52	磨石類	安山岩類	1/3				149	P.51A 号住居出土。断面が三角形の円盤。平坦面に磨料と敲打集中の凹み。

PJ055 号住居

位置 : D-7 から E-7 グリッドにまたがる。PJ51 号住居を切り、PJ44 号住居に切られる。DK267 号土坑などの大形土坑はいずれも本住居より新しい遺構である。

規模 : 長軸推定 7.2m、短軸 5.9m の隅丸方形で、竪穴は深さ 35cm が残る。

埋土 : 暗褐色土がレンズ状に堆積する。埋土断面で、PJ51A 号住居が PJ55 号住居と PJ51 号住居より新しく、PJ55 号住居床面が PJ51 号住居埋土の上位に設けられていることが観察された。

床面 : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込み、床面としている。全体にやや硬く踏みまわっていた。

炉 : 住居の北壁寄り、支柱穴に挟まれた位置に浅いくぼみと焼土を検出した。これが地床炉と思われる。他にも床面が被熱、焼土化した箇所を検出した。これらには建替えられた古い段階の地床炉と想定されるものがある。

周溝 : 壁際に沿って小溝を検出した。一回り小さくめぐる小溝も検出した。

柱穴 : 少なくとも 4 組の柱穴の組み合わせが認識できる。

最も新しく大きなプランとなった居住期の柱穴は、PT928、937、891、923 号ピットの 4 基に PT1021、PT977 号ピットの 2 基が棟持柱風に付属する組み合わせと考えた。PT898 号ピットは柱痕が検出され、その位置から棟持柱に相当する可能性がある。

最新の居住期に 1 段階先行する居住期は、一回り内側にめぐる周溝と組み合わせり、PT978、1011、1003、993 号ピットの 4 基に PT1023、PT884 号ピットの 2 基が棟持柱風に付属する組み合わせと考えた。

2 段階先以上先行する居住期は、PT924、958、958b、1006 号ピットの 4 基の組み合わせと、PT1009、1026、992b、1005 号ピットの 4 基の組み合わせを考えた。これらの先後関係は不明である。

以上のほか PT1024 ピット、PT992 号ピットなども柱穴にふさわしい形状であるが、合理的な組み合わせを見出すことができなかった。

出土遺物 : 調査時に PJ51 号住居が新しいと判断して先行して発掘調査したが、埋土断面を観察する過程で PJ55 号住居が新しいと訂正した。このため PJ55 号住居に含まれるべき遺物が PJ51 号住居に混在することになった。

出土した土器の総量は 34,544g で、内訳は木島式 681g、中越式 8,166g、神ノ木式 8,374g、堂之上 Z 式 110g、有尾式 4,124g、諸磯式 2,075g、前期土器 10,091g などである。諸磯式は本住居と重複する土坑あるいは PJ44 号住居からの混入と思われる。

出土した石器は、石鏃 91 点、石匙 5 点、削器 12 点、石錐 6 点、両極石器 6 点、七首形石器 1 点、石皿 1 点、磨石類 10 点、磨製石斧 1 点、礫器 1 点、ハンマー 2 点、軽石製品 1 点、滑石製装身具 2 点、剥離のある剥片 15 点、黒曜石と石英岩などの石核 8 点、黒曜石原石 6 点、礫 6 点で、このほか黒曜石を主とする剥片 1,618 点 3,075g が出土した。

時期 : J55 号住居と PJ51 号住居は、それぞれが建替えを経ている。両住居で柱穴と認識したピットの出土遺物は、中越式・神ノ木式の段階と有尾式の段階とが混在し、両住居が時間的に先後しながら建替え、かつ重複したと推測される。最終的に埋土断面観察から PJ55 号住居の最新段階の建替えが最も新しいと判断した。

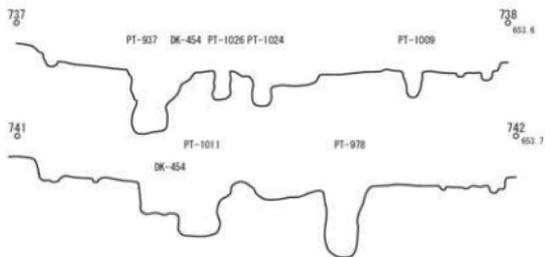
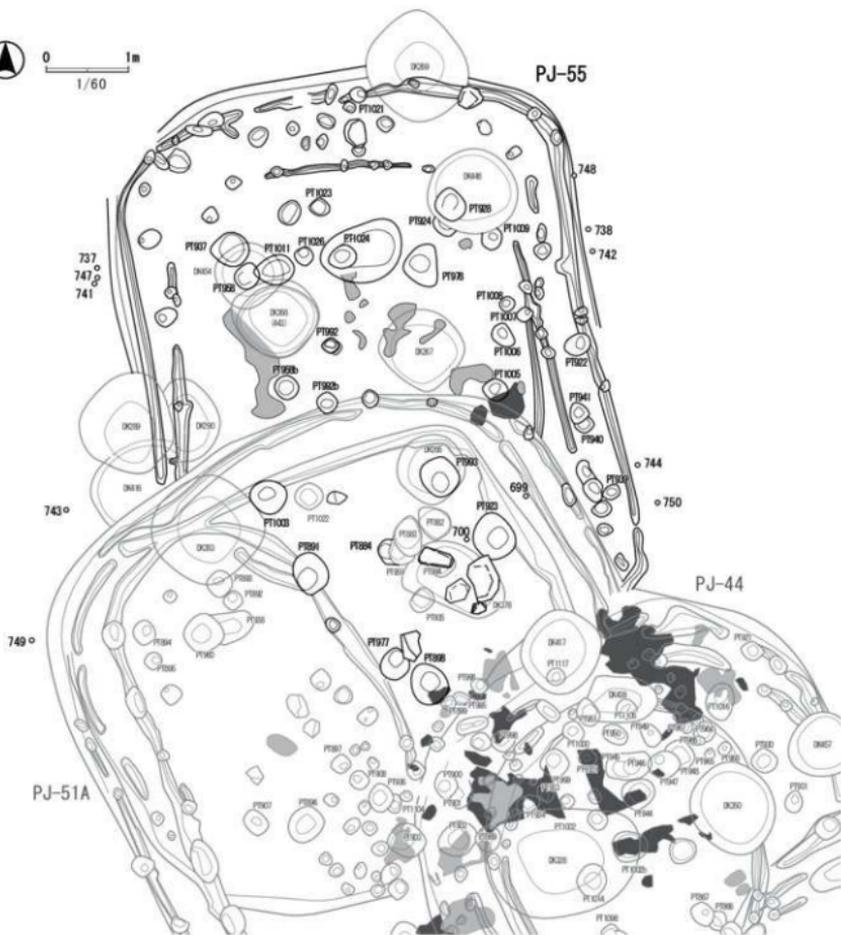
したがって PJ55 号住居は当初、神ノ木式を伴う中越式期に小形の住居が建築され、建替えを 3 回繰り返して大形化し、最新段階が有尾式期であったと思われる。

PJ055号住居 土坑ピット一覧表

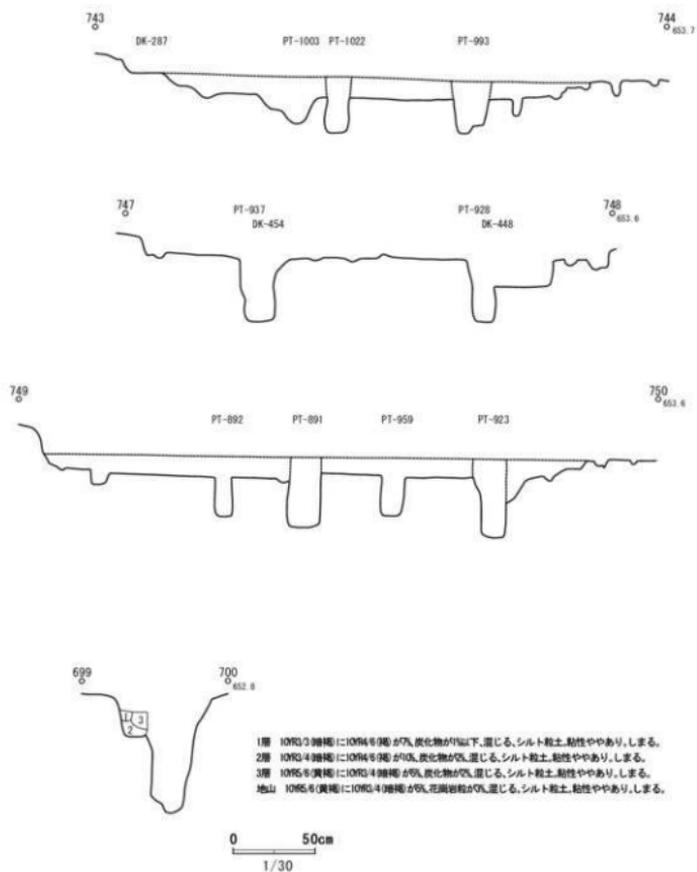
遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-884	51 住内	10	35	10YR3/2(黒褐)。	1段階先行する居住期の柱穴、P.61号住居柱穴PT999に切られる。
PT-891	51A 住北東壁	40	66	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	最新段階の柱穴、中越式?
PT-896	51 住内	25	47	10YR3/4(暗褐)。	最新段階の棟持柱か。中越式、神ノ木式、有尾式がまとまる
PT-922	55 住東壁	23×20	33	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	中越式
PT-923	51 住内	47	72	10YR3/3(暗褐)に10YR4/4(褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	最新段階の柱穴、神ノ木式、建礎式はDK70号土坑からの混入か。滑石製管玉、砂岩製石器
PT-924	55 住内	32	42	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	古い居住期の柱穴、DK48に切られる。神ノ木台式、堂之上2式、神ノ木式
PT-928	55 住内	33×30	70	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	最新段階の柱穴
PT-937	55 住内	30	83	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	DK64号土坑に切られる。最新段階の柱穴、中越式、神ノ木式、有尾式?
PT-939	55 住内	20×3	10		建礎式
PT-940	55 住内	15	18	10YR4/3(にない黄褐)に10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	木鳥式
PT-941	55 住内	20	24		
PT-958	55 住内	36	35	10YR2/3(黒褐)に炭化物が混入する。シルト粒土、ややしまる。	古い居住期の柱穴、DK64に切られる。
PT-958b	55 住内	30	20		古い居住期の柱穴
PT-977	51 住内	37×31	68	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	最新段階の柱穴、中越式土器破片まとまる。神ノ木式、磨石類
PT-978	55 住内	53	87	10YR3/3(暗褐)に10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	1段階先行する居住期の柱穴
PT-992	55 住内	19×14	50		
PT-992b	55 住内	25	30		古い居住期の柱穴
PT-993	51 住内	43	44	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(暗褐)が10%、炭化物が混入する。シルト粒土、ややしまる。	1段階先行する居住期の柱穴、中越式、神ノ木式
PT-1003	51 住北壁	39×45	30	10YR3/3(暗褐)に10YR3/3(にない黄褐)が10%混入する。シルト粒土、しまる。	1段階先行する居住期の柱穴、木鳥式、中越式
PT-1005	55 住内	26	33	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、しまる。	古い居住期の柱穴。
PT-1006	55 住内	20×28	43		古い居住地の柱穴、神ノ木台式併行、神ノ木式
PT-1007	55 住内	19×15	35		
PT-1008	55 住内	16	19		神ノ木式
PT-1009	55 住内	17×29	29		古い居住期の柱穴、神ノ木式
PT-1011	55 住内	35	66	10YR3/3(暗褐)に10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	1段階先行する居住期の柱穴
PT-1021	55 住内	11×14	66		最新段階の柱穴
PT-1023	55 住内	23	44	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	1段階先行する居住期の柱穴、中越式?
PT-1024	55 住内	30	47	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土、しまる。	有尾式?
PT-1026	55 住内	20×26	40		古い居住期の柱穴



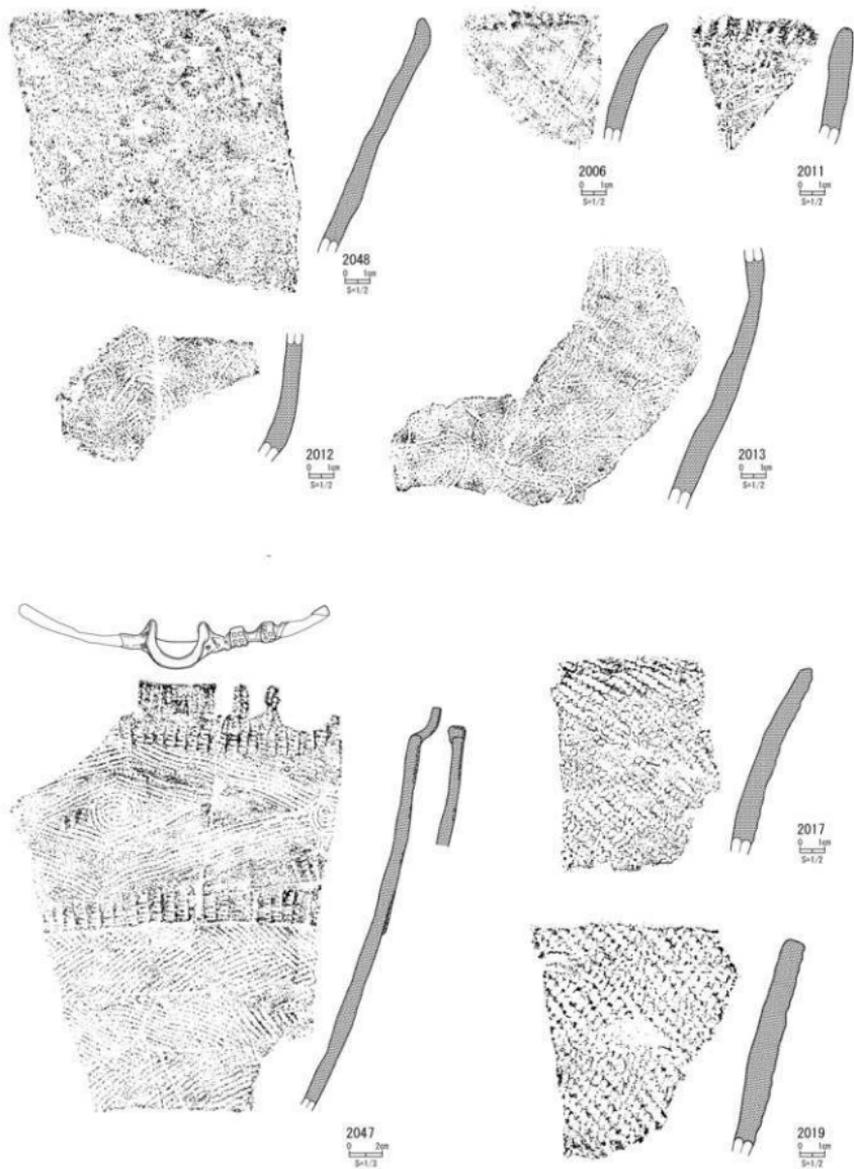
0 1m
1/60



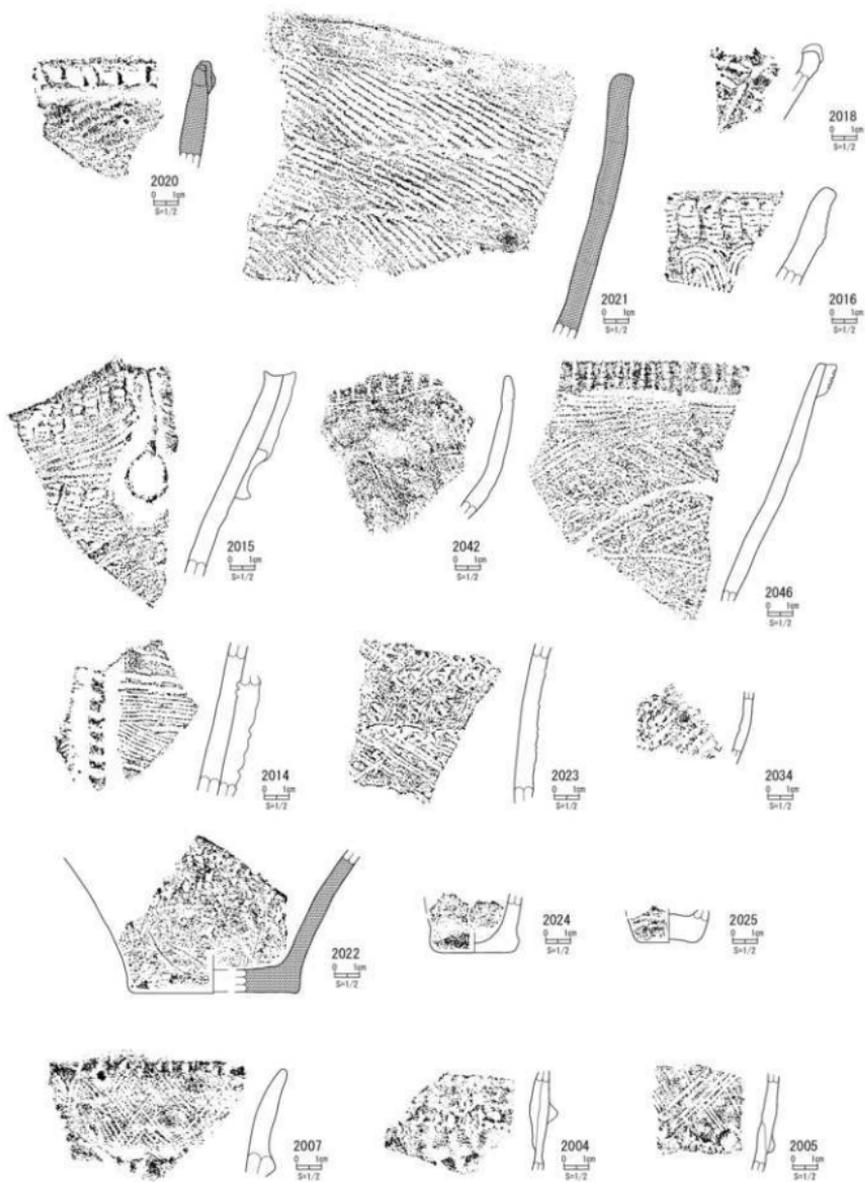
PJ055 号住居



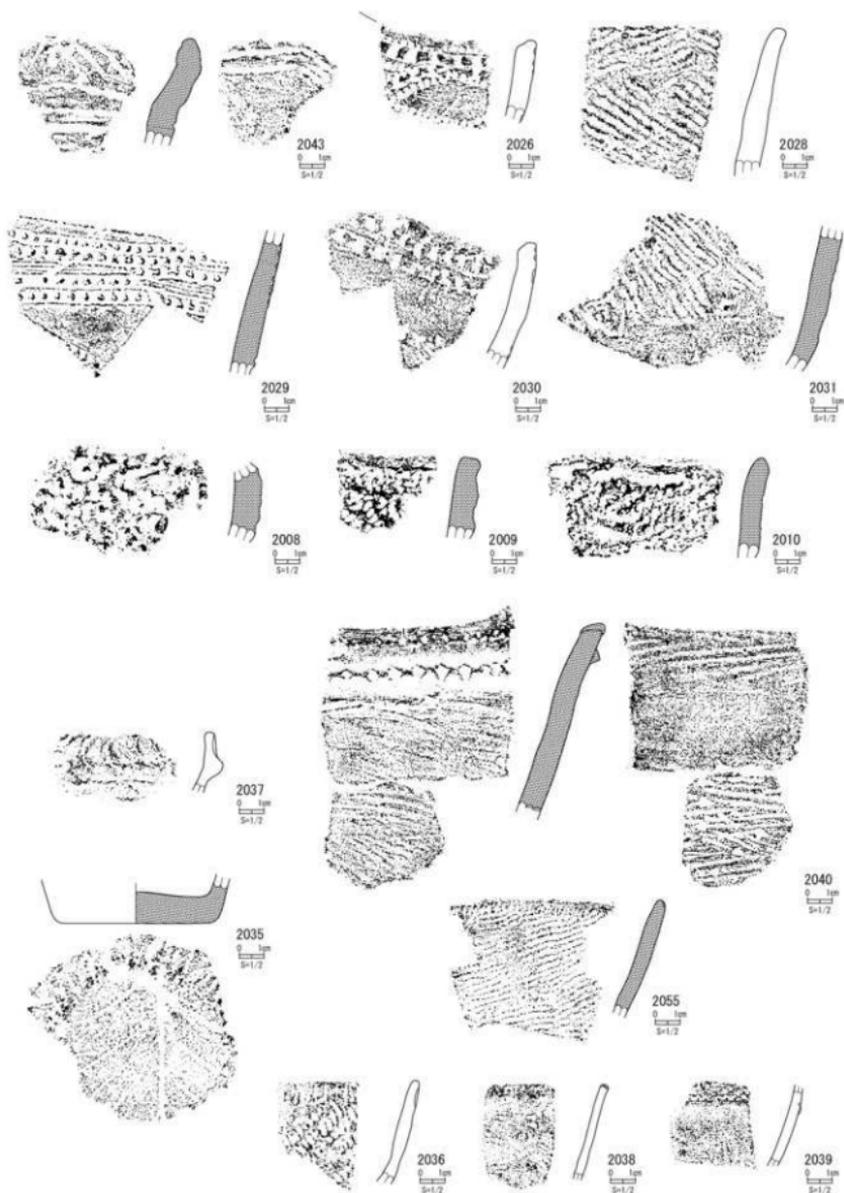
PJ055号住居



PJ055 号住居出土遺物



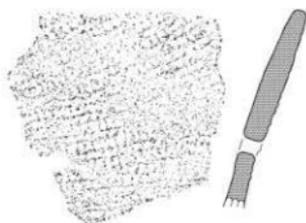
PJ055 号住居出土遺物



PJ055 号住居出土遺物



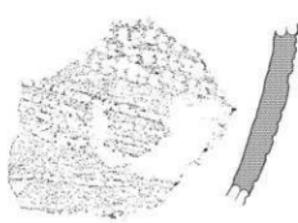
PT-898



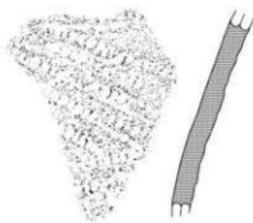
3070
0 1cm
S=1/2



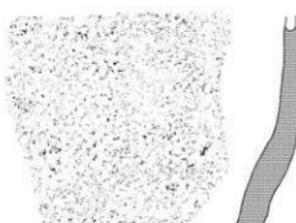
3071
0 1cm
S=1/2



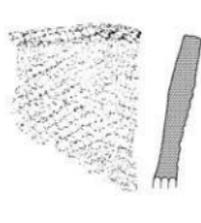
3072
0 1cm
S=1/2



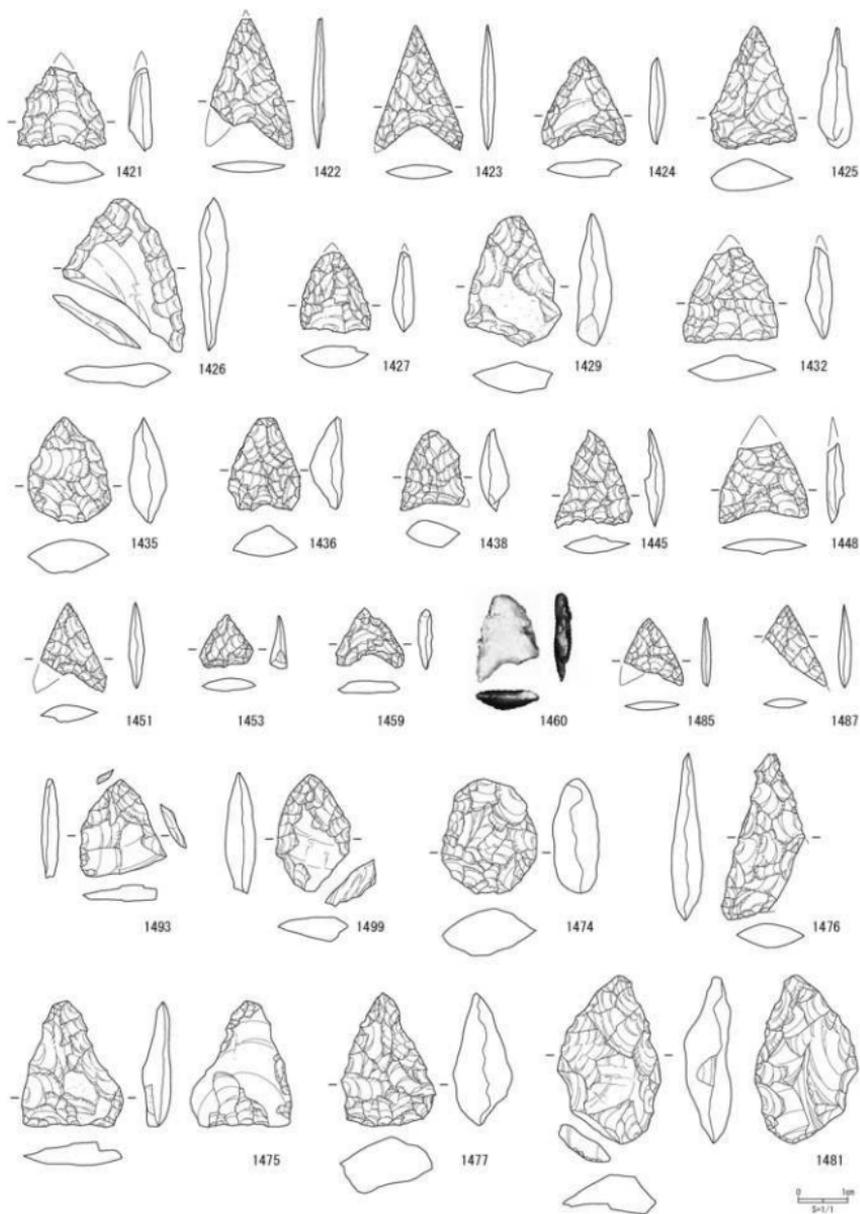
3073
0 1cm
S=1/2



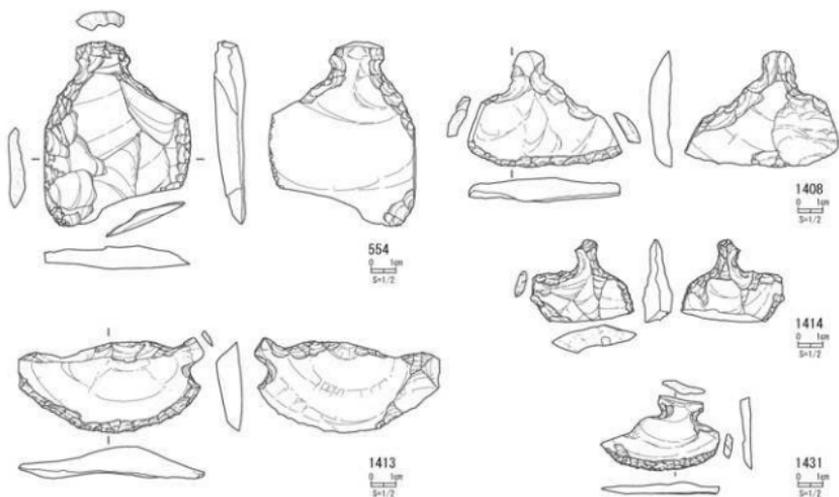
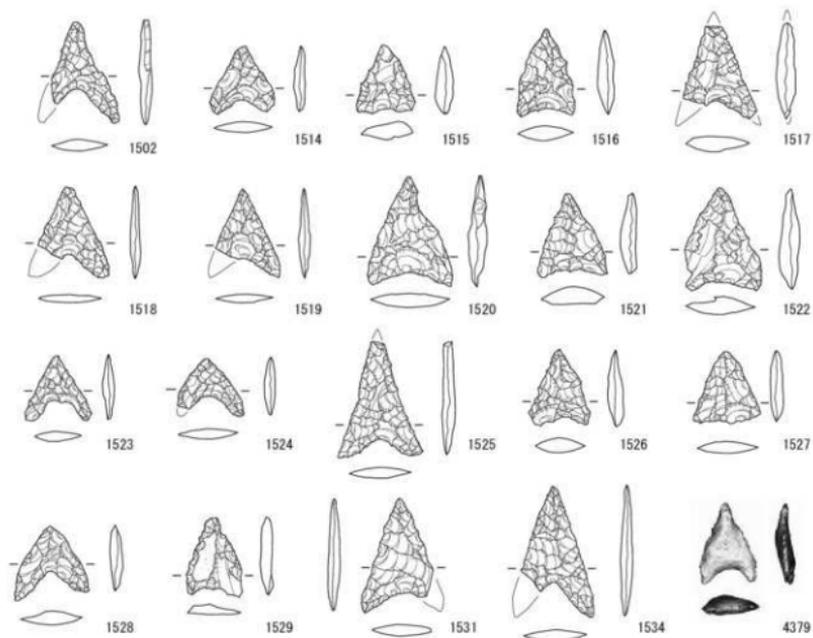
3074
0 1cm
S=1/2



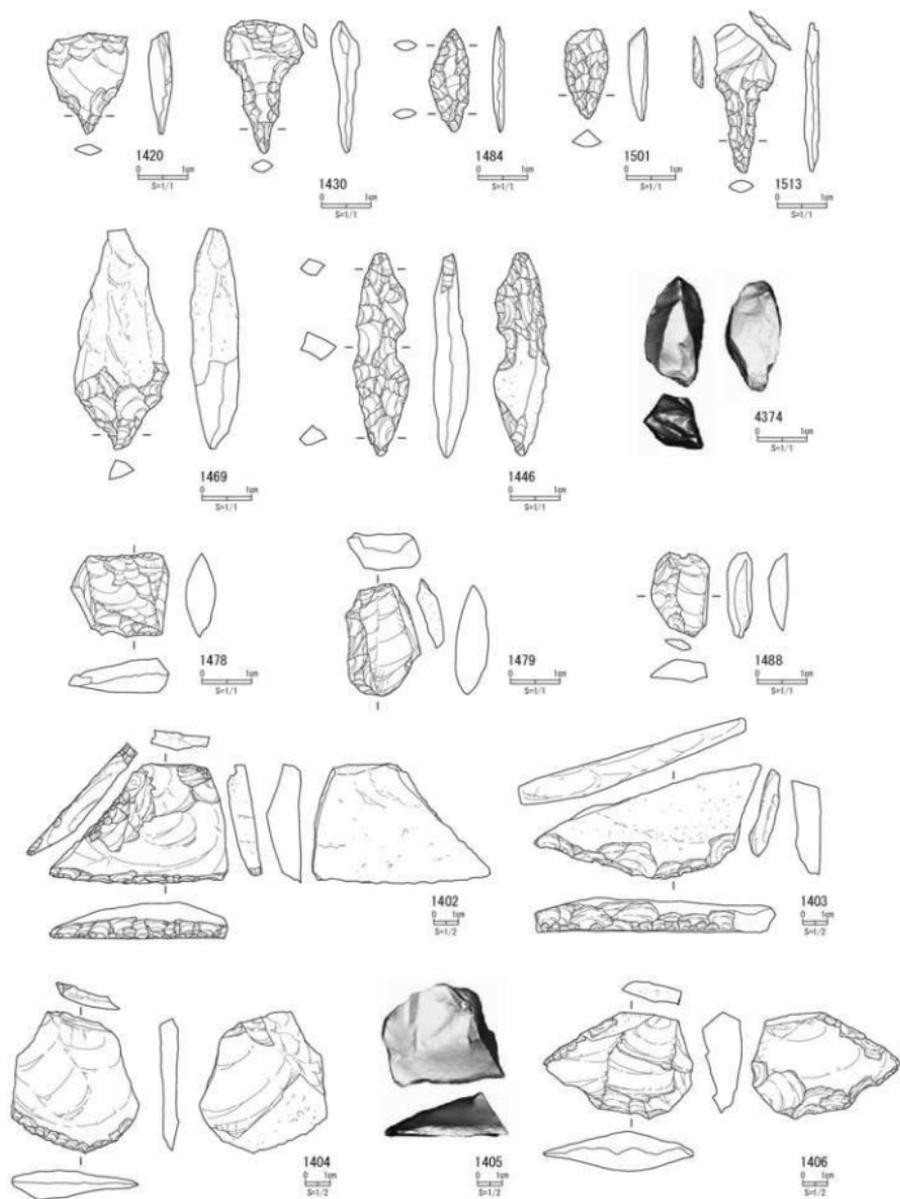
PJ055 号住居出土遺物



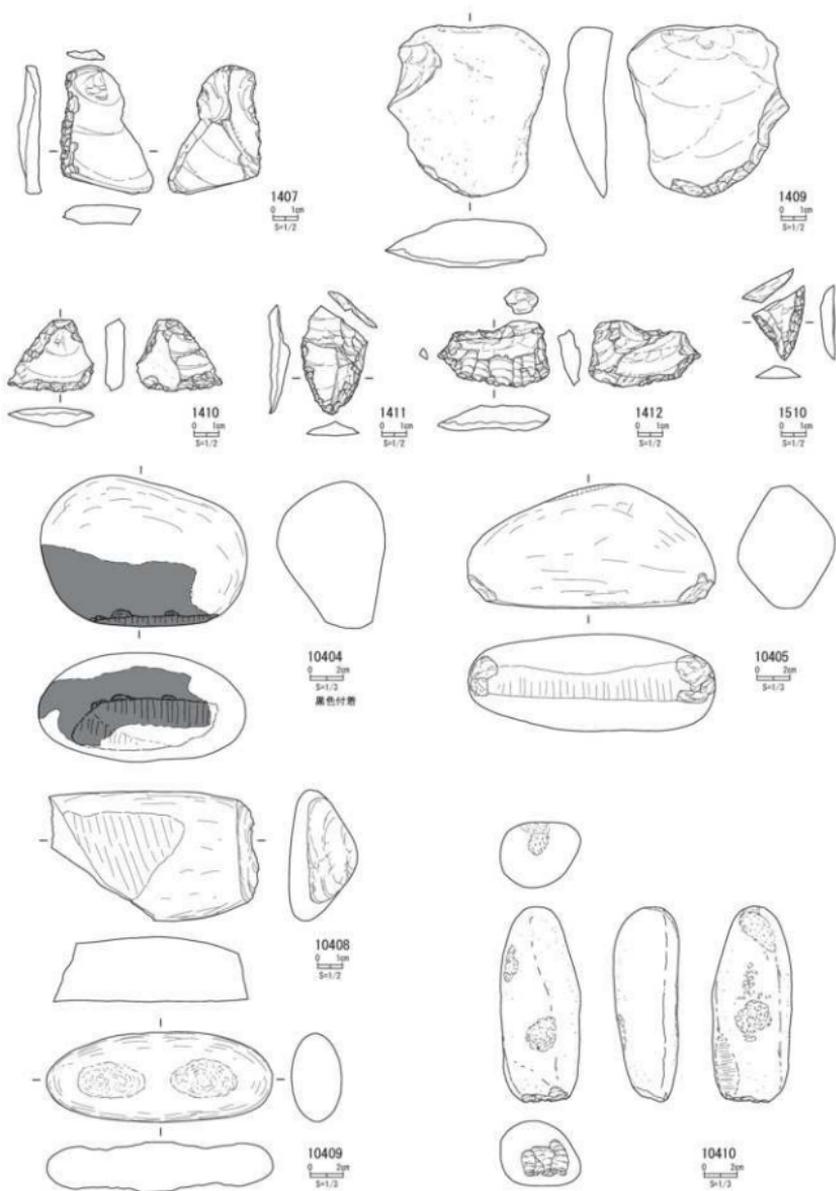
PJ055 号住居出土遺物



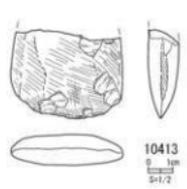
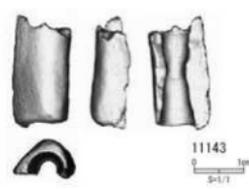
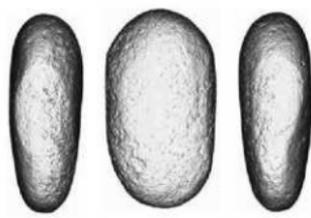
PJ055 号住居出土遺物



PJ055 号住居出土遺物



PJ055 号住居出土遺物



11141
0 2mm
S=1/4

11143
0 1mm
S=1/1

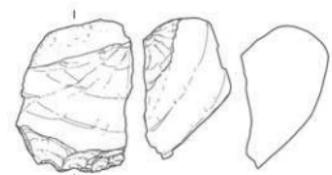
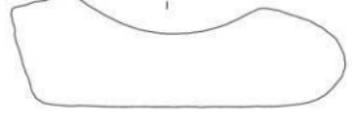
10413
0 1mm
S=1/2



10412
0 1mm
S=1/2



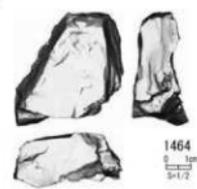
10403
0 2mm
S=1/4



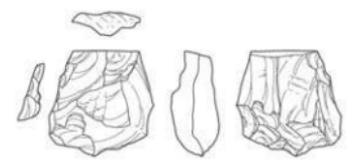
1400
0 2mm
S=1/3



1401
0 2mm
S=1/3

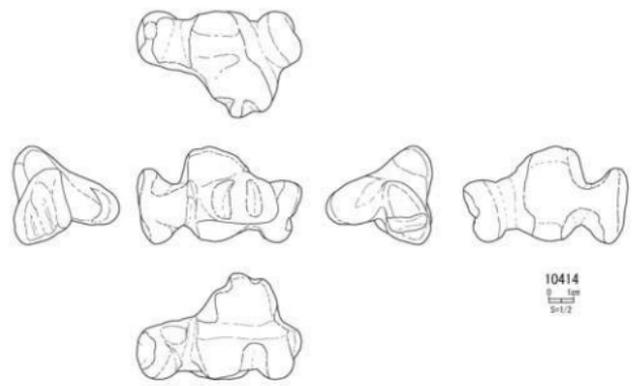
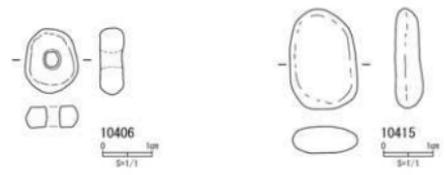
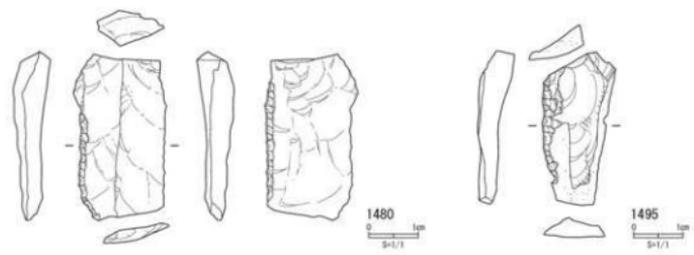
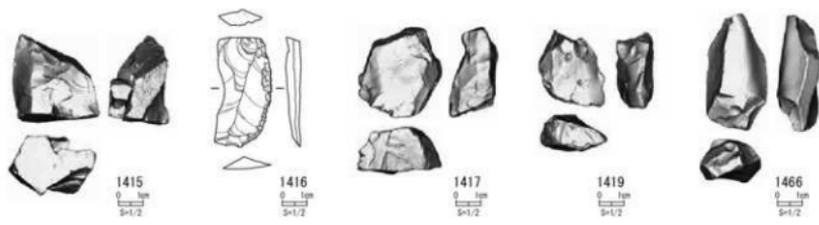


1464
0 1mm
S=1/2



1482
0 1mm
S=1/1

PJ055 号住居出土遺物



PJ055 号住居出土遺物

PJ055 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口徑の縦	器高の横	底径の厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2004	PJ-55	胴部				29.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	割み降帯の上位に格子目条線。下位は指張圧痕が目立つヨコナデ。内面は接合痕が無調整に残る。胎土に繊維を含まない。木炭式
2005	PJ-55	胴部				14.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	口縁部に磨歯状工具の格子目文。肥厚帯下部に割み。内面は接合痕と指張圧痕。胎土に繊維を含まない。木炭式
2006	PJ-55	口縁部				26.0	破片	7.5YR6/7 7.5YR4/3	口唇部割み。口縁部は格子目文。内面は指張圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中越式
2007	PJ-55	口縁部				41.0	破片	5YR6/6 7.5YR6/6	口唇部割み。口縁部は磨歯状工具の格子目文。割み降帯。内面は指張圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。器壁は6mm。木炭式
2008	PJ-55	胴部				22.0	破片	7.5YR3/1 5YR5/6	末端覆付純文。内面はいいいミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。陶山式
2009	PJ-55	口縁部				14.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR3/2	平壇な口唇部。末端覆付純文？内面はいいいミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。陶山式
2010	PJ-55	口縁部				24.0	破片	5YR5/4 7.5YR3/2	外面純文。内面はヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。陶山式？
2011	PJ-55	口縁部				17.0	破片	5YR5/6 10YR4/3	口唇部割み。格子目文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2012	PJ-55 PJ-55 12	胴部				64.0	破片	2.5YR6/8 7.5YR5/6	平行沈線の絞行文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式併行
2013	PJ-55	胴部				103.0	破片	5YR6/6 7.5YR3/1	平行沈線の絞行文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式併行
2014	PJ-55	胴部				30.0	破片	7.5YR6/6 5YR4/3	垂下降帯。磨歯状工具の割突と条線文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2015	PJ-55 8	口縁部 ～胴部				50.0	破片	5YR4/3 7.5YR3/2	波状口縁。垂下降帯と内形降帯文。降帯上縁の波頂部が円形にへこむ。口縁部に割突と条線文。下位にみずかな純文？内面は指張圧痕が残る。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2016	PJ-55	口縁部				31.0	破片	5YR5/4 7.5YR4/2	平壇な口唇部。磨歯状工具をやや弱らした割突文。下位にコンパズ文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2017	PJ-55 49	口縁部				55.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR2/1	口唇部から外面に純文。内面は指張圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2018	PJ-55	口縁部				5.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	2本の小さな突起がある口唇部。網目状絡状体圧痕。内面は横ナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2019	PJ-55 32	口縁部 ～胴部				74.0	破片	7.5YR6/6 5YR4/4	口唇部から外面に純文。内面は指張圧痕がやや残るナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。神ノ木式
2020	PJ-55	口縁部				23.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	肥厚する口唇部に磨歯状工具の条線文を施し、縁部の短隆線を貼り付け。下位にみずかな純文施文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
2021	PJ-55 34, DK-267	口縁部 ～胴部				163.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	波状口縁。口縁上端はヨコナデした無文帯。下位に純文施文。内面は横ナデ調整。胎土に繊維をわずかに含む。神ノ木式
2022	PJ-55	胴部 ～底部			(注 8)	33.0	破片	10YR3/1 5YR4/4	外面は磨歯状工具の割突文。内面は指張圧痕が残る。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
2023	PJ-55, PJ-51	胴部				36.0	破片	5YR5/4 5YR4/2	末端覆付か結帯のある純文原形？内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2024	PJ-55	胴部 ～底部			3.6	21.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR4/2	ミニチュア土器形。胎土に繊維を含まない。
2025	PJ-55	胴部 ～底部			2.5	12.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/4	ミニチュア土器形。胎土に繊維を含まない。底面はやや上げ底風。
2026	PJ-55 PJ-51	口縁部				44.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/4	波状口縁。磨歯状工具の割突文と竹管押引き文で変形文様を描く。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有尾式
2027	PJ-55	口縁部				13.0	破片	2.5YR4/4 7.5YR2/1	竹管の押し引き平行沈線。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まず。金歯帯が目立つ。膝離り式。土坑からの遺入か
2028	PJ-55	口縁部				45.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	結帯のある羽状純文。内面は接合痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。有尾式
2029	PJ-55	胴部				47.0	破片	5YR6/8 2.5YR5/6	波状口縁に変形文のある土器の口縁部破片。竹管押引き文。内外面ともていいいミガキ調整。胎土に繊維を含む。有尾式
2030	PJ-55	口縁部				38.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	波状口縁。竹管を深く刺突し深く押し引きした押引き文。内面はいいいミガキ調整。胎土に繊維を含む。有尾式

PJ055 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	高さ cm	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2011	PJ-55	胴部					48.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR7/6	縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
2022	PJ-55	口縁部	(A0.0)				166.0	破片	5YR3/3 5YR3/3	平口縁。竹管平行沈線を施す。底、下位には割れた木の葉文が、内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。踵壁a式新段階か
2033	PJ-55 41	胴部					198.0	破片	2.5YR3/4 5YR3/4	丸味のある鉢形器。木の葉文と縄文地文。外面に赤彩がわずかに残る。内面ナミガキ調整。胎土に繊維を含まない。踵壁a式新段階か
2034	PJ-55	胴部					5.0	破片	7.5YR5/3 5YR2/1	ミニチュア土器破片。縄文。胎土に繊維を含まない。
2035	PJ-55 43	胴部～ 底部			(6.6)		65.0	破片	5YR6/6 5YR5/6	底部外面に爪形文。底面木葉文。胎土に繊維を少量含む。堂之上2式
2036	PJ-55	口縁部					11.0	破片	5YR2/2 5YR5/4	口縁部に爪形文。下位に縄文。内面ヨコナデ調整。器壁は6mm。胎土に繊維を含まない。堂之上2式
2037	PJ-55	口縁部					11.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	隆帯が広がる口縁部に爪形文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。堂之上2式
2038	PJ-55	口縁部					6.0	破片	5YR2/1 7.5YR5/3	口唇部に割み。器面が磨滅し縄文が剥落文が半割できない。内面は指頭圧痕が目立つ。器壁は3mm以下と薄手。胎土に繊維を含まない。
2039	PJ-55	胴部					9.0	破片	10YR5/3 10YR3/1	口縁部近くの破片。わずかに肥厚する口縁部に貝殻敷縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。器壁は4mm。胎土に繊維を含まない。上広式
2040	PJ-55 33	口縁部 ～胴部					100.0	破片	2.5YR5/6 5YR4/4	波状口縁。肉ばった口唇部の外面端内に割み。口唇頂部に隆帯添付（割がけ）。口唇に平行する斜め隆帯。外面隆帯下位と内面に横位条状文。器壁は10mm程度。胎土に繊維を含む。神之木台式
2042	PJ-55	胴部					26.0	破片	5YR5/6 5YR4/3	底部近い破片か。爪形文と沈線。外面には指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式と堂之上2式の折衷か
2043	PJ-55	口縁部					22.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	小波状口縁。押引文（口縁部の内外面に施文。胎土に繊維を少量含む。有尾式か
2046	PJ-55、PJ-55 12、 PJ-55 20、PJ- 51 9P、DK-454、 D-7-10	口縁部					506.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	PJ55号住居地床学周辺で破片が出土。肥厚口縁に磨滅剥落。口縁部は磨滅条状文と羽状の略状。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2047	PJ-55 17、PJ-55 16、PJ-55、PJ-51	口縁部 ～胴部					1,105.0	破片	5YR5/6 7.5YR6/6	PJ55号住居東壁近い、床面から10cm深いで破片が出土。注ぎ口状の突起と突起の小突起。口縁部から胴部への移行部に肥厚帯状の段差。口縁部と段差部に磨滅剥落。その間に磨滅条による変形文と渦巻文。段差の下位は紐節状縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
2048	PJ-55 31、PJ-55、 PJ-51、DK-270	口縁部 ～胴部					451.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR4/3	DK98号土坑南側。床面出土。内外面とも指頭圧痕が顕著で凸凹あり。胎土に繊維を含む。中趾式
2055	PT-1006	口縁部	-	-	-		29.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR3/3	丸い口唇部の外面角部に爪形割み。外面斜縄文。内面ヨコナデ調整。器壁は5.5mmと薄手。胎土に繊維を含む。有尾式
3070	PT-698	口縁部					76.0	破片	5YR4/4 5YR4/4	斜縄文。口縁部内面にも縄文地文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
3071	PT-696	胴部					75.0	破片	5YR4/4 5YR5/6	竹管押引文と連点状剥落文。内面はていねいなヨコナデミガキ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
3072	PT-696	胴部					46.0	破片	5YR5/6 5YR4/4	剥落文を菱形構成に施文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
3073	PT-698	胴部					135.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	斜縄文。キャリナー器形の胴部下半部か。内外面とも輪郭み痕が残る。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
3074	PT-698	口縁部					177.0	破片	5YR5/6 5YR4/4	菱形構成と思われる縄文。口唇部にも縄文。内面ヨコナデミガキ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式

PJ055号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0554	PJ-51 54	石匙	珪質頁岩	3/4	72.0	62.0	12.0	50.30	PT096号ピット上、床面出土。打面と側面に磨面、二辺に刃部。一辺は片刃、もう一辺は両刃。片刃側面に刃こぼれ。つまみに近い側の磨面、稜縁上に磨粒あり。刃部側には磨粒がみられない。白磁のある灰色の珪質頁岩。搬入石材
1400	PJ-55 23	鏃器	砂岩	1/2	90.0	70.0	54.0	321.60	DK07号土坑下の焼土面上で出土。重角稜割片の縁辺部に刃部残存。磨理面が大きく削れ。白磁の磨理面がある青灰色珪質砂岩
1401	PJ-55 7	石核	珪質頁岩	1/1	99.0	90.0	42.0	364.40	地床炉北側。埋土下層出土。板状素材の石核。特定交互層由来のホルンフェルス
1402	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	49.0	72.0	14.0	55.20	角稜面をもつ板状稜長片素材の一边に刃部。白磁のある青灰色珪質頁岩
1403	PJ-55	鏃器	安山岩類	1/1	48.0	92.0	13.0	52.20	板状磨理の安山岩素材。鏃器には珍しい石材利用
1404	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	3/4	52.0	53.0	12.0	29.30	円稜面が残る割片素材の一边に刃部
1405	PJ-55	鏃器	頁岩	1/1	42.0	46.0	14.0	28.50	円稜面が残る割片の縁辺に刃部。風化して使用痕不明
1406	PJ-55	鏃器	泥岩	1/1	60.0	43.0	15.0	38.50	打面に円稜面が残る割片素材の一边に顕微鏡状の刃部。黄褐色に風化した泥岩
1407	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	37.0	51.0	8.0	16.60	打面と側縁の一部に重円稜面が残る割片の一边に刃部。裏面には刃こぼれ。背面磨理縁は明確に磨粒。緑青灰色珪質頁岩。被熱あり?搬入石材か
1408	PJ-55	石匙	頁岩	3/4	47.0	62.0	10.0	25.10	黄色のききな粉状に風化した泥岩
1409	PJ-55 5	鏃器	頁岩	3/4	68.0	73.0	18.0	102.90	地床炉北側。埋土下層出土。円稜面が大きく残る素材の縁辺に刃部。風化して使用痕不明
1410	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	34.4	29.9	7.5	7.63	石髄未成品のような三角形。刃部に磨面がみられることから鏃器とした。円稜面が残る素材。青灰色珪質頁岩。搬入石材か
1411	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	43.0	2.7	7.0	6.50	稜長割片素材の二辺に刃部。裏面に刃こぼれ。白磁のある青灰色珪質頁岩
1412	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	44.5	26.6	9.8	12.99	稜長割片素材の一边に刃部。側縁の突出箇所は石核として使用。磨理に磨面。白磁のある青灰色珪質頁岩
1413	PJ-55	石匙	泥岩	1/1	39.0	74.0	11.0	31.80	稜長割片の縁辺に刃部。風化して使用痕は不明。黄色いききな粉状に風化した泥岩
1414	PJ-55	石匙	珪質頁岩	1/2	-	-	13.0	10.90	刃部は磨理面で折損もしくは折り取り? 青灰色珪質頁岩。被熱あり?搬入石材か
1415	PJ-55	原石	黒曜石					26.10	角稜ズリ。白磁のある濃黒黒曜石
1416	PJ-55	原石	黒曜石					18.20	角稜ズリ。濃濃状透明黒曜石
1417	PJ-55	原石	黒曜石					23.60	角稜ズリ。白磁のある濃黒黒曜石
1418	PJ-55	鏃器	珪質頁岩	1/1	44.0	23.0	6.0	5.90	円稜面を打面にもつ稜長割片の側縁に刃部。刃部に磨減あり。緑青灰色のある灰色珪質頁岩。搬入石材か
1419	PJ-55	原石	黒曜石					12.70	一発コア。河川産石。白色夾雑物が显じる濃濃状透明黒曜石
1420	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	1/1	20.0	11.0	4.0	1.40	親指爪大の小さな割片に磨面を作出。先端欠損。白磁のある青灰色珪質頁岩
1421	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	-	17.9	4.7	1.13	未成品。凹基。両面加工。基部に深き帯状凹縁が入って先端を欠損か。黒斑の半透明黒曜石
1422	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	3/4	27.6	-	2.7	0.80	凹基。両面加工。先端、片側欠損。基部に磨減あり。黒点がある暗緑灰色珪質頁岩。搬入石材か
1423	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	3/4	25.3	(17.5)	3.5	(0.96)	凹基。両面加工。片側先端欠損。青灰色珪質頁岩
1424	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	1/1	16.4	17.1	3.8	0.90	凹基。両面加工。片面の基部に磨減あり。白磁のある青灰色珪質頁岩
1425	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	3/4	24.7	17.1	7.1	2.23	未成品。基部側面素材の厚みが残る。先端は片面が磨理面で欠損。両面加工。白磁のある青灰色珪質頁岩
1426	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	1/2	31.6	24.4	5.4	2.73	石髄未成品。縁辺加工。白磁のある青灰色珪質頁岩
1427	PJ-55	石鏃	珪質頁岩	3/4	(16.9)	14.0	4.9	(1.00)	未成品。平基。両面加工。先端欠損。白磁のある青灰色珪質頁岩
1428	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	15.8	17.0	6.8	1.25	未成品。凹基。両面加工。三角形部分が欠ける段階。素材の厚みが残る。濃濃状透明黒曜石
1429	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	25.9	19.1	6.9	2.73	未成品。両面加工。素材の厚みが残る。薄った灰色の黒曜石
1430	PJ-55 1	石鏃	珪質頁岩	1/1	27.0	15.0	6.0	1.50	鏃部につぶれ状の使用痕。青灰色珪質頁岩

PJ055 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見	
1431	PJ-55	石匙	珪質頁岩	1/1	30.0	47.0	4.0	5.10	打面に窪面が残る楕長片素材。打面窪面に光沢がある微小磨滅痕。黄灰色と緑灰色の珪質頁岩。	
1432	PJ-55	石匙	玉髓	3/4	18.7	19.1	5.8	1.82	平基、両面加工。先端欠損。未成品か。褐色珪入りの黄褐色透明感のある玉髓。珪入石材	
1433	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	21.4	(17.6)	3.9	(1.03)	凹基、両面加工。片脚先端、片脚欠損。縁辺調整が粗く未成品か。黒縁のある半透明黒曜石	
1434	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	-	-	2.2	(0.31)	凹基、長脚。両面加工。片脚。先端欠損。白色夾雑物が望むる薄黒黒曜石	
1435	PJ-55	石匙	黒曜石	1/1	21.4	16.5	7.4	2.15	未成品。素材の厚みが残る。両面加工。暗茶褐色珪入りの黒曜石	
1436	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	18.3	14.3	6.8	1.41	未成品。素材の厚みが残る。凹基。両面加工。半透明黒曜石	
1437	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	-	-	2.2	(0.28)	小形。凹基。両面加工。先端。片脚欠損。透明黒曜石	
1438	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	16.5	(17.8)	5.4	(0.88)	小形。凹基。両面加工。未成品か。薄薄状半透明黒曜石	
1439	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	17.8	(13.1)	6.9	(1.09)	凹基。両面加工。片脚欠損。素材の厚みが残る。灰色夾雑物が望むる薄薄状半透明黒曜石	
1440	PJ-55	石匙	黒曜石	1/1	14.9	11.8	2.5	0.51	未成品。小形。薄い削片の縁辺を片面から調整し三角形状をつくり出した段階。粗雑な調整。透明黒曜石	
1441	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石					1.50	窪面が残る剥片の打面縁辺に調整剥離。微小な免状を含む半透明黒曜石	
1442	PJ-55	石匙	黒曜石	1/2	-	-	3.2	(0.56)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。ていねいなつくり。黒縁のある透明黒曜石	
1443	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	17.4	-	3.2	(0.43)	凹基。両面加工。片脚欠損。基部調整がやや粗く未成品か。透明黒曜石	
1444	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	14.8	(14.2)	3.6	(0.58)	凹基。両面加工。両脚欠損。縁辺調整が粗く未成品か。透明黒曜石	
1445	PJ-55	石匙	黒曜石	1/1	19.4	15.7	4.2	0.75	凹基。両面加工。未成品か。半透明黒曜石	
1446	PJ-55	七首形石器	黒曜石	3/4	41.0	11.0	6.0	2.40	狭りのある七首形石器。片脚先端を棒として使用。磨料痕あり。縁辺部につぶれ。黒底の半透明黒曜石	
1447	PJ-55	石匙	黒曜石	-				(0.10)	両面加工。脚部先端?の小破片。透明黒曜石	
1448	PJ-55	石匙	黒曜石	1/2	-	18.4	3.6	(0.79)	凹基。両面加工。先端欠損。薄った灰色の黒曜石	
1449	PJ-55	石匙	黒曜石	1/2	-	-	2.9	(0.27)	脚部が先端かわからない小破片。両面加工。黒底の透明黒曜石	
1450	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	16.0	-	2.5	(0.32)	凹基。両面加工。片脚欠損。透明黒曜石	
1451	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	17.8	-	3.6	(0.45)	凹基。両面加工。片脚欠損。薄った灰色の黒曜石	
1452	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	-	-	2.6	(0.39)	凹基。船身。両面加工。先端。両脚先端欠損。透明黒曜石	
1453	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	10.9	(10.9)	3.6	(0.29)	小形。平基。両面加工。未成品か。基部側へ厚みが残る。黒底の薄薄状半透明黒曜石	
1454	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	19.2	-	2.6	(0.35)	凹基。両面加工。両脚欠損。黒縁のある透明黒曜石	
1455	PJ-55	石匙	黒曜石	3/4	(19.4)	-	3.5	(0.57)	未成品。薄い削片素材の縁辺を調整。三角形状をつくり出した段階。黒底の透明黒曜石	
1456	PJ-55	石匙	黒曜石	-				(0.08)	両面加工。先端が基部かわからない小破片。透明黒曜石	
1457	PJ-55	石匙	黒曜石	1/2	19.2	-	2.3	(0.30)	凹基。両面加工。片脚が大きく欠損。ていねいなつくりの良品。黒縁のある透明黒曜石	
1458	PJ-55	石匙	黒曜石	-				2.4	(0.21)	凹基。両面加工。器体平分欠損。黒縁のある透明黒曜石
1459	PJ-55 エサ シンプル①	石匙	黒曜石	3/4	(12.2)	13.4	3.1	(0.33)	小形。凹基。両面加工。先端欠損。灰色夾雑物がある透明黒曜石	
1460	PJ-55 エサ シンプル②	石匙	下呂石	3/4	18.3	-	3.3	(0.65)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。先端がつぶれ。石種に転用か	
1461	PJ-55 エサ シンプル③	石匙	黒曜石	1/2	-	14.7	2.6	(0.47)	凹基。両面加工。先端が大きく欠損。黒底の透明黒曜石	
1462	PJ-55 エサ シンプル④	石匙	黒曜石	3/4	19.4	(15.3)	4.4	(0.87)	未成品。凹基。両面加工。両脚欠損。透明黒曜石	
1463	PJ-55	石核	黒曜石	3/4				10.60	角縁ズリ面が残る。白底のある薄黒黒曜石	
1464	PJ-55	石核	黒曜石					34.80	角縁ズリ面が残る。白底のある薄黒黒曜石	
1465	PJ-55	石核	黒曜石					12.80	河川転石。薄黒黒曜石	
1466	PJ-55	擦石	黒曜石					19.20	風化剥離面状の窪面に覆われる。薄薄状半透明黒曜石	
1467	PJ-55	石核	黒曜石	1/1				9.60	風化剥離面状の窪面。白色夾雑物が望むる薄薄状半透明黒曜石	

PJ055 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1468	PJ-55	原石	黒曜石					11.20	角縁ズリ。板状。漆黒黒曜石
1469	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	45.0	19.0	10.0	8.70	原石を素材にして鏃部を作出。鏃部につぶれ。漆黒黒曜石
1470	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				6.00	角縁ズリ面が残る素材の縁辺に微小な剥離。白筋のある漆黒黒曜石
1471	PJ-55	石核	黒曜石	1/1	22.0	24.0	9.0	5.80	河川紀石面のある板状素材の縁辺に調整剥離。同様打法的な衝撃剥離。石鏃 ブランク？ 黒筋のある透明黒曜石
1472	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				4.40	鏃面と黒化剥離面で覆われた素材に部分的な調整剥離。黒筋のあるブ ルーブラック黒曜石
1473	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.90	河川紀石面のある板状素材の縁辺に微小剥離。透明黒曜石
1474	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	22.6	18.6	9.0	4.10	未成品。両面加工。漆黒黒曜石
1475	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	26.0	20.9	5.6	2.22	未成品。片面は磨削加工のみの段階。墓溝状半透明黒曜石
1476	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	33.0	15.5	6.7	2.40	未成品。両面加工。片削削が大きく欠損。墓溝状透明黒曜石
1477	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	26.6	19.1	10.0	4.23	未成品。両面加工。白筋のある半透明黒曜石
1478	PJ-55	両楯石器	黒曜石	1/1	16.0	19.0	7.0	2.10	両楯に衝撃剥離。黒筋の透明黒曜石
1479	PJ-55	両楯石器	黒曜石	1/1	22.0	15.0	8.0	2.50	両楯に衝撃剥離。黒筋の半透明黒曜石
1480	PJ-55	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/2				4.30	縦長剥片の二辺に刃こぼれ状の微小剥離。白筋のある灰色珪質頁岩
1481	PJ-55	石鏃	石英岩	1/1	33.8	20.4	8.3	5.75	未成品。両面加工。素材の厚みが残る。透明な石英岩
1482	PJ-55	石核	石英岩	1/1				4.70	鏃面が残る透明な石英岩
1483	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/2	13.0	-	3.1	(0.19)	小形。凹基。両面加工。片削削が大きく欠損。黒筋のある半透明黒曜石
1484	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	20.5	7.9	2.9	0.40	両楯に鏃部。透明黒曜石
1485	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	13.8	-	2.2	(0.20)	小形。凹基。両面加工。片削欠損。灰色肌透明黒曜石
1486	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.7	(0.41)	凹基。軸身。両面加工。両面欠損。透明黒曜石
1487	PJ-55 オース ンブル	石鏃	石英岩	1/2	-	-	2.9	(0.27)	両面加工。基部削削が大きく欠損。ていねいなつくりの製品。透明な石英 岩
1488	PJ-55	両楯石器	黒曜石	1/1	16.0	12.0	5.0	0.90	鏃面が残る素材の両面に衝撃剥離。黒筋の透明黒曜石
1489	PJ-55	石鏃	黒曜石	2/3	28.5	14.8	3.5	1.90	未成品。両面に鏃面が残る薄い板状素材の縁辺に調整剥離。深い凹削 削。三角形をつくり出した段階。器体1/3が欠損。漆黒黒曜石
1490	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/2	15.0	-	2.6	(0.31)	凹基。両面加工。片削削が大きく欠損。基部えぐりは浅い。透明黒曜石
1491	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	(23.4)	-	3.2	(1.01)	未成品。薄い剥片素材に縁辺部から調整。三角形をつくり出した段階。 片削削が大きく欠損。漆黒黒曜石
1492	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	20.6	17.1	4.5	1.59	未成品。両面加工。三角形をつくり出した段階。基部削削が欠損。透明 黒曜石
1493	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	19.7	17.2	3.5	1.02	未成品。薄い剥片素材の両面に調整剥離を始めた段階。灰色がかった 半透明黒曜石。押す角度か？
1494	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	24.7	19.6	6.7	2.36	未成品。鏃面が残る断面三角形の剥片素材に縁辺から調整剥離。三角形 状をつくり出した段階。黒筋の半透明黒曜石
1495	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1				2.10	未成品。鏃面が残る短冊状剥片の縁辺に微小剥離。白筋のあるブ ルーブラック黒曜石
1496	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	21.9	18.0	5.8	2.09	未成品。角縁ズリ面がわずかに残る剥片素材。両面加工。凹基。これと いった欠損はみられないが厚みが残るから放棄か。漆黒黒曜石
1497	PJ-55	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.7	(0.27)	凹基。両面加工。先端。片削欠損。黒筋のある透明黒曜石
1498	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石					0.60	鏃面が残る薄い剥片の縁辺に調整剥離。片縁は折れ。黒筋のある墓溝状 半透明黒曜石
1499	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	23.1	14.6	6.3	1.68	未成品。縁辺加工の段階。白色夾雑物が多く重く塗った灰色黒曜石
1500	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	19.7	14.9	4.6	0.97	未成品。両面加工。軸身。欠損部位はみられないが形状不良のため放棄 か。微小な夾雑物が望む墓溝状半透明黒曜石
1501	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	18.1	9.0	4.1	0.58	鏃面が残る小さな素材に鏃部を作出。使用痕は分からない。透明黒曜石
1502	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	20.2	-	2.5	(0.37)	凹基。長楯。両面加工。片削欠損。先端片縁欠損。透明黒曜石

PJ055 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1503	FJ-55	両縁石器	黒曜石	1/1	24.0	19.0	5.0	2.00	破面が残る薄い割片の両縁に衝撃割痕。一辺に刃こぼれ。黒底の半透明黒曜石
1504	FJ-55	割縁のある割片	黒曜石	1/1				1.30	破面が残る割片素材の薄い一辺に狭り状の小割痕。微小な突起が並ぶ透明黒曜石
1505	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	(16.3)	-	4.1	(0.62)	未成品。凹基、両面加工。片脚欠損。白粉のある漆黒黒曜石
1506	FJ-55	割縁のある割片	黒曜石	1/2				0.80	薄い割片素材の二辺に微小割痕とつぶれ。石鏃未成品かも。黒底のある半透明黒曜石
1507	FJ-55	割縁のある割片	黒曜石					1.10	薄い割片の一辺に微小割痕。厚みのある一辺に衝撃割痕。黒褐色斑の半透明黒曜石
1508	FJ-55	割縁のある割片	黒曜石					1.20	片面に破面が大きく残る割片素材の縁辺に調整割痕。一辺は折れ。石鏃ブランクか。緑のある半透明黒曜石
1509	FJ-55	割縁のある割片	珪質頁岩					1.10	薄い割片素材。一辺は折れ。一辺に微小割痕。黄灰色の珪質頁岩
1510	FJ-55	舟器	珪質頁岩	-				2.70	割片の一辺に刃部。裏面は調整割痕なし。暗青緑のある灰褐色珪質頁岩。搬入石材か
1511	FJ-55 マサ ンブル①	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.1	(0.18)	大きな石鏃の脚部とみられる破片。両面加工。透明黒曜石
1512	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	19.6	14.2	4.5	1.05	未成品。横長割片素材の側面から調整割痕。透明黒曜石
1513	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	30.0	12.0	3.0	0.70	先端欠損。使用痕は分からない。透明黒曜石
1514	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	(13.3)	12.6	2.6	(0.27)	小形。凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
1515	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	14.0	11.8	4.1	0.47	片面に破面が残る割片素材。凹基。片面加工。夾雑物が並ぶ濁った灰色黒曜石
1516	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	17.9	12.2	3.9	0.55	凹基。両面加工。透明黒曜石
1517	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	(18.5)	-	4.2	(0.66)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。灰色夾雑物が並ぶ透明黒曜石
1518	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	19.1	-	2.2	(0.34)	凹基。両面加工。片脚欠損。黒底のある透明黒曜石
1519	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	18.1	-	2.4	(0.27)	凹基。両面加工。片脚欠損。丹念なつくりの製品。透明黒曜石
1520	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	22.4	16.8	4.4	0.87	凹基。両面加工。先端縁辺欠損。灰色夾雑物。黒底のある透明黒曜石
1521	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	17.2	13.8	3.5	0.58	凹基。片面加工。裏面に風化した割痕面が広く残る。透明黒曜石
1522	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	21.1	15.7	4.5	0.85	凹基。両面加工。片脚欠損。縁辺加工が粗く未成品か。白色夾雑物が並ぶ霧濺状透明黒曜石
1523	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	13.1	13.3	2.8	0.21	小形。凹基。長脚。両面加工。透明黒曜石
1524	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	11.7	-	2.4	(0.19)	小形。凹基。長脚。両面加工。片脚先端欠損。透明黒曜石
1525	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	(23.5)	17.7	3.2	(0.65)	凹基。細身。両面加工。先端欠損。ていねいなつくり。透明黒曜石
1526	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	15.4	(15.9)	3.6	(0.48)	小形。凹基。両面加工。黒底の半透明黒曜石
1527	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/1	14.4	13.0	3.1	0.39	小形。平基。両面加工。欠損した先端を再加工したか。基部のみ調整が粗い。透明黒曜石
1528	FJ-55 マサ ンブル②	石鏃	黒曜石	1/1	14.6	14.7	2.9	0.33	凹基。長脚。両面加工。霧濺状透明黒曜石
1529	FJ-55 マサ ンブル③	石鏃	黒曜石	1/1	15.9	11.7	2.0	0.30	ズリ面が残る薄い割片素材の縁辺を調整しただけの石鏃。凹基。裏面は基部のみ調整。漆黒黒曜石
1530	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/2	-	14.4	3.4	(0.50)	凹基。両面加工。先端。両脚先端欠損。微小な夾雑物が並ぶ透明黒曜石
1531	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	23.2	-	2.8	(0.59)	凹基。両面加工。片脚欠損。ていねいなつくり。黒底のある霧濺状半透明黒曜石
1532	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.7	(0.58)	両面加工。先端部のみ破片。片面に小さな破面が残る。透明黒曜石
1533	FJ-55	石鏃	黒曜石	1/2	-	15.2	3.1	(0.50)	未成品。凹基。片面は縁辺のみ加工。先端欠損。微小な夾雑物が並ぶ透明黒曜石
1534	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	26.0	-	2.5	(0.55)	凹基。細身。両面加工。片脚欠損。丹念なつくりの製品。漆黒黒曜石
1535	FJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.3	(0.46)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。ていねいなつくり。黒底の半透明黒曜石
1536	FJ-55	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.2	(0.20)	凹基。両面加工。片脚のみ破片。黒底のある透明黒曜石
1537	FJ-55	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	0.31	未成品。薄い割片素材の縁辺に調整を始めた段階。漆黒黒曜石
4374	PT-104	両縁石器	黒曜石	1/1	23.0	13.0	10.0	2.80	厚手の破片の二辺に衝撃割痕。透明黒曜石

PJ055号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
4380	PI-903	石槌	黒曜石					14.00	PI903号ビット出土。板状の角縁より断面に数枚の準層。白灰のある葛湯伏半透明黒曜石
4421	PI-1009	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.90	断面三角形の剥片の縁辺に微小割痕。灰色球粒状の夾雑物が混じる葛湯伏半透明黒曜石
4968	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/2				0.78	未成品。三角形状が分かる段階。器体1/2が欠損。葛湯伏半透明黒曜石
4969	PJ-55	石鏃	黒曜石	3/4	-	12.5	2.6	(0.25)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
4970	PJ-55	石鏃	黒曜石	1/2				1.19	未成品。両面加工。三角形状が分かる段階。器体1/2が欠損。灰色不透明黒曜石
4971	PJ-55	剥離のある 剥片	黒曜石					0.50	縁面が残る剥片の一边に微小割痕。透明黒曜石
4972	PJ-55 ナサ ンブル①	石鏃	黒曜石	-				(0.12)	両面加工。片削みのみの小破片。透明黒曜石
4973	PJ-55 ナサ ンブル②	石鏃	黒曜石	1/2	(15.4)	(10.5)	2.6	(0.30)	凹基。両面加工。細身。両脚欠損。黒縁のある透明黒曜石
4974	PJ-55 ナサ ンブル③	石鏃	黒曜石	1/2	(16.2)	(11.8)	2.3	(0.40)	凹基。両面加工。先端、両脚欠損。厚くていまいなつくり。黒縁の透明黒曜石
4379	PI-898	石鏃	黒曜石	1/1	17.3	11.6	3.4	0.43	凹基。両面加工。先端がすぼまる。片面に素材剥離面が残る。黒縁入りの半透明黒曜石
4381	PI-978	両縁石器	黒曜石	1/1	15.0	15.0	7.0	1.30	縁面が残る厚身の剥片の二辺に重割割痕。葛湯伏半透明黒曜石
10403	PJ-55 40	石皿	安山岩類	1/1	(296.0)	(280.0)	95.0	9.500	住居を西角部。埋土層で出土。縁辺欠損。多孔質安山岩。北西に隣接する30x25号土坑の埋土層と同じ高さで出土しており、埋土状態の発露とした土坑に伴う遺物かもしれない。
10404	PJ-55 10	磨石類	花崗岩類	1/1	128.0	87.0	70.0	1.038	円縁の一边が磨石状。PI1021号ビット東側。床面からやや浮いて出土
10405	PJ-55 27	磨石類	安山岩類	1/1	59.0	154.0	76.0	965	PI1011号ビット南側。埋土層で出土。全面が風化。磨痕。縦磨。長軸両端に割れ。
10406	PJ-55	鎌身具	滑石	1/1	12.0	12.0	5.0	1	孔がある平玉状の製品。研磨磨痕面が残るが、全体により磨かれている。穿孔部は縦方向の糸痕。緑青灰色の滑石
10407	PJ-55 45	鏃	花崗岩類	1/1	118.0	102.0	82.0	1.316	丸石状の円縁。狭い平断面がやや磨痕
10408	PJ-55 19	磨石類	砂岩類	-	83.0	54.0	(31.0)	166	PI978号ビット東側。床面出土。断面三角形の棒状断面円縁。平坦な面が磨痕。長軸端部が割れ。細粒砂岩
10409	PJ-55 9	磨石類	安山岩類	1/1	137.0	54.0	39.0	363	住居北側。埋土層で出土。平坦な面に射打痕中にやや磨痕なくぼみが長軸方向に2ヶ所ずつ並ぶ。片面は磨痕あり。
10410	PJ-55 18	ハンマー	緑色岩類	1/1	118.0	48.0	40.0	373	PI978号ビット東側。床面出土。棒状断面円縁の各所に鋭い射打痕。長軸片端にも射打痕。反対側縁部は割れ。
10411	PJ-55 24	鏃	砂岩類	1/1	75.0	134.0	45.0	660	茎角部の平坦でやや湾曲した面が磨痕。細粒砂岩
10412	PJ-55 3	ハンマー	頁岩	3/4	(93.0)	44.0	16.0	92	PI1026号ビットとPI924号ビットの間。床面で出土。扁平な茎円縁。平坦な面に鋭い射打痕中に磨痕なくぼみが長軸方向に並ぶ。側面端にも射打痕
10413	PJ-55	磨製石斧	緑色岩類		(34.0)	46.0	(13.0)	31	刃部のみ破片。灰色に変色。被熱か。もしくは緑色岩以外の石材か
10414	PJ-55	軽石製品	軽石	1/1	66.0	42.0	43.0	56	動物形または土器形か
10415	PJ-55	鏃	頁岩	1/1	12.0	12.0	6.0	3	小さな扁平円縁。全体に光沢が生じるほど磨痕
10416	PJ-55 39	磨石類	砂岩類					726	断面三角形の茎角縁。平坦面がやや厚く。二枚が縁磨石面。細粒砂岩
10417	PJ-55	磨石類	安山岩類	1/2				123	扁平円縁形。側面と長軸縁部に射打痕。多孔質安山岩
10419	PJ-55	磨石類	安山岩類					41	扁平円縁形磨石の破片。
10420	PJ-55	磨石類	安山岩類					383	断面三角形の茎角縁。縁が縁磨石状。
10421	PJ-55	鏃	砂岩類	-				75	扁平棒状の茎角縁の破片。形状からハンマーか。細粒砂岩
10422	PJ-55 50	鏃	砂岩類					31	棒状の茎角縁の破片。形状からハンマーか。細粒砂岩
10423	PJ-55 44	鏃	安山岩類					1.492	扁平円縁。平坦な面がやや磨痕。台石破片か。多孔質安山岩
11141	PI-977 器-1	磨石類	安山岩類	1/1	167.0	83.0	60.0	1.397	PI977号ビット出土。楕円形。平坦な面に磨痕。側面2面に縁磨石状。多孔質安山岩
11142	PI-903	磨石類	砂岩類	-				67	PI903号ビット出土。扁平。角柱状の茎角縁。平坦面が磨痕。磨痕は細粒砂岩。被熱変色
11143	PI-903	管玉	滑石	-	(22.0)	(11.0)	(5.0)	2	PI903号ビット出土。淡緑色の滑石製。両側から穿孔。孔内に緑変色。

PJ47号住居

位置: G-3 グリッドに位置する。前期のPJ49号住居、PJ67号住居、M2号溝跡と重複する。住居西壁に重複する275A号土坑は近世以降の遺構である。

規模: 本住居は南側で前期遺構と重複し、遺構確認時に平面形を把握できなかった。壁面も容易には分ならず、炭化材と焼土の出土状況をみながら少しずつ掘り広げて、土のしまり具合のわずかな違いから想定した。掘り下げ作業が進行し、遺物出土位置、柱穴位置から推測される規模は、4.2m径の円形もしくはやや楕円形である。ただし、この大きさについては壁面の検出が難しかったことから確証が得られなかった。堅穴は深さ45cmが残る。

埋土: 黒褐色の埋土が主体で、壁際では不明瞭ながら三角堆積が観察された。埋土下層と床面直上には炭化材と焼土層が堆積し、北壁沿いでは断片的ながら炭化材が放射状に検出されたこと、焼土層は厚さが一定で水平に堆積していること、床面で出土した土器に被熱痕が認められたことから、本住居は焼失住居と判断した。

床面直上には土壌化して漆黒土となった炭化材と焼土が混在する3層が堆積し、3層の上位に焼土主体の2層が10cm程度に一定した厚さで水平に堆積している。1層は炭化材と焼土粒子を少量含む黒褐色土で、大半の土器と石器、礫はこの層で出土した。

炭化材は一部を除いて、漆黒の土壌に分解されていて、床面上に漆黒のシミが広がっているような状況であった。北壁際には断片的ながらも、はっきりと放射状の配列を保った炭化材が出土し、壁に沿って焼土が検出された。北壁沿いでは1点のみであるが壁と平行に出土した炭化材片が認められた。

床面: 地山が暗褐色土から黄褐色土へ変化する漸移層の高さが床面である。南側はPJ49号住居埋土中に床面が想定される。全体に床面はしまりがなく軟弱であった。炉体土器と炉焼土の高さ、柱穴が検出される面で床面を想定し、ほぼ水平に掘り上げた。

炉: 住居中央で深鉢上半を埋設した炉体土器と強く被熱した焼土を検出した。炉体土器内は、住居埋土とおなじ炭化材と焼土混じりの黒褐色土が堆積していた。炉周辺の床面で風化した花崗岩が多数検出されたが、これは本住居に先行する前期後半のM202号溝跡埋土に含まれている礫である。炉体土器は、ずんどうの深鉢の上半を転用し、口縁部を上埋設してあった。土器外面口縁部と内面全体は強く被熱し、灰白色に変色して風化が著しいが、地中に埋設された土器外面は被熱していない。

周溝: 壁際と主柱穴をつなぐ小溝を想定して精査したが、検出されなかった。

柱穴: PT787号、801号、809号、810号ピット、DK275B号土坑の5基が主柱穴である。これらは深さが40～50cmと深い。DK410号土坑とDK412号土坑は断面形が袋状で大きさが共通し、ともに貯蔵穴と思われる。DK410号土坑では浅鉢と深鉢の大形破片が出土した。

出土遺物: 黒褐色埋土(1層)から土器、石器がまとめて出土した。出土した土器の総量は、159,390gである。うち中期中葉の土器は46,646gで、2/3以上は諸磯式土器などの前期土器であった。これは、本住居が前期の住居、溝跡などを切り込んで構築されていること、本住居の壁と床面を精査する過程で前期遺構埋土まで発掘したことに起因すると考えられる。

炉体土器は再利用、転用が想定されるが、本住居の利用時期ないし廃絶時期に近い時間的位置を示すと考えられる。

炉周辺で床面に密着し、あるいは2層、3層とした焼土、炭化材層から出土した土器1022、1025は、本住居の焼失以前から出土位置にあり、住居焼失時に二次被熱したと考えられる。ただし、土器1039のように小さな破片も同様の出土状況を示していることから、これらが住居廃絶時にもっとも近い時間的位置を示唆する遺物かどうか、にわかに判断できない。1039の破片は、土層根に含まれたものが焼失時に落下し被熱したと考えれば、1022、1025は住居廃絶時にそこにあったものと理解することができるかもしれない。

一方、1層で出土した土器は、二次被熱したもの、二次被熱が認められないもの、完形に近いもの、破片状態で出土したもの、割れ面が摩耗したものがある。二次被熱した土器であっても2層、3層との関連がないことから、本住居焼失後、1層が堆積する過程で投棄された土器と考えられる。

本住居では前期土器もまとまって出土した。これは、本住居が前期のPJ49号住居と重複し、本住居の壁と床面を探りながら掘り進める過程で、主に住居南側でPJ49埋土の一部を、また本住居が切る前期のM22号溝、DK496号土坑などの埋土をも発掘してしまったため、さらにPJ49埋土から本住居壁穴に混入した土器があるため、と考えられる。

石器も土器と同様の出土状況を示した。出土した石器の内訳は、石槍1点、石鏝（未成品含む）67点、小形の石匙8点、ミニチュア石匙1点、削器10点、素刃削器2点、石錐9点、両極石器10点、鎌器4点、打製石斧39点、横刃型石器12点、大形粗製石匙4点、台石1点、石皿2点、磨石類11点、磨製石斧3点、滑石製装身具2点、ハンマー4点、黒曜石原石17点、石核1点、剥片・破片19点である。このほか資料化の抽出から漏れた剥片・破片類が1429点、3,765g出土している。

遺構間で接合した遺物があった。台石破片10284は前期のPJ41号住居埋土で出土した破片10614と接合した。本住居で出土した小破片は図示していないが、PJ17号住居埋土出土の土器と同一個体と思われる。

炉南東の床面上で甕角1点が出土した。強く被熱、白色に変色していた。

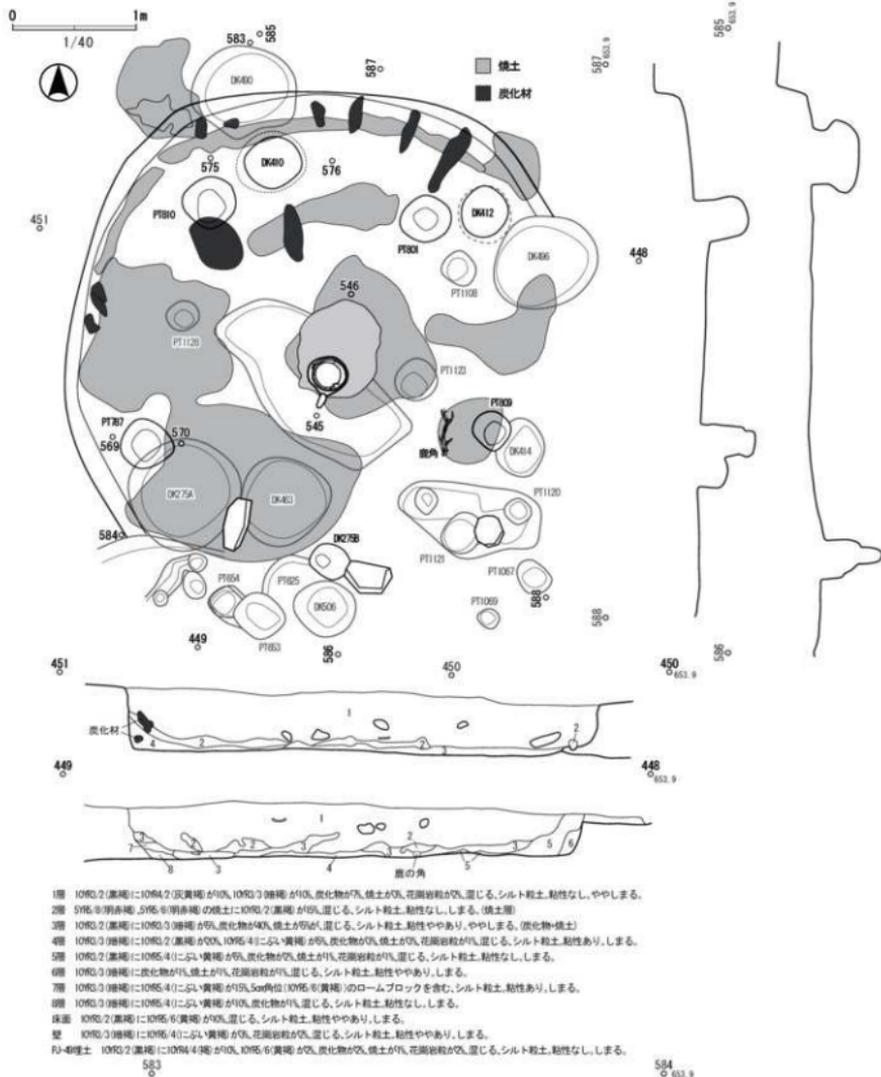
試料分析：炭化材が良好に残っていた箇所ので15点の試料を採取し、樹種同定を委託した。その結果、12点がクリ材、1点がクワ属、2点がカバノキ属であった。

さらに炭化材6点について、小林謙一氏が試料採取し、14C年代測定を実施した。また水洗選別用に採取した埋土の試料から得られた炭化種実（ササゲ属アズキ亜属種子）の14C年代を測定した。それらの結果は、第6章に報告した。

時期：炉体土器1023、床面直上出土の1022、1025、410号土坑出土の1118、1119が本住居の使用時期に近いと考えられる。粘土板を貼付して描出するサンショウウオ文、三角押文が残るなどの特徴から、藤内式1段階に位置付けられる。埋土出土の他の土器も大きな型式差は認められない。14C年代測定で得られた結果は、幅があるものの、土器細分型式の年代観と船橋はなく調和的である。

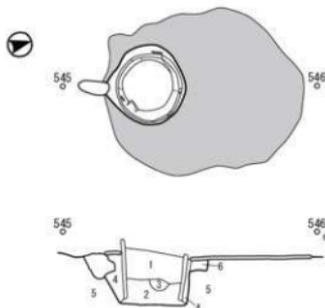
PJ047号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	径 (cm)	深さ (cm)	埋土色	備考(遺物など)
DK275B	47 住内	32	48	10YR2/3(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	
DK-410	47 住内	47	40	5YR7/1(暗褐灰)に炭化物と焼土が10%混じる。シルト粒土。ややしまる。	袋状土坑。貯蔵穴か、早期弥生文系土器、木鳥式、中越式、神ノ木式、踏踏式土器小片
DK-412	47 住内	37	37	10YR2/3(黒褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	袋状土坑。貯蔵穴か、木鳥式、中越式、熊山式、神ノ木式、踏踏式土器小片
PT-787	47 住内	41×35	76	10YR2/3(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	炭化した柱礎を抽出。柱礎は土壌化している年代測定、樹種同定できなかった。中越式、神ノ木式、熊山式、踏踏式土器小片
PT-801	47 住内	30×32	43	10YR2/2(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が3%混じる。シルト粒土。しまる。	中越式、神ノ木式、踏踏式土器小片
PT-809	47 住内	20×24	43	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式、踏踏式土器小片
PT-810	47 住内	33	48	10YR2/2(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	木鳥式、中越式、踏踏式小片



PJ047号住居

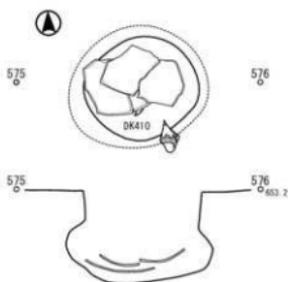
炉



0 50cm
1/20

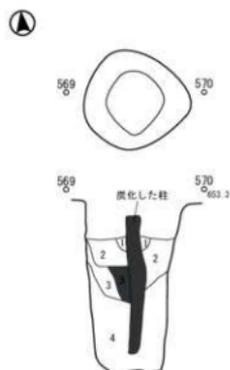
- 1層 7.59(1.7) (裏)に灰土層化したもの(焼土)が94.9(赤褐色)が9%, 109(4.4)層が9%, 109(2.2) (黒褐色)が9%, 炭化物が9%, 焼土が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, ややしめる。
- 2層 7.59(1.1) (裏層)に焼土が94.9(赤褐色)が90%, 7.59(1.7) (裏)が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, ややしめる。
- 3層 99(4.9) (赤褐色) (焼土)に7.59(1.7) (裏)が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, ややしめる。
- 4層 109(2.4) (黒褐色)に109(4.4)層が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, しめる。
- 5層 109(2.4) (黒褐色)に109(4.4)層が9%, 7.59(1.7) (裏)が9%, 花崗岩粒が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, 固くしめる, 9.4-0.7の下の性質の埋土)
- 地山 109(5.6) (黄褐色)に109(2.4) (黒褐色)が90%, 花崗岩粒が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性ややあり, 固くしめる。
- 6層 焼土 99(4.9) (赤褐色), シルト粘土, 粘性ややあり, しめる。

DK410



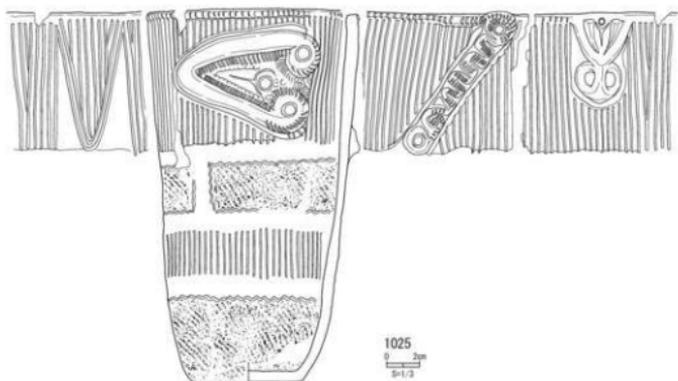
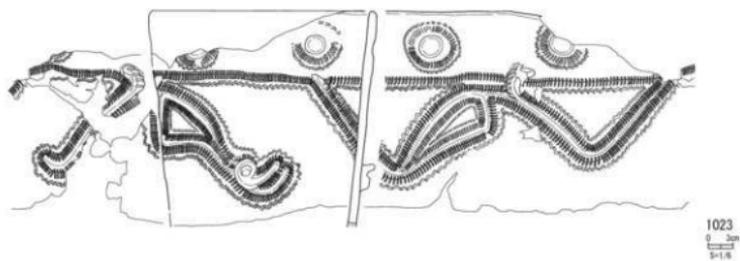
DK410 109(1.7) (裏)に灰, 焼土粒子が9%, 混じる, ややしめる。

PT787

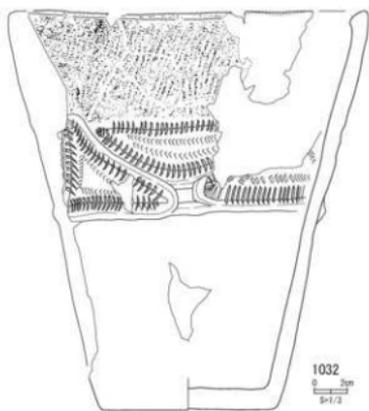
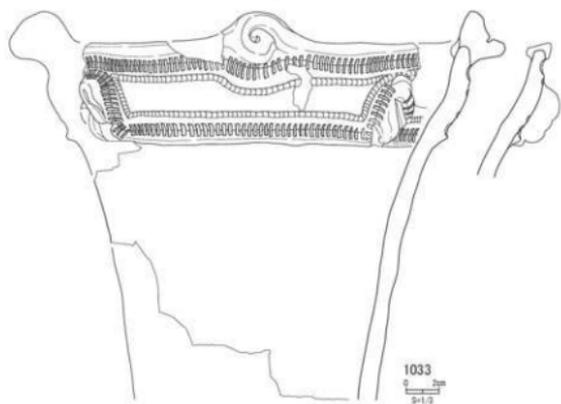
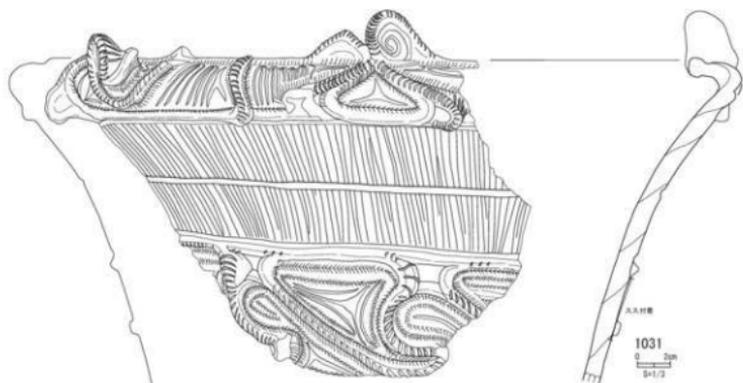


- 1層 109(1.7) (裏)に炭化物が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, ややしめる。
- 2層 109(1.7) (裏)に109(2.2) (黒褐色)が91%, 109(5.6) (黄褐色)が9%, 焼土が9%以下, 炭化物が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, ややしめる。
- 3層 109(2.2) (黒褐色)に109(5.6) (黄褐色)が9%, 炭化物が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, ややしめる。
- 4層 109(2.2) (黒褐色)に109(5.6) (黄褐色)が9%, 炭化物が9%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, しまりなし。
- 5層 109(2.2) (黒褐色)に109(4.9)層が90%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, ややしめる。
- 地山 109(5.6) (黄褐色)に109(2.2) (黒褐色)が90%, 混じる, シルト粘土, 粘性あり, しめる。

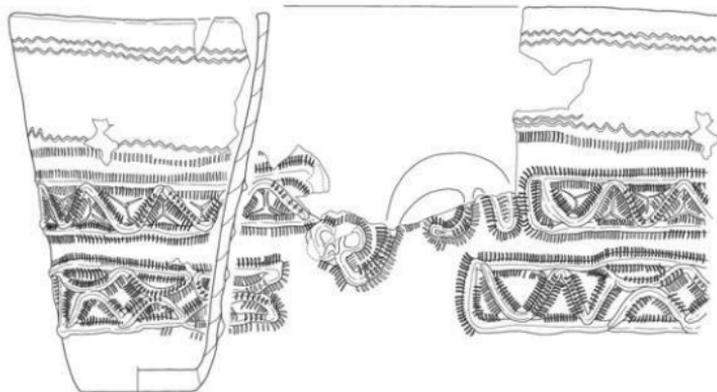
PJ047 号住居



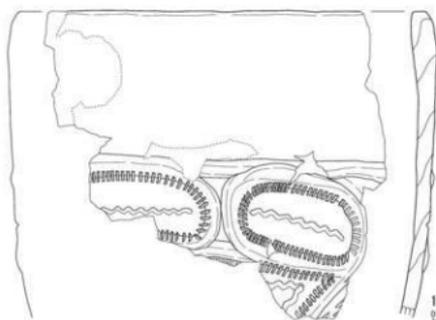
PJ047 号住居出土遺物



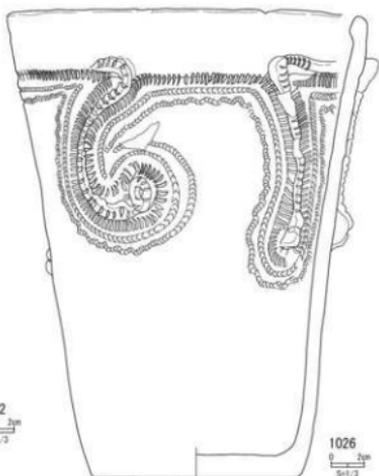
PJ047 号住居出土遺物



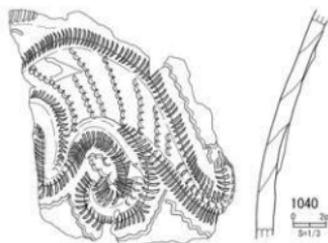
1028
0 2cm
5=1/4



1042
0 2cm
5=1/3

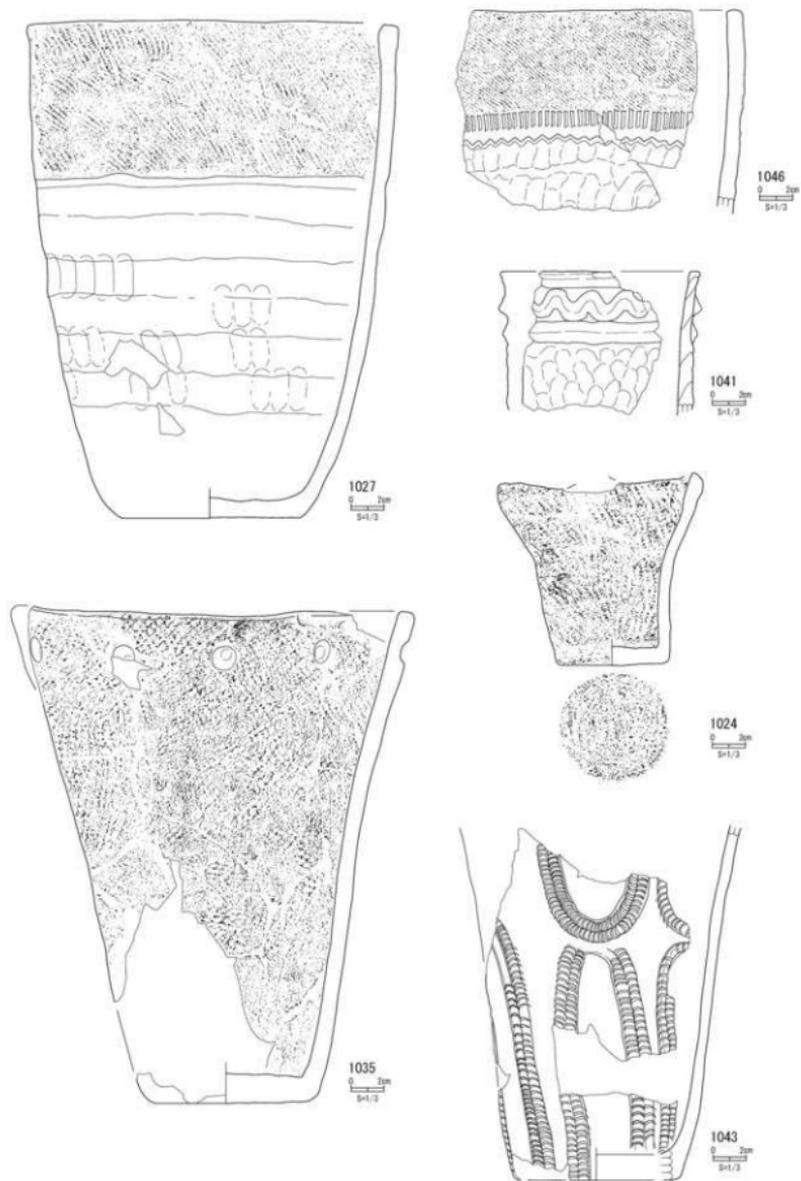


1026
0 2cm
5=1/2

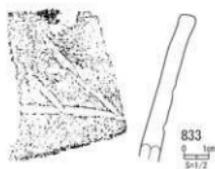
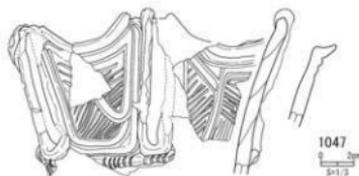
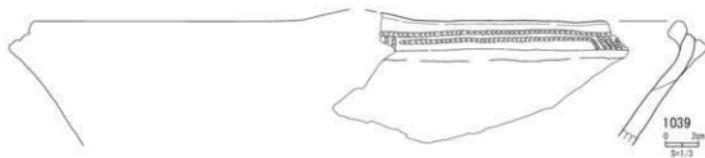
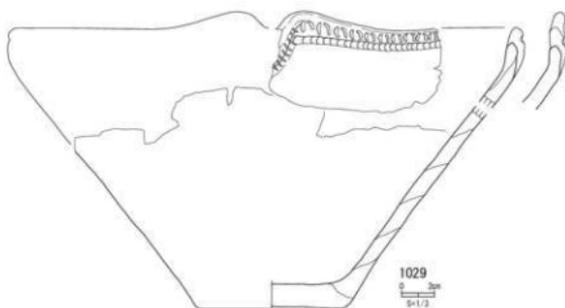
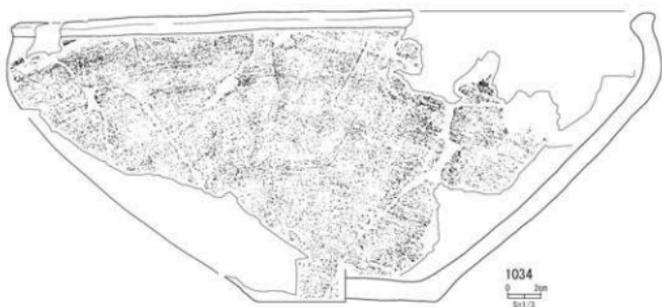
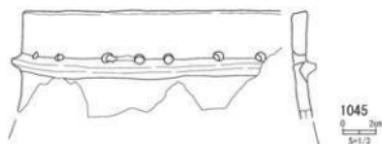


1040
0 2cm
5=1/3

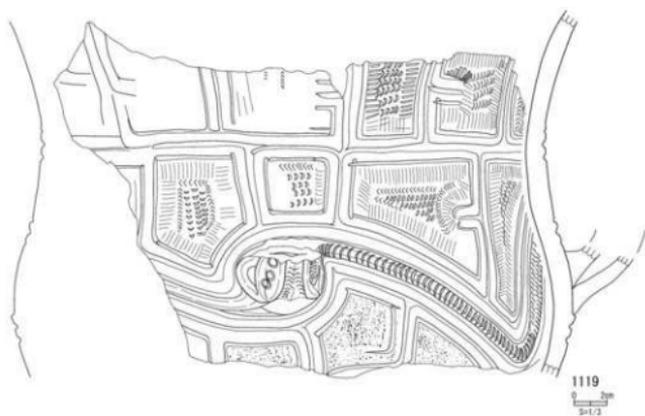
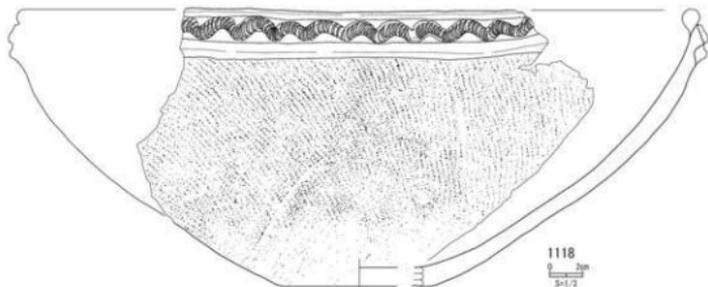
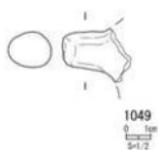
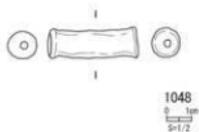
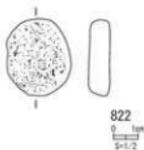
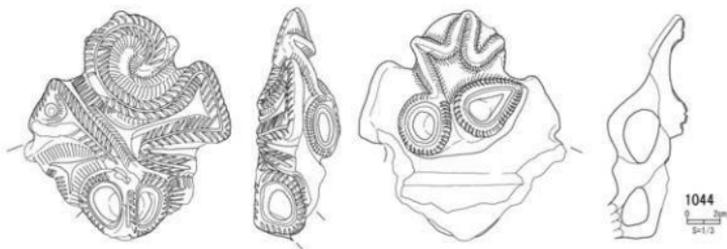
PJ047 号住居出土遺物



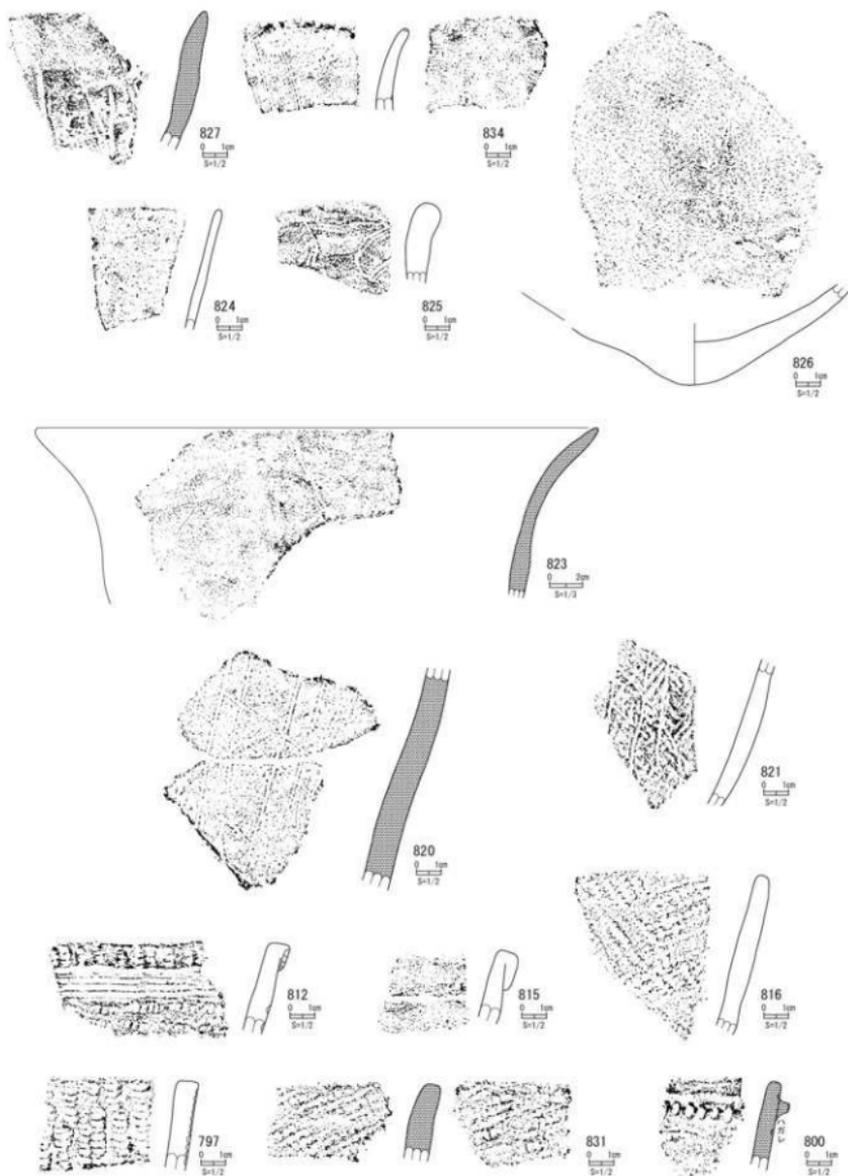
PJ047 号住居出土遺物



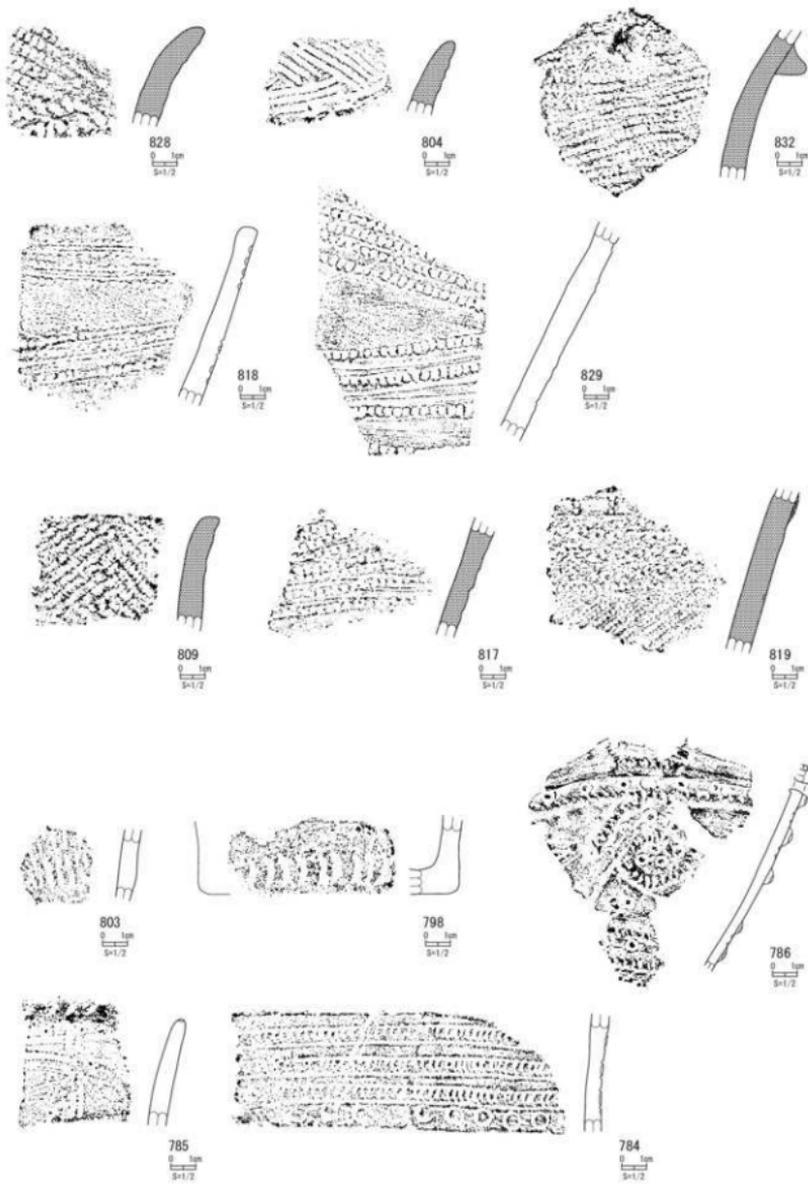
PJ047 号住居出土遺物



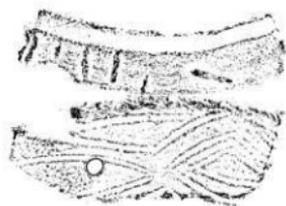
PJ047 号住居出土遺物



PJ047 号住居出土遺物



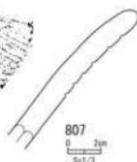
PJ047 号住居出土遺物



787



790



807



810



808



789



799



806

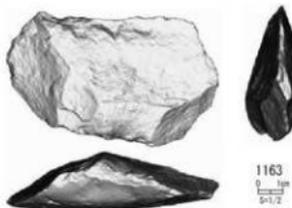
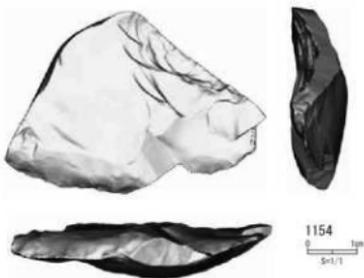
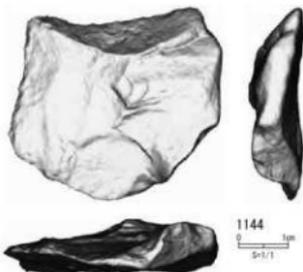
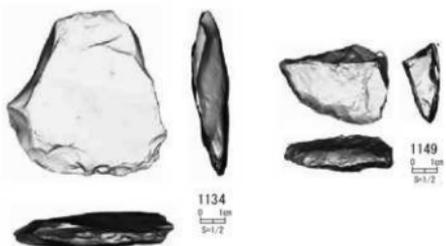
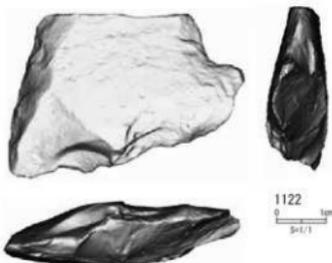
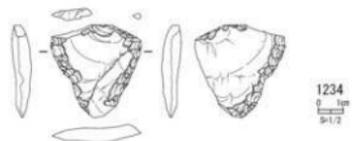
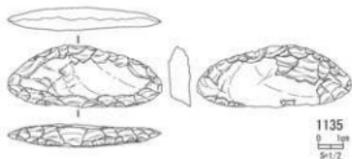
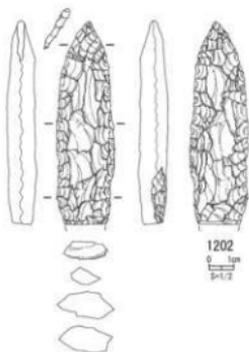


801

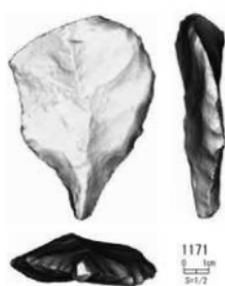
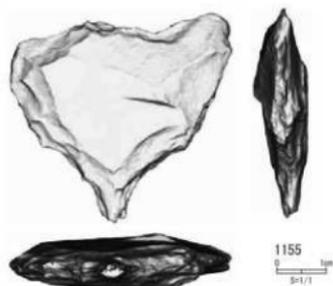
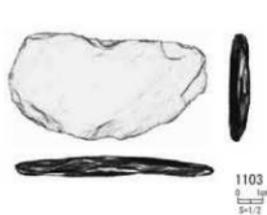


802

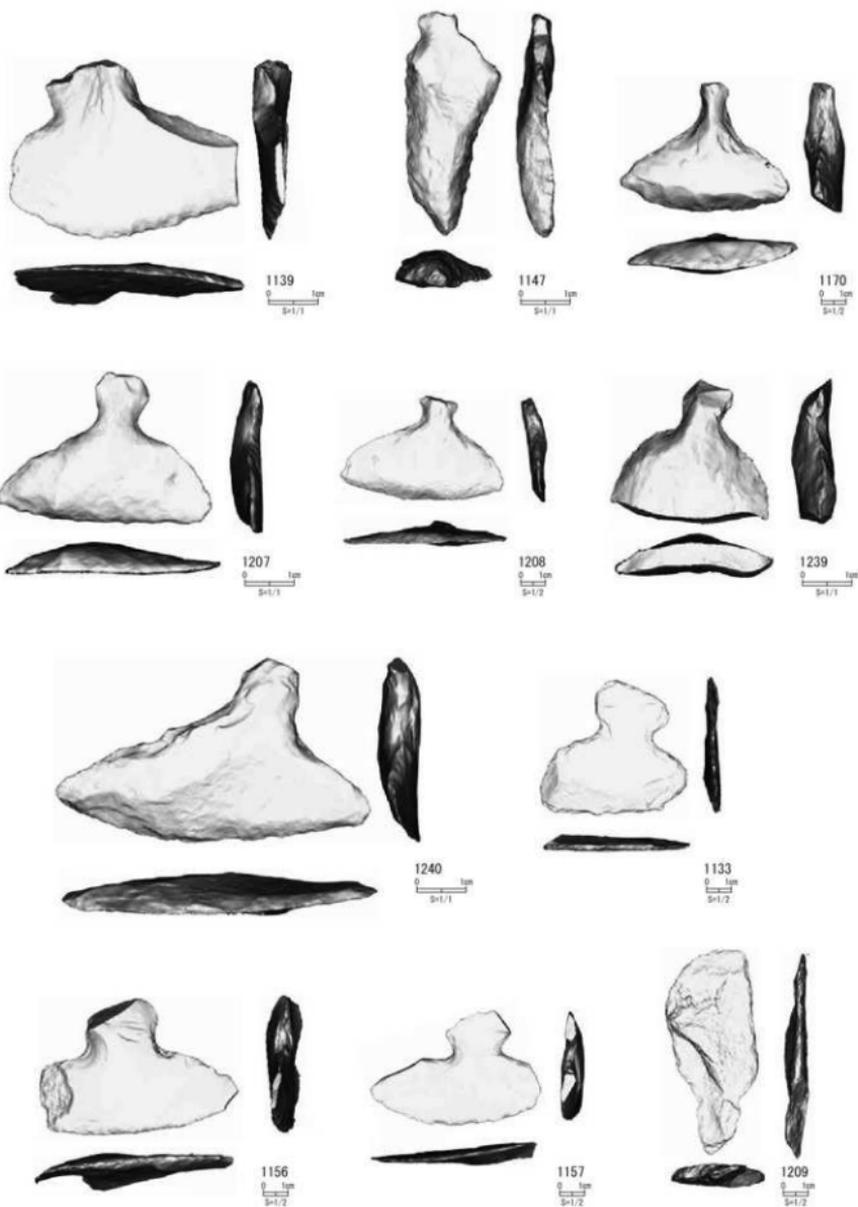
PJ047 号住居出土遺物



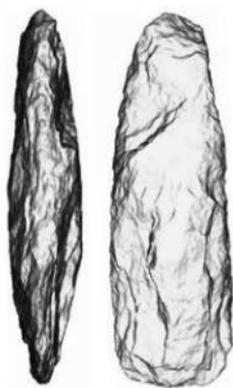
PJ047 号住居出土遺物



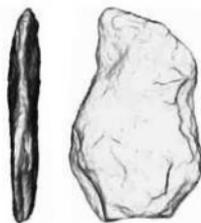
PJ047 号住居出土遺物



PJ047 号住居出土遺物



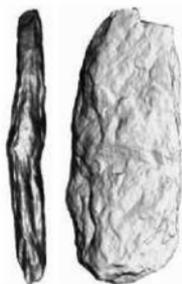
1090
0 1cm
5=1/2



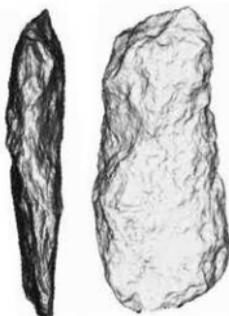
1092
0 1cm
5=1/2



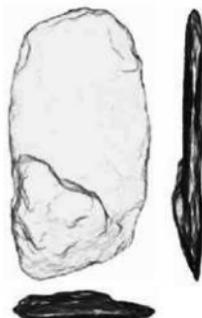
1105
0 1cm
5=1/2



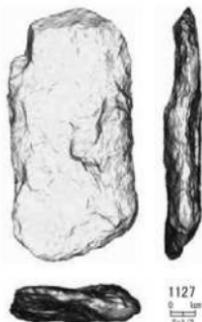
1107
0 1cm
5=1/2



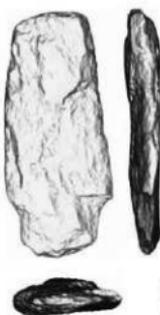
1119
0 1cm
5=1/2



1124
0 1cm
5=1/2



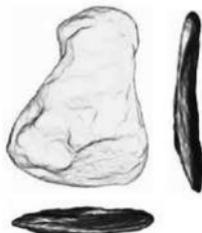
1127
0 1cm
5=1/2



1129
0 1cm
5=1/2

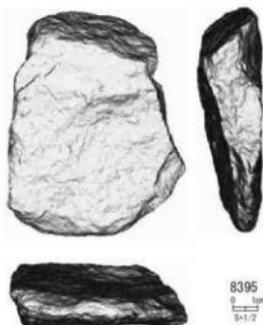
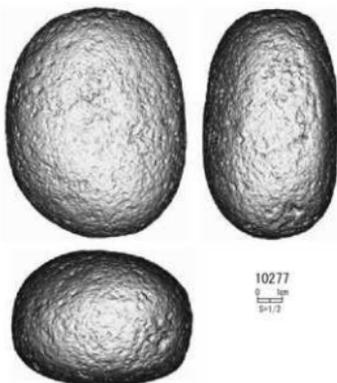
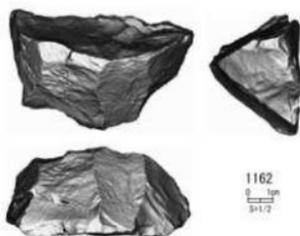
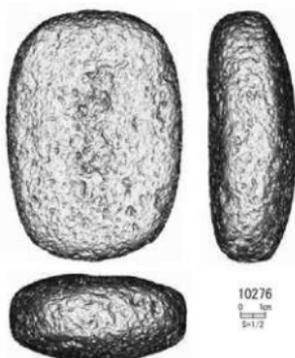
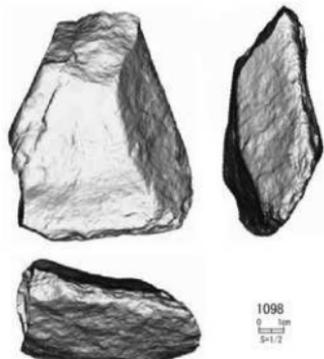


1138
0 1cm
5=1/2

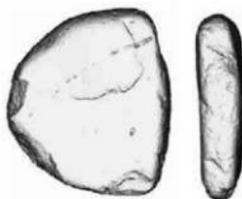


1206
0 1cm
5=1/2

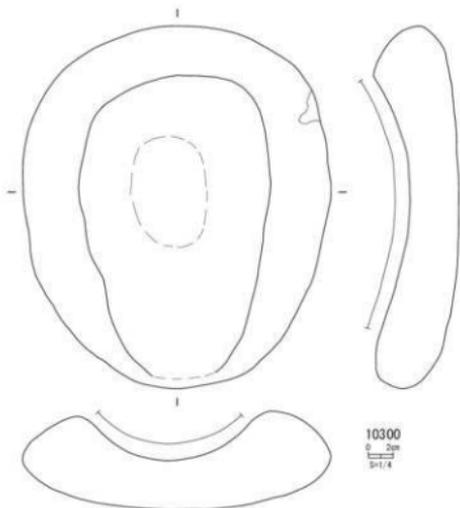
PJ047 号住居出土遺物



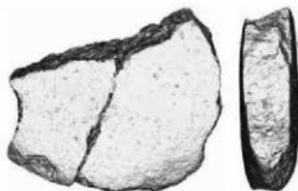
PJ047 号住居出土遺物



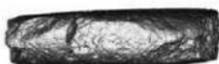
10281
0 1cm
5=1/2



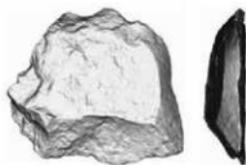
10300
0 2cm
5=1/4



10284+10614
0 1cm
5=1/4



10288
0 1cm
5=1/2



1130
0 1cm
5=1/2



1152
0 1cm
5=1/2



10286
0 1cm
5=1/3



鹿角
0 2cm
5=1/4

PJ047 号住居出土遺物

PJ047 号住居 土器観察表

実測番号	注記 (B-010-202)	部位	口径 cm 縦	高さ cm 横	底径 cm 高さ	重量	残存度	粘土色調 上段：内面 下段：外面	備考
784	FJ-47	胴部				102.0	破片	5YR4/4 7.5YR6/6	特徴a式。器面が焼熟、風化。
785	FJ-47	口縁部				22.0	破片	10YR6/4 10YR3/3	特徴a式。口唇部に刻み
786	FJ-47, F-5-24	口縁部				56.0	破片	10YR3/2 10YR3/2	北白川下層Ⅱc式と特徴式の折衷。折れ帯帯と竹管形刺突文。平行波線文。口唇部突起下に穿孔あり
787	FJ-47	口縁部				67.0	破片	7.5YR3/1 5YR6/6	特徴b式の浅鉢。口縁部下に突起状穿孔あり。補修孔ではない。
789	FJ-47	口縁部				27.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	特徴c式。矢羽状集合波線と円形起付文。
790	FJ-47	口縁部				226.0	破片	5YR4/4 7.5YR3/3	特徴b式の深鉢破片。
797	FJ-47	口縁部				22.0	破片	7.5YR6/6 10YR3/3	神ノ木式。櫛歯状工具の刺突文。粘土に繊維は含まない。
798	FJ-47	胴部～ 底部			(10.6)	35.0	破片	5YR6/6 5YR6/4	壺ノ上7式の底部破片。大きな爪形文。割れ面は摩耗。
799	FJ-47	口縁部				6.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/4	北白川下層Ⅱc式。明赤褐色の器面に赤彫。低い隆輪に刻み。器壁は4mmと薄い。
800	FJ-47	口縁部				13.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR3/2	口縁部下に半截竹管押引きの隆帯帯と櫛歯状工具の刺突。隆帯下にハガレもあり。もう1本の隆帯帯があるか。粘土に少量の繊維が混じる。神ノ木式?
801	FJ-47, F-6-10	口縁部				16.0	破片	10YR7/3 10YR7/4	北白川下層Ⅱ式? 淡黄色の器面。口唇部が内外に下字状に出っ張り。つまんだような形を施す。器壁は5mm程度で薄い。
802	FJ-47	胴部				19.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	北白川下層Ⅱ式? 器面は暗褐色。浅い円形刺突文。大柄な縦文を遠く回転施文する。輪郭が僅か明瞭に残る。内面には多量あり。器壁は7mmでやや厚手。
803	FJ-47	胴部				7.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	壺ノ上7式。大柄な爪形文。雲母が混じる硬質の粘土質で。器壁は5mmと薄い。粘土に繊維が混じらない。
804	FJ-47	口縁部				18.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	隴山1式? 粘土に繊維が混じり。器面は淡黄色。割れ面内面は黒色。粘土が柔らかい時点で。棒状工具で矢羽状施文を施す。内面は平滑にナデミガキ調整。
805	FJ-47	胴部～ 底部			2.1	9.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	底部がほぼそくすぼまったミニチュア土器。
806	FJ-47	口縁部				13.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/2	北白川下層Ⅱ式? 器面は暗褐色で。器壁は5mmと薄い。口唇部に刻み。外面は羽状施文。内面は指頭圧痕が明瞭に残る。補修孔あり。
807	FJ-47	口縁部				69.0	破片	5YR4/3 5YR4/3	特徴b式
808	FJ-47	口縁部				33.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR5/4	深島田式? 器面は淡黄色で。粘土に繊維を含まない。器壁は6mm程度。口縁部上縁と口唇部に深く鋭い波線。その下位には長短条施文を横したような浅い波線。内面は平滑にしていねいなナデミガキ調整。
809	FJ-47	口縁部				26.0	破片	5YR4/6 5YR4/4	有尾式。粘土に繊維を含む。口唇部は平らに面取り調整。
810	FJ-47	口縁部				56.0	破片	7.5YR3/4 7.5YR3/3	特徴b式?
812	FJ-47	口縁部				29.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	神ノ木式。肥厚した口縁部と下位に櫛歯状工具の刺突。口唇部上面は平らに面取り調整。
815	FJ-47	口縁部				14.0	破片	5YR4/6 5YR4/3	神ノ木式。肥厚した口縁部。
816	FJ-47	口縁部				38.0	破片	5YR4/6 5YR4/6	神ノ木式。羽状施文。口唇部上面は平らに面取り調整。内面は平滑。ていねいなナデミガキ調整
817	FJ-47	胴部				26.0	破片	7.5YR7/4 10YR3/3	有尾式。粘土に繊維を含む。櫛歯状工具の刺突。内面は平滑。ていねいなナデミガキ調整。
818	FJ-47	口縁部				59.0	破片	7.5YR5/4 10YR3/2	有尾式。粘土に繊維が混じらない。
819	FJ-47	胴部				50.0	破片	7.5YR5/6 7.5YR5/6	有尾式。粘土に繊維を含む。拓本の上面に円形刺突した隆輪を貼付。その下位は粗粒の刺突文? その下位に櫛歯状工具の刺突。さらに下位は準筋線文の回転施文。内面は平滑。ていねいなナデミガキ調整
820	FJ-47	胴部				71.0	破片	7.5YR4/3 5YR5/4	中絶IV式。粘土に繊維を含む。
821	FJ-47	胴部				20.0	破片	5YR4/4 7.5YR4/3	粘土に繊維を少量含む。深く鋭い波線で棒目文を施す。準筋線文を乱雑に施文。器壁は6mm程度。内面は指頭圧痕が明瞭に残る。中絶IV式か神ノ木式併行か。
822	FJ-47	土製円盤	3.1	2.6	0.9	9.0	ほぼ完形	7.5YR6/6 5YR6/6	無文土器破片を利用。粘土質から中硬中策と思われる。
823	FJ-47	口縁部 ～胴部	34.0			168.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR4/4	中絶IV式。口縁部は強く外反。粘土に繊維を含む。内面に指頭圧痕が明瞭に残る。
824	FJ-47	口縁部				9.0	破片	7.5YR3/3 7.5YR3/2	木島式か。器面は暗褐色。器壁は4mmと薄い。内外面に指頭圧痕が明瞭に残る。粘土に繊維を含まない。

PJ047号住居 土器観察表

実測番号	注記 (S-010-2012)	部位	口径 cm 縦	高さ cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
825	PJ-47	口縁部				19.0	破片	5YR4/3 5YR4/3	口唇部が丸くふっくらと膨厚し、半截竹管あるいは丸錐二工具による粗雑な施文。器壁は7～8mmと厚手。中絶式焼付の在地的な土器か。
826	PJ-47	底面			丸底	111.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	中絶式の底面破片
827	PJ-47	口縁部				30.0	破片	10YR6/4 7.5YR5/4	胎土に繊維を含む。内外面に指痕圧痕が明確に残る。器壁は8～10mmと厚手。棒状工具による粗雑な施文。中絶式併用の在地的な土器か。
828	PJ-47	口縁部				28.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	簡山式。胎土に繊維を含む。内面は平滑にナメギガ調整。
831	PJ-47	口縁部				19.0	破片	10YR3/2 7.5YR4/3	神ノ木式。胎土に繊維を含む。外面から口唇上、内面に縄文施文。
832	PJ-47	胴部				57.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR6/4	簡山式。乳孔状の貼付文。内面は平滑にナメ調整。
833	PJ-47	口縁部				33.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR5/4	胎土に繊維を含む。底に浅線状の矢羽状文様を施文。胎土質、器面調整は中期中葉土器と推定される。文様は特殊。
834	PJ-47	口縁部				15.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/3	木島沢式。
1022	PJ-47 75	口縁～ 底面	11.1	17.0	5.0	590.0	ほぼ完整	10YR2/1 外 10YR2/1	Dk410とP3010の間。底面から8cm厚く高さで、焼土。炭化材帯(2層と3層)に散在状態で出土。土器内面に被熱風化。変色が著しく、上を向いた側は白色に変色し、下を向いた側は黒褐色を呈する。内面の被熱は弱い。文様は、器面を強く磨り込むような浅線状施文される。
1023	PJ-47 埋玉ウ 伊須1	口縁～ 胴部	27.7			3,423.0	破片	10YR5/2 5YR3/3	伊体土器。胴部下平は矢溝。口縁部を上にして埋没。口縁部3cmが器面上に突出し、被熱、風化している。土器内面に被熱風化。器面二次的な粘土板貼付によるサンショウウオ文。サンショウウオ文内に三角押文が施文される。
1024	PJ-47 15	口縁～ 底面	(12.5)	11.8	6.4	356.0	3/4	10YR2/4 10YR7/4	伊とP3009の間。底面から27cm厚いた1層中から出土。焼土となつて器面内外は凹凸が著しい。底面はヘラ状工具で平らに磨いている。外面は一部が被熱し白色に変色している。
1025	PJ-47 74	口縁～ 底面	12.8	22.9	6.4	895.0	ほぼ完整	7.5YR4/2 7.5YR2/2	伊体土器本體の底面に傾倒しになって出土。上を向いていた面が強く被熱している。口縁部下に磨面貼付の文様とメガネ状突起が施文される。メガネ状突起上に玉拍き三叉文。胴部は縄文と縦線施文。無文部は縄文施文後二磨滑。
1026	PJ-47 4	口縁～ 底面	21.8	28.8	12.6	2,313.0	ほぼ完整	7.5YR6/6 5YR6/6	伊とDk410の間。底面から33cm厚いた1層中で傾倒し状態で出土。内外面とも被熱し、やや白色に変色している。
1027	PJ-47 22, PJ- 47 10, PJ-47 一話	口縁～ 底面	(22.5)	30.5	11.0	2,923.0	5/6	5YR4/4 7.5YR4/3	P372とDk2758の間。底面から38cm厚いた1層中で、傾倒しになって出土。口縁部は文様の7層にナメ調整で底面。胴部は接合痕と指痕圧痕が明確に残る。外面で平らはやや被熱、風化しているが、使用痕のみ。内面底面付面に炭化物付着。
1028	PJ-47 20, PJ- 47 3, PJ-47 一話	口縁～ 底面	(21.0)	31.0	9.2	1,970.0	4/5	10YR6/4 7.5YR6/6	伊体。底面から31cm厚いた1層中で数点の花崗岩粒とともに出土。器面は被熱、風化が著しく、割れ面は磨耗している。種実圧痕が多数検出された。
1029	PJ-47 3, PJ- 47 一話, F-6-15	口縁部、 胴～底 部	(30.8)	(18.2)	9.0	1,199.0	破片	7.5YR4/1 7.5YR5/2	Dk410。底面から39cm厚いた1層中、K026と並んで破片状態で出土。胴部上半はほとんど欠損している。
1030	PJ-47 78	口縁～ 底面	(20.5)	22.5	(11.5)	1,953.0	5/6	7.5YR5/3 5YR6/6	P3009とDk2758の間。底面から28cm厚いた1層中で傾倒しになって出土。器面は被熱していない。口縁部に1ヶ所だけ玉拍き三叉文が施文される。
1031	PJ-47 92	口縁～ 胴部	(39.4)			1,364.0	破片	7.5YR 6/4 7.5YR4/2	Dk2758。底面から11cm厚いた1層中から出土した大形破片。外面に種実が混入する炭化物付着。器内面の一部に二次被熱あり。
1032	PJ-47 45, PJ- 47 44, PJ- 47 48, PJ-47 26, PJ-47 27, PJ-47 一話	口縁～ 底面	(22.0)	24.5	10.4	946.0	2/5	7.5YR6/3 7.5YR5/4	伊西側。底面から20cm厚いた1層中でばらばらの破片状態で出土。外面上半に炭化物付着。内面は風化、割れが著しい。底面内面に炭化物付着。
1033	PJ-47 40, PJ- 47 26, PJ-47 27, PJ-47 44, PJ-47 45, PJ- 47 47	口縁～ 胴部	(26.2)			2,230.0	破片	5YR4/3 5YR6/6	伊西側。底面から23cm厚いた1層中でばらばらの破片状態で出土。器面に二次被熱なし。
1034	PJ-47 9, PJ- 47 6, PJ-47 5, PJ-47 11, PJ- 47 10, PJ-47 7, PJ-47 49, PJ-47 一話, F-6-19	口縁～ 底面	(39.3)	17.7	10.8	3,004.0	1/2	7.5YR6/4 7.5YR6/4	伊とP3010の間。底面から46cm厚いた1層中で、ばらばらの破片状態で出土。器面内外はよいナメギガ。破片の一部に被熱、割れがある。
1035	PJ-47 25	口縁～ 底面	(24.6)	30.5	9.5	2,120.0	1/2	10YR7/3 10YR7/3	伊西側。底面から23cm厚いた1層中で、1033とともに出土。口縁部に円文が混入。これは種実孔ではない。1024に類似したつくりと胎土質で、同一の製作者によるものと推測される。口縁部が2/3欠損。器内面は磨耗している。
1039	PJ-47 73	口縁～ 胴部	(39.4)			287.0	破片	10YR5/2 10YR6/4	器面より地点の西側。底面からやや厚いた3層中から出土。小破片で全面が強く被熱し白色に変色。住居形失脚に被熱したと思われる。
1040	PJ-47 一話	胴部				289.0	破片	7.5YR4/3 5YR4/4	埋土一區際り上げ。粘土板貼付のサンショウウオ文が施文された深線破片で、割れ面に磨耗している。
1041	PJ-47 2	口縁～ 胴部	(10.2)			94.0	破片	7.5YR3/1 5YR4/4	Dk412。底面から30cm厚いた出土した小形深線の破片で、胴部は指痕圧痕が明確に残る。二次被熱は認められない。

PJ047号住居 土器観察表

実測番号	注記 (B-010-202)	部位	口径 cm	高さ cm	底径 cm	重量	残存度	粘土色票 上段：内面 下段：外面	備考
1042	PJ-47 5, PJ-47 7, PJ-47 10, PJ-47 一括, F-6-19	口縁～胴部	(24.6)			610.0	破片	7.5YR6/4 5YR4/3	P1810南、床面から45cm厚いた1層で出土。1034、1045とともに出土。割れ面は摩耗し、器面は二次被熱がみられない。
1043	PJ-47 17, PJ-47 24, PJ-47 35, PJ-47 一括	胴～底部			10.0	708.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	伊西と伊南の2地点に分かれ、床面から27cm厚いで出土。外面に塚付帯、爪形押引文で対向し字文を施す特異な土器。
1044	PJ-47 一括	口縁突起部				324.0	破片	2.5YR4/4 5YR4/4	埋土一括取り上げ、複雑な大形突起部。つくりはよい。突起部は中変焼速。外面部に玉拍き三叉文。
1045	PJ-47 66, PJ-47 一括	口縁部	(17.4)			318.0	破片	5YR 5/4 7.5YR6/4	P T 810 西側の住居西壁沿い、床面から21cm厚いで出土。小破片に分かれて出土。二次被熱し、黄色ないし白色に変色。破片ごとに変色の度合いが異なる。割れ面は風化している。
1046	PJ-47 17, PJ-47 一括	口縁～胴部				263.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	伊西側、床面から27cm厚いた1層で出土。二次被熱は認めれない。外面に塚付帯。
1047	PJ-47 一括、F-6-19	口縁～胴部	(17.6)			387.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/4	埋土一括取り上げ。口縁部に隆帯を貼付した4単位の高起り一体になった区画文。二次被熱なし。東海地方から伊南地方の口縁部に立体装飾を有する土器を想起させる。
1048	PJ-47 91	土製品	1.3	長 3.7		5.0	完形	9.5-YR4/6	伊南、DK2750 東、床面から29cm厚いた1層で出土。穴が貫通した棒状土製品。
1049	PJ-47 一括	土偶断片 破片	長 (2.8)			9.0	破片	9.5 - 7.5YR4/2	土偶断片。埋土一括取り上げ
1118	DK-410 器2	口縁～底部	(41.0)	17.0	(9.0)	993.0	1/3	2.5YR4/4 2.5YR4/6	貯蔵穴と思われるDK410の埋土下層で出土した深鉢の大形破片。割れ面は摩耗し、二次被熱なし。
1119	DK-410 器1、DK-410 器3	胴部				1,304.0	破片	5YR5/6 5YR4/6	貯蔵穴と思われるDK410の埋土下層で出土した深鉢の大きな破片。部分的に二次被熱が認められる。

PJ047号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1090	PJ-47	打製石斧	砂岩	3/4	156.0	50.0	29.0	270.80	埋土一括取り上げ。内縁面が残る。
1091	PJ-47 77	打製石斧	頁岩	1/2	150.0	-	22.0	144.50	P1787 北、床面から17cm厚いで出土。断面面で端に欠損。刃部欠損。
1092	PJ-47 68	打製石斧	頁岩	3/4	88.0	54.0	12.0	70.80	P1811 北側の壁沿い、床面から7cm厚いで出土。
1093	PJ-47 72	打製石斧	頁岩	1/2	129.0	55.0	5.0	64.80	伊東側、床面から7cm厚いた3層で出土。鹿角土地点近く。炭化材層で出土したが、目立った二次被熱は認められない。
1094	PJ-47 67	横刃型石器	8872AA	1/2	64.0	81.0	26.0	120.40	伊西側、床面から14cm厚いで出土。
1095	PJ-47	打製石斧	粘板岩	1/2	104.0	48.0	12.0	64.50	埋土一括取り上げ
1096	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片	-	42.0	11.0	43.60	埋土一括取り上げ
1097	PJ-47	打製石斧	頁岩	1/2	-	55.0	12.0	65.80	埋土一括取り上げ
1098	PJ-47 5	礫器	砂岩	1/1	95.0	75.0	38.0	302.50	P1810 東、床面から45cm厚いで出土。
1099	PJ-47	横刃型石器	砂岩	1/1	59.0	106.0	16.0	105.60	埋土一括取り上げ。内縁面が残る。
1100	PJ-47	尖刃附器	8872AA	1/1	72.0	67.0	15.0	70.30	埋土一括取り上げ。打面に直角線面が残る。
1101	PJ-47 43	打製石斧	砂岩	3/4	126.0	54.0	18.0	126.10	伊西側、床面から22cm厚いで出土。湾曲した側縁の刃部付近に顕著な磨痕あり。
1102	PJ-47	打製石斧	砂岩	1/2	-	69.0	19.0	105.40	埋土一括取り上げ。被熱変色あり
1103	PJ-47	横刃型石器	8872AA	3/4	43.0	80.0	9.0	37.70	埋土一括取り上げ。外周する側縁に交互刻痕が施され、刃部とみた。反対側縁は刻痕に規則性が少ない。
1104	PJ-47	打製石斧	砂岩	破片	-	46.0	7.0	22.50	埋土一括取り上げ。被熱変色あり
1105	PJ-47	打製石斧	8872AA	1/1	80.0	51.0	20.0	97.60	埋土一括取り上げ。器長が短く、再産品か。
1106	PJ-47	打製石斧	8872AA	1/2	100.0	62.0	19.0	153.90	埋土一括取り上げ。断面面で折損
1107	PJ-47	打製石斧	頁岩	3/4	113.0	46.0	15.0	106.10	埋土一括取り上げ。
1108	PJ-47	打製石斧	8872AA	1/2	-	47.0	16.0	66.70	埋土一括取り上げ。刃部折損
1109	PJ-47	打製石斧	砂岩	破片	-	49.0	10.0	33.80	埋土一括取り上げ。刃部側縁面で、刃部に顕著な磨痕あり
1110	PJ-47	横刃型石器	砂岩	1/2	40.0	89.0	8.0	36.40	埋土一括取り上げ。
1111	PJ-47	打製石斧	8872AA	破片	-	52.0	15.0	61.50	埋土一括取り上げ。刃部折損
1112	PJ-47	横刃型石器	砂岩	3/4	129.0	119.0	14.0	101.00	埋土一括取り上げ。被熱変色あり

PJ047号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1113	PJ-47	槌刃型石器	砂岩	破片	-	-	12.0	44.00	埋土一括取り上げ。
1114	PJ-47 42	打製石斧	砂岩	3/4	117.0	47.0	20.0	135.60	伊西側、床面から20cm浮いて出土。刃部に顕著な磨減痕あり。側縁部に挟り
1115	PJ-47	打製石斧	泥岩	1/2	-	4.0	13.0	48.80	埋土一括取り上げ。刃部折損
1116	PJ-47	剥離のある 剥片	頁岩	破片	-	-	10.0	29.00	埋土一括取り上げ。打製石斧断片か
1117	PJ-47	打製石斧	緑カク	1/2	-	46.0	13.0	54.90	埋土一括取り上げ。刃部、基部折損
1118	PJ-47	打製石斧	緑カク	1/2	-	48.0	20.0	88.60	埋土一括取り上げ。刃部折損
1119	PJ-47 58	打製石斧	砂岩	3/4	124.0	55.0	22.0	176.90	PT07 東側、床面から19cm浮いて出土。刃部に磨減痕あり
1120	PJ-47	槌刃型石器	砂岩	破片	-	56.0	12.0	42.20	埋土一括取り上げ。円縁面が欠きく残る
1121	PJ-47	打製石斧	黄色風化 泥岩	破片	-	52.0	13.0	53.60	埋土一括取り上げ。
1122	PJ-47	南器	泥岩	-	47.0	36.0	12.0	20.50	埋土一括取り上げ。風化した淡黄色の泥岩を素材とする。
1123	PJ-47	槌刃型石器	緑カク	1/1	50.0	73.0	8.0	38.00	埋土一括取り上げ。溝曲した刃部は一部を除き片面調整、奥行き小さく幅の大きな連続調整。
1124	PJ-47	打製石斧	粘板岩	1/2	112.0	58.0	12.0	91.60	埋土一括取り上げ。風化して使用痕は観察できない
1125	PJ-47	打製石斧	砂文交互	1/2	-	64.0	17.0	137.50	埋土一括取り上げ。刃部折損か
1126	PJ-47	素刃南器	緑カク	1/1	49.0	83.0	9.0	43.90	埋土一括取り上げ。
1127	PJ-47 12	打製石斧	砂岩	3/4	102.0	51.0	13.0	97.40	伊西側、床面から16cm浮いて出土。刃部に磨減痕あり
1128	PJ-47 64	打製石斧	砂岩	1/2	-	44.0	17.0	99.10	伊西側、床面から21cm浮いて出土。磨理面で大きく折損
1129	PJ-47	打製石斧	緑色岩類	1/1	100.0	43.0	15.0	90.80	埋土一括取り上げ。表面面に広く、基部付近にも磨減痕あり
1130	PJ-47	剥片	頁岩	1/1	64.0	71.0	16.0	76.10	埋土一括取り上げ。加工なし。主要剥離面側面に磨料痕、使用痕か。表面の粒状に磨料痕、後者痕跡か。
1131	PJ-47	打製石斧	緑カク	3/4	134.0	60.0	19.0	180.30	埋土一括取り上げ。刃部が折損
1132	PJ-47	打製石斧	頁岩	1/2	-	50.0	18.0	94.70	埋土一括取り上げ。刃部折損。円縁面が残る
1133	PJ-47	大形打製石 匙	緑色岩類	1/1	56.0	59.0	5.0	19.10	埋土一括取り上げ。器面各所に磨減痕
1134	PJ-47	南器	頁岩	1/1	67.0	65.0	15.0	66.70	埋土一括取り上げ。刃部磨役剥離が多い。
1135	PJ-47	南器	頁岩	1/1	26.0	62.0	9.0	17.70	埋土一括取り上げ。
1136	PJ-47	槌刃型石器	緑カク	1/1	42.0	76.0	15.0	50.40	埋土一括取り上げ。
1137	PJ-47	剥片	頁岩	破片	-	43.0	10.0	31.90	埋土一括取り上げ。磨産補加工した刃部あり。磨減痕あり。打製石斧か槌刃型石器の断片か。
1138	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片	-	-	9.0	19.40	埋土一括取り上げ。打製石斧の断片と思われる。
1139	PJ-47	石匙	泥岩	3/4	37.0	47.0	6.0	9.80	埋土一括取り上げ。一部折損。淡黄色の泥岩。1122と同一母岩か。
1140	PJ-47	打製石斧	頁岩	1/2	-	41.0	8.0	39.10	埋土一括取り上げ。刃部と基部折損
1141	PJ-47 48	打製石斧	砂岩	破片	-	59.0	15.0	49.90	伊西側、床面から21cm浮いて出土。細粒砂岩を素材とする
1142	PJ-47	南器	珪質頁岩	1/2	-	-	-	18.00	埋土一括取り上げ。淡灰色の珪質頁岩
1143	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片	-	56.0	8.0	25.70	埋土一括取り上げ。
1144	PJ-47	南器	砂岩	1/1	42.0	42.0	9.0	18.00	埋土一括取り上げ。2辺に刃部
1145	PJ-47	槌刃型石器	緑色岩類	3/4	51.0	79.0	16.0	66.00	埋土一括取り上げ。折損した打製石斧破片を素材としているか
1146	PJ-47	石匙	珪質頁岩	破片	-	-	9.0	4.00	埋土一括取り上げ。灰色の珪質頁岩
1147	PJ-47	石匙	チャート	3/4	46.0	20.0	7.0	6.00	埋土一括取り上げ。挟りがあり石匙であるが、幅とがった縁部を石種として使用した痕跡あり。灰色風のチャート
1148	PJ-47	打製石斧	頁岩	1/2	-	38.0	8.0	23.80	埋土一括取り上げ。
1149	PJ-47	南器	珪質頁岩	1/2	34.0	47.0	14.0	19.90	埋土一括取り上げ。青灰色で白筋のある珪質頁岩
1150	PJ-47	槌刃型石器	砂岩	1/2	46.0	77.0	13.0	39.50	埋土一括取り上げ。磨理面で折損。緑褐色あり。1102と同一母岩か。
1151	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片	-	-	12.0	39.40	埋土一括取り上げ。円縁面が残る。
1152	PJ-47	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/2	32.0	51.0	9.0	15.90	埋土一括取り上げ。青灰色で白筋のある珪質頁岩。折損か
1153	PJ-47	原石	黒曜石	1/1	-	-	-	19.10	埋土一括取り上げ。透明度があり、すりガラス状の縁面
1154	PJ-47 10	南器	珪質頁岩	3/4	38.0	52.0	12.0	18.80	伊とPT010の間。床面から44cm浮いて出土。淡黄色の珪質頁岩。直角縁面が残る

PJ047 号住居 石器観察表

整理番号	注記	種類	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1155	PJ-47	石鏃	頁岩	3/4	40.0	45.0	11.0	16.60	埋土一括取り上げ。腰部折損。割線に意減痕あり
1156	PJ-47 76	大形粗製石 匙	黄色風化 泥岩	3/4	55.0	80.0	13.0	41.90	P707 南。床面から 15 cm 深い出土。一部折損
1157	PJ-47 89	大形粗製石 匙	黄色風化 泥岩	1/1	47.0	69.0	7.0	19.60	P701 西脇。床面から 5 cm 深い出土。破損なし
1158	PJ-47 破 土下	原石	黒曜石	1/1				37.00	2 層 (積土層) の下で出土。風化した表面。白色の夾雑物が多く度じる
1159	PJ-47 破 土下	原石	黒曜石	1/1				38.00	2 層 (積土層) の下で出土。すりガラス状の表面。被熱してやや発泡しているか
1160	PJ-47 破 土下	原石	黒曜石	1/1				20.70	2 層 (積土層) の下で出土。角稜ズリ
1161	PJ-47	割線のある 剥片	砂岩	1/1	104.0	48.0	23.0	109.70	埋土一括取り上げ
1162	PJ-47	礫部	ホルン フェルス	1/2	48.0	75.0	35.0	122.80	埋土一括取り上げ。ホルンフェルス化した砂岩交互層。
1163	PJ-47	礫部	ホルン フェルス	1/1	50.0	83.0	22.0	89.10	埋土一括取り上げ。円縁面が厚く残る剥片の縁部を刃部とする
1164	PJ-47	棒刃型石器	粘板岩	3/4	89.0	47.0	17.0	68.30	埋土一括取り上げ。ややホルンフェルス化した粘板岩
1165	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片				63.30	埋土一括取り上げ。円縁面が残る
1166	PJ-47	石核	黒曜石	1/1	25.0	53.0	18.0	20.80	埋土一括取り上げ。やや風化した表面。一面に大きく割線。夾雑物なく透明な原石
1167	PJ-47	打製石斧	泥岩	破片	-	-	10.0	22.80	埋土一括取り上げ。刃部側の破片
1168	PJ-47	原石	黒曜石	1/1	49.0	28.0	9.0	12.80	埋土一括取り上げ。すりガラス状表面の板状原石。数か所に割線
1169	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				8.30	埋土一括取り上げ。すりガラス状表面の板状原石。数か所に割線
1170	PJ-47 94	石匙	珪質頁岩	1/1	27.0	34.0	8.0	5.20	DK110 北の壁に近い。床面から 6 cm 深い出土。褐色色の頁岩
1171	PJ-47	石鏃	珪質頁岩	3/4	42.0	30.0	9.0	9.80	埋土一括取り上げ。青灰色で白筋のある珪質頁岩。腰部折損
1172	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1				3.50	埋土一括取り上げ。すりガラス状表面の板状原石
1173	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				4.70	埋土一括取り上げ。一免凸。すりガラス状表面の小さな原石
1174	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	23.1	-	3.1	(1.20)	埋土一括取り上げ。幅広く、ていねいな両面加工。脚部斜削折損
1175	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	30.1	24.5	8.0	5.01	埋土一括取り上げ。透明ですりガラス状表面がある原石を使用。石鏃未成品
1176	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	24.0	12.0	6.0	1.00	埋土一括取り上げ。不定形の砕片の尖った端部を穂とする
1177	PJ-47	石鏃	黒曜石	2/3	11.8	-	4.1	(1.03)	埋土一括取り上げ。片脚部欠損
1178	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	(16.4)	-	4.1	(0.47)	埋土一括取り上げ。両脚部欠損
1179	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	21.6	14.8	3.5	1.05	埋土一括取り上げ。薄い身の縁辺部に調整割した未成品
1180	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2				0.79	埋土一括取り上げ。両脚部欠損。未成品
1181	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	16.5	9.2	2.8	0.44	埋土一括取り上げ。先端、脚部欠損。未成品
1182	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.3	(0.50)	埋土一括取り上げ。先端、片脚部欠損
1183	PJ-47	石鏃	黒曜石	破片				(0.16)	埋土一括取り上げ。脚部破片
1184	PJ-47	石鏃	黒曜石	破片	-	-	2.4	(0.36)	埋土一括取り上げ。先端、脚部欠損
1185	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.5	(0.67)	埋土一括取り上げ。先端、両脚部欠損
1186	PJ-47	石鏃	黒曜石	破片	-	-	3.1	(0.88)	埋土一括取り上げ。先端、両脚部欠損
1187	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	34.9	23.6	10.5	8.58	埋土一括取り上げ。未成品
1188	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	80.3	12.8	8.9	2.69	埋土一括取り上げ。石鏃未成品と思われる
1189	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	25.7	21.4	4.1	1.98	埋土一括取り上げ。石鏃未成品と思われる
1190	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2				1.06	埋土一括取り上げ。石鏃未成品と思われる
1191	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	17.4	(16.6)	4.6	(0.90)	埋土一括取り上げ。両脚部欠損。濃黒の原石
1192	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	15.8	15.1	4.1	0.81	埋土一括取り上げ。脚部をつくりきれずに放棄した未成品
1193	PJ-47	割線のある 剥片	黒曜石	1/1				4.50	埋土一括取り上げ。割線に小さな使用痕跡がある剥片
1194	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.6	(0.60)	埋土一括取り上げ。
1195	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2				1.50	埋土一括取り上げ。未成品と思われる
1196	PJ-47	両脚石鏃	黒曜石	1/1	19.0	13.0	10.0	3.50	埋土一括取り上げ。
1197	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	20.0	16.0	5.0	1.00	埋土一括取り上げ。腰部に使用痕

PJ047号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1190	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	23.0	19.0	8.0	3.30	埋土一括取り上げ。
1199	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				1.50	埋土一括取り上げ。全周にわたって押圧割削した鋭指爪大の剥片。石髄未 成品か
1200	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	18.0	14.5	4.6	0.92	埋土一括取り上げ。小さな剥片の縁辺部を調整した未成品
1201	PJ-47	素材剥片	黒曜石	1/1	38.0	25.0	11.0	8.00	表面に自然面が残る剥片素材。
1202	PJ-47 96	石鏃	珪質泥岩	3/4	83.0	24.0	11.0	29.20	DK788 北西。床面から 12cm浮いて出土。先端部に縁状剥削に似た剥離面 あり。有茎尖頭部か。赤味のある灰褐色、やや粗粒の珪質頁岩。
1203	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				21.00	埋土一括取り上げ。一発コア、角縁ズリ
1204	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				13.80	埋土一括取り上げ。一発コア、角縁ズリ
1205	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				12.50	埋土一括取り上げ。すりガラス状剥離面の板状原石
1206	PJ-47 56	打製石斧	砂泥交互	1/1	74.0	57.0	9.0	41.40	炉と西壁の間、床面から 37cm浮いて出土。刃部が広い形状。側縁に括弧。 打製石斧と大形粗製石鏃の中間的な形態。長軸断面形は両面する。
1207	PJ-47	石鏃	黄色黒化 泥岩	1/1	31.0	43.0	6.0	6.40	埋土一括取り上げ。
1208	PJ-47 26	石鏃	黄色黒化 泥岩	1/1	44.0	67.0	8.0	17.60	伊南。床面から 22cm浮いて出土。
1209	PJ-47	大形粗製石 鏃	砂岩	3/4	36.0	83.0	9.0	23.00	埋土一括取り上げ。
1210	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	26.0	14.0	10.0	3.70	埋土一括取り上げ。
1211	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	17.5	10.0	8.0	1.10	埋土一括取り上げ。
1212	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	21.0	16.0	6.0	1.80	埋土一括取り上げ。
1213	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	19.0	13.0	4.5	1.20	埋土一括取り上げ。
1214	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	18.0	10.5	7.5	1.10	埋土一括取り上げ。
1215	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	31.0	15.0	10.0	4.60	埋土一括取り上げ。角縁ズリ剥離面が残る。漆黒で白色夾雑物が陥状に入る 原石
1216	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	32.0	16.0	8.0	4.20	埋土一括取り上げ。先端に横方向の微小割削。反対側に斜打痕。両極石器 を転用した石鏃もしくは彫刻刀のような石器か。
1217	PJ-47	両極石器	黒曜石	1/1	27.0	14.0	9.0	3.80	埋土一括取り上げ。
1218	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	3/4				1.00	埋土一括取り上げ。
1219	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				5.40	埋土一括取り上げ。
1220	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				4.40	埋土一括取り上げ。
1221	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	29.0	11.0	8.0	1.80	埋土一括取り上げ。鏃部に使用痕
1222	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.00	埋土一括取り上げ。
1223	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	14.5	11.4	2.8	0.38	埋土一括取り上げ。片側部欠損。未成品
1224	PJ-47	石鏃	黒曜石	0.55				0.55	埋土一括取り上げ。折損した未成品
1225	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石					0.96	埋土一括取り上げ。
1226	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	16.4	14.6	4.2	0.86	埋土一括取り上げ。素材剥片に縁辺調整を入れただけの未成品
1227	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	23.1	10.7	6.5	1.41	埋土一括取り上げ。夾雑物で折損した未成品
1228	PJ-47	石鏃	黒曜石	破片				0.58	埋土一括取り上げ。折損した未成品
1229	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	25.0	15.0	6.0	1.80	埋土一括取り上げ。
1230	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	14.6	14.2	3.4	0.71	埋土一括取り上げ。先端折損した未成品
1231	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	18.9	(17.3)	3.3	(0.83)	埋土一括取り上げ。ていねいな両面加工の石鏃未成品。片側部折損。漆黒 の原石
1232	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	18.2	(14.4)	4.2	(0.91)	埋土一括取り上げ。ていねいな両面加工の石鏃未成品。片側部折損。漆黒 の原石
1233	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	17.9	19.3	5.7	1.84	埋土一括取り上げ。両面加工した石鏃未成品。先端折損
1234	PJ-47	骨部	珪質頁岩	1/1	34.0	38.0	7.0	9.10	埋土一括取り上げ。様式。明瞭灰色の珪質頁岩
1235	PJ-47	剥離のある 剥片	泥岩					6.80	埋土一括取り上げ。淡黄色で軟質な泥岩
1236	PJ-47	石鏃	珪質頁岩	1/1	17.1	12.9	4.7	0.82	埋土一括取り上げ。青灰色の珪質頁岩の小さな剥片に縁辺調整しただけの 石鏃
1237	PJ-47	石鏃	チャート	3/4	16.3	-	4.0	(0.59)	埋土一括取り上げ。片側部折損。淡灰色と濃灰色帯のチャート

PJ047号住居 石器観察表

整理番号	注記	種類	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1238	PJ-47	剥離のある 剥片	泥岩					6.20	埋土一括取り上げ。1235と同一母岩。
1239	PJ-47	石匙	チャート	1/2	-	32.0	8.0	6.70	埋土一括取り上げ。淡灰色と濃灰色のチャート。刃部折損
1240	PJ-47 埋 土下	石匙	黄色風化 泥岩	1/1	37.0	64.0	8.0	14.60	埋土一括取り上げ。2層(黄土層)の下で出土。
1241	PJ-47 埋 土下	石鏃	黒曜石	3/4	17.4	17.5	6.9	1.78	埋土一括取り上げ。2層(黄土層)の下で出土。厚みのある剥片の両面を 鋭角剥離した未成品
1242	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	22.6	-	3.5	(0.85)	埋土一括取り上げ。片部折損した未成品。漆黒の原石
1243	PJ-47	石鏃	珪質頁岩	1/1	33.8	24.4	9.3	7.48	埋土一括取り上げ。青灰色の珪質頁岩のやや厚みのある剥片の両面を鋭角 剥離した未成品
1244	PJ-47 埋 土下	石鏃	黄色風化 泥岩	3/4	-	16.1	2.7	(0.42)	伊体土層内で出土した脚部の長い石鏃。先端折損。
1245	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	21.0	15.7	3.4	1.00	埋土一括取り上げ。湾曲した剥片を素材とした未成品
1246	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	22.3	-	3.9	(0.67)	埋土一括取り上げ。透明度の高い原石。片部折損
1247	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.5	3.3	(0.35)	埋土一括取り上げ。透明度の高い原石。深くえぐれた基部。先端折損
1248	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	16.5	13.4	3.8	0.58	埋土一括取り上げ。透明度の高い原石。
1249	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4 (14.8)	13.6	2.3	(0.33)	埋土一括取り上げ。先端折損	
1250	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	12.5	13.2	2.2	0.22	埋土一括取り上げ。基部が深くえぐれた石鏃
1251	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	20.1	11.5	3.0	0.38	埋土一括取り上げ。透明度の高い原石
1252	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	17.7	12.4	3.5	0.52	埋土一括取り上げ。
1253	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	19.3	15.3	2.3	0.41	埋土一括取り上げ。漆黒の原石
1254	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	19.8	17.8	3.5	0.64	埋土一括取り上げ。先端部欠損のようにみえるが調整痕を施している。 脚部にふくらみがある。透明度の高い原石
1255	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	17.8	15.4	3.2	0.50	埋土一括取り上げ。
1256	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	21.4	17.3	6.2	1.70	埋土一括取り上げ。まだ厚みがあり、基部のつくり込みも不十分で未成品 と思われる。
1257	PJ-47	石鏃	黒曜石	破片				(0.33)	埋土一括取り上げ。片部破片
1258	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	15.4	-	2.2	(0.22)	埋土一括取り上げ。片部欠損
1259	PJ-47 埋 土下	石鏃	黒曜石	1/1	21.6	16.7	4.0	0.79	2層(黄土層)の下で出土。脚部に挿入か。
1260	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	13.7	13.7	2.2	0.35	埋土一括取り上げ。未成品か。
1261	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.4	(0.31)	埋土一括取り上げ。漆黒の原石
1262	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	17.6	12.9	4.7	0.97	埋土一括取り上げ。
1263	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	15.0	14.4	3.4	0.42	埋土一括取り上げ。
1264	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4 (21.7)	(14.2)	3.3	(0.65)	埋土一括取り上げ。漆黒の黒曜石。脚部先端欠損	
1265	PJ-47	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.2	(0.35)	埋土一括取り上げ。脚部欠損
1266	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	19.1	14.9	4.0	1.09	埋土一括取り上げ。先端欠損した未成品
1267	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	-	14.8	4.3	(0.62)	埋土一括取り上げ。先端欠損
1268	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	18.6	15.3	3.2	0.53	埋土一括取り上げ。透明度の高い原石
1269	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	16.9	13.5	3.9	0.66	埋土一括取り上げ。漆黒の原石。先端部の破片。未成品
1270	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/2	12.8	-	3.0	(0.26)	埋土一括取り上げ。脚部が長い形。片部欠損
1271	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	18.2	13.1	2.7	0.33	埋土一括取り上げ。
1272	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	20.9	12.4	3.8	0.77	埋土一括取り上げ。
1273	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	31.0	32.0	9.0	5.00	埋土一括取り上げ。尖った端部二ヶ所を骨とする
1274	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.80	埋土一括取り上げ。漆黒の黒曜石
1275	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				0.80	埋土一括取り上げ。
1276	PJ-47	石鏃	黒曜石	1/1	24.0	11.0	7.0	1.80	埋土一括取り上げ。基部先端欠損
1277	PJ-47	両端石器	黒曜石	1/1	20.0	17.0	6.0	2.20	埋土一括取り上げ。角部ズリ跡面が残る
1278	PJ-47	原石	黒曜石					10.40	埋土一括取り上げ。一貫コア。すりガラス状表面
1279	PJ-47	原石	黒曜石	1/1	61.0	24.0	12.0	13.80	埋土一括取り上げ。微小剥離のある原石。原石は片状で、やや風化しく すんだ表面。側面に微小剥離と流れ。下端剥離跡面に流れとわずかな 磨りあり。

PJ047号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1280	PJ-47	原石	黒曜石	1/1	42.0	19.0	9.0	5.90	埋土一括取り上げ。主要制面も全て全面に被熱痕か
1281	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				6.00	埋土一括取り上げ。被熱痕か? 全面がややざらついた表面観
1282	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				19.30	埋土一括取り上げ。不整形な石核状で、土がこびりついたような表面観
1283	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				17.30	埋土一括取り上げ。角様ズリ。濃黒で白色部はいれる原石
1284	PJ-47	原石	黒曜石	1/1				10.90	埋土一括取り上げ。角様ズリ
1285	PJ-47 床下	石皿	黒曜石	1/1	22.9	23.0	7.8	3.27	床面下出土。未成品
1286	PJ-47 床下	石皿	黒曜石	破片				0.57	床面下出土。未成品。先端部破片
424	DK-410	にら7石匙	黒曜石	1/1	14.1	26.0	4.3	1.06	DK410出土。
4229	DK-410	南磨	珪質頁岩	1/1	63.0	40.0	10.0	30.30	DK410出土。青灰色の珪質頁岩。刃部が湾曲
4975	PJ-47	打製石斧	頁岩	破片				21.40	埋土一括取り上げ。被熱痕あり
4976	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				1.00	埋土一括取り上げ
4977	PJ-47	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				0.40	埋土一括取り上げ
4978	PJ-47	石皿	黒曜石	3/4	13.9	20.0	5.7	1.13	埋土一括取り上げ。両極打使用痕跡。
6395	PJ-47	鎌器	花崗岩	1/1	92.0	72.0	26.0	202.50	埋土一括取り上げ。巻縁に縦線状の剥離
6396	PJ-47 2	鎌器	安山岩	1/1	96.0	74.0	13.0	144.70	板状剥離の安山岩(鉄平石)の巻縁に剥離
10276	PJ-47 83	磨石類	安山岩類	1/1	103.0	72.0	37.0	375	PT800 北東の壁に近い。床面から12cm浮いて出土。片面は非常に平滑に磨料。片面に射打痕。使用により扁平に形状変化
10277	PJ-47 70	磨石類	安山岩類	1/1	94.0	73.0	55.0	495	PT800 と壁の中間。床面から7cm浮いて出土。二面が平滑に磨料し、射打痕。側面にも射打痕
10278	PJ-47 50	磨石類	花崗岩類	3/4	(116.0)	75.0	39.0	408	炉とPT810の中間。床面から32cm浮いて出土。二面に射打痕
10279	PJ-47 59	磨石類	安山岩類	2/3	(81.0)	53.0	38.0	157	DK410南端。床面から22cm浮いて出土。二面に射打痕
10280	PJ-47 82	磨石類	花崗岩類	1/1	86.0	65.0	41.0	331	DK258 北。床面から38cm浮いて出土。黒化著しい。両面に射打痕
10281	PJ-47	ハンマー	砂岩類	1/1	67.0	77.0	18.0	148	埋土一括取り上げ。扁平円縁の巻縁部に射打痕と剥離。ハンマーと判断した。
10282	PJ-47	磨製石斧	緑色岩類	破片	(68.0)	(19.0)	25.0	30	埋土一括取り上げ。刃部破片。残存部分は全面が研磨整形
10284	PJ-47 61、 62	台石	安山岩類	破片	(109.0)	(167.0)	(47.0)	1,678	炉西。床面から24cm浮いて出土。PJ-41号住居出土の破片10614と接合。
10285	PJ-47 81	石皿	安山岩類	破片	(174.0)	(150.0)	(90.0)	1,385	炉西。床面から15cm浮いて出土した石皿の破片
10286	PJ-47 1	装身具	滑石	1/1	15.0	15.0	8.0	2	
10287	PJ-47 儀土 下	装身具	滑石	破片	(30.0)	(14.0)	(6.0)	3	2層(儀土)の下で出土した滑石製品破片。器面に研磨痕
10288	PJ-47 71	磨製石斧	緑色岩類	1/1	171.0	45.0	30.0	401	DK412 北西。床面から8cm浮いて出土。刃部は平滑に研磨。器面には成形時の剥離と射打痕が残る。
10289	PJ-47 95	磨製石斧	緑色岩類	3/4	(134.0)	48.0	34.0	332	住居北壁に近い。床面から10cm浮いて出土。折損した基部のみが黒く変色。刃部は平滑に研磨。器面は射打痕が残る程度に研磨調整
10290	PJ-47	磨石類	安山岩類	1/2	82.0	36.0	416		埋土一括取り上げ。表裏面に磨料痕。射打痕。一側面に射打痕
10291	PJ-47	磨石類	安山岩類	1/2	76.0	46.0	276		埋土一括取り上げ。表裏面に磨料痕。射打痕
10292	PJ-47 53	磨石類	安山岩類	2/3	94.0	31.0	357		PT810南。床面から38cm浮いて出土。平坦な表裏面が平滑に磨料し、射打痕。二側面にも射打痕あり。器面が赤く変色。ペンラか?
10293	PJ-47	磨石類	安山岩類	破片				67	埋土一括取り上げ。
10294	PJ-47 41	磨石類	砂岩類	破片				127	炉南。床面から23cm浮いて出土。
10295	PJ-47	ハンマー	砂岩類	破片				116	埋土一括取り上げ。扁平円縁破片。使用痕ないが形状からハンマーと判断。
10296	PJ-47	ハンマー	砂岩交互	破片				50	埋土一括取り上げ。棒状円縁。使用痕ないが形状からハンマーと判断
10297	PJ-47	ハンマー	砂岩類	1/2				169	扁平円縁の巻縁部に射打痕。埋土一括取り上げ
10299	PJ-47	磨石類	砂岩類	破片				177	埋土一括取り上げ。黒化して艶くなった砂岩製磨石と思われる。
10300	PJ-47 79	石皿	安山岩類	1/1	299.0	250.0	82.0	7,200	PT800南。床面から21cm浮いて出土。

PJ49号住居

位置：F-6グリッドに位置する。中期中葉のPJ47号住居に切られ、PJ56、PJ60号住居と接する。

規模：南北4.3m、東西4.6m程度の不整形円で、堅穴は深さ53cmが残る。

埋土：黒褐色土と暗褐色土が水平に堆積する。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込み、床面としている。地床炉の北側が硬く踏みしめていた。

炉：住居中央で床面が被熱、焼土化した箇所を検出したほか、PT607号ピット東脇にも同様の焼土を検出した。

周溝：壁にそって小溝を検出した。西壁から北壁にかけては小溝が二重にめぐっていた。小溝の中、壁沿いには小ピットが検出された。

柱穴：掘方の形状、深さを参考にPT625、PT600、PT610、PT614、PT617号ピットの5基が最も新しい段階の柱穴と考えられる。

これに先行する居住期の柱穴は、PT653、PT607、PT612、PT655、PT1070号ピットの5基の組み合わせ、PT626、PT624、PT608、PT611、PT615、PT620号ピットの6基の組み合わせなどが想定できる。

出土遺物：住居中央の床面からやや浮いた位置で土器破片がまとまって出土した。これらは諸磯式が多い。このほか周辺の住居から混入したと思われる神ノ木式、有尾式土器が多く含まれる。

出土した土器と土製品の総量は36,549gで、主な内訳は、中越式2,615g、神ノ木式4,948g、有尾式1,303g、諸磯a式837g、諸磯b式7,671g、諸磯c式1,281g、諸磯式13,146g、北白川下層Ⅱc式系土器17g、前期土器4,106gである。このほか木島式、関山式、中期中葉土器がわずかにみられた。また円筒下層式に似た小破片1点が出土した。鐵形土製品1点も注目される。

出土した石器は、石鏃23点、削器6点、石匙3点、打製石斧5点、石皿1点、台石3点、磨石類2点、ハンマー2点、磨製石斧1点、有扶顕磨石器1点、礫器2点、剥離のある剥片8点、黒曜石石核1点、黒曜石原石7点である。このほか黒曜石を主とする剥片が452点1,767g出土した。

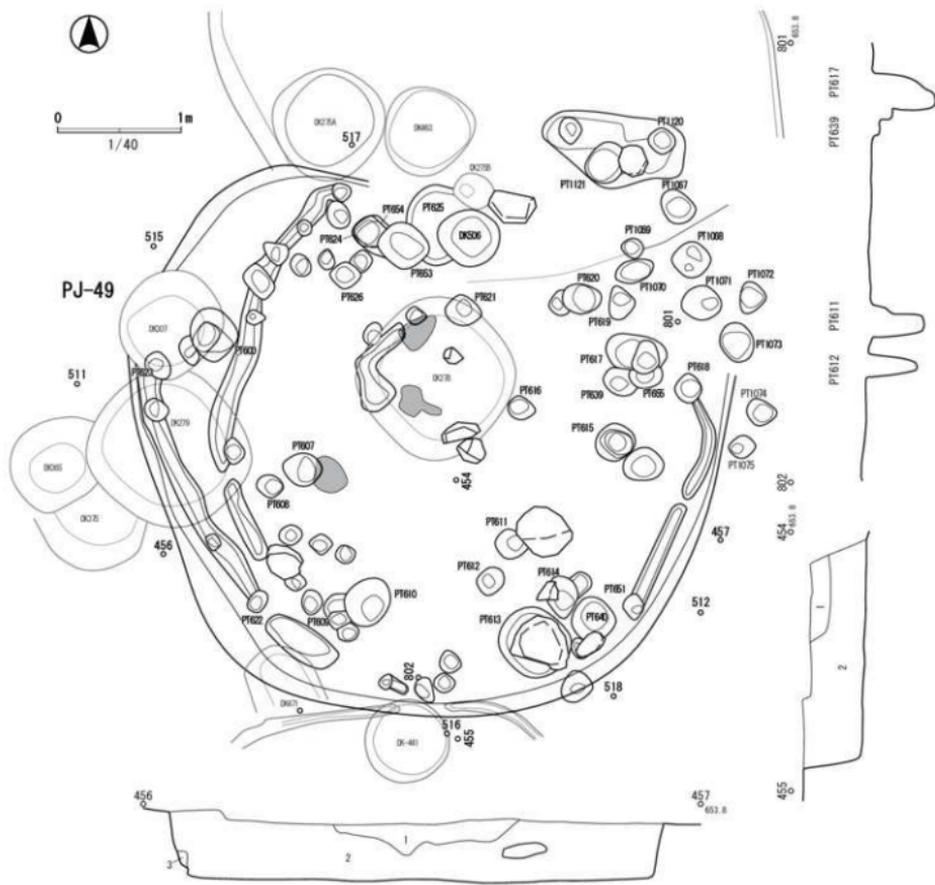
時期：本住居の使用期間を明示する出土状況は認められなかった。地床炉周辺の床面もしくは床面からやや浮いて出土した大きな土器破片は諸磯b式が多かった。以上のことから本住居は諸磯b式期に位置づけられると思われる。

PJ049号住居 土坑ピット一覧表

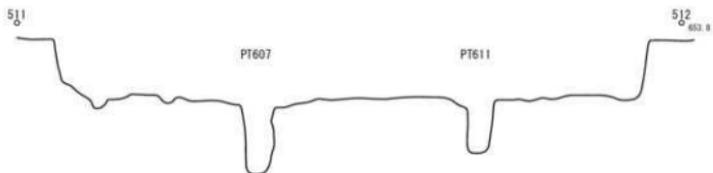
遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-600	49号内	35×24	52	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が3%炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、中越式、有尾式、諸磯式
PT-607	49号内	21×21	55	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が3%、炭土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、諸磯b式
PT-608	49号内	21→	12	10YR2/3(黒褐)に10YR2/2(黒褐)と焼土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴
PT-609	49号内	21×12	8	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)と焼土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-610	49号内	30×21	60	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、中越式、神ノ木式、諸磯b式
PT-611	49号内	20×18	34	10YR2/3(黒褐)。シルト粒土。ややしまる。	柱穴
PT-612	49号内	26→	33	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が3%、炭土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、中越式、神ノ木式、諸磯式
PT-613	49号内	57×51	15	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式
PT-614	49号内	33×22	44	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)と焼土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、中越式、木島式、中越式、諸磯b式
PT-615	49号内	29×19	20	10YR2/3(黒褐)に10YR3/2(黒褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴

PJ049号住居 土坑ピット一覧表

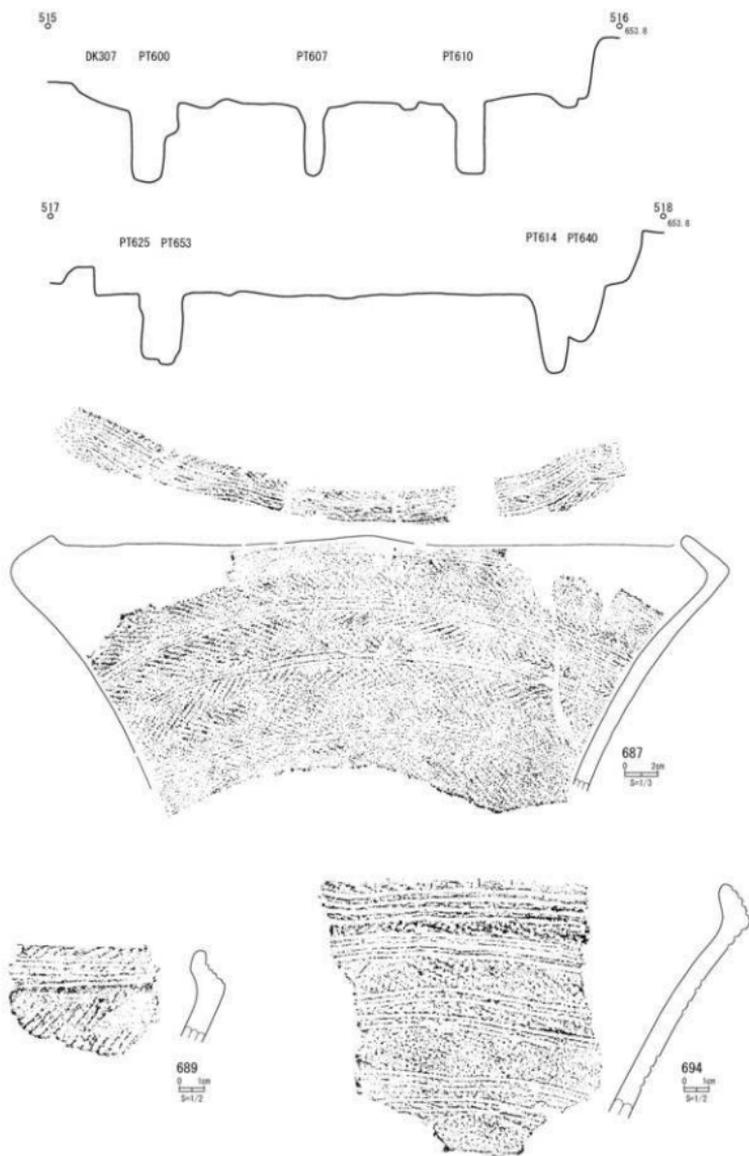
遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-617	49 住内	28*(25)	50	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と炭土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。中継式。神ノ木式。踏碇b式
PT-620	49 住内	40*(28)	21	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。間山式。有尾式。踏碇式
PT-621	49 住内	22*(20)	13	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-622	49 住内	16*(16)	28	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と焼土が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-623	49 住内	17*(17)	19	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-624	49 住内	15*(15)	11	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。踏碇式土器小片、円筒下層?
PT-625	47 住内	35*	45	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が3%、焼土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。中継式。神ノ木式。踏碇式。中期中葉
PT-626	49 住内	20*(15)	18	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。踏碇a式
PT-639	49 住内	17*(20)	21	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)、焼土と炭化物が1%混じる。	
PT-651	49 住内	16*(16)	36	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-653	47 住内	26*(33)	58	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が1%、10YR4/6(褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴
PT-655	49 住内	20*(20)	18	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と焼土と炭化物が1%混じる。シルト粒土。しまる。	柱穴
PT-1068	49 住内	30*(26)	12	10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-1069	49 住北壁	17*(15)	14	10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	中継式
PT-1070	49 住内	30*(20)	18	10YR3/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。土器小破片
PT-1071	49 住内	30*(30)	13	10YR3/4(暗褐)に 4/4(褐)が1%、炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	中継式。踏碇式
PT-1072	49 住東壁	22*(19)	12	10YR4/4(褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土。ややしまる。	踏碇式?
DK-506	47 住内	33*	26	10YR3/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	DK758号土坑に切られる。中継式。踏碇b式



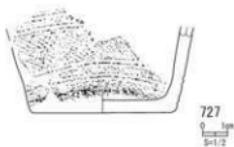
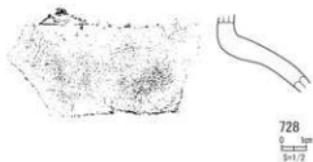
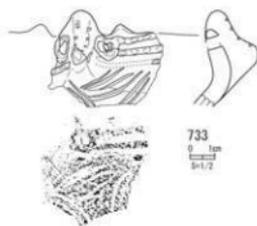
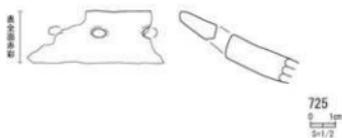
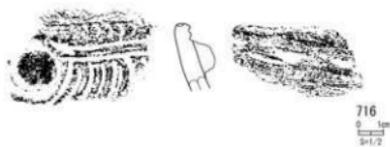
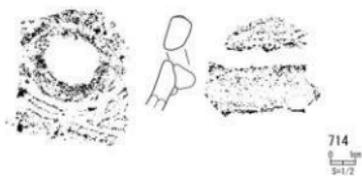
- 1階 10R2②(廊)に10R3③(廊)が0%、10R4③(二重)が100%程度の花崗岩粒が5以下、砂粒(10R4⑥(階))が9以下、置けるシルト粘土、粘性ややあり、しる。
- 2階 10R3③(廊)に10R4③(二重)が0%、10R2③(廊)が0%、炭化物が0%、焼土が0%、花崗岩粒5以下が0%置けるシルト粘土、粘性ややあり、しる。
- 3階 10R4③(二重)が100%、10R2③(廊)が0%、10R4⑥(階)が0%、10R4⑥(階)が0%置けるシルト粘土、粘性ややあり、しる。
- 4階 10R4④(廊)に10R4③(二重)が0%、10R4⑥(階)が0%、花崗岩粒3以下が0%以下、置けるシルト粘土、粘性ややあり、しる。
- 床面 10R5⑥(黄)に10R3③(廊)が0%、10R2③(廊)が0%、10R4③(二重)が0%置けるシルト粘土、粘性ややあり、しる。



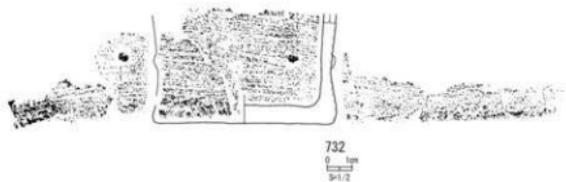
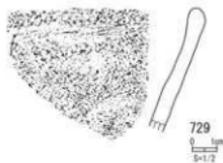
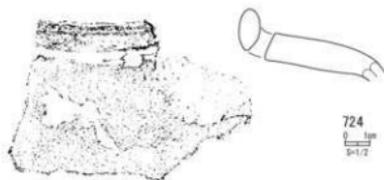
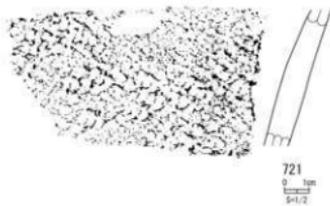
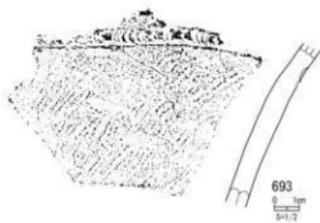
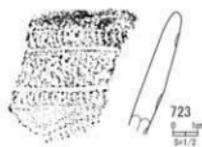
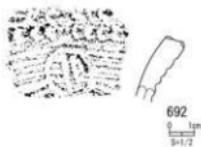
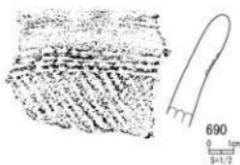
PJ049 号住居



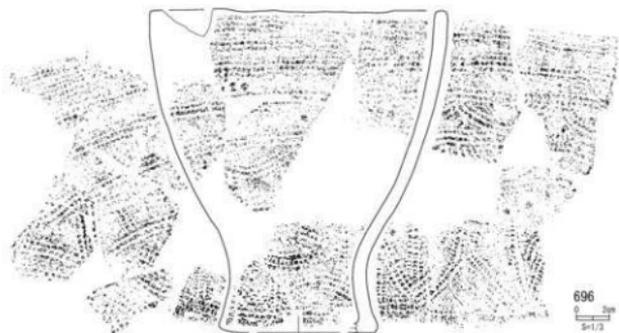
PJ049 号住居・出土遺物



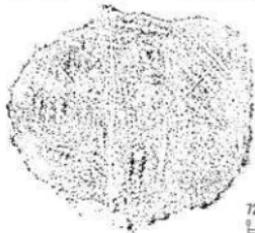
PJ049 号住居出土遺物



PJ049 号住居出土遺物



717
0 1cm
5=1/2



722
0 1cm
5=1/2



730
0 1cm
5=1/2

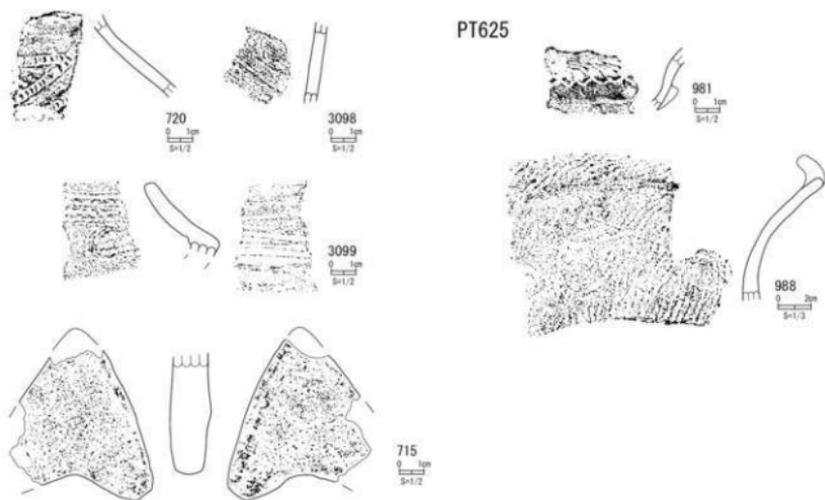


731
0 1cm
5=1/2

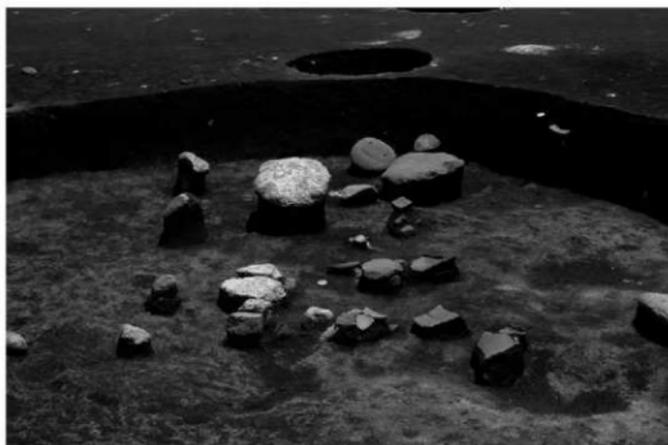


791
0 1cm
5=1/2

PJ049 号住居出土遺物

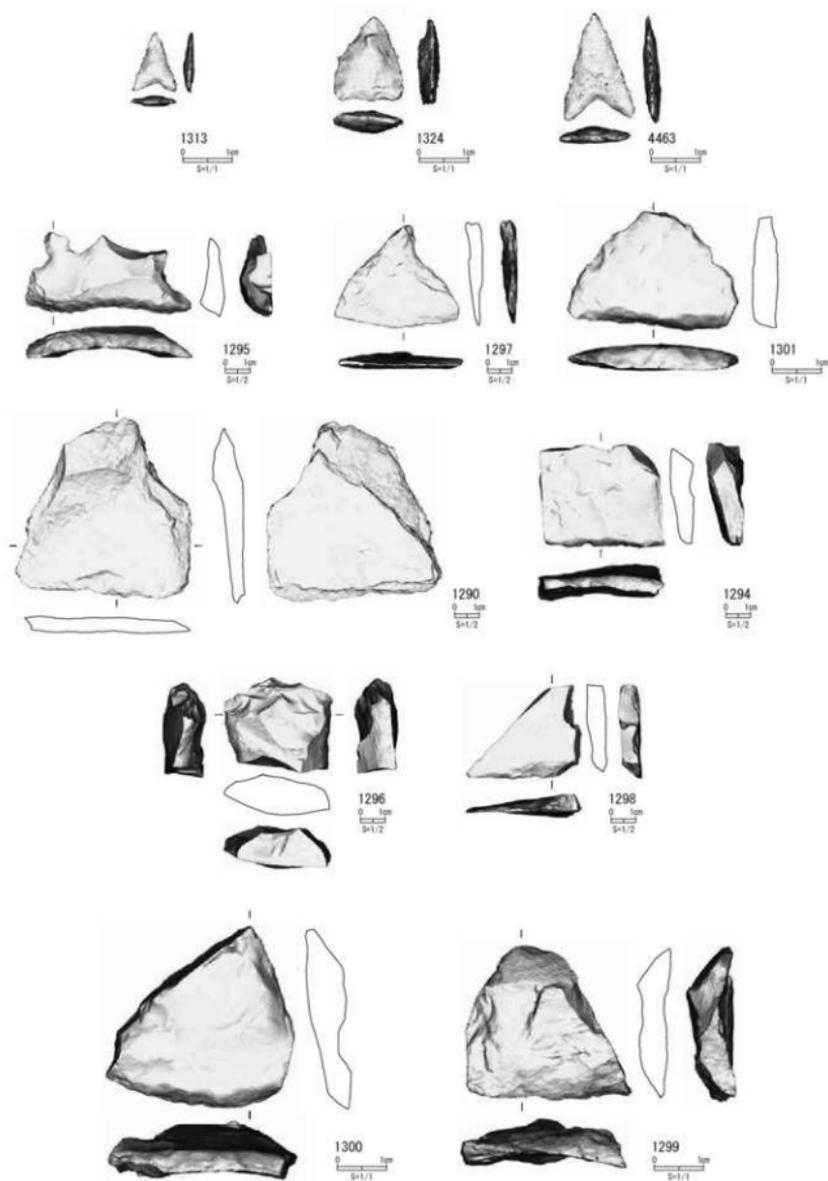


PJ049 号住居出土遺物

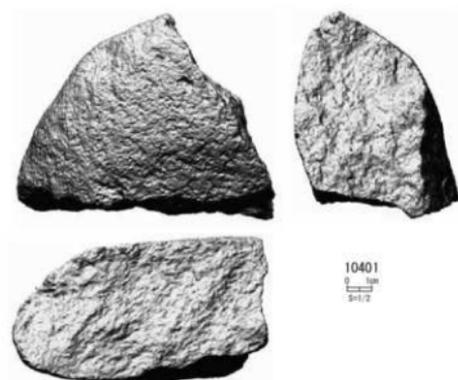
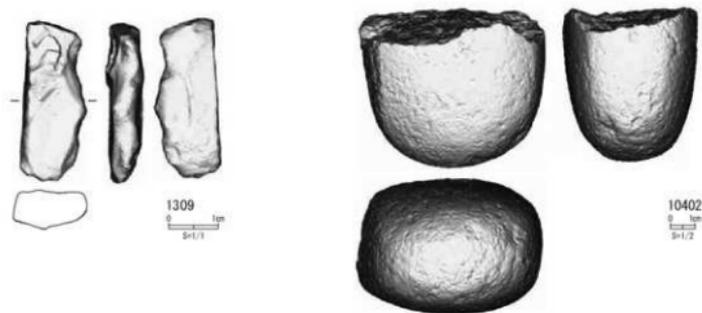


PJ049

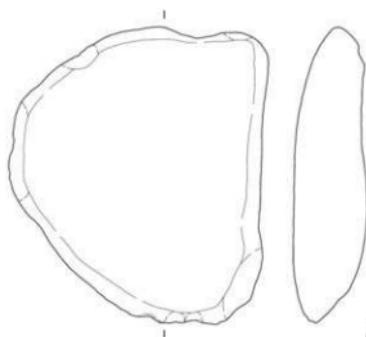
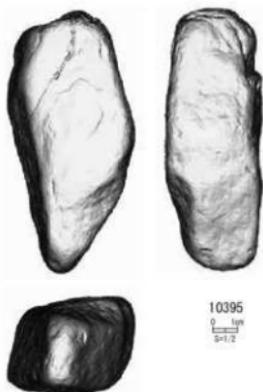
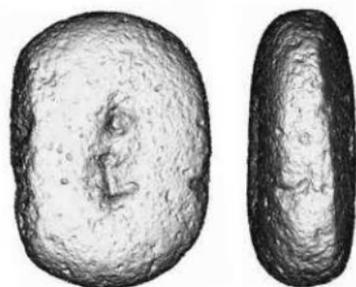
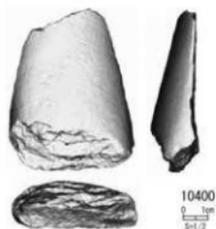
遺物出土状況を北から撮影。住居中央から南壁にかけて遺物が出土した



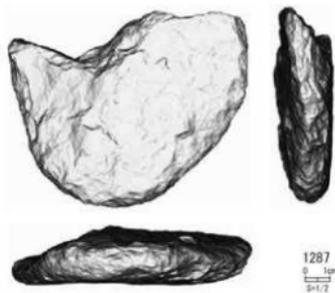
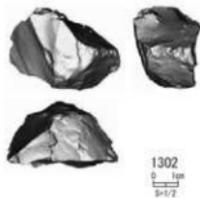
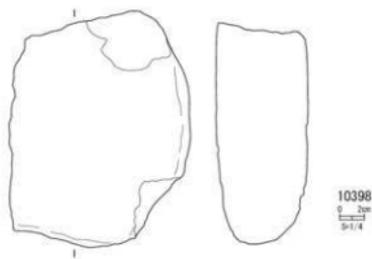
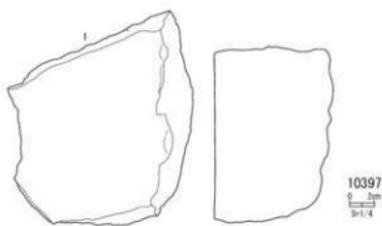
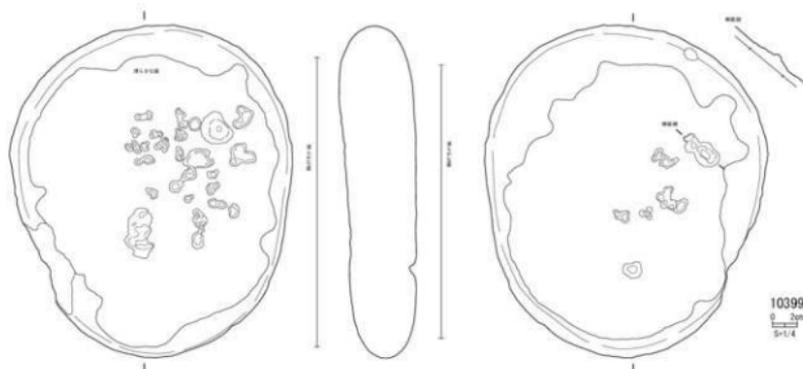
PJ049 号住居出土遺物



PJ049 号住居出土遺物



PJ049 号住居出土遺物



PJ049 号住居出土遺物

PJ049 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
689	F46	口縁部	-	-	-	28.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/3	縄文と沈線。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。特徴b式
690	F46	口縁部	-	-	-	75.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/6	口縁部に竹管押引文。縄文。内面ナデミガキ。特徴a式
692	F46/F62	口縁部	-	-	-	28.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/6	口縁部に竹管押引が二列。円文と沈線文。内面ヨコナデ。特徴a式
693	F46	胴部	-	-	-	69.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR3/2	竹管押引文と無筋縄文。内面ミガキ。特徴a式
694	F46	口縁部 ～胴部	-	-	-	136.0	破片	2.5YR3/4 2.5YR4/4	縄文施文後に沈線。内面ミガキ。特徴b式中段階
695	F46	胴部	-	-	-	274.0	破片	7.5YR6/6 5YR3/4	竹管平行沈線による取巻文。内面は指図区画がやや残るナデ調整。特徴a式
696	F47、F46、F6-2、F6-3	口縁部 ～底部	(18.0)	(19.6)	9.6	770.0	1/2	7.5YR3/2 7.5YR4/3	埋土上層出土とF6278号土坑出土。沈線した指図区画で水平。弦線、横溝などの幾何学文を施す。小円形貼付文。内面はナデミガキ。特徴c式に準拠する縄文筆式(十三番様式併行)
697	F47、F46、F6-2、F6-3、F64及F49、F47、F46	口縁部 ～胴部	-	-	-	576.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	連点状刻突文。西向き口唇部にも刻突。胎土に繊維を含まない。有尾式
708	F46	口縁部	-	-	-	85.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	靴先状の内面する波状口縁。縄文。断面突起が凸化した貼付文。内面ナデ調整。特徴b式新段階
714	F46	口縁部	-	-	-	22.0	破片	5YR4/6 7.5YR3/3	口縁部に環状突起。沈線。縄文。内面ナデ。特徴b式か
715	F46	-	66.0	58.0	16.0	56.0	2/3	7.5YR5/4 7.5YR5/4	大きな扇形の土製品。直線的な磨蝕はやや粗い調整。挟り部は指図区画がやや残るナデ調整。断面両面とも指図区画がやや残るナデ調整。胎土に繊維を含まない。器がなく、周縁を凸した形状土表の上層にもみえが、無筋調整の状況から上記のように理解した。幸而指図(北北市埋蔵品上層取)の調整期に土器片を加工した扇形土製品がある。
716	F46	口縁部	-	-	-	18.0	破片	5YR4/6 5YR4/6	口唇部に爪形刻み。口縁部に円形貼付文。沈線。特徴b式中段階
717	F46/9	胴部	-	-	-	64.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/3	F6279号ビット断面。床面からやや浮いて出土。胴部に竹管押引文。縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。有尾式
718	F46	口縁部	-	-	-	36.0	破片	5YR3/4 7.5YR3/3	靴先状の波状口縁。縄文。沈線。特徴b式新段階
719	F46	胴部 ～底部	-	-	-	31.0	破片	5YR5/6 7.5YR5/6	底部破片。浮線文による幾何学文様。特徴b式
720	F46	胴部	-	-	-	8.0	破片	10YR8/4 10YR8/3	乳白色の器面色調に赤彩。爪形押引文。内面ナデミガキ。調整は4mmから5mmと薄手。胎土に繊維を含まない。砂彩も少ない。北白川下層Ⅱc式系
721	F46/1	胴部	-	-	-	86.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR3/3	F611号ビット脇。床面出土。縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。
722	F46	底部	-	-	-	136.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	底面に木葉痕と縄文。胎土に繊維を含む。有尾式
723	F46	口縁部	-	-	-	24.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	爪形押引文と意消縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含まない。特徴a式
724	F46	口縁部	-	-	-	82.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR3/1	沈線。口縁部基部部に孔列。内外面ミガキ調整。胎土に繊維を含まない。特徴c式
725	F46	口縁部	-	-	-	39.0	破片	2.5YR3/2 7.5YR3/1	沈線。口縁部に孔列。外面はよいなミガキ調整と赤彩。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。特徴b式か
726	F46	胴部	-	-	-	119.0	破片	2.5YR4/6 2.5YR4/6	沈線の口縁部と思われる破片。内外面ともミガキ調整。胎土に繊維を含まない。特徴b式
727	F46/6	胴部 ～底部	-	-	8.8	202.0	破片	10YR4/2 7.5YR5/4	住居中央の地床坪南側。床面からやや浮いて出土。沈線と縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。特徴b式中段階
728	F46/5	胴部	-	-	-	117.0	破片	5YR5/6 5YR4/6	住居中央の地床坪南側。床面からやや浮いて出土。浅線破片。外面ミガキ。内面ナデミガキ。特徴b式
729	F46/5	口縁部 ～胴部	-	-	-	74.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	住居中央の地床坪。南側床面出土。内面した口唇部に縄文。口縁部に結束縄文。斜線文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。
730	F46/0	胴部	-	-	-	99.0	破片	10YR5/3 5YR5/6	南壁近い。埋土上層出土。結束。裏面環状の羽状縄文。内面ナデミガキ。胎土に繊維を少量含む。有尾式
731	F46/1	口縁部 ～胴部	-	-	-	117.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/3	F612号ビット上面。床面からやや浮いて出土。羽状縄文。内面は指図区画がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。金色塵母粒子が目立つ。有尾式か
732	F46	胴部 ～底部	-	-	11.0	299.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	集合沈線と小さな円形貼付文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。特徴c式
733	F46/1	口縁部	-	-	-	66.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	F612号ビット上面。床面からやや浮いて出土。刻突文のある断面突起。口唇部に小突起。浮線文。沈線。縄文。断面突起部に均等形穿孔。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。特徴b式中段階
791	F46	胴部	-	-	-	73.0	破片	10YR4/2 7.5YR5/6	水平方向に施文されたまばらな縄文。内面は接合痕が残るナデミガキ。胎土に繊維を少量含む。有尾式か
961	F46/5	胴部	-	-	-	9.0	破片	10YR7/4 7.5YR3/2	F625号ビット出土。赤彩土器の断面破片。赤彩あり。北白川下層Ⅱc式系

PJ049 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口徑 cm	器高 cm	口径 厚さ	重量	残存度	胎土色調 下段：内面 上段：外面	備考
988	PI-65	口縁部 ～胴部	-	-	-	279.0	破片	10YR3/4 7.5YR3/1	PI025 号ビット出土。縄文。内面ナメガキ。縞襷B式
3098	PI-64	胴部	-	-	-	6.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	PI024 号ビット出土。器面を空けた格状体胎文。器壁は6～7mmと薄手。内面にていぼいぼナメ仕上げ。胎土に繊維がわずかに混入。胴外面は乳白色。片断下層式か？
3099	PI-6	口縁部	-	-	-	16.0	破片	5YR4/4 7.5YR3/2	内湾する鉢形土器の口縁部破片。平帯竹管の先端をとがらせた土器で平行斜交帯を施文。内面は条状風のナメ仕上げ。胎土に繊維を含まない。厚筒式の影響か？

PJ049 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1287	PJ-49	打製石斧	砂岩	1/2	97.0	77.0	23.0	203.70	両面破面が残る厚手割片の縁辺に割痕と割打痕。打製石斧か？細粒砂岩
1288	PJ-49	打製石斧	砂岩	3/4	109.0	48.0	26.0	178.70	両面破面が残る。両様技法と割面つぶし磨打。刃部ニ磨減あり。細粒砂岩
1289	PJ-49	打製石斧	砂岩交互	1/2	82.0	62.0	25.0	147.10	刃部割みの破片。器体中央で折損。
1290	PJ-49	削器	頁岩	1/1	73.0	70.0	11.0	55.10	薄い割片の縁辺に階段状割痕と微小割痕。割面にも微小割痕。刃部周辺にわずかに磨減あり。
1291	PJ-49	打製石斧	M/2:Si	1/1	91.0	45.0	15.0	79.10	両様技法。器面が風化し使用痕が分らない。砂岩交互岩のホルンフェルス
1292	PJ-49	打製石斧	頁岩	-	54.0	42.0	11.0	33.20	刃部割みの破片。両様技法。器面が風化し使用痕が分らない。
1293	PJ-49	打製石斧	M/2:Si	1/2	61.0	44.0	10.0	32.30	基部割みの破片。両様技法。器面が風化し使用痕が分らない。
1294	PJ-49	削器	珪質頁岩	1/1	41.0	49.0	11.0	33.20	折り取った板状割片素材の縁辺に掻器状の刃部と微小割痕。片刃。白筋のある黄灰色珪質頁岩
1295	PJ-49	石匙	珪質頁岩	1/1	32.0	66.0	11.0	21.00	短長割片の打面割につまみ部。一辺に掻器状の刃部と微小割痕。わずかな磨減。白筋のある淡青灰色珪質頁岩
1296	PJ-49	削器	珪質頁岩	1/1				35.00	厚みのある板状割片素材の打面割に調整割痕。反対側は折り取り。残る二辺に掻器状の刃部。微小割痕とわずかな磨減。素材割面部に広く磨粒と灰状が生じている。白筋のある黄灰色珪質頁岩
1297	PJ-49	石匙	M/2:Si	1/1	43.0	51.0	5.0	11.50	薄い割片素材。つまみ部と割面に調整割痕。刃部は素刃か。器面が風化し使用痕が分らない。
1298	PJ-49	削器	頁岩	1/1	37.0	45.0	8.0	12.00	板状割片の一辺に刃部と微小割痕。わずかな磨減。片刃。反色に風化した黒色頁岩。
1299	PJ-49	削器	チャート	1/1	31.0	33.0	7.0	8.20	割片素材の一辺に刃部調整と微小割痕。黒筋のある暗茶灰色チャート
1300	PJ-49	削器	珪質頁岩	3/4	40.0	37.0	9.0	13.10	打面割に破面が残る割片の一辺に刃部。微小割痕。白筋のある黄灰色珪質頁岩
1301	PJ-49	石匙	珪質頁岩	3/4	23.0	33.0	5.0	4.60	つまみ部が欠損した三角形の小型石匙。一辺に掻器状の刃部。微小割痕。片刃。つまみ右側の割面は両面から調整。赤紫色の珪質頁岩。輸入石材か
1302	PJ-49	原石	黒曜石					31.30	風化割面状の破面。白色夾雑物が混入。反色筋がある半透明黒曜石
1303	PJ-49	原石	黒曜石					15.40	ズリ。反色筋のある半透明黒曜石
1304	PJ-49	原石	黒曜石					18.50	風化割面状の破面がある割片状の原石。二辺に細い調整割痕。半透明黒曜石
1305	PJ-49	原石	黒曜石					14.70	風化割面状の破面。板状の原石。反色夾雑物が混入する透明黒曜石
1306	PJ-49	原石	黒曜石					15.40	ズリ。反色夾雑物が混入。反色筋のある半透明黒曜石
1307	PJ-49	原石	黒曜石					9.30	ズリ。淡黒黒曜石
1308	PJ-49	割面のある 割片	黒曜石	1/1				3.40	不整形割片の二辺に掻器状の刃部と微小割痕。薄透状半透明黒曜石
1309	PJ-49	有快面割石 器	黒曜石	1/1	34.0	15.0	7.0	4.30	短冊状素材の一辺に快り調整。割縁。縁縁の各所に顕著な磨減あり。薄透状半透明黒曜石
1310	PJ-49	割面のある 割片	珪質頁岩	1/1				2.70	不整形割片の縁辺に微小割痕。白筋のある黄灰色珪質頁岩
1311	PJ-49	割面のある 割片	黒曜石	1/1				10.30	原石面が残る板状石核の一辺に微小割痕。薄透状半透明黒曜石
1312	PJ-49	割面のある 割片	黒曜石					0.30	指爪大の小さな不整形割片の一辺に微小割痕。薄透状半透明黒曜石
1313	PJ-49 サ ンプル③	石匙	黒曜石	1/1	12.8	9.6	2.2	0.14	小形。凹基。両面加工。片面に破面が残る。黒炭入り半透明黒曜石
1314	PJ-49	割面のある 割片	黒曜石	1/1				9.80	角がとれたズリ面が残る板状割片の一辺に微小割痕。黒筋のある薄透状半透明黒曜石

PJ049号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1315	PJ-49	原石	黒曜石					2.40	薄い割片状のズリ。半透明黒曜石
1316	PJ-49	石核	黒曜石					8.70	角楕円りに数枚の割削。一面に微小割削。漆黒黒曜石
1317	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	26.4	22.0	8.5	4.43	未成品。板状素材の3辺に両面から調整。三角形状ができた段階。折損して廃棄か。裏面から灰色半透明黒曜石
1318	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	23.4	12.7	5.7	1.52	未成品。横面が残る素材の2辺に両面から調整。先端部が分かる段階。折損して廃棄か。裏面から灰色半透明黒曜石
1319	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	(15.7)	-	2.8	(0.57)	凹基。両面加工。先端。両面先端欠損。裏面から半透明黒曜石
1320	PJ-49	石核	珪質頁岩	1/2	19.4	23.3	3.1	1.59	未成品。薄い割片素材に3辺から両面加工。先端部が大きく欠損。青灰色感のある灰色珪質頁岩
1321	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	22.8	-	4.9	(0.78)	凹基。両面加工。片側欠損。強く被熱し。割削面が不分明になるほど磨削している。
1322	PJ-49 エサンプル乙	割削のある割片	黒曜石					0.50	扁平割削面状の素材面が残る割片の一面に微小割削。暗褐色色入りの黒曜石
1323	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	18.5	-	1.9	(0.39)	先端部のみ破片。凹基。片面加工。片面に素材割削面が大きく残り。縁辺加工のみ。片側欠損。先端がぼやける。透明黒曜石
1324	PJ-49	石核	黒曜石	1/1	18.0	13.8	4.3	0.83	平基。両面加工。透明黒曜石
1325	PJ-49	石核	黒曜石	1/2	-	-	4.9	1.09	平基。両面加工。片側欠損。黒感のある半透明黒曜石
1326	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	23.5	-	3.6	(1.04)	大形。凹基。両面加工。先端。片側欠損。ていねいなくつくり。反灰色感のある半透明黒曜石
1327	PJ-49	石核	黒曜石	1/2				0.60	凹基。狭い切り。両面加工。先端欠損。反灰色感の半透明黒曜石
1328	PJ-49	石核	黒曜石	1/1	17.2	12.4	2.3	0.39	未成品か。凹基。片面に横面。片面に素材割削面が大きく残り。縁辺加工のみ。割削が弱く未成品と判断。種粒なくつくり。黒感のある透明黒曜石
1329	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	17.0	-	3.2	(0.68)	凹基。両面加工。先端。片側欠損。先端の折損部に再調整割削あり。黒色入りの半透明黒曜石
1330	PJ-49	石核	黒曜石	2/4	17.1	-	3.3	(0.46)	凹基。両面加工。片側欠損。片面に横面が残る。裏面から半透明黒曜石
1331	PJ-49	石核	黒曜石	-	-	-	2.7	(0.44)	平基。両面加工。先端。片側欠損。黒色入りの半透明黒曜石
1332	PJ-49	石核	黒曜石	3/4	(14.1)	14.8	3.9	0.46)	凹基。両面加工。先端欠損。素材の厚みが残る種粒なくつくり。裏面から半透明黒曜石
1333	PJ-49	石核	黒曜石	1/2	-	-	2.5	(0.18)	小形。凹基。両面加工。先端。片側欠損。透明黒曜石
1334	PJ-49	石核	黒曜石	-				(0.09)	片側部のみの破片。黒色入りの半透明黒曜石
4454	PT-612	石核	黒曜石	1/1	23.6	20.1	9.2	3.82	未成品。扁平割削面状の横面が残る薄い素材。両面打込の痕跡あり。先端欠損。三角形状ができた段階。透明黒曜石
4455	PT-612	割削のある割片	黒曜石	3/4				2.50	横面が残る不整形割片の2辺に微小割削。黒色入りの半透明黒曜石
4456	PT-624	石核	黒曜石					2.30	未成品。横面が残る薄い割片素材の一面に両面から深い調整割削を始めた段階。石核ブランクと思われる。暗褐色色入りの黒曜石
4457	PT-614	石核	チャート					0.60	未成品。片面に素材割削面が大きく残る。縁辺に調整割削。青灰色チャート
4463	PT-1068	石核	黒曜石	1/1	21.2	14.2	3.1	0.59	凹基。縦身。両面加工。ていねいなくつくり。透明黒曜石
4464	PT-1071	割削のある割片	黒曜石					1.40	割片の一面に微小割削。漆黒黒曜石
4664	PJ-49	石核	黒曜石	1/2	29.0	22.9	5.3	1.81	未成品。片面に横面。片面に素材割削面が残る。三角形状ができた段階。片側縁欠損。漆黒黒曜石
8397	PJ-49	磨器	砂岩	1/1	86.0	97.0	18.0	207.00	円盤状が残る板状割片の縁辺部に調整割削。刃部の一部に磨減あり。細粒砂岩
10009	PJ-49	台石	安山岩類	1/1	496.0	469.0	116.0	36,000	扁平円盤。緩く平坦な凸面部が弱く磨削。反対面は自然面
10393	PJ-49 19	磨石類	安山岩類	1/1	113.0	81.0	43.0	479	PT611号ビット裏面。裏面で出土。楕円形。平坦な2面に磨減。磨打集中の凹み。割削にも磨打痕。赤褐色の多孔質安山岩
10394	PJ-49	ハンマー	砂岩類	1/1	132.0	54.0	40.0	439	棒状五角棒の長軸端部に磨打痕と割れ。細粒砂岩
10395	PJ-49	ハンマー	花崗岩類	1/1	106.0	49.0	40.0	273	棒状五角棒の長軸端部に磨打痕
10396	PJ-49 15	台石	安山岩類	破片	158.0	(184.0)	(77.0)	2,579	裏面中央。PT615号ビットとPT605号ビットの中間地点。後面からやや浮いて出土。台石破片。片面は平坦で、片面は凸面。多孔質で使用感が分からない。E-6ドリットのD904号土坑出土の破片と接合
10397	PJ-49 13	台石	安山岩類	破片	(162.0)	(183.0)	(80.0)	3,900	住居中央。地味伊福の産出土。台石破片。平坦な1面に磨減に磨耗。他の面は割れ。割削のうち1面は磨削。
10398	PJ-49 14	台石	安山岩類	破片	(149.0)	(174.0)	(99.0)	3,100	住居中央からやや南寄り。後面からやや浮いて出土。扁平円盤の台石破片。平坦な2面に磨減と磨打痕。割れ面もやや磨削。
10399	PJ-49 18	台石	安山岩類	1/1	273.0	178.0	64.0	5,600	住居南東壁出し。PT613号ビットとPT640号ビットの間の後面で出土。平坦な2面に磨減と磨打痕。
10400	PJ-49	磨製石斧	緑色石	破片	(66.0)	(52.0)	(22.0)	78	磨製石斧部破片。割れ面と縁辺に磨減な磨削あり。何らかの用途に転用。
10401	PJ-49 12	石皿	安山岩類	破片				579	石皿破片。底部がわずかに残る。赤褐色安山岩
10402	PJ-49	磨石類	安山岩類	1/2	75.0	55.0	391	楕円形磨石の破片。平坦な2面に磨減と磨打痕。側面磨打痕	

PJ052号住居

位 置: D-5グリッドとE-5グリッドに位置する。DK38号土坑など11基の土坑が重複する。DK84号土坑など大きめの土坑は諸磯式期に属し、本住居より新しい。

規 模: 長軸5.8m、短軸4.4mの歪んだ長方形で、堅穴は深さ20cmが残るのみである。北壁側のプランは不明瞭で壁を明確に確認できなかった。

埋 土: 黒褐色土が堆積していたが、堅穴が浅いため断面実測図の作図は省略した。

床 面: 黄褐色砂質地山を平坦に掘り込み、床面としている。住居中央部がやや踏みしまっていた。

炉 : 住居中央、DK223号土坑の南脇の床面が被熱、焼土化していた。これが地床炉と思われる。

周 溝: 壁にそって断続的に小溝が検出された。

柱 穴: PT587号、PT588号、PT590号、PT591号ピットの4基が浅いものの主柱穴と思われる。またPT589号ピット、DK87号土坑の2基が組み合わせると6本柱穴で構成される亀甲型の柱穴配置になる。ほかPT593号、PT594号ピットも深さと形状が主柱穴に類似し、本住居に関わるものと推測される。

出土遺物: 住居の北西と南西角部で木島IX式と中越IV式と思われる2個体の土器がまとまって出土した。そのほかは浅い堅穴の埋土から土器破片と石器が出土している。

出土した土器の総量は4,615gで、内訳は坂平式18g、木島式745g、中越式1,882g、神ノ木式363g、有尾式393g、諸磯式833gなどである。

出土した石器の内訳は、石鏝7点、小形石匙2点、石錐1点、石槍状の両面加工石器1点、ハンマー1点、磨石類1点、黒曜石を主とする剥片153点268gである。埋土中に中越式、神ノ木式、諸磯式土器破片が混在することから、これらの石器も異なる時期が想定されよう。

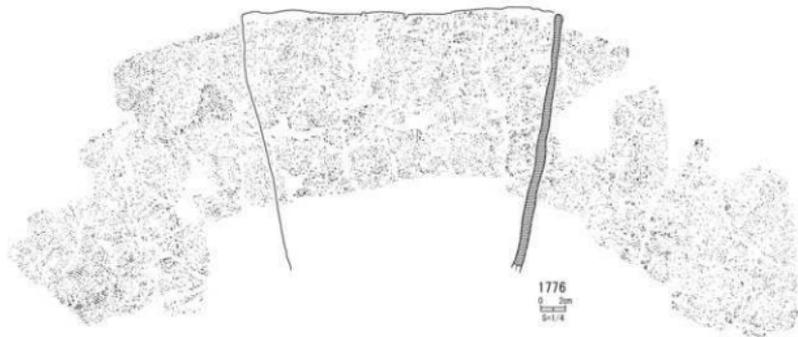
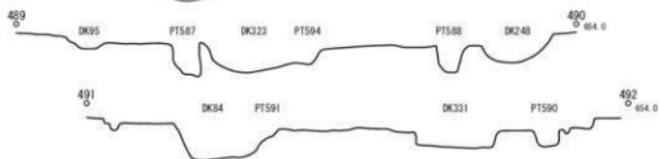
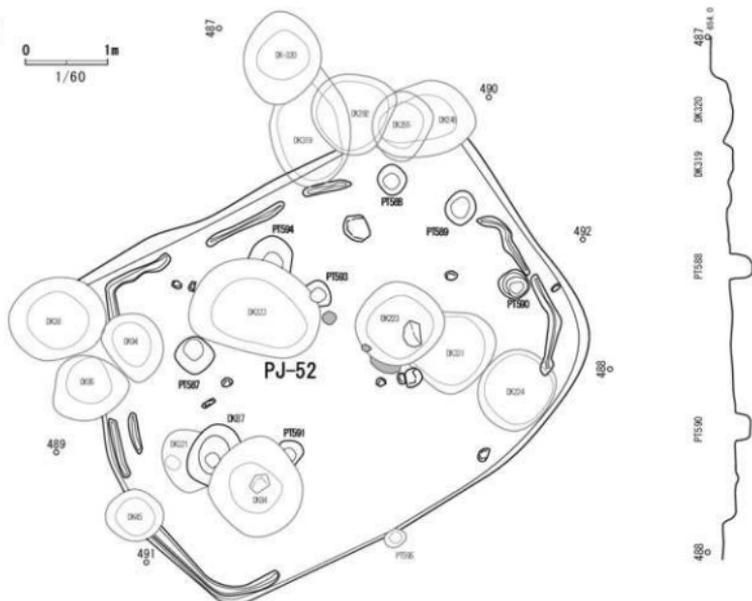
時 期: 大きく復元された土器2個体は、木島IX式と中越IV式と思われる。本住居は神ノ木式土器の影響を受け、神ノ木式土器を伴う中越式期に位置づけが良いと思われる。

PJ052号住居 土坑ピット一覧表

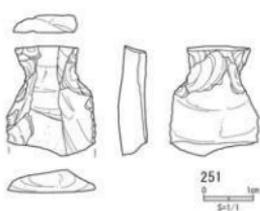
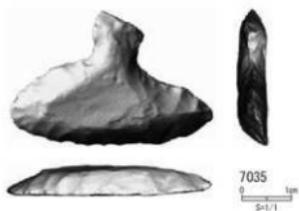
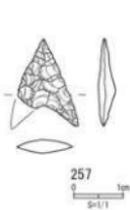
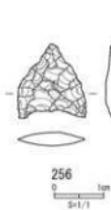
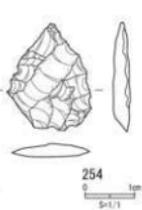
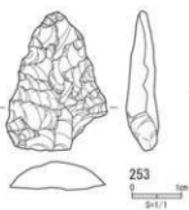
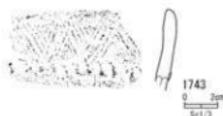
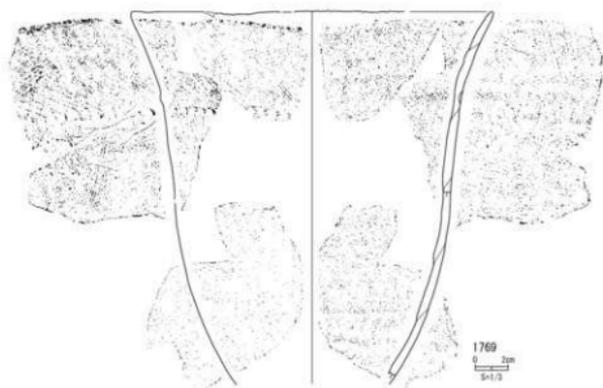
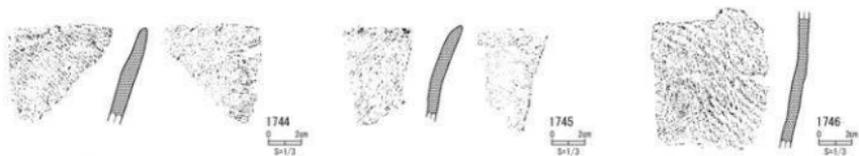
遺構番号	位置	径 (cm)	深さ (cm)	覆土色	備考(遺物など)
PT-587	52住内	40*(40)	25	10YR4/4(褐)に10YR5/6(黄褐)が5%、微土が1%混じる。シルト粒土。しまる。	中越式土器破片
PT-588	52住内	40*	26	10YR4/4(褐)に10YR4/6(褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	中越式土器破片
PT-589	52住内	36*(40)	17	10YR4/4(褐)に10YR3/3(暗褐)が3%混じる。シルト粒土。しまる。	中越式土器破片
PT-590	52住内	32*	16	10YR4/3(にぶい黄褐)。シルト粒土。ややしまる。	
PT-591	52住内	30*30	14	10YR3/4(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-593	52住内	22*	17	10YR4/4(褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-594	52住内	55*	15	10YR4/4(褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	
DK-067	52住内	50*65	40	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が20%混じる。シルト粒土。ややしまる。	DK84に切られる



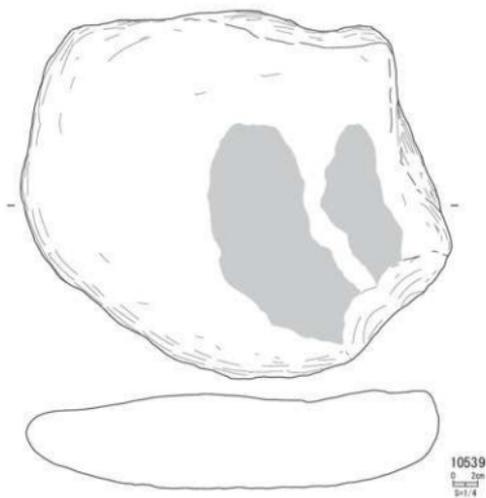
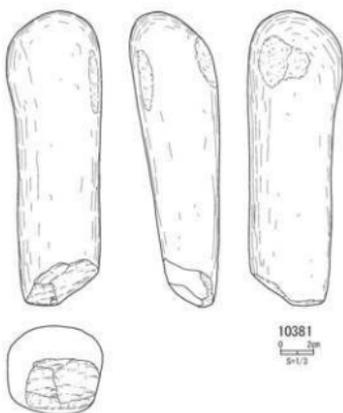
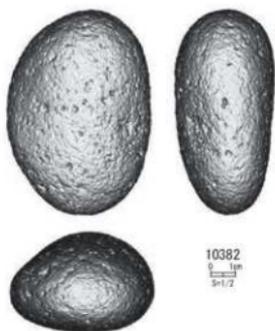
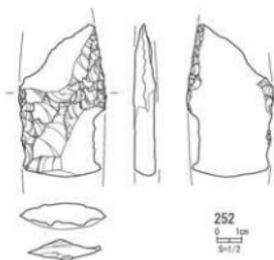
0 1m
1/60



PJ052 号住居



PJ052 号住居出土遺物



PJ052 号住居出土遺物

PJ052号住居 土器観察表

発掘番号	注記	部位	口径/幅 (cm)	高さ/厚 (cm)	底径/厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	胎土色調 下段：内面 上段：外面	備考
1742	PJ-52	胴部	-	-	-	18.0	破片	10YR6/4 7.5YR4/3	断面がマボコ形の太い器帯と区別。内面横ナデ。胎土に繊維を含む。底平式
1743	PJ-52	口縁部	-	-	-	42.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	口縁部に横歯状工具の縦痕文と刻み列。器壁は中厚手で、内面は指頭圧痕が目立つ。胎土に繊維を含まない。器面の色調は赤褐色。木鼻式と中絶式の中間的な印象。木鼻式か
1744	PJ-52	口縁部	-	-	-	26.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR3/3	口縁部の内外面に格子目状に平行次線を施文。胎土に繊維を含む。
1745	PJ-52	口縁部	-	-	-	18.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/3	外面と口縁部内面の上位のみにまばらな縦文を施文。内面は指頭圧痕が顕著。胎土に繊維を含む。
1746	PJ-52	胴部	-	-	-	56.0	破片	10YR7/4 7.5YR3/3	外面にまばらな縦文と横歯状の次線を施文。内面は指頭圧痕が残る横ナデ。胎土に繊維を含む。
1747	PJ-52	口縁部	-	-	-	17.0	破片	7.5YR7/6 5YR6/6	肥厚する口唇部に山形突起。横歯状工具の刻み文。内面横ナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
1769	10-1867, 10-2080, E-5-1, DK-45 器12, DK-45, 10-209, 1865, 1866, 1868, 1915, 1916, 2081, 2083, 2084	口縁部 ～胴部	Ø2.0	-	-	572.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	住居の南西角で破片が散在して出土。口唇部に刻み。口縁部に格子目状次線。器部に刻み列。下部には格子目文を大きく施文。口縁部内面の上位にも格子目文。内面は指頭圧痕が顕著。器壁は薄手でもしくは中厚手で。胎土に繊維を含まない。木鼻式か
1776	10-2080, DK-94, DK-95 1, DK-95, DK-38, PJ-42, PJ-52, PJ-53, E-5-1, F-5-10	口縁部 ～胴部	Ø6.0	-	-	1,001.6	破片	10YR6/4 7.5YR4/3	住居北西角の埋土中出土。横歯状工具で波状文を施文。内面は指頭圧痕が残る横ナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式土器の施文の影響を受ける段階の中絶式、中絶IV式か

PJ052号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0251	PJ-52	石匙	チャート	-	-	-	6.0	2.90	つまみ部のみが残る小形。精製石匙。黒筋のある暗灰色チャート
0252	PJ-52	両面加工石器	珪質頁岩	1/1	35.0	61.0	8.0	18.70	破熟し。現状では濃緑茶色のチャート。掘入石器。破熟して破砕。残存部をみると両面加工の石楯状。側縁は縦歯状。素材は北陸もしくは東北地方日本海側の珪質頁岩か。
0253	PJ-52	石鏝	黒曜石	3/4	28.1	20.1	6.6	2.88	未成品。両面加工。透明な黒曜石
0254	PJ-52	石鏝	黒曜石	3/4	21.6	-	3.7	(1.10)	未成品。両面加工。亀裂状の溝りがある透明黒曜石
0255	PJ-52	石鏝	黒曜石	1/1	19.8	17.1	4.2	1.15	未成品。両面加工。基部折損。灰色筋のある半透明黒曜石
0256	PJ-52	石鏝	黒曜石	1/1	15.8	13.9	4.4	0.51	小形。凹釜。短楯。両面加工。ブルーブラック黒曜石
0257	PJ-52	石鏝	黒曜石	3/4	17.5	-	3.4	(0.38)	凹釜。両面加工。片部欠損。黒筋のある透明黒曜石
0258	PJ-52	石鏝	黒曜石	1/2	-	-	3.9	(1.01)	基部割1/2を折損。主側面が残る。黒筋のある透明黒曜石
7035	10-1876	石匙	珪質頁岩	1/1	28.0	42.0	6.0	6.20	埋土出土の小形精製石匙。表面に主側面を残し。刃部は急傾斜の割痕を片面にいれる。微小な刃切れあり。白筋のある明灰色珪質頁岩。
7036	10-2149	石鏝	黒曜石	1/1	25.0	9.0	4.0	0.50	断面が菱形になるよう両面からいてはいた調整。先端部わずかに欠損。亀裂状の溝りがある透明黒曜石
7037	10-2150	石鏝	黒曜石	3/4	17.7	16.2	3.4	0.86	凹釜。素材面が残る。器体中心に白色の夾雑物が入る。未成品。透明度が低い半透明黒曜石
10381	PJ-52 4	ハンマー	砂岩	3/4	(183.0)	59.0	49.0	818	PT587とPT591のあいだの埋土下層出土。棒状。片側部欠損。残る片側縁部に深い打痕。欠損した端部にも打痕あり。
10382	PJ-52	磨石類	安山岩類	1/1	85.0	59.0	40.0	251	断面より一回り大きな円錐。使用痕不明瞭。片面に小さな斜打によるくぼみあり。
10539	PJ-52 1	台石	安山岩類	1/1	311.0	360.0	79.0	11,100	埋土上層出土。扁平円錐。鋭い凸面がかすかに隆起

PJ056 号住居

位置: E-6 グリッドと F-6 グリッドにまたがって位置する。PJ56 号住居は PJ60 号住居と重なり、PJ60 号住居埋土中に床面が設けられた住居で、PJ56 号住居が新しい。兩住居とも DK293、DK277 号、DK286 号、DK395 号、DK409 号、DK441 号土坑に切られる。

隣接する PJ57 号住居は保存状態が不良で、プラン、重複軒数が把握できず、発掘調査に苦心した。PJ56 号住居の状況も同じで、下端高が異なる西壁が二重に検出され、かつ中越式、神ノ木式、諸磯式土器が混在して出土したことから新旧に分離できると考え、PJ56A 号、PJ56B 号に分けて遺物を取り上げるなどしたが、最終的に以下のとおりの遺構内容と理解した。規模以外の事実記載はすべて PJ56B 号住居に関するものである。

規模: PJ56B 号住居は、東西 3.4m、南北推定 3.5m の不整形プランで、堅穴は深さ 20cm が残る。北壁側は PJ49 号住居などの調査に際し、先行して発掘したため確認できなかった。

PJ56A 号住居に低い西壁のみが検出された住居で、規模は不明である。壁際で中越式土器の大きな破片が出土した。

埋土: 暗褐色土が水平に堆積する。

床面: PJ60 号住居埋土上に床面を設けていた。やや硬く踏みしめていたが、貼床は認められなかった。

炉: 住居中央からやや南寄りの位置で焼土を検出した。

溝: 西壁から南壁にかけて小溝を検出した。北壁側は精査したが検出できなかった。

柱穴: PT1017、PT1018、PT1019、PT1020 号ピットの 4 基が柱穴と思われる。いずれも深さが 30cm 程度で大きさも揃っている。

出土遺物: 埋土中で土器破片と石器が出土した。居住時期を明確に示す出土状況は確認されなかった。

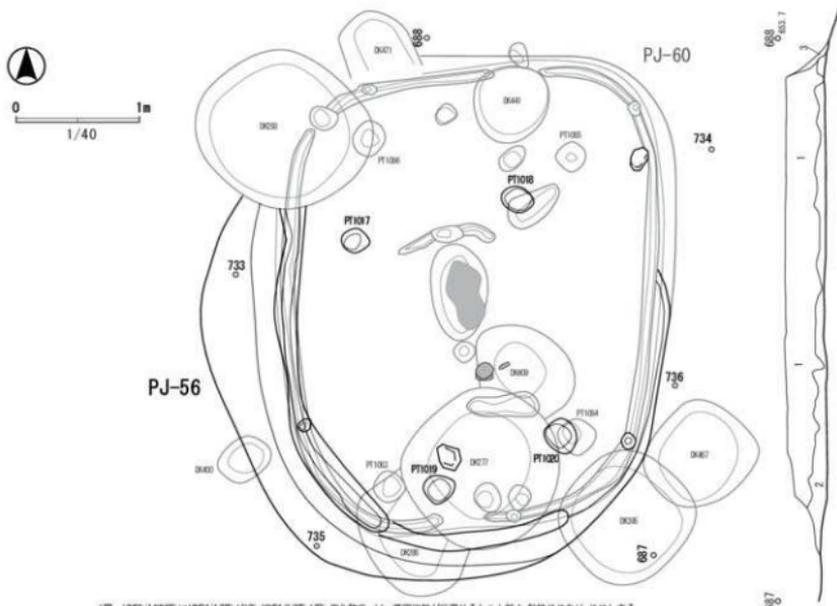
出土土器の総量は 19,258g で、内訳は、木島式 35g、中越式 8,850g、神ノ木式 6,341g、有尾式 283g、堂之上 Z 式 25g、関山式 168g、諸磯式 831g、前期土器破片 2,562g、中期土器破片 25g である。諸磯式土器破片は隣接する PJ49 号住居、重複する諸磯式期の土坑からの混入と考えられる。

出土した石器の内訳は、尖頭器 1 点、石鏃 17 点、石匙 1 点、削器 1 点、石錐 2 点、両極石器 3 点、磨石類 6 点、石皿 1 点、台石 1 点、ハンマー 1 点、棒状研磨石器 1 点、磨製石斧 2 点、剥離のある剥片 5 点、黒曜石原石 1 点、黒曜石を主とする剥片 576 点 2,323g である。

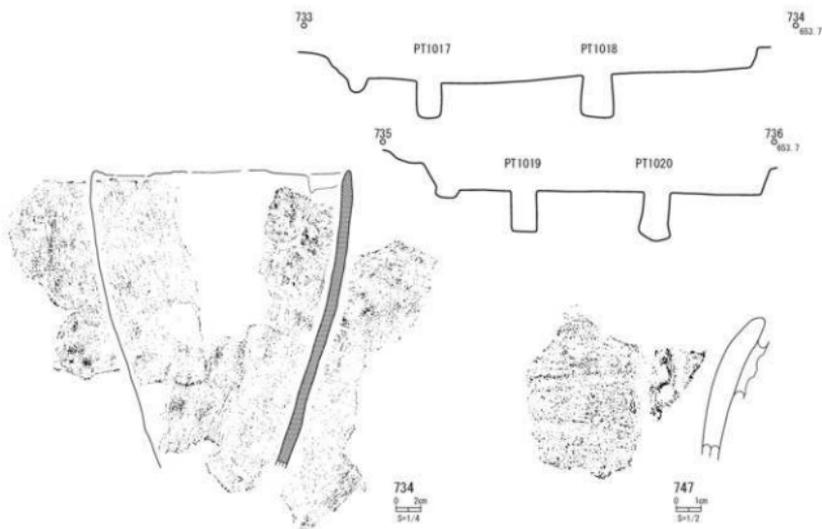
時期: PJ56A 号住居と PJ56B 号住居の新旧関係は明確にできなかったが、PJ56B 号住居の調査中に PJ56A 号住居の床面、地床炉を検出なかったことから、PJ56B 号住居が新しいと推測される。兩住居ともに、出土した土器は神ノ木式と中越式が主である。住居規模と形状は PJ19 号住居、PJ19B 号住居に類似していることから、PJ56A 号住居と PJ56B 号住居は神ノ木式を伴う中越式期に位置づけられると思われる。

PJ056 号住居 土坑ピット一覧表

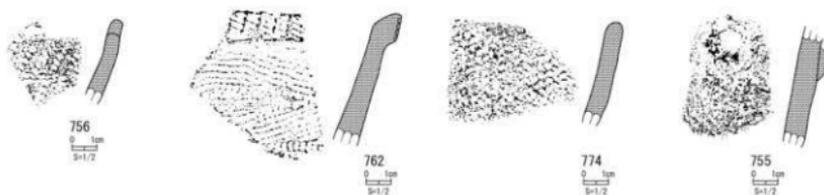
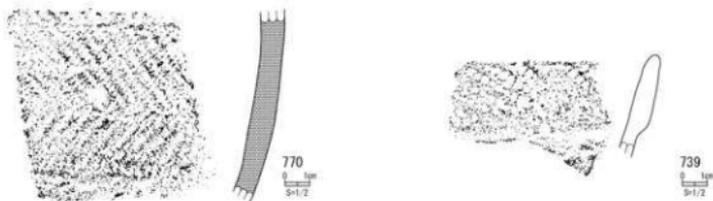
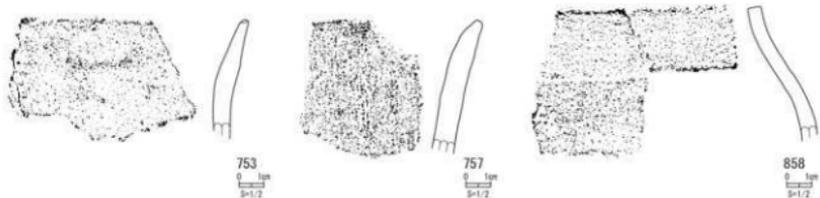
遺構番号	位置	大きさ	深さ	遺土色	備考(遺物など)
PT-1017	60 住内	18	28	10YR2/2(暗褐)に 10YR4/6(褐)が混じる。シルト粒土、しまる。	PJ56 号住居柱穴、神ノ木式
PT-1018	60 住内	23	34	10YR2/2(黒褐)に炭化物が混じる。シルト粒土、しまる。	PJ56 号住居柱穴、中越式
PT-1019	60 住内	19	34		PJ56 号住居柱穴、中越式
PT-1020	60 住内	25	32		PJ56 号住居柱穴、中越式



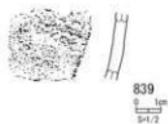
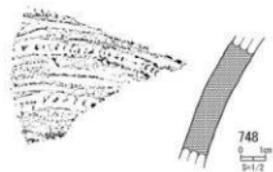
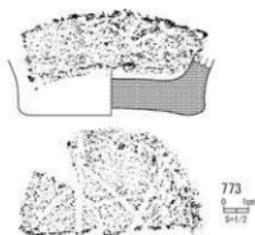
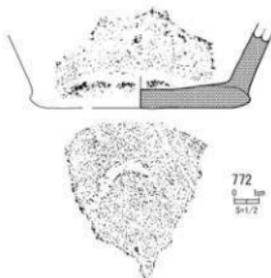
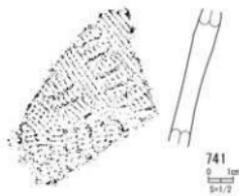
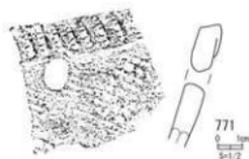
- 1層 10R2-4(9層)に10R4-4(9層)が10L, 10R4-6(9層)が灰、炭化物が1%混入するシルト粘土。粘性ややあり、ややしまる。
 2層 10R4-4(9層)に10R4-6(9層)が20%, 10R2-4(9層)が灰、炭化物が1%混下。混するシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 3層 10R2-4(9層)に10R4-4(9層)が20%混するシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 床面 10R4-4(9層)に10R2-4(9層)が10L, 10R5-4(10層)が10%混するシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 壁 10R2-4(10層)に10R4-4(9層)が20%, 10R4-3(10層)が10L, 10R2-4(9層)が10%混するシルト粘土。粘性ややあり、ややしまる。



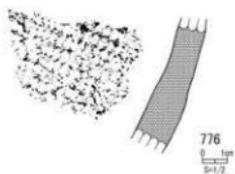
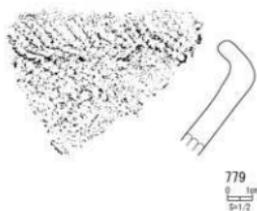
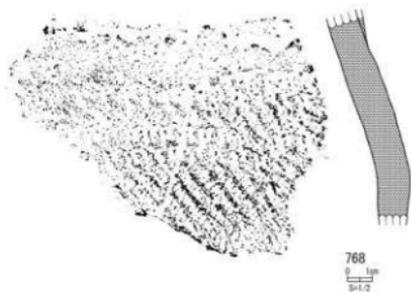
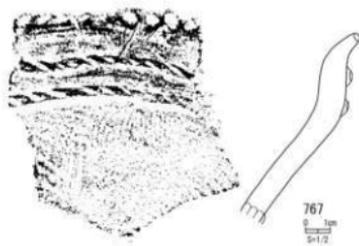
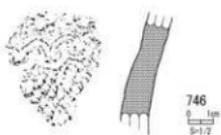
PJ056 号住居・PJ056 号住居出土遺物

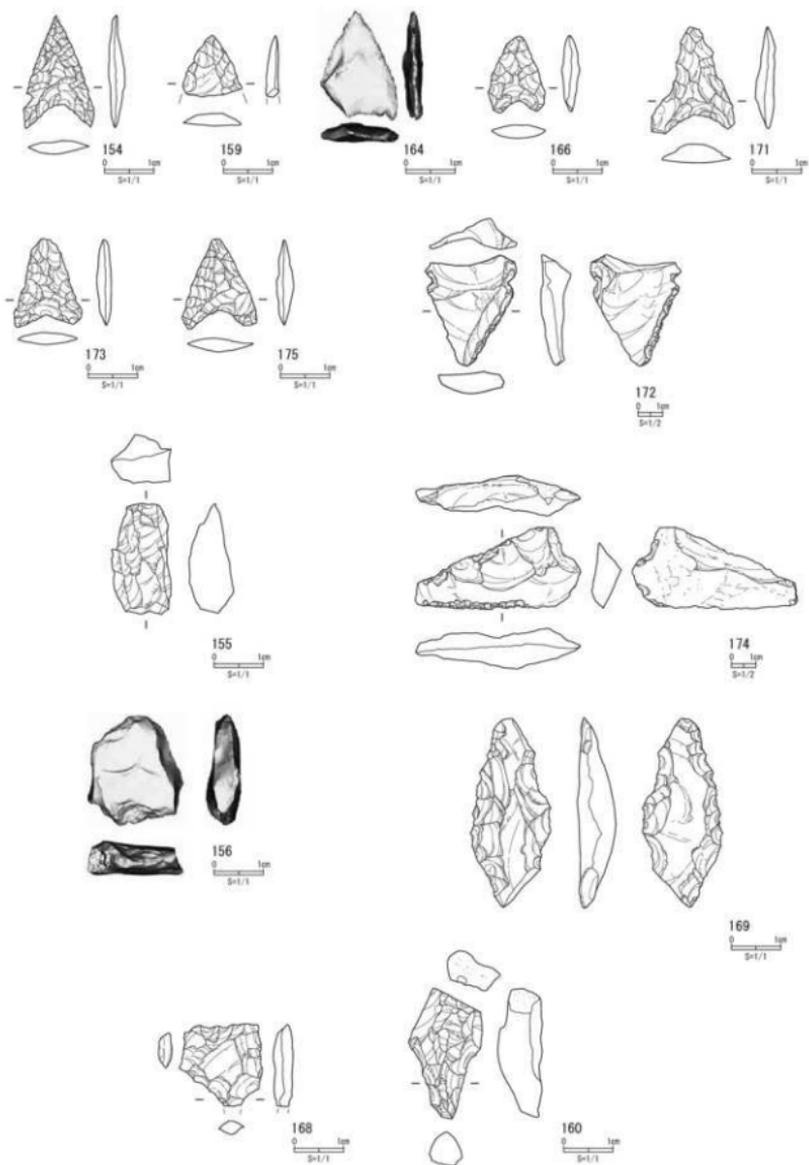


PJ056号住居出土遺物

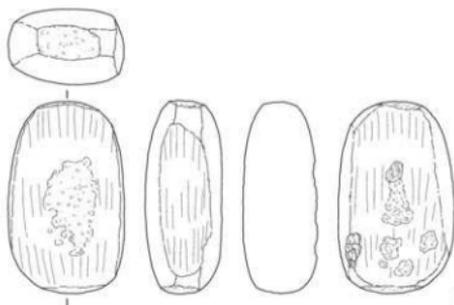


PJ056 号住居出土遺物

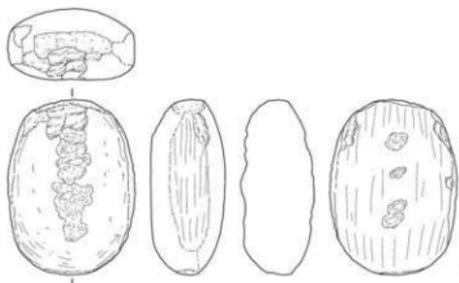




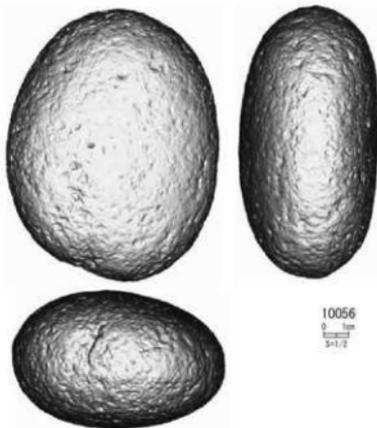
PJ056 号住居出土遺物



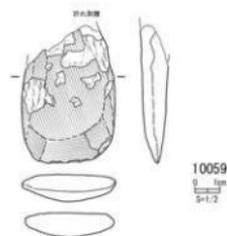
10055
0 3mm
5:1/2



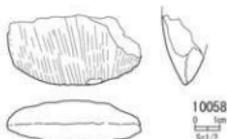
10057
0 3mm
5:1/2



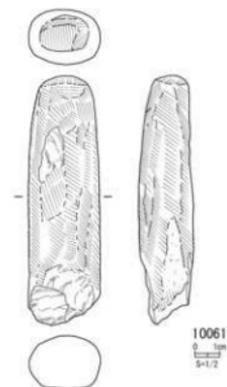
10056
0 3mm
5:1/2



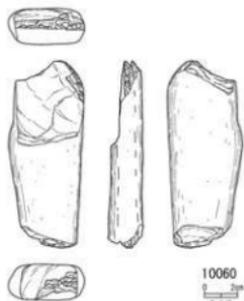
10059
0 3mm
5:1/2



10058
0 3mm
5:1/2

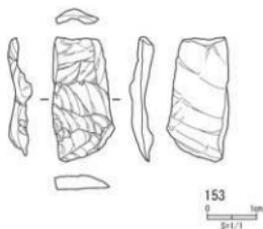
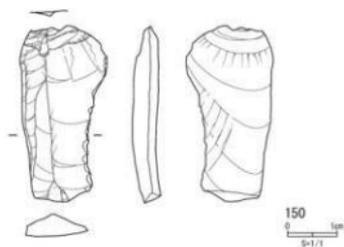
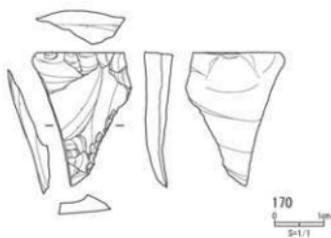
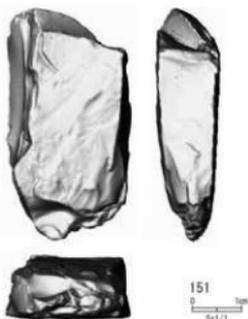
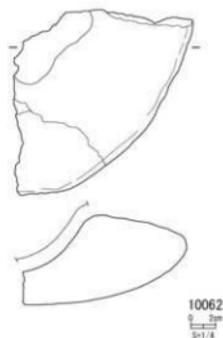
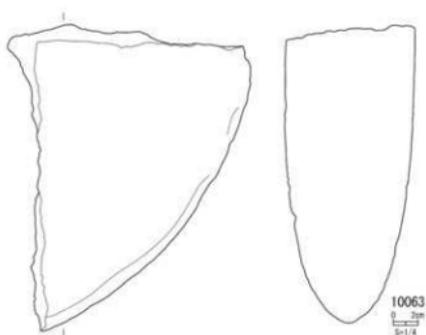


10061
0 3mm
5:1/2



10060
0 3mm
5:1/2

PJ056 号住居出土遺物



PJ056 号住居出土遺物

PJ056号住居 土器観察表

実測 番号	注記	部位	口徑 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
734	FJ-56 1, PJ-56	口縁部 ～胴部	(21.0)	-	-	706.0	1/3	7.5YR5/4 7.5YR4/3	PJ56A号住居西壁面出土。被打った口唇部。内外面とも成形時の凹凸が残る。外面は変色状の褐色子色。内面は指頭圧痕が顕著に残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中絶式。
736	FJ-56	口縁部	-	-	-	23.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR4/3	被打った口唇部。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中絶式。
737	FJ-56	胴部	-	-	-	105.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR4/3	内外面とも成形時の凹凸と指頭圧痕が残る。外面褐色ナデ。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。中絶式。
738	FJ-56	口縁部	-	-	-	36.0	破片	7.5YR6/4 5YR3/2	被打った口唇部。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を少量含む。中絶式。
739	FJ-56 2	口縁部	-	-	-	25.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	770と一緒に実壁に近い埋土層で出土。肥厚する口縁部に縄文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式。
740	FJ-56	口縁部	-	-	-	32.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR6/6	波状口縁。波頂部に指で押さえたような凹凸。角ばった口唇部。肥厚する口縁。磨面割突と条線文。内面は磨面状のヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式。
741	FJ-56	胴部	-	-	-	31.0	破片	5YR6/6 5YR5/4	磨面割突と条線。菱形模様。内面は平滑にヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式。
742	FJ-56、FJ-56A、 FJ-50	口縁部 ～胴部	(40.0)	-	-	260.0	破片	5YR6/6 7.5YR4/3	肥厚する口縁部に磨面割突。結節縄文。内面は指頭圧痕がやや残っているヨコナデ。胎土に繊維を含まない。磨面は中厚手。神ノ木式。
743	FJ-56	口縁部	-	-	-	15.0	破片	10YR5/3 7.5YR6/6	波状口縁。波頂部に指で押さえたような凹凸。磨面割突と磨面が強化した様子ははっきりみえない。胎土に繊維を含まない。神ノ木式か。
744	FJ-56、FJ-56A、 E-6-10、F-6-6	口縁部	(50.4)	-	-	159.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	波状口縁。口唇部にヨコナデの小突起。角ばった肥厚口縁。磨面割突、縄文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式。
745	FJ-56	口縁部	-	-	-	11.0	破片	7.5YR5/4 5YR4/4	口唇部に認め。肥厚口縁。爪形。内面に指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含まない。堂之上2式。
746	FJ-56	胴部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR5/3	縄文とコンパズ文。内面はいいいなナデミガキ。胎土に繊維を含む。開山式。
747	FJ-56 1	口縁部	-	-	-	42.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	PJ57A号住居西壁面で734とともに出土。口唇部から垂下する斜み隆帯。外面ヨコナデ。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。木炭式に似た胎土質と色調。中絶式。
748	FJ-56	胴部	-	-	-	32.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR4/2	爪形文と平行沈線。内面はいいいなナデミガキ。胎土に繊維を少量含む。有庵式。
749	FJ-56	口縁部	-	-	-	58.0	破片	10YR5/3 7.5YR4/2	反唇の縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。磨面は中厚手。神ノ木式。
750	FJ-56	口縁部	-	-	-	31.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	薄い磨面。外面にかすかな縄文。内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式。
751	FJ-56B	口縁部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR2/2	尖った口唇部。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に多量の繊維と粗粒の鉱物粒子が混じる。中絶式。
752	FJ-56B 28	口縁部	-	-	-	69.0	破片	10YR6/3 10YR6/3	本壁近くの床面出土。被打った口唇部。内外面とも平づく成形時の凹凸がそのまま残る。ナデ調整。胎土に多量の繊維を含む。中絶式。
753	FJ-56B	口縁部	-	-	-	28.0	破片	10YR6/3 10YR5/3	尖った口唇部。形もあり。内外面とも指頭圧痕が目立つナデ調整。胎土に繊維を含まない。木炭式に似た胎土質と磨面色調。中絶式。
754	FJ-56B 30	胴部	-	-	-	79.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/4	内外面とも成形時の凹凸と指頭圧痕が残る。外面褐色ナデ。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を少量含む。中絶式。
755	FJ-56B	胴部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR4/4 5YR6/6	口縁部近くの破片。口縁部から垂下する環状隆帯。隆帯上に磨面状工具の刻突。胴部は縄文。内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式。
756	FJ-56B	口縁部	-	-	-	7.0	破片	7.5YR4/1 7.5YR4/2	口唇部に小突起。外面縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式。
757	FJ-56B	口縁部	-	-	-	34.0	破片	7.5YR3/2 7.5YR2/1	やや角張って内唇が尖った口唇部。内外面とも指頭圧痕が残る。外面褐色ナデ。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含まず。粗粒の鉱物粒子が混じる。中絶式。
758	FJ-56B	底部	-	-	-	99.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR5/6	丸底底部付近の破片。胎土に繊維を含む。中絶式。
759	FJ-56A、FJ-57、 FJ-58A-13、FJ-58、 DK-277、E-7-5、 F-9-23	口縁部	(34.0)	-	-	612.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/3	RとLの器身。内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を含まない。磨面は中厚手。胎土質と色調が木炭式に似る。神ノ木式。
761	FJ-56A 7	口縁部 ～胴部	-	-	-	221.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/3	地床穿の南西側。床面から22cm浮いて出土。角ばった口唇部に縄文。外面斜縄文。結節縄文。内外面とも指頭圧痕が残る。内面に磨面状のヨコナデ調整。胎土に繊維を少量含む。磨面は中厚手。神ノ木式。
762	FJ-56A	口縁部	-	-	-	28.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR3/2	肥厚する口縁。やや内唇が尖った口唇部。磨面割突と条線。菱形模様。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式。
763	FJ-56A	口縁部	-	-	-	21.0	破片	5YR4/6 7.5YR3/3	低い波状口縁。波頂部に指で押さえたような凹凸。肥厚する口縁。縄文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式。
764	FJ-56A	口縁部	-	-	-	19.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/1	角ばった口唇部に縄文。外面斜縄文。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式。
765	FJ-56A	口縁部	-	-	-	41.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/6	外面に浅い沈線の格子目文。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中絶式。
766	FJ-56A	口縁部	-	-	-	67.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/2	薄い磨面。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中絶式。

PJ056 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	底厚 cm	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
767	PJ-56A	口縁部	-	-	-	94.0	破片	5YR4/4 5YR4/3	口唇部に剥み、結節浮線文と縄文。内面は横ナデ調整。胎土に織縷を含まない。窪み式中段	
768	PJ-56A 14	胴部	-	-	-	146.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	地味灰の裏側、埋土上層で772とともに出土。表面浮線文?。内面は指頭圧痕がやや残るナデミガキ。胎土に織縷を多量に含む。蘭山式	
770	PJ-56 2	胴部	-	-	-	82.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR5/3	黄堊治い、埋土上層出土。凡とIRの浮線文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に織縷を含む。神ノ木式	
771	PJ-56A 23	口縁部	-	-	-	82.0	破片	5YR6/6 5YR4/2	地味灰西照。埋土下層出土。波状口縁。内面が石の口唇部。肥厚する口縁に割面剥突、縄文。内面は指頭痕のヨコナデ。胎土に織縷を含まない。窪みあり。神ノ木式	
772	PJ-56A 14	胴部~ 底部	-	-	(3.0)	50.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR5/4	地味灰裏照。埋土上層出土。底面にかすかな木葉痕。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に織縷を含む。神ノ木式	
773	PJ-56A	胴部~ 底部	-	-	7.5	69.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	上層底気味の底面。底面に木葉痕。胎土に織縷を含む。神ノ木式	
774	PJ-56A	口縁部	-	-	-	21.0	破片	10YR7/3 10YR6/3	縷縷。内面ヨコナデ。胎土に織縷を含む。神ノ木式	
775	PJ-56A	口縁部	-	-	-	14.0	破片	10YR7/4 7.5YR5/4	やや角ばった口唇部。爪形文。内面は指頭圧痕が残るナデ。胎土に織縷を含まない。堂之上式	
776	PJ-56A	胴部	-	-	-	31.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR3/2	縄文。胎土に多量の織縷を含む。内面はていねいなナデミガキ。蘭山式	
777	PJ-56A	胴部	-	-	-	17.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	外面に浮線文。内面にも平行波縷。内面ナデ調整。胎土に織縷を含む。中越式	
778	PJ-56	胴部	-	-	-	15.0	破片	5YR4/6 7.5YR6/6	内外面に二枚の格子目文。内外面とも指頭圧痕が残る。胎土に織縷を含む。中越式か	
779	PJ-56	口縁部	-	-	-	38.0	破片	7.5YR4/6 7.5YR4/3	内面する波状口縁。縄文。内面ナデミガキ。胎土に織縷を含まない。窪み式	
781	PJ-56A	胴部~ 底部	-	-	-	14.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR5/4	平度破片。下端に爪形文。胎土に織縷を含まない。堂之上2式	
839	PJ-56	胴部	-	-	-	7.0	破片	10YR4/1 10YR6/4	貝殻微線文。内面に指頭圧痕が残るナデ調整。器壁は5mmと薄手。胎土に織縷を含まない。土直貫式か	
858	PJ-56A	胴部	-	-	-	34.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR5/4	角ばった口唇部。胴部が隆る器形。内外面ヨコナデ。胎土に織縷を含まない。胎土質、色調が木島式に似る。器壁は中厚手。中越式	
859	PJ-56	胴部	-	-	-	123.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/4	内外面とも指頭痕のナデ調整痕。胎土に織縷を含む。中越式	

PJ056 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0149	PJ-56A	石鏃	黒曜石	1/2				1.60	未成品。断面が残る割片を2辺から調整剥離。三角形が分かる段階。先端欠損。黒縷のある半透明黒曜石
0150	PJ-56A	剥離のある 割片	黒曜石	1/1				3.10	打点が残る一種の縦長割片の側面に微小割離。透明黒曜石
0151	PJ-56A	原石	黒曜石					19.90	風化と汚れが強い角礫面。一辺折り取り。黒縷の半透明黒曜石
0152	PJ-56A	石鏃	黒曜石	1/1	20.5	13.9	4.1	1.00	未成品。断面が残る小さな割片素材に2辺から調整剥離。先端が分かる段階。黒底の半透明黒曜石
0153	PJ-56A	剥離のある 割片	石英岩		15.0	12.0	4.0	1.30	薄い割片の2辺に調整剥離。1辺に微小割離。透明石英岩
0154	PJ-56B	石鏃	黒曜石	1/1	22.9	14.8	3.5	0.64	凹底。両面加工。一ヶ所ガジリ。ていねいなつくり。黒底の半透明黒曜石
0155	PJ-56	両縁石器	黒曜石	1/1	22.0	12.0	9.0	2.60	角柱状砕片の両面に衝撃剥離。黒底の半透明黒曜石
0156	PJ-56	両縁石器	黒曜石	1/1	21.0	19.0	6.0	2.90	割片の両面に衝撃剥離。黒縷の曇澤状半透明黒曜石
0157	PJ-56A	剥離のある 割片	頁岩		14.0	27.0	8.0	1.10	黄褐色 (10YR7/8)。脆く割れ面は粉っぽい散装的石材。磨入石材
0158	PJ-56A	石鏃	黒曜石	3/4		14.4	3.0	(0.54)	未成品。割片素材を両面から調整。三角形が分かる段階。透明黒曜石
0159	PJ-56	石鏃	珩質頁岩	1/2			2.7	(0.33)	先端部みの破片。灰色の珩質頁岩
0160	PJ-56	石鏃	黒曜石	3/4	26.0	14.0	9.0	3.00	厚みのある素材の2側縁を調整。尖った鋒部を作出。先端欠損。
0161	PJ-56	石鏃	黒曜石	1/1	24.2	19.1	7.1	3.03	未成品。断面が残る割片素材の2辺に調整剥離。基部側が大きく欠損。三角形が分かる段階。曇澤状半透明黒曜石
0162	PJ-56	両縁石器	黒曜石	1/1	18.0	15.0	8.0	1.90	小さな砕片の両面に衝撃剥離。白色節理面がある曇澤状半透明黒曜石
0163	PJ-56A	石鏃	黒曜石					0.57	未成品。両面加工。器体中央で大きく折損。黒底の半透明黒曜石
0164	PJ-56	石鏃	黒曜石	3/4	23.4	(16.4)	3.7	(0.85)	凹底。両面加工。片端欠損。片面に素材剥離面が残る。基部が小突起状で、基部側を調整中に折損か?縷のある透明黒曜石

PJ056号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0165	PJ-56	石鏃	黒曜石	3/4	18.3	14.9	4.1	1.00	未成品。側縁折損。両面加工。三角形が分かる段階。墓溝状半透明黒曜石
0166	PJ-56	石鏃	黒曜石	1/1	15.7	11.6	3.7	0.50	小形。凹基。両面加工。被熱してすりガラス状の器面。先端に被熱後の割痕あり。透明黒曜石
0167	PJ-56A	石鏃	黒曜石	3/4		13.5	2.6	(0.28)	凹基。両面加工。先端折損。片面に素材割面が残る。被熱してすりガラス状の器面。折損部も被熱。透明黒曜石
0168	PJ-56	石鏃	チャート	3/4	16.0	17.0	4.0	1.40	素材割面が残る割片素材に西方から調整割面。つまみ部と腰部を作出。つまみ部片縁。腰部欠損。明緑灰色チャート
0169	PJ-56	尖頭鏃	珪質頁岩	3/4	51.0	21.0	9.0	9.10	厚手の割片素材。尖頭鏃のような形状だが、先端の調整割面には尖らせる意図が感じられない。白筋のある青灰色珪質頁岩
0170	PJ-56	割片	頁岩		36.0	27.0	8.0	5.50	なめらで平坦な打面が残る割片の一切に微小割面。黄褐色で軟質な頁岩。層入石材
0171	PJ-56	石鏃	珪質頁岩	1/1	21.4	17.2	4.4	0.89	ミニチュア石鏃のようにも見える。凹基。両面加工。青灰色珪質頁岩
0172	PJ-56	石鏃	珪質頁岩	1/1	45.0	37.0	11.0	12.60	有快顕微鏡石器のような形状。1辺に儀器状刃部があり。器体に磨滅が顕著でないことから石鏃と判断した。逆三角形。複刃。儀器状刃部。実測図左面の刃部に沿った縁線に磨耗と光沢あり。白筋のある青灰色珪質頁岩
0173	PJ-56B	石鏃	黒曜石	1/1	18.0	14.2	3.2	0.55	凹基。両面加工。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
0174	PJ-56	削器	珪質頁岩	1/1	33.0	67.0	14.0	25.50	逆角割面が残る薄い割片素材の薄い縁辺に刃部と微小割面。白筋のある青灰色珪質頁岩
0175	PJ-56 土 サンプル②	石鏃	石英岩	1/1	(18.5)	(15.4)	3.6	(0.62)	凹基。両面加工。先端がわずかに欠損。透明石英岩
0176	PJ-56 土 サンプル④	石鏃	黒曜石	3/4	(15.5)	(10.9)	3.7	(0.32)	小形。凹基。両面加工。片部欠損。素材の厚みが残る程度なくなり。灰色夾雑物が混じる墓溝状半透明黒曜石
0381	PJ-56	石鏃	黒曜石	1/2			2.5	(0.33)	凹基。両面加工。長脚。片部欠損。ていねいなく。側縁にガジリ。墓溝状半透明黒曜石
0838	PJ-56	割面のある 割片	黒曜石	1/1				1.90	扇形割片の3辺に調整割面。透明黒曜石
0839	PJ-56 A	割面のある 割片	黒曜石					1.10	破面が残る碎片の薄い縁辺に調整割面。墓溝状半透明黒曜石
1713	PJ-56	石鏃	黒曜石	1/1	23.9	17.0	7.0	2.84	未成品。破面が残る厚手の素材に両面から調整割面。先端が分かる段階。基部削り調整は及ばない。黒底の半透明黒曜石
10054	PJ-56	磨石類	安山岩類	1/2	(81.0)	69.0	64.0	477	非多孔質。長楕円形断面硬質素材。磨石作業面1面と捻磨石作業面3面。ごく一部が壊しく磨耗。長楕円形の横の半分が割れたもの。一部赤色変化。
10055	PJ-56B 26	磨石類	安山岩類	1/1	118.0	121.0	47.0	627	PT100号ビット西側。床面出土。非多孔質。石鏃型。平坦な2面に磨石と磨打面。側面1面は捻磨石状。
10056	PJ-56A 10	磨石類	安山岩類	1/1	113.0	187.0	59.0	679	埋土下層出土。多孔質。楕円型。平坦な2面に強い摩滅。側面に磨打面。
10057	PJ-56B	磨石類	安山岩類	1/1	108.0	78.0	47.0	508	多孔質。石鏃型。平坦な2面に磨滅と長軸方向に並ぶ磨打面。側面1面は捻磨石状。長軸端部2面に磨打面と削れ。
10058	PJ-56	磨製石斧	蛇紋岩		(29.0)	56.0	(19.0)	27	刃部のみの破片。刃部に微小割面。割面が磨耗。刃部付近に長軸方向の線状磨痕。
10059	PJ-56A 8	磨製石斧	緑色岩類	3/4	(109.0)	58.0	25.0	250	住居中央。床面から25cm深い出土。基部側欠損。扁平な器体。刃部に微小割面。割面は磨耗。片岩状の水平節理がある緑色岩
10060	PJ-56A 4	ハンマー	頁岩類	3/4	(165.0)	47.0	23.0	168	やや扁平な棒状逆角硬質素材。長軸端部の扁平な体部の側面に磨打面と削れ。割れ面にもわずかに磨打面が認められる。
10061	PJ-56A 6	棒状磨石器	砂岩類	3/4	(110.0)	28.0	23.0	104	棒状逆角硬質素材。全面に磨滅による線状磨痕。長軸片側部欠損。ノミ形の磨製石斧か？粗粒。硬質な砂岩。
10062	PJ-56A 17	石皿	安山岩類	破片	(131.0)	(140.0)	(70.0)	1,286	地床北側。床面から16cm深い出土。1-8-18グリッド出土の小破片と接合。多孔質。皿形全面が磨滅。割れ面が黒く変色。
10063	PJ-56A 5	台石	安山岩類	破片				5,300	扁平円盤。使用痕は不明だが、扁平な面が平坦で、台石と判断。多孔質安山岩
10064	PJ-56A 18	磨石類	安山岩類					247	PT1018号ビット北側。床面から18cm深い出土。楕円型。扁平な2面に磨滅に磨耗。側面は捻磨石状。被熱。黒く変色。割れ面の一面がやや磨耗。
10065	PJ-56A 12	磨石類	安山岩類					167	PT1018号ビット南側。床面から28cm深い出土。楕円型。磨り減って扁平。扁平な2面に磨滅と長軸方向に並ぶ磨打面。長軸端部1面に磨打面。多孔質安山岩

PJ060 号住居

位置 : E-6グリッドとF-6グリッドにまたがって位置する。PJ60号住居はPJ56号住居、DK293、DK277号、DK286号、DK395号、DK409号、DK441号土坑に切られる。

規模 : 長軸4m、短軸3.2mの隅丸長方形で、堅穴は深さ35cmが残る。

埋土 : 最上層は地山由来の黄褐色砂質土が多く混じる水平堆積層で、この層の上面がPJ56号住居の床となっていた。この層は人為的に埋め戻されて形成された可能性がある。この黄褐色土層の下位は黒褐色土層で、壁際に三角堆積層が認められた。

床面 : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としていた。住居中央の地床炉周辺がややくぼみ、このくぼみから壁にかけての床面が硬く踏みしめられていた。

炉 : 住居中央のあさいくぼみの中心部に被熱、焼土化した箇所を検出した。地床炉の南側には深さ20cmのピットが検出された。あさいくぼみの両端には部分的に周溝のような小溝が検出された。これらのピットと小溝は住居上層あるいは地床炉周辺の造作に係る構造物と思われる。

周溝 : 壁沿いに溝が検出された。

柱穴 : PT1063、PT1064、PT1065、PT1066号ピットの4基が柱穴である。いずれも40cmを超える深さで、形状も揃っている。さらに南北二辺の壁沿い、中央付近に深さ15cm程度のピットが検出された。この2基のピットは棟持柱の位置に相当し、かつ地床炉脇で検出されたピットと列状に並ぶことから、柱穴とともに上屋構造に係る施設と考えられる。

出土遺物 : 土器破片と石器は埋土上層の黄褐色土層とその下位の黒褐色土層からまばらに出土したのみで、住居の居住時期あるいは廃絶時期を示す出土状況は認められなかった。

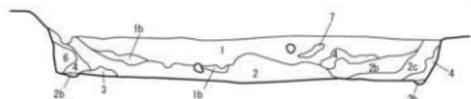
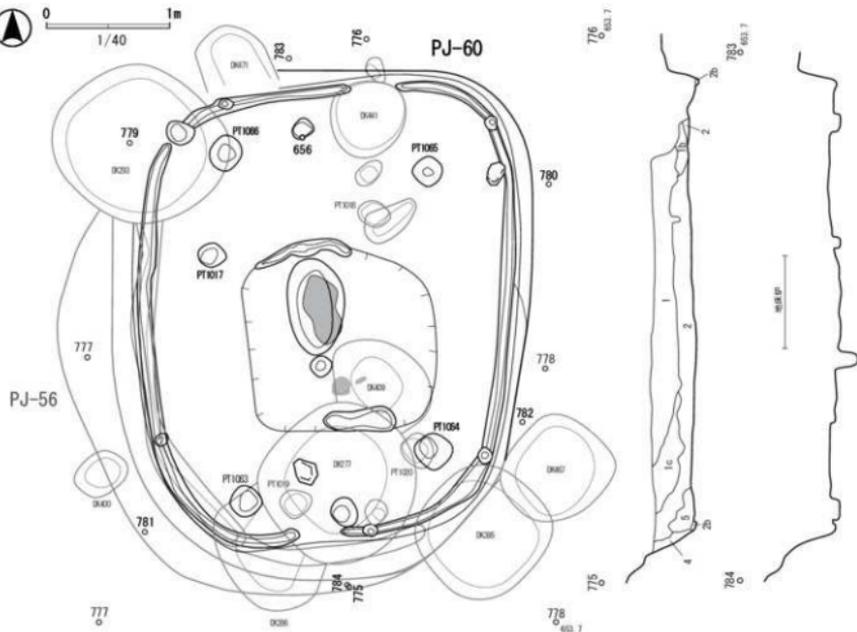
出土土器の総量は5,691gで、神之木台式53g、木島式41g、中越式4,063g、神ノ木式894g、関山式65g、前期土器破片575gである。

出土した石器の内訳は、石鏃2点、石匙2点、削器3点、両極石器1点、磨石類2点、ハンマー3点、剥離のある剥片3点、円礫1点、黒曜石原石1点、黒曜石を主とする剥片205点489gである。

時期 : 土器の出土量は中越式が圧倒的に多いことから中越式期に位置づけるのが妥当だろう。

PJ060 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1063	60 住内	16×(20)	46	10YR3/3(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴
PT-1064	60 住内	22×(27)	58(70)	10YR3/3(暗褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が3%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴、中越式
PT-1065	60 住内	21×(19)	42	10YR3/3(暗褐)。シルト粒土。ややしまる。	柱穴
PT-1066	60 住内	23×(20)	44	10YR3/3(暗褐)。シルト粒土。ややしまる。	柱穴

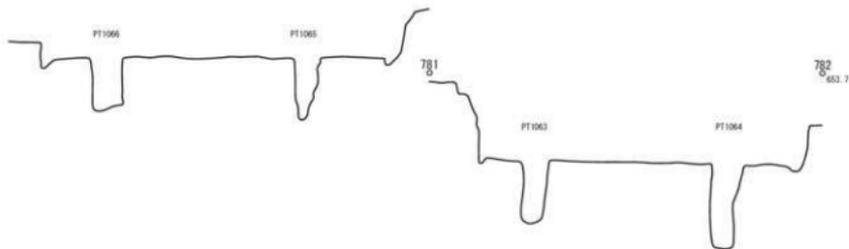


- 1層 1096.3(に51.4黄層)に1096.6(黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、固くしまる。
 2層 1層より1096.6(黄層)がやや少ない。
 3層 1092.3(赤層)に1096.6(黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 4層 2層より1096.6(黄層)がやや多い。
 5層 2層より1096.6(黄層)がやや多い。
 6層 1096.6(黄層)に1094.3(に51.4黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、固くしまる。
 7層 1096.6(黄層)に1094.3(に51.4黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。

- 8層 1096.3(に51.4黄層)に1096.6(黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 床面 1095.6(黄層)に1093.3(赤層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、固くしまる。
 壁 1095.6(黄層)に1093.4(赤層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 6層 1095.6(黄層)に1096.6(黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
 7層 1095.4(赤層)に1095.8(赤層)の粘土が0.3mほど出るシルト粘土。粘性なし、しまる。(積土層)
 床面 1095.6(黄層)シルト粘土。粘性ややあり、固くしまる。
 壁 1095.6(黄層)に1096.6(黄層)が0.3mほど出るシルト粘土。粘性ややあり、しまる。

779

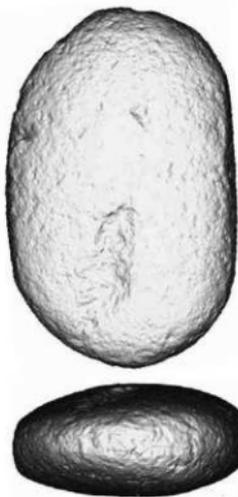
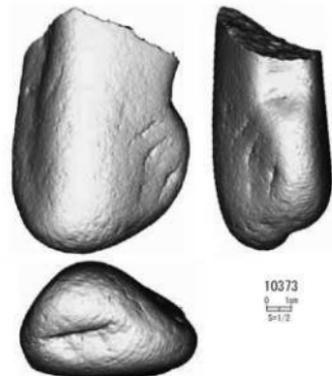
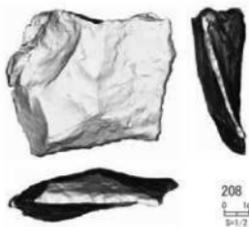
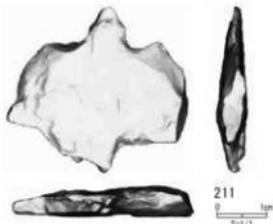
780
653.7



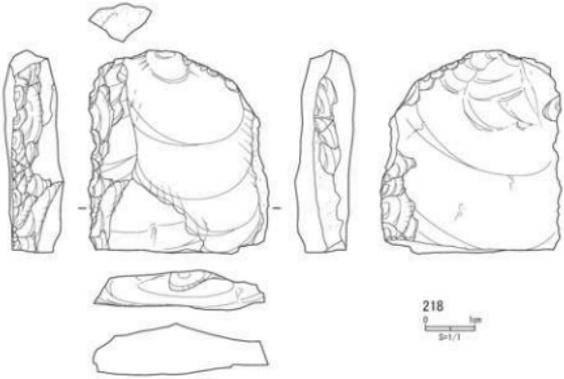
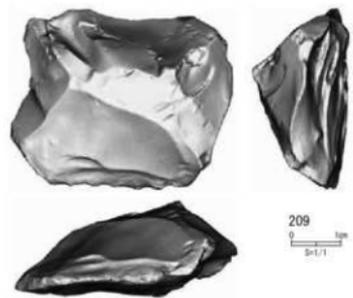
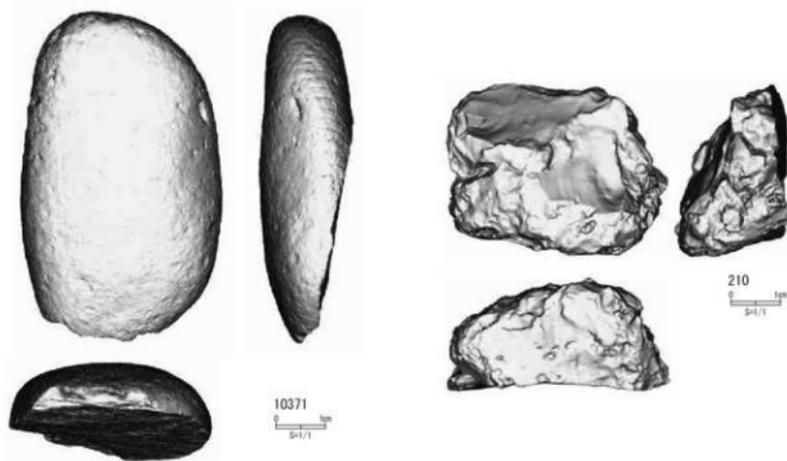
PJ060号住居



PJ060 号住居出土遺物



PJ060 号住居出土遺物



PJ060 号住居出土遺物

PJ060号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
792	PJ-60	胴部	-	-	-	32.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/6	幅広い厚い断面三角形断面。外面ナデ調整。器壁は9mm程度。胎土に繊維を多量に含む。早期末葉か
793	PJ-60	胴部	-	-	-	32.0	破片	10YR7/4 10YR7/4	平行する沈線文。内面は指頭圧痕が残るナデ。器壁は厚く、胎土に繊維を含む。中越式
794	PJ-60	胴部	-	-	-	25.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/3	併行する沈線で粗雑な格子目状文様。内面は指頭圧痕が残るナデ。器壁は中厚手。胎土に繊維を含む。中越式
795	PJ-60	胴部	-	-	-	34.0	破片	7.5YR6/4 5YR5/6	頸部のくびれに爪形文列。腰部とも沈線とつむかない格子目文。内外面とも指頭圧痕が顕著に残る。器壁は6mmと中厚手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
796	PJ-60	口縁部	-	-	-	30.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR3/3	内外面とも指頭圧痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。中越式
942	PJ-60 4、PJ-60 6、PJ-40、PJ-56A、PJ-56、DK-409	胴部	-	-	-	724.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/2	樽土上層出土。底部から大きく傾く器脚。整然と織文された縄の束。内面は平滑にナデミガ平。胎土に繊維を含まない。神ノ木式

PJ060号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0208	PJ-60	削器	珪質頁岩	1/1	60.0	70.0	16.0	72.50	厚みのある大きな剥片素材の薄し確認2辺に掻器状刃部。白灰のある黄灰色珪質頁岩
0209	PJ-60 7	剥離のある剥片	黒曜石	1/1				25.80	河川転石面が残る厚い剥片の縁辺に微小割痕。被蝕しすりガラス状の器底。微小なひび割れ。霧漙状半透明黒曜石
0210	PJ-60	磨石	黒曜石					35.30	ズリ面と風化剥離面で囲まれた原石。漆黒黒曜石
0211	PJ-60	石匙	チャート	1/2	35.0	-	6.0	7.10	剥片素材。刃部削が大きく欠損。黒と灰白色のチャート
0212	PJ-60	高棒石器	黒曜石	1/1	10.0	20.0	4.0	1.40	長方形の剥片の長辺部2辺に衝刺割痕。霧漙状半透明黒曜石
0213	PJ-60	削器	黒曜石	1/1	43.0	22.0	9.0	6.90	ズリ面が残る縦長剥片の3辺に刃部と微小割痕。黒縁のある霧漙状半透明黒曜石
0214	PJ-60 土 サンプル②	石鏝	黒曜石	1/2	-	-	3.2	(0.48)	凹基、両面加工。先端欠損。基部切りは浅い。霧漙状半透明黒曜石
0215	PJ-60	石匙	黒曜石	1/1	23.0	43.0	7.0	5.30	河川転石面が残る縦長剥片素材。1辺に片面から刃部調整。刃部に微小割痕とつぶれ。霧漙状半透明黒曜石
0216	PJ-60	石鏝	黒曜石	3/4	16.9	(13.1)	3.1	(0.31)	凹基、両面加工。片面欠損。割痕はやや湾曲。黒縁の半透明黒曜石
0217	PJ-60	削器	黒曜石	1/1	32.0	48.0	9.0	14.20	縁面が残る縦長剥片の厚い側面に掻器状の刃部調整。刃部は湾曲し、微小割痕とつぶれがある。やや褐色がかかった半透明黒曜石
0218	PJ-60	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	36.0	41.0	11.0	19.50	厚みのある板状剥片。長軸端部は折り返り。側面に刃部。刃部に微小割痕とつぶれ。白色夾雑物が混じる霧漙状半透明黒曜石
0219	PJ-60	剥離のある剥片	黒曜石	-				0.70	剥片の2辺に調整割痕。透明黒曜石
10069	PJ-60 5	磨石類	安山岩類	1/1	150.0	96.0	51.0	865	地床伊の南西側。床面から27cm浮いて出土。精円型。使用減りして扁平。扁平な2面に磨耗。1面は長軸方向に並ぶ磨打痕。側面2面は塊磨石状。長軸端部に磨打痕。
10070	PJ-60 8	ハンマー	砂岩類	1/1	122.0	53.0	30.0	238	西壁に近い。床面から22cm浮いて出土。棒状面円礫素材。大きな磨理面がある。長軸端部に磨打痕。細粒砂岩
10071	PJ-60	ハンマー	砂岩類	3/4	(70.0)	43.0	20.0	80	扁平精円礫素材。側面に打点がある剥離と磨理面で器体が大きく欠損。長軸端部に磨打痕。細粒砂岩
10072	PJ-60 2	ハンマー	砂岩類	1/1	108.0	45.0	31.0	218	地床伊南東。床面から28cm浮いて出土。棒状面円礫素材。長軸端部1面に磨打により生じたと思われる小さな平坦面があることからハンマーと判断。細粒砂岩
10073	PJ-60 3	磨石類	安山岩類	1/2				476	地床伊南東。床面から33cm浮いて出土。面円礫素材。狭い楕円1面が塊磨石状。扁平な2面も顕著な磨耗。
10074	PJ-60	円礫	砂岩	1/2				67	訳大の円礫破片。磨理面で割れ。使用後は認められないが1面が平坦。花崗岩質のやや粗粒な砂岩

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居

位置 : E-6グリッドから北へG-7グリッドにかけて位置する。PJ49住居、PJ60号住居、PJ63号住居、PJ65号住居などと重複する。この一帯で住居状の落ち込みが検出され、土器、石器が散漫に出土し、柱穴と思われる多数のピット、周溝、貼床状の黄褐色粘質土が確認されたことから、貼床の範囲ごとに住居番号を付して調査した。しかし、最終的に住居ごとの明確な範囲を限定することができなかった。

出土遺物からこれらの遺構は、前期前葉中越式期から前期後葉諸磯b式期にかけて構築された住居跡が削平されるなどして、個別に認識できなくなったものと考えられる。

ただし合理的な柱穴の組み合わせ、周溝との組み合わせを検討し、可能な限り、住居数とその帰属時期を記載する。

規模 : PJ57号住居とした大きな掘り込みは、複数軒の住居が重なり合った結果と思われる。E-7-4グリッド周辺で、隅丸方形に小溝が巡り柱穴4基が組み合う箇所があり、これを周溝に囲まれたPJ57号住居と呼ぶ。想定される住居の規模は長軸4.2m、短軸3.6mである。

埋土 : 黒褐色土と暗褐色土が混じりあうシルト粒土が堆積していた。遺構確認面で個別住居を識別することはできなかったが、PJ49号住居、PJ60号住居、PJ63号住居、PJ65号住居は認識できた。これら4軒の住居はそれぞれの地点で最も新しい段階の住居跡と推測される。

床面 : E-6-25グリッドで黄褐色地山が硬く踏みしめた箇所を検出した。同じグリッド周辺で検出されたピットの組み合わせと整合的である。

PJ65号住居埋土の上位で貼床状の黄褐色粘質土を検出し、これをPJ66号住居とした。床面が検出された範囲は南北1.6m、東西1.7mの範囲である。

炉 : F-7-6グリッドで焼土を検出した。これをPJ62号住居炉とした。この焼土はDK459号土坑に切られる。周囲に柱穴ピットを検出したが、焼土との位置関係は不整合である。

F-6-25グリッドからF-6-15グリッド周辺でも数ヶ所の焼土を検出した。一部はSD26号、SD30～SD33号焼土址の遺構名を付した。

周溝 : PJ57号住居としたE-7-4グリッド周辺で隅丸方形にめぐる小溝を検出した。

柱穴 : 多数の柱穴と思われるピットを検出した。ピット出土土器で時期を想定し、形状、深さ、位置関係から住居柱穴の組み合わせを以下のとおり想定してみた。

PJ57号住居 : PT1036、PT1037、PT1046、PT1055号ピットの4基。これらは隅丸方形にめぐる小溝と組み合わせる可能性があるが、炉跡は検出されなかった。ピット出土土器は中越式、神ノ木式である。

PJ62号住居 : PT1041、PT1044、PT1154号ピットの3基。これにはF-7-6グリッドで検出した焼土址が組み合わせる可能性がある。ピット出土土器は中越式、神ノ木式である。

E-7-7グリッド周辺 : PT970、PT1129、DK458号土坑底面で検出されたピット、PJ55号住居北壁沿いのピットの4基が方形に組み合わせる。土器は出土せず時期不明。

E-7-3グリッド周辺 : PT1034、PT1099、PT1031号ピットの3基。1基は見落とした可能性がある。土器は出土せず時期不明。

E-6-25グリッド周辺 : PT1028、PT1132、PT640、PT1050、PT1047、PT1116号ピットの6基。これらは長方形に配列される。深さに若干のばらつきがあるが、同じ位置で検出された硬化面と整合的である。4基で中越式、神ノ木式土器が出土した。

E-6-20グリッド周辺 : PT1131、PT1092、PJ60号住居内のDK441号土坑とPT1018に挟まれたピットの3基。土器は出土せず時期は不明。

F-6-21グリッド周辺 : DK488号土坑、PT1049、PT1048号ピットの3基。方形に組み合わせる。土器は出土せず時期は不明。

F-7-2 グリッド周辺：PT1103、PT1025、PT1107 号ビットの 3 基。PT1025 号ビットはPJ63 号住居確認面で見出されたことからPJ63 号住居より新しい遺構である。出土土器は中越式、神ノ木式である。

F-6-23 グリッド周辺：PT1076、PT619、PJ49 号住居内PT615 号ビットに隣接するビットの 3 基。残る 1 基は見落とした可能性がある。土器が出土せず時期不明。PJ49 号住居との新旧関係も不明。

F-6-23 グリッド周辺：PT1122、PT618、PT1067 号ビットの 3 基。1 基は見落とした可能性がある。出土土器がなく時期不明。PJ49 号住居との新旧関係も不明。

F-6-23 グリッド周辺：PT1077、PT616、PT654 号ビット、DK414 号土坑の 4 基。土器が出土せず時期不明。PJ49 号住居との新旧関係も不明。

F-6-24 グリッド周辺：PT1113、PT1135、PT1121、PT1108 号ビットの 4 基。諸磯 b 式期の M2 号溝跡に切られる。出土土器は中越式、神ノ木式、有尾式。黒褐色の地山が踏みしまった硬化面と地山が広く弱く被熱焼土化した焼土址が組み合わせる可能性がある。

PJ67 号住居：G-6-21 グリッド周辺で見出された PT1096、PT1113、PT1128、PT1100 号ビットの 4 基。柱穴に囲まれた範囲には黒褐色地山の上面にやや灰色がかかった硬く踏みしめる床面状の硬化面が断片的に検出された。さらに SD31 号、SD33 号とした焼土址が検出された。DK312 号土坑西側 1m の硬化面上で神ノ木式土器の大きな破片が、さらに北側 1m 地点では格子目状に条痕を施した繊維土器破片がまとまって出土した。ビット出土土器は中越式、神ノ木式であった。

出土遺物：発掘調査時に個別住居の範囲を明確に限定することができなかったため、出土遺物の取り上げも曖昧となった。観察表には出土位置を小グリッド単位で明記するように努めたが、調査時の住居番号で一括取り上げたものは出土位置が絞り込めない。

複数の住居が想定される広い範囲で出土した土器の総量は 64,063g で、木島式から諸磯式土器まで幅広い。神之木台式 334g、早期木葉 227g、木島式 200g、中越式 13,115g、神ノ木式 18,842g、関山式 110g、堂之上 Z 式 13g、清水ノ上 II 式 132g、有尾式 3,618g、諸磯 a 式 1,035g、諸磯 b 式 1,160g、諸磯式 16,878g、北白川下層 II b 式と II c 式 82g、前期土器破片 8,244g、中期土器破片 73g である。

出土した石器の内訳は、石鏃 68 点、石匙 11 点、削器 7 点、石錐 7 点、両極石器 7 点、三脚石器 1 点、鋸歯縁石器 2 点、磨石類 20 点、ハンマー 6 点、磨製石斧 1 点、礫器 3 点、剥離のある剥片 24 点、黒曜石を主とする原石 22 点、黒曜石石核 3 点、礫 4 点、剥片 1,280 点、3,080g である。

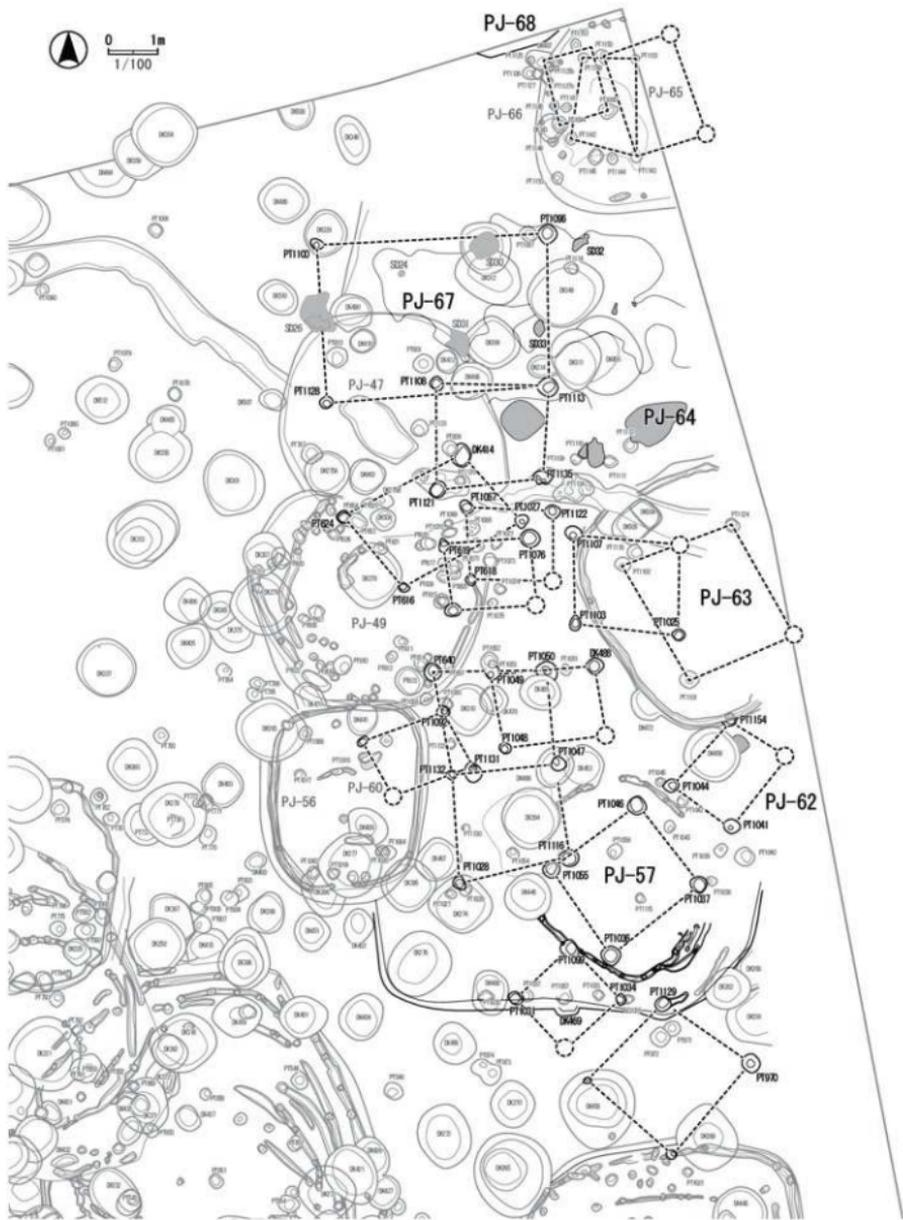
時期：周溝に囲まれた PJ57 号住居と PJ62 号住居は、ビット出土土器から中越式、神ノ木式期と思われる。PJ67 号住居は 4 基のビットと焼土址、硬化面の組み合わせを 1 軒の住居と認定できるなら神ノ木式期に位置づけられる。

PJ057 号・PJ062 号・PJ064 号・PJ067 号・PJ068 号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	遺土色	備考(遺物など)
DK-414	47 号内	4×22	23(27)	10YR2/3(黒褐)、シルト粒土、ややしまる。	PT099 に切られる。PT618 ほかと組み合う。神ノ木式、諸磯式、中期土器小片、中層土器は PT009 からの混入か。
DK-488	63 号西 5.5m	5×40	24(14)	10YR2/3(黒褐)、シルト粒土、ややしまる。	PT1048 ほかと組み合う
PT-616	49 号内	19×36	9	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	DK414 ほかと組み合う
PT-618	49 号内	24×27	30	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	PT1067 ほかと組み合う
PT-619	49 号内	29×36	30	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)が混入する。シルト粒土、ややしまる。	PT1076 ほかと組み合う

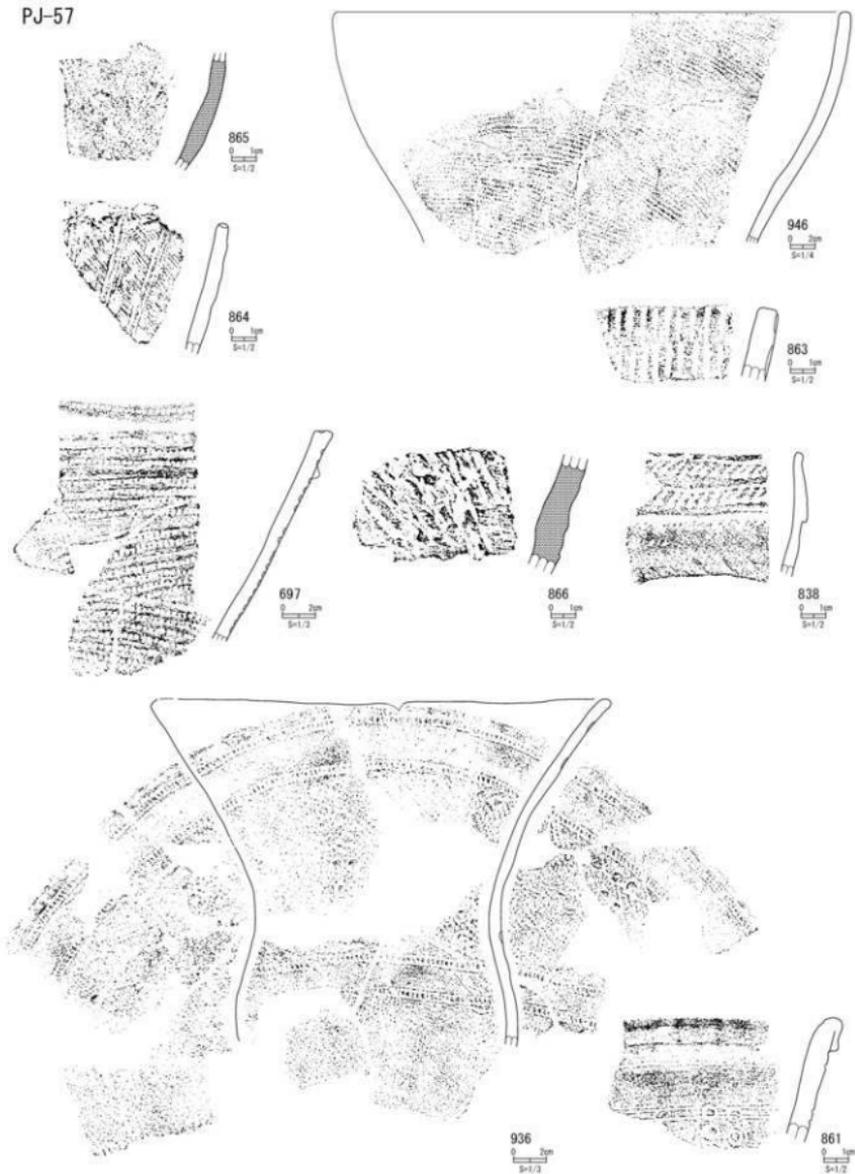
PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-640	49 住内	2x20	38	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1050ほかと組み合う。PJ062号住居に切られる。神ノ木式
PT-654	47 住内	19x20	12	10YR2/3(黒褐)に10YR2/2(黒褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT616ほかと組み合う
PT-970	57 住 南 東 1.5m	2x-	23	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1129号ビット、DK68号土坑内ビット、PJ65号住居北壁沿いビットを組み合う
PT-1025	63 住内	2x-	27	10YR2/3(黒褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PJ63を切る。PT1103ほかと組み合う。中越式小片
PT-1028	57 住内	2x0	54	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1047ほかと組み合う。中越式小片
PT-1031	57 住内	2x20	37		PT1035と組み合う
PT-1034	57 住内	5x0	33		PT1006、PT1021と組み合う。中越式小片
PT-1036	57 住内	2x-	18	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%混じる。シルト粒土、ややしまる。	周溝で囲まれたPJ67号住居柱穴。中越式小片
PT-1037	57 住内	2x06	30(37)	10YR2/3(黒褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	周溝で囲まれたPJ67号住居柱穴。神ノ木式
PT-1041	57 住内	2x20	25(75)	10YR4/4(褐)に10YR4/1(褐)が3%、炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PJ62号住居柱穴。中越式、神ノ木式小片
PT-1044	57 住内	2x20	22(28)	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が2%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PJ62号住居柱穴。
PT-1046	57 住内	2x20	35	10YR2/3(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が3%、炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	周溝で囲まれたPJ67号住居柱穴。中越式、神ノ木式小片
PT-1047	57 住内	2x20	34	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が3%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1028ほかと組み合う
PT-1048	60 住 東 1.5m	2x20	10	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が3%、炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1049ほかと組み合う
PT-1049	48 住 東 0.5m	2x-	14	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1048ほかと組み合う
PT-1050	63 住 西 1.5m	2x-	23	10YR2/2(黒褐)に10YR4/2(灰黄褐)が1%、炭化物が2%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT640ほかと組み合う。中越式小片
PT-1055	57 住内	2x20	28(33)	10YR2/3(黒褐)に10YR4/6(褐)が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	周溝で囲まれたPJ67号住居柱穴。木鳥式、中越式小片
PT-1067	47 住内	2x26	17	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が3%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT616ほかと組み合う
PT-1076	49 住 東 1.0m	2x-	20	10YR2/2(黒褐)に10YR。シルト粒土、ややしまる。	PT619ほかと組み合う。礎あり
PT-1077	49 住 東 0.5m	2x-	30	10YR2/2(黒褐)に10YR2/2(黒褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT616ほかと組み合う
PT-1092	49 住 南 東 0.5m	2x-	24		PT1018ほかと組み合う
PT-1096	67 住内	2x20	5	10YR2/3(黒褐)に炭化物が1%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1100ほかと組み合う。中越式、神ノ木式
PT-1099	57 住内	2x-	40	10YR4/4(褐)に10YR2/4(暗褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1025と組み合う
PT-1100	47 住 北 1.5m	2x20	23		PT1096ほかと組み合う
PT-1103	63 住 西 0.5m	2x-	30	10YR2/3(黒褐)に10YR4/4(褐)が1%混じる。シルト粒土、しまる。	PT1025ほかと組み合う。中越式小片
PT-1107	63 住 西 0.5m	2x-	22	10YR2/3(黒褐)に10YR2/2(黒褐)が5%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1025ほかと組み合う。木鳥式小片
PT-1108	47 住内	2x20	26	10YR2/3(黒褐)。シルト粒土、しまる。	PT1113ほかと組み合う
PT-1113	67 住内	2x20	36	10YR2/3(黒褐)に10YR3/3(暗褐)が10%混じる。シルト粒土、ややしまる。	PT1106ほかと組み合う。2棟分の柱穴が重複か
PT-1116	57 住内	2x6	-27		PT1028ほかと組み合う
PT-1121	47 住内	2x20	19	10YR4/6(褐)。シルト粒土、しまる。	M22号溝に切られる。木鳥式、神ノ木式、有籠式。踏礎式土器はM22の混入
PT-1122	48 住 東 1.0m	2x-	25	10YR2/3(黒褐)に10YR2/2(黒褐)が10%、10YR4/6(褐)が5%混じる。シルト粒土、しまる。	PT618ほかと組み合う
PT-1128	47 住内	2x20	22	10YR4/6(褐)。シルト粒土。	M22号溝に切られる。PT1100ほかと組み合う。中越式。踏礎式土器はM22号溝の混入
PT-1129	57 住内	2x20	27		PT970号ビットと組み合う
PT-1131	60 住 東 1.0m	2x20	27		PT1018ほかと組み合う
PT-1132	60 住 東 0.5m	2x08	40(45)		PT1028ほかと組み合う。神ノ木式小片
PT-1135	64 住内	2x-	20		M22溝に切られる。PT1121ほかと組み合う。中越式、神ノ木式
PT-1154	63 住 南 壁	2x-	26	10YR2/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が5%混じる。シルト粒土、しまる。	PJ62号住居柱穴



PJ057号・PJ062号・PJ063号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居 全体図

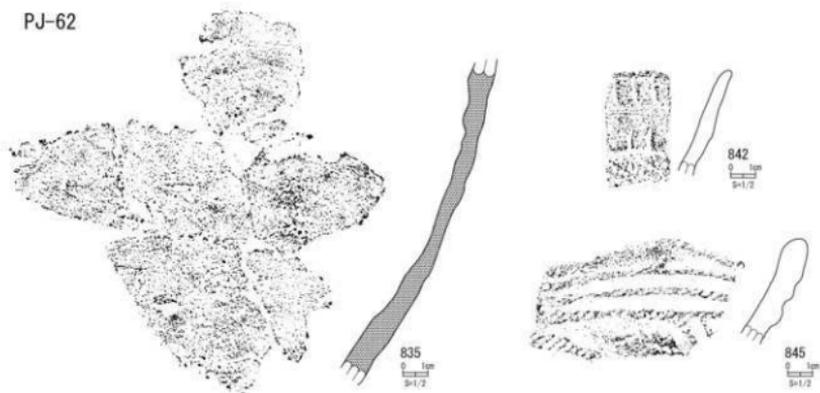
PJ-57



PJ057号・PJ062号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物

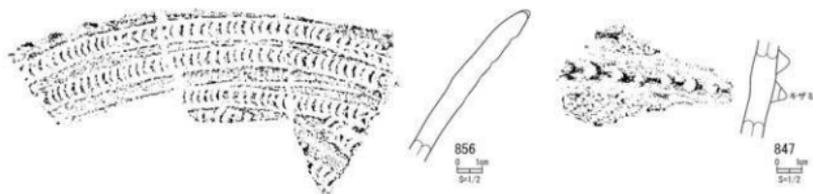


PJ-62



PJ057号·PJ062号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遗物

PJ-62

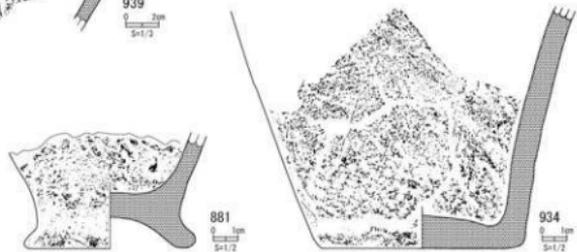
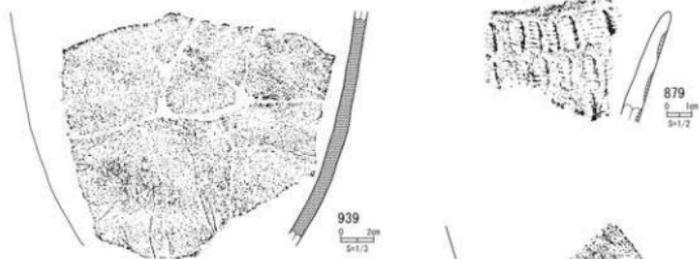
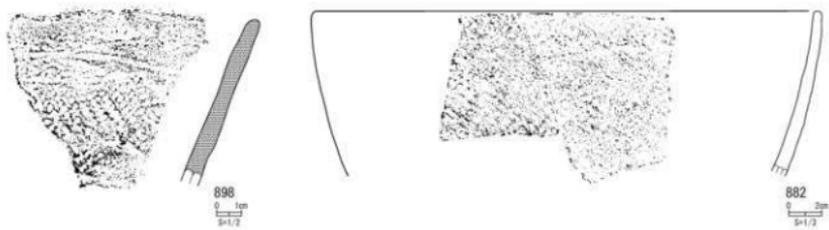
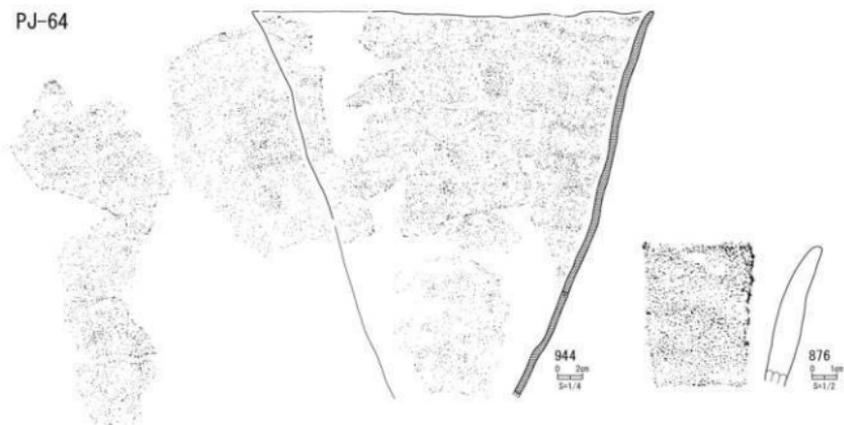


PJ-64

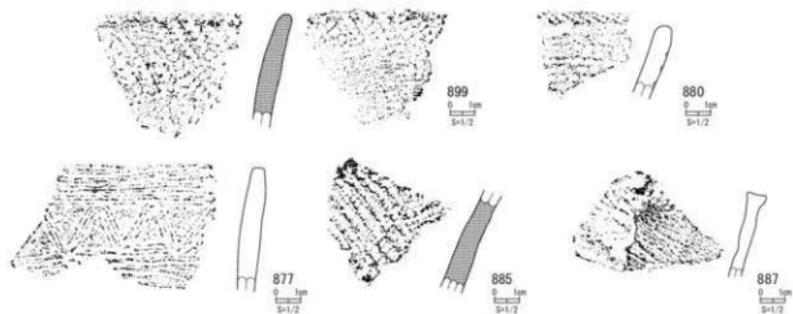


PJ057号・PJ062号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物

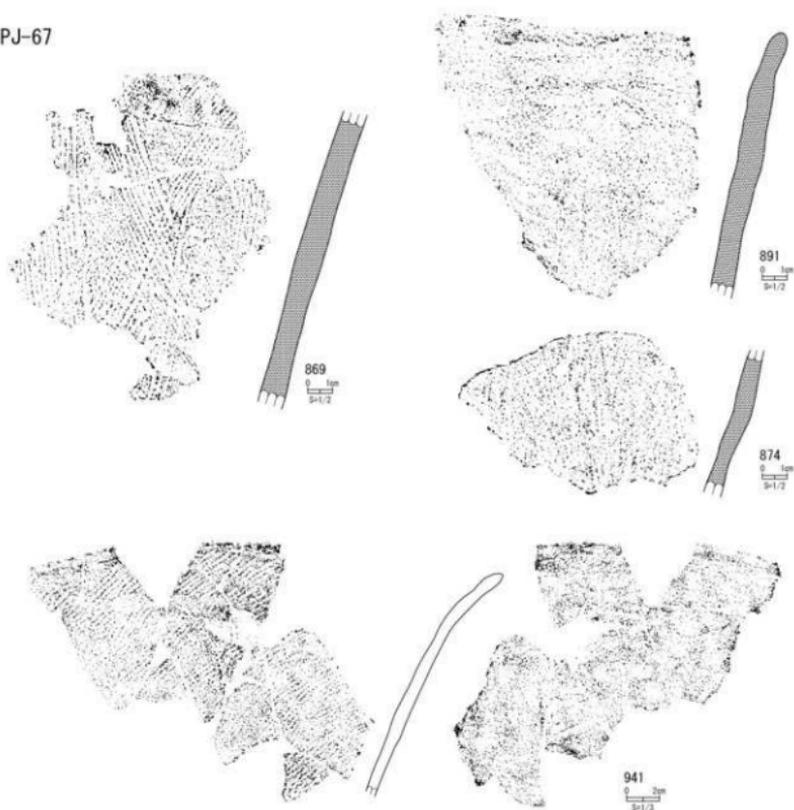
PJ-64



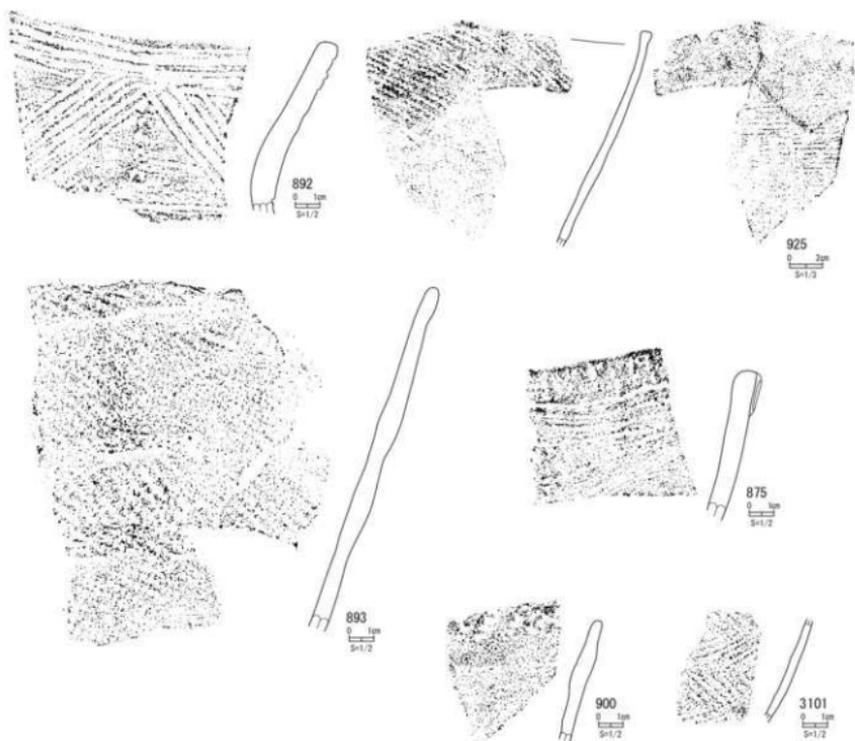
PJ057号·PJ062号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



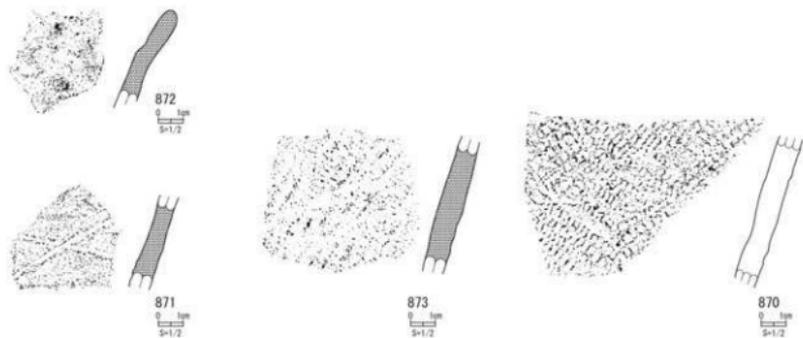
PJ-67



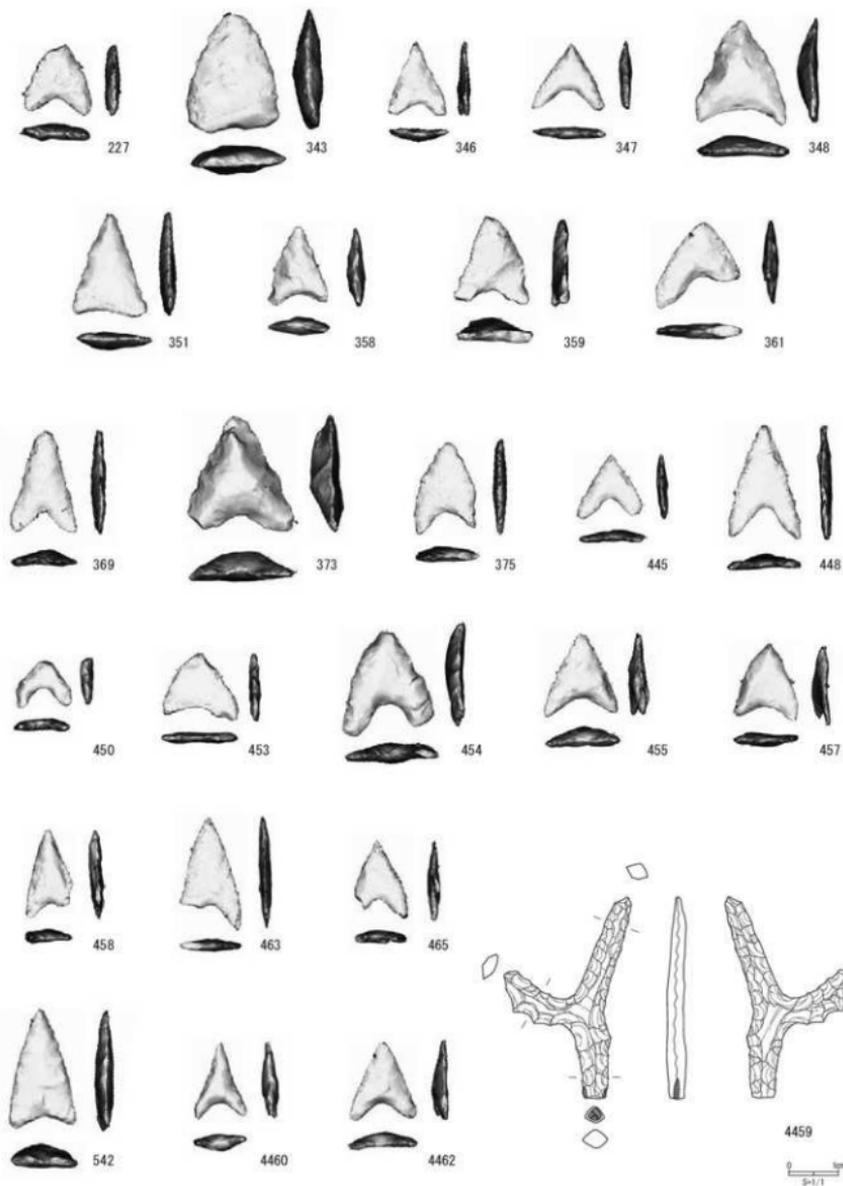
PJ057号・PJ062号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物



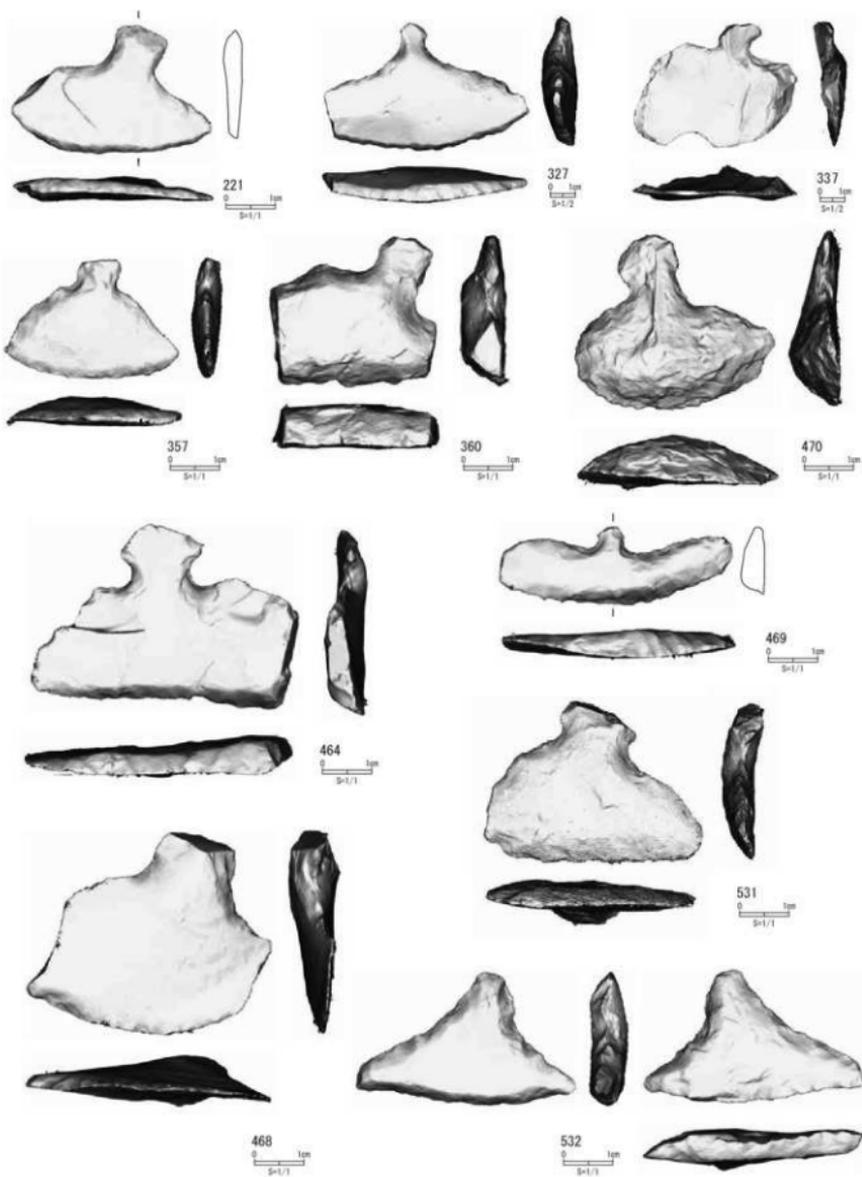
PJ-68



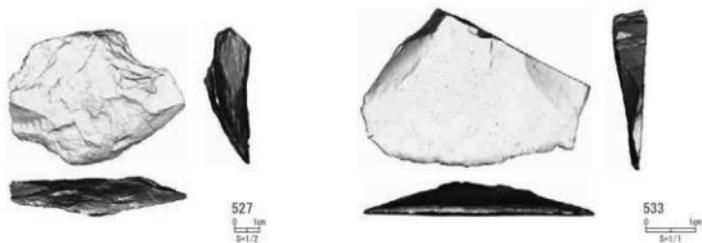
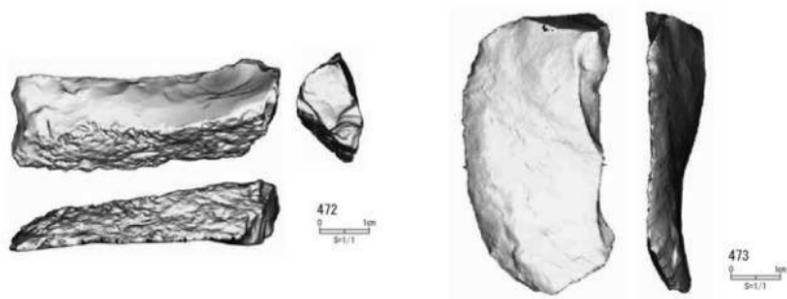
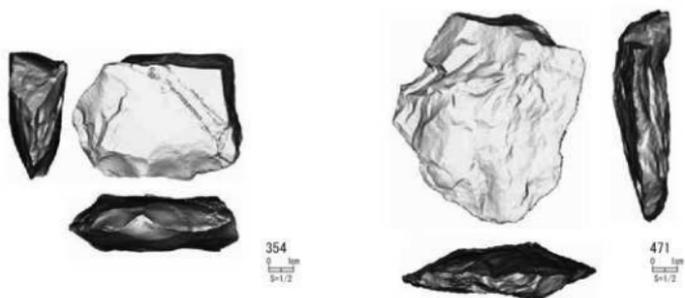
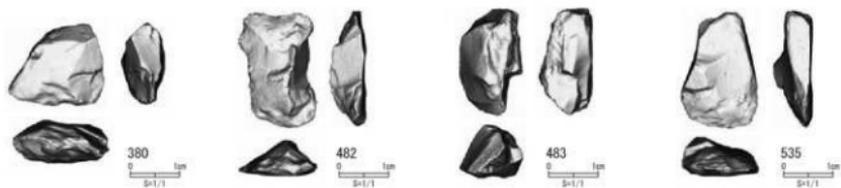
PJ057号·PJ062号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



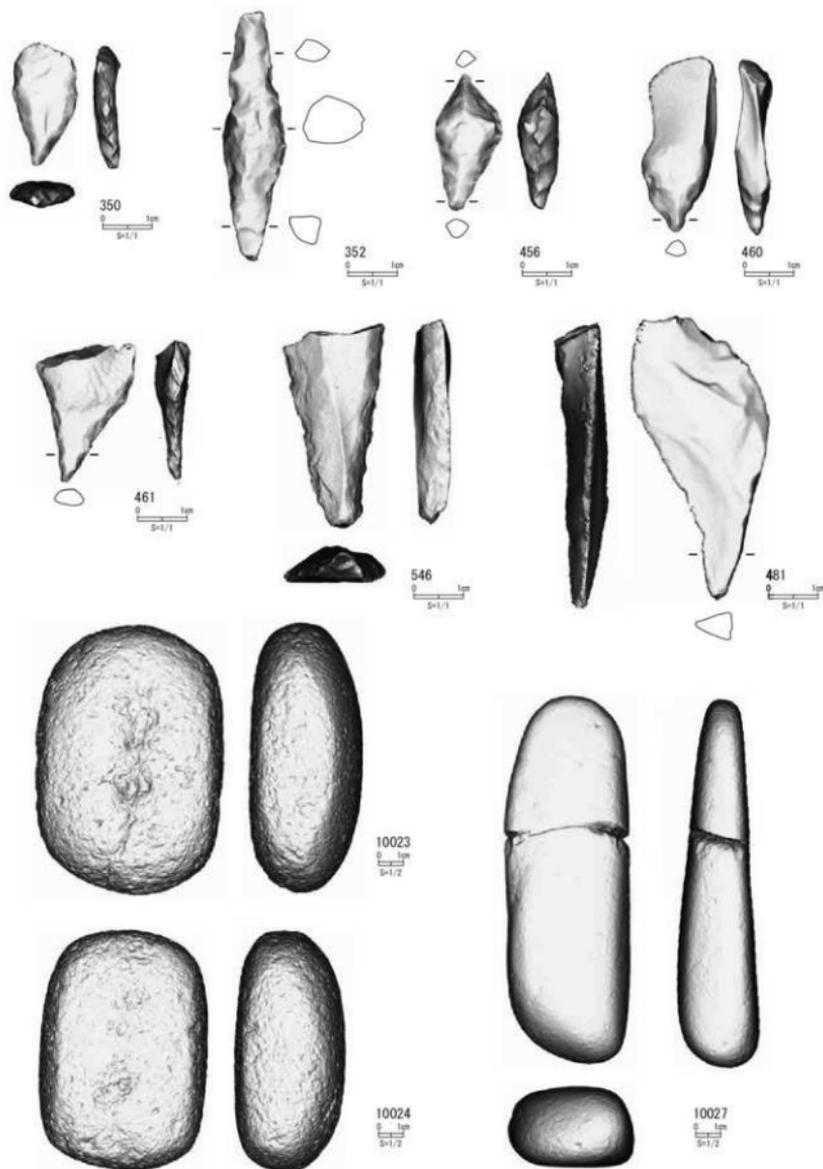
PJ57号·PJ62号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



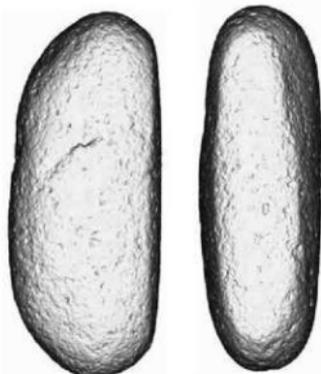
PJ57号・PJ62号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物



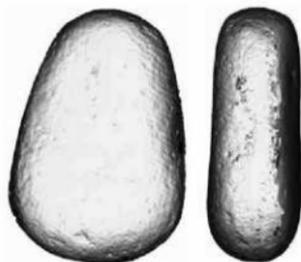
PJ57号·PJ62号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



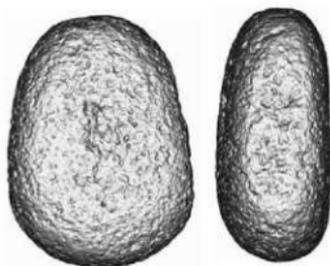
PJ57号・PJ62号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物



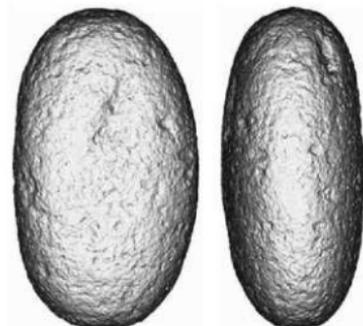
10029
0 1cm
5=1/2



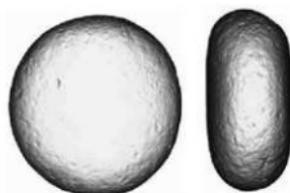
10375
0 1cm
5=1/2



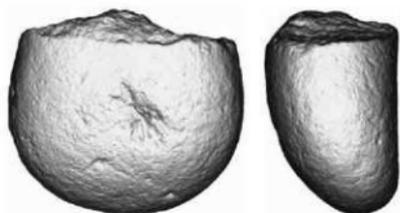
10128
0 1cm
5=1/2



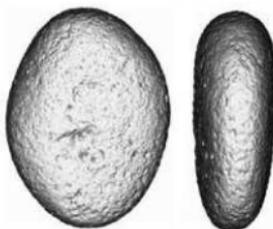
10129
0 1cm
5=1/2



10131
0 1cm
5=1/2

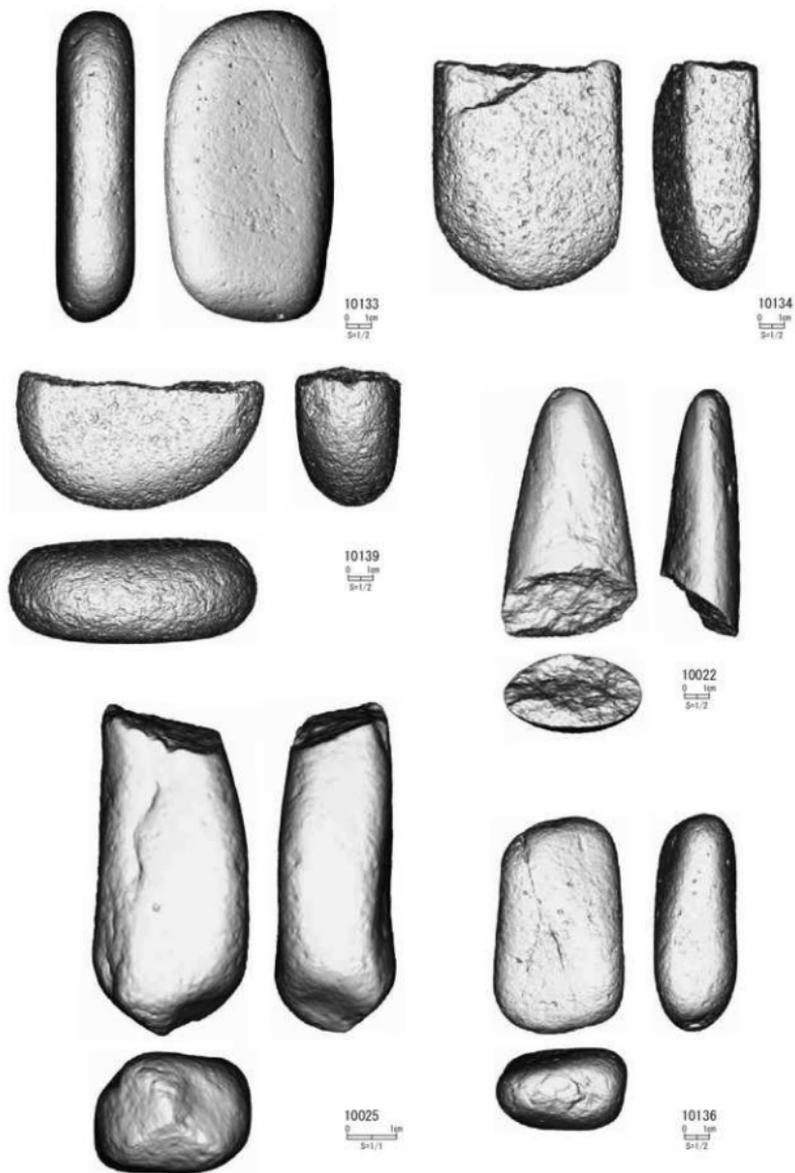


10130
0 1cm
5=1/2



10132
0 1cm
5=1/2

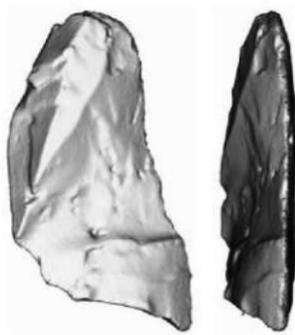
PJ57号・PJ62号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物



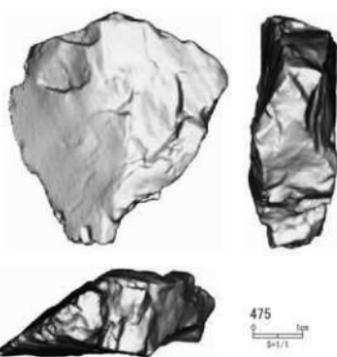
PJ57号・PJ62号・PJ64号・PJ67号・PJ68号住居出土遺物



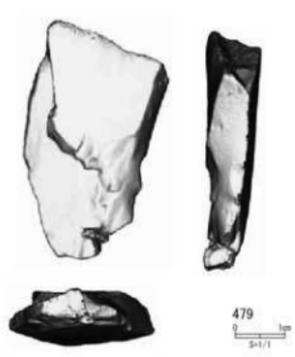
467
0 1cm
0-1/1



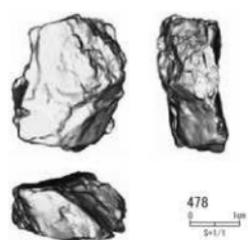
474
0 1cm
0-1/1



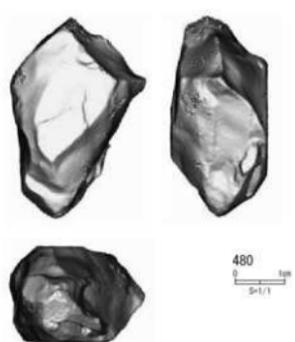
475
0 1cm
0-1/1



479
0 1cm
0-1/1

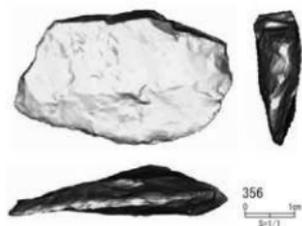
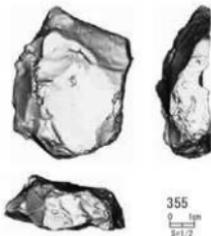
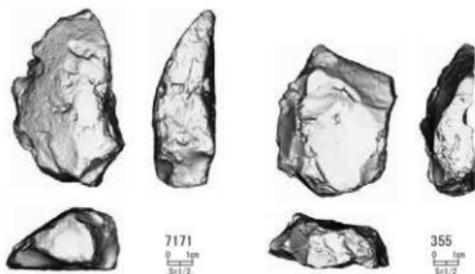
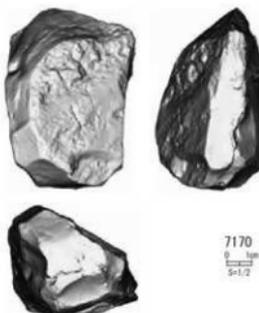
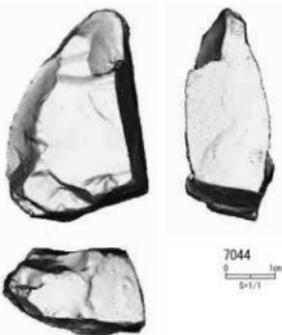
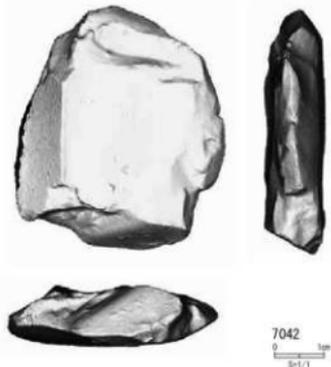
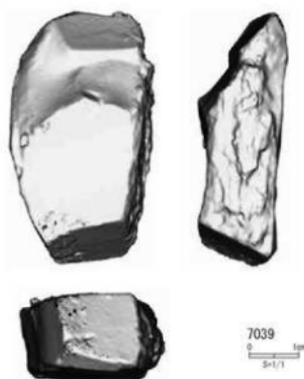


478
0 1cm
0-1/1

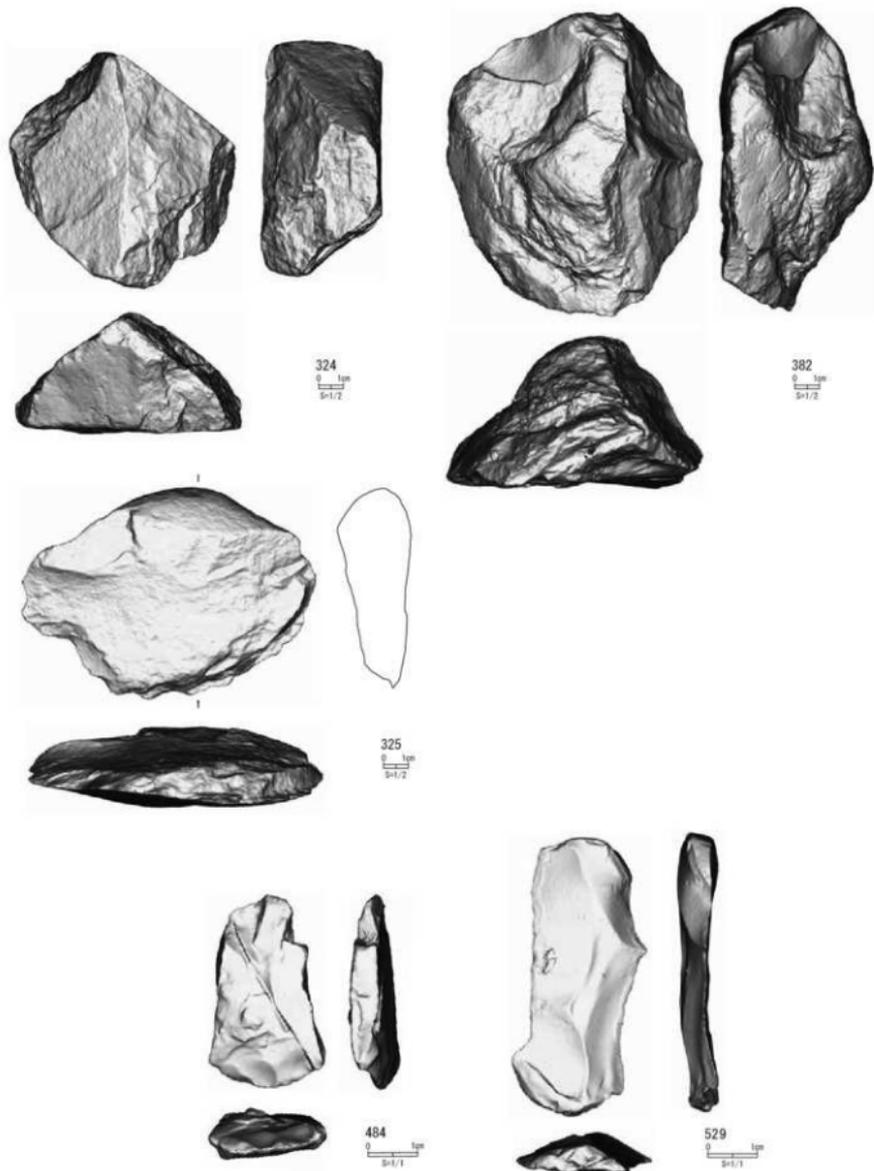


480
0 1cm
0-1/1

PJ57号·PJ62号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



PJ57号·PJ62号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物



PJ57号·PJ62号·PJ64号·PJ67号·PJ68号住居出土遺物

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
697	F4c, F4e, F4-c, F4d, F4e B, E4e, F4f, F4g	口縁部 ～胴部	-	-	-	576.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	連点状刺突文。内面は口唇部にも刺突。胎土に繊維を含まない。有尾式
805	FJ-62	胴部	-	-	-	379.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR5/4	内外面とも輪郭み成と成形痕の凹凸が残る。内面は胎土に混入した繊維が顕著で凹凸が激しい。胎土に多量の繊維を含む。中越式
838	FJ-57	口縁部	-	-	-	20.0	破片	10YR4/3 10YR3/3	四角い口唇。肥厚する口縁部にへう工具の押しき。内面はヨコナデ。器厚は肥厚口縁の最厚部で5mm。胴部は4mmと薄手。乳白色の顔面色調で胎土に繊維を含まない。湧水ノ上Ⅱ式
842	FJ-62	口縁部	-	-	-	13.0	破片	7.5YR6/3 7.5YR4/2	やや肥厚した口縁部に大きな爪形文2列。胴部は純文。内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を含まない。堂之上Ⅱ式
845	FJ-62	口縁部	-	-	-	73.0	破片	5YR5/6 5YR4/6	小波状口縁。口縁部に凹線2列。細い隆帯を貼付し。純文施文。内面ヨコナデ調整。縁線b式中段階
846	FJ-57	口縁部	-	-	-	47.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/3	靱帯突起のある口縁部。口唇部に刺突。靱帯突起と周辺に竹管による爪形刺突文。内面は粗滑なヨコナデ。縁線b式中段階
847	FJ-62-83	胴部	-	-	-	27.0	破片	10YR4/2 7.5YR3/1	新蓋三角の隆帯を貼付。1本には刺突。純文。内面は凹凸があるヨコナデ。胎土に繊維を含まない。縁線a式
848	FJ-63-64	口縁部 ～胴部	-	-	-	181.0	破片	5YR4/6 7.5YR3/2	爪形押引文列。内面は平滑にナデ調整。縁線b式古段階
849	FJ-63-64	-	3.5	2.8	1.1	14.0	ほぼ完整 形	7.5YR2/2 7.5YR3/2	縁線b式土器破片と思われる。縁道を研磨調整して円盤状に整形。
850	FJ-63-64	口縁部	-	-	-	14.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	口縁部に格子目文。口縁部文様帯下側に段差。爪形の刺突列。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。器壁は4mmで薄手。胎土に繊維を含まない。木鼻式
851	FJ-63-64	口縁部	-	-	-	32.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	洗針破片。口縁部に細い隆帯を貼付。貫通しない穿孔2ヶ所。胎土部には粘土質を残り付けて厚く仕上げ。下部に凹線。刺突。内面はナデガキ。縁線b式
852	FJ-63-64	口縁部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/3	口唇部に小突起3ヶ所。唇帯状工具の刺突で純文風の施文。内面平滑にナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
853	FJ-63-64	口縁部	-	-	-	93.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR4/3	幅2.5mmの爪形押引文。磨消純文。内面ははいないなミガキ調整。縁線a式新段階
856	FJ-62-83	口縁部	-	-	-	114.0	破片	5YR4/3 5YR3/3	口縁部に小突起3ヶ所。幅広の爪形刺突列。内面ははいないなミガキ調整。縁線b式古段階
857	FJ-63	口縁部	-	-	-	73.0	破片	5YR3/2 5YR3/2	口唇部に細い粘土粒を貼付。幅広の爪形押引文。内面は平滑なナデ調整。縁線b式古段階
860	FJ-57	口縁部	-	-	-	55.0	破片	5YR4/3 5YR3/2	口縁部に小突起。口唇部に棒状工具を押し当てた刺突。胴部は沈線と純文。内面は平滑なヨコナデ。縁線b式
861	FJ-57	口縁部	-	-	-	80.0	破片	5YR4/4 5YR3/4	肥厚する口縁。竹管の平行沈線と円形刺突文。内外面ともナデミガキ調整。縁線a式
862	FJ-57	胴部	-	-	-	45.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/3	平たい隆帯に指頭押圧状の刺突。純文。内面ははいないなミガキ調整。器厚は6.5mm。胎土に繊維を含まない。縁線式併行か
863	FJ-57	口縁部	-	-	-	40.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	四角い口唇部。肥厚する口縁部に細かな唇帯状工具の刺突列。口縁部に小突起あり。内面は指頭圧痕がやや残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
864	FJ-57	口縁部	-	-	-	18.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/4	口唇部に指頭押圧状の刺突。先端がさくれ状の工具による格子目文。内外面とも指頭圧痕が残る。内面は格子ナデ調整。器厚は6mm。胎土に繊維を含まない。木鼻式
865	FJ-57	胴部	-	-	-	19.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR3/3	旋行する平行沈線。内外面とも凸凹した成形痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。中越式
866	FJ-57	胴部	-	-	-	53.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR5/6	断面施文。外面に磨消痕状の調整痕。内面は凸凹の成形痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。早期米塚か
869	10-6776	胴部	-	-	-	174.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR2/2	G-6-16 グリッド出土。外面は格子目状の条痕。内面は平滑なヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。早期米塚か
870	FJ-48	胴部	-	-	-	65.0	破片	5YR5/6 7.5YR5/4	菱形模様成の純文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有尾式
871	FJ-48	胴部	-	-	-	17.0	破片	7.5YR5/4 5YR5/6	格子目文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
872	FJ-48	口縁部	-	-	-	15.0	破片	7.5YR6/6 5YR4/3	内外面とも成形の凹凸が残る。胎土に繊維を多量に含む。中越式
873	FJ-66	胴部	-	-	-	44.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/8	純文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
874	FJ-67	胴部	-	-	-	48.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR3/2	外面は条痕状のタナノ平。内面は指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中越式

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	口径 cm	容高 cm	底径 cm	底厚 cm	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
875	PJ-67	口縁部	-	-	-	-	45.0	破片		10R3/1 10R3/1	肥厚な流状口縁に彫刻状の工具の刺突文。胴部は条線?と彫刻刺突?内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
876	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	38.0	破片		7.5YR3/3 5YR4/4	F-7-4グリッド、内外面に指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。中級式
877	PJ-64、F-6-4	口縁部	-	-	-	-	76.0	破片		7.5YR4/3 7.5YR3/3	角ばった口唇部。平行流線・縦線状文。横位の縦線状文はさらに下位にも散見される。内面はていねいな積ミガキ。胎土に繊維を含む。黒山式もしくは有尾式
879	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	20.0	破片		5YR5/6 7.5YR5/4	流状口縁。縦線状工具を際へずらした文様。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
880	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	10.0	破片		5YR4/4 5YR4/6	口唇部に純文。口縁部に連点刺突文。内面積ミガキ。胎土に繊維を含まない。有尾式
881	PJ-64 10	胴部～ 底部	-	-	-	7.0	109.0	破片		7.5YR4/2 5YR6/6	F-6-24グリッド出土。尖底に平底をつけたような底部。純文。胎土に繊維を含む。神ノ木式
882	PJ-64 10	口縁部	(30.5)	-	-	-	135.0	破片		5YR5/6 7.5YR4/3	まばらな純文。内面は風化しているが平滑。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
885	PJ-64	胴部	-	-	-	-	19.0	破片		7.5YR6/4 7.5YR6/4	純文。内面平滑にミガキ。胎土に繊維を含む。黒山式
887	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	11.0	破片		7.5YR4/2 7.5YR3/2	口唇部に指頭押捺跡のみ。口縁に沿って先端二又工具の刺突文。下位は条線文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。器厚は5mm。清水ノ上Ⅱ式
891	PJ-67 14	口縁部 ～胴部	-	-	-	-	121.0	破片		7.5YR5/4 5YR3/2	F-6-15グリッド出土。外面は凹凸があるヨコナデ。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中級式
892	PJ-67	口縁部	-	-	-	-	91.0	破片		7.5YR6/4 7.5YR4/2	角ばった口唇部。流状口縁。竹管の平行流線と刺突文。胎土に繊維を含まない。有尾式
893	PJ-67 8	口縁部	-	-	-	-	166.0	破片		7.5YR5/4 5YR4/6	F-7-4グリッド出土。肥厚口縁。純文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。接合部は縦口縁状。神ノ木式
896	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	43.0	破片		5YR3/4 7.5YR3/2	羽状純文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式
899	PJ-64	口縁部	-	-	-	-	24.0	破片		7.5YR6/4 7.5YR4/3	口唇部と口縁内面にも純文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
900	PJ-67	口縁部	-	-	-	-	14.0	破片		7.5YR7/6 5YR4/3	口縁部がやや肥厚。三又状工具の刺突。内面はヨコナデ。器厚は口縁部が5.5mm。胴部が4mm。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式
903	PJ-63	口縁部	-	-	-	-	39.0	破片		5YR5/6 7.5YR5/4	口唇部に刻み。断面が風化した円形突起。流線で文様構成。踏張り式中級
925	G-6-16	口縁部 ～胴部	-	-	-	-	80.0	破片		7.5YR5/3 7.5YR3/2	角ばった口唇部。刻みに押捺した負刻線文列を要する。内面指頭圧痕と横位の条線。器厚4.5mm。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式
934	PJ-64 12、PJ-64 19、PJ-63	胴部～ 底部	-	-	-	8.4	216.0	破片		7.5YR3/2 7.5YR5/6	底部付出し純文。内面は指頭圧痕が残る。やや上段感味の底面。胎土に繊維を含む。神ノ木式
936	PJ-63 16、PJ-63 19、PJ-63	口縁部 ～胴部	(27.4)	-	-	-	862.0	1/3		7.5YR3/2 5YR3/3	PJ63号住居西壁に近い埋土最上層で破とも出土。調査時に見落とした土壌に伴う遺物の可能性がある。口縁部と胴部が(1)れ部に(2)瓜形押引文2列、(3)に並んだ円文列。縦文地文。内面はヨコナデミガキ。踏張り式
938	PJ-67、E-6-25	胴部	-	-	-	-	259.0	破片		5YR4/4 5YR4/6	E-6-25グリッド礫化面で出土。横位の集合流線と純文。内面はミガキ調整。胴部下段がソロン玉状に張り出し。踏張り式初級
939	PJ-64 10	胴部	-	-	-	-	249.0	破片		5YR3/2 5YR4/4	器面風化し原色が不明だが、正反の合か。内面ヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
941	I6-6596、G-6-16、F-6-20	口縁部 ～胴部	-	-	-	-	1,047.0	破片		5YR5/6 5YR4/6	F-6-20グリッド出土。純文。菱形斑文にみえる器所もある。内面は成形痕。指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。神ノ木式か有尾式
944	PJ-47 33、PJ-47	口縁部 ～胴部	(40.0)	32.0	-	-	1,010.0	破片		5YR 4 7.5YR3/3	PJ47号住居埋土出土。内外面に成形痕と指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中級式
946	PJ-47	口縁部 ～胴部	(42.0)	-	-	-	721.0	破片		5YR4/4 7.5YR4/2	正反の合。内面は平滑にナデ調整。胎土に繊維を胎土に繊維を含まない。F-6-24グリッド、PT1113ほどで構成される遺儀に帰属するか。神ノ木式
3101	PJ-67	胴部	-	-	-	-	9.0	破片		7.5YR5/3 7.5YR4/2	羽状純文。内面指頭圧痕。器厚4mm。胎土に繊維を含まない。北白川下層Ⅱ式もしくはⅡc式

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0220	PJ-62	原石	黒曜石					48.90	角縁ズリ。漆黒黒曜石
0221	PJ-62	石匙	頁岩	3/4	26.0	40.0	5.0	4.80	片刃。器面風化し使用痕不明。黄色く風化した頁岩
0222	PJ-62	刺鞘のある 剥片	珪質頁岩	1/1				25.60	縁面が残る剥片の薄い縁辺に微小剥離。白粉のある青灰色珪質頁岩
0223	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/1				6.20	ズリ面が残る剥片の縁辺に微小剥離。鈍のある透明黒曜石
0224	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	-				2.10	楔形の剥片の縁辺に微小剥離。霧湯状透明黒曜石
0225	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/1				1.30	三角形の小さな剥片の2辺に調整剥離。石髄ブラック?透明黒曜石
0226	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	3/4				0.70	三角形の小さな剥片の2辺に調整剥離。石髄ブラック?透明黒曜石
0227	PJ-62	石鏃	黒曜石	3/4	(14.4)	13.7	2.8	(0.43)	凹基。両面加工。先端欠損。霧湯状半透明黒曜石
0228	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/1				4.00	断面三角形の薄い剥片の2辺に調整剥離。透明黒曜石
0229	PJ-62	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/2				2.90	縁面が残る剥片の片面に3方から調整剥離。霧湯状半透明黒曜石
0234	PJ-57 7	礮器	砂岩	1/1	85.0	90.0	50.0	458.20	F-6-21グリッド、DK07号土坑北端で出土。重厚礮砂岩の尖った辺につぶれ状の微小剥離。細粒砂岩
0235	PJ-57	礮器	緑閃石質	1/1	85.0	117.0	31.0	312.60	重厚礮の剥片の薄い縁辺に刃部。
0236	PJ-57	刺鞘のある 剥片	珪質頁岩	1/1	35.0	25.0	9.0	6.71	剥片の1辺に縁面状の調整剥離。石髄ブラック?白粉のある青灰色珪質頁岩
0237	PJ-57 9	石匙	泥岩	3/4	54.0	82.0	14.0	49.90	F-6-21グリッド、PT100号ピット上で出土。剥離面のある剥片の縁面側に片刃の刃部。片巻縁は折れ。刃部裏面に薄い層状。赤紫色斑点のある白色泥岩。磨入石材
0238	PJ-57	原石	黒曜石					15.20	板状の角縁ズリ。漆黒黒曜石
0239	PJ-57	角器	頁岩	1/1	29.0	61.0	11.0	26.90	剥片素材の縁辺全面に凹面。片面から調整剥離。東北地方のへう形石器に似る。器面が風化し使用痕不明。黄色く風化した頁岩
0230	PJ-57 22	原石	黒曜石					20.90	F-7-3グリッド、PT129号ピット上で出土。角縁ズリ
0231	PJ-57	両端石器	黒曜石	1/1	16.0	19.0	5.0	1.60	薄い剥片の両端に衝撃剥離。器面がすりガラス状。縁部が。半透明黒曜石
0232	PJ-57	両端石器	黒曜石	1/1	17.0	13.0	8.5	1.90	厚みのある小さな砕片の両端に衝撃剥離。透明黒曜石
0233	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	4.1	(0.77)	未製品。凹基。両面加工。片縁が欠く欠損。透明黒曜石
0234	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	(18.0)	-	3.1	(0.45)	凹基。両面加工。片脚欠損。霧湯状透明黒曜石
0235	PJ-57	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/1				1.50	縁面が残る小さな剥片の1辺に調整剥離。透明黒曜石
0236	PJ-57	石鏃	チャート	1/2	(29.6)	-	4.9	(1.71)	大形。凹基。両面加工。先端。片縁が大きく欠損。裏面に灰色チャート
0237	PJ-57 11	石匙	珪質頁岩	3/4	49.0	67.0	7.0	24.30	F-6-21グリッド、PT107号ピット上で出土。刃部に大きな欠損。白粉のある青灰色珪質頁岩
0238	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	(15.1)	-	3.5	(0.48)	凹基。両面加工。先端。両脚先端欠損。透明黒曜石
0239	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	(16.7)	14.1	3.6	(0.59)	凹基。両面加工。先端欠損。漆黒黒曜石
0240	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	(23.1)	-	3.5	(0.69)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。霧湯状半透明黒曜石
0241	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/2	-	(17.1)	3.5	(0.57)	凹基。長脚。両面加工。先端。両脚先端欠損。透明黒曜石
0242	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/2	-	19.1	5.1	(1.24)	未製品。先端が大きく欠損。石鏃磨削が完成している段階。透明黒曜石
0243	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/1	24.5	19.1	5.6	2.26	未製品。薄い剥片素材。石鏃磨削が完成し、基部調整を始めた段階。漆黒黒曜石
0244	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	4.3	(0.74)	細身。両面加工。基部削が欠く欠損。ていねいなつくり。透明黒曜石
0245	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/1	25.4	16.4	8.0	2.62	未製品。断面三角形のやや薄い剥片素材。両面加工。三角形ができた段階。白色夾雑物がある漆黒黒曜石
0246	PJ-57	石鏃	黒曜石	1/1	16.5	13.3	2.5	0.28	凹基。両面加工。片脚先端欠損。透明黒曜石
0247	PJ-57 29	石鏃	黒曜石	1/1	15.1	15.5	2.7	0.31	F-7-5グリッド、F67号住居南側の北側で出土。凹基。長脚。両面加工。ていねいなつくり。先端がすりむ。霧湯状透明黒曜石
0248	PJ-57	石鏃	珪質頁岩	1/1	22.2	18.9	3.8	1.20	凹基。片面加工。剥片の片面のみ調整。裏面に縁辺調整のみ。白粉のある青灰色珪質頁岩
0249	PJ-57	刺鞘のある 剥片	黒曜石	1/1				1.10	縁面が残る親指爪大の剥片の1辺に両面から調整。霧湯状透明黒曜石
0250	PJ-57	石鏃	珪質頁岩	1/1	25.0	14.0	5.0	1.70	柳葉形のつまみ。先端欠損。白粉のある青灰色珪質頁岩
0251	PJ-57	石鏃	チャート	1/1	(19.6)	(14.2)	3.2	(0.67)	磨削し磨かれたPJ7号住居で出土。凹基。両面加工。油滴状光沢のある赤褐色チャート
0252	PJ-57	石鏃	黒曜石	3/4	53.0	16.0	10.0	5.30	縁面が残る素材。棒状に調整剥離。縁部と思われる尖った端部は欠損。白色星状夾雑物が盛る漆黒黒曜石

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0354	PJ-67	石核	黒曜石					16.60	河川転石。やや赤褐色がかった半透明黒曜石
0355	PJ-67	砥面縁石器	シルト岩	1/1	53.0	69.0	19.0	113.00	薄い砥状削片の縁辺に砥面縁部
0355	PJ-67 7	石核	黒曜石	1/1	49.0	64.0	19.0	65.10	河川転石が残る石核。赤褐色色入り黒曜石
0356	PJ-67	剥離のある 削片	珪質頁岩	1/1	45.0	29.0	9.0	11.00	両側打てで取り切った削片素材の薄い縁辺に微小剥離。白垢のある黄灰色珪質頁岩
0357	PJ-67 16	石匙	頁岩	1/1	25.0	35.0	6.0	4.70	舟形状の片刃。黄色に風化した頁岩。使用痕は観察できない
0358	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/1	17.1	(12.9)	3.7	(0.45)	凹基。両面加工。片面に縁面が残る。藁溝状透明黒曜石
0359	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/1	(19.1)	(15.7)	3.3	(0.70)	未成品。凹基。片縁を最終調整するも片縁は主剥離面のまま。両脚欠損。縁のある透明黒曜石
0360	PJ-67 20	石匙	珪質頁岩	1/2	31.0	34.0	9.0	12.40	両側折れ。縁部状の片刃。刃部に光沢のある稜減と微小剥離。緑灰色の珪質頁岩。磨入石材
0361	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	17.1	-	2.8	(0.49)	凹基。長脚。両面加工。片脚欠損。被熱劣化
0362	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.2	(0.51)	未成品。片縁欠損。石鏃形状がわかる段階。藁溝状透明黒曜石
0363	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	26.0	16.0	4.0	(1.35)	未成品。両面加工。片縁欠損。石鏃形状がわかる段階。黒縁のある透明黒曜石
0364	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	-	18.5	6.4	(2.59)	未成品。縁面が残る素材。片面は器体中央まで押圧割削。片面は縁辺調整を始めた段階。石鏃形状がわかる。基部側調整途上。先端欠損。白色夾雑物が屑状に付着する黒曜黒曜石
0365	PJ-67	石鏃	チャート	1/1	25.1	20.4	11.2	3.97	未成品。両面加工。素材の厚みが残る。石鏃形状がわかる段階。基部側折損。緑灰色と褐色のチャート。磨入石材
0366	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/2	-	17.8	5.5	(1.38)	未成品。凹基。両面加工。先端欠損。石鏃形状がわかる段階。藁溝状透明黒曜石
0367	PJ-67	剥離のある 削片	黒曜石					1.00	薄い削片の両面を調整。器体が大きく欠損。石鏃未製品か。黒色砥状の夾雑物が窪じる藁溝状半透明黒曜石
0368	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/2	-	16.3	3.1	(0.44)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
0369	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/1	18.7	12.2	2.6	0.36	凹基。船身。両面加工。先端欠損。藁溝状透明黒曜石
0370	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	18.3	-	2.7	(0.26)	凹基。船身。長脚。両面加工。片脚欠損。黒縁の透明黒曜石
0371	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/1	19.0	16.4	5.9	1.58	未成品。縁面が残る削片素材を両面加工。先端欠損。三角形状がわかる段階。透明黒曜石
0372	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	13.6	-	2.6	(0.26)	小形。凹基。両脚欠損。漆黒黒曜石
0373	PJ-67	石鏃	黒曜石	3/4	23.4	(20.1)	5.2	(1.78)	大形。凹基。両面加工。片脚縁欠損。素材の厚みが残る種地なつくり。半透明黒曜石
0374	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.8	(0.33)	両面加工。先端のみの破片。黒曜黒曜石
0375	PJ-67	石鏃	黒曜石	1/1	18.7	13.6	2.7	0.60	凹基。両面加工。片脚欠損。片面に主剥離面が残る。透明黒曜石
0376	PJ-67	剥離のある 削片	黒曜石	1/1	17.0	26.0	4.0	1.40	削片の薄い縁辺に刃部状の調整と微小剥離。藁溝状透明黒曜石
0378	PJ-67	剥離のある 削片	黒曜石	1/1	19.0	14.0	3.0	1.00	河川転石状の縁面が残る種地大の削片の縁辺を調整。石鏃未製品か。透明黒曜石
0379	PJ-67	舟形	頁岩	1/1	39.0	48.0	9.0	20.10	縁面が残る狭長削片素材。刃状の縁辺に両刃調整。黄色に風化した頁岩。使用痕は観察できない
0380	PJ-67	両脚石器	黒曜石	-	11.0	18.0	8.0	2.30	ズリ削片の両端に衝撃割削。白垢の漆黒黒曜石
0382	PJ-67 27	鎌器	緑のたれ	1/1	10.3	12.2	6.2	771.80	F-6-21 グリッド出土。逆角縁の縁辺に刃部調整。
0442	PJ-64	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.7	(0.26)	凹基。両面加工。片脚のみの破片。透明黒曜石
0443	PJ-64	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	(0.08)	片脚のみの破片。
0444	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	(16.2)	-	2.7	(0.32)	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。透明黒曜石
0445	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	14.4	13.9	2.3	0.25	凹基。長脚。両面加工。黒縁のある透明黒曜石
0446	PJ-64	石鏃	黒曜石	-	-	-	1.8	(0.13)	先端部みの破片。両面加工。透明黒曜石
0447	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	(13.0)	(13.2)	2.3	(0.31)	凹基。両面加工。先端欠損。器面がすりガラス状。被熱か。藁溝状半透明黒曜石
0448	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	24.5	15.5	2.6	0.55	大形。凹基。船身。両面加工。両面に主剥離面が残る。舟形縁部状。藁溝状透明黒曜石
0449	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	24.4	18.5	8.6	3.10	未成品。両面加工。石鏃形状がわかる段階。素材の厚みが残り。黒葉か。器面がすりガラス状。被熱か。黒縁のある黒曜石
0450	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	-	12.3	2.4	(0.23)	小形。凹基。長脚。先端欠損。漆黒黒曜石
0451	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	(18.2)	-	3.2	(0.33)	凹基。両面加工。片脚欠損。藁溝状透明黒曜石
0452	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	19.0	(13.3)	3.8	(0.60)	凹基。両面加工。片脚縁欠損。片面は縁辺調整のみ。黒色夾雑物が窪じる透明黒曜石
0453	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	13.2	14.9	1.8	(0.32)	凹基。両面加工。先端欠損。片面は縁辺調整のみ。透明黒曜石

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0454	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	20.6	18.2	3.7	1.00	凹差、片面加工、先端、片鉋縁欠損。片面は縁辺調整のみ。赤褐色珪入り黒曜石
0455	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	16.5	14.6	3.2	0.45	凹差、両面加工、先端欠損。表面がすりガラス状。破断か、霧塗状半透明黒曜石
0456	PJ-64	石鏃	珪質頁岩	3/4	28.0	14.0	8.0	2.90	薄い素材の両端を尖らせる調整。縁部2ヶ所か。使用痕なし。黄灰色珪質頁岩
0457	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	16.0	13.1	2.6	0.39	凹差、縁辺加工。薄い切片素材の縁辺のみを調整。黒錆のある半透明黒曜石
0458	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	17.6	-	2.6	0.311	小形、凹差、両面加工。片鉋欠損。黒珪入りのブルーブラック黒曜石
0459	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	18.7	16.6	2.8	0.55	凹差、両面加工。片鉋欠損。漆黒黒曜石
0460	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	36.0	10.0	6.0	3.10	縁面が残る切片の片端を縁部へ調整。使用痕なし。透明黒曜石
0461	PJ-64	石鏃	頁岩	1/1	33.0	20.0	8.0	3.80	切片素材の縁辺を三角形に調整。黄色に風化変色した頁岩。使用痕は観察できない
0463	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	24.1	-	2.7	0.48	凹差、両面加工。細身。片鉋欠損。ていねいなくつり。漆黒黒曜石
0464	PJ-64	石鏃	珪質頁岩	1/1	39.0	56.0	6.0	13.60	側面に縁面が残る狭長切片素材。刃部は鋭利な片刃。刃部に微小割創と光沢のある稜。緑灰色に風化変色した珪質頁岩。珪入り石材
0465	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	16.8	-	2.5	0.26	凹差、長細、両面加工。片鉋縁欠損。漆黒黒曜石
0466	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.9	0.45	凹差、長細、両面加工。先端と片端が大きく欠損。漆黒黒曜石
0467	PJ-64	原石	黒曜石					19.20	ズリ。白錆のある漆黒黒曜石
0468	PJ-64	石鏃	頁岩	3/4	43.0	50.0	10.0	15.50	狭長切片素材。打面側につまみ。挟りは浅い。削器状の片刃。黄色に風化した頁岩。使用痕は観察できない
0469	PJ-64	石鏃	珪質頁岩	1/1	16.0	47.0	6.0	3.90	断面が狭くつまみ部は小さい。鋭利な片刃。刃部に微小割創と厚黒灰色珪質頁岩
0470	PJ-64 21	石鏃	安山岩	1/1	37.0	41.0	10.0	11.10	縁面が残る素材。鋭利な色緑色の片刃。発泡した黒色酸化安山岩。珪入り石材
0471	PJ-64	縦歯緑石器	頁岩	3/4	83.0	70.0	20.0	129.00	縦歯緑状の刃部がわずかに摩滅。打製石斧のような使用形跡か。
0472	PJ-64	削器	黒曜石	1/1	22.0	56.0	13.0	12.40	縁面が残る断面三角形の狭長切片の側縁と端部に刃部。側縁は片刃。端部は両面調整。刃部に微小割創。霧塗状半透明黒曜石
0473	PJ-64	削器	チャート	1/1	32.0	60.0	11.0	20.40	狭長切片の縁辺に片刃の刃部と微小割創。黒珪の青灰色チャート。珪入り石材
0474	PJ-64	原石	黒曜石					26.50	河川転石。透明黒曜石
0475	PJ-64	原石	黒曜石					31.20	ズリ。白色夾雑物と白錆のある黒曜石
0476	PJ-64	石鏃	黒曜石	3/4	19.9	14.9	2.8	0.79	未成品。薄い切片の両面へ調整。先端がわかる段階。黒珪の黒曜石
0477	PJ-64	剥離のある切片	黒曜石	1/1				1.90	切片の両面縁辺へ調整段階。石鏃ブラック半透明黒曜石
0478	PJ-64	原石	黒曜石					9.30	ズリ。白錆のある漆黒黒曜石
0479	PJ-64	原石	黒曜石					16.10	板状ズリ
0480	PJ-64	原石	黒曜石					22.90	風化様面。一発コア。透明黒曜石
0481	PJ-64	石鏃	黒曜石	1/1	59.0	26.0	8.0	11.00	先端にわずかに稜残。薄い側縁に微小割創。赤褐色珪入り黒曜石
0482	PJ-64	両端石器	黒曜石	1/1	24.0	11.0	7.0	2.40	ズリ面が残る切片の両端に鋭利な側縁。漆黒黒曜石
0483	PJ-64	両端石器	黒曜石	1/1	22.0	11.0	10.0	3.10	薄片の両端に鋭利な側縁。透明黒曜石
0484	PJ-64	剥離のある切片	黒曜石	1/1	40.0	24.0	9.0	7.40	ズリ面に磨まれた板状黒石の両端に両面から調整段階。漆黒黒曜石
0526	PJ-63・64	原石	黒曜石					29.00	ズリ。一発コア。透明黒曜石
0527	PJ-63・64	削器	頁岩	1/1	56.0	74.0	15.0	55.40	素刃削器。縁面が残る切片の薄い縁辺を刃部とする。縁変成と摩滅痕。光沢あり。
0528	PJ-63・64	原石	石英岩					31.50	円盤。一部に剥離。半透明の石英岩
0529	PJ-63・64	剥離のある切片	黒曜石	1/1	58.0	27.0	8.0	9.50	風化剥離面がある石刃状切片に微小割創。白錆のある透明黒曜石
0530	PJ-63・64	剥離のある切片	黒曜石	1/1	53.0	22.0	12.0	10.60	ズリ面がある角柱状切片の薄い縁辺に微小割創。霧塗状半透明黒曜石
0531	PJ-63・64	石鏃	チャート	1/1	33.0	45.0	7.0	10.00	刃部に微小割創。裏面つまみ部から裏面にも調整。赤褐色と青緑色のチャート
0532	PJ-63・64	石鏃	頁岩	1/1	27.0	44.0	7.0	7.20	両面調整の刃部。黄色に風化した頁岩
0533	PJ-63・64	削器	珪質頁岩	1/1	32.0	45.0	7.0	7.40	縁面が残る薄い切片の縁辺に微小割創。刃部にガリリ。白錆のある青灰色珪質頁岩
0534	PJ-63・64	両端石器	黒曜石	1/1	17.0	26.0	8.0	3.10	切片の両端に鋭利な側縁。白色夾雑物が微かに付着する漆黒黒曜石
0535	PJ-63・64	両端石器	黒曜石	1/1	24.0	16.0	8.0	2.80	縁面が残る切片の両端に鋭利な側縁。透明黒曜石

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0536	PJ-63・64	削器	泥岩	-				1.20	327 石匙と同じ石材。同一母岩ではない。鎌面が残る剥片の片面に刃部調整。赤紫色斑点のある白色泥岩。搬入石材
0537	PJ-63・64	剥離のある剥片	黒曜石	1/1				1.20	ズリ面がある小さな剥片の2面に微小剥離。漆黒黒曜石
0538	PJ-63・64	石匙	黒曜石	3/4	23.5	17.3	5.1	1.79	未成品。両面加工。三角形がわかる段階。透明黒曜石
0539	PJ-63・64	石匙	黒曜石	1/1	24.7	17.1	8.1	2.51	未成品。両面にズリ面が残る剥片素材。両面加工。三角形がわかる段階。漆黒黒曜石
0540	PJ-63・64	石匙	黒曜石	3/4	-	-	-	3.8 (0.80)	凹基。両面加工。片部欠損。やや雑なつくり。透明黒曜石
0541	PJ-63・64	石匙	黒曜石	-	-	-	-	3.1 (0.40)	先端のみの破片。両面加工。赤褐色脱入り黒曜石
0542	PJ-63・64	石匙	黒曜石	1/1	24.7	13.6	3.9	0.93	凹基。両面加工。基部えぐりは浅い。細身。ていねいなくつくり。透明黒曜石
0543	PJ-63・64	石匙	黒曜石	3/4	17.9	-	-	2.6 (0.36)	凹基。両面加工。片部欠損。漆黒黒曜石
0544	PJ-63・64	石匙	黒曜石	1/1	32.6	22.1	5.9	3.74	未成品。木の葉形の剥片素材に両面から調整剥離。先端部がわかる段階。灰色半透明の黒曜石
0545	PJ-63・64	石匙	黒曜石	1/1	21.9	20.9	6.7	2.77	未成品。細面が残る剥片素材の縁辺に調整剥離。三角形がわかる段階。霧凍状半透明黒曜石
0546	PJ-63・64	石匙	珪質頁岩	3/4	41.0	22.0	8.0	6.50	太い先端に傘蓋と縁条帯。側縁に両面状の刃部。灰色縞のある縞縞灰色の珪質頁岩。搬入石材
0547	PJ-63・64	原石	黒曜石					21.50	ズリ。漆黒黒曜石
0548	PJ-63・64	原石	黒曜石					5.10	ズリ。透明黒曜石
0840	PJ-64	剥離のある剥片	黒曜石	1/1				0.50	鎌面がある小さな剥片に調整剥離。透明黒曜石
4225	DK-414	剥離のある剥片	黒曜石	1/2				0.70	F-6-19 グリッド。剥片の両面に調整。透明黒曜石
4419	PT-1056	剥離のある剥片	珪質頁岩	1/1	38.0	28.0	7.0	8.10	E-7-5 グリッド。薄い剥片の1面に微小剥離。白筋のある青灰色珪質頁岩
4420	PT-1056	石匙	黒曜石	-				1.20	E-7-5 グリッド。未成品。先端部のみ破片。両面加工。白筋のある漆黒黒曜石
4458	PT-640	剥離のある剥片	黒曜石					0.70	小さな破片の1面に微小剥離。透明黒曜石
4459	PT-1121	三脚石器	珪質頁岩	3/4	41.0	28.0	4.0	1.80	三脚石器。先端部1ヶ所に石匙状の使用面。白筋のある灰色珪質頁岩。搬入石材
4460	PT-1121	石匙	黒曜石	1/1	16.5	14.0	2.7	0.36	凹基。両面加工。片面に生剥離面が欠く残る。ていねいなくつくり。透明黒曜石
4461	PT-1121	石匙	チャート	3/4	14.4	-	-	3.4 (0.35)	凹基。両面加工。片部欠損。透明感のある灰色チャート
4462	PT-1121	石匙	黒曜石	1/1	15.7	10.6	3.3	0.26	凹基。細身。両面加工。透明黒曜石
7029	10-6607	原石	黒曜石	1/1	54.0	30.0	8.0	33.60	E-7-3 グリッド。白色夾雑物が層状に付着。透明黒曜石
7040	10-6607	原石	黒曜石	1/1	31.0	23.0	11.0	9.60	E-7-3 グリッド。ズリ。白色夾雑物が層状に付着。霧凍状半透明黒曜石
7041	10-6607	原石	黒曜石	1/1	38.0	32.0	12.0	11.70	E-7-3 グリッド。黒化剥離面。霧凍状半透明黒曜石
7042	10-6607	原石	黒曜石	1/1	49.0	42.0	12.0	28.00	E-7-3 グリッド。板状ズリ。一発コア。縞のある透明黒曜石
7043	10-6607	原石	黒曜石	1/1	37.0	27.0	17.0	19.00	E-7-3 グリッド。ズリ面と黒化剥離面。透明黒曜石
7044	10-6607	原石	黒曜石	1/1	47.0	33.0	18.0	21.50	E-7-3 グリッド。黒化剥離面。縞のある霧凍状半透明黒曜石
7137	10-6596	磨石類	安山岩類	-				69	F-6-20 グリッド出土。磨石破片
7170	10-6597	原石	黒曜石	1/1	75.0	57.0	36.0	159.80	G-6-16 グリッド。S300 粘土層周辺で出土。被熱。発色。灰色に紫色。
7171	10-6597	原石	黒曜石	1/1	74.0	45.0	25.0	82.40	G-6-16 グリッド。河川転石。赤褐色脱入り黒曜石
7172	10-6598	石核	黒曜石	1/1	40.0	50.0	15.0	29.60	G-6-16 グリッド。河川転石面と黒化剥離面。霧凍状半透明黒曜石
7174	10-6599	原石	黒曜石	1/1	47.0	39.0	22.0	32.70	G-6-21 グリッド。河川転石。赤褐色脱入り黒曜石
7175	10-7017	ハンマー	砂岩類		90.0	47.0	28.0	164	G-6-21 グリッド。縁状凹縁の端部に敲打による平坦面。中央で折れ。細粒砂岩
7176	10-6702	石匙	黒曜石	1/1	12.2	14.7	2.8	0.31	G-6-20 グリッド出土。P.88 号住居に相当する位置。小形。凹基。長頭。両面加工。先端欠損。漆黒黒曜石
8154	PJ-57	石匙	黒曜石	3/4	11.2	-	-	2.4 (0.20)	小形。凹基。両面加工。先端。両部欠損。黒脱入り透明黒曜石
8155	PJ-57	石匙	黒曜石	1/2	-	-	-	3.3 (0.45)	大形。凹基。両面加工。先端。片部欠損。透明黒曜石
8156	PJ-57	剥離のある剥片	黒曜石	3/4				0.60	薄い剥片の1面に微小剥離。灰色半透明黒曜石
8390	PJ-67 10	台石	砂岩	破片	95.0	111.0	71.0	871.30	台石破片。平坦面が平滑に摩耗。細粒砂岩
10022	PJ-67 2	磨盤石斧	緑色岩	-	104.0	56.0	35.0	232	G-7-1 グリッド出土。乳棒状磨盤石斧。刃部削欠損。基部に敲打により生じた平坦面。身部片面に敲打層中の浅いくぼみ。ハンマーに転用

PJ057号・PJ062号・PJ064号・PJ067号・PJ068号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
10023	PJ-67 11	磨石類	安山岩類	1/1	109.0	74.0	47.0	503	6-6-16グリッド出土。石鏡型。磨面は2面。片面に磨打集中の凹部が長軸方向に並ぶ。両側面に磨打痕があり、稜磨石的な平坦面。多孔質安山岩。
10024	PJ-67 17	磨石類	安山岩類	1/1	100.0	73.0	45.0	460	F-6-20グリッド出土。石鏡型。磨面は2面。1面は凸面状。他面は平坦で磨打集中の凹部が長軸方向に並ぶ。両側面は稜磨石的。多孔質安山岩
10025	PJ-67	ハンマー	砂岩類	1/2	(66.0)	34.0	22.0	89	中央で折れ。端部に磨打により形成された平坦面が2面。細粒砂岩
10026	PJ-67 18	ハンマー	砂岩類	—	(94.0)	39.0	(31.0)	175	6-6-16グリッド出土。中央で折れ。球状円盤。平坦な1面に鋭い線状磨打痕。細粒砂岩
10027	PJ-67 13	磨石類	砂岩類	3/4	36.0	(100.0)	54.0	319	6-6-16グリッド出土。中央で折れが破片2点が分離して出土し接合。扁平長楕円形。平坦な2面2稜。側面は稜磨石的。細粒砂岩
10029	PJ-67 12	磨石類	安山岩類	1/1	26.0	(61.0)	(52.0)	707	6-6-16グリッド出土。長楕円形円盤。平坦な1面に磨料と磨打集中の凹み2ヶ所。片面にも磨料。側面1面は稜磨石。反対面に磨打集中の凹みとまばらな磨打痕。多孔質安山岩
10030	PJ-67 21	ハンマー	砂岩類	1/1	151.0	63.0	52.0	240	F-6-25グリッド出土。扁平円形。端部に鋭い磨打痕があるほかは、顕著な使用痕は観察されない。細粒砂岩
10031	PJ-67 1	ハンマー	砂岩類	1/1	54.0	109.0	34.0	218	6-6-21グリッド出土。10030によく似た形状。扁平円形。端部に鋭い磨打痕があるほかは、顕著な使用痕は観察されない。細粒砂岩
10032	PJ-67 15	台石	安山岩類	—	57.0	105.0	23.0	673	6-6-11グリッド出土。台石破片。平坦面に顕著な磨料。多孔質安山岩
10033	PJ-67 4	台石	安山岩類	不明	(118.0)	(132.0)	63.0	1,447	F-7-5グリッド出土。台石破片。平坦面に顕著な磨料。断面縁が壊滅し、破片になった後も使用か。
10034	PJ-67 3	磨石類	花崗岩類	3/4	(96.0)	(152.0)	64.0	2,531	F-7-5グリッド出土。球状円盤。狭い平坦面があり。磨料
10035	PJ-67 3	磨石類	安山岩類	—	142.0	121.0	105.0	160	楕円形。磨石破片。平坦な2面は顕著に磨料。
10036	PJ-67	磨石類	砂岩類	—	—	—	—	208	破片。側面にまばらな磨打痕。細粒砂岩
10028	PJ-57 2	磨石類	安山岩類	1/1	102.0	74.0	47.0	492	F-6-20グリッド、DK67号土坑上面で出土。扁平楕円形。平坦な2面に磨打集中の円錐形凹み。側面2面に磨打痕。長軸縁部1面に磨打痕。多孔質安山岩
10029	PJ-57 16	磨石類	安山岩類	1/1	128.0	74.0	58.0	697	F-6-21グリッド、DK63号土坑の北端で出土。楕円形。2面に磨打集中による円錐形凹みとまばらな磨打痕。長軸縁部1面に磨打による平坦面。
10030	PJ-57 21	磨石類	安山岩類	3/4	(82.0)	96.0	53.0	643	磨溝で覆われたF67号住居床面で出土。楕円形。凸面側に磨打集中の円錐形凹み
10031	PJ-57	磨石類	砂岩類	1/1	73.0	71.0	36.0	276	扁平円形。平坦な2面が磨料。花崗岩質砂岩
10032	PJ-57 12	磨石類	安山岩類	1/1	91.0	66.0	36.0	259	F-7-1グリッド、DK72号土坑西端で出土。扁平楕円形。両面に磨打による浅い凹みが長軸方向に並ぶ。多孔質安山岩
10033	PJ-57 8	磨石類	砂岩類	1/1	32.0	127.0	69.0	547	F-6-22グリッド出土。扁平石鏡型。平坦な2面が磨料。1面が黒く変色。細粒砂岩
10034	PJ-57	磨石類	安山岩類	1/2	(92.0)	76.0	46.0	446	扁平石鏡型。両側面は稜磨石的。多孔質安山岩で磨料縁はわからない。
10035	PJ-57 20	磨石類	花崗岩類	1/1	97.0	54.0	41.0	311	磨溝で覆われたF67号住居で出土。扁平楕円形。平坦な1面がやや磨料。長軸両端部に磨打痕。
10036	PJ-57	ハンマー	砂岩類	1/1	87.0	53.0	34.0	242	扁平楕円形。平坦な1面に線状の鋭い磨打痕が複数本
10037	PJ-57 24	楯	砂岩類	1/1	91.0	57.0	27.0	177	F-7-3グリッド、F67号住居南壁付近で出土。扁平楕円形の楯で、薄い縁辺にわずかに磨打痕。
10038	PJ-57	楯	砂岩類	1/1	51.0	58.0	22.0	84	小さな扁平円形。使用痕は分からない
10039	PJ-57 19	磨石類	安山岩類	1/2	—	—	—	279	磨溝に覆われたF67号住居内出土。扁平楕円形。平坦な2面が顕著に磨料。まばらな磨打痕あり
10040	PJ-57 27	楯	砂岩類	—	—	—	—	191	F-7-1グリッド、DK72号土坑上で出土。断面三角形の薄型。使用痕は分からない。稜磨石破片か
10041	PJ-57	楯	安山岩類	不明	—	—	—	195	やや大きめの磨石サイズの円錐破片。多孔質安山岩
10042	PJ-57 13	台石	安山岩類	不明	—	—	—	247	F-7-1グリッド、DK72号土坑上で10040とともに出土。扁平円形。平坦な2面に鋭い稜磨石。多孔質安山岩
10075	PJ-64	磨石類	花崗岩類	1/1	106.0	72.0	42.0	452	楕円形。平坦な2面が平滑に磨料。片面に浅い磨打痕。
10062	PJ-57 5	台石	安山岩類	不明	(224.0)	214.0	(70.0)	4,300	F-6-20グリッド、DK67号土坑北側で出土。新削した扁平円形の平坦面を磨打整形。凸面に磨料。
10063	PJ-57 28	台石	安山岩類	1/1	243.0	469.0	100.0	16,700	磨溝で覆われたF67号住居内。F1055号ピット上。床面から15cm深い出土。大きな扁平楕円形の1面に磨打による広い凹み
11148	PT-1130 1	磨石類	花崗岩類	3/4	(224.0)	214.0	(70.0)	930	扁平楕円形の円盤。端部に鋭い。片面の凸部が平滑に磨料。
11149	PT-1116	台石	安山岩類	不明	243.0	469.0	100.0	1,903	磨石の片面が顕著に磨料
11154	PT-1135	磨石類	花崗岩類	—	—	—	—	697	F-6-23グリッド出土。7面の平坦面がある薄型。平坦面が磨料。被熱し一部変色。風化し粗れそうな花崗岩

PJ058 号住居・PJ059 号住居

位置：H-3、G-3 グリッドに位置し、PJ059 号住居と重複する。PJ058 号住居が新しく、PJ059 号住居を切る。両遺構とも調査途中で、調査区の一部を現状保存することとしたため、遺構の一部のみを発掘した。DK100 号、DK107 号、DK439 号土坑と重複する。3 基の土坑が新しい。

規模：調査した範囲と遺構確認図で推定すると、PJ058 号住居は南北 4.2m、東西 4m 程度の方形と推定される。堅穴は深さ 0.4m が残る。

PJ059 号住居は北壁と西壁が PJ058 号住居に切られて失われている。また東壁は農地の削平により失われている。南壁は調査区を東西に走る浅い埋没谷の黒色土帯にかかり、壁の立ち上がりラインが認識できなかった。これらの事情から規模は不明である。堅穴は深さ 0.3m が残る。

埋土：PJ058 号住居埋土は、黒褐色から暗褐色土が水平に堆積し、壁際で黄褐色土が混じり、やや複雑な層理を示した。埋土はレンズ状に自然堆積し遺構を埋めたものと推測される。PJ059 号住居埋土も黒褐色土が水平に堆積していた。

床面：PJ058 号住居では、黄褐色砂質土の地山を平らに掘り込み、そのまま床面としている。調査範囲で硬化面は検出されなかった。PJ059 号住居も同様であるが調査範囲で硬くしまった硬化面が検出された。

炉：PJ058 号住居の炉は検出されなかった。PJ059 号住居では床面が焼土化した部分を検出した。これが地床炉と思われる。

周溝：PJ058 号住居では、北壁から東壁、南壁沿いで小溝を検出した。南壁沿いは不整形な小ピットが連続するように検出された。PJ059 号住居では検出されなかった。

柱穴：PJ058 号住居柱穴は PT862 号、PT863 号、PT881 号ピットの 3 基である。PJ059 号住居柱穴は、PT878 号ピットか PT879 号ピットのいずれかと PT875 号、PT890 号ピットの 3 基である。残る柱穴が東側の農地削平部分に残っていると思われるが、現状保存区域のため調査しなかった。

出土遺物：諸磯式土器が出土しているが、住居に重複する諸磯式期の 439 号土坑に気づかないまま発掘した結果と思われる。PJ58 号住居と PJ59 号住居ともに中越式、神ノ木式が目立つ。

出土した土器の総量は、PJ58 号住居分が 3,252g で、中越式土器が 1,701g とともに多く、神ノ木式が次ぎ、ほかに坂平式、木島式、関山式が少量ある。さらに混入と思われる諸磯式土器が 830g 程度出土した。

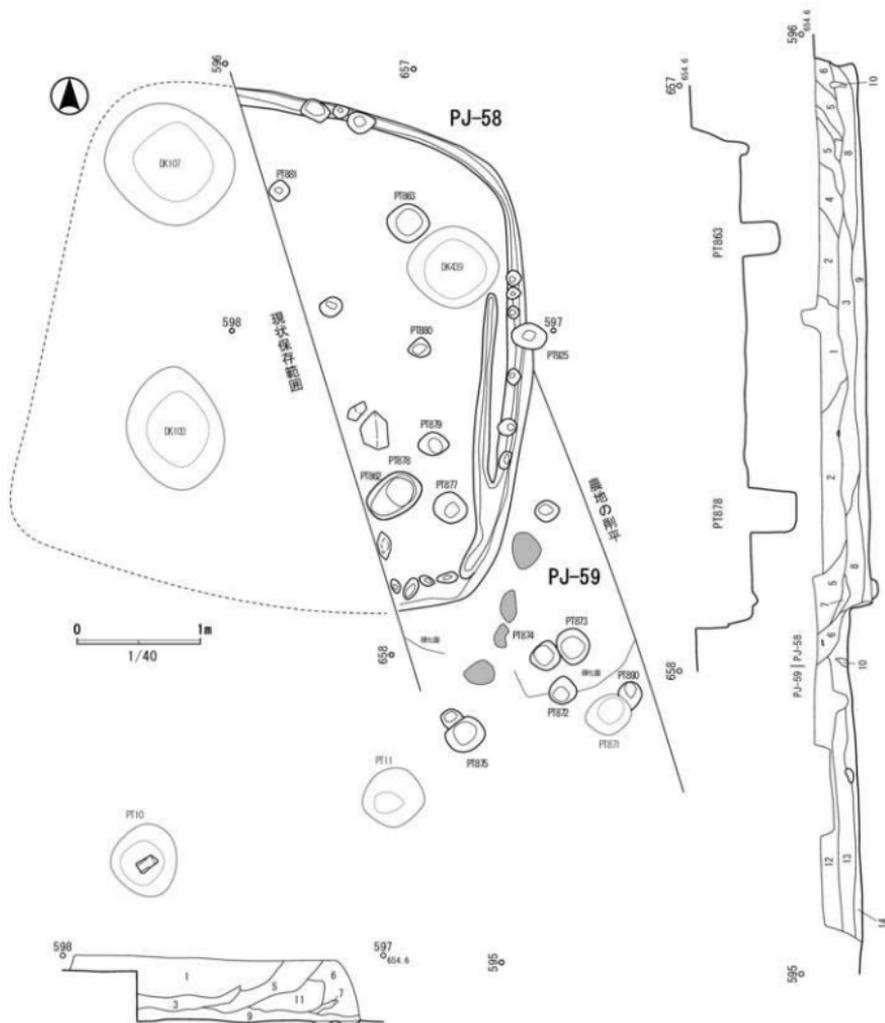
PJ59 号住居分が 1,391g で、中越式が 965g と最も多い。ほかに神ノ木式が少量ある。諸磯式土器は 130g が出土した。

出土した石器の内訳は、PJ58 号住居で石鎌 3 点、削器 2 点、素刃削器 2 点、ミニチュア石匙 1 点、磨石類 2 点、石皿 1 点、台石片 1 点、ハンマー 3 点、黒曜石剥片 61 点 145g である。PJ59 号住居では、石鎌 1 点、石匙 1 点、鋸歯縁石器 1 点、磨石類 2 点、ハンマー 1 点、黒曜石剥片 19 点、チャート剥片 2 点、石英岩剥片 1 点の合計 38g である。

時期：埋土の観察から PJ58 号住居が新しいと確認できたが、出土土器では、2 軒の住居に時期差は感じられない。ともに神ノ木式土器を伴う中越IV式期と推測される。

PJ058 号・PJ059 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PF-662	58 住内	24	35	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/2(黒褐)と炭化物が混入する。シルト粒土。しまる。	PJ058 号住居柱穴、PF678 号ピットを切る。
PF-663	58 住内	31	30	10YR2/2(黒褐)に黄褐色土粒子が混入する。シルト粒土。しまる。	PJ058 号住居柱穴、埋土上に建
PF-672	59 住 南壁	2.1	16	黒褐に褐が混入する	
PF-673	59 住内	18	14	10YR2/3(黒褐)に 10YR4/6(褐)が混入する。シルト粒土。しまる。	
PF-674	59 住内	22	22	黒褐に褐が混入する	
PF-675	59 住 南西 0.5m	25	34	10YR2/2(黒褐)、シルト粒土。しまる。	PJ059 号住居柱穴
PF-677	58 住内	25	19	黒褐	
PF-678	58 住内	27	40	10YR2/2(黒褐)、シルト粒土。しまる。	PJ059 号住居柱穴、PF862 号ピットに切られる。
PF-679	58 住内	20	30	10YR2/2(黒褐)、シルト粒土。しまる。	PJ059 号住居柱穴か
PF-680	58 住内	15	16	黒褐	
PF-681	58 住内	16	30	10YR2/2(黒褐)、シルト粒土。しまる。	PJ058 号住居柱穴
PF-690	59 住 南東 0.5m	19	39	10YR2/2(黒褐)、シルト粒土。しまる。	PJ059 号住居柱穴、PF-671 を切る。縄文施文の縄紋土器破片
PF-925	58 住 東壁	18	16	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土。しまる。	
DK107PF	58 住 東壁	30	45	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混入する。シルト粒土。しまる。	DK107 底面から検出された。位置から PJ058 柱穴と思われる。

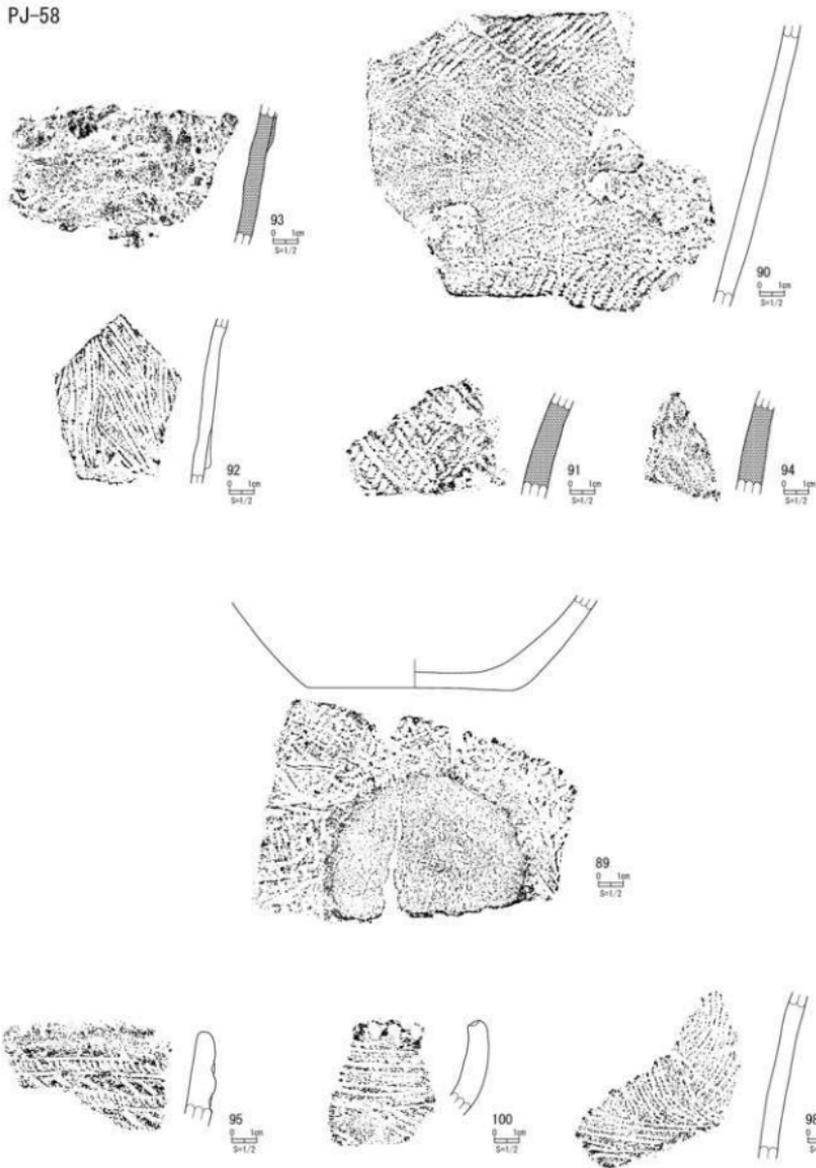


- 100 1096(4)層中に1094(2)にない黄褐色が0%、1094(6)層が0%、炭化物以下、 ϕ 2cm以下の花崗岩小礫が散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 101 1096(4)層中に1092(2)層中にない黄褐色が0%、炭化物以下、 ϕ 2cm以下の花崗岩小礫が以下、散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 102 1092(2)層中に1096(4)層中にない黄褐色が0%、炭化物、 ϕ 2cm以下の花崗岩小礫が以下、散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 4層より少し明るい。(PJ-58)
- 5層より少し明るい。(PJ-58)
- 6層より少し明るい。1095(6)層中のブロックが散在する。(PJ-58)
- 109 1096(4)層中に1092(2)層中にない黄褐色が0%、 ϕ 1cm以下の花崗岩小礫が以下、散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 108 1092(2)層中に1096(4)層中にない黄褐色が0%、散在するシルト粒土。粘性ややあり、しまる。(PJ-58)

- 106 1094(6)層中に1094(2)にない黄褐色が40%散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 11層より明るい。
- 105 1095(6)層中に1094(2)にない黄褐色が0%散在するシルト粒土。粘性ややあり、固くしまる。
- 壁 1095(6)層中に1094(2)にない黄褐色が0%、1094(6)層が0%散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 12層 1092(2)層中に1096(4)層中にない黄褐色が0%、炭化物以下、散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 13層 1092(2)層中に1096(4)層中にない黄褐色が0%、炭化物以下、散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 14層 1092(2)層中に1096(4)層中にない黄褐色が0%散在するシルト粒土。粘性ややあり、ややしまる。(PJ-58)
- 床面 1096(4)層中に1094(2)にない黄褐色が0%、1092(2)層中にない黄褐色が0%散在するシルト粒土。粘性ややあり、しまる。(PJ-58)

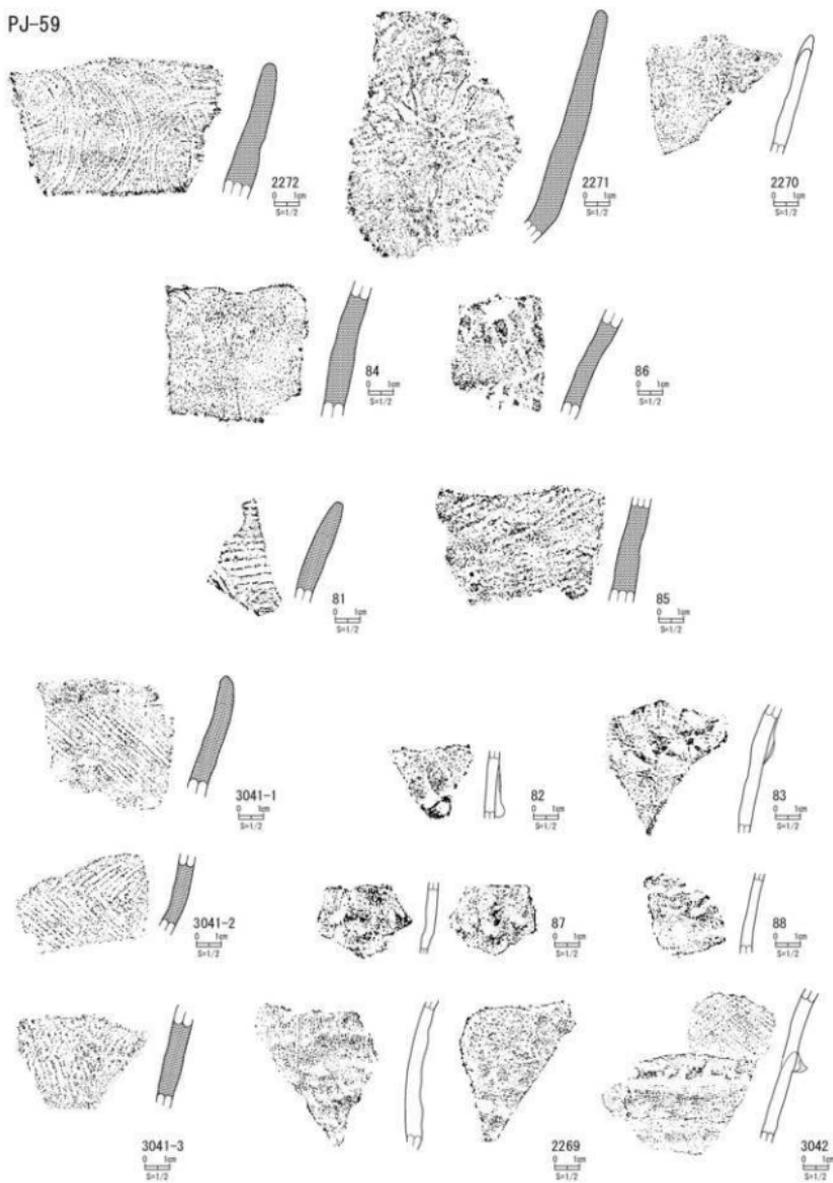
PJ058号・PJ059号住居

PJ-58

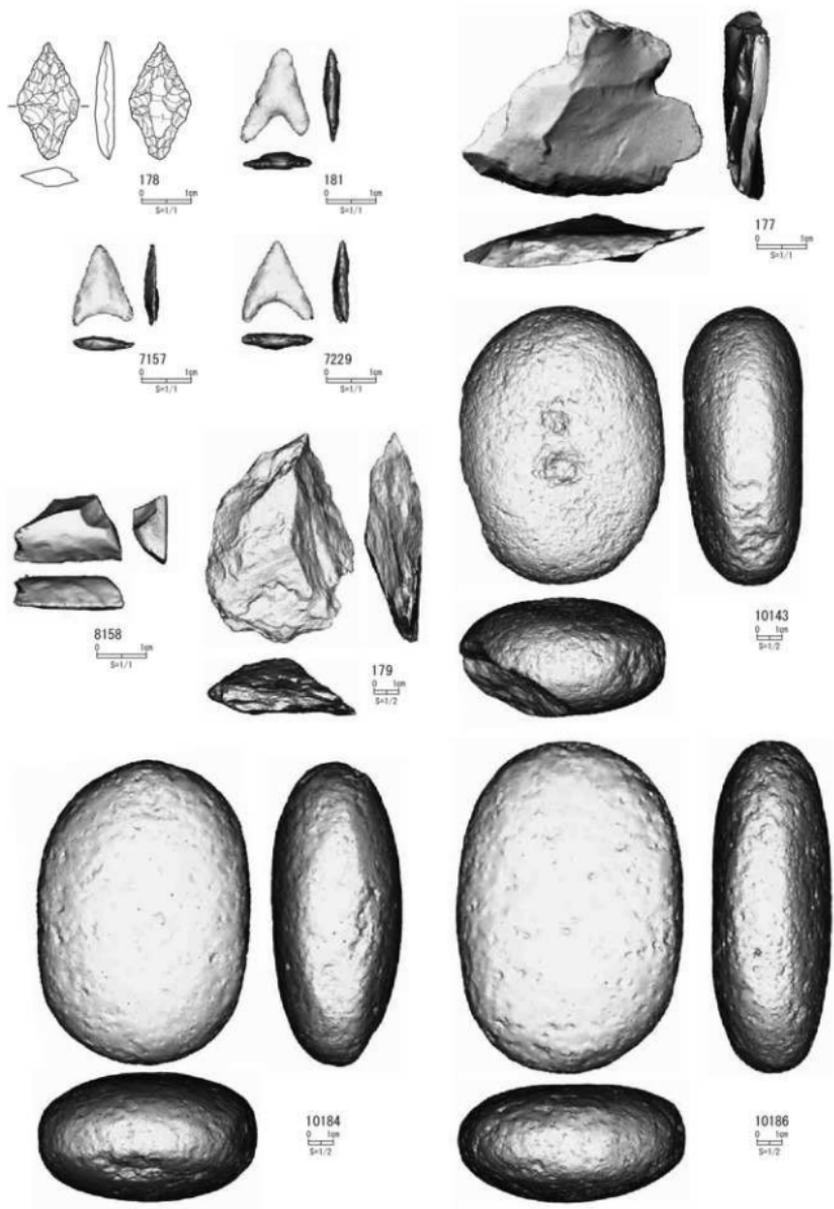


PJ058号·PJ059号住居出土遺物

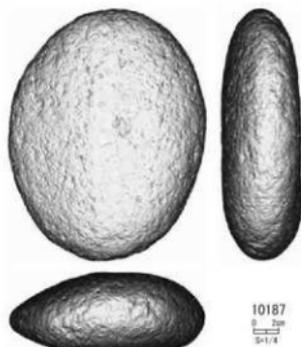
PJ-59



PJ058 号・PJ059 号住居出土遺物



PJ058号・PJ059号住居出土遺物



10187
0 2cm
1:4



10185
0 1cm
1:2

PJ058号・PJ059号住居出土遺物

PJ058号・PJ059号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径/縦 (cm)	器高/横 (cm)	底径/厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
81	PJ-59	口縁部	-	-	-	8.0	破片	7.5YR5/4 5YR3/2	PJ58号住居埋土一団。羽状縄文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式
82	PJ-59	胴部	-	-	-	5.8	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	PJ58号住居埋土一団。爪刻文。肥厚した口縁部段差に刻み。器壁は薄手。内外面指頭圧痕顕著。胎土に繊維を含まない。木鳥式
83	PJ-59	胴部	-	-	-	14.8	破片	7.5YR2/4 7.5YR6/4	PJ59号住居埋土一団。肥厚した口縁部に格子目状の浅線文。肥厚帯下縁に浅い刻み。内外面指頭圧痕顕著。胎土に繊維を含まない。木鳥式
84	PJ-59	胴部	-	-	-	41.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	PJ59号住居埋土一団。無文の胴部破片。外面ナデ調整。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式
85	PJ-59	胴部	-	-	-	36.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/6	PJ59号住居埋土一団。縄文地文。内外面に凹凸が残る。内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を含む。神ノ木式
86	PJ-59	胴部	-	-	-	73.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	PJ59号住居埋土一団。口縁部付近と思われる破片に格子目状の文様がみえる。内外面指頭圧痕が残る。胎土に粗大な植物繊維が混入。中鉢式
87	PJ-59	胴部	-	-	-	5.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/2	PJ59号住居埋土一団。指頭圧痕が顕著な器面に条線文。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
88	PJ-59	胴部	-	-	-	6.3	破片	7.5YR4/2 7.5YR3/3	PJ59号住居埋土一団。爪刻文のような浅い押捺文。器壁は薄手。指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含まない。木鳥式
89	PJ-58	胴部～底部	-	-	(8.0)	122.0	破片	5YR3/3 5YR4/6	PJ58号住居埋土一団。縄文地文。内面ナデ調整。胎土に繊維を含まない。踏踏式
90	PJ-58	胴部	-	-	-	164.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR3/3	PJ58号住居埋土一団。羽状縄文と無文部。内面ナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
91	PJ-58	胴部	-	-	-	28.0	破片	5YR4/3 7.5YR6/6	PJ58号住居埋土一団。羽状縄文を単位位置。内面で浅いなミガキ調整。胎土に繊維を含む。関山式
92	PJ-58	胴部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR6/4	PJ58号住居埋土一団。口縁部に格子目条線。頸部段差に刻み。内面指頭圧痕顕著。胎土に繊維を含まない。木鳥式
93	PJ-58	胴部	-	-	-	34.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR6/6	PJ58号住居埋土一団。外面は凹凸が著しい粗雑な器面調整。内面は指頭圧痕が顕著な破ナデ調整。胎土に繊維を含む。中鉢IV式か在地的無文土器
94	PJ-58	胴部	-	-	-	12.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/2	PJ58号住居埋土一団。踏踏式期のM202号溝跡とF-6グリッドで出土した1506と同一器体。乱雑な爪刻文。内面平滑にナデ調整。器壁は薄手。胎土に繊維を含む。堂ノ上7式の影響がある在地的土器か
95	PJ-58	口縁部	-	-	-	28.0	破片	5YR4/3 5YR4/4	PJ58号住居埋土一団。爪型押引文と刻みのある浮線文。内面はナデ調整。踏踏り式否
96	IG-2320	胴部	-	-	-	29.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	PJ58号住居埋土団出土。集合体跡による入り組み宙線。内面は浅いなナデミガキ調整。胎土色調。胎土質は踏踏式と異なる。裾流上層式と踏踏り式の折衷的な様相

PJ058号・PJ059号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径/幅 (cm)	器高/径 (cm)	底径/厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
100	10-1793	口縁部	-	-	-	22.0	破片	5YR4/4 7.5YR6/6	PJ058号住居様式出土。口縁部に刻み、平行波線文。内面ナ字調整。積層式
2269	PJ-59	胴部	-	-	-	15.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	PJ058号住居土一括。指頭圧痕が顕著に残る器面に象線文。器壁は厚手。胎土に繊維を含まない。木製品
2270	PJ-59	口縁部	-	-	-	15.0	破片	5YR6/4 10YR3/2	PJ058号住居土一括。小突起がある口縁。内外面に指頭圧痕がやや残る。外面縦ナズ、内面横ナズ調整。器壁は中厚手。胎土に繊維を含まない。中絶皿式か
2271	PJ-59 10	口縁部 ～胴部	-	-	-	62.0	破片	5YR3/2 5YR5/8	PJ058号住居南壁に近い床面出土。小型の丸底鉢。外面凹凸が残る器面にまばらな線文。内面は指頭圧痕が残り、縦ナズと横ナズ調整。器壁は厚手。胎土に繊維を含む。中絶皿式か
2272	PJ-59	口縁部	-	-	-	51.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/6	PJ058号住居土一括。外面は植物茎の束のような工具による曲線文。内面は象痕のような横ナズ調整。内外面とも指頭圧痕が残る。器壁は厚手。胎土に繊維を含む。中絶式
3041	PJ-59	口縁部	-	-	-	58.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	PJ058号住居土一括。口縁部と胴部の同一個体と思われる破片。口縁部は平口縁で指頭圧痕が残る器面に無筋線文を刻いた施文。胴部は無筋線文を刻いた施文。内面は指頭圧痕が残るヨコナズ調整。器壁は中厚手。胎土に繊維を含む。神ノ木式
3042	PJ-59	口縁部	-	-	-	27.0	破片	5YR4/6 5YR2/4	PJ058号住居土一括。口縁部に格子目文。胴部に刻みのある断面三角隆帯。外面ヨコナズ調整。内面指頭圧痕が残るナズ調整。器壁はやや厚手で口縁部は肥厚しない。胎土に繊維を含まない。木製品

PJ058号・PJ059号 石器観察表

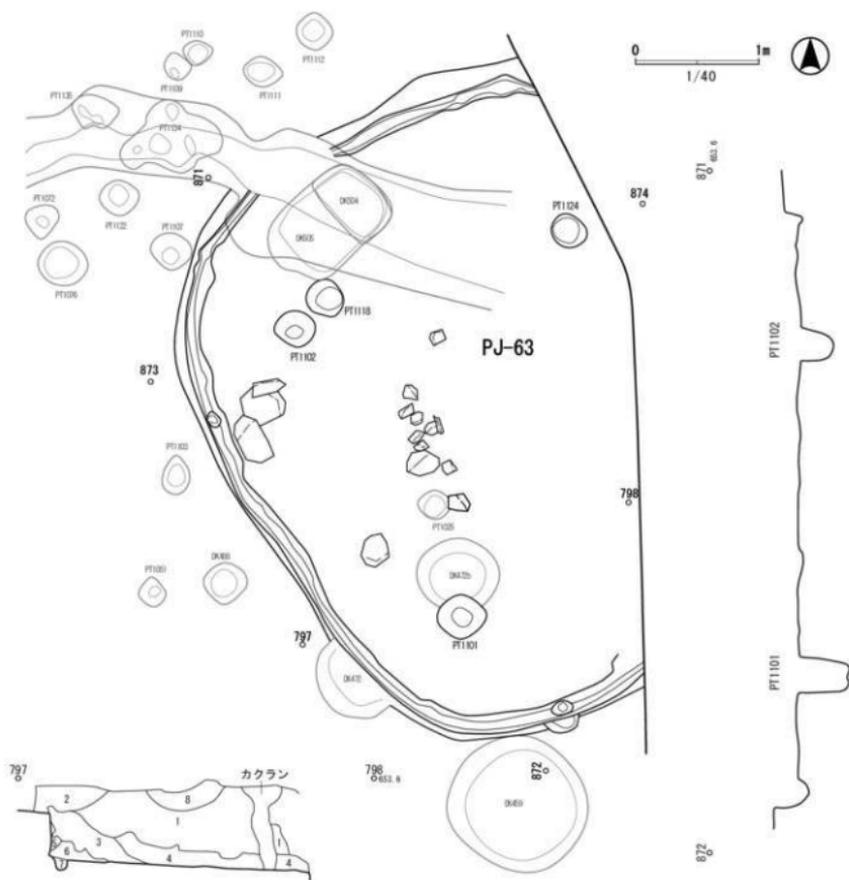
整理番号	注記	器種	石材料	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0177	PJ-59 3	石匙	珪質頁岩	3/4	39.0	48.0	8.0	13.80	PJ058号住居土層出土。横長割片の打点側つまみ部を作出。片割縁は使用側へ折損か。白部のある黄灰色珪質頁岩。被熱ありか
0178	PJ-59 9	石鏃	灰色チャート	1/1	23.6	13.0	4.4	1.10	PJ058号住居南端の埋土下層出土。灰色チャート製の黄褐色。片面に主刺断面が残る
0179	PJ-59 1	鋭歯状石鏃	砂定文瓦	-	-	-	23.0	112.60	PJ058号住居土層出土。やや厚肉した角縁面が残る厚肉割片の2側縁に鋭歯状断面と管状状断面
0180	PJ-58	ヒナフ石匙	黒曜石	3/4	13.0	22.0	7.0	1.15	PJ058号住居土一括。平坦な縁面が残る割片の磨縁部を表面から調整製器。ミニチュア石匙のつまみ部が折損したものの半透明黒曜石
0181	PJ-58	石鏃	黒曜石	3/4	20.7	(14.0)	3.5	(0.52)	PJ058号住居土一括。片割縁短文。基部入りが深い。透明な黒曜石
7156	10-1794	素刃耐器	珪質頁岩	3/4	36.0	37.0	4.0	6.20	PJ058号住居様式出土。断面が鋭い不整形割片の二辺に刃部。片割縁の反折面が残る
7157	10-2346	石鏃	珪質頁岩	1/1	16.7	12.4	3.0	0.43	PJ058号住居様式出土。片面に主刺断面が残る割片素材。黄灰色の珪質頁岩
7158	10-2320	素刃耐器	珪質頁岩	1/1	29.0	62.0	8.0	11.70	PJ058号住居様式出土。打面が残る縦長割片の長辺に使用側割片。白部のある黄灰色珪質頁岩
7229	10-2339	石鏃	黒曜石	1/1	17.6	14.7	3.0	0.50	PJ058号住居様式出土。両面の器体中央に主刺断面が残る割片素材。網眼状のある透明黒曜石
8157	PJ-58	耐器	黒曜石	1/1	17.0	32.0	5.0	2.20	PJ058号住居土一括。不整形割片の長辺に刃部。滑りのある半透明黒曜石
8158	PJ-58	耐器	黒曜石	-	14.0	22.0	7.0	2.20	PJ058号住居土一括。厚手の破片の側縁に刃部。磨料した使用側が顕著。透明な黒曜石
10143	PJ-58 6	磨石類	安山岩類	3/4	113.0	(83.0)	52.0	522	PJ058号住居土層出土。石鏃型。作業面2面。片面は積層あり。両面とも磨料が不明瞭。作業面に磨打集中による凹部
10144	PJ-58 2	磨石類	花崗岩類	3/4	93.0	65.0	38.0	368	PJ058号住居土層出土。石鏃型が強化割片。使用側が観察できない。磨打集中による凹部あり。石鏃型
10145	PJ-58 4	ハンマー	砂岩類	1/1	117.0	42.0	34.0	272	PJ058号住居土層出土。四角柱状の歪角礫素材。長軸端部に鋭い折き面
10146	PJ-58 5	ハンマー	砂岩類	1/2	(85.0)	60.0	37.0	238	PJ058号住居土層出土。断面が三角の歪角礫素材。長軸方向の半分を欠損。長軸端部と平坦な一面にわずかな折き面
10147	PJ-58 3	台石	安山岩類	-	(87.0)	(74.0)	(80.0)	321	PJ058号住居土層出土。扁平角礫素材の台石破片。長軸端部に折き面ありか
10148	PJ-58	ハンマー	砂岩類	-	-	-	-	105	PJ058号住居土一括。棒状の歪角礫素材。長軸端部に磨打面。器体の多くが欠損
10184	PJ-59 5	磨石類	安山岩類	1/1	125.0	88.0	55.0	838	PJ058号住居土層出土。石鏃型。作業面2面。両面とも平坦に磨料。片面に磨打集中の浅い凹部。断面は積層状の
10185	PJ-59 6	ハンマー	砂岩類	1/1	148.0	59.0	47.0	619	PJ058号住居南端。床面出土。隅丸四角柱状の歪角礫素材。長軸端部にわずかな磨打面。不明瞭ながら断面2面。磨石に利用あり
10186	PJ-59 11	磨石類	安山岩類	1/1	137.0	93.0	50.0	773	PJ058号住居南端。10185と並んで床面出土。石鏃型。磨石作業面2面。両面にまばらな凹状・点状磨打痕あり
10187	PJ-58 1	石皿	安山岩類	1/1	209.0	158.0	67.0	2,598	PJ058号住居床面出土。小形の石皿。皿面は磨料痕が残り、皿部を成形した際の凹状・点状の磨打痕が残る。裏面に凹部が1ヶ所

PJ63号住居

- 位置**：F-7グリッドに位置する。PJ64号、PJ57号住居と重複する。PJ57号住居とPJ64号住居は保存状態が不良で、埋土断面観察から本住居との新旧関係を判断できなかった。M2号溝と重複する。M2号溝は諸磯式期の遺構で本住居より新しい。DK472号、DK504号、DK505号土坑、PT1025号、DK472b号土坑に切られる。
- 規模**：長軸5.1m、短軸推定4.5m程度の隅丸長方形プランで、堅穴の深さは35cmが残る。西壁側1/4は水田造成のため削平され失われている。
- 埋土**：西壁沿いに三角堆積が認められ、黒褐色土と暗褐色土が水平に堆積していた。第2層は本住居を切る遺構の埋土と思われるが、住居の実体が把握できなかった。第8層は本住居を切るDK472b号土坑である。
- 床面**：黄褐色砂質土を平坦に掘り込み床面としている。全面がやや踏みしまって硬化していた。
- 炉**：床面を精査したが地床炉と思われる被熱箇所は検出されなかった。
- 周溝**：壁に沿って小溝を検出した。
- 柱穴**：PT1101、PT1102、PT1124号ピットの3基が柱穴である。南東側にも柱穴があるはずだが、水田により削平され失われていた。
- 出土遺物**：埋土上層から下層にかけて土器破片と石器が出土した。このうち埋土最上層から出土した土器、石器は埋土第2層に含まれる新しい遺構に帰属させた。本住居に伴う遺物は901、902の中越式土器などである。
- 出土した土器の総量は9,254gで、中越式4,620g、神ノ木式2,461g、有尾式360g、関山式44g、木島式91g、清水ノ上Ⅱ式186g、上広覧式14g、前期土器破片1440gなどである。
- 出土した石器は、石鏃9点、石匙8点、搔器1点、削器1点、石錐2点、両極石器1点、磨石類6点、台石2点、磨製石斧2点、ハンマー1点、礮器1点、礮1点、黒曜石原石2点、石英岩原石1点、剥離のある剥片2点である。このほか黒曜石を主とする剥片231点781gである。
- 時期**：901、902の中越式土器から本住居は中越式期に位置づけられる。

PJ063号住居 土坑ピット一覧表

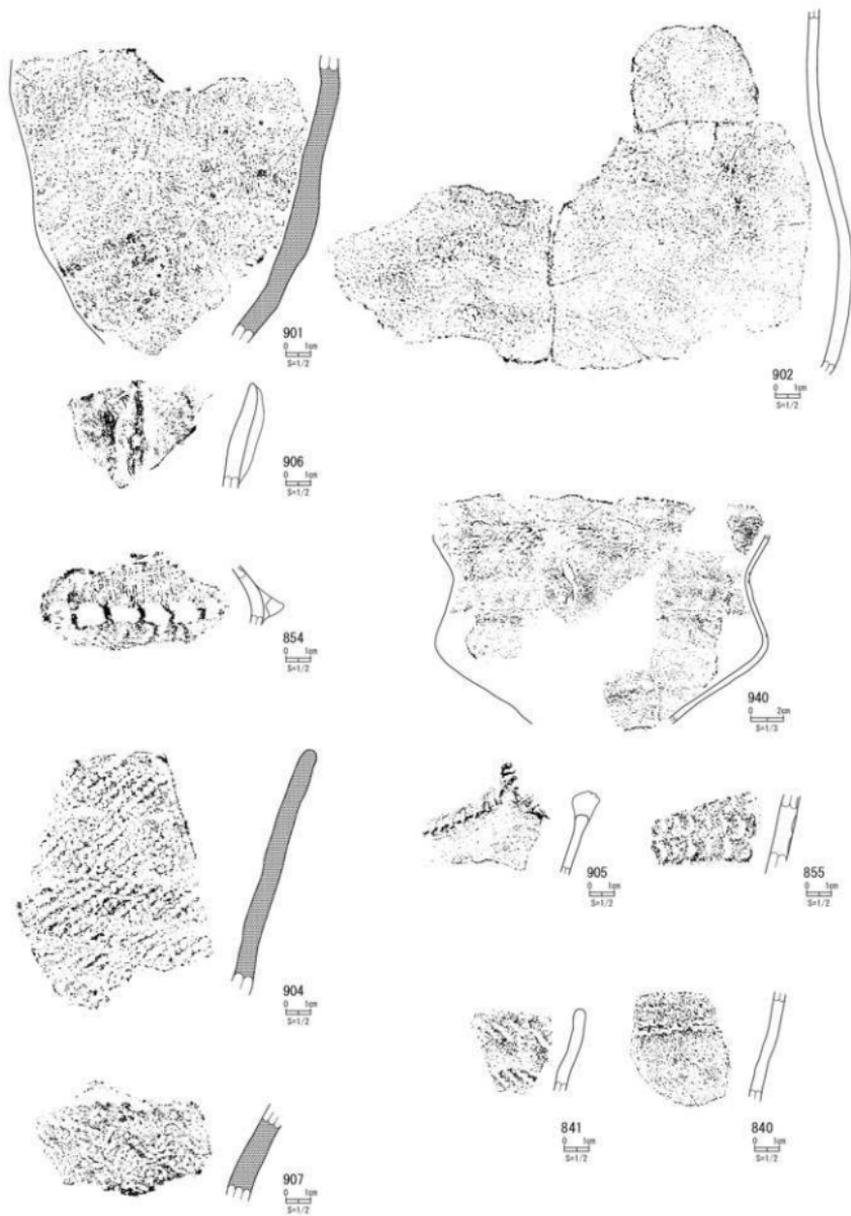
遺構番号	位置	大きさ	深さ	埋土色	備考(遺物など)
PT-1101	63 住内	30→	30	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が15%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。中越式小片
PT-1102	63 住内	31→	38	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。中越式小片
PT-1118	63 住内	27→	61	10YR2/2(黒褐)に10YR4/4(褐)が10%混じる。シルト粒土。しまる。	中越式小片
PT-1124	63 住内	14→	22	10YR3/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が10%混じる。シルト粒土。ややしまる。	柱穴。M002に切られる。風化花崗岩が入っていた。中越式、神ノ木式破片多数



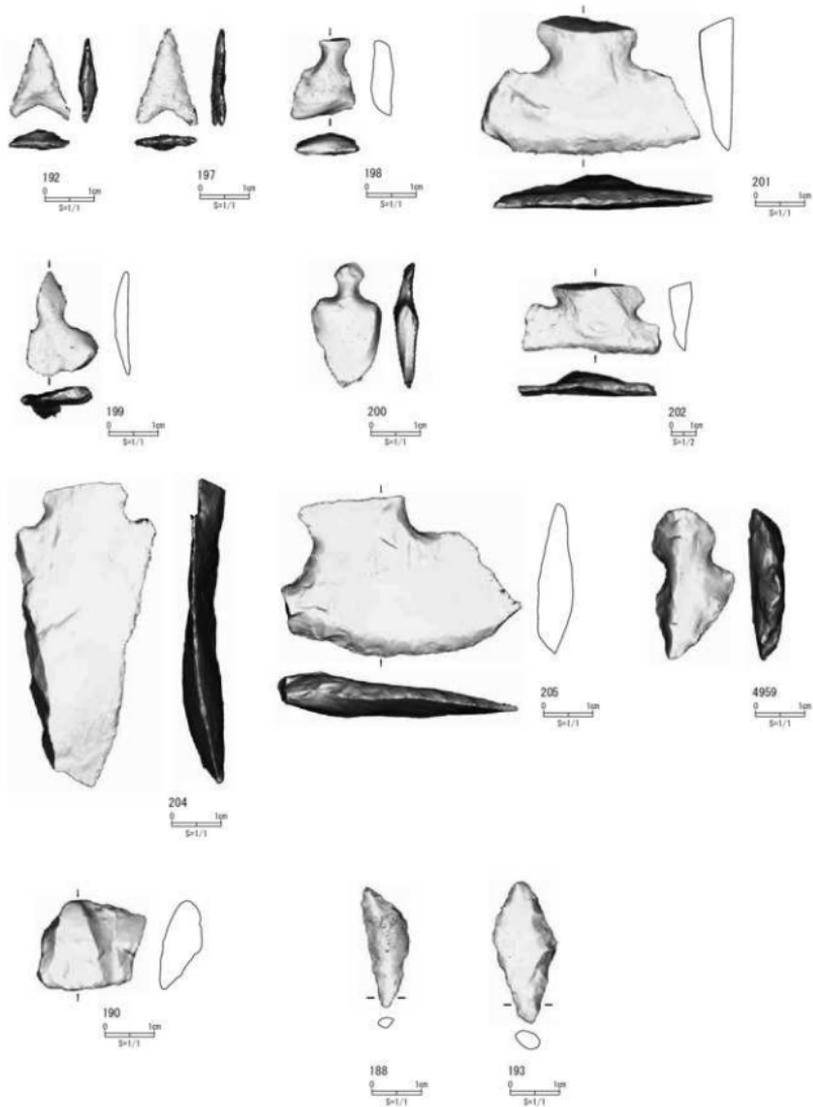
- 1層 10R2(2黒縄)に10R2(3赤縄)が95%、花崗岩粒が9%、炭化物が1%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 2層 10R2(1黒縄)。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 3層 10R2(2黒縄)に10R6(4)に5%、黄縄が9%、炭化物が1%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 4層 10R2(3赤縄)に10R6(4)に5%、黄縄が9%、10R2(1黒縄)が9%、花崗岩粒が1%、炭化物が1%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 5層 10R6(6黄縄)に10R2(4赤縄)が95%、花崗岩粒が5%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 6層 10R2(2黒縄)に10R2(3赤縄)が95%、10R6(4)に5%、黄縄が9%、花崗岩粒が9%、炭化物が1%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。(周溝)
- 7層 10R2(3赤縄)に10R6(6黄縄)が95%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。やしまる。(周溝)
- 8層 10R2(1黒縄)に花崗岩粒が95%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 採遺 10R5(6黄縄)に10R2(3赤縄)が95%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。
- 壁 10R4(6黄縄)に10R4(8)に5%、黄縄が95%、混じる。シルト粒土。粘性ややあり。しまる。



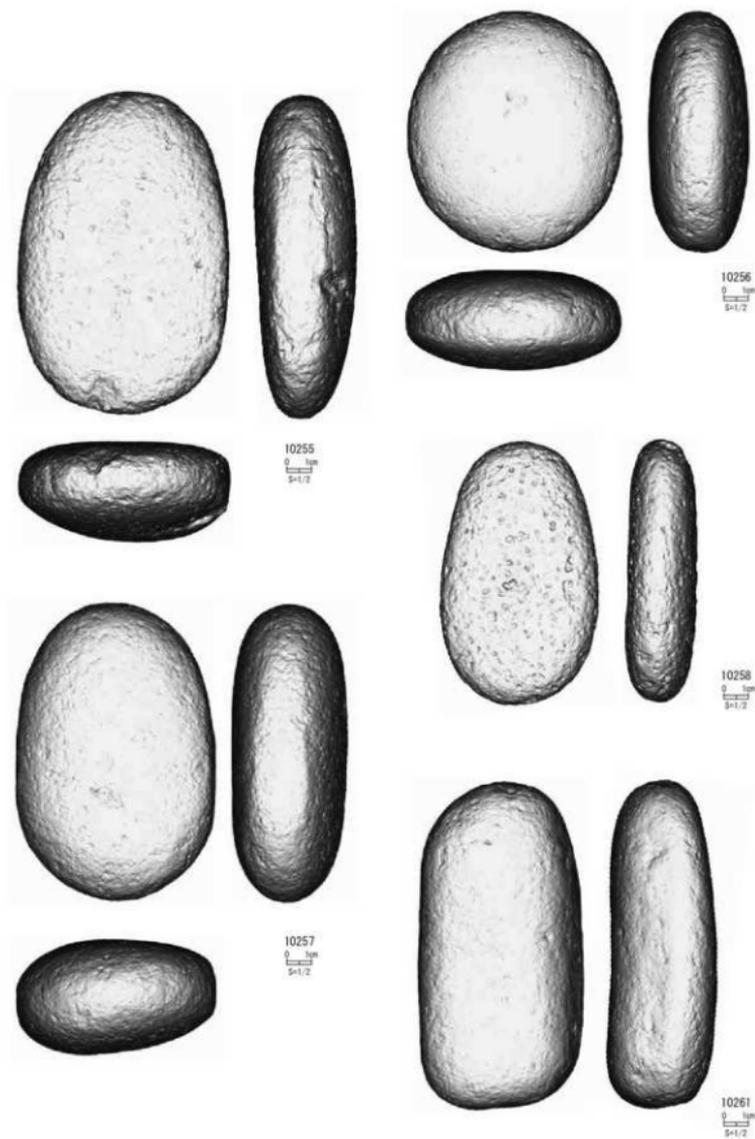
PJ063 号住居



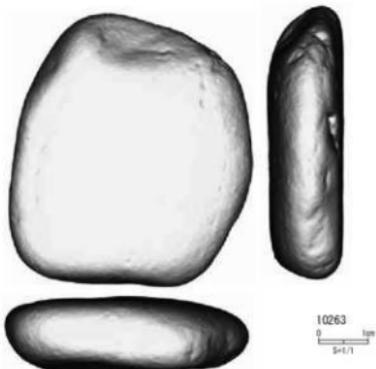
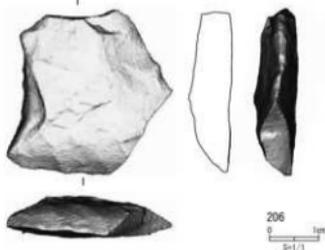
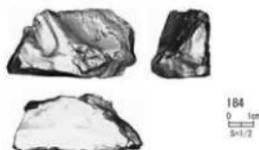
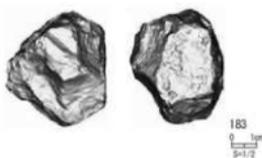
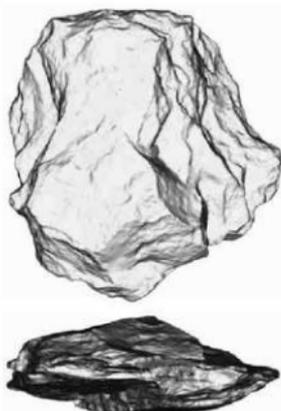
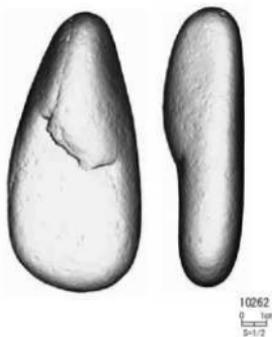
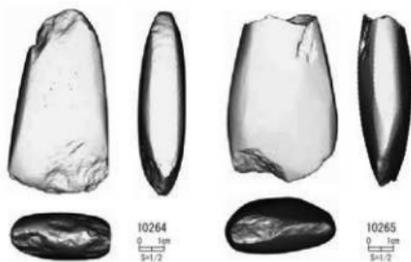
PJ063 号住居出土遺物



PJ063 号住居出土遺物



PJ063 号住居出土遺物



PJ063 号住居出土遺物

PJ063号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
840	PJ-63	胴部	-	-	-	11.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/2	貝殻微塵土。器壁は4mm。内面ナデ調整。胎土に繊維を含まない。上広直式
841	PJ-63	口縁部	-	-	-	8.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	斜位に施文された貝殻微塵土。器壁は5mm。内面は指頭圧痕がやや残るナデ調整。胎土に繊維を含まない。
854	PJ-63	胴部	-	-	-	17.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR4/3	屈曲して突出した胴部につきま。平行欠線文。内面に指頭圧痕が残る。器壁は4mm。胎土に繊維を含まない。木島直式
855	PJ-63	胴部	-	-	-	12.0	破片	7.5YR4/2 10YR5/2	肥厚する口縁部に爪形文列。器壁は口縁部が6mm、体部が3mmと薄手。内面に指頭圧痕が残る。砂粒が多い胎土で繊維は置じらない。清水ノ上直式
901	PJ-63 17、PJ-63	胴部	-	-	-	114.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	PT1102 号ビット北端。埋土層出土。内外面に輪郭み痕と成形時の凹凸が残る。外面は雑な砥ナデ。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式
902	PJ-63 8、PJ-63	胴部	-	-	-	141.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/2	胴部がややくびれる深鉢の胴部破片。外面は指頭圧痕がやや残るナデ調整。内面は指頭圧痕が顕著に残るヨコナデ。器壁は5mmで中等手。硬質な皮成。胎土に繊維を含まない。中越式
904	PJ-63	口縁部	-	-	-	80.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/3	やや内びった口唇部。外面は輪郭み痕が残る縄文地文。内面は輪郭み痕が顕著に残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
905	PJ-63	口縁部	-	-	-	8.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/3	口唇部につきまよびたような小突起と鋭い削み。外面の小突起から口縁に平行して隆帯のハダレ痕あり。内面は指頭圧痕が目立つナデ調整。器壁は4mmと薄手。砂粒が目じる胎土で繊維を含まない。清水ノ上式か
906	PJ-63	口縁部	-	-	-	15.0	破片	7.5YR5/3 5YR3/2	尖った口唇部に垂下隆帯。隆帯断面は三角形で削みなし。外面は鋭い削みナデ調整。内面は指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。中越式
907	PJ-63	胴部	-	-	-	26.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR5/4	粗磁? 内面は鋭い削みナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。横山式か
940	PJ-63 23、PJ-63 16、PJ-63	胴部	-	-	-	160.0	破片	10YR3/1 10YR5/3	PJ63号住居埋土層から下層で出土。器口くびれと胴部張り出し部に先端が削れたへう状工具の刺突痕。内外面とも指頭圧痕が残るナデ調整。器壁は4mmと薄手。胎土に繊維を含まない。清水ノ上直式か

PJ063号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0182	PJ-63 14	礎器	砂岩	1/1	118.0	106.0	38.0	491.10	住居北西角の壁際。床面から21cm厚い出土。円縁面が残る大きな剥片の縁辺に調整刻痕。縁辺刃部がつぶれたように見える箇所もあるが、石材質が粗く使用痕は不分明。やや粗粒の砂岩
0183	PJ-63	原石	石英岩					80.80	ゴルフボール大の石英岩角縁。やや灰色がかった半透明
0184	PJ-63	原石	黒曜石					32.20	ズリ。多数の結核状理がある
0185	PJ-63	原石	黒曜石					10.50	角が内まった河川転石。白色の大きな夾雑物が置じる。
0186	PJ-63	石鏝	石英岩	3/4	21.6	22.2	7.2	3.47	未成品。やや薄い素材を両面調整。三角形状がなんとなく分かる段階。先端部が大きく欠損。透明な石英岩
0187	PJ-63	剥離のある剥片	チャート	1/1				7.20	貝殻状の剥片の薄い縁辺に微小刺痕。黒色のある灰色チャート
0188	PJ-63	石鏝	珪質頁岩	1/1	25.0	10.0	5.0	1.00	小さな石鏝。尖部2ヶ所。1ヶ所は磨耗。残る1ヶ所は使用痕なし。白筋のある黄灰色珪質頁岩
0189	PJ-63	石鏝	チャート	1/2	-	-	4.2	(0.65)	両面加工。先端部のみ破片。灰色チャート
0190	PJ-63	両端石器	黒曜石	1/1	22.0	21.0	9.0	4.30	河川転石面が残る剥片の高縁に微小刺痕。薄縁状半透明黒曜石
0191	PJ-63	石鏝	チャート	1/2	19.8	-	5.0	(0.83)	凹基。両面加工。両側縁が欠損。先端は尖っておらず。未成品も。灰色チャート
0192	PJ-63 6	石鏝	珪質頁岩	1/1	16.8	12.7	3.8	0.45	埋土層出土。凹基。両面加工。白筋のある黄灰色珪質頁岩
0193	PJ-63	石鏝	珪質頁岩	1/1	30.0	14.0	6.0	2.30	養蚕形。尖部は2ヶ所。どちらも顕著な使用痕なし。白筋のある黄灰色珪質頁岩
0194	PJ-63	石鏝	黒曜石	1/1	19.9	14.0	4.7	0.85	平基。片面加工。片面は指頭調整のみ。素材の滑みが残る種法つくり。透明黒曜石
0195	PJ-63	石鏝	黒曜石	3/4	21.0	-	3.4	(0.53)	凹基。両面加工。端部。片側欠損。縁辺が内湾する。透明黒曜石

PJ063号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0196	PJ-63 土 サンプル	石匙	黒曜石	3/4	17.6	-	5.4	0.97	凹基、両面加工、片削欠損。素材の厚みが残る。未成品か。縞のある半透明黒曜石
0197	PJ-63	石匙	黒曜石	1/1	20.3	13.2	2.7	0.40	凹基、両面加工。輪身で、いい感じ。透明黒曜石
0198	PJ-63	石匙	黒曜石	1/1	18.0	13.0	4.0	0.86	ミニチュア石匙。割片素材を両面加工し、つまみ部を作出。刃部は素材そのままで無調整。打面が縞が残る。縞のある半透明黒曜石
0199	PJ-63	石匙	石英岩	1/1	23.0	15.0	3.0	1.00	ミニチュア石匙。割片素材に挟り部を作出したのみ。刃部にあたる縁辺にノッチ状の微小小割。透明な石英岩
0200	PJ-63	石匙	黒曜石	1/1	27.0	14.0	4.5	1.41	ミニチュア石匙。割片素材を両面加工しつまみ部を作出。刃部にあたる縁辺に微小小割。縞のある黒曜石半透明黒曜石
0201	PJ-63 2	石匙	珪質頁岩	1/1	29.0	44.0	7.0	7.80	西壁凹い、床面出土。打面と片面に縞面が残る割片素材。打点側つまみ部を作出。片面から刃部調整。裏面刃部に微小小割。白縞のある青灰色珪質頁岩
0202	PJ-63	石匙	珪質頁岩	1/1	29.0	56.0	9.0	14.50	側面に縞面が残る割片素材。おおきなつまみ部。片面から刃部調整。裏面に微小小割。白縞のある青灰色珪質頁岩
0203	PJ-63	石匙	黒曜石	3/4	18.5	(13.7)	4.2	0.65	凹基、両面加工、片削欠損。縞の透明黒曜石
0204	PJ-63 10	石匙	珪質頁岩	3/4	29.0	63.0	5.0	11.30	側面に縞面が残る縦長割片素材。打点側つまみ部。側面に片刃の刃部。刃部に微小小割。白縞のある青灰色珪質頁岩
0205	PJ-63	石匙	珪質頁岩	3/4	33.0	50.0	8.0	11.90	横長割片素材。刃部は片刃で両端。つまみ部縁辺にも片刃の刃部の調整。白縞のある青灰色珪質頁岩
0206	PJ-63	割取のある 割片	下呂石	-	35.0	33.0	8.0	10.40	折り取った割片の一端に削器状の片刃調整。もう一端につぶれのある微小小割。微小な白色斑が残る灰色の下呂石
0207	PJ-63	両面	珪質頁岩	1/1	46.0	56.0	13.0	32.20	二面に縞面が残る板状割片の一端に削器状の片刃と微小小割。白縞のある青灰色珪質頁岩
4958	PJ-63	搔器	黒曜石	1/1	25.0	23.0	10.0	6.50	指持状搔器。刃部に微小小割。刃部裏面の縁辺にわずかな磨減あり。縞のある黒曜石半透明黒曜石
4959	PJ-63	石匙	黒曜石	1/1	21.0	28.0	7.0	3.00	ミニチュア石匙。断面三角形の縁のある割片素材を両面加工。縞の縞のある黒曜石半透明黒曜石
10255	PJ-63 12	磨石類	安山岩類	1/1	133.0	86.0	42.0	704	PT102 東側。埋土下層出土。構門形、やや凸凹な縞面を磨減と中央部にまたまらない磨打痕。平坦な面は磨減と中央部に長軸方向に並ぶ磨打集中の凹み。片側は楕圓石状。一部が破断。黒質。多孔質安山岩
10256	PJ-63 24	磨石類	安山岩類	1/1	97.0	87.0	44.0	499	西壁凹い。DK42 号土坑と重複するあたりの床面出土。構門形。両面とも縞面を磨減。片面には磨打集中の凹み2ヶ所。側面に磨打痕。片面が板状の凹みあり。
10257	PJ-63 5	磨石類	安山岩類	1/1	121.0	87.0	49.0	740	西壁寄りの埋土上層出土。床面から22cm深く。両面が磨減。磨打集中の凹み。側面1面が楕圓石状。別の側面1面にまたまらない磨打痕。多孔質安山岩
10258	PJ-63 9	磨石類	安山岩類	1/1	106.0	65.0	31.0	262	住居中央付近。埋土下層出土。床面から11cm深く。平坦な面に磨減痕。中央に磨打集中の凹み。凸凹の中央に長軸方向に並ぶ磨打集中の凹み。多孔質安山岩
10259	PJ-63 25	磨石類	花崗岩類	1/1	140.0	112.0	84.0	1,848	器面が千すれ痕のような弱い磨減。明確な使用痕は認められない。緻密な花崗岩
10261	PJ-63 1	磨石類	安山岩類	1/1	133.0	69.0	44.0	706	埋土上層。床面から22cm深くて出土。やや凹んだ長軸断面。両面とも磨減と磨打集中の凹み。側面にも磨減痕。長軸部の一面に磨打痕。
10262	PJ-63 27	ハンマー	砂岩類	1/1	117.0	57.0	34.0	311	PT102 北側。M22 号溝と重複する付近の床面から8cm深くて出土。器面がやや磨減。長軸部。突っ刺し磨打痕。広く平坦な面に並ぶ磨打痕がわずかにあり。細粒砂岩
10263	PJ-63	鏝	砂岩類	1/1	56.0	49.0	15.0	73	器門部。器面全体が千すれ痕のように磨減。線状痕。顕著な磨減痕は認められない。細粒。緻密な砂岩
10264	PJ-63	磨製石斧	蛇紋岩	3/4	78.0	42.0	19.0	105	断面長方形の定角式。刃部に研ぎによる刃部に平行する縞磨減。刃部と基部に床面磨減。現状に使用か。基部側面に鋭い縁状の磨打痕。ハンマーに転用か。黒色の蛇紋岩
10265	PJ-63 3	磨製石斧	蛇紋岩	3/4	(71.0)	46.0	22.0	111	西壁凹いの埋土上層出土。床面から30cm深くて出土。断面がやや構門形の定角式。刃部に割れ後の再生磨痕あり。基部側面に。縞反緑色で濃褐色の斑がある蛇紋岩
10266	PJ-63 15	台石	安山岩類	-	(164.0)	(174.0)	(97.0)	3,200	西壁凹い、床面から24cm深くて出土。凸面側へ磨減な磨減。平坦な面は弱い磨減。多孔質安山岩
10267	PJ-63 28	台石	安山岩類	1/2	(238.0)	(197.0)	88.0	4,200	住居中央からやや北より。床面から7cm深くて出土。石面のような凹面にも磨減な磨減。裏面は自然面凸凹がやや磨減。多孔質安山岩

PJ065号住居

位置：G-7グリッドに位置する。PJ66号住居とDK343号土坑に切られる。DK487号土坑と重複する。東側は水田造成のため削平され失われている。

規模：長軸4.2m程度の不整形形もしくは隅丸方形と思われる。竪穴は深さ50cmが残る。

埋土：埋土断面図の1層から5層はPJ66号住居埋土で、4層と6層が貼床である。PJ65号住居埋土は7層、8層、9層である。9層は壁際に堆積し、7層、8層は水平な層理を示したことから自然堆積した埋土と思われる。

床面：黄褐色砂質土の地山を平垣に掘り込み、床面としている。住居中央の地床がから西側と北側が踏みしまってやや硬化していた。

炉：住居中央がややくぼみ、被熱して焼土化した箇所を検出した。これはPJ65号住居の地床炉と考えられる。

周溝：検出されなかった。北壁から西壁にかけての床面で小ピットが検出された。

柱穴：柱穴にふさわしいピットがいくつも検出されている。

まずPJ65号住居遺構確認で検出されたPT1094、PT1095ピット、DK487号土坑の3基はPJ65号住居より新しく、かつ竪穴が削平されて失われた遺構の柱穴と想定される。PJ66号住居とした貼床に伴う可能性もある。

PJ65号住居の地床炉が住居の中心にあたる想定した場合、PT1144号ピットとPT1150号ピットの2基が柱穴にふさわしい位置にあたる。残る2基は東側の削平された箇所想定される。

PT1142、PT1143、PT1149、PT1151号ピットの4基も柱穴と思われる。PJ65号住居の建替えに伴う柱穴か、まったく別の重複した遺構かは分からない。

西壁沿いにPT1152、PT1153号ピットなど柱穴と思われるピットが検出されているが、本住居との関係は分からなかった。

出土遺物：埋土から土器破片と石器が散漫に出土した。

出土した土器の総量は17,859gで、神之木台70g、木鳥式30g、中越式10,886g、神ノ木式4,378g、関山式222g、清水ノ上Ⅱ式122g、有尾式173g、前期土器破片1,753g、中期土器破片225gである。

出土した石器は、石鏃6点、石匙1点、削器2点、石錐1点、先端研磨石器1点、磨石類5点、ハンマー2点、丸石1点、剥離のある剥片2点、礫1点である。このほか黒曜石などの剥片132点420gが出土した。

時期：947土器の年代観が本住居の使用時期に近いと思われることから、本住居を中越Ⅱ式期と考える。

PJ066号住居

位置：PJ065号住居埋土の上に黄褐色粘質土の貼床を検出した。これをPJ066号住居とした。

規模：竪穴が残らず不明。南北1.5m、東西1.7mの範囲で貼床が検出された。地床炉は検出されなかった。

出土遺物：貼床とその周辺から出土した土器および石器をPJ066号住居に帰属するものと判断した。

出土した土器の総量は3,705g、諸磯a式109g、諸磯b式897g、諸磯式2,657g、北白川下層Ⅱc式42gである。

出土した石器は、石鏃28点、石匙1点、石錐1点、三脚石器1点、両極石器3点、打製石斧1点、磨石類3点、石皿1点、磨製石斧1点、ハンマー3点、剥離のある剥片4点、黒曜石原石2点である。このほか黒曜石などの剥片323点765gが出土した。

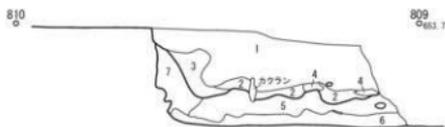
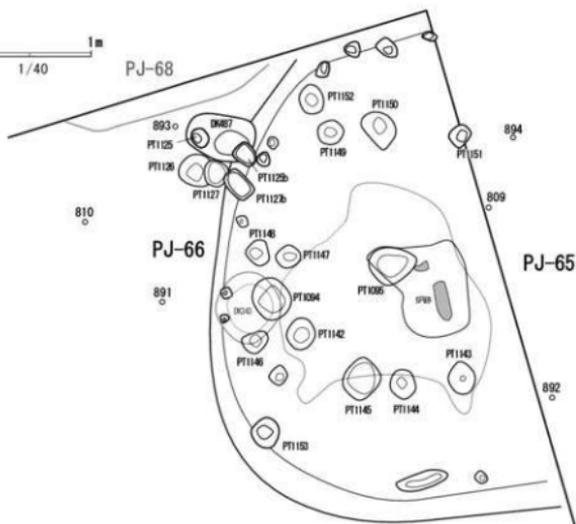
時期：貼床上で出土した土器は諸磯式が主体であったこと、定型化した打製石斧を伴うことから、本住居は諸磯式期に位置づけられると思われる。

PJ065号・PJ066号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
DK-487	65住 北西 に隣接	3*3	30	10R3/2(黒褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が15%、 10YR4/6(褐)が5%混じる。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居の遺構確認面で検出。中越式
PT-1094	65住内	2*2	30	10R3/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。 ややしまる。	PJ065号住居の遺構確認面で検出。中越式、木鳥、有尾式、PJ066号住居土器と同一器体
PT-1095	65住内	3*3(5)	35(5)	10R3/2(黒褐)に10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。 ややしまる。	PJ065号住居の遺構確認面で検出。中越式、木鳥式、神ノ木式
PT-1125	65住 北西 に隣接	6*6	45(40)	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1125b	65住 北西 壁際	2*0	50	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1126	65住 北西 に隣接	2*04	23	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1127	65住 北西 に隣接	0.03*0.07	16(25)	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1127b	65住 北西 壁際	2*0	50	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1142	65住内	2*20	20	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出。中越式
PT-1143	65住内	2*09	37	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出。
PT-1144	65住内	2*8	28	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居柱穴
PT-1145	65住内	2*06	5	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1146	65住内	0*09	12	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1147	65住内	0*04	18	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1148	65住内	0*03	16	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	
PT-1149	65住内	0*09	24	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出
PT-1150	65住内	2*05	32	10R3/2(黒褐)に10YR4/3(にぶい黄褐)が10%混じる。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居柱穴
PT-1151	65住内	0*09	20	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出。中越式
PT-1152	65住内	2*03	24	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出
PT-1153	65住内	2*01	30	10R3/2(黒褐)。シルト粒土。しまる。	PJ065号住居床面で検出



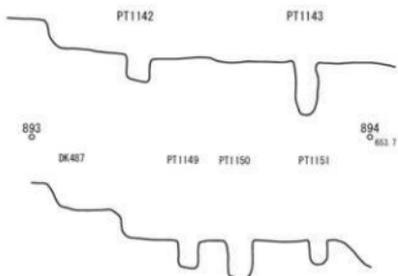
0 1m
1/40



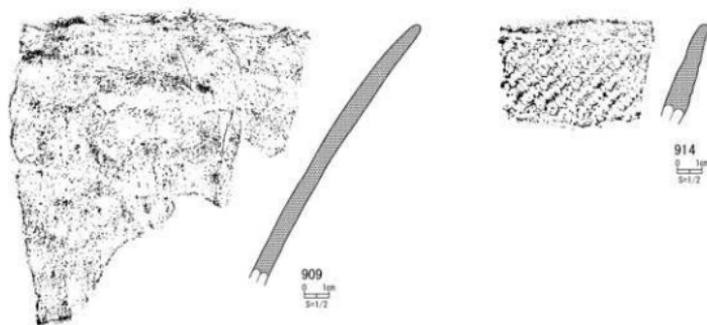
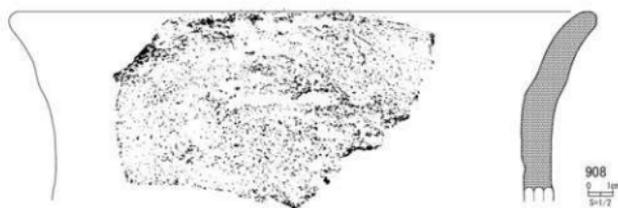
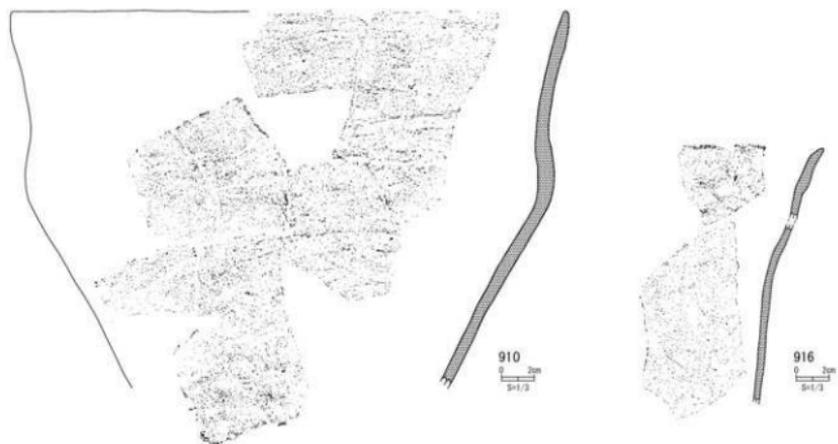
- 1層 10R3.4(3層)に10R4.4(3層)がD5, 10R2.2(3層)がD5, 10R4.3(2)が黄褐色がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5, 炭化物D5以下, 焼土D5以下, 混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。(P-466埋土)
- 2層 10R3.4(3層)に10R4.4(3層)がD5, 10R5.6(黄褐色)がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5混じるシルト粘土, 粘性ややあり, ややしまる。(P-466埋土)
- 3層 10R3.4(3層)に10R4.4(3層)がD5, 10R4.3(2)が黄褐色がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5, 焼土D5以下, 混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。
- 4層 10R5.6(黄褐色)がD5, 10R4.4(3層)がD5混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。(P-466埋土)
- 5層 10R3.4(3層)に10R4.3(2)が黄褐色がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5以下, 混じるシルト粘土, 粘性ややあり, ややしまる。(P-466埋土)
- 6層 10R3.4(3層)に10R2.2(3層)がD5, 10R4.6(3層)がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5以下, 混じるシルト粘土, 粘性ややあり, ややしまる。
- 7層 10R3.4(3層)に10R2.2(3層)がD5, 10R4.6(3層)がD5, φ2mmの花崗岩粒がD5以下, 混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。
- PJ-65床面 10R5.6(黄褐色)に10R3.4(3層)がD5混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。
- PJ-65壁 10R5.6(黄褐色)に10R4.6(3層)がD5, 10R3.4(3層)がD5混じるシルト粘土, 粘性ややあり, しまる。

891

892
653.7



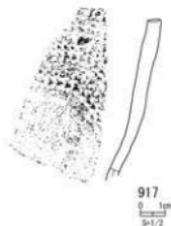
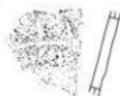
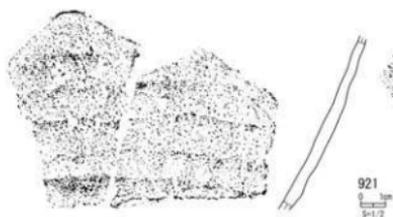
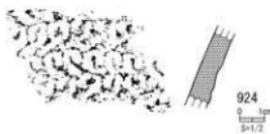
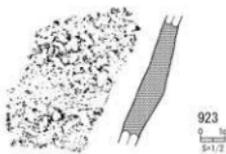
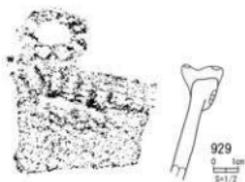
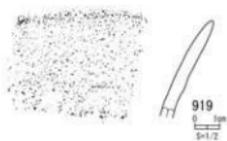
PJ065号・PJ066号住居

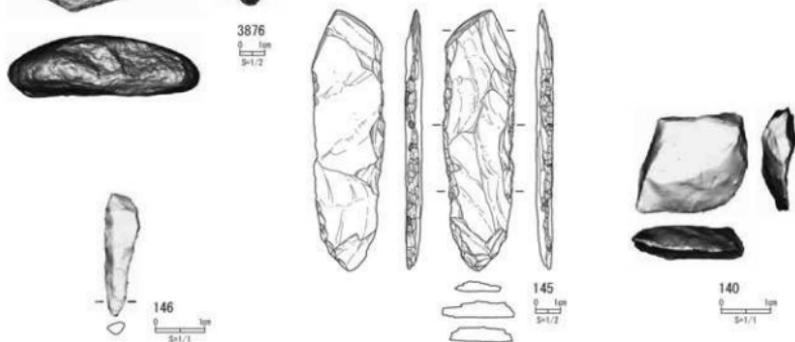
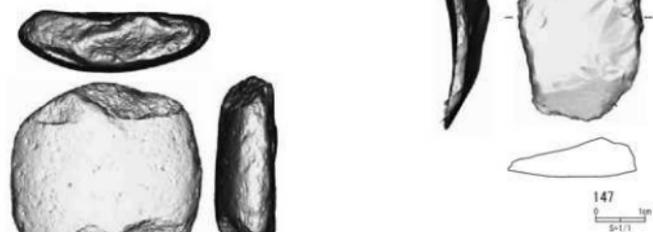
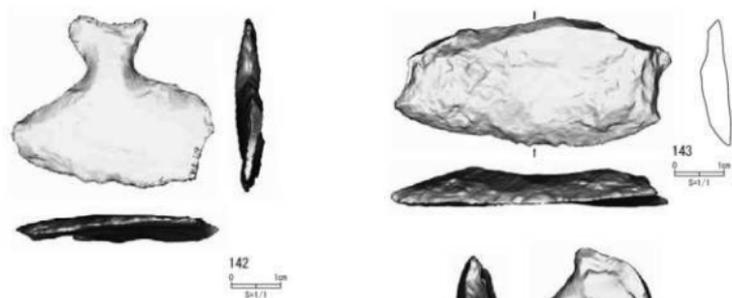
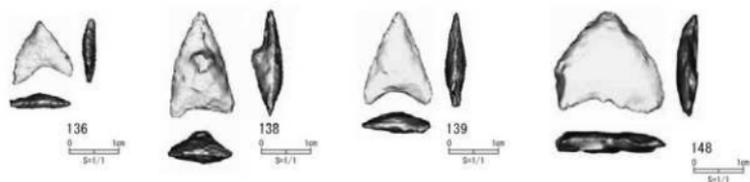


PJ065 号住居出土遺物

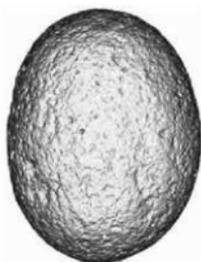


PJ065 号住居出土遺物

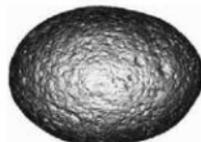




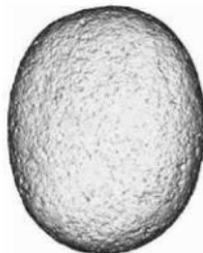
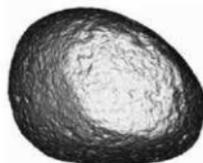
PJ065 号住居出土遺物



10246
0 1cm
3/4=1/2



10247
0 1cm
3/4=1/2



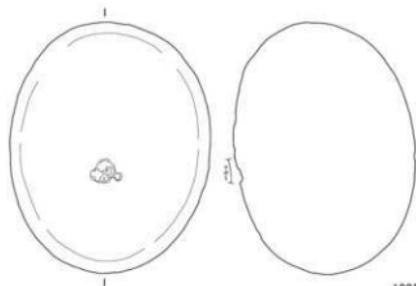
10249
0 1cm
3/4=1/2



10250
0 1cm
3/4=1/2



10251
0 1cm
3/4=1/2



10254
0 1cm
3/4=1/2

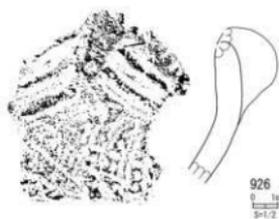
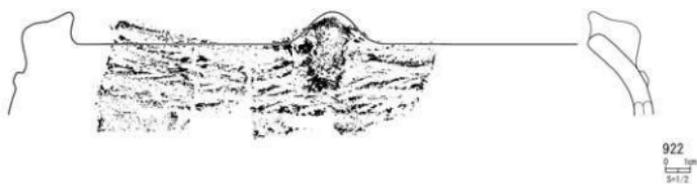
PJ065 号住居出土遺物

PJ065号住居 土器観察表

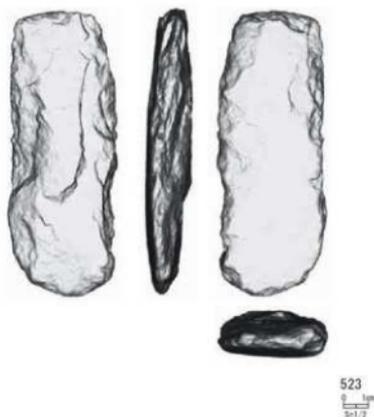
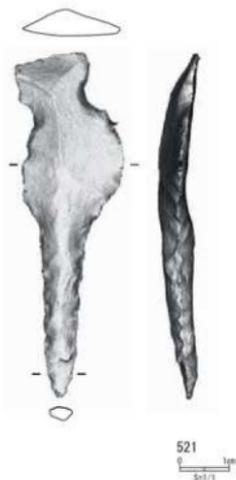
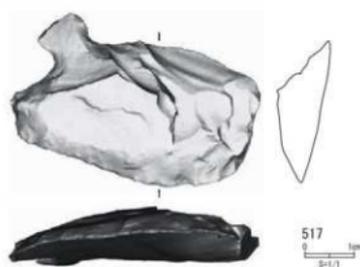
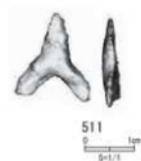
実測番号	注記	部位	口径/縦 (cm)	器高/横 (cm)	底径/厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
908	PJ-65 9	口縁部	(23.3)	-	-	109.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR5/6	住居中央、床面から8cm深いで出土。内外面とも成形時の凹凸、指頭圧痕が残る。破片の一部が強く被熱。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
909	PJ-65	口縁部 ～胴部	-	-	-	100.0	破片	5YR4.6 5YR4/4	内外面とも指頭圧痕が残る。外面タナナデ、内面ヨコナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
910	PJ-65、PJ-65 4、 PJ-65、6-6-23	口縁部 ～胴部	(29.8)	-	-	128.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR7/4	埴土層出土。胴部が張りだす器形。外面は上半がヨコナデ、下半がタナナデ。内面は成形痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
914	PJ-65	口縁部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	尖った口唇部。縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
916	PJ-65	口縁部	-	-	-	79.0	破片	7.5YR6/4 5YR5/6	尖った口唇部。内外面とも指頭圧痕が顕著に残る。外面は押成状のナデ。胎土に繊維を含まない。中絶式
917	PJ-65	口縁部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	角ばった口唇部に先端ささくれ状工具を刺突した跡あり。口縁部に竹管押しき文。内外面とも指頭圧痕が残る。器壁は4mm。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式併行か
918	PJ-65	胴部	-	-	-	46.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/6	蛇行する平行次線文。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
919	PJ-65	口縁部	-	-	-	17.0	破片	5YR6/4 7.5YR7/4	外面無文。内面に指頭圧痕。胎土に繊維を含む。中絶式
920	PJ-65	胴部	-	-	-	29.0	破片	5YR6/6 5YR5/6	櫛歯状工具による透点文と次線で菱形文を推出。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有蓋式
921	PJ-65	胴部	-	-	-	101.0	破片	5YR4.6 5YR4/4	外面にまばらな爪形文。外面に文様の効果を感じる縞に揃った指頭圧痕。内面は顕著な指頭圧痕。器壁は4mm～5mm。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式併行
923	PJ-65	胴部	-	-	-	29.0	破片	7.5YR4/2 5YR2/2	縞縞。内面はいていぬいなナデミガキ。胎土に繊維を多量に含む。開山式
924	PJ-66	胴部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR5/4 5YR6/8	末端縁付縄文。内面はいていぬいなミガキ調整。胎土に繊維を多量に含む。開山式
927	PJ-66 7	胴部	-	-	-	62.0	破片	5YR6/6 7.5YR5/4	外面は押成状のタナナデ調整。輪郭みの凹凸がやや残る。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。中絶式
928	PJ-66 8	胴部	-	-	-	103.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/4	内外面とも指頭圧痕が目立つヨコナデ。胎土に繊維を含む。中絶式
929	PJ-66	口縁部	-	-	-	27.0	破片	5YR6/6 7.5YR8/4	突起のある肥厚口縁。櫛歯状工具の刺突跡。縄文。内面は平清にナデミガキ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
930	PJ-66	口縁部	-	-	-	20.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	角ばった肥厚口縁。縄文。内面は平清にナデミガキ。胎土に繊維を少量含む。神ノ木式
947	PJ-65 13、PJ-65	口縁部 ～底部	22.6	24.0	丸底	924.0	3/4	5YR5/6 5YR5/6	PT143 直前。埴土層出土。口唇部に刻み。4単位の斜め帯帯が垂下。皿部くびれに爪形文列。外面は押成状のタナナデ調整。内面は指頭圧痕が残るヨコナデ調整。胎土に繊維を含まない。器壁は5mm。輪郭孔あり。外面に二次被熱によるばぜ。中絶Ⅱ式

PJ065 号住居 石器観察表

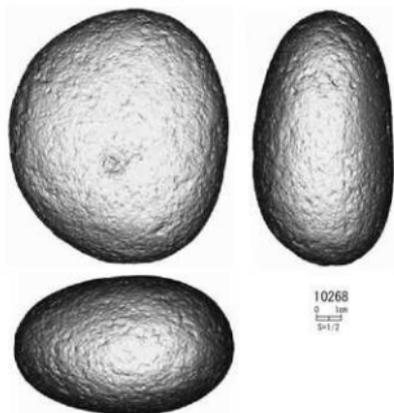
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0136	PJ-65	石鏃	黒曜石	1/1	13.3	13.0	3.4	0.26	小形、凹基、片面加工、片面は縁辺調整のみ。先端がすぼむ。墓溝状透明黒曜石
0137	PJ-65	石鏃	黒曜石	3/4	15.0	(11.6)	2.7	(0.26)	小形、凹基、長鋭、両面加工、片鋭欠損。墓溝状透明黒曜石
0138	PJ-65	石鏃	黒曜石	1/1	22.2	12.9	5.9	1.04	凹基、短鋭、両面加工。素材の厚みが僅かに残る。墓溝状半透明黒曜石
0139	PJ-65	石鏃	黒曜石	1/1	20.6	14.6	4.4	0.76	凹基、両面加工。両鋭先端欠損。ていねいなつくり。墓溝状半透明黒曜石
0140	PJ-65	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	21.0	23.0	5.0	3.20	裡面が欠ける板状剥片の薄い1辺に彫削状の刃部調整と微小剥離。墓溝状透明黒曜石
0141	PJ-65	石鏃	黒曜石	1/1	22.9	16.5	4.9	1.40	剥片素材の厚みのある打点側から調整痕跡。薄い縁辺は未調整。先端、基部が分からない段階。墓溝状半透明黒曜石
0142	PJ-65	石鏃	珪質頁岩	3/4	34.0	41.0	5.0	6.00	横長剥片素材。両状に調整したつまみ部。体部片縁折れ。刃部調整は片刃。微小剥離は刃部両面に生じる。白筋のある青灰色珪質頁岩
0143	PJ-65	削器	珪質頁岩	3/4	27.0	56.0	7.0	12.70	横長剥片素材の長辺に片刃の刃部調整。刃部裏面にわずかな光沢。白筋の青灰色珪質頁岩
0144	PJ-65	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	33.0	14.0	4.0	1.10	裡面がある不定形剥片の1辺に微小剥離。縁のある透明黒曜石
0145	PJ-65	先端研磨石器	粘板岩	1/1	107.0	30.0	7.0	29.70	粘板岩の薄い剥片素材。先端に研磨。先端は長軸に併行の研磨委曲。側面には厚み方向の研磨委曲。両側縁は刃状の調整と局所的な研磨。
0146	PJ-65 土 サンプル	石鏃	チャート	1/1	25.0	7.0	4.0	0.70	棒状の石鏃。先端折れ。裏面のある灰色チャート
0147	PJ-65	削器	珪質頁岩	1/1	27.0	43.0	8.0	10.30	内表面が残る剥片素材の1辺に片刃の刃部調整と微小剥離。縁縁縁の暗灰色珪質頁岩。掘入石材
0148	PJ-65	石鏃	黒曜石	3/4	21.3	22.8	5.4	1.92	凹基、両面加工。片鋭欠損。未成品か。縁のある墓溝状透明黒曜石
3876	DK-487	両縁石器	花崗岩	1/1	80.0	78.0	24.0	205.40	DK487号土坑出土。扁平円縁の両縁に剥離。
3877	DK-487	石核	石英岩	47.0	73.0	48.0	168.20	DK487号土坑出土。白色。半透明の石英岩	
4472	PT-1094	剥離のある剥片	珪質頁岩	1/2				1.54	PT1094号ピット出土。石鏃未製品か。白筋のある青灰色珪質頁岩
4473	PT-1095	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	22.0	17.6	5.7	2.09	PT1095号ピット出土。両縁打込で薄く削り取った剥片。裡面が残る。石鏃未製品か。片面は深い押延剥離。黒曜黒曜石
10246	PJ-65 5 または 14	磨石類	安山岩類	1/1	104.0	79.0	53.0	599	西壁凸い。床面から14cm浮いて出土。楕円形。片面に弱い磨耗。多孔質安山岩
10247	PJ-65 16	磨石類	安山岩類	1/1	118.0	80.0	65.0	748	地床伊の北側。床面から16cm浮いて出土。楕円形。側面1面が珪磨石。片側縁面は磨打による平坦面。多孔質安山岩
10248	PJ-65 2	磨石類	安山岩類	1/2	(74.0)	65.0	30.0	187	西壁凸い。床面から35cm浮いて出土。扁平楕円形。磨耗はみえず。両平坦面とも磨打集中による凸みが長軸方向に並ぶ。多孔質安山岩
10249	PJ-65 1	磨石類	安山岩類	1/1	101.0	80.0	35.0	374	床面から47cm浮いて出土。扁平楕円形。平坦な2面に弱い磨耗。多孔質安山岩
10250	PJ-65 12	磨石類	安山岩類	1/1	40.0	127.0	70.0	434	地床伊の南側。床面から12cm浮いて出土。楕円形。平坦面がやや磨耗。多孔質安山岩
10251	PJ-65 3	ハンマー	砂岩類	1/1	40.0	130.0	66.0	424	PT1148北側。床面から17cm浮いて出土。不整形楕円形。薄い縁辺に傷状の磨打痕。
10252	PJ-65	ハンマー	砂岩類	1/1	38.0	101.0	59.0	270	不整形楕円形。断面全体が平滑。縁辺に弱い磨打痕。
10253	PJ-65	槌	緑色岩類	1/1	55.0	42.0	18.0	42	扁平円縁。淡緑色で軽石のように多孔質
10254	PJ-65 15	丸石	安山岩類	1/1	207.0	162.0	150.0	5.900	地床伊の南側。床面から6cm浮いて出土。1ヶ所に磨打による凹み。多孔質安山岩



PJ066 号住居出土遺物



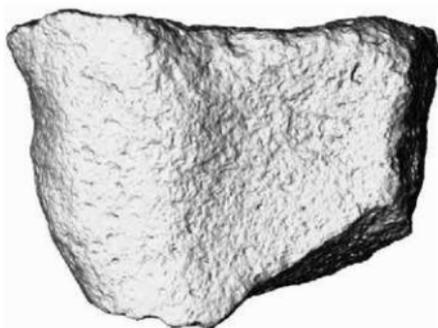
PJ066 号住居出土遺物



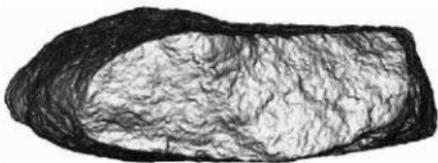
10268
0 1cm
1/2



10275
0 2cm
1/4

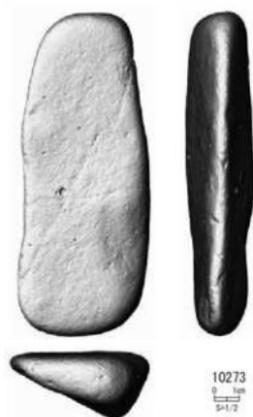


10274
0 1cm
1/2



10269
0 1cm
1/2

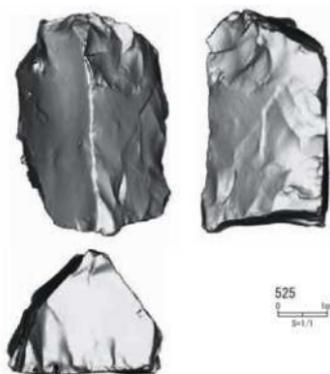
PJ066 号住居出土遺物



10273
0 1cm
1/2



524
0 1cm
1/2



525
0 1cm
1/1



518
0 1cm
1/1



522
0 1cm
1/2

PJ066 号住居出土遺物

PJ066号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径/厚さ (cm)	器高/径 (cm)	底径/厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
913	PJ-65	口縁部	-	-	-	36.0	破片	5YR4/6 5YR3/3	竹管引き。円形刺突文。弧状の平行沈線文。内面ミガキ調整。調整a式
922	PJ-66	口縁部 (20.7)	-	-	-	108.0	破片	7.5YR3/3 7.5YR3/3	獣面突起。結節浮線文。内面はヨコナデミガキ。調整b式中段階
926	PJ-66	口縁部	-	-	-	66.0	破片	7.5YR3/3 5YR4/4	滑化した獣面突起。細い粘土結。押圧刻み帯帯。縄文。波状刻みに刻み。内面ミガキ。調整b式中段階
931	PJ-66	口縁部	-	-	-	30.0	破片	7.5YR3/2 5YR4/4	平行沈線と円形刺突文。内面のみがき。調整a式
932	PJ-66	口縁部	-	-	-	76.0	破片	5YR5/6 10YR5/3	口縁部に穿孔列と細粘土結貼付。調整b式
933	PJ-65	胴部	-	-	-	65.0	破片	7.5YR3/2 5YR4/4	木の炭文。内面ミガキ。調整b式中段階

PJ066号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長さ (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0485	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	24.9	20.1	4.1	1.30	大形。凹基。両面加工。調整は粗く未成品。黒斑の墓溝状透明黒曜石
0486	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	18.3	-	3.6 (0.41)	0.41	凹基。両面加工。片脚欠損。ていねいなくくり。墓溝状透明黒曜石
0487	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	18.1	18.1	2.7	0.66	凹基。両面加工。ていねいなくくり。赤褐色既入りの黒曜石
0488	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	14.0	13.6	2.9	0.29	凹基。両面加工。黒斑入りの墓溝状透明黒曜石
0489	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	21.2	-	3.2 (0.48)	0.48	凹基。両面加工。片脚欠損。ていねいなくくり。透明黒曜石
0490	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.9 (0.20)	0.20	凹基。基部。片脚のみの破片。漆黒黒曜石
0491	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	17.6	-	2.8 (0.29)	0.29	凹基。細身。両脚先端欠損。緑灰色がかった黒曜石。神津島産?
0492	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	19.5	(14.9)	3.0 (0.53)	0.53	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。黒斑入りの透明黒曜石
0493	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	(13.5)	12.7	2.9 (0.27)	0.27	小形。凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
0494	PJ-66	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.9 (0.35)	0.35	凹基。両面加工。片脚のみの破片。黒斑入り黒曜石
0495	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	13.8	13.6	3.5	0.36	小形。凹基。両面加工。片脚先端欠損。墓溝状半透明黒曜石
0496	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.6	3.7 (0.68)	0.68	凹基。両面加工。先端欠損。黒斑入り墓溝状半透明黒曜石
0497	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	21.1	16.0	3.9	1.22	未成品。凹基。両面加工。片脚欠損。石鏃形状ができた段階。透明黒曜石
0498	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.5 (0.21)	0.21	小形。凹基。両面加工。片脚欠損。漆黒黒曜石
0499	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/2	9.7	11.1	1.9 (0.16)	0.16	小形。凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
0500	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	13.0	11.8	2.7	0.30	小形。凹基。片面加工。片面は縁辺調整のみ。墓溝状半透明黒曜石
0501	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.0 (0.29)	0.29	凹基。両面加工。先端。片脚欠損。黒斑のある墓溝状半透明黒曜石
0502	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/2	-	(11.5)	3.4 (0.35)	0.35	凹基。両面加工。先端欠損。基部快りは強い。墓溝状半透明黒曜石
0503	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.6 (0.88)	0.88	未成品。凹基。両面加工。先端。両脚先端欠損。黒斑入りの墓溝状半透明黒曜石
0504	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	21.8	11.7	5.0	0.95	凹基。両面加工。細身。短く突起状の脚部。透明黒曜石
0505	PJ-66	石鏃	チャート	3/4	-	11.6	3.2 (0.28)	0.28	小形。凹基。両面加工。先端欠損。緑色と赤褐色層のチャート
0506	PJ-66	石鏃	珪質頁岩	3/4	-	-	4.1 (0.77)	0.77	凹基。両面加工。先端。片脚。片脚先端欠損。白筋のある青灰色珪質頁岩
0507	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	20.2	13.0	3.6	0.93	凹基。両面加工。片脚欠損。先端は丸味を帯び、再生の調整あり。墓溝状半透明黒曜石
0508	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/2	-	17.4	3.3 (0.69)	0.69	凹基。両面加工。先端が大きく欠損。既入りの墓溝状半透明黒曜石
0509	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	25.5	16.4	6.0	2.12	未成品。凹基。器面が残る断面三角形の割片素材を縁辺から調整。石鏃の原型が分かる段階。基部側の調整が密だが素材の厚みが残る。黒斑入り透明黒曜石
0510	PJ-66	石鏃	黒曜石	3/4	26.6	-	3.8 (1.13)	1.13	大形。凹基。両面加工。片脚欠損。先端は丸味を帯びる。ていねいなくくり。赤褐色既入り黒曜石
0511	PJ-66	三脚石器	黒曜石	1/1	16.0	14.0	3.0	0.40	細い柱状。側縁につぶれた調整痕? 漆黒黒曜石

PJ066 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
0512	PJ-66	両楯石器	黒曜石	1/1	25.0	15.0	11.0	3.10	縁面が残る薄片の両端に衝撃割痕。縁のある黒透状半透明黒曜石
0513	PJ-66	両楯石器	黒曜石	1/1	22.0	13.0	8.0	1.80	薄い剥片の両端に衝撃割痕。黒透状半透明黒曜石
0514	PJ-66	両楯石器	黒曜石	1/1	18.0	7.0	4.0	0.60	ズリ面が残る小さな短冊状剥片の両端に衝撃割痕。透黒黒曜石
0515	PJ-66	石鏃	黒曜石	1/1	25.3	24.3	7.1	3.60	未成品。縁面が残る剥片素材。打点削を基部にすえる。両面調整。三角形状ができた段階だが打点削の素材の厚みが残る。黒縁のある半透明黒曜石
0516	PJ-66	剥離のある剥片	黒曜石					1.00	小さな短冊状剥片の2辺に調整割痕。透明黒曜石
0517	PJ-66	石匙	珪質頁岩	1/1	34.0	51.0	10.0	15.40	土面と側面に縁面が残る剥片素材。打点削を側縁に置く。片刃。刃部に微小剥離。遺相結のある灰色珪質頁岩。搬入石材か
0518	PJ-66	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	25.0	25.0	9.0	5.90	板状剥片の1辺に刃部調整と微小剥離。透黒黒曜石
0519	PJ-66	石鏃	黒曜石	-	17.3	13.6	2.4	0.40	未成品。薄い剥片の縁辺のみを調整。基部割が欠大きく欠損。透明黒曜石
0520	PJ-66	剥離のある剥片	黒曜石	1/1				2.90	縁面がある素材を西方から調整。石鏃跡のような狭り部あり。黒透状透明黒曜石
0521	PJ-66	石鏃	チャート	1/1	23.0	70.0	6.0	6.70	つまみ部があり。先端部が長い石鏃。石匙を再加工したか。先端に使用痕なし。赤色チャート
0522	PJ-66	剥離のある剥片	黒曜石	1/1	77.0	50.0	17.0	55.60	縁面が残る剥片の1辺に微小剥離。器面全体がやや黒化。縦長の剥離1面のみ新しい。赤褐色地入り黒曜石
0523	PJ-66 4	打製石斧	砂岩	1/1	115.0	44.0	18.0	124.00	PJ66 号住居床面から 12 cm 浮いて出土。円縁面が残る短冊形。刃部先端から側縁にかけてリ字状に磨減。細粒砂岩
0524	PJ-66	原石	黒曜石					43.20	河川紀石状の縁面。白色地類
0525	PJ-66	原石	黒曜石					41.10	河川紀石状の角縁面。
10268	PJ-66 3	磨石類	安山岩類	1/1	104.0	89.0	57.0	640	PJ66 号住居床面で出土。楕円形。平坦面に磨耗。片面に円錐形の敲打痕。やや多孔質の安山岩
10269	PJ-66 2	磨製石斧	粒紋岩	3/4	(92.0)	49.0	20.0	124	PJ66 号住居床面から 6 cm 浮いて出土。刃部剥離。再生の調整と研磨あり。青緑色入りの黄灰色の粒紋岩
10270	PJ-66	磨石類	安山岩類	-	0.0	0.0	0.0	39	棒状円縁。平坦面に磨耗。縁面に敲打痕。多孔質安山岩
10271	PJ-66	ハンマー	砂岩類	-	0.0	0.0	0.0	94	棒状円縁。端面に敲打による平坦面。細粒砂岩
10272	PJ-66 5	ハンマー	砂岩類	1/1	130.0	56.0	28.0	314	板状五角縁。器面全体が平滑。平坦面に敲打による凹み。花崗岩質。やや軟質な砂岩
10273	PJ-66 1	ハンマー	砂岩類	1/1	53.0	131.0	25.0	245	PJ66 床面から 7 cm 浮いて出土。断面三角形の板状五角縁。器面全体が平滑。もっとも薄い破縁に輪状の凹み。細粒砂岩
10274	PJ-66 9	石皿	安山岩類	1/1	(129.0)	(153.0)	63.0	1.765	PJ66 号住居床面から 8 cm 浮いて出土。器部中心に顕著な磨耗。石器自体の成形痕とは違う二次的な敲打痕。石器剥離面は摩滅し。破壊もしくは破壊痕にも使用したと思われる。多孔質安山岩
10275	PJ-66 10	磨石類	安山岩類	1/1	81.0	173.0	104.0	2.249	PJ66 号住居床面から 25 cm 浮いて出土。楕圓形。平坦な1面に平滑に磨耗。2辺の縁が粒紋石。他の平坦な2面と端面も磨耗。剥離面も磨滅し。破壊もしくは破壊痕にも使用。緻密な安山岩

PJ069 号住居

位置：L-5 グリッドに位置する。遺構の北半分は調査区外である。DK528 号土坑と重複し、新旧関係は不明である。

規模：東西長 5.2m で、北側が未調査だが不整形形と思われる。竪穴は深さ 20 cm が残る。

埋土：暗褐色土が堆積していた。埋土が薄いため土層断面図は省略した。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。地山には風化した花崗岩塊が多数露出していた。

炉：調査区内で検出されなかった。

周溝：検出されなかった。

柱穴：7 基のビットを検出した。PT1155、PT1156、PT1157、PT1160、PT1161 は深さが 30 cm から 34 cm で揃っていて、これらが柱穴と思われる。

出土遺物：20 cm 程度しか残っていない埋土中で土器破片と石器が出土した。

出土した土器の総量は 7,414g で、内訳は神之木台式 17g、木島式 56g、中越式 288g、神ノ木式 110g、有尾式 15g、諸磯式 6,643g、北白川下層 II c 式 8g、前期土器破片 250g などである。

出土した石器の内訳は石鏃 4 点、石錐 2 点、石匙 1 点、磨石類 3 点、石皿 1 点、石皿破片（同一個体）1 点、剥離のある剥片 4 点、黒曜石原石 3 点、黒曜石石核 1 点、黒曜石を主とする剥片・砕片 79 点 298g である。

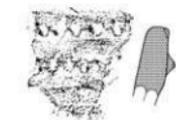
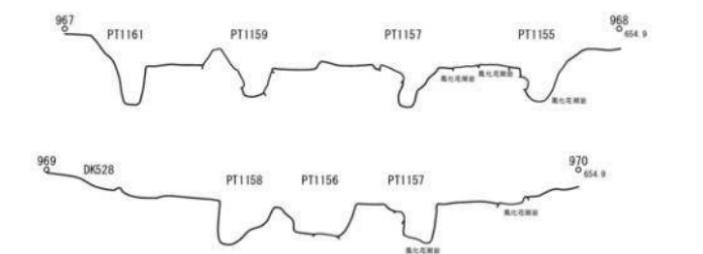
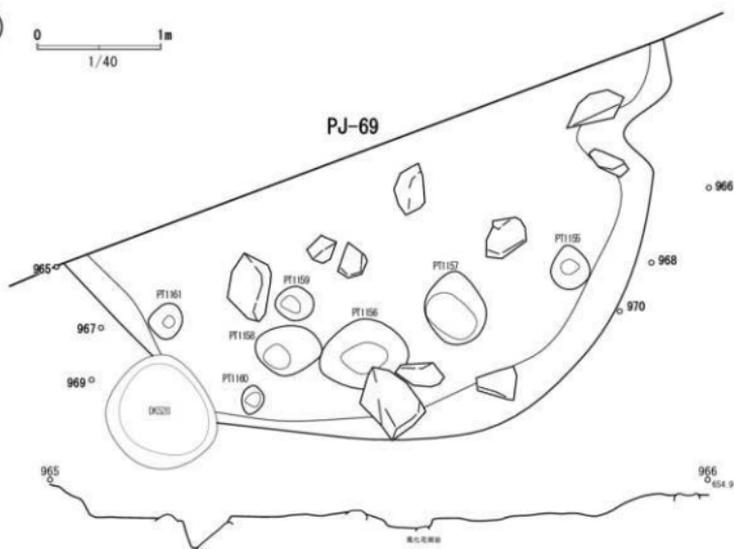
時期：埋土下層で出土した土器 2521 から本住居は諸磯 a 式新段階には廃絶し、埋土の堆積が始まっていたと判断される。

PJ069 号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考（遺物など）
PT-1155	69 住内	30	30	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	
PT-1156	69 住内	61	30	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	細粒炭灰文土器、中越式、神ノ木式、諸磯 a 式
PT-1157	69 住内	50	30	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	木島式
PT-1158	69 住内	50	30	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	有尾式、諸磯式
PT-1159	69 住内	30	23	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	
PT-1160	69 住内	20	12	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	
PT-1161	69 住内	15	34	10YR2/2(黒褐)に 10YR4/3(にぶい黄褐)が 5% 混じる。シルト粒土。しまる。	



0 1m
1/40



2517
0 1cm
1/2

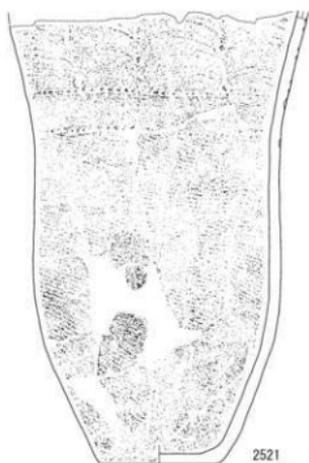


2518
0 1cm
1/2

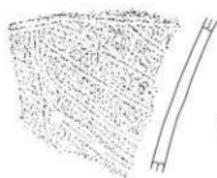


2516
0 1cm
1/2

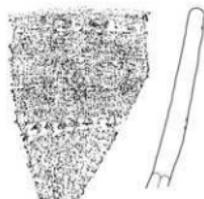
PJ069号住居・出土遺物



2521
0 2cm
S=1/4



3102
0 2cm
S=1/2



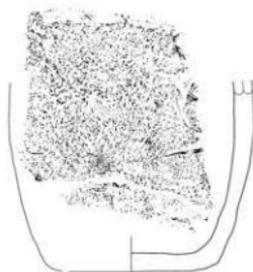
2522
0 2cm
S=1/2



2523
0 2cm
S=1/4

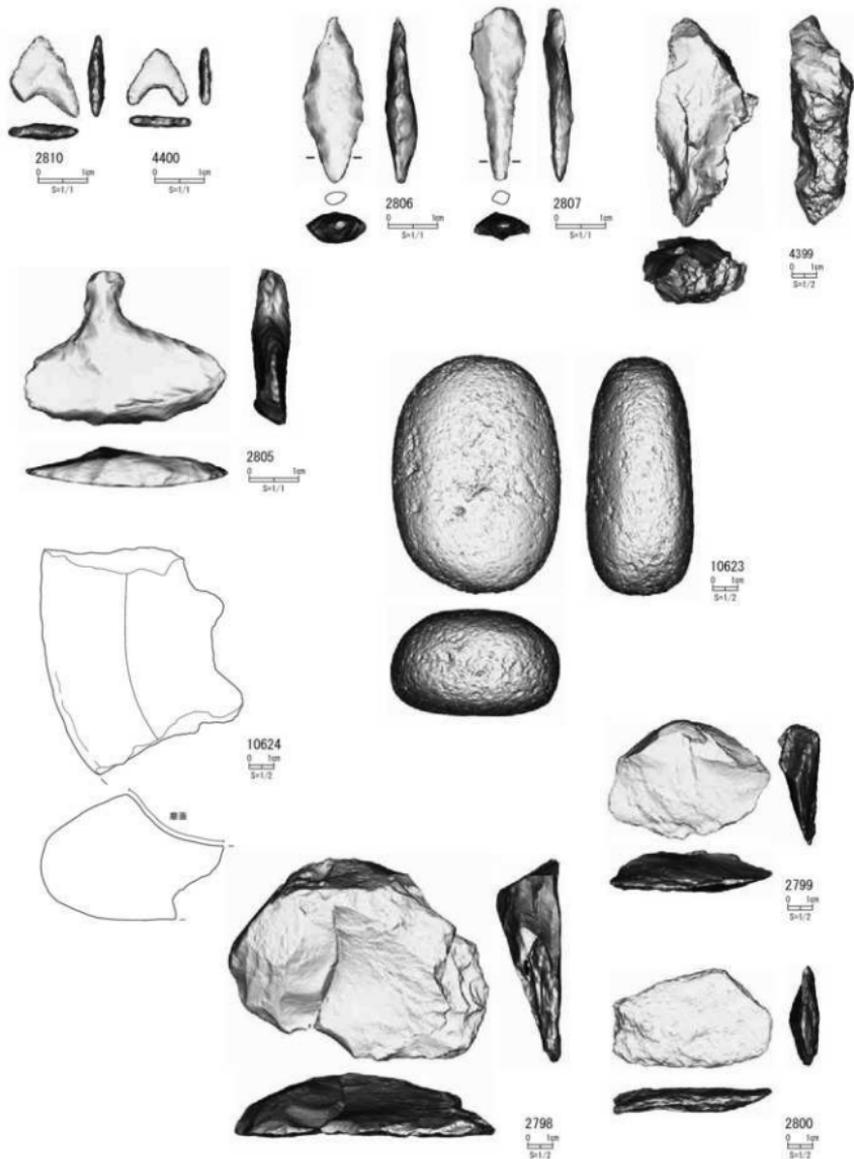


2519
0 2cm
S=1/2



2520
0 2cm
S=1/2

PJ069 号住居出土遺物



PJ069 号住居出土遺物

PJ069号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2516	PJ-69	口縁部				11.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	やや肥厚した口縁部の下端につまみ状刻み。内面指間瓦直が残るナデ調整。器壁は口縁部が5mm、胴部は3.5mmと薄手。胎土に繊維を含まない。木舟式
2517	PJ-69	口縁部				17.0	破片	2.5YR4/6 2.5YR4/6	波状口縁。角ばった口縁部の外面側角に半截竹割刻み。口唇に平行する刻み発着。内外面ナデ調整。器壁は0.5mm程度。胎土に繊維を含まない。神之本台式
2518	PJ-69	口縁部				85.0	破片	5YR4/4 7.5YR4/3	口縁部に磨崖状工具による条線と刻突。波状文。円形刻突文。内面はていねいなミガキ調整。胎土に繊維を含まない。諸磯a式
2519	PJ-69 6	口縁部				144.0	破片	7.5YR5/6 7.5YR4/4	外面に輪飾み痕が残る。内面はナデ。風化。胎土に繊維を含まない。
2520	PJ-69 7, PJ-69, DK-509, PT-1155	胴部～ 底部		(8.8)		254.0	破片	5YR4/4 5YR4/6	外面やや風化。内面輪飾み痕が残るミガキ。胎土に繊維を含まない。
2521	PJ-69 13, PJ-69	胴部～ 底部		9.6		2,664.0	2/3	2.5YR4/6 2.5YR3/4	竹管の肋骨文。円形刻突。押引き。縄文。内面やや雑なミガキ。胎土に繊維を含まない。諸磯a式新段階
2522	PT-1156, PJ-69 10	口縁部				149.0	破片	5YR3/4 2.5YR4/6	PT1156出土。外面竹管刻突と縄文。内外面ともミガキ。胎土に繊維を含まない。諸磯式
2523	PJ-69 5	口縁部	(51.0)			712.0	破片	7.5YR3/1 5YR3/2	竹管押引き。木の意文。縄文。内外面ミガキ。胎土に繊維を含まない。諸磯a式か諸磯b式新段階
3102	PJ-69	口縁部				36.0	破片	5YR4/6 7.5YR4/3	縄文地文の肋骨文。内面ミガキ。胎土に繊維を含まない。諸磯a式新段階

PJ069号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2798	PJ-69 15	刺刺のある 剥片	MA7:AA	1/1	80.0	107.0	23.0	202.50	破面が残る剥片の薄い縁辺に片面から調整痕跡。風化し使用痕不明
2799	PJ-69	刺刺のある 剥片	MA7:AA	1/1	49.0	67.0	17.0	46.40	剥片の薄い縁辺に微小調整痕。風化し使用痕不明
2800	PJ-69	刺刺のある 剥片	砂岩	3/4	41.0	65.0	10.0	28.60	破面が残る剥片の薄い縁辺に両面から調整痕跡。やや粗粒な砂岩。使用痕不明
2801	PJ-69 1	原石	黒曜石					30.80	破面と風化剥離面で囲まれた原石。
2802	PJ-69 2	原石	黒曜石					27.00	白色の夾雑物が層状に入る漆黒黒曜石ズリ
2803	PJ-69	原石	黒曜石					13.50	角縁ズリ
2804	PJ-69	刺刺のある 剥片	黒曜石	3/4	23.6	17.2	5.5	2.10	三角形の剥片の3辺に調整痕跡。石割もしくは石割未成品か。ブルーブラック黒曜石
2805	PJ-69	石匙	頁岩	1/1	32.0	41.0	8.0	7.90	刃部は片面調整で縁部状の急傾斜。つまみ部と左右の側縁は両面調整。黄色く風化した頁岩で使用痕不明
2806	PJ-69	石鏃	珪質頁岩	1/1	33.0	13.0	6.0	2.10	小さな石鏃形の石鏃。縁部に準柱と回転線条痕。白色のある黄灰色珪質頁岩
2807	PJ-69	石鏃	黒曜石	1/1	35.0	11.0	4.0	1.30	つまみ部に破面が残る。漆黒黒曜石
2808	PJ-69	石鏃	黒曜石	3/4	23.3	-	4.5	(1.46)	未成品。三角形状ができた段階。側部側欠損。白色夾雑物が層状に入る漆黒黒曜石
2809	PJ-69	破片	黒曜石					0.50	白色夾雑物が層状に入る漆黒黒曜石の破片
2810	PJ-69	石鏃	黒曜石	3/4	17.2	-	3.1	(0.47)	凹基、やや長脚、両面加工。片部欠損。漆黒黒曜石
4398	PT-1156	石鏃	黒曜石	3/4	15.4	-	2.8	(0.38)	PT1156出土。凹基、縁辺加工。片面欠損。白色のある漆黒黒曜石
4399	PT-1157	石鏃	黒曜石					65.40	PT1157出土。角縁ズリ面が残る。白色夾雑物が層状に入る漆黒黒曜石
4400	PT-1161	石鏃	黒曜石	1/1	11.9	12.2	1.9	0.18	PT1161出土。凹基、やや長脚、両面加工。先端に微細なつづれ。白色のある漆黒黒曜石
10623	PJ-69 16	磨石類	安山岩類	1/1	9.8	6.9	4.4	448	楕円形。やや凸形の1面が磨削に準柱。両面に射打集中の凹み。
10624	PJ-69 12	石皿	安山岩類	破片	(15.0)	(18.8)	(10.3)	3,300	皿部は平滑に磨削。裏面は平坦。被削し黒く変色。多孔質安山岩
10625	PJ-69 8	磨石類	砂岩	破片				96	円形。縁部に射打による平坦面。細粒砂岩
10626	PJ-69 3	磨石類	砂岩	破片				157	やや扁平な円形。平坦な1面が磨削。
10627	PJ-69 14	石皿	安山岩類	破片				279	石皿 10624の裏面破片と思われる

PJ070 号住居

位 置 : K-4 グリッドから K-5 グリッドに位置する。PJ070 号住居が PJ070B 号住居、PJ072 号住居、PJ078 号住居を切る。SY002 号集石土坑、DK475 号土坑、DK480 号土坑、DK531 号土坑、DK532 号土坑、DK533 号土坑に切られる。

規 模 : ほぼ正方形のプランで一辺が 4.6m から 4.7m、堅穴は深さ 35 cm が残る。

埋 土 : 暗褐色を基調とする埋土がレンズ状に堆積する。セクションベルトから土壌を採取し水洗選別したところ、オニグルミ炭化核破片、クリ炭化果実破片、クリ炭化子葉破片が少量回収された。回収された炭化材を樹種同定したところコナラ節、シオジ節、クリ、オニグルミ、カバノキ属、クワ属、カエデ属、サクラ属が同定された。

床 面 : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面とする。各所に地山の風化した花崗岩が露出している。PJ070B 号住居埋土上に設けられた床面は暗褐色でやや硬く踏みまわっていたが、貼床は施されていない。

炉 : 検出されなかった。

周 溝 : 壁面に沿って小溝を検出した。北壁と東壁では小溝が二重にめぐる。

柱 穴 : ビットの位置、形状、深さから柱穴の組み合わせを想定した。第一の組み合わせは、PT1167、PT1166、PT1165、PT1164 号ビットの 4 基で、ビットの深さは 33 cm から 37 cm で類似する。第二の組み合わせは PT1171、PT1170、PT1174 号ビットの 3 基で、深さが 15 cm から 38 cm とばらつく。本来はもう 1 基のビットが住居南東角にあるはずだが地山の風化花崗岩の露出する位置にあたるためビットを掘り込んでなかった可能性がある。

出土遺物 : 土器および石器は埋土から出土した。本住居を切る諸磯式期の土坑、集石土坑から混入したと思われる諸磯 b 式土器も出土した。

出土した土器の総量は 18943g で、前期初頭土器 24g、神之木台式 80g、木島式 264g、関山式 172g、中越式 6428g、神ノ木式 3,691g、堂之上 Z 式 19g、有尾式 4,896g、釈迦堂 Z3 式 123g、諸磯式 1270g、諸磯 b 式 108g、北白川下層 II 式 23g、前期土器破片 1796g である。

出土した石器の内訳は、石鏃 35 点、削器 3 点、石匙 1 点、石錐 3 点、打製石斧 1 点、磨石類 2 点、台石 1 点、礫器 1 点、球状耳飾 1 点、剥離のある剥片 2 点、ハンマー 2 点、黒曜石原石 5 点、黒曜石などの剥片 650 点 1324g である。

時 期 : 時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかったが大形破片は神ノ木式と有尾式が多い。土器 2618、土器 2643 の出土状況から有尾式期に廃絶し、埋没しつつあった住居と考えられる。

PJ070B 号住居

位 置 : PJ070 号住居を床面まで発掘したところ検出した。PJ070 号住居にすっぽりと収まる小形の住居である。

規 模 : 小判形の小形住居で、長軸長 3.5m、短軸長 2.8m、堅穴の深さは 20 cm が残る。本来の深さは PJ070 号住居の深さを加えて 55 cm 以上であったと思われる。

埋 土 : 暗褐色土の埋土が堆積していた。

床 面 : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。大小の風化花崗岩が露出する。小さな花崗岩は床面に合わせて平坦に削られ、大きな地山礫は壁、床から突出していた。

炉 : 検出されなかった。

周 溝 : 検出されなかった。

柱 穴 : PT1172、PT1175 号ビットの 2 基が柱穴と思われる。深さは 20 cm、28 cm であった。

出土遺物 : 出土した土器、石器は少数で、埋土から出土した。南東壁沿いで台石と思われる扁平礫が、北西壁沿いで黒曜石剥片がまとまって出土した。

出土した土器の総量は1690gで、早期末葉41g、木島式122g、中越式844g、神ノ木式356g、有尾式93g、前期土器破片234gなどである。

出土した石器の内訳は、石鏃6点、磨石類1点、台石1点、ハンマー1点、剥離のある剥片2点、黒曜石など剥片115点267gである。

時期：住居の時期を示す土器の出土状況は認められなかった。中越式期に廃絶し、有尾式期のPJ070号住居に切られた住居であろう。

PJ72号住居

位置：K-5グリッドに位置し、PJ070号住居に切られ、PJ078号住居と重複する。PJ078号住居との新旧関係は不明である。

規模：長軸5.7mの隅丸方形ないし楕円形のプランで竪穴は深さ25cmが残る。

埋土：暗褐色土の埋土が水平に堆積していた。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。地山には風化した花崗岩が露出していた。床面を精査したところ長軸3.1mの小判形の浅い掘り込みを検出した。これをPJ072B号住居とした。PJ072号住居に先行する古い遺構で、規模、形状がPJ070B号住居に類似する。

炉：PT1178号ピット西側の床面が被熱し焼土化していた。焼土化の程度は弱い。これが地床炉と思われる。PJ072B号住居の炉は検出されなかった。

溝：北壁から南壁にかけて小溝を検出した。PJ072B号住居でも北壁沿いで断片的な小溝を検出した。さらにPJ72B号住居北壁沿いで断片的な小溝を検出した。

柱穴：柱穴の位置、形状、深さから柱穴の組み合わせを想定した。PJ072号住居の組み合わせはPT1173、PT1176、PT1188、PT1189号ピットの4基で、深さは30cmから42cmである。第二の組み合わせはPT1186、PT1187、PT1179号ピットの3基で、本来、南西角にもう1基のピットがあったと思われるがPJ070号住居に切られて失われたらしい。PJ070号住居壁際の小ピットがそれに当たるかもしれない。PJ072号住居は建替えが想定される。

PJ072B号住居の柱穴は、PT1178、PT1181、PT1184、PT1185号ピットの4基、PT1180、PT1182、PT1183、PT1205号ピットの4基を想定した。深さにばらつきがある。

出土遺物：竪穴が浅いため出土した土器はいずれも埋土下層もしくは床面の出土遺物である。

出土した土器の総量は2479gで、早期土器27g、木島式199g、中越式942g、神ノ木式164g、有尾式206g、釈迦堂Z3式240g、諸磯式251g、前期土器破片450gなどである。

出土した石器の内訳は、石鏃8点、削器1点、磨石類2点、台石1点、黒曜石原石1点、黒曜石など剥片127点425gである。

時期：遺構の時期を示す土器の出土状況は認められなかった。小形円形住居と大きな隅丸方形住居の重複は、PJ70号住居とPJ70B号住居の関係に類似し、出土土器の型式組成も共通することから、PJ72号住居は有尾式期、PJ72B号住居は神ノ木式を伴う中越式期に想定されると思われる。

PJ078号住居

位置：K-4グリッドに位置する。PJ070号住居とPJ072号住居に重複し、ほとんど残存していない。PJ070号住居に切られる。PJ072号住居との新旧関係は確認できなかった。

規模：残存した範囲から推定すると直径4m程度の円形プランと思われる。竪穴は25cmが残る。

埋土：暗褐色土が堆積していた。

床 面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。

炉：検出されなかった。

周 溝：北壁沿いで小溝を検出した。

柱 穴：PT1173、PT1168、PT1176、PT1177号ピットの4基を想定した。PT1177は7cmと浅いがPJ070号住居、PJ070B号住居と重複するため、本来なら柱穴として十分な深さであったと思われる。

出土遺物：出土遺物はごく少数で、出土した土器は中越式土器破片4gのみである。

出土した石器の内訳は、磨石類1点、石皿破片1点、剥離のある剥片1点、珪質頁岩の石核1点、鉄石英原石1点、黒曜石など剥片17点51gである。

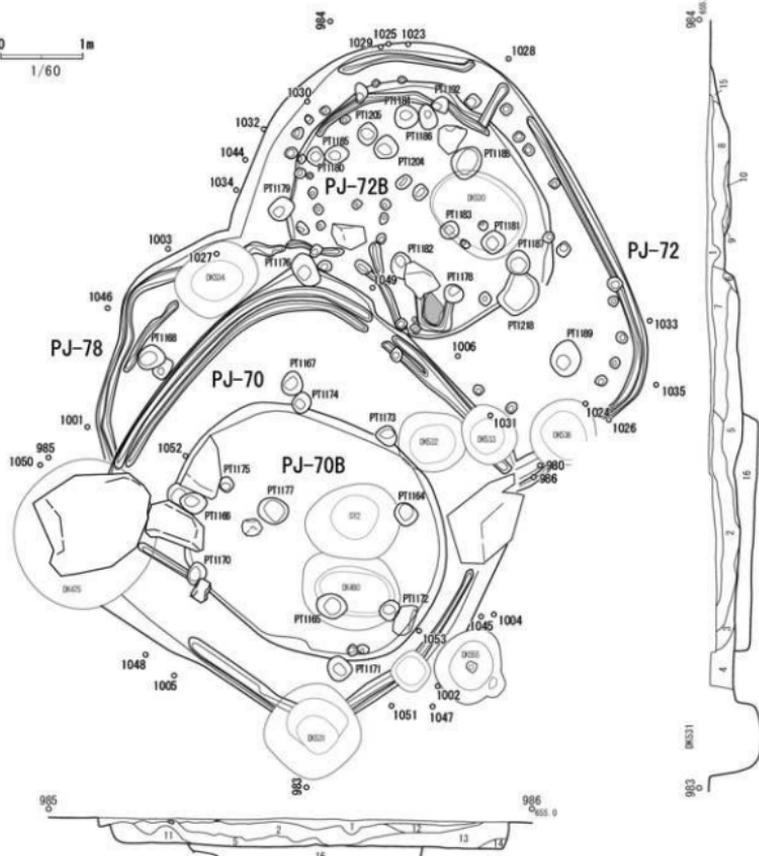
時 期：出土土器が少なく不明であるが、遺構の形状、柱穴配置はPJ070号住居に類似することから有尾式期の住居と推測される。

PJ070号・PJ072号・PJ078号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1164	708住内	24	36	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070新柱穴
PT-1165	708住内	26	36	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070新柱穴、中越式。神ノ木式
PT-1166	708住内	24	33	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070新柱穴
PT-1167	70住内	25	37	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070新柱穴
PT-1168	70住内	33×28	46	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混、10YR/6(褐)が混入する。シルト粒土。ややしまる。	PJ070柱穴、中越式
PT-1170	708住内	20	38	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070旧柱穴
PT-1171	708住 南壁	26	15	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070旧柱穴
PT-1172	708住内	16	28	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070B柱穴
PT-1173	708住 北東壁	22	30	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴・PJ078柱穴
PT-1174	708住 北壁	20×20	23	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070旧柱穴
PT-1175	708住内	16×14	20	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ070B柱穴
PT-1176	708住内	30×30	42	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴・PJ078柱穴
PT-1177	708住内	31	7	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1178	728住内	21	37	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1179	728住 西壁	25	40	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴
PT-1180	728住内	18	20	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1181	728住内	24	27	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1182	728住内	20	15	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1183	728住内	20	25	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1184	728住内	26	30	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴
PT-1185	728住内	20	32	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴、中越式
PT-1186	728住内	24	37	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴
PT-1187	728住内	25	17	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴
PT-1188	728住内	36	32	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴
PT-1189	72住内	36	38	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ072柱穴
PT-1192	728住 北壁	21	35	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-1204	728住内	26	12	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	
PT-1205	728住内	21	12	10YR/4(暗褐)に10R2/3(黒褐)が混じる。シルト粒土。ややしまる。	PJ078柱穴



0 1m
1/60

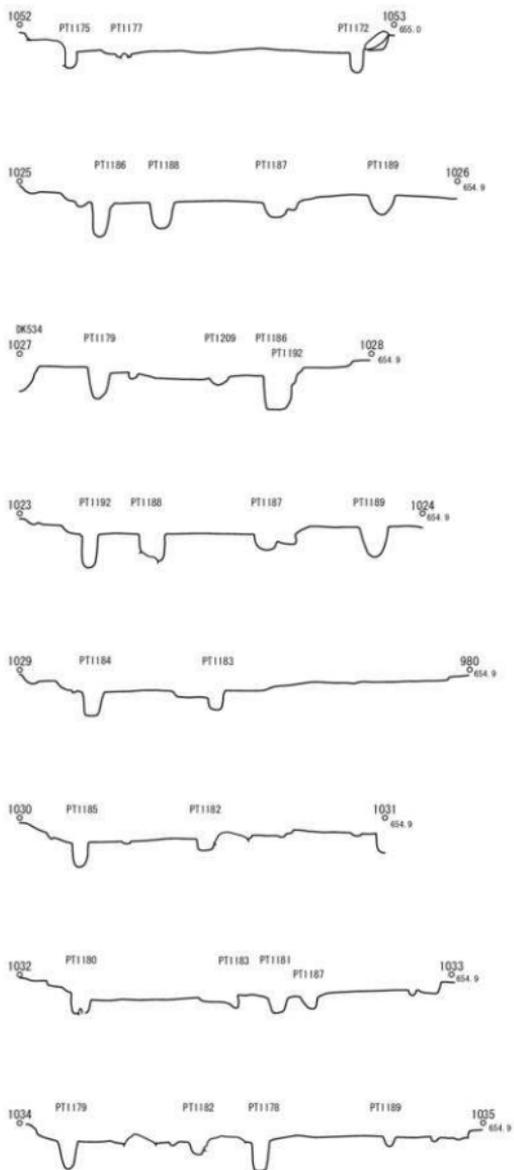


- 1階 1094.4(階)に1092.4(階)が0%、1094.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 2階 1092.4(階)に1092.2(階)が0%、1094.3(こい)黄褐色が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 3階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%、1092.3(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 4階 1094.4(階)に1092.4(階)が0%、1095.4(こい)黄褐色が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 5階 1094.4(階)に1092.4(階)が0%、1094.6(階)が0%、1095.4(こい)黄褐色が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 6階 5階よりやや粗い。
 7階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%、1092.3(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 8階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%、1095.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2の埋土)
 9階 1092.4(階)に1094.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2の埋土)
 10階 1092.4(階)に1095.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、炭化物混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2の埋土)
 11階 1094.4(階)に1092.4(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。
 12階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%、1094.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。
 13階 1094.4(階)に1092.4(階)が0%、1095.6(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。
 14階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。
 15階 1095.6(階)に1094.4(階)が0%、1092.3(階)が0%、花崗岩粒φ2m以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、固くしめる。(P-J2)
 16階 1092.4(階)に1095.6(階)が0%、1094.6(階)が0%以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2)
 17階 1092.4(階)に1094.4(階)が0%以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。
 18階 1092.4(階)に1094.3(こい)黄褐色が0%、1092.3(階)が0%、花崗岩粒φ5m以下、炭化物混じるシルト粘土、粘性ややあり、ややしめる。(P-J2埋土)
 19階 1094.3(こい)黄褐色が0%、1092.4(階)が0%、花崗岩粒φ5m以下、炭化物混じるシルト粘土、粘性ややあり、ややしめる。
 20階 1095.6(階)に1094.3(こい)黄褐色が0%、1092.4(階)が0%以下、混じる花崗岩粒砂質、細粒土、粘性なし、しめる。
 21階 1095.6(階)に1094.4(階)が0%、1092.4(階)が0%以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2)
 22階 1094.4(階)に1094.6(階)が0%以下、混じるシルト粘土、粘性ややあり、しめる。(P-J2)

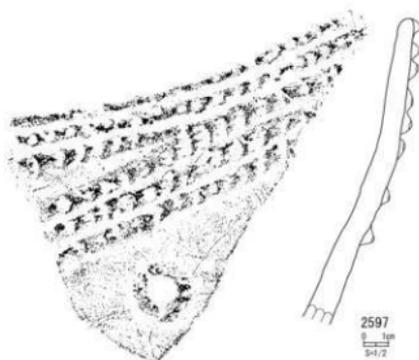
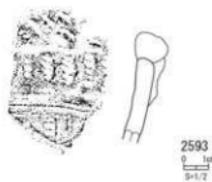
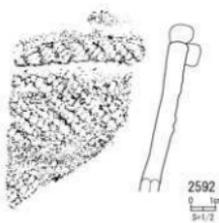
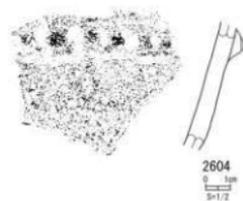
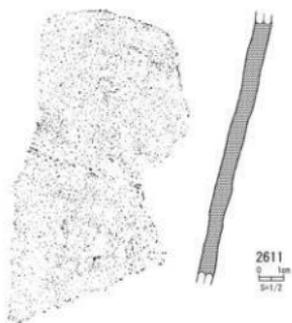
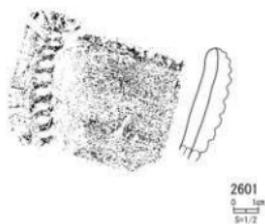
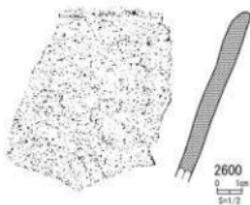
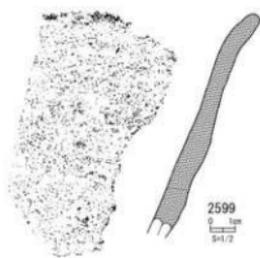
PJ070号・PJ072号・PJ078号住居



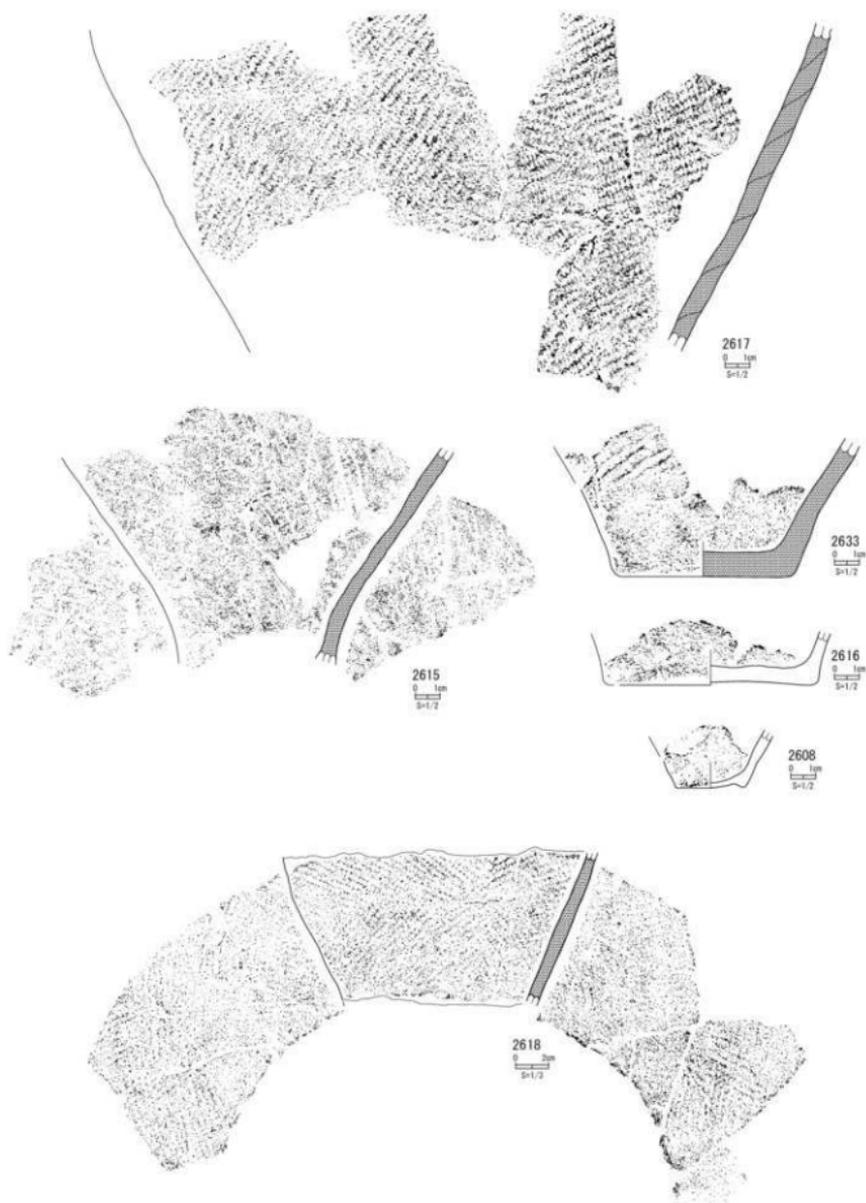
PJ070号・PJ072号・PJ078号住居



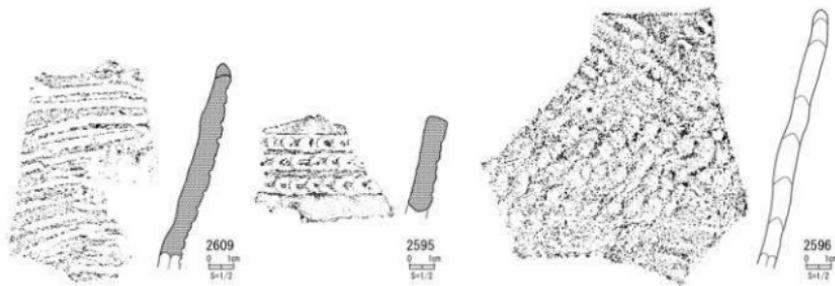
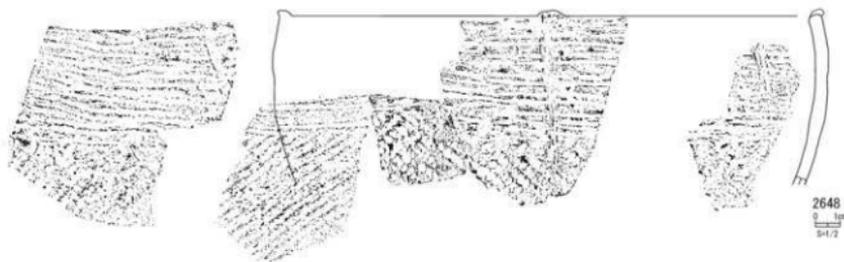
PJ070号·PJ072号·PJ078号住居



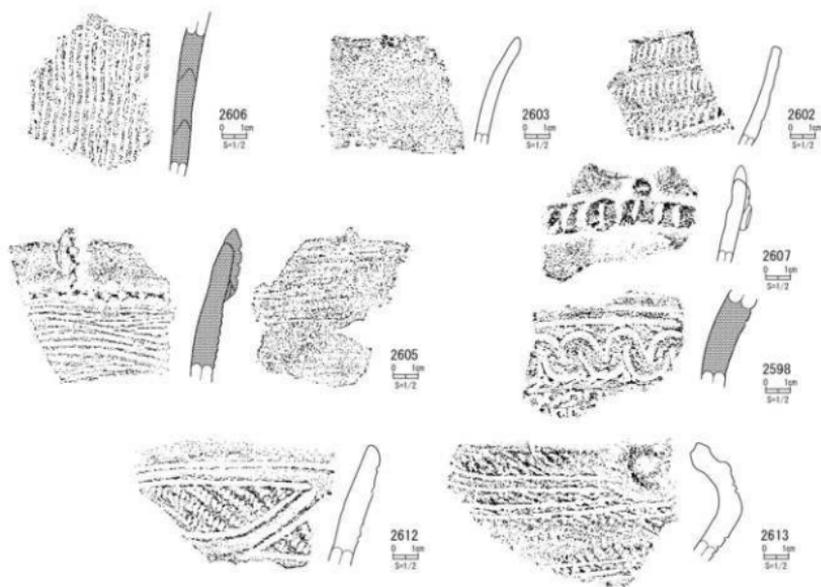
PJ070 号住居出土遺物



PJ070 号住居出土遺物



PJ070 号住居出土遺物

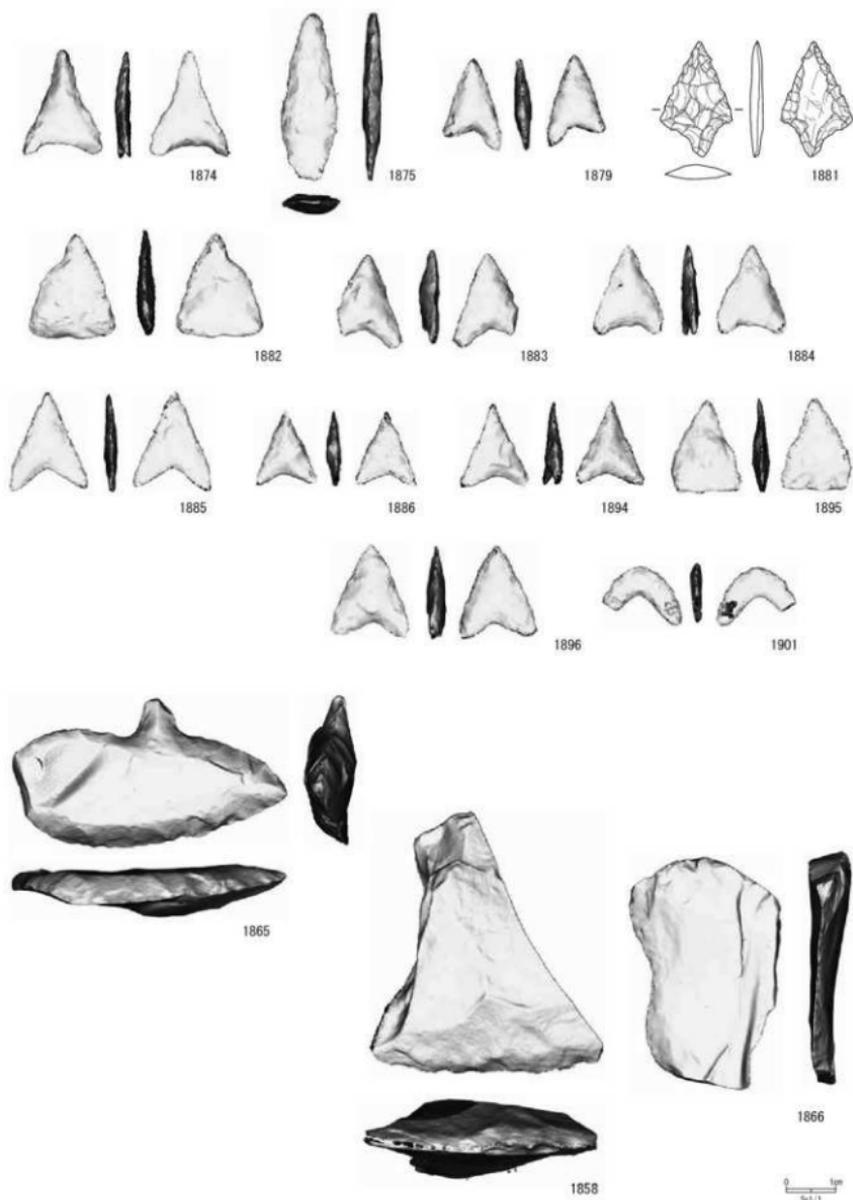


PJ070 号住居出土遺物

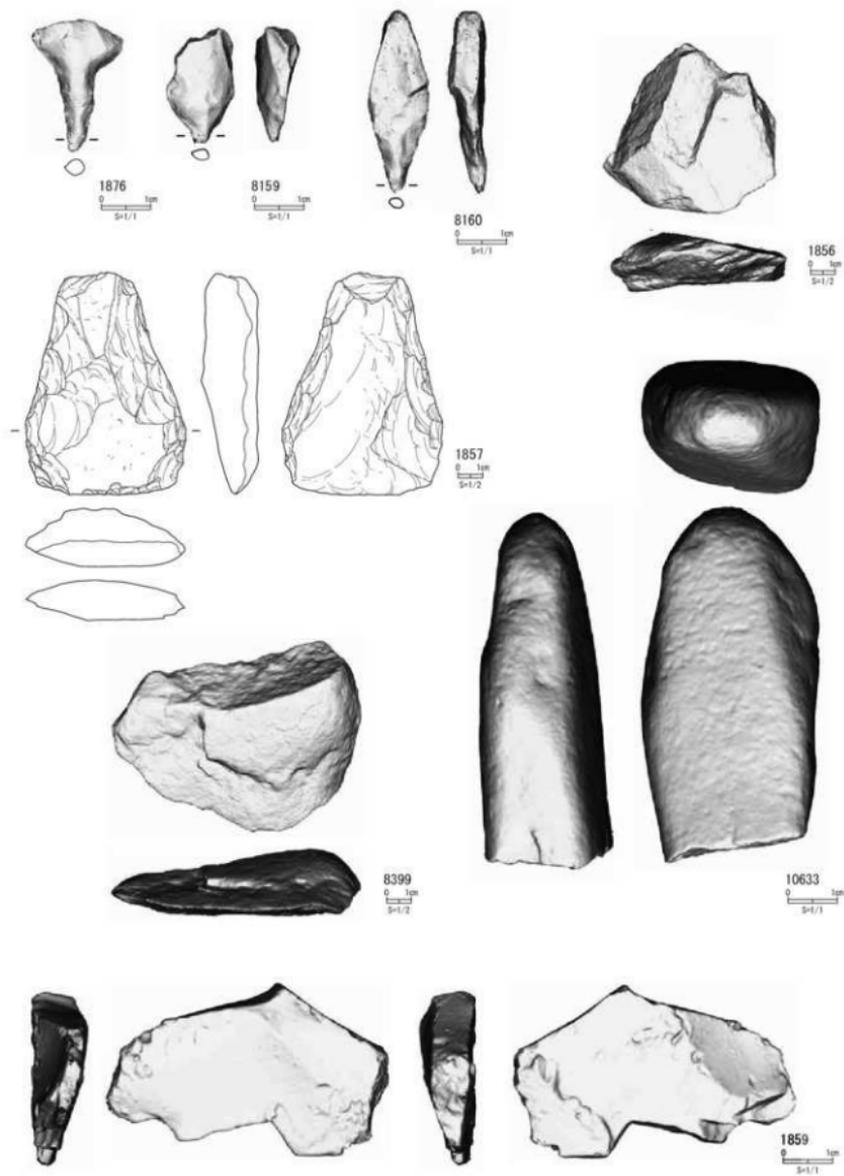


PJ070

南から撮影。PJ070 号住居は集石土坑が重複し、床面で PJ070B 号住居を検出した



PJ070 号住居出土遺物



PJ070 号住居出土遺物

PJ070 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口徑 cm	器高 cm	底径 cm	厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2592	PJ-70	口縁部	-	-	-	35.0	破片	7.5YR6/6 5YR4/4	接ぎ付いた肥厚口縁と小突起。純文。胎土に織りを含まない。神ノ木式	
2593	PJ-70	口縁部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR6/4 5YR5/4	肥厚口縁と小突起。磨面工具の剥欠文。内面ヨコナデ。胎土に織りを含まない。神ノ木式	
2595	PJ-70	口縁部	-	-	-	23.0	破片	5YR6/6 5YR3/2	口唇部に小突起。竹管押引き。内面ミガキ。角ばった口唇部。胎土に織りを含む。有尾式	
2596	PJ-70	口縁部 ～胴部	-	-	-	168.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	内外面磨み面と整形の凹凸が残る。粗大な純文を羽状に施文。内面風化。胎土に織りを含まない。有尾式	
2597	PJ-70 3	口縁部 ～胴部	-	-	-	155.0	破片	7.5YR/6 7.5YR/4	床面から 18cm 浮いて出土。波状口縁。竹管製の口唇部と提帯。円文。内面ヨコナデ。胎土に織りを含まない。神ノ木式	
2598	PJ-70	胴部	-	-	-	41.0	破片	7.5YR/8 7.5YR/4	コンラス文。末端環付き純文。内面ナデミガキ。胎土に織りを含む。扇山式	
2599	PJ-70、PJ-70B、SY-2	口縁部	-	-	-	104.0	破片	7.5YR/4 7.5YR/2	内外面整形の凹凸が残るナデ。胎土に織りを含む。中絶式	
2600	PJ-70	口縁部	-	-	-	97.0	破片	5YR5/4 5YR3/2	内外面ヨコナデ。内面に指環圧痕がやや残る。胎土に織りを含む。中絶式	
2601	PJ-70	口縁部	-	-	-	59.0	破片	5YR4/2 5YR5/4	波状口縁。刻みのある垂下提帯。口唇部刻み。内外面指環圧痕がやや残るナデ。胎土に織りを含まない。中絶式	
2602	PJ-70	口縁部	-	-	-	23.0	破片	7.5YR/4 7.5YR/4	縦い波状口縁。大柄C字状爪文刺。磨整は薄手。北白川下層 II b 式	
2603	PJ-70	口縁部	-	-	-	20.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	格子目文。磨整は薄手。胎土は中絶式に類似。木島式	
2604	PJ-70	胴部	-	-	-	38.0	破片	7.5YR/4 7.5YR/6	刻みのある太い提帯。内面指環圧痕がやや残る。磨整は薄手。胎土に織りを含まない。中絶式併行	
2605	PJ-70	口縁部	-	-	-	38.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	波状口縁。波部間に刻み提帯添付の小突起。角ばった口唇部の外面の磨面に刻み。口唇に平行する刻み提帯。外面後半下に縦位条文。内面横位条文。磨整は 8.5mm 程度。胎土に織りを含む。神ノ木台式	
2606	PJ-70	胴部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR/4 7.5YR/4	縦位無条文。内面ナデミガキ。胎土に織りを含む。前期初期か？	
2607	PJ-70	口縁部	-	-	-	19.0	破片	5YR7/6 5YR4/2	口唇部小突起。扁平な磨面に爪形刻み。磨整は薄手。胎土に織りを含まない。垂之上 2 式？	
2608	PJ-70、PJ-70 6P内	胴部～ 底部	-	-	-	2.8	14.0	5YR4/3 5YR3/2	小形土器。上げ底気味の底面。胎土に織りを含まない。神ノ木式	
2609	PJ-70	口縁部	-	-	-	85.0	破片	5YR5/4 5YR4/4	波状口縁。口唇部に小突起。刻み平行波状文。内面指環圧痕が残るナデ。胎土に織りを含む。有尾式	
2610	PJ-70 14	胴部	-	-	-	49.0	破片	5YR4/3 5YR4/4	床面から 10cm 浮いて出土。内外面指環圧痕がやや残るナデ。胎土に織りを含まない。中絶式	
2611	PJ-70 10、PJ-70、SY-2	胴部	-	-	-	409.0	破片	5YR6/6 5YR6/8	床面から 30cm 浮いて出土。内外面指環圧痕がやや残るナデ。胎土に織りを含む。中絶式	
2612	PJ-70	口縁部	-	-	-	57.0	破片	5YR4/4 5YR3/2	磨消純文。踵継 b 式。重積する土坑からの混入と思われる。	
2613	PJ-70	口縁部	-	-	-	51.0	破片	5YR3/2 5YR4/3	退化した磨面突起。純文。平行波線。内面ミガキ。踵継 b 式。重積する土坑からの混入と思われる。	
2615	PJ-70 15、PJ-70、PJ-70B、PJ-72	胴部	-	-	-	582.0	破片	10YR5/3 10YR8/4	床面から 16cm 浮いて出土。内外面風化著しい。胎土に織りを含む。神ノ木式	
2616	PJ-70 15、PJ-70	胴部～ 底部	-	-	-	8.6	80.0	7.5YR/4 7.5YR/6	床面から 16cm 浮いて出土。上げ底気味の底面。胎土に織りを含まない。神ノ木式	
2617	PJ-70、PJ-70 8	胴部	-	-	-	296.0	破片	7.5YR/2 7.5YR/3	床面から 20cm 浮いて出土。純文。内面磨み面がやや残るナデ。胎土に織りを含む。神ノ木式	
2618	PJ-70 9、PJ-70、PJ-70 8、K-5-3	胴部	-	-	-	548.0	破片	7.5YR/2 5YR6/6	磨面構成の純文。内面風化。ナデ。胎土に織りを含む。下の割れ口が磨耗。有尾式	
2633	PJ-70、SY-2	胴部～ 底部	-	-	-	7.2	258.0	5YR6/4 5YR6/6	胎土に織りを含む。神ノ木式	
2643	PJ-70、PJ-70 10	口縁部 ～底部	31.0	38.0	(7.4)	2,389.0	2/3	5YR4/3 5YR3/2	床面から 30cm 浮いた磨土出土。磨面構成の純文。内面指環圧痕。底面に木炭痕。胎土に織りを含まない。補修孔あり。有尾式	
2648	PJ-70、PJ-70 10、PJ-72、PJ-76	口縁部 ～胴部	-	-	-	149.0	破片	10YR6/3 7.5YR6/3	口唇部に小突起。竹管による横位波線と磨消状の縦位区画ナデ。小突起は縦位区画上に貼付される。羽状の純文。内面整形の凹凸が残るヨコナデ。胎土に織りを含まない。有尾式	

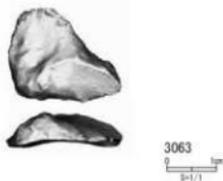
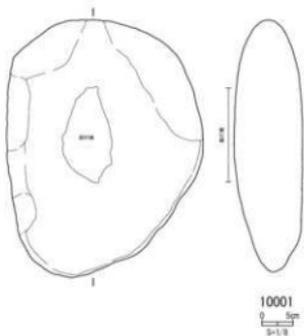
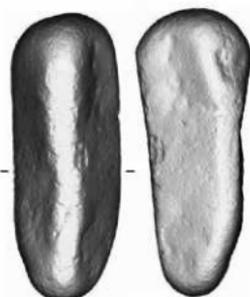
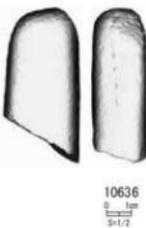
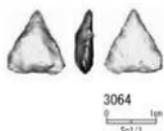
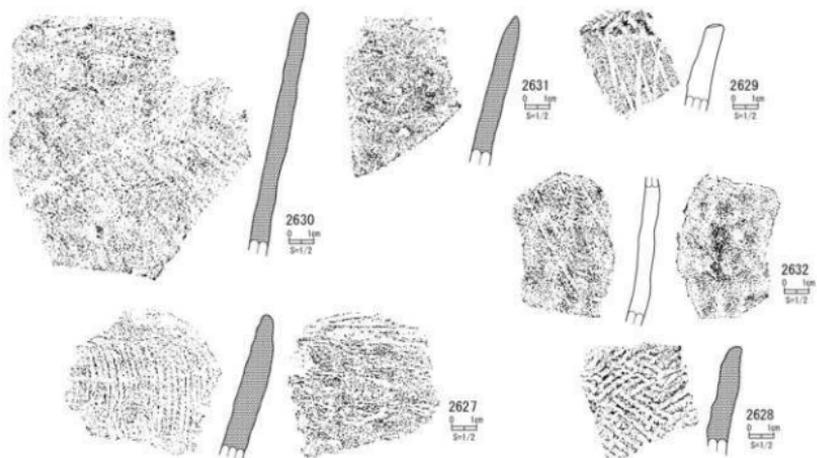
PJ070号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1856	PJ-70	砕器	砂岩	3/4	70.0	71.0	23.0	105.70	割片の1辺に打製石片のぶらよな調整、摩耗、細粒砂岩
1857	PJ-70	打製石片	M/V3A3	1/1	90.0	65.0	22.0	144.90	刃面に微小割痕、風化し使用痕不明瞭、基部は折痕か?重積する踏破式類の土坑から混入した可能性あり。
1858	PJ-70	削器	花崗	1/2	52.0	46.0	15.0	26.60	割片の1辺に刃部、黄褐色風化し使用痕不明瞭。
1859	PJ-70	原石	黒曜石					19.20	ズリ。透黒系黒曜石
1860	PJ-70	削器	珪質頁岩	1/1	39.0	51.0	9.0	13.00	割片の2辺に微小割痕、白筋のある黄灰色珪質頁岩
1861	PJ-70	原石	黒曜石					9.80	一発コア、ズリ。透黒系黒曜石
1862	PJ-70	原石	黒曜石					14.80	ズリ。透明系黒曜石
1863	PJ-70	原石	黒曜石					7.10	ズリ。白色斑点のある透黒系黒曜石
1864	PJ-70	原石	黒曜石					5.50	ズリ。透明系黒曜石
1865	PJ-70 7	石鏃	珪質頁岩	3/4	30.0	56.0	10.0	14.80	住居南東角付近、床面から12cm浮いて出土。切片、刃部に微小割痕、緑灰色珪質頁岩、搬入石材
1866	PJ-70	削器	珪質頁岩	1/1	30.0	48.0	6.0	11.70	縦長割片の1辺に刃部、打面に輝面、灰色珪質頁岩、搬入石材か
1867	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/2	-	19.3	4.9	(1.60)	平基、両面加工。先端欠損。透明系黒曜石
1868	PJ-70 土サンプル③	石鏃	珪質頁岩	1/1	30.0	25.0	6.1	4.29	未成品。三角形の割片を縁辺加工、白筋のある黄灰色珪質頁岩
1869	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	28.8	17.8	7.2	1.78	未成品。三角形形状ができ、素材の厚みが残る段階。
1870	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	25.3	17.5	6.4	2.17	未成品。原石面が残る割片素材、両面加工。三角形形状ができ、素材の厚みが残る段階。透明黒曜石
1871	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	19.6	18.2	7.3	2.54	未成品。風化剥離面がある割片素材、両面加工。三角形形状ができ、素材の厚みが残る段階。先端欠損。透明黒曜石
1872	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	22.7	19.5	6.4	2.53	未成品。風化剥離面が残る割片素材、両面加工。三角形形状ができ、素材の厚みが残る段階。先端欠損。透明黒曜石
1873	PJ-70	割削のある割片	珪質頁岩					0.80	小さな割片の1辺に調整割痕。黄灰色珪質頁岩
1874	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	(22.8)	16.2	3.1	(0.63)	凹基、両面加工。側縁がすぼまる。やや楕円状。裏面半透明黒曜石
1875	PJ-70	石鏃	珪質頁岩	1/1	32.3	11.0	3.7	1.32	基部は尖基。石楕形。黄灰色珪質頁岩
1876	PJ-70	石鏃	チャート	1/1	27.0	18.0	7.0	2.20	鏃部に使用痕なし。やや透明感がある黄灰色チャート
1877	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.4	(0.70)	先端の縁片。両面加工。すりガラス状。縁熱か。透明系黒曜石
1878	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	-	17.3	3.8	(0.96)	凹基。両面加工。基部縁りは浅い。先端欠損。透明黒曜石
1879	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	19.3	(12.5)	3.5	(0.53)	凹基。両面加工。片部先端欠損。透明黒曜石
1880	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	-	17.9	4.2	(0.47)	凹基。両面加工。先端欠損。ブルーブラック黒曜石
1881	PJ-70	石鏃	珪質頁岩	1/1	23.1	14.6	2.9	0.72	有蓋。片面は縁辺調整のみ。黄灰色珪質頁岩
1882	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	22.1	17.5	3.7	(1.05)	平基。両面加工。側縁一部欠損。透明系黒曜石
1883	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	18.8	-	4.1	(0.64)	凹基。両面加工。片部先端欠損。ブルーブラック黒曜石
1884	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	19.1	14.8	3.5	0.59	凹基。両面加工。透明黒曜石
1885	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	20.6	16.0	2.8	0.47	凹基。両面加工。片面に風化剥離面状の原石面が残る。ていねいなくすり。透黒系黒曜石
1886	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	16.4	12.8	3.0	0.31	凹基。両面加工。白色夾雑物が望しめる。黒筋のある透明黒曜石
1887	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	21.2	15.0	5.4	1.40	未成品。割片素材の縁辺に調整割痕を始めた段階。透明黒曜石
1888	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/2	-	15.3	4.4	(0.58)	凹基。両面加工。先端欠損。裏面入り透明黒曜石
1889	PJ-70 土サンプル④	割削のある割片	黒曜石					0.40	やや沿った小さな割片の2辺に調整割痕、石鏃未成品か、すりガラス状。被熱か。透明系黒曜石
1890	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	(16.6)	16.2	2.5	(0.51)	凹基。両面加工。先端欠損。黒筋のある透明黒曜石
1891	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	16.8	(13.6)	3.1	(0.33)	凹基。両面加工。片部欠損。裏面入り透明黒曜石
1892	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	19.0	12.8	4.3	0.95	未成品。三角形形状ができ、片部欠損。半透明黒曜石
1893	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	(13.7)	(13.9)	4.1	(0.57)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石

PJ070 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1894	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	17.8	14.4	3.7	0.42	凹基、両面加工。透明黒曜石
1895	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	19.2	(14.4)	3.6	(0.58)	平基、両面加工。片側縁一部欠損。黒錆のある透明黒曜石
1896	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	19.1	15.9	4.0	0.79	凹基、両面加工。透明黒曜石
1897	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.7	(0.35)	先端の破片。両面加工。透明黒曜石
1898	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	(17.5)	-	2.8	(0.40)	凹基、両面加工。先端、片側欠損。透明黒曜石
1899	PJ-70	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.8	(0.29)	先端の破片。両面加工。透明黒曜石
1900	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	-	17.5	4.3	(1.14)	未成品か？平基、両面加工。先端欠損。透明黒曜石
1901	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	10.7	-	2.3	(0.29)	凹基、長細、両面加工。片側欠損。縁形鋭。透明黒曜石
1902	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/2	23.6	-	2.3	(0.38)	凹基、長細、両面加工。片側欠損。三又形に磨縁が内湾。黒戻入り透明黒曜石
1903	PJ-70 土サンプル②	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	(0.18)	先端のみの小破片。透明系黒曜石
8159	PJ-70	石鏃	黒曜石	1/1	24.0	14.0	8.0	2.50	短い穂部。目立った使用痕なし。透明系黒曜石
8160	PJ-70	石鏃	石英岩	1/1	38.0	12.0	7.0	3.10	穂部先端に摩耗。透明な石英岩
8161	PJ-70	石鏃	黒曜石	3/4	20.8	18.3	2.8	0.90	未成品。割片の2辺を調整。黒戻入り透明黒曜石
8399	PJ-70 11	割片	珪石	1/1	84.0	97.0	26.0	175.80	粗大な割片。薄い縁辺が葉刃か。黄色く風化した使用痕不明
10028	PJ-70 16	磨石類	安山岩類	1/1	120.0	65.0	47.0	510	北壁低い。床面から8cm浮いて出土。楕円形。平坦な1面が顯著に摩耗。表面中央に敲打集中の浅い凹み。側面2面は緑磨石状。錆びたように赤褐色に着色。
10029	PJ-70 12	磨石類	花崗岩類	1/1	104.0	75.0	45.0	483	床面から24cm浮いて出土。扁平楕円形。平坦な2面が摩耗
10030	PJ-70 1	ハンマー	砂岩類	1/1	82.0	49.0	32.0	206	楕円形の平坦な1面の中央に敲打集中の凹み。長軸楕円1面に敲打痕。細粒砂岩
10031	PJ-70 6	球状耳飾	滑石	1/2	42.0	(26.0)	6.0	10	破損後に穿孔して垂飾のように再生か。透明感のあるうぐいす色の滑石
10033	PJ-70	ハンマー	砂岩類	1/2	-	-	-	110	棒状の扁平円錐。平坦な面の長軸縁部付近に縁状の鋭い敲打痕が集中。側面にも同様の敲打痕。長軸縁部1面に敲打による平坦面。器体中央で折損。細粒緻密な砂岩
10034	PJ-70	割片	砂岩類	-	-	-	-	125	円盤面が大きく残る割片。薄い縁辺が葉刃か。風化して使用痕不明。花崗岩質砂岩
10035	PJ-70	台石	安山岩類	不明	-	-	-	211	扁平円錐の破片。広い1面が摩耗。多孔質安山岩

PJ-70B



PJ070B 号住居出土遺物

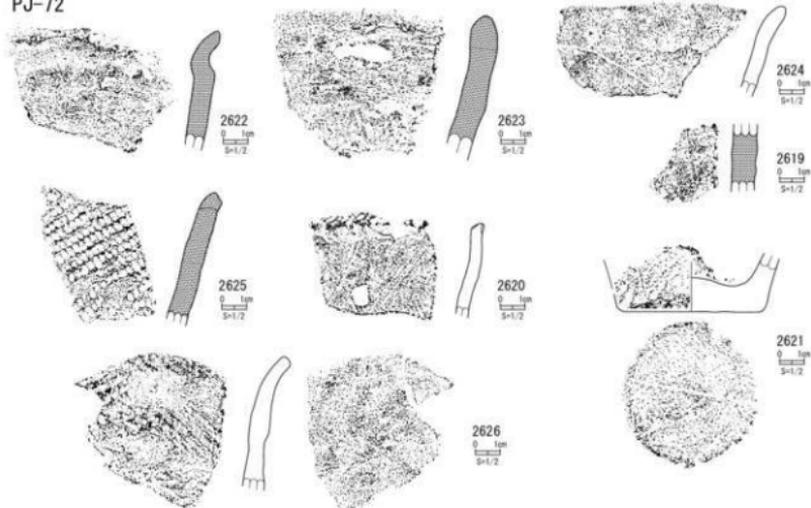
PJ070B 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2627	PJ-70B	口縁部	-	-	-	41.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR2/2	丸い口唇部。内外面、口唇部に赤褐色。外面は縦位条痕。内面上端は横位条痕。内面下位は十字調整。器壁は9.5mm程度。胎土に繊維を多量に含む。早期未製か
2628	PJ-70B	口縁部	-	-	-	19.0	破片	5YR5/6 5YR4/3	環形構成の縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。有閑式
2629	PJ-70B	口縁部	-	-	-	12.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR7/6	口唇部に彫み。格子目文。器壁は7.5mm。胎土に繊維を含まない。中越式
2630	PJ-70B	口縁部 ～胴部	-	-	-	89.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR4/3	内外面指頭圧痕がやや残るナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2631	PJ-70B	口縁部	-	-	-	50.0	破片	7.5YR5/3 5YR4/2	内外面指頭圧痕がやや残るナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2632	PJ-70B	胴部	-	-	-	35.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	斜な条痕文。内外面指頭圧痕が顕著。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。木島式

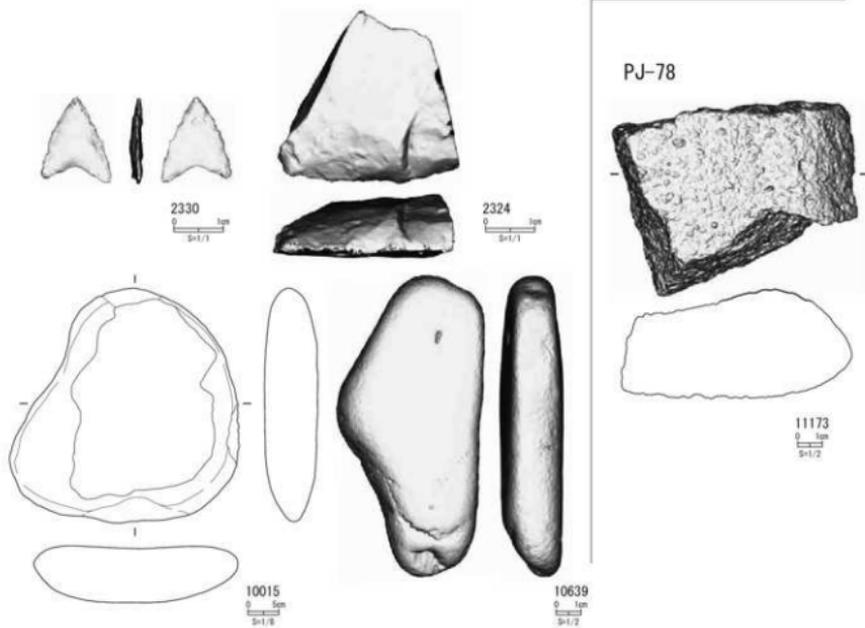
PJ070B 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3062	PJ-70B	石鏃	黒曜石	3/4	-	15.7	2.8	(0.42)	凹釜、両面加工。先端欠損。透明黒曜石
3063	PJ-70B	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.00	やや厚手の剥片の1辺に掻器状の刃部と微小剥離。黒斑入り透明黒曜石
3064	PJ-70B	石鏃	黒曜石	1/1	13.5	12.1	3.9	0.47	小形。平釜。両面加工。種地なつくり。透明黒曜石
3065	PJ-70B	石鏃	黒曜石	1/1	18.6	14.6	4.7	1.16	未成品。剥片素材の縁辺を調整。三角形状ができた段階。灰色夾雑物が混じる透明黒曜石
3066	PJ-70B	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	21.0	12.5	4.0	0.91	剥片の2辺に調整剥離と微小剥離。石鏃未成品か。透明黒曜石
3067	PJ-70B	石鏃	黒曜石	-	-	-	1.9	(0.15)	片部のみ破片。透明系黒曜石
3068	PJ-70B	石鏃	黒曜石	1/1	18.4	12.3	4.6	0.88	未成品。ズリ面。黒化面が残る素材。両面加工。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。透明黒曜石
3069	PJ-70B	石鏃	黒曜石	3/4	15.1	(14.6)	4.4	(0.64)	未成品。両面加工。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。黒斑入り透明黒曜石
10001	PJ-70B 3	台石	安山岩類	1/1	322.0	420.0	122.0	20.300	南西壁面で出土。扁平楕円形の平坦な1面が厚み。多孔質安山岩
10067	PJ-70B 2	磨石類	砂岩類	1/1	69.0	176.0	68.0	1.121	棒状(三角柱状)歪角礫素材。作業面は3面、内1面が内湾する点が大きな特徴。他の2面はほぼ平坦。作業面に直交する剥離が認められる。長軸端部縦い側に軸に直交する磨打痕集中。太い一端には、軸に斜行する磨打痕集中が認められる。花崗岩質砂岩
10036	PJ-70 B	ハンマー	砂岩類	破片				67	棒状歪角礫。長軸端部側面に磨打による平坦面。縦軸密な砂岩

PJ-72



PJ-78



PJ072 号住居出土遺物

PJ072 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	高さ cm	底径 cm	底厚 cm	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2619	PJ-78, PJ-72	胴部	-	-	-	59.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	外面タテナデ、内面細積みと指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含む。中越式	
2620	PJ-72	口縁部	-	-	-	13.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	口唇部剥み、格子目文、内面指頭圧痕が残るナデ。木鼻式	
2621	PJ-72	胴部～ 底部	-	-	5.6	66.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	かすかな縄文。底面木葉痕。胎土に繊維を含まない。有尾式か？	
2622	PJ-72	口縁部	-	-	-	26.0	破片	5YR6/4 7.5YR6/3	外反する口縁。内外面整形の凹凸が残るナデ。胎土に繊維を含む。中越式	
2623	PJ-72	口縁部	-	-	-	85.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/3	内外面整形の凹凸が残るナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式	
2624	PJ-72	口縁部	-	-	-	50.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/2	内外面整形の凹凸が残る。外面タテナデ。内面指頭圧痕。胎土に繊維を含まない。中越式	
2625	PJ-72	口縁部	-	-	-	20.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/2	口縁部に小突起。縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式	
2626	PJ-72, PJ-70	口縁部	-	-	-	86.0	破片	5YR4/3 5YR3/2	波状口縁。羽状の縄文施文。内面指頭圧痕。胎土に繊維を含まない。釈迦堂3式	

PJ072 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2324	PJ-72 3	両部	珪質頁岩		35.0	36.0	12.0	17.30	縁面が残る剥片の1辺に掻跡状の刃部。青灰色珪質頁岩
2325	PJ-72	原石	黒曜石					12.10	一発コア。ズリ。透明系黒曜石
2326	PJ-72	石鏃	黒曜石	1/1	23.3	14.0	3.6	1.07	未成品。凹基。縁辺加工。先端欠損。剥片の縁辺のみを調整。種出なつくり。薄黒黒曜石
2327	PJ-72 伊内	石鏃	黒曜石	3/4	19.8	-	4.9	(1.11)	未成品。三角形状ができた段階。片側縁欠損。素材の厚みが残る。透明黒曜石
2328	PJ-72	石鏃	黒曜石	3/4	(19.7)	15.0	4.8	(1.23)	凹基。両面加工。先端欠損。すりガラス状。被動か。透明系黒曜石
2329	PJ-72	石鏃	黒曜石	3/4	20.7	-	3.2	(0.60)	凹基。両面加工。片側欠損。裏面状半透明黒曜石
2330	PJ-72	石鏃	黒曜石	1/1	18.4	14.7	2.5	0.43	凹基。両面加工。裏面状半透明黒曜石
2331	PJ-72	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.3	(0.53)	凹基。両面加工。片側部のみの破片。透明黒曜石
2332	PJ-72	石鏃	黒曜石	3/4	(16.7)	14.3	3.3	(0.54)	凹基。両面加工。先端欠損。裏面状透明黒曜石
2333	PJ-72	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.2	(0.38)	凹基。両面加工。先端、片側欠損。黒斑入り透明黒曜石
10015	PJ-72 8	台石	安山岩類	1/1	385.0	372.0	91.0	19.200	PT1186 と PT1188 の間の床面で出土。扁平円形の平坦な2面が磨耗。
10638	PJ-72 4	磨石類	安山岩類	1/1	137.0	58.0	40.0	438	東壁に近い。床面出土。平坦な2面が磨耗。中央に磨痕。
10639	PJ-72 5	磨石類	砂岩類	1/1	124.0	59.0	27.0	283	蓋戸跡。平坦な2面が磨耗。縦条痕。細粒砂岩

PJ078 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2323	PJ-72 1	石槌	珪質頁岩		51.0	75.0	38.0	170.90	黄色い肉線面が残る石槌。青灰色珪質頁岩
3442	PJ-78	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	33.0	23.0	11.0	6.50	原石面がある厚手の剥片を両面から調整。石鏃プランクか。透明系黒曜石
8412	PJ-72 7	原石	鉄石英		37.0	40.0	17.0	33.20	蓋戸跡
10637	PJ-72 2	磨石類	安山岩類	1/1	90.0	59.0	28.0	198	PJ072 との重複部所、北壁に近い床面出土。扁平円形。平坦な2面が磨耗。両面中央に磨痕
11172	PI-1177 1	石皿	安山岩類	-	(74.0)	(96.0)	(44.0)	385	PT1177 出土。石皿破片。黒部磨耗。多孔質安山岩

PJ071 号住居

- 位置**：L-5グリッドに位置する。PJ074号住居に切られる。PJ073号住居と重複する。
- 規模**：PJ073号住居と重複する南側壁が検出できなかった。推定5m程度の不整形円形プランと推測される。堅穴は深さ40cmが残る。
- 埋土**：黒褐色土と暗褐色土がレンズ状に堆積する埋土で、自然堆積により埋没したと思われる。
- 床面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬く踏みしまった床面は検出されなかった。地山には風化した花崗岩が露出している。
- 炉**：PT1405号ピットとPT1408号ピットの埋土上面と黄褐色の床面が被熱、焼土化した箇所を検出した。この焼土はPJ71号住居の炉にしてはやや西に寄り過ぎている。より住居中心に近い位置に炉が想定されるがPJ074号住居に切られて失われた可能性がある。
- 周溝**：北壁沿い、PT1195号ピットから北に延びる小溝を検出した。また南側に断片的な小溝を検出した。
- 柱穴**：PJ073号住居との重複部分で、埋土色、大きさ、深さが類似するピットを多数検出したが、PJ071号住居の柱穴と断定できるピットはPT1195号ピットのみである。このPT1195号ピットを起点にして大きさ、深さが類似するPT1416号ピット、PT1198号ピットを本住居の柱穴に想定できるとと思われる。
本住居に先行する中越式期の住居の柱穴と思われるピットが検出されている。PT1399、PT1202、PT1162号ピットの3基は方形に並び、いずれも諸磯式期の遺物を伴わない。
- 出土遺物**：土器、石器が埋土からまばらに出土した。PT1162号ピット上面で黒曜石剥片5点が、またPT1195号ピット北側の埋土中で黒曜石原石3点がそれぞれまとまって出土した。
出土した土器の総量は神之木台式など早期後半から前期初頭の土器21g、中越式34g、神ノ木式、有尾式28g、諸磯式3309g、北白川下層Ⅱ式174gなどで、諸磯b式が最も多い。
出土した石器の内訳は、石鏃40点、削器1点、石匙4点、石錐3点、両極石器2点、打製石斧2点、磨石類2点、磨製石斧1点、研磨具1点、ハンマー1点、剥離のある剥片8点、黒曜石原石15点で、このほか剥片・砕片類が511点1,581gである。
- 時期**：住居の建築、居住を示す遺物は出土しなかったが、埋土出土土器から諸磯b式中段階までに廃絶したと推測される。PJ074号住居との時期差は土器細分型式では認識できない。

PJ073 号住居

- 位置**：K-5グリッドからL-5グリッドに位置する。PJ071号住居、PJ074号住居に切られる。PJ075号住居と重複し、PJ075号住居を切る。10基ほどの土坑と重複する。遺構確認面で新旧が判断できなかったが土坑が住居床面を明瞭に切ることから、土坑が新しいと推測される。
- 規模**：PJ071号住居と重複し、規模は不明である。5.5mほどの不整形円形プランと推測される。堅穴は深さ45cmが残る。PJ073号住居と認定した遺構のなから炉体土器を伴う地床炉、焼土が複数検出され、柱穴とみられるピットも多数検出されたことから、複数の住居跡が重複していると考えられる。
- 埋土**：埋土断面の観察からPT1352号ピットと命名した炉体土器を伴う地床炉を中心に据えた住居が想定される。これをPJ073b号住居とし、残る部分をPJ073a号住居とする。ともに黒褐色土、暗褐色土がレンズ状に堆積する埋土で、自然埋没したと考えられる。
- 床面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬く踏みしまった床面は検出されなかった。地山には風化した花崗岩が露出している。
- 炉**：PT1352号ピットと命名した落ち込みで炉体土器を検出した。焼土は検出されなかったがPJ073b号住居の地床炉と考えた。

このほかDK574号土坑西側、PT1194号ピット北側、PT1209号ピット埋土上面の4ヶ所で床面が被燃、焼土化した箇所を検出した。これらはPJ073a号住居の地床炉であろう。

周溝：西壁沿いで断片的な小溝を検出した。想定されるプランの北端、PT1202号ピット付近でも断片的な小溝を検出した。

柱穴：柱穴にふさわしい大きさ、深さのピットが多数検出されたが、炉を中心にして整然と配列していないため、個々の住居ごとに柱穴の組み合わせ案を示すことができない。焼土箇所とピット数に対応した居住期が想定されるのだろう。

出土遺物：土器、石器が埋土からまばらに出土した。

出土した土器の総量は31,183gで、神之木台式など早期後半から前期初頭の土器50g、木鳥式499g、中越式2995g、神ノ木式1027g、関山式123g、有尾式1076g、北白川下層Ⅱ式195g、諸磯式23,541g、前期土器破片1,617gで、諸磯b式が最も多い。

出土した石器の内訳は、石鏃50点、石匙17点、石錐2点、両極石器2点、磨石類7点、石皿2点、台石2点、磨製石斧1点、ハンマー1点、剥離のある剥片11点、黒曜石原石11点で、このほか剥片と砕片935点1758gがある。

時期：住居の建築と居住の時期を示す土器は出土しなかった。埋土出土の土器から推測すると諸磯b式期には廃絶したと推測される。

PJ074号住居

位置：L-5グリッドに位置する。PJ071号住居を切る。PJ073号住居と重複する。

規模：東半部は現状保存した調査区である。調査した部分から推測すると直径2.6mの小さな不整形のプランと思われる。堅穴は深さ60cmが残る。

埋土：黒褐色土と暗褐色土がレンズ状に堆積する埋土で、自然堆積により埋没したと思われる。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬く踏みしめた床面は検出されなかった。地山には風化した花崗岩が露出し、床面にあわせて平らに削られている。花崗岩はピットを掘削できるほどに風化している。

炉：調査区内では検出されなかった。

周溝：西壁沿いで小ピットを伴う小溝を検出した。

柱穴：PT1398、PT1513号ピットなどが柱穴になると思われる。PT1398号ピットでは柱痕が検出された。

出土遺物：PT1513号ピット周辺と西壁沿いの床面で大きな土器破片がまとまって出土した。

出土した土器の総量は9,128gで、中越式196g、神ノ木式91g、有尾式71g、諸磯式8,413g、前期土器破片342gなどで、型式が絞り込める土器では諸磯b式が最も多い。

出土した石器の内訳は、石鏃3点、磨石類1点、剥離のある剥片3点、黒曜石原石1点、块状耳飾1点で、このほか剥片・砕片が56点310gである。

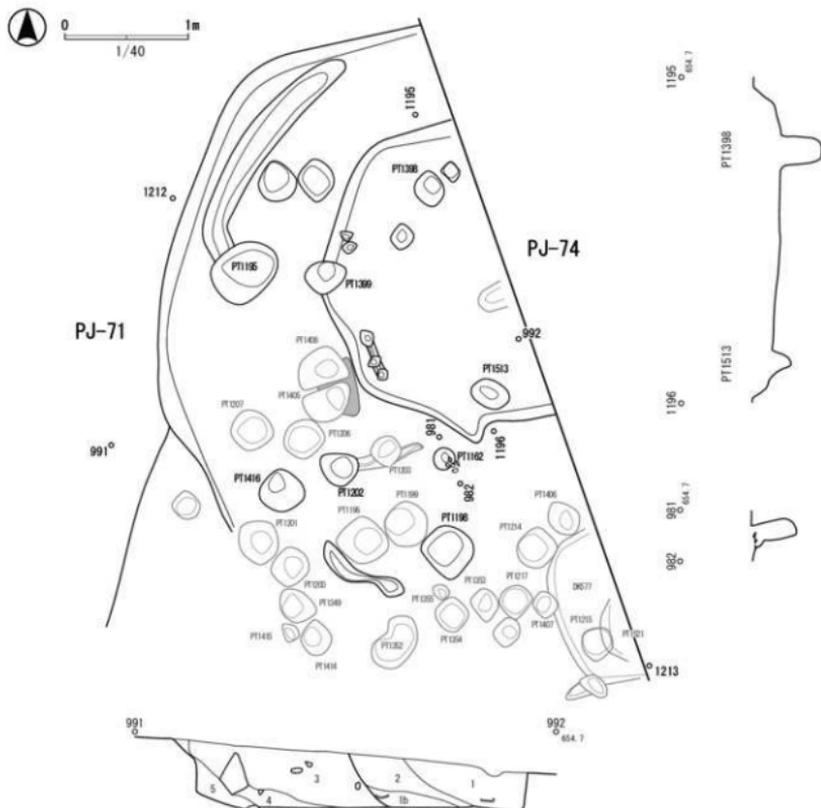
時期：床面から出土した土器を根拠に推測すると、本住居は諸磯b式中段階に廃絶したと思われる。PJ071号住居との時期差は土器細分型式では認識できない。

PJ071号・PJ074号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	掘土色	備考(遺物など)
PT-1162	71 住内	14	35	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式期の住居柱穴か。神ノ木式、黒曜石
PT-1195	71 住内	54	38	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ071 柱穴、踏礎 a 式、踏礎 b 式
PT-1198	71 住内	38	35	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ071 柱穴、中越式、踏礎 b 式
PT-1202	71 住内	25	45	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式期の住居柱穴か。中越式
PT-1396	74 住内	26×20	30	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ074 住居柱穴
PT-1399	74 住内 西壁	30	20	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式期の住居柱穴か。神ノ木式?
PT-1416	71 住内	37×30	28	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ071 柱穴、踏礎式
PT-1513	74 住内	18×22	17	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ074 住居柱穴

PJ073号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	掘土色	備考(遺物など)
PT-1193	73 住内	40×43	21	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	有尾式、踏礎式
PT-1194	73 住内	30→	21	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PT1193 を切る。PT1194 上面に貼床あり。有尾式、踏礎式
PT-1196	71 住内	37	58	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	北白川下層Ⅱ c、踏礎式
PT-1197	73 住内	50→	30	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、踏礎式
PT-1199	71 住内	34	40	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	踏礎 a 式、踏礎式
PT-1200	71 住内	25	45	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1201	71 住内	30	34	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1203	71 住内	21	46	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、踏礎式
PT-1206	71 住内	28	9	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、踏礎式
PT-1207	71 住内	27	9	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1208	73 住内	44→	40	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式
PT-1209	73 住内	54×46	50	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	上面に貼床と積土あり。踏礎式
PT-1210	73 住内	38→	40	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1211	73 住内	66×75	55	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	貼床あり。中越式、有尾式、踏礎式
PT-1212	73 住内	31→	10	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	木鳥式、踏礎式
PT-1214	71 住内	30	50	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	踏礎式
PT-1215	71 住内	28	23	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1216	73 住内	19→	30	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1217	71 住内	24	17	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1312	73 住内	17×22	30	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PT-1209 に切られる。木鳥式
PT-1309	73 住内	19×17	10	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	柱底? 踏礎式
PT-1347	73 住内	24×15	24	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1348	73 住内	20×20	20	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1349	71 住内	25	60	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、踏礎式
PT-1350	73 住内	18×20	20	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	早期赤飯文。踏礎式ミニチュア土器
PT-1351	73 住内	19×20	14	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	踏礎式
PT-1352	73 住内	30	12	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	PJ073 住居跡。深鉢形指土、炒鉢土器
PT-1353	71 住内	25×29	22	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、有尾式、踏礎式
PT-1354	71 住内	23×27	25	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1355	71 住内	11	18	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1356	73 住内	30→	10	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1405	71 住内	36	40	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	有尾式、踏礎式
PT-1406	71 住内	20×26	35	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1407	71 住内	17	23	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	踏礎式
PT-1408	71 住内	27×38	33	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1414	73 住内	30×36	65	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	中越式、有尾式
PT-1415	73 住内	10×14	5 0	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1521	71 住内	56	60	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	
PT-1522	73 住内	30×32	30	黒褐色土に黄褐色砂質土の小ブロックが混じる	



1層 PJ-74 1094.4(9層)に1092.3(3層)が0%、1094.6(9層)が0%、1092.2(3層)が0%、炭化物混入するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。

1a層 PJ-74 1094.4(9層)に1094.6(9層)が0%混入するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。

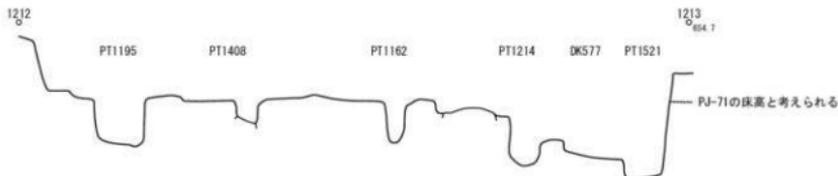
2層 PJ-74 1092.3(9層)に1094.6(9層)が0%、1092.3(3層)が0%、炭化物混入するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。

3層 PJ-71 1092.3(3層)に1092.2(3層)が0%、1094.6(9層)が0%、7.5(9層)6層(粘土質、炭化物混入するシルト粘土(4より砂っぽい)、粘性ややあり、しまる。

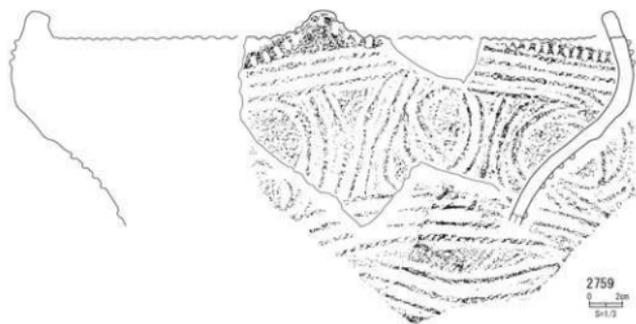
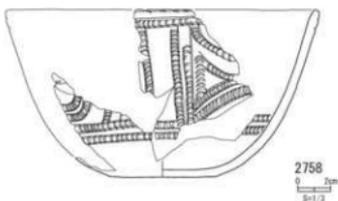
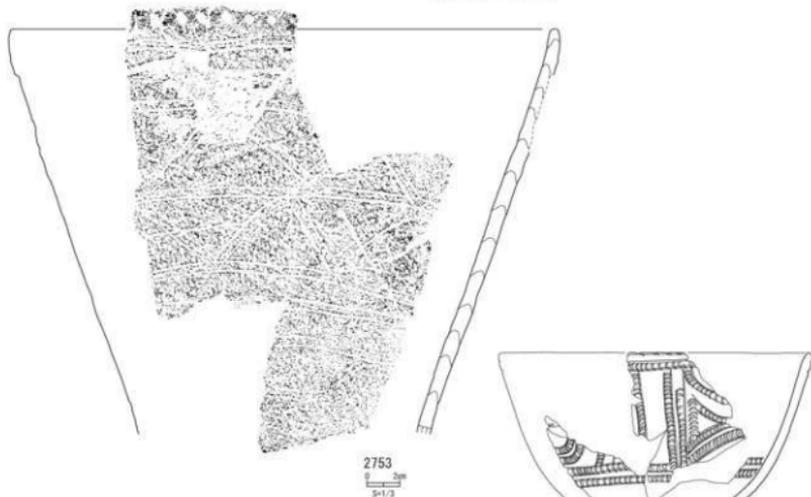
4層 PJ-71 1092.3(3層)に1092.2(3層)が0%、1094.6(9層)が0%、炭化物混入するシルト粘土、粘性ややあり、ややしまる。

5層 PJ-71 1094.6(9層)に1092.3(3層)が0%混入する。(地山が露出して掘れ込んだ。

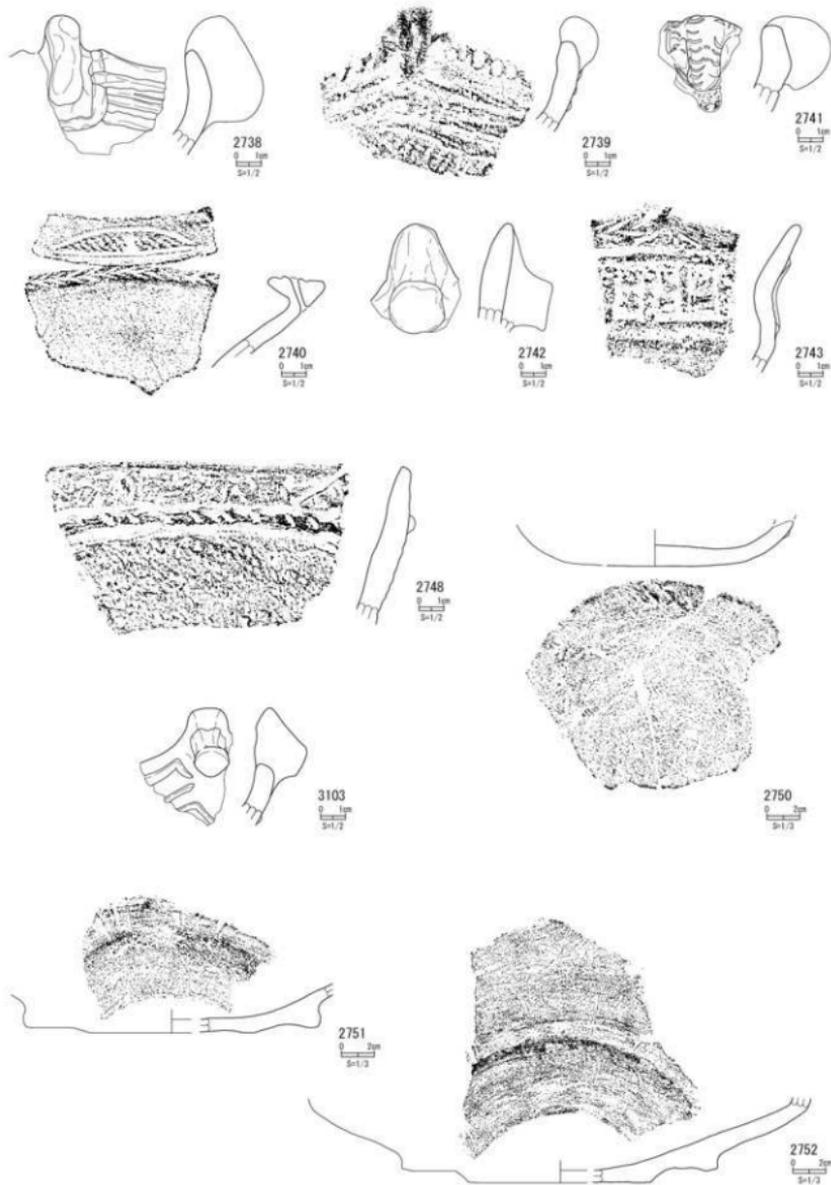
地山 1094.6(9層)に1092.3(3層)が0%混入するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。



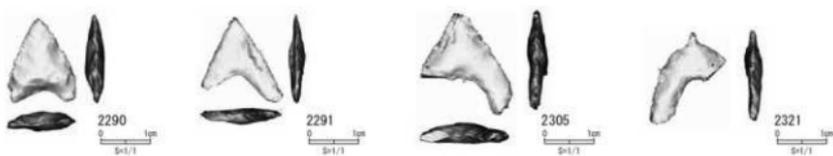
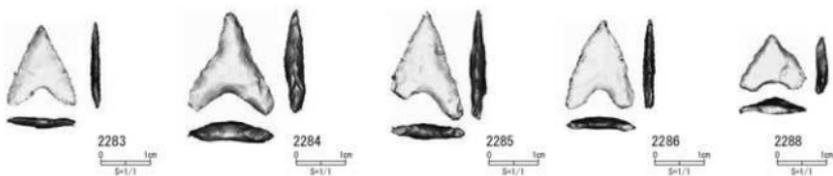
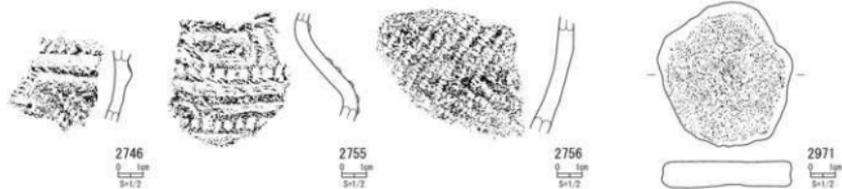
PJ071号・PJ074号住居



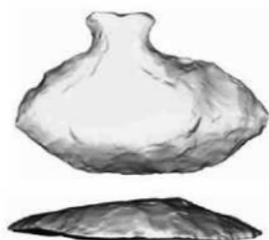
PJ071 号住居出土遺物



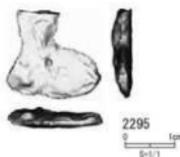
PJ071 号住居出土遺物



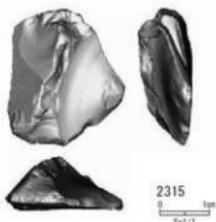
PJ071 号住居出土遺物



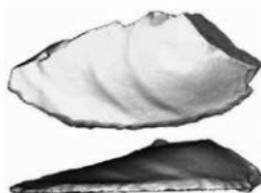
2266
0 1cm
S=1/1



2295
0 1cm
S=1/1



2315
0 1cm
S=1/1



2271
0 1cm
S=1/1



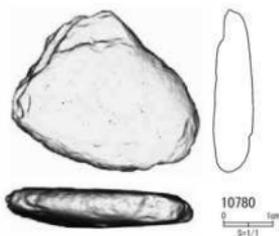
2270
0 1cm
S=1/2



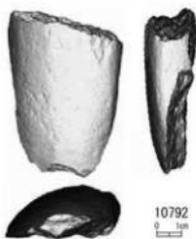
2281
0 1cm
S=1/1



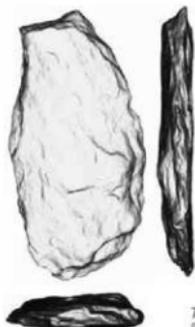
2250
0 1cm
S=1/2



10780
0 1cm
S=1/1



10792
0 1cm
S=1/2



7631
0 1cm
S=1/2



10795
0 1cm
S=1/2

PJ071 号住居出土遺物

PJ071 号住居 土器観察表

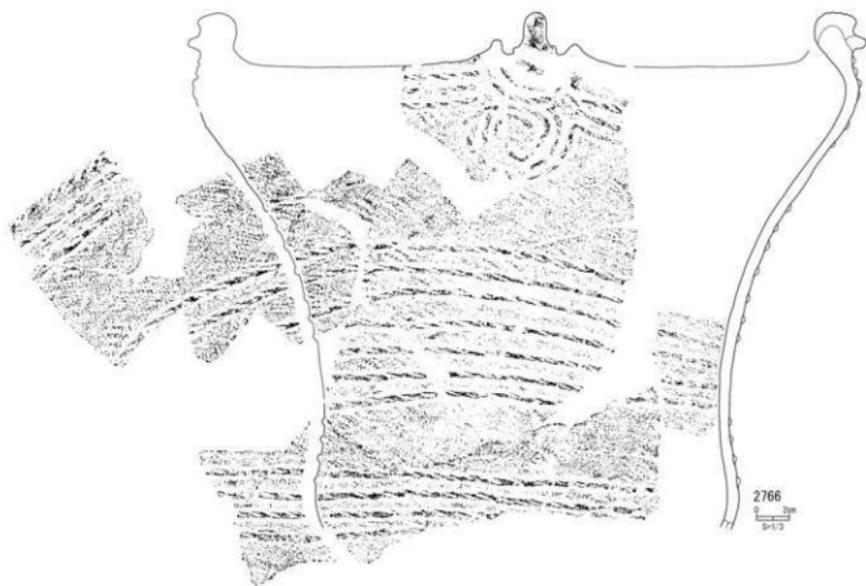
実測 番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	底厚 cm	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2738	PJ-71	口縁部					44.0	破片	7.5YR2/2 7.5YR3/3	断面突起、浮線文、縹線b式
2739	PJ-71	口縁部					42.0	破片	5YR4/4 7.5YR2/2	退化した断面突起、浮線文、縹文。口唇部に認め、縹線b式
2740	PJ-71	口縁部					47.0	破片	10YR2/1 10YR2/1	浅鉢口縁部、木の葉文、内外面ミガキ、縹線b式
2741	PJ-71	口縁部					26.0	破片	7.5YR2/2 7.5YR2/2	退化した断面突起、竹管のC字刺突、縹線b式
2742	PJ-71	口縁部					32.0	破片	5YR4/6 5YR4/6	退化した断面突起、縹線b式
2743	PJ-71	口縁部					39.0	破片	5YR4/4 5YR3/3	口縁部に小突起、細線で底枠の文様。縹線上に縹文、北白川下層Ⅱc式と縹線b式の折衷土器
2744	PJ-71	口縁部 ～底部	(30.6)				301.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5/6	木の葉文に竹管刺突を充填、内外面ミガキ、縹線b式
2745	PJ-71	口縁部					28.0	破片	7.5YR6/4 10YR2/2	口縁部に竹管平行沈線、羽状縹文、内面ヨコナデ、胎土に縹線を含まない、有底式
2746	PJ-71	口縁部					8.0	破片	7.5YR6/6 5YR6/6	割みのある縹線縹。縹文、内面ミガキ、器壁は5mmと薄手、砂混じりのややざらついた胎土、北白川下層Ⅱc式か
2747	PJ-71	胴部					21.0	破片	7.5YR4/2 5YR4/6	外面ナデ調整、内面底位、斜位の染灰文。器壁は8mm程度、胎土に縹線を少量含む、草部末葉か
2748	PJ-71 4	口縁部					117.0	破片	5YR4/3 5YR3/3	北壁沿い、床面から4cm浮いて出土。割み縹帯と縹文、内面ヨコナデ、縹線b式
2749	PJ-71 22	胴部					34.0	破片	7.5YR2/4 7.5YR5/4	縹文、内外面に指頭凹痕が残り、胎土に縹線を多量に含む、中越式併行
2750	PJ-71 12	胴部～ 底部				8.0	213.0	破片	2.5YR5/6 5YR4/6	PI1196 実、埋土下層出土。浅鉢の底部破片、割れ口は琢磨再生されている、内外面とも風化、縹線b式
2751	PJ-71 6	胴部～ 底部				(10.2)	124.0	破片	5YR5/6 2.5YR4/6	PI1408 北、埋土下層出土。浅鉢底部破片、内外面ミガキ、やや風化、縹線b式
2752	PJ-71 27	胴部～ 底部				(11.0)	293.0	破片	2.5YR4/4 5YR3/3	PI1408 西、床面から4cm浮いて出土。土器251と同一個体か、内外面ミガキ、やや風化、縹線b式
2753	PJ-71、PJ-71 10、PJ-71 24、 PJ-71 18、PJ-71 22、PJ-71、PJ- 74、06-579	口縁部 ～胴部	(33.3)				1,140.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR3/3	PI1196 周辺の埋土下層出土。同一個体破片が06579号土坑でも出土。口唇部割み、縹文地文、平軟竹管の平行沈線文、内面ミガキ、縹線b式
2755	PJ-71	胴部					49.0	破片	7.5YR2/2 7.5YR5/3	割みのある縹い浮線文。底面に縹文、内面ミガキ、器壁は5.5mmと薄手、胎土に縹線を含まない、北白川下層Ⅱc式
2756	PJ-71	胴部					78.0	破片	5YR4/2 7.5YR5/3	羽状縹文、器壁は5.5mmと薄手、内面ミガキ、胎土に縹線を含まない、北白川下層Ⅱc式
2758	PJ-71、PJ-74	口縁部 ～底部	19.2	10.2	6.4		271.0	破片	10YR4/2 5YR4/6	口唇部割み、内面ミガキ、縹線b式
2759	PJ-71 7、PJ-74 7、PJ-71、PJ- 73、PJ-74	口縁部 ～底部	(35.0)				596.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/3	PI1405 上面の縹土の周辺、床面から20cm浮いて出土。口唇部に認め、縹線上に縹文、内面ミガキ、縹線b式
2971	PJ-71	土製円 盤	5.8	5.5	1.1		39.0	ほぼ完 形	2.5YR5/6 2.5YR4/2	底部破片を再生した土製円盤、縹線土器と思われる。
3103	PJ-71	口縁部					22.0	破片	5YR4/3 7.5YR4/3	断面突起、細線縹起付、縹線b式

PJ071号住居 石器観察表

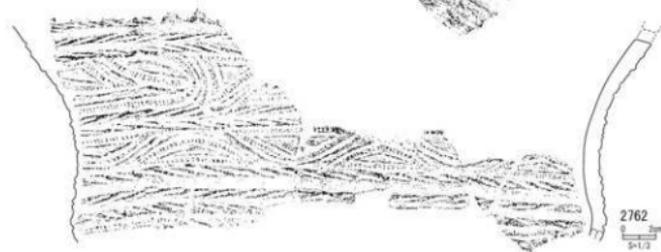
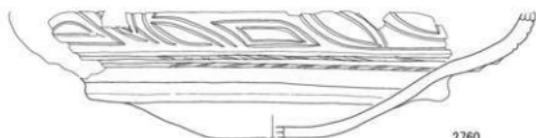
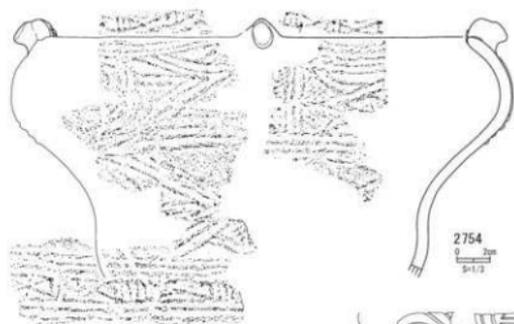
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2249	PJ-71 11	剥離のある 剥片	安山岩	3/4	96.0	134.0	20.0	254.30	PT1162南東、床面出土。板状剥離安山岩(旗平石)の1辺に縦線縞状の剥離。
2250	PJ-71 28	打製石斧	Mt/Ft:Ak	1/2	71.0	48.0	17.0	74.60	PT1162とPT1196の間隙、床面出土。器体中央で折損
2251	PJ-71 9	原石	黒曜石					25.80	PT1405上、床面から12cm浮いて出土。角縁ズリ。半透明黒曜石
2252	PJ-71	原石	黒曜石					29.00	河川転石。半透明黒曜石
2253	PJ-71 5	原石	黒曜石					37.00	PT1195東、床面から17cm浮いて出土。赤褐色既入り黒曜石
2254	PJ-71 3	原石	黒曜石					23.90	一発コア。北壁沿い、床面から26cm浮いて出土。河川転石。半透明黒曜石
2255	PJ-71	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	49.0	55.0	14.0	37.20	縞面が残る剥片の縁辺に3ヶ所の剥離。灰色と暗灰色系の珪質頁岩。搬入石材
2256	PJ-71 2	原石	黒曜石					25.80	北壁沿い、床面から27cm浮いて出土。縁部から削り取ったような角柱形状。剥離面は風化。透明黒曜石
2257	PJ-71 25	原石	黒曜石					22.80	PT1201南東、床面出土。角縁ズリ。半透明黒曜石
2258	PJ-71	原石	黒曜石					19.40	河川転石。
2259	PJ-71	原石	黒曜石					18.10	河川転石。赤褐色既入り黒曜石
2261	PJ-71	原石	黒曜石					18.30	一発コア。河川転石。灰色半透明黒曜石
2262	PJ-71	原石	黒曜石					16.20	縞面と風化剥離面で囲まれた原石。半透明黒曜石
2263	PJ-71	原石	黒曜石					15.50	縞面と風化剥離面で囲まれた原石。透明黒曜石
2264	PJ-71	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	36.0	35.8	12.8	22.80	四角い板状素材の4辺に斜打剥離と潰れ。灰色珪質頁岩
2266	PJ-71	石匙	珪質泥岩	1/1	31.0	50.0	7.0	10.60	片側から刃部調整。刃部に摩耗と微小剥離。表面は平滑で光沢あり。ういす色の珪質泥岩。搬入石材
2267	PJ-71	原石	黒曜石					11.30	一発コア。角縁ズリ。
2268	PJ-71	原石	黒曜石					7.60	角縁ズリ。漆黒黒曜石
2269	PJ-71	剥離のある 剥片	安山岩	1/1	37.0	62.0	7.0	18.50	剥片の1辺に両側から調整剥離。縞面と縞面を帯びた安山岩
2270	PJ-71	石鏃	頁岩	1/1	80.0	33.0	8.0	14.30	黄色く風化した頁岩。使用痕不明瞭
2271	PJ-71	骨器	珪質頁岩	1/1	25.0	51.0	9.0	9.50	縞面と原厚面が大きく残る剥片の薄い縁辺に片面の刃部調整。刃部はやや摩耗し、微小剥離あり。朝灰色珪質頁岩。搬入石材
2272	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	33.6	25.6	7.8	6.15	未成品。縞面が残る。三角形状。片側縁欠損。赤褐色既入り黒曜石
2273	PJ-71	石匙	チャート	1/1	28.0	43.0	5.0	5.70	刃部は片面調整。微小剥離あり。赤褐色とオリーブ色のチャート
2274	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	29.5	21.3	8.4	4.45	未成品。三角形状。素材の厚みが残る。赤褐色既入り黒曜石
2275	PJ-71	剥離のある 剥片	玉髓	1/1	13.0	31.0	8.0	3.90	やや厚みのある剥片の1辺に縦線縞調整。乳白色玉髓
2276	PJ-71	石鏃	チャート	3/4	28.1	22.1	5.6	2.78	未成品。三角形状。両面加工。片側縁欠損。赤褐色チャート
2277	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	33.8	26.5	8.1	3.94	未成品。菱形形状。両面加工。器体中央にこぶ状に厚みが残る。縞面状半透明黒曜石
2278	PJ-71	石鏃	チャート	1/1	24.6	22.0	7.0	2.66	未成品。凹基。両面加工。オリーブ色チャート
2279	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	22.7	20.9	3.4	0.94	大形。凹基。両面加工。ていねいにつくり。白帯のある漆黒黒曜石
2280	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	24.0	20.6	3.2	0.96	大形。凹基。両面加工。すりガラス状灰色黒曜石
2281	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	41.0	10.0	10.0	2.40	鋒部先端は未調整。未成品か。赤褐色既入り黒曜石
2282	PJ-71	石鏃	チャート	1/1	29.4	20.0	5.6	3.02	未成品。三角形状。両面加工。赤褐色とオリーブ色のチャート
2283	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	21.8	17.8	2.4	0.57	凹基。両面加工。ていねいにつくり。透明黒曜石
2284	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	24.9	19.9	4.6	1.32	凹基。両面加工。種粒なつくり
2285	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	25.5	-	3.6	(0.89)	凹基。両面加工。片側欠損。ていねいにつくり。縞面のあるブルーブラック黒曜石
2286	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	20.0	15.2	2.6	(0.51)	凹基。両面加工。先端がすぼむ。ていねいにつくり。透明黒曜石
2287	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	17.8	(12.8)	2.7	(0.49)	凹基。片面加工。片面は縁辺調整のみ。灰色帯のある縞面状半透明黒曜石
2288	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	13.3	15.2	2.5	0.38	剥片の縁辺を片面から小さく剥離した種粒なつくり。漆黒黒曜石
2289	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	17.2	14.0	1.8	0.25	凹基。縁辺加工。種粒なつくり。透明黒曜石
2290	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	18.4	14.4	4.0	0.74	凹基。両面加工。やや厚みが残る。透明黒曜石
2291	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	19.8	-	3.5	(0.51)	凹基。長形。両面加工。片側欠損。黒既入り透明黒曜石

PJ071 号住居 石器観察表

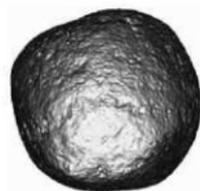
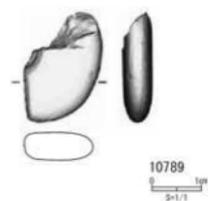
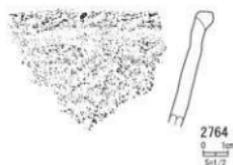
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2292	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	-	16.4	3.3	(0.54)	凹基、両面加工、先端欠損。黒色入り透明黒曜石
2293	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	19.0	(14.6)	3.6	(0.77)	凹基、両面加工、片部欠損。黒色入りブルーブラック黒曜石
2294	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	3.6	(0.63)	凹基、長柄、先端と片部欠損。透明黒曜石
2295	PJ-71	石匙	黒曜石	1/2	18.0	19.0	3.0	1.10	ミニチュア石匙? 器体半分が欠損して再生か、赤褐色色入り黒曜石
2296	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	1.30	未成品、三角形状がわかる段階。先端欠損。透明黒曜石
2297	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.4	(0.62)	凹基、長柄、両面加工。先端と片部欠損。透明黒曜石
2298	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	16.7	15.0	3.9	0.78	未成品、三角形状がわかる段階。先端欠損。葛湯状半透明黒曜石
2299	PJ-71	石鏃	珪質頁岩	3/4	25.3	-	3.9	(0.94)	凹基、片部欠損。両面と縁辺加工のみ。灰色珪質頁岩。磨入石材
2300	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	-	(15.4)	3.3	(0.50)	凹基、両面加工。先端と片部先端欠損。黒色入り透明黒曜石
2301	PJ-71	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.4	(0.34)	大形石鏃の片部断片。赤褐色色入り黒曜石
2302	PJ-71	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	0.22	石鏃の縁部断片。使用痕なし
2303	PJ-71	原石	黒曜石	-	-	-	-	5.60	薄い短帯形の原石。透明黒曜石
2304	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	22.4	24.3	5.4	2.75	未成品。三角形状が分かる段階。
2305	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	21.4	-	3.9	(0.80)	凹基、長柄、両面加工。片部欠損。白筋のある透明黒曜石
2306	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	24.8	17.7	7.0	2.10	未成品。三角形状が分かる段階。厚みが残る。葛湯状透明黒曜石
2307	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	27.1	3.4	0.95	縁部断片が27mmもある大形石鏃の断片。
2308	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.94	未成品。凹基、両面加工。片部欠損。黒筋のある透明黒曜石
2309	PJ-71	鹿角	剥離のある 剥片	チャート	-	-	-	1.30	剥片の2面に調整剥離。緑灰色チャート
2310	PJ-71	両縁石器	黒曜石	1/1	17.0	11.0	4.0	1.10	小さな剥片の両縁に調整剥離。透明黒曜石
2311	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	19.8	-	3.8	(0.64)	凹基、長柄、両面加工。片部欠損。赤褐色色入り黒曜石
2312	PJ-71	石鏃	黒曜石	破片	-	-	-	0.79	未成品。三角形状が分かる段階。器体中央で欠損。小さな球状尖頭物が 差じる半透明黒曜石
2313	PJ-71	剥離のある 剥片	チャート	1/1	40.0	21.8	5.1	6.30	剥片の薄い1面に微小剥離。赤褐色と灰青色チャート
2314	PJ-71	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	-	-	-	3.60	剥片を四方から調整剥離。青灰色珪質頁岩
2315	PJ-71	両縁石器	黒曜石	1/1	29.0	25.0	10.0	5.80	縁面が残る厚い剥片の両縁に調整剥離。葛湯状透明黒曜石
2316	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	-	0.68	未成品。三角形状が分かる段階。器体中央で欠損。赤褐色色入り黒曜石
2317	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	17.4	11.7	3.4	0.49	凹基、両面加工。片部や欠損。縁面なく。縁のあるブルーブラック 黒曜石
2319	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	20.8	-	2.9	(0.51)	凹基、両面加工。片部欠損。縁面なく。透明黒曜石
2320	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.3	(0.37)	石鏃先端部破片。赤褐色色入り黒曜石
2321	PJ-71	石鏃	黒曜石	3/4	17.2	-	2.7	(0.30)	先端が針状に突出。石鏃が黄影石器か。透明黒曜石
2322	PJ-71	石鏃	黒曜石	-	-	-	3.9	(0.49)	石鏃先端部破片。すりガラス状灰色黒曜石
4387	PT-1202	石匙	頁岩	1/2	24.5	23.1	4.9	2.58	PT1202出土。黄色く風化した頁岩。つまみ部を残し、刃部の大半が欠損。
4388	PT-1162 図1	剥片	黒曜石	1/1	44.0	39.0	14.0	18.60	PT1162 上層で出土した黒曜石剥片。ざらついた縁面が残る。球状尖頭物 が差じる半透明黒曜石
4389	PT-1162 図2	原石	黒曜石	-	26	42	27	32.2	PT1162 上層で出土した黒曜石原石。風化剥離面で見られる。
4390	PT-1162 図3	剥片	黒曜石	1/1	40.0	30.0	9.0	8.90	PT1162 上層で出土した黒曜石剥片。4388と同一母岩
4391	PT-1162 図4	剥片	黒曜石	1/1	35.0	51.0	10.0	15.10	PT1162 上層で出土した黒曜石剥片。4388と同一母岩か
4392	PT-1162 図5	剥片	黒曜石	1/1	30.0	38.0	9.0	8.00	PT1162 上層で出土した黒曜石剥片。河川粒石状の縁面。乳白色縁面が差 じる
7631	IS-7029	打製石斧	緑色石	1/1	110.0	56.0	14.0	110.10	RJ71北壁沿い出土。黄色く風化した使用痕不明
8162	PJ-71	石鏃	黒曜石	1/1	24.8	21.1	7.2	2.56	未成品。三角形状ができた段階。片部欠損。厚みが残る
10780	PJ-71	研磨具	頁岩	1/1	39.0	31.0	1.0	14	扁平小形の厚角塊。縁面に平行する縁条低部がわずかにある。粘板岩状
10792	PJ-71	磨製石斧	緑色石	破片	(64.0)	(45.0)	(22.0)	70	基部断片。断面はつるつるした楕円形。破断しやや赤く変色
10793	PJ-71	磨石類	花崗岩類	1/2	-	-	-	520	楕円形磨石。使用痕は不明瞭だが平坦面がやや平滑
10794	PJ-71	磨石類	安山岩類	破片	-	-	-	110	破片。平坦面が摩擦。磨打による点状の凹み
10795	PJ-71	ハンマー	砂岩類	破片	-	-	-	78	楕円形厚手の長軸端部に磨打による平坦面。細粒砂岩



PJ074 号住居出土遺物



PJ074 号住居出土遺物



10790
0 1cm
1/2



2153
0 1cm
1/1



8167
0 1cm
1/1

PJ074 号住居 土器観察表

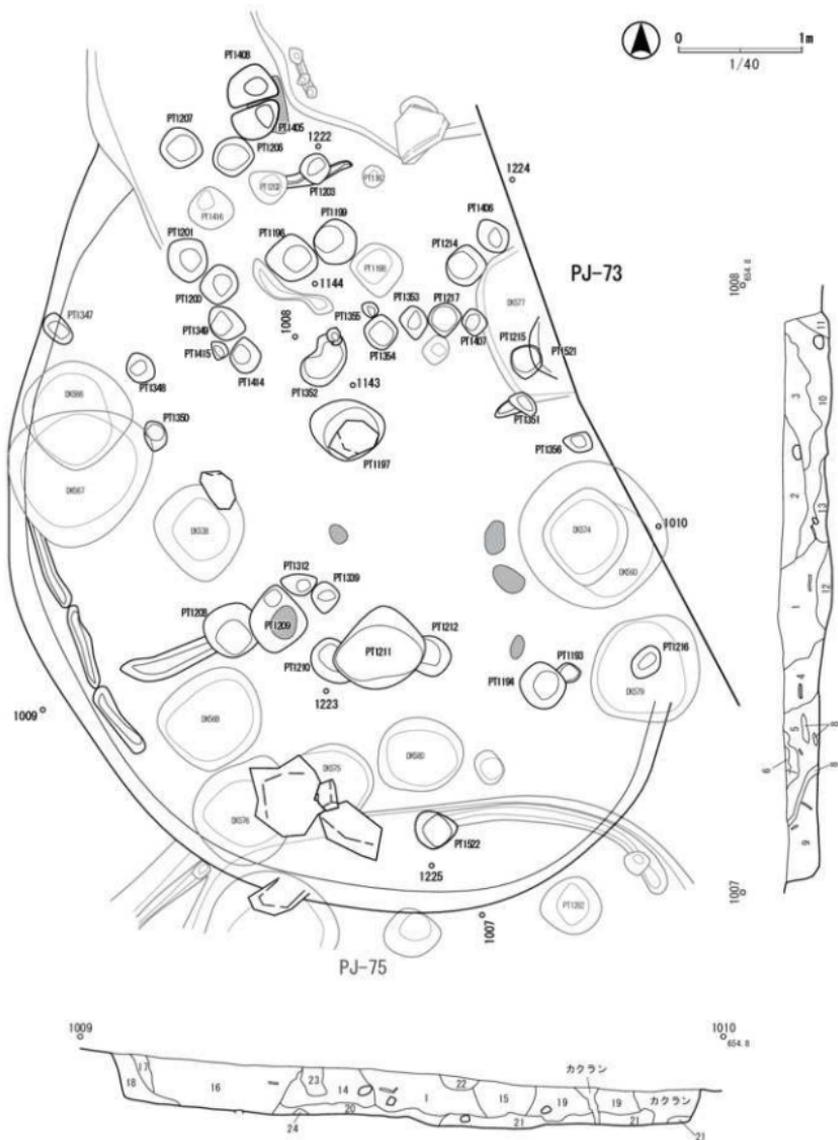
実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2754	PJ-71, PJ-74, K-6-5	口縁部	26.2			428.0	破片	5YR3/3 5YR3/2	逆化した敷面突起、結節浮線文、縄文地文。口唇部にも浮線文。内面ナデ、風化。踏破り式
2760	PJ-74 10, PJ-74 5, PJ-74, PJ-71	胴部～ 底部	-	-	(6.6)	833.0	破片	5YR4/4 2.5YR5/6	埋土出土。木の葉文の浅鉢。割れ口は縦口縁状に研磨再生か。内面ミガキ、踏破り式
2762	PJ-74 12, PJ-74 14, PJ-74, PJ- 71	胴部	-	-	-	427.0	破片	5YR4/3 5YR3/2	PT1513 北、床面出土。孔列あり。木の葉文。鉢形器形か。踏破り式中段
2763	PJ-74 13, PJ-74	胴部	-	-	-	177.0	破片	5YR3/2 2.5YR4/6	床面から 2cm 浮いて出土。内外面風化。踏破り式
2764	PJ-74	口縁部	-	-	-	19.0	破片	7.5YR4/3 5YR4/4	口縁部が肥厚。外面はまばらに縄文地文か？ 内外面とも風化。器壁は 5mm と薄手。胎土に細粒を多量に含む。有模式か？
2765	PJ-74 9, PJ-74 11, 10-4509, PJ-74	胴部	-	-	-	2,173.0	破片	7.5YR4/3 5YR4/4	床面出土。縄文地文と結節浮線文。内外面風化。踏破り式中段階
2766	PJ-74 12, PJ-74, PJ-71	口縁部～ 胴部	(39.7)	-	-	1,090.0	破片	5YR3/3 5YR2/2	PT1513 北、床面出土。敷面突起、結節浮線文、縄文地文。器壁は薄手でいていなくなつくり。内面風化。踏破り式中段階

PJ074 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2151	PJ-74	剥離のある 剥片	頁岩	1/1	40.0	39.0	13.0	24.70	菱角縁の縁辺に剥離
2152	PJ-74	原石	黒曜石					9.60	角縁ズリ。半透明黒曜石
2153	PJ-74	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				1.90	剥片の薄い縁辺に微小剥離と濡れ。磨粒。黒斑入り半透明黒曜石
2155	PJ-74	石鏃	黒曜石	1/2	21.2	14.1	3.3	0.67	未成品。凹基。両面加工。片部欠損。基部調整段階。黒斑入り半透明黒曜石
2156	PJ-74	石鏃	黒曜石	3/4	(20.7)	-	3.7	(0.76)	基部側欠損。片面加工。片面は縁辺調整のみ。灰色帯のある透明黒曜石
2157	PJ-74	石鏃	黒曜石	-				(0.25)	石鏃の断片と思われる。夾雑物があるブルーブラック黒曜石
8167	PJ-74	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	31.0	14.0	6.0	1.90	角縁ズリ面がある剥片の 2 辺に微小剥離
10789	PJ-74 4	球状耳飾	滑石	-	(21.0)	(15.0)	(4.0)	3.00	PT1513 北側。床面から 12cm 浮いて出土。切り込み部破片。オリーブ色の滑石
10790	PJ-74 6	磨石類	安山岩類	1/2				822	西壁沿い。床面から 23cm 浮いて出土。敲打集中の凹みが平坦面に点在。器面風化し摩滅は不明瞭

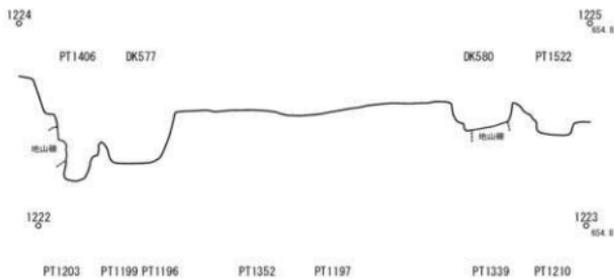


PJ074
遺物出土状況を西から撮影

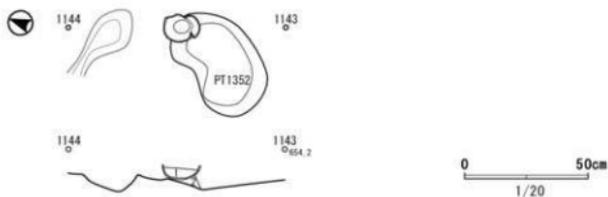


PJ073 号住居

- 10層 10R2②(黒層)に10R3②(黒層)が10、10R5 4にふい(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 11層 10R2②(黒層)に10R3②(黒層)が10、10R5 4にふい(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 12層 10R4 4層に10R2 4(黒層)が9、10R5 6(黄層)が10、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 13層 10R2②(黒層)に10R5 6(黄層)が9、10R2②(黒層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 14層 10R2②(黒層)に10R5 6(黄層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 15層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が10、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 16層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 17層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 18層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 19層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 20層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 21層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 22層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 23層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 24層 10R2②(黒層)に10R2②(黒層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 地山 10R5 6(黄層)に10R4 4(黒層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。



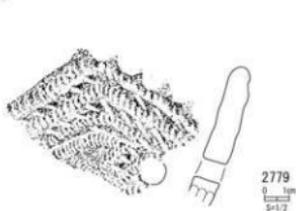
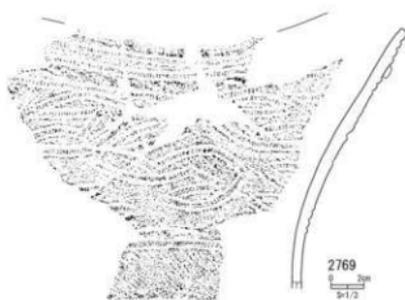
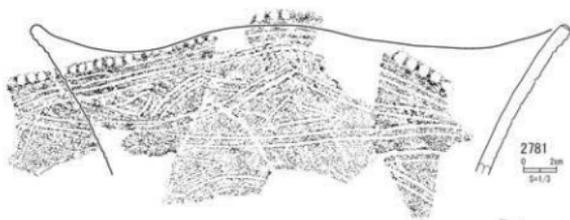
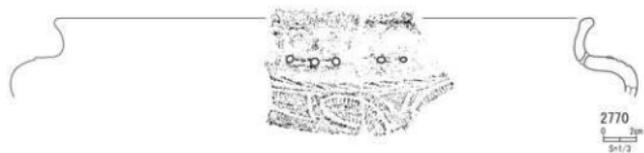
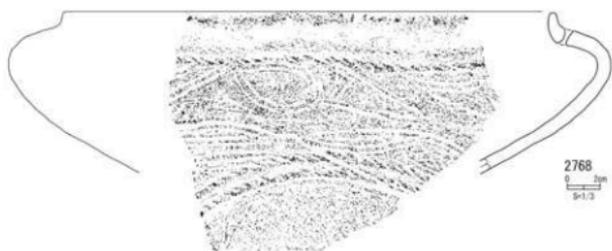
PJ-73 炉



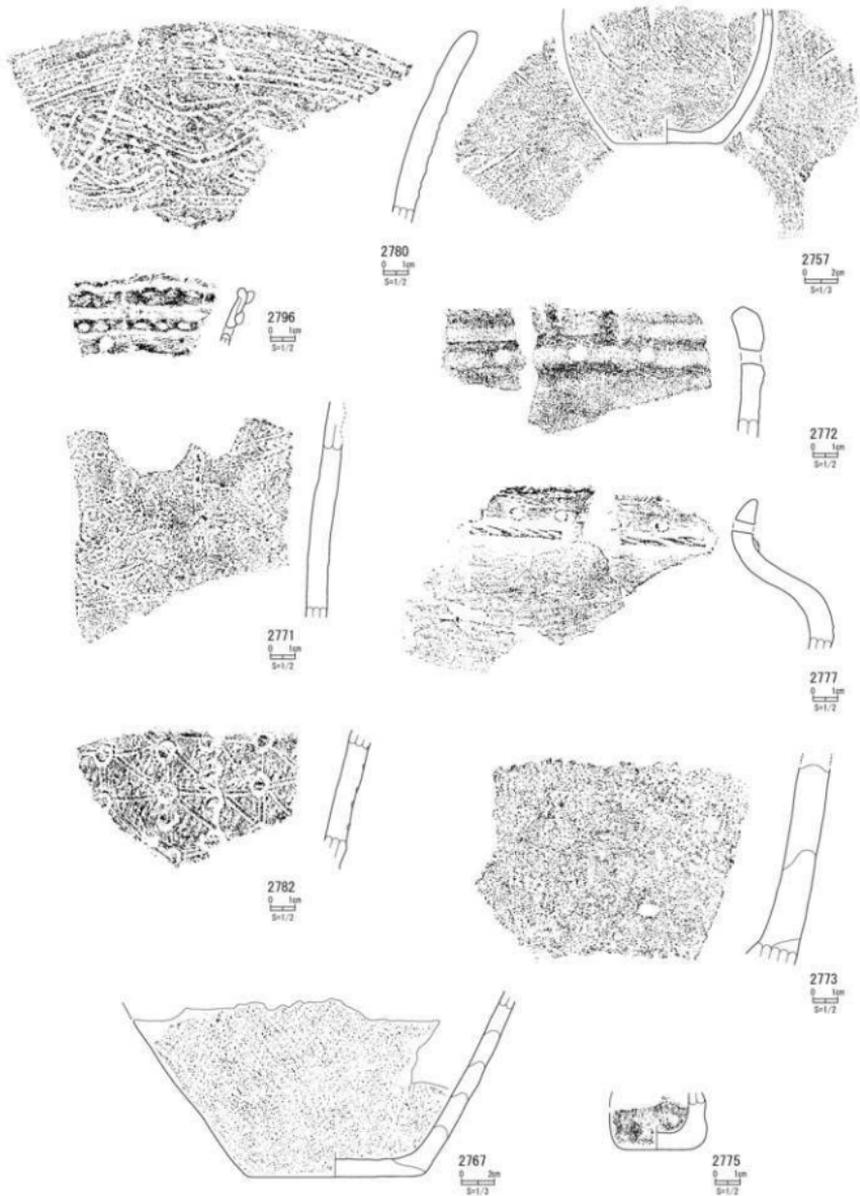
- 1層 10R2②(黒層)に10R5 6(黄層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、ややしまる。
- 2層 10R2②(黒層)に10R5 6(黄層)が9、10R5 6(黄層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、ややしまる。
- 地山 10R5 6(黄層)に、10R2②(黒層)が9、炭化物が9、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、ややしまる。

炉1と炉2の間で検出された埋藏炉、明確な結果は認められなかった。本来は、床面に埋設されたものだろう。蓋の応がる。積土は検出されなかった。

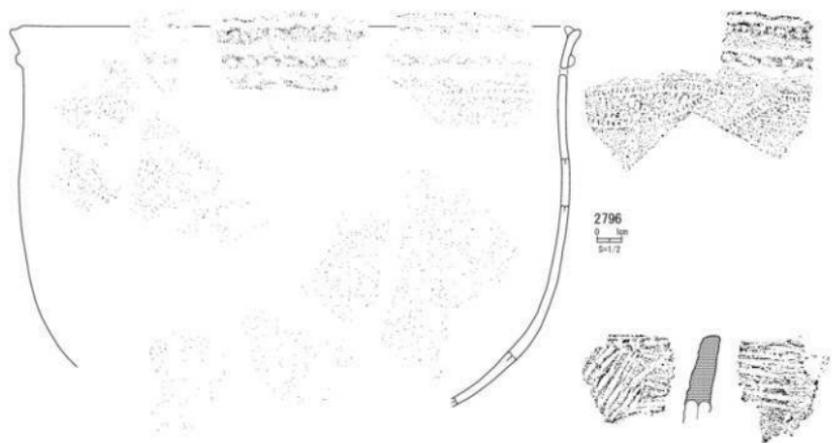
PJ073 号住居



PJ073 号住居出土遺物



PJ073 号住居出土遺物



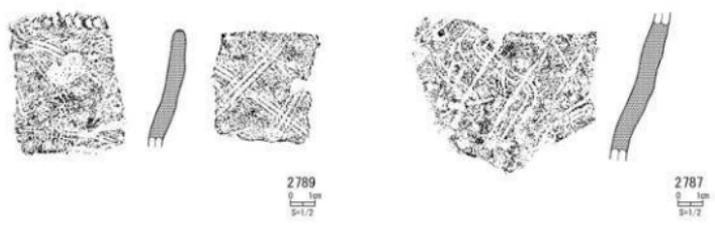
2796
0 1cm
x=1/2

2795
0 1cm
x=1/2



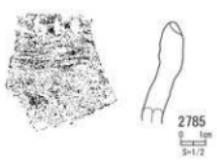
2786
0 1cm
x=1/2

2788
0 1cm
x=1/2



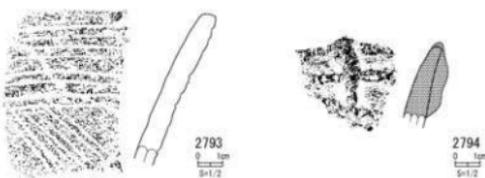
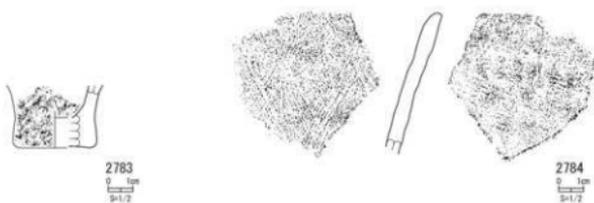
2789
0 1cm
x=1/2

2787
0 1cm
x=1/2



2785
0 1cm
x=1/2

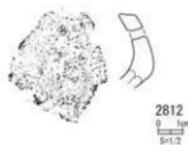
PJ073 号住居出土遺物



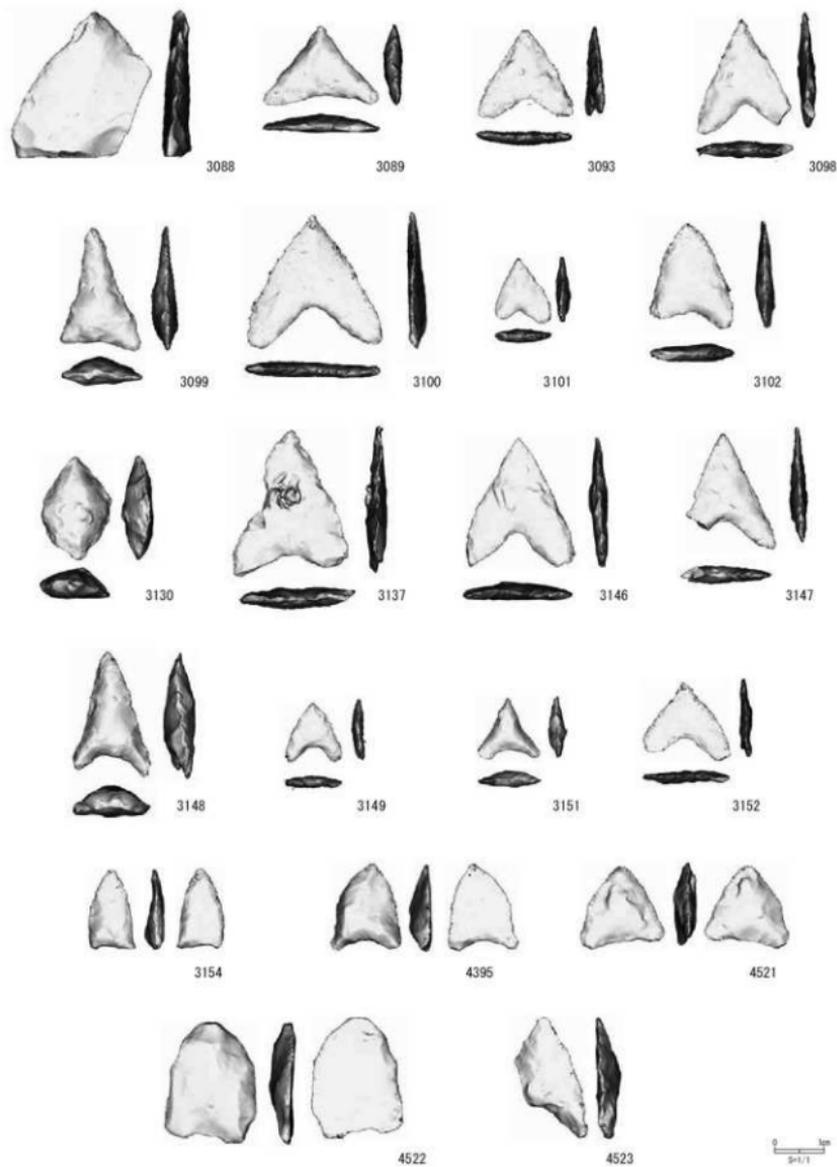
PT-1196



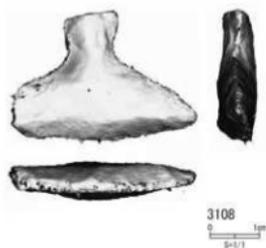
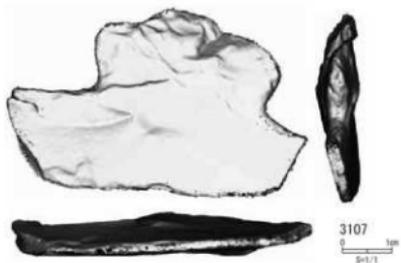
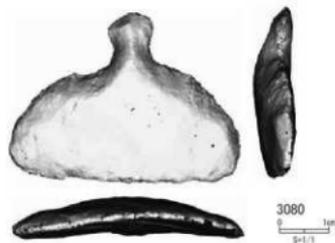
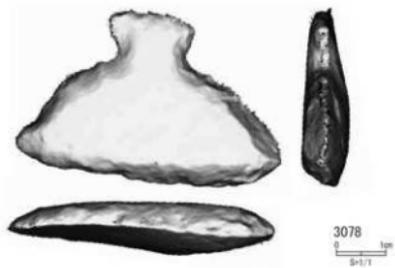
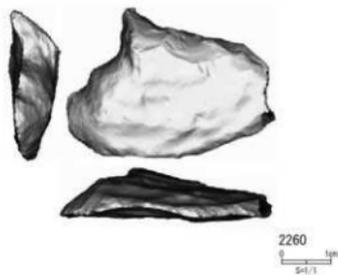
PT-1350



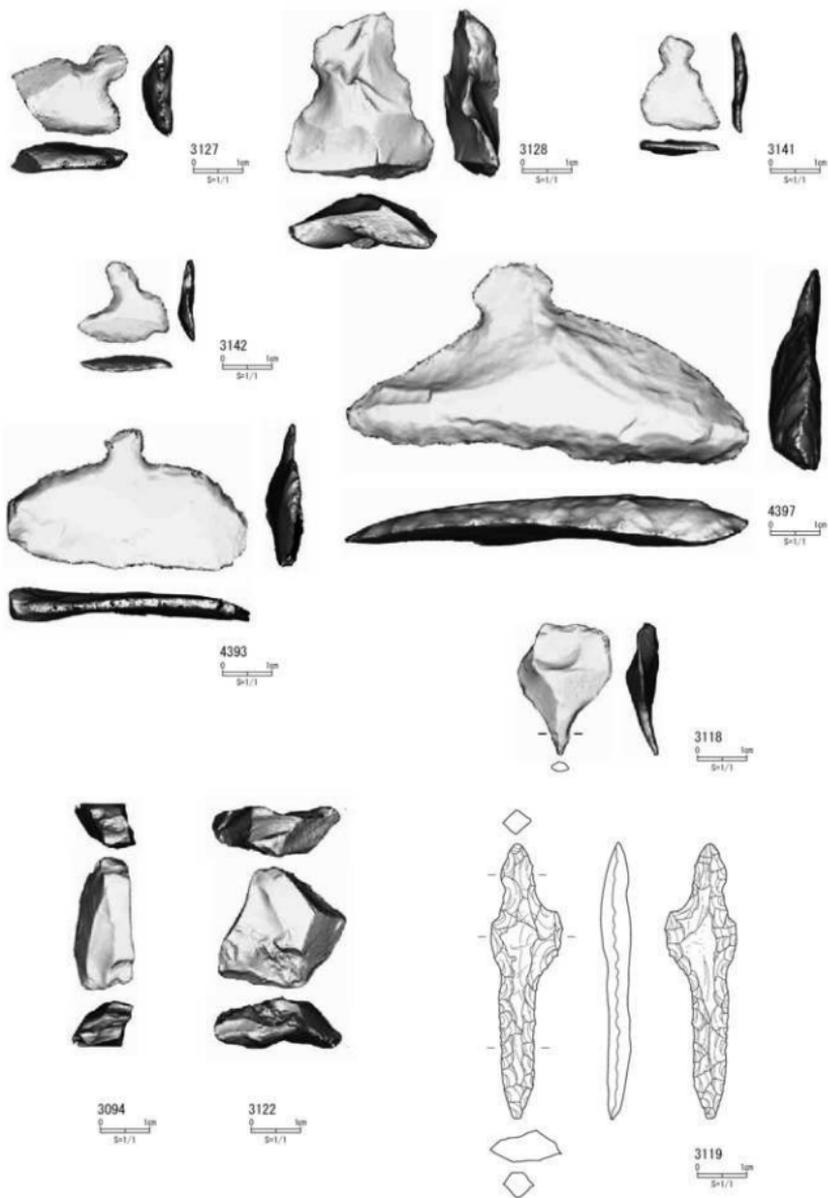
PJ073 号住居出土遺物



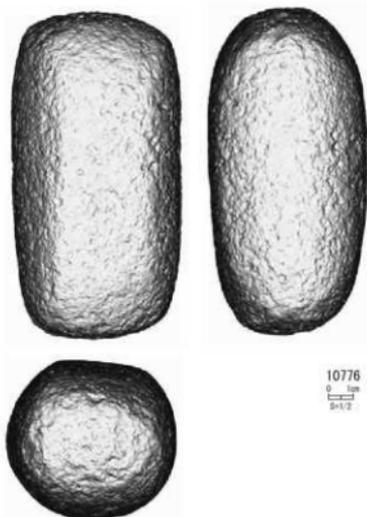
PJ073 号住居出土遺物



PJ073 号住居出土遺物



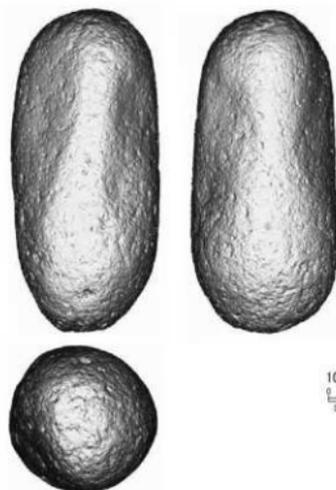
PJ073 号住居出土遺物



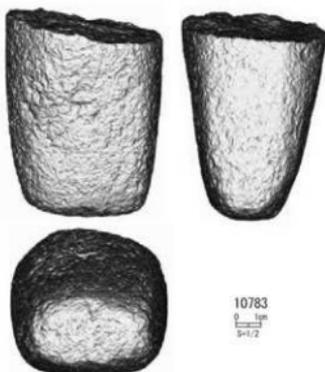
10776
0 1cm
5=1/2



10777
0 1cm
5=1/2

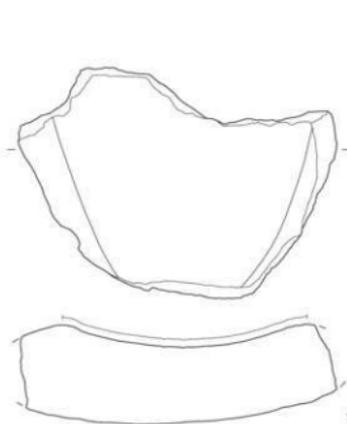


10778
0 2cm
5=1/2



10783
0 1cm
5=1/2

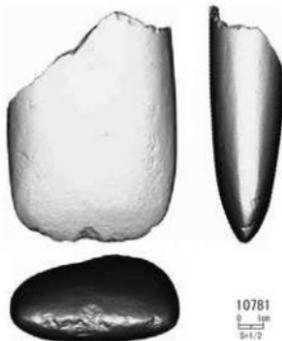
PJ073 号住居出土遺物



10774
0 2cm
S=1/4



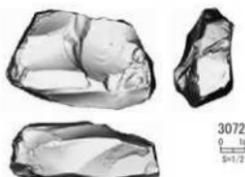
10775
0 2cm
S=1/4



10781
0 1cm
S=1/2



10791
0 1cm
S=1/2

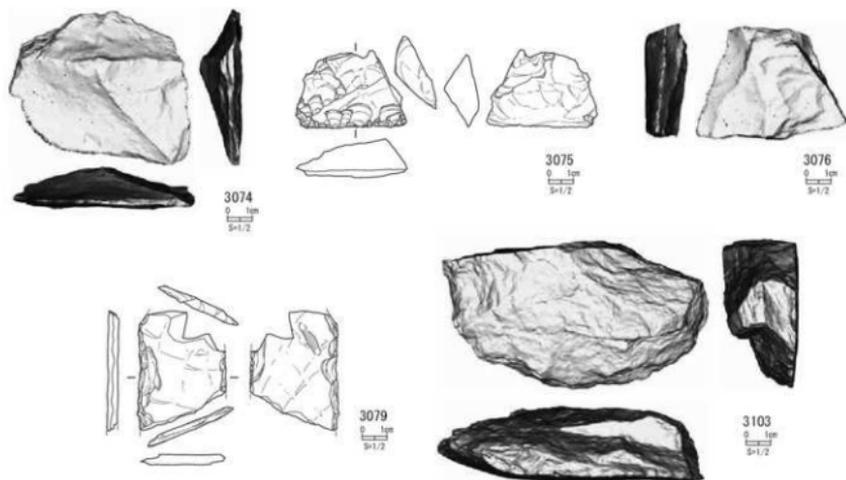


3072
0 1cm
S=1/2



4394
0 1cm
S=1/2

PJ073 号住居出土遺物



PJ073 号住居出土遺物



PJ073
炉体土器を伴う地床炉 (PT1352)

PJ073号住居 土器観察表

実測 番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2757	PJ-71・PJ-73 埋 差炉 器1	胴部～ 底部	-	-	6.6	303.0	破片	5YR4/6 5YR4.6	PT1352 出土。PJ73号住居の炉体土器。内外面黒化。腫脹b式
2767	PJ-73 25	胴部～ 底部	-	-	10.8	790.0	破片	2.5YR4/4 5YR5.6	PT1351 南側。灰面出土。縄文。内面ミガキ。腫脹式
2768	PJ-73 28、K-5- 25	口縁部 ～胴部	(30.0)	-	-	336.0	破片	7.5YR5/6 7.5YR6.6	頸部に孔1ヶ所。内外面黒化。腫脹b式中段階
2769	PJ-73 53、K-5- 25、PJ-74、K-6-5	口縁部 ～胴部	-	-	-	318.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR6.4	波状口縁。やや幅広い押し引き木の縄文。内面ミガキ。腫脹b式中段階
2770		口縁部 ～胴部	(32.8)	-	-	224.0	破片	7.5YR4/3 5YR4.3	木の縄文の浅斜線状。内面ミガキ。腫脹b式
2771	PJ-73 11	胴部	-	-	-	80.0	破片	7.5YR5/4 5YR3.2	南壁少し。埋土層出土。木の縄文。内面ミガキ。腫脹a式新段階か
2772	PJ-73 15、PJ-73	口縁部	-	-	-	53.0	破片	10YR4/2 10YR3.2	やや内湾する口縁部に粘土絶貼付。孔列。内外面ミガキ。内外面赤彩。
2773	PJ-73 30	胴部	-	-	-	148.0	破片	5YR5.6 5YR5.6	底部破片。縮れみ成で割れている。内外面黒化
2775	PJ-73	胴部～ 底部	-	-	-	28.0	破片	5YR4/4 5YR4.4	手づくねのミニチュア土器
2776	PJ-73	口縁部	-	-	-	129.0	破片	5YR4.6 5YR5.6	斜み隆縁。円形刺突文。内面ミガキ。腫脹b式中段階
2777	PJ-73	口縁部 ～胴部	-	-	-	99.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5.6	内外面ミガキ。腫脹式
2778	PJ-73、PJ-75	胴部	-	-	-	139.0	破片	5YR4/4 5YR4.3	鉢形器形か。粗珠の押し引き木の縄文。内面ミガキ
2779	PJ-73	口縁部	-	-	-	41.0	破片	5YR4/4 5YR3.2	波状口縁。口縁部斜み。粗珠押し引。併成前穿孔あり。腫脹b式
2780	PJ-73	口縁部	-	-	-	124.0	破片	5YR4/3 5YR3.2	縄文地文に竹管平行沈線。磨れた木の縄文。内面ミガキ。腫脹b式中段階
2781	PJ-73	口縁部 ～胴部	(32.9)	-	-	439.0	破片	5YR4.6 7.5YR3/3	縦い波状口縁。口縁部斜み。縄文地文と木の縄文。腫脹b式中段階
2782	PJ-73、K-6-5	胴部	-	-	-	55.0	破片	5YR3/3 7.5YR3/2	円文と格子目状区間文。腫脹a式新段階
2783	PJ-73	胴部～ 底部	-	-	(3.4)	11.0	破片	5YR6.6 5YR5.6	ミニチュア土器。まばらな縄文。胎土質から神ノ木式と思われる
2784	PJ-73	口縁部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6.4	外面格子目条線文。内面指頭圧痕。器壁4mm強と薄手。木鳥式
2785	PJ-73	口縁部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR2/1 7.5YR4.2	口唇部に爪形斜み。内外面指頭圧痕と整形痕が残る。胎土に繊維が混じらない。中越式
2786	PJ-73	口縁部	-	-	-	59.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR7/4	大きく外反する口縁部。内外面指頭圧痕とナデ痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2787	PJ-73	胴部	-	-	-	40.0	破片	2.5YR5/6 5YR4.3	蛇行する平行沈線。内面指頭圧痕。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2788	PJ-73	口縁部	-	-	-	32.0	破片	7.5YR7/6 5YR6.6	外面斜目条線。内面蛇行する条線文。胎土に繊維を多量に含む。中越式併行
2789	PJ-73	口縁部	-	-	-	19.0	破片	10YR7/4 10YR4/1	外面は乱珠な条線文。内面は格子目条線文。胎土に繊維を含む。中越式併行
2790	PJ-73	口縁部	-	-	-	23.0	破片	5YR6.6 5YR5.4	肥厚する口縁に樹皮状工具の縦刺突。縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2791	PJ-73	口縁部	-	-	-	38.0	破片	5YR6.6 5YR3/1	肥厚口縁と小突起。樹皮状工具の縦刺突と条線文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2792	PJ-73	口縁部	-	-	-	15.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6.4	波状口縁。角ばった口唇。未焼成付縄文。内面ヨコナデ。R65 出土の土器2070と同一体。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2793	PJ-73	口縁部	-	-	-	75.0	破片	7.5YR4/3 5YR5.6	竹管平行沈線文。内面ナデミガキ。胎土に繊維を含まない。有尾式
2794	PJ-73	口縁部	-	-	-	14.0	破片	7.5YR6/6 5YR4.3	波状口縁。波頂部附近隆帯添付の小突起。丸い口唇部の外面縁角に爪形斜み。口唇に平行する斜み隆帯2条。内面は縦拍条線文を磨り消すようにナデ磨。器壁9.5mm程度。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2795	PJ-73	口縁部	-	-	-	13.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6.4	波状口縁。やや尖る口唇部。外面は粗い格子状ナデ条線文。口唇上と内面に縦拍の条線文。器壁は9mm程度。胎土に繊維を多量に含む。早期末葉か
2796	PJ-73、K-5-13、 1884-1	口縁部	22.2	-	-	148.0	破片	5YR7/6 5YR7.6	平坦な口唇部に凹縁。斜み隆帯。粗珠押し引き木の縄文に縄文文塊。内面ミガキ。内外面赤彩。器壁は4mmと薄手。胎土に繊維を含まない。北白川下層Ⅱc式と腫脹式の折衷土器
2812	PT-1350	口縁部 ～胴部	-	-	-	10.0	破片	5YR6.6 5YR6.6	PT1350 出土。手づくねミニチュア土器。焼成前穿孔あり。
2813	PT-1196	口縁部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR7.4	PT1196 出土。口唇部斜み。縮れ縁貼付。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。北白川下層Ⅱc式

PJ073号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2260	PJ-71 13	石匙	黒曜石	1/1	33.0	44.0	9.0	11.20	PT1197とPT1351の中間、床面出土。とがたつみ部。刃部は片面調整、片割縁欠損。すりガラス状半透明黒曜石
3070	PJ-73 56	石匙	砂岩	3/4	87.0	125.0	16.0	140.20	PT1211とDK90の中間、床面から25cm浮いて出土。刃部は両刃、わずかに磨耗か、細粒砂岩
3071	PJ-73 49	石匙	頁岩	1/1	62.0	72.0	13.0	52.10	PT1211上、床面から21cm浮いて出土。刃部は両刃、黄色く風化し使用痕不明
3072	PJ-73 13	原石	黒曜石					67.80	角縁ズリ。両端欠け、床面から11cm浮いて出土
3074	PJ-73	割面のある 割片	頁岩	1/1	61.0	80.0	16.0	60.30	割片の薄い縁辺に微小割面。割面は片面に発達しやや磨耗。反対面の刃部付近は面的に弱く磨耗
3075	PJ-73	割面のある 割片	チャート	1/1	44.0	30.0	12.0	16.30	割片の薄い縁辺に微小割面。黄灰色と赤褐色のチャート
3076	PJ-73	割面のある 割片	チャート	1/1	55.0	51.0	16.0	43.60	割片の薄い縁辺に微小割面。緑灰色のチャート
3077	PJ-73	割面のある 割片	頁岩	3/4	31.0	64.0	7.0	12.70	薄い割片の縁辺に微小割面。やや磨耗
3078	PJ-73	石匙	頁岩	1/1	34.0	54.0	9.0	16.60	刃部は片面調整。指器状の急傾斜。黄色く風化した頁岩。使用痕不明
3079	PJ-73	割面のある 割片	頁岩	1/2	36.0	48.0	5.0	11.10	薄い板状割片の縁辺2辺に刃部調整。刃部は弱く磨耗。
3080	PJ-73 47	石匙	チャート	1/1	35.0	46.0	7.0	10.10	PT1208 西側、床面から25cm浮いて出土。刃部は薄く片面調整。微小割面。黄灰色と赤褐色のチャート
3081	PJ-73	割面のある 割片	チャート		35.0	30.0	9.0	11.70	赤褐色チャート
3082	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	41.0	18.0	6.0	5.90	未成品。基部割縁片。石器3088と同一体もしくは同一母岩か。
3083	PJ-73	石匙	チャート	3/4	28.6	20.0	4.1	2.68	未成品。三角形状ができた段階。両面加工。乳白色チャート
3084	PJ-73	割面のある 割片	珪質頁岩		25.8	21.0	6.1	4.30	短帯状割片の縁辺2辺に微小割面。白筋のある灰色珪質頁岩。磨入石材
3085	PJ-73	原石	黒曜石					10.70	角縁ズリ。白筋のある濃黒黒曜石
3086	PJ-73	石匙	チャート		22.5	20.9	2.4	1.03	未成品。三角形状ができた段階。基部割縁欠損。暗赤褐色チャート
3087	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	24.4	19.5	11.4	4.14	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。黒筋入り半透明黒曜石
3088	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	34.2	28.1	5.7	4.76	未成品。三角形状が分かる段階。大きな素材。一部欠損。赤褐色粗入り黒曜石
3089	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	16.4	23.3	3.6	0.79	凹基。幅立。両面加工。すりガラス状の半透明黒曜石。被熱か
3090	PJ-73	石匙	黒曜石	3/4	18.5	-	4.4	(0.93)	凹基。幅立。両面加工。片割欠損。黒筋入り半透明黒曜石
3091	PJ-73	石匙	黒曜石	3/4	23.9	-	5.6	(1.22)	凹基。両面加工。片割欠損。素材の厚みが残る稀地なつくり。半透明黒曜石
3092	PJ-73	石匙	黒曜石	1/2	15.3	24.4	4.9	1.56	未成品。三角形状が分かる段階。先端割縁欠損。黒筋入り黒曜石
3093	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	19.3	20.1	3.0	0.67	凹基。幅立。両面加工。ていねいなつくり。透明黒曜石
3094	PJ-73	両端石器	黒曜石	1/1	27.0	15.0	9.0	3.10	角柱状破片の両端に衝撃割面。灰色の半透明黒曜石
3095	PJ-73	石匙	黒曜石	1/2	24.1	-	3.8	(0.94)	凹基。幅立。両面加工。片割欠損。赤褐色粗入り黒曜石
3096	PJ-73	石匙	黒曜石	-	-	-	3.0	(0.48)	凹基。幅立。両面加工。片割欠損。灰色の半透明黒曜石
3097	PJ-73	石匙	黒曜石	3/4	22.8	-	3.5	(1.04)	大形。凹基。両面加工。片割欠損。ていねいなつくり。赤褐色粗入り黒曜石
3098	PJ-73	石匙	黒曜石	3/4	24.8	(20.4)	3.7	(1.10)	大形。凹基。両面加工。片割先端欠損。ていねいなつくり。すりガラス状の半透明黒曜石。被熱か。
3099	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	26.3	16.7	5.3	1.23	凹基。縮身。両面加工。素材の厚みが残るやや稀地なつくり。黒筋のある透明黒曜石
3100	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	27.7	27.6	2.9	1.44	大形。凹基。両面加工。ていねいなつくり。透明黒曜石
3101	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	13.5	11.8	2.9	0.31	小形。凹基。両面加工。黒筋のあるブルーブラック黒曜石
3102	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	21.3	17.2	3.6	0.99	凹基。両面に主割面が残る。片割先端欠損。透明黒曜石
3103	PJ-73 27	割面のある 割片	砂岩	1/1	63.0	110.0	30.0	233.40	PT1197とPT1351の中間、床面出土。凹縁面が残る厚手の割片の縁辺に片割から刃部調整。刃部は弱く磨耗。細粒砂岩
3105	PJ-73	割片	黒曜石		34.0	41.0	19.0	29.70	菱角縁ズリ面が残る。灰色がかった半透明黒曜石
3106	PJ-73	原石	黒曜石					12.20	白色夾雑物が管状に亘る半透明黒曜石

PJ073号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3107	PJ-73 18	石匙	頁岩	3/4	38.0	61.0	8.0	16.20	PT1211とDK680の中間、床面から25cm浮いて出土。石器3070と並んで出土。刃部は素刃、微小割傷。刃部に直交する線条痕がわずかにあり、弱く磨耗
3108	PJ-73 35	石匙	珪質頁岩	3/4	27.0	38.0	7.0	5.50	PT1348とPT1414の中間、床面で出土。刃部は片刃で接ぎ口の急傾斜、裏面に微小割傷。
3109	PJ-73	康石	黒曜石					10.40	六角柱状、風化面に囲まれる。長軸端部折れ。透明黒曜石
3110	PJ-73	康石	黒曜石					8.00	ズリ。透明黒曜石
3111	PJ-73	康石	黒曜石					6.60	角縁ズリ。白斑点の透明黒曜石
3112	PJ-73	康石	黒曜石					4.40	角縁ズリ。透明黒曜石
3113	PJ-73	石鏃	黒曜石	-	-	16.6	3.1	(0.36)	凹基。基部剥離片。透明黒曜石
3114	PJ-73	砕片	黒曜石					13.70	河川転石状の破面。すりガラス状剥離面。被熱か。半透明黒曜石
3115	PJ-73	康石	黒曜石		42.0	30.0	17.0	21.30	角縁ズリ。調整剥離あり。半透明黒曜石
3116	PJ-73	剥離のある 削片	黒曜石					14.00	角縁ズリの1辺に割傷と微小割傷。半透明黒曜石
3117	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	25.0	32.0	8.0	5.40	未成品か。つまみ部が不明瞭な三角形。刃部は片刃で裏面に微小割傷。灰色球状の夾雑物が埋まる半透明黒曜石。すりガラス状。被熱か
3118	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	27.0	19.0	5.0	1.80	鋒部先端が弱く磨耗。透明黒曜石
3119	PJ-73	石鏃	珪質頁岩	1/1	55.0	14.0	7.0	3.60	長軸両端部に突った鋒部。どちらにも使用痕はみられない。青灰色珪質頁岩
3120	PJ-73	康石	黒曜石					6.20	板状康石。透明黒曜石
3121	PJ-73	康石	黒曜石					9.10	歪角縁ズリ。一尖コア
3122	PJ-73	両縁石器	黒曜石	1/1	26.0	26.0	10.0	6.30	角縁ズリ面が残る砕片の高端部に衝撃割傷。灰色底の半透明黒曜石
3123	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	20.2	18.7	3.5	1.19	未成品。三角形の削片の2辺に調整剥離。赤褐色珪入り黒曜石
3124	PJ-73 36	石匙	チャート	1/1	28.0	35.0	10.0	6.90	PT1348とPT1347の中間、床面から5cm浮いて出土。刃部は片刃、急傾斜。使用痕はみられない。青灰色チャート
3125	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	32.0	24.0	12.0	7.89	未成品。三角形ができて。素材の厚みが残る段階。巻込状半透明黒曜石
3126	PJ-73	石匙	チャート	1/2				4.20	つまみ部のみ破片。刃部剥離剥離面。明灰色チャート
3127	PJ-73 21	石匙	珪質頁岩	3/4	20.0	26.0	5.0	3.00	PT1194西縁。床面から4cm浮いて出土。器体一部欠損。刃部は片刃。使用痕はみられない。明灰色珪質頁岩。輸入石材
3128	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	34.0	30.0	11.0	7.70	未成品。片面に破面が残る。透明黒曜石
3129	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	17.4	13.5	2.4	0.47	未成品か。凹基。縁辺加工。種物なつくり。黒部のあるブルーブラック黒曜石
3130	PJ-73 土サ ンプル②	石鏃	黒曜石	1/1	21.2	14.0	6.2	1.51	未成品。菱形形状で素材の厚みが残る。透明黒曜石
3131	PJ-73 土サ ンプル②	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.0	(0.18)	大形石鏃の脚部破片。透明黒曜石
3132	PJ-73	石鏃	黒曜石	-				(0.34)	大形石鏃の断片。黒部のある半透明黒曜石
3133	PJ-73	石匙	黒曜石					0.80	破面が残る。石匙の片刃刃部に似た調整。石匙の断片か。
3134	PJ-73	石鏃	黒曜石	-				(0.15)	石鏃部破片。透明黒曜石
3135	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	13.7	10.6	2.5	0.30	未成品。小形。縁辺加工。種物なつくり。透明黒曜石
3136	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/2				1.13	未成品。三角形が分かる段階。先端欠損。灰色夾雑物が埋まる透明黒曜石
3137	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	29.3	22.9	3.7	1.79	未成品か。大形。凹基。両面加工。片剥離が夾雑物で欠け。黒部半透明黒曜石
3138	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	(19.0)	-	3.2	(0.54)	凹基。両面加工。片剥加工。ていねいなくつくり。黒部黒曜石
3139	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	19.3	-	2.9	(0.50)	凹基。両面加工。片剥加工。青灰色不透明黒曜石。神津島産?
3140	PJ-73	石鏃	チャート	3/4	(20.4)	-	3.7	(0.66)	凹基。長部。両面加工。先端。片剥加工。赤色チャート
3141	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	19.6	16.2	2.6	0.68	ミニチュア。すりガラス状の削片の縁辺のみを調整。剥離面は透明。透明黒曜石
3142	PJ-73	石匙	黒曜石	1/1	16.5	17.9	2.9	0.55	ミニチュア。破面が残る削片の縁辺のみを調整。透明黒曜石
3143	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	23.3	21.1	4.7	1.96	未成品。三角形ができた段階。すりガラス状。被熱。透明黒曜石
3145	PJ-73 土サ ンプル②	石鏃	黒曜石	-				0.51	未成品。削片の縁辺に調整。黒部黒曜石
3146	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	26.6	21.8	3.6	1.31	大形。凹基。両面加工。赤褐色珪入り黒曜石

PJ073号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3147	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	24.0	(18.6)	3.7	(0.81)	大形、凹基、両面加工、片削欠損、透明黒曜石
3148	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	25.1	15.5	6.1	1.36	凹基、両面加工。素材の厚みが残り、脚長が不揃い、稚拙なつくり。葛湯状透明黒曜石
3149	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	13.1	12.1	2.3	0.25	小形、凹基、片面加工、片面縁辺調整のみ、ついでないつくり。透明黒曜石
3150	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.3	2.9	(0.48)	凹基、両面加工、先端、片削欠損。黒曜透明黒曜石。
3151	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	12.9	13.0	3.4	0.28	小形、凹基、両面加工。黒筋のブルーブラック黒曜石
3152	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	16.6	18.6	2.5	0.45	凹基、幅広、両面加工。透明黒曜石
3153	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	16.4	14.6	3.2	0.72	未成品。凹基、先端欠損。葛湯状半透明黒曜石
3154	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	16.9	10.0	3.7	0.47	凹基、幅広、縁辺加工。漆黒黒曜石
4386	PT-1405	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				5.70	PT1405 出土。角縁ズリ面が残る剥片の1辺に掻磨状の刃部調整。刃部に微小剥離と波れ。黒炭入り透明黒曜石
4393	PT-1349	石匙	珪質頁岩	1/1	29.0	49.0	6.0	6.50	PT1349 出土。刃部は素刃で微小剥離がある。被熱変色か。
4394	PT-1349	原石	黒曜石		46.0	28.0	17.0	20.20	PT1349 出土。一発コア。角縁ズリ。凹筋のある漆黒黒曜石
4395	PT-1211	石鏃	黒曜石	1/1	18.1	14.8	4.3	0.94	PT1211 出土。凹基、縁辺加工。稚拙なつくり。半透明黒曜石
4396	PT-1199	剥片	黒曜石	1/1				22.80	PT1199 出土。河川転石状の縁面が残る剥片。球状欠損物が混じる半透明黒曜石
4397	PT-1209	石匙	泥岩	1/1	40.0	82.0	10.0	24.20	PT1209 出土。刃部は片刃。掻磨状の色顔料。使用痕はみられない。淡オリーブ色の軟質泥岩
4521	PT-1194	石鏃	黒曜石	1/1	16.3	17.3	4.7	0.98	PT1194 出土。凹基、両面加工。素材の厚みが残る稚拙なつくり。葛湯状透明黒曜石
4522	PT-1193	石鏃	黒曜石	1/1	24.4	18.6	5.3	2.04	PT1193 出土。未成品。ズリ面が残る。凹基。原形ができた段階。漆黒黒曜石
4523	PT-1193	石鏃	黒曜石	3/4	24.5	-	4.4	(1.04)	PT1193 出土。大形、凹基、両面加工、片削欠損。黒炭入り透明黒曜石
7632	IG-6814	磨石類	安山岩類	-				600	PT1212 上。床面から 30 cm 浮いて出土。長楕円形の広い 2 面と側面 2 面が磨耗。側面は砥磨石状。被熱変色。破砕。長軸端部に射打痕。
8163	PJ-73	石鏃	黒曜石	3/4	18.2	15.2	2.9	0.63	凹基、両面加工、先端欠損。調整刻痕はやや粗く、未成品か。反色がかった半透明黒曜石
8164	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	34.2	18.7	4.4	1.84	未成品。剥片縁辺 2 辺に調整刻痕。三角形状が分かる段階。黒筋のある透明黒曜石
8165	PJ-73	石鏃	黒曜石	1/1	22.5	17.1	4.0	1.22	未成品。剥片縁辺 2 辺に調整刻痕。三角形状が分かる段階。葛湯状半透明黒曜石
8166	PJ-73	剥離のある 剥片	チャート	1/2	16.3	16.7	3.6	1.02	剥片に調整刻痕。石鏃未成品か? 赤褐色チャート
8400	PJ-73 46	台石	凝灰岩	1/1	60.0	90.0	19.0	88.70	扁平線の断片。平坦部が弱く磨耗。台石破片と思われる。
10774	PJ-73 10	石皿	安山岩類	-	(195.0)	(257.0)	(85.0)	4.600	DK57 と PT1211 の中間。床面から 17 cm 浮いて出土。皿部中心が磨耗。側面は打ら欠かれている。底面に射打集中の凹み 1ヶ所
10775	PJ-73 26	石皿	安山岩類	-	(282.0)	(190.0)	(108.0)	3.900	PT1351 西側。床面から 6 cm 浮いて出土。皿部中心が平坦に磨耗。側面に煤状の黒色物質が付着
10776	PJ-73 33	磨石類	安山岩類	1/1	133.0	67.0	66.0	943	PT1349 西側。床面から 12 cm 浮いて出土。儀形の円縁の全面が磨耗。広い皿部の中心に射打集中の凹み
10777	PJ-73 23	磨石類	安山岩類	3/4	(97.0)	65.0	30.0	274	DK79 西側。床面から 9 cm 浮いて出土。扁平円縁の平坦な 2 面が顯著に磨耗。射打集中の凹み
10778	PJ-73 55	磨石類	安山岩類	1/1	87.0	194.0	90.0	2.150	PT1348 と PT1414 の中間。床面で出土。棒状面円縁の縁が砥磨石状にやや磨耗。
10779	PJ-73 41	磨石類	緑色岩	1/1	83.0	49.0	44.0	229	DK30 南側。埋土層出土。不整形な扁平線の平坦な 3 面が磨耗。
10781	PJ-73 52	磨製石斧	緑色岩	-	(90.0)	68.0	(34.0)	271	PT1211 北端。床面出土。刃部に刃こぼれ。幅広で断面隅丸方形の前部によるみ形
10782	PJ-73 38	磨石類	砂岩類	1/2	(73.0)	47.0	30.0	168	DK30 東側。床面から 3 cm 浮いて出土。細長い円縁の広い 2 面が顯著に磨耗。射打による鋭い凸状の凹み。細粒砂岩
10783	PJ-73 34	磨石類	安山岩類	1/2				416	PT1348 と PT1350 の中間。床面から 4 cm 浮いて出土。断面隅丸方形の扁平線の 4 面が磨耗。平坦な 2 面に射打集中の凹み
10785	PJ-73 14	台石	安山岩類	不明				276	南壁近く。DK50 東側の埋土層下層出土。台石右石面の底面破片か。射打集中の凹み 1ヶ所あり
10791	PJ-71 21	ハンマー	砂岩類	1/1	119.0	51.0	31.0	289	PT1199 上の床面出土。棒状面円縁の長軸端部に射打による平坦面。細粒砂岩

PJ075 号住居

- 位置**：K-5、K-6 グリッドに位置する。PJ079 号住居と PJ088 号住居を切り、PJ073 号住居に切られる。DK483 号集石土坑などの土坑に切られ、DK-571 号土坑を切る。
- 規模**：南北長 4.8m、東西長 4.7m のほぼ円形の平面形で、竪穴は深さ 50 cm が残る。
- 埋土**：黒褐色土と暗褐色土がレンズ状に堆積する埋土で、自然埋没した住居と思われる。床面上で炭化材と焼土が出土した。焼土住居の可能性があるが、炭化材は断片的で、かつ多くが土壌化していて垂木などが放射状に分布する状況は確認できなかったため確認はしない。
- 床面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。住居中心部が踏みしまって硬化していたが、貼床は検出されなかった。北西角などに風化した花崗岩が露出するが床面と同じ高さで平坦に削られていた。
- 炉**：PT1279 号ピットと PT1280 号ピットのあいだの床面が被熱して焼土化していた。これが地床炉と思われる。
- 周溝**：東壁から北壁、西壁にかけて断片的な小溝を検出した。西壁沿いでは同心円状に複数の小溝がめぐっていた。
- 柱穴**：多数のピットを検出したが PJ079 号住居、PJ088 号住居と重複するため、これらの住居の柱穴が含まれる。ピットの形状、深さ、位置からそれぞれの住居の柱穴を検したが周溝の数にみあった柱穴の組み合わせは想定できなかった。PJ075 号住居の柱穴は PT1280、PT1273、PT1276、PT1565 号ピットの 4 基と思われる。これらは 55 cm から 66 cm と深く、掘り方も揃っている。PT1565 号ピットのみやや浅く、掘り方が小さいが地山礫の隙間を掘り込んでいるためと思われる。
- 出土遺物**：遺物は埋土全体から出土した。住居の時期を端的に示すような出土状況は確認されなかった。出土した土器からみると PJ079 号住居から混入した遺物も多数含まれていると思われる。
- 出土した土器の総量は 58,330g で、早期土器 379g、木鳥式 770g、中越式 7,441g、清水ノ上Ⅱ式 11g、神ノ木式 5,250g、関山式 302g、有尾式 1,447g、釈迦堂 23 式 260g、諸磯 a 式 2,010g、諸磯 b 式 1,578g、諸磯式 31,790g、北白川下層Ⅱ式 143g、前期土器破片 6864g などである。
- 出土した石器の内訳は、石鏃 59 点、削器 5 点、石匙 11 点、石錐 6 点、両極石器 4 点、打製石斧 1 点、磨石類 9 点、石皿破片 3 点、台石破片 10 点、玦状耳飾 1 点、剥離のある剥片 16 点、ハンマー 4 点、磨製石斧 1 点、黒曜石原石 23 点、円礫 4 点、礫 1 点、黒曜石などの剥片・砕片 1,174 点 3,928g である。
- 時期**：住居の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。PJ079 号住居は後述のとおり諸磯 a 式古段階に位置づけられ、一方、本住居を切る DK571 号土坑で諸磯 b 式古段階の土器が出土している。さらに出土した土器破片は諸磯 a 式と諸磯 b 式が拮抗している。これらを勘案すると本住居は諸磯 a 式新段階もしくは諸磯 b 式古段階に位置づけられようか。

PJ079 号住居

- 位置**：K-5、K-6 グリッドに位置する。PJ088 号住居を切り、PJ073 号住居と PJ075 号住居に切られる。SY-001 号集石土坑、DK-477 号集石土坑、DK513 号土坑、DK571 号土坑、DK576 号土坑、SY-006 (DK524) 号集石土坑に切られる。
- 規模**：南北長 6.2m、東西長推定 5.5m 程度の楕円形の平面形と思われる。竪穴は深さ 40 cm が残る。南壁沿いで壁が二重に検出され、高さの異なる床面も検出されたことから建替えが想定される。
- 埋土**：わずかに残る埋土は暗褐色で壁際に三角堆積した状況がうかがえた。
- 床面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬化面、貼床は検出されなかった。

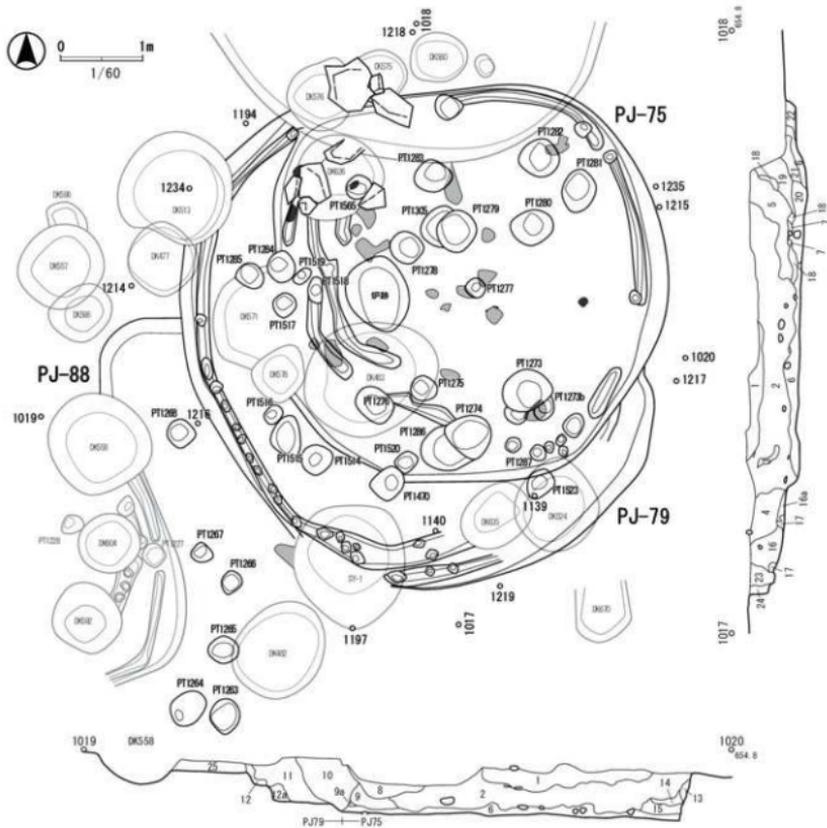
- 炉** : PT1278 号ピットと DK483 号集石土坑の間で楕円形の浅いくぼみと焼土を検出した。これが PJ079 号住居の地床炉と思われる。
- 周溝** : 西壁沿いで小穴を伴う小溝を検出した。
- 柱穴** : 地床炉を中心に PT1284、PT1305、PT1273b、PT1470 号ピットの 4 基を想定した。これらは深さが 40 cm から 50 cm と深く、掘り方もほぼ共通する。PT1273b 号ピットは PJ075 号住居柱穴と想定した PJ1273 号ピットに切られる。
この 4 基の柱穴の組み合わせを西にずらしたような形で 4 基のピットの組み合わせを想定した。すなわち PT1285、PT1278、PT1274、PT1514 号ピットの 4 基である。深さ、掘り方形状ともにやや不揃いである。
PT1280、PT1283、PT1520、PT1516 の 4 基は PJ075 号住居と PJ079 号住居にまたがっているが、長方形に配置され、深さは 33 cm から 55 cm である。PJ075 号住居、PJ079 号住居柱穴の組み合わせと軸方向が大きくずれるが、柱穴の組み合わせとして想定しておく。
- 出土遺物** : 出土した土器の総量は 4,395g で、中越式 767g、神ノ木式 156g、有尾式 162g、諸磯 a 式 1772g、諸磯 b 式 15g、諸磯式 1,132g、前期土器破片 267g などである。
出土した石器の内訳は、石鏃 7 点、削器 1 点、石匙 1 点、磨石類 1 点、礫器 1 点、剥離のある剥片 3 点、ハンマー 1 点、黒曜石原石 4 点、礫 1 点、黒曜石などの剥片・破片 15 点 64g である。
- 時期** : PT1515 付近の床面で出土した大きな土器破片は諸磯 a 式古段階であることから、本住居は当該時期の遺構と推測される。

PJ088 号住居

- 位置** : K-5 グリッドに位置する。PJ075 号住居、PJ079 号住居に切られ、PJ083 号住居と重複する。DK482 号集石土坑、SY-001 号集石土坑、DK558 号土坑に切られる。
- 規模** : 北西角の壁を検出したのみで規模、形状は分からない。おそらく隅丸方形ないし隅丸長方形の小ぶりな住居と思われる。
- 埋土** : 暗褐色土の埋土であったが堅穴の保存状態が不良で堆積状況は確認できなかった。
- 床面** : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬化面、貼床は検出されなかった。
- 炉** : SY-001 号集石土坑の西脇で地山が被熱、焼土化した箇所を検出した。
- 周溝** : 検出されなかった。
- 柱穴** : PT1268、PT1275、PT1266 号ピットの 3 基に加え、DK635 号土坑に切られて失われたピットを想定した 4 基を柱穴と考えた。深さは 40 cm から 46 cm で掘り方形状が類似している。PT1268 号ピットで木島式土器の小破片が出土した。
- 出土遺物** : 遺物は少ないがいずれも床面近くで出土している。大きく復元できた神ノ木式土器があった。
出土した土器の総量は 5,776g で、木島式 203g、中越式 1,832g、神ノ木式 3,615g、有尾式 25g、諸磯式 28g、前期土器破片 73g などである。
出土した石器の内訳は、石鏃 2 点、磨石類 2 点、台石 1 点、剥離のある剥片 1 点、珧状耳飾 1 点、黒曜石などの剥片・破片 15 点 64g である。
- 時期** : 床面でまとまって出土した神ノ木式土器、DK482 号土坑脇で出土した中越式併行の土器が本住居の時期を示すと考えられる。

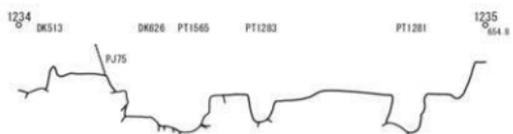
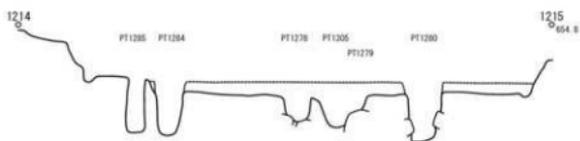
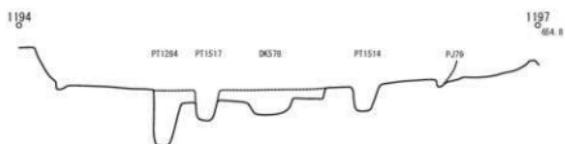
PJ075号・PJ079号・PJ088号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1263	88 住内	40×39	40	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1264	88 住内	33×40	60	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	神ノ木式
PT-1265	88 住内	30×30	30	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1266	88 住内	26×25	46	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ088 柱穴
PT-1267	88 住内	20×20	32	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	下に石あり。
PT-1268	88 住内	30×30	42	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ088 柱穴、木鳥式
PT-1273	75 住内	50×45	60	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ075 柱穴、木鳥式、中越式、有尾式、踏礎式
PT-1273b	75 住内	35	50	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、PT1273に切られる。
PT-1274	75 住内	40×35	35	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、中越式、神ノ木式、踏礎式
PT-1275	75 住内	30×27	40	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ088 柱穴
PT-1276	75 住内	44×45	66	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ075 柱穴、中越式、踏礎式?
PT-1277	75 住内	20×20	33	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1278	75 住内	40×32	33	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、木鳥式、中越式
PT-1279	75 住内	50×35	32	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	中越式、踏礎式
PT-1280	75 住内	43×46	55	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	中越式、踏礎式
PT-1281	75 住内	45×35	45	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ075 柱穴、奈良文系縄文土器、中越式、神ノ木式
PT-1282	75 住内	50×47	18	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	中越式、神ノ木式
PT-1283	75 住内	50×40	36	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1284	75 住内	38×34	50	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、踏礎式
PT-1285	75 住 西壁	34×28	48	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、木鳥式、中越式
PT-1286	75 住内	50×55	33	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	踏礎式
PT-1287	75 住内	17×15	30	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1305	75 住内	50×25	40	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴
PT-1470	75 住 南壁	37×25	50	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、踏礎式
PT-1514	79 住内	32×35	30	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ079 柱穴、神ノ木式?
PT-1515	79 住内	48×32	33	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	中越式、踏礎式
PT-1516	79 住内	20×21	19	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1517	75 住内	26×25	25	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1518	75 住内	27×17	25	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	奈良文系縄文土器
PT-1519	75 住内	21×20	16	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	中越式土器
PT-1520	75 住内	27×32	50	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1523	75 住 南壁に 架接	30×33	14	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	
PT-1565	75 住内	30×30	41	暗褐色土に黒褐色土が斑に混じる。花崗岩粒子が混じる。	PJ075 柱穴、地山の風化花崗岩の隙間を掘り込んだピット、DK26に切られる。

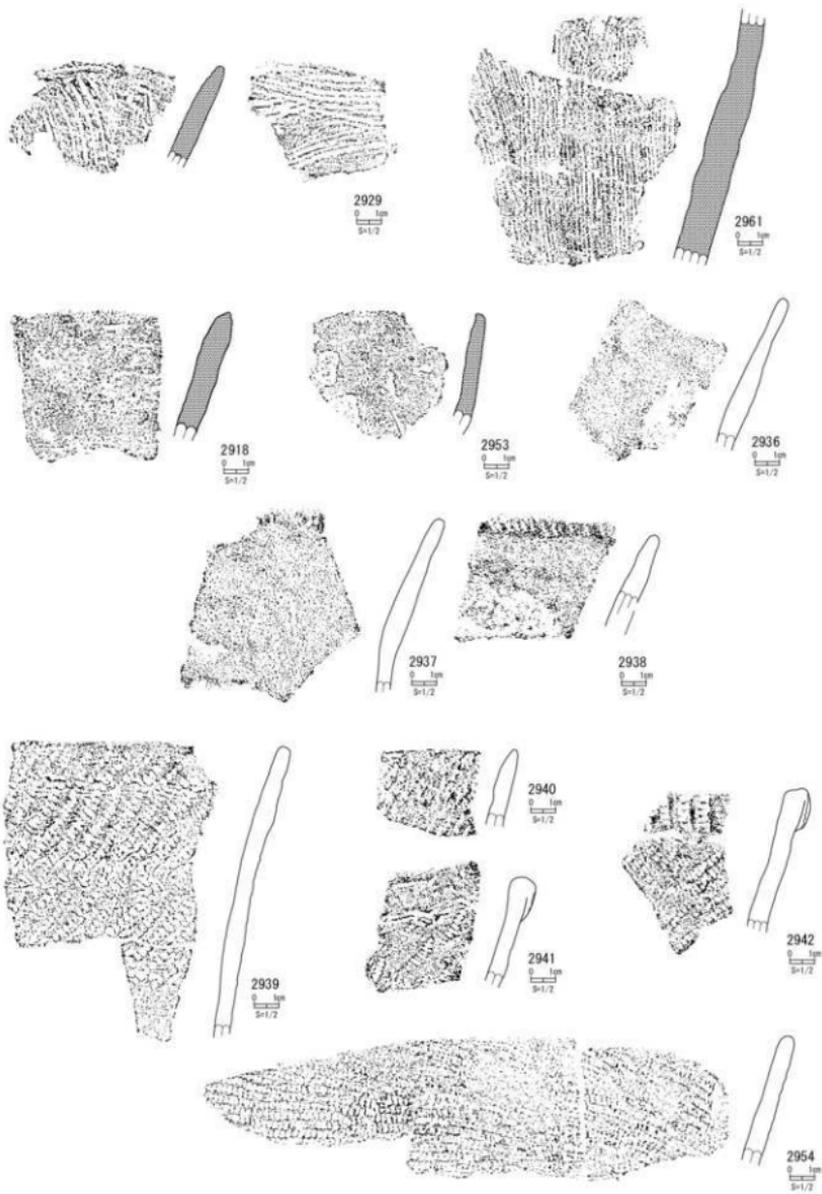


- 1階 10R2(2)室(廊)に10R2(3)室(廊)が90%炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 2階 10R2(2)室(廊)に10R2(3)室(廊)が90%、10R4(4)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。2階の中で、明るい所と暗い所がある。(分厚できなかった)
- 3階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 4階 10R2(3)室(廊)に10R2(2)室(廊)が90%、10R4(4)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 5階 10R2(3)室(廊)に10R2(2)室(廊)が7%、10R4(4)室(廊)が9%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 6階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しめる。(炭化物が土壌)
- 7階 10R2(3)室(廊)に10R5(5)室(廊)の積土が90%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。(積土層)
- 8階 10R2(3)室(廊)に10R2(2)室(廊)が9%、炭化物が90%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しめる。(住居上の基石上での積土)
- 9階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、ややしめる。
- 9a階 9より少し低い。
- 10階 10R2(2)室(廊)に10R5(4)に2%の黄褐物が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。P1-79の壁が不明。P1-79を切る
- 11階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 12階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 12a階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 13階 10R5(4)に2%の黄褐物に10R2(3)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 14階 10R2(3)室(廊)に10R5(4)に2%の黄褐物が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 15階 10R2(2)室(廊)に10R5(4)に2%の黄褐物が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 16a階 16より少し低い。
- 17階 10R5(5)室(廊)に10R2(3)室(廊)が90%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 18階 10R2(3)室(廊)に10R5(4)に2%の黄褐物が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 19階 10R2(4)室(廊)に10R2(2)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 20階 10R2(2)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、積土が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 21階 10R4(4)室(廊)に10R2(2)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 22階 10R2(2)室(廊)に10R5(5)室(廊)が90%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。
- 23階 10R2(4)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。P1-79を切る壁が不明
- 24階 10R2(4)室(廊)に10R2(2)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。P1-79を切る壁が不明
- 25階 10R2(3)室(廊)に10R4(4)室(廊)が90%、10R5(5)室(廊)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しめる。P1-80
- 壁 10R5(5)室(廊)、シルト粘土。粘性なし、しめる。
- 床面 10R5(5)室(廊)、シルト粘土。粘性なし、しめる。

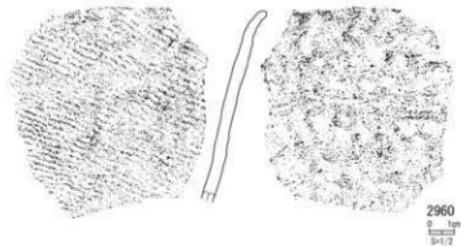
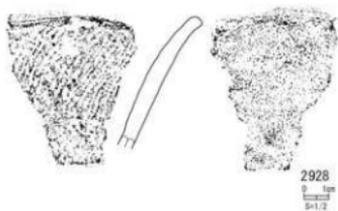
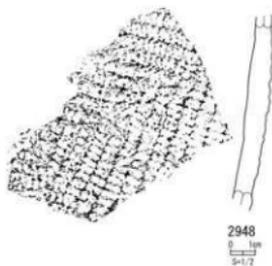
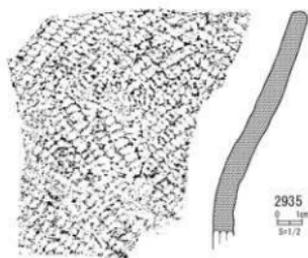
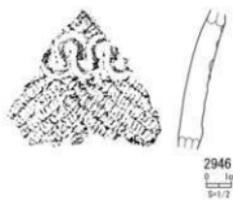
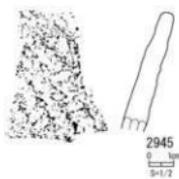
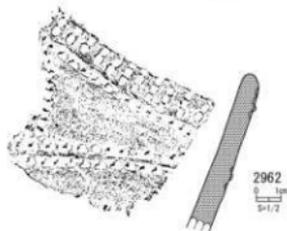
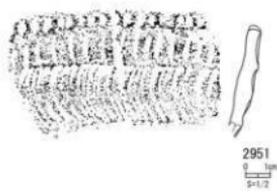
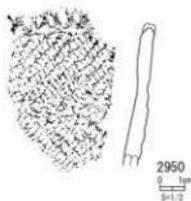
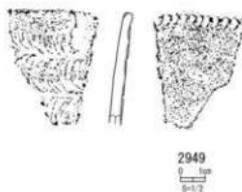
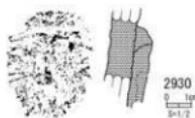
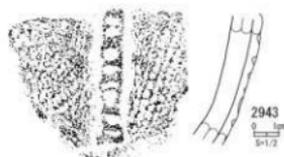
PJ075号・PJ079号・PJ088号住居



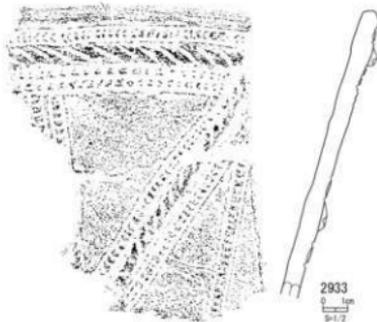
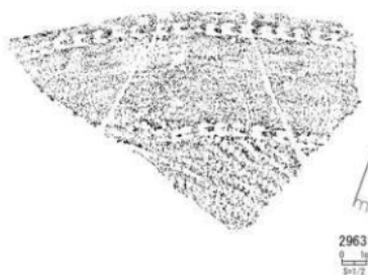
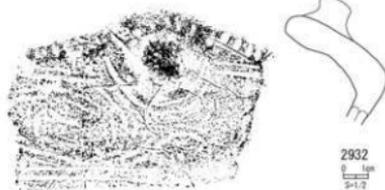
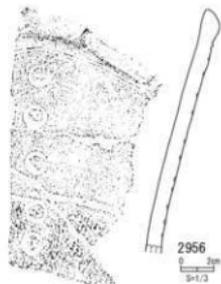
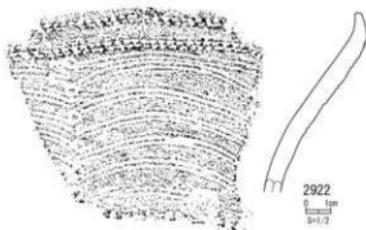
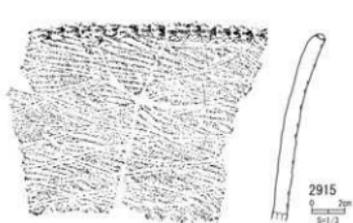
PJ075 号 · PJ079 号 · PJ088 号住居



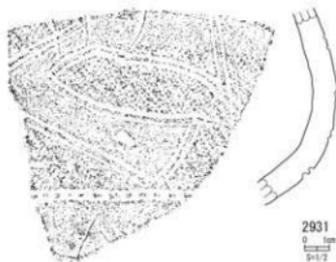
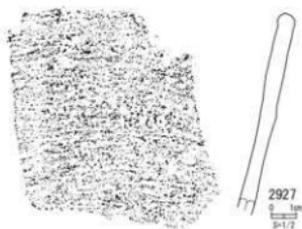
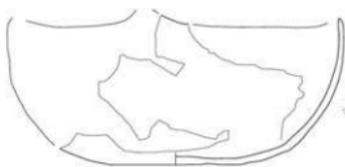
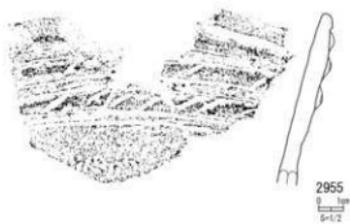
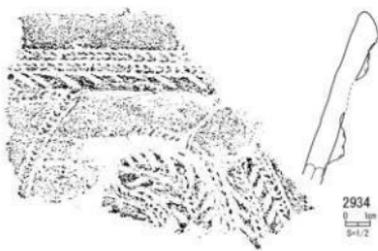
PJ075 号住居出土遺物



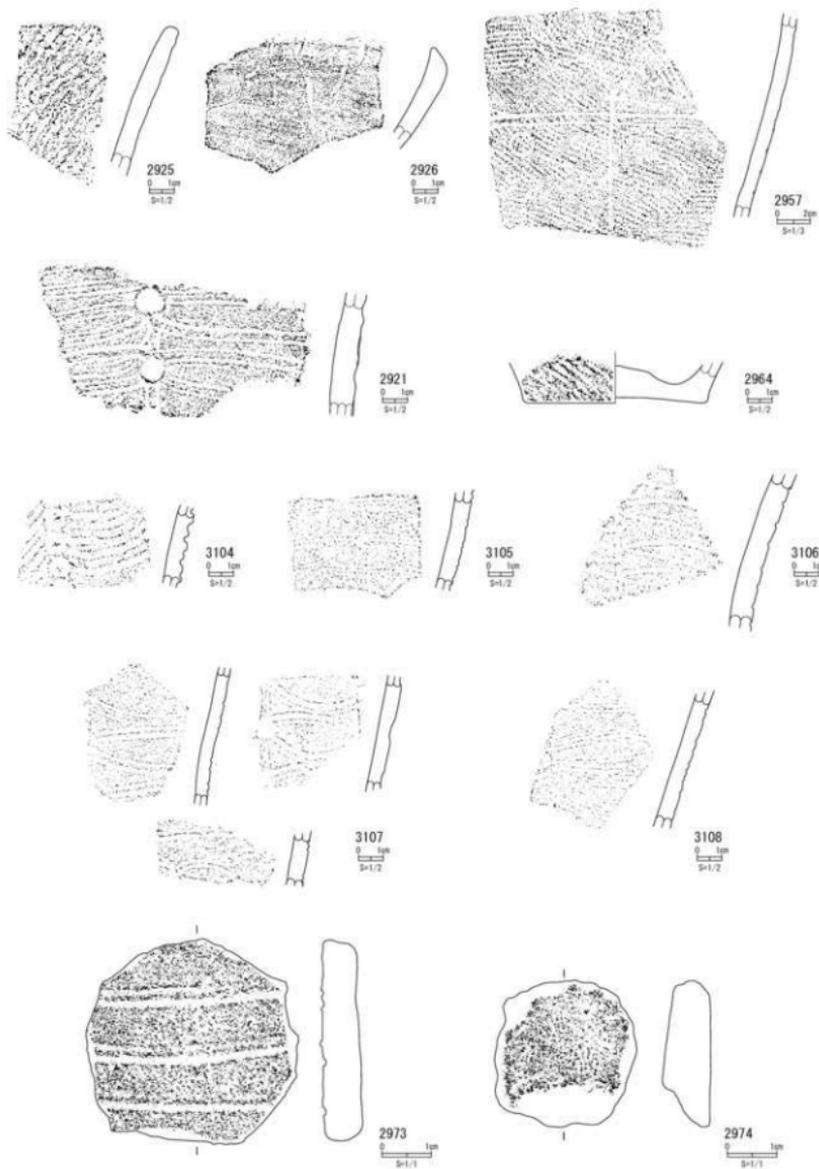
PJ075 号住居出土遺物



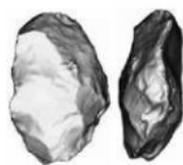
PJ075 号住居出土遺物



PJ075 号住居出土遺物



PJ075 号住居出土遺物



1729
0 1cm
S=1/1



1730
0 1cm
S=1/1



1734
0 1cm
S=1/1



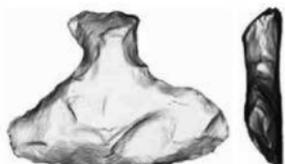
1775
0 1cm
S=1/1



1738
0 1cm
S=1/1



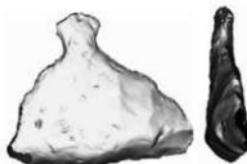
1740
0 1cm
S=1/1



1741
0 1cm
S=1/1



1759
0 1cm
S=1/1



1826
0 1cm
S=1/1



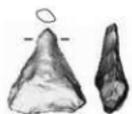
1829
0 1cm
S=1/1



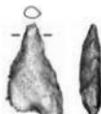
1742
0 1cm
S=1/1



1746
0 1cm
S=1/1



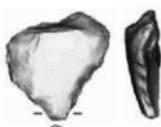
1748
0 1cm
S=1/1



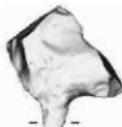
1749
0 1cm
S=1/1



1757
0 1cm
S=1/1

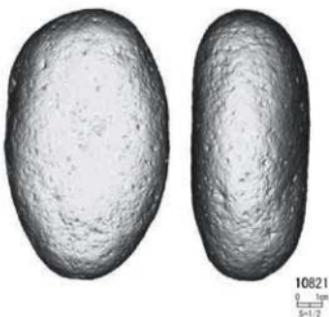
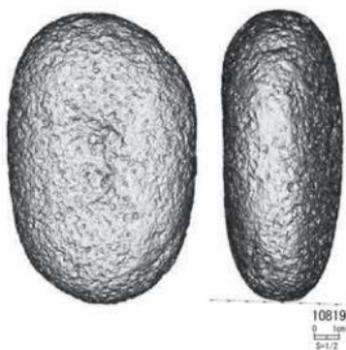
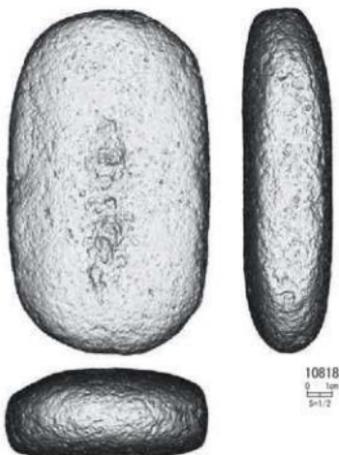
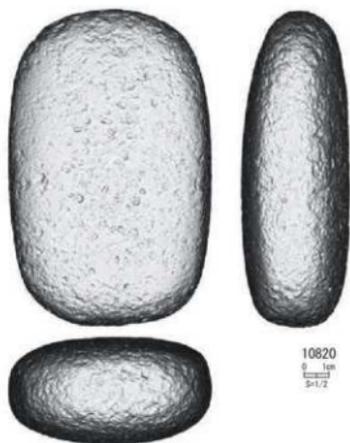
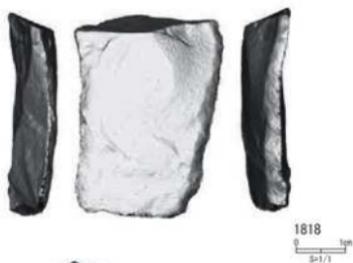


1781
0 1cm
S=1/1

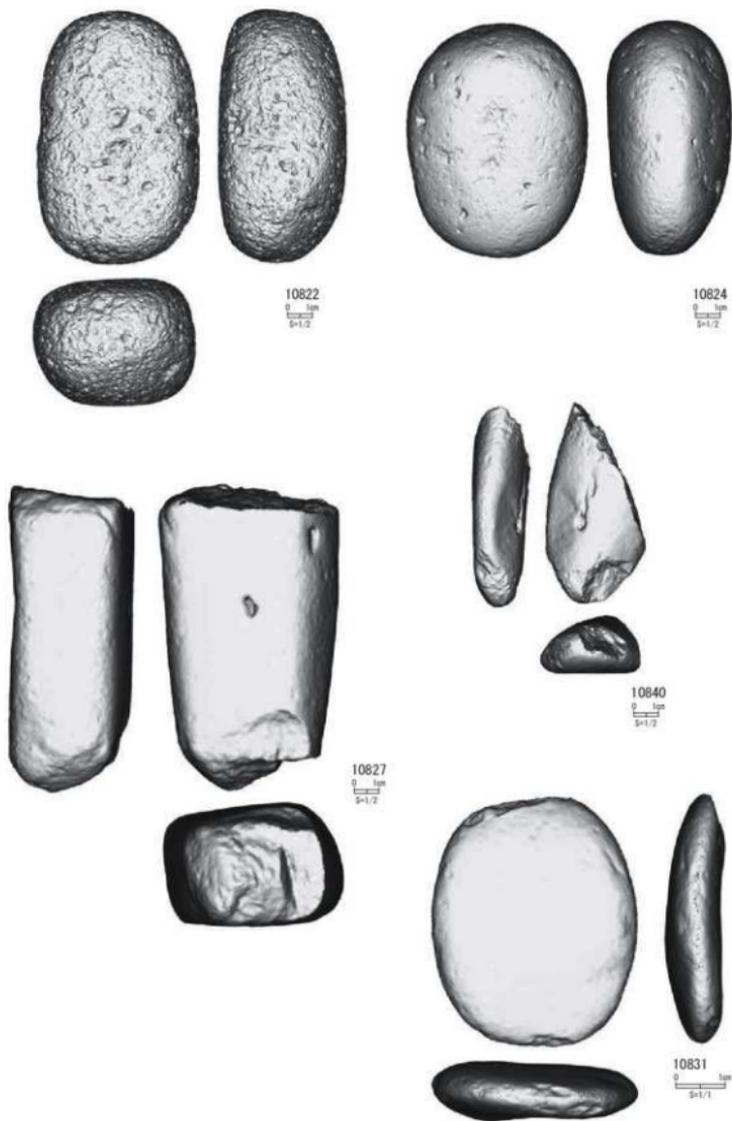


1795
0 1cm
S=1/1

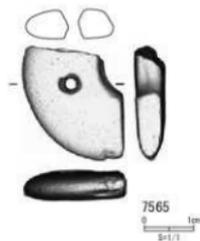
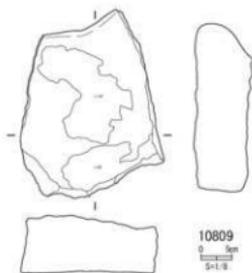
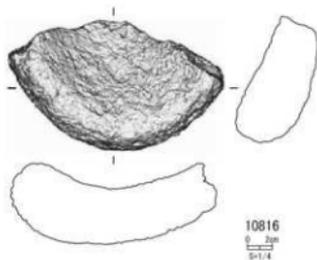
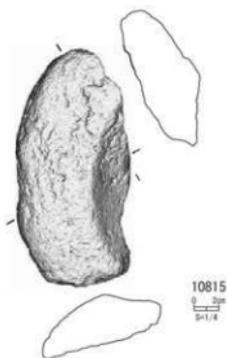
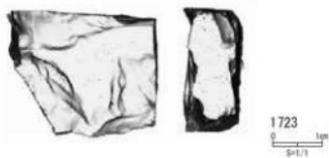
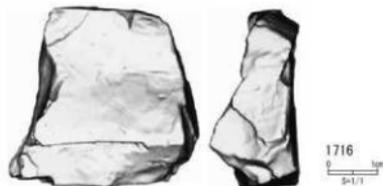
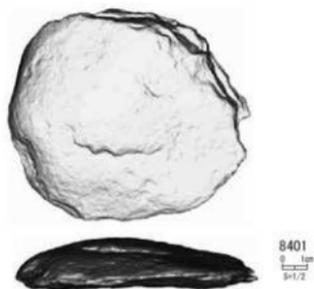
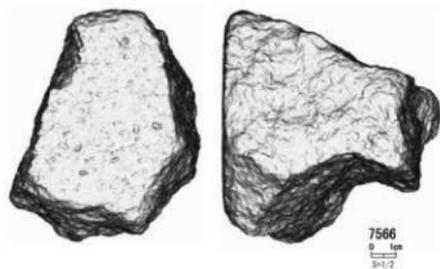
PJ075 号住居出土遺物



PJ075 号住居出土遺物



PJ075 号住居出土遺物



PJ075 号住居出土遺物

PJ075 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 の縦	器高 の横	底径 の厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2915	PJ-75 21, PJ-75 39, PJ-75	口縁部 ～胴部				237.0	破片	5YR4/6 5YR3/3	口唇部に竹管押し引き。縄文地文。平行沈線の幾何学文。内面ヨコナデ。縄 織a式新段階
2918	PJ-75 35	口縁部				40.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/6	内外面指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2921	PJ-75	胴部				90.0	破片	5YR4/4 5YR3/4	縄位区画と円文。胎骨文。内面ヨコナデ。縄織a式古段階
2922	PJ-75	口縁部				86.0	破片	7.5YR6/4 2.5YR5/6	口縁部に竹管刺突跡が2列。縄位に並んだ円文。胎骨文。内面ミガキ。縄 織a式新段階
2923	PJ-75	口縁部				72.0	破片	5YR4/6 5YR3/2	口縁部に竹管押し。波状文。内面ミガキ。縄織a式か縄織b式
2924	PJ-75	口縁部				20.0	破片	7.5YR6/6 5YR5/6	平行沈線の波縄文。口唇部肥厚。内面ヨコナデ。器壁は薄手。縄織a式
2925	PJ-75	口縁部				24.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/3	縄文地文。内面ナデミガキ。縄織式
2926	PJ-75, PJ-76	口縁部				97.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5/6	鉢形土器。内外面ミガキ。縄織式
2927	PJ-75	口縁部				71.0	破片	5YR3/3 5YR3/2	縄文。内面は雑なヨコナデ。縄織式
2929	PJ-75	口縁部				23.0	破片	5YR4/2 5YR4/2	外面縄文。整形痕が残る。内面指頭圧痕。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 3式
2929	PJ-75	口縁部				22.0	破片	5YR3/2 5YR3/2	尖った口唇部。外面縄位。内面横位の条状文。口唇部にも条状。器壁は8 mm程度。胎土に繊維を多量に含む。早期未定か
2900	PJ-75	口縁部				13.0	破片	7.5YR3/2 7.5YR4/3	唇下する前面三角形隆帯と縁位にめぐる隆帯。器壁 10 mm程度。胎土に繊 維を少量に含む。神ノ木台式か
2911	PJ-75	胴部				111.0	破片	2.5YR4/6 5YR4/4	木の葉文に縄文充満。竹管押し引き。内面ヨコナデ。縄織b式古段階
2922	PJ-75	口縁部				89.0	破片	5YR3/3 5YR4/3	退化した彫突突起。平行沈線で文様抽出。外面風化。内面ヨコナデ。縄 織b式中段階
2923	PJ-75	口縁部 ～胴部				123.0	破片	2.5YR3/2 5YR2/2	太い浮縄文。内面ミガキ。縄織b式中段階
2924	PJ-75	口縁部				111.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/3	幅広い浮縄文。内面ミガキ。縄織b式中段階
2925	PJ-75	口縁部 ～胴部				82.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR3/3	菱形構成の縄文。内面指頭圧痕が目立つ。胎土に繊維を含む。有尾式
2926	PJ-75	口縁部				28.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	波状口縁。内外面指頭圧痕がやや残る。胎土に繊維を含まない。中越式
2927	PJ-75	口縁部				59.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口唇部削み。内外面風化。土器2928と同一個体。胎土に繊維を含まない。 中越式
2928	PJ-75	口縁部				25.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口唇部削み。内外面指頭圧痕。土器2927と同一個体。胎土に繊維を含まない。 中越式
2929	PJ-75	口縁部 ～胴部				89.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2940	PJ-75	口縁部				33.0	破片	5YR5/4 5YR4/4	縄文。内面指頭圧痕。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2941	PJ-75	口縁部				21.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR6/6	波状口縁。肥厚口縁に磨面状工具の刮突。胴部は縄文もしくは格状体。内 面ナデ調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2942	PJ-75	口縁部				26.0	破片	10YR6/3 7.5YR7/6	肥厚口縁に磨面状突起。胴部は縄文。内面風化。胎土に繊維を含まない。 神ノ木式
2943	PJ-75	胴部				46.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR3/2	削みのある唇下隆帯。縄文。内面は指頭圧痕が残るナデ調整。胎土に繊維 を含まない。神ノ木式
2944	PJ-75	胴部 ～底部				82.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	磨面状突起を添らせた底部破片。底面は平滑。胎土に繊維を含まない。神 ノ木式
2945	PJ-75	口縁部				19.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR4/3	太い縄文原形。内面は凹凸が残るナデ調整。胎土に多量の繊維を含む。關 山式か?
2946	PJ-75	胴部				28.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	コンシク文。羽状縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を多量に含む。關山式
2947	PJ-75	口縁部				14.0	破片	5YR5/4 5YR2/2	竹管の腹でナデ整形した隆帯。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。關山式
2948	PJ-75	胴部				53.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	羽状縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を多量に含む。關山式
2949	PJ-75	口縁部				8.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/2	大柄なC字状爪形文列。胴部にも縁位の爪形文を施文して沈線のような区 画線を描ける。口唇部内面に削み。内面は指頭圧痕がやや残るミガキ。器 壁は3.8mm厚。胎土に繊維を含まない。北谷下層Ⅱb式併行か

PJ075 号住居 土器観察表

実測 番号	注記	部位	口径 cm 縦	高さ cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2950	PJ-75	口縁部				18.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR3/2	口唇部に刻み、羽状縄文。内面は指頭圧痕がやや残るミガキ。器壁は6mm厚。胎土に繊維を含まない。北白川下層Ⅱb式併行か
2951	PJ-75	口縁部				64.0	破片	5YR4/2 5YR3/2	口唇部刻み。大柄なC字状爪形文列。口縁部の爪形文列はまばらな縄文。下段は密に施文することで、肥厚口縁のような効果が生じている。内面は凹凸がやや残るミガキ。器壁は5mm程度。胎土に繊維を含まない。S100で同一個体(2090)出土。北白川下層Ⅱb式併行
2952	PJ-75, K-6-3, K-6-4	口縁部 ～底部	(20.0)	(9.1)	8.0	164.0	1/3	2.5YR5/6 5YR3/3	木の葉文。磨消縄文。内面ミガキ。踏礎b式
2953	PJ-75	口縁部 ～胴部				37.0	破片	5YR5/6 7.5YR5/3	内外面とも指頭圧痕がやや残るミガキ。器壁は薄手。胎土に繊維を含む。中絶式
2954	PJ-75	口縁部				125.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2955	PJ-75	口縁部				185.0	破片	5YR3/3 7.5YR3/2	刻み磨消。縄文。内面ミガキ。踏礎b式
2956	PJ-75	口縁部 ～胴部				176.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/2	波状口縁。円文、竹管押引きの横位区画。縄文。内外面ミガキ。踏礎a式
2957	PJ-75	胴部				354.0	破片	5YR4/3 5YR3/2	縄文。横位の区画平行線。円文。内面風化。踏礎a式
2958	PJ-75	口縁部	(26.0)			124.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/3	結紮縄文。内面ナデ。踏礎式
2959	PJ-75	口縁部 ～胴部				236.0	破片	2.5YR4/4 5YR3/3	波状口縁。横位の竹管押引き。縄文。磨消の円形文様。内面ミガキ。踏礎a式
2960	PJ-75 30	口縁部 ～胴部				153.0	破片	5YR4/4 5YR3/3	外反する口縁。縄文。内面指頭圧痕磨消。胎土に繊維を含まない。釈迦堂Ⅱ式
2961	PJ-75	胴部				139.0	破片	5YR4/3 2.5YR4/6	内面柔灰文。内面ヨコナデ調整。器壁が13mm以上と厚手。胎土に繊維を多量に含む。早期後半か
2962	PJ-75 29	口縁部				54.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/8	波状口縁。角ばった口唇部。連点状刻突。竹管先端のC字状刻突。微塵起線。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。有層式
2963	PJ-75, PJ-75 26	口縁部 ～胴部				110.0	破片	2.5YR4/6 2.5YR4/8	横位の竹管押引き。縄文。内面ミガキ。踏礎a式
2964	PJ-75 20	胴部 ～底部			(7.4)	62.0	破片	2.5YR4/4 2.5YR4/4	縄文。上げ底状の底面。踏礎式か
2973	PJ-75	土製円盤	4.2	4.3	0.8	17.4	ほぼ完整	5YR4/6 5YR4/6	踏礎式土器破片の土製円盤か。縁辺に研磨調整なし。
2974	PJ-75	土製円盤	3.0	2.9	1.0	8.7	ほぼ完整	5YR5/4 5YR5/6	踏礎式土器破片の土製円盤か。縁辺に研磨調整なし。
3104	PJ-75	胴部				21.0	破片	7.5YR4/4 7.5YR4/3	肋骨文と円文。内面風化。踏礎a式新段階
3105	PJ-75	胴部				26.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	横位沈線で区画された肋骨文。内面ミガキ。踏礎a式新段階
3106	PJ-75	胴部				32.0	破片	5YR4/4 5YR3/4	横位区画が残る肋骨文。内面ミガキ。踏礎a式古段階
3107	PJ-75	胴部				56.0	破片	5YR4/4 7.5YR3/3	横位区画と肋骨文。内面ミガキ。踏礎a式古段階
3108	PJ-75	胴部				23.0	破片	5YR5/6 7.5YR4/3	横位区画と肋骨文。円文。内面ミガキ。踏礎a式古段階

PJ075 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1714	PJ75	原石	黒曜石					21.60	ズリ。両端打法で二分割。漆黒黒曜石
1715	PJ75	原石	黒曜石					38.80	ズリ。透明系黒曜石
1716	PJ75	原石	黒曜石					26.80	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1717	PJ75	原石	黒曜石					27.90	ズリ。透明系黒曜石
1718	PJ75	原石	黒曜石					11.80	ズリ。一発コア。漆黒黒曜石
1719	PJ75	原石	黒曜石					14.90	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1720	PJ75	原石	黒曜石					26.00	ズリ。透明系黒曜石
1721	PJ75	原石	黒曜石					17.00	ズリ。一発コア。漆黒黒曜石
1722	PJ75	原石	黒曜石					19.50	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1723	PJ75	原石	黒曜石					11.40	ズリ。雑な調整跡。漆黒黒曜石
1724	PJ75	原石	黒曜石					11.00	ズリ。透明系黒曜石
1725	PJ75	原石	黒曜石					14.20	河川転石？ 透明系黒曜石
1726	PJ75	原石	黒曜石					8.20	ズリ。透明系黒曜石
1727	PJ75	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.00	ズリ面が残る剥片の1辺に微小剥離。黒色の透明系黒曜石
1728	PJ75	原石	黒曜石					8.30	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1729	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	31.9	22.5	13.2	8.27	未成品。ズリ面が残る小さな原石の表裏を調整し始めた段階。透明系黒曜石
1730	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	28.4	23.2	11.8	6.22	未成品。ズリ面が残る素材の表裏を調整し、三角形状ができ始めた段階。透明系黒曜石
1731	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	24.1	21.4	7.0	3.74	未成品。ズリ面が残る素材の両面を縁辺加工。三角形状ができ始めた段階。赤褐色色入り黒曜石
1732	PJ75	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1				3.00	剥片の1辺に微小剥離。青灰色珪質頁岩
1733	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	25.7	14.1	5.4	1.41	未成品。ズリ面が残る。細身の三角形状ができ始めた段階。漆黒黒曜石
1734	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	26.8	25.1	7.4	4.48	未成品。素材の厚みがかなり減り、石鏢の形影ができ始めた段階。白筋のある漆黒黒曜石
1735	PJ75	削器	珪質泥岩	1/1	35.0	52.0	9.0	13.90	鉋理面がある剥片の薄い1辺に刃調整跡。黄褐色化し使用痕不明
1736	PJ75	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				7.10	鎌面が残る剥片の両面に西方から調整跡。石鏢未成品にしては調整跡が不規則な印象。透明系黒曜石
1737	PJ75	石鏢	黒曜石	3/4	22.5	18.2	5.1	1.16	凹溝。基部切りは浅い。両面加工。片欠欠損。調整はやや雑。未成品か、白筋のある漆黒黒曜石
1738	PJ75	石鏢	珪質頁岩	1/1	32.0	48.0	7.0	9.70	刃部は片刀。刃部に微小剥離と深い摩耗。縞のある明灰色珪質頁岩。搬入石材か。
1739	PJ75	原石	黒曜石					6.50	ズリ
1740	PJ75	石鏢	チャート	1/2	30.0		7.0	5.80	器体中央で折損。刃部は両刃。褐色がかった灰色チャート
1741	PJ75	石鏢	チャート	1/1	33.0	45.0	7.0	7.90	刃部は片刀。微小剥離。赤色チャート
1742	PJ75	石鏢	珪質頁岩	1/1	30.0	60.0	7.0	8.40	刃部は片刀。微小剥離。主剝離面は赤褐色に黄色。調整剝離面は黄色なし。加熱加工か？ 灰色珪質頁岩。搬入石材
1743	PJ75	剥離のある 剥片	珪質頁岩					1.20	3辺を折った剥片に調整跡。灰色珪質頁岩
1744	PJ75	剥離のある 剥片	黒曜石					1.70	鎌面が残る小さな剥片の1辺に剝離。白色夾雑物が混じる透明系黒曜石
1745	PJ75	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				1.10	表裏に調整剝離がある小さな剥片。
1746	PJ75	両端石器	石英岩	1/1	34.0	19.0	4.0	2.40	2辺を折って短冊状にした剥片の両端部に衝撃剝離。透明な石英岩
1747	PJ75	石鏢	石英岩	1/2		7.5	3.3	0.84	凹溝。両面加工。先端欠損。透明な石英岩
1748	PJ75	石鏢	珪質頁岩	3/4	18.5	16.1	6.4	1.47	石鏢未成品の先端部を踵に転用？ 先端部縁が摩耗。青灰色珪質頁岩
1749	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	20.0	11.0	4.0	0.70	石鏢未成品の先端部を踵に転用か。
1750	PJ75	剥離のある 剥片	黒曜石					0.60	小さな三角剝離の1辺に調整跡。透明系黒曜石
1751	PJ75	石鏢	黒曜石	1/1	26.5	22.5	9.5	4.50	未成品。薄い角張りズリを西方。両面から調整跡。三角形状ができ始めた段階。白筋のある漆黒黒曜石

PJ075号住居 石器観察表

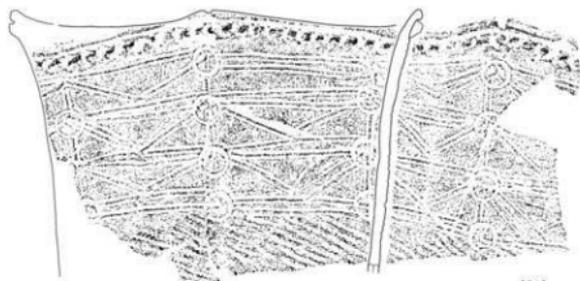
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見	
1752	PJ75	両器	珩質頁岩	1/2	19.0	40.0	8.0	5.00	片巻縁が折損。1辺に縁部欠の刃部調整。暗灰色珩質頁岩。風化面は青白色。掘入石材	
1753	PJ75	石鏃	チャート	1/2				2.70	長軸部縁に面割から調整。縁部が折損した石鏃か。青灰色チャート	
1754	PJ75	剥離のある 割片	珩質頁岩					1.30	小さな割片の1辺に調整跡。青灰色珩質頁岩	
1755	PJ75	剥離のある 割片	チャート	1/2				5.30	三角形の割片の隣の1辺に両側の片面調整跡。青灰色チャート	
1756	PJ75	石匙	頁岩	1/1	20.0	23.0	4.0	2.20	つまみ部のみ破片。黄色く風化	
1757	PJ75	石鏃	珩質頁岩	3/4	28.0	10.0	4.0	1.00	先端折損? 灰色珩質頁岩。掘入石材	
1758	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	26.6	18.1	5.4	1.74	未成品。片巻縁欠損。三角形状ができた段階。黒色の透明黒曜石	
1759	PJ75	石匙	黒曜石	3/4	12.0	23.0	5.0	1.30	ミニチュア石匙。刃部にあたる部分は縁面が残る素刃。つまみ部欠損。透明黒曜石	
1760	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	18.3	14.2	3.7	0.52	凹基。両面加工。透明黒曜石	
1761	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	15.9	12.0	3.0	0.36	凹基。縁加工。透明黒曜石	
1762	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4				2.7	0.40	凹基。縦身。両面加工。先端。両側欠損。透明黒曜石
1763	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	23.5	17.0	3.7	0.88	凹基。両面加工。裏筋のある透明黒曜石	
1764	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	18.4	16.4	3.5	0.65	凹基。長短。両面加工。漆黒黒曜石	
1765	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	14.9	10.4	3.8	0.36	小形。凹基。両面加工。透明黒曜石	
1766	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	19.3	12.6	3.2	0.42	凹基。両面加工。ていねいにつくり。透明黒曜石	
1767	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	18.3	16.6	4.4	0.88	凹基。両面加工。尖部物が抜けて穴が開いている。黒漆状半透明黒曜石	
1768	PJ75	剥離のある 割片	黒曜石	1/1				0.90	石鏃のような形の割片に調整跡。漆黒黒曜石	
1769	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	20.8	14.9	2.9	0.51	凹基。両面加工。ていねいにつくり。すりガラス状。破断か。	
1770	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	16.8	13.6	3.2	0.36	凹基。両面加工。片巻縁欠損。透明黒曜石	
1771	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	9.4	9.3	1.8	0.12	小形。両面加工。先端。片側先端欠損。小指の爪大の小さな石鏃。透明系黒曜石	
1772	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	18.6	16.4	4.4	0.73	未成品か。凹基。両面加工。先端が大きく欠損。黒縁のある透明黒曜石	
1773	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	13.6	12.6	3.8	0.27	小形。凹基。縦身。両面加工。透明黒曜石	
1774	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	21.5	14.7	4.2	0.76	凹基。両面加工。透明黒曜石	
1775	PJ75	石鏃	珩質頁岩	1/1	15.7	17.1	2.8	0.56	凹基。両面加工。暗灰色珩質頁岩	
1776	PJ75	両縁石器	黒曜石	1/1	11.0	10.0	5.0	0.80	小さな割片の両端に衝撃割部。透明黒曜石	
1777	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	18.2	16.8	3.8	0.73	未成品。平基。両面加工。黒縁のあるブルーブラック黒曜石	
1778	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2				2.1	0.22	先端部?のみの破片。透明黒曜石
1779	PJ75	石匙	黒曜石	1/1	14.2	15.5	4.2	0.63	ミニチュア石匙。刃部は片刃。磨石面が残る。透明黒曜石	
1780	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	20.3	15.9	4.3	1.42	未成品。三角形状ができた段階。ズリ面が残る。白底の漆黒黒曜石	
1781	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	22.0	21.0	6.0	2.60	つまみ部に磨石面が残る。先端部欠損。透明系黒曜石	
1782	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	26.3	14.6	4.4	1.04	凹基。縦身。両面加工。片側欠損。黒漆状半透明黒曜石	
1783	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	20.6	15.7	3.7	0.69	未成品。凹基。両面加工。片側欠損。透明黒曜石	
1784	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2				4.7	0.55	凹基。両面加工。先端。片側欠損。透明黒曜石
1785	PJ75	両縁石器	黒曜石	1/1	21.0	19.0	9.0	3.90	縁面が残る板状割片の両端に衝撃割部。半透明黒曜石	
1786	PJ75	剥離のある 割片	黒曜石					1.00	磨石面が残る割片の2辺に調整跡。石鏃未成品か?黒縁の透明黒曜石	
1787	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	19.2	17.5	8.0	2.21	未成品。三角形状ができたが素材の厚みが残る。基部欠損。透明系黒曜石	
1788	PJ75	原石	黒曜石					1.50	小さな角礫ズリ。漆黒黒曜石	
1789	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	15.1	12.3	3.2	0.44	小形。凹基。両面加工。片側先端欠損。白底のある漆黒黒曜石	
1790	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	16.9	12.8	3.3	0.40	凹基。両面加工。片側先端欠損。透明黒曜石	
1791	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	22.2	16.3	6.8	1.98	未成品。両面加工。三角形状ができたが素材の厚みが残る。黒筋のある透明系黒曜石	

PJ075 号住居 石器観察表

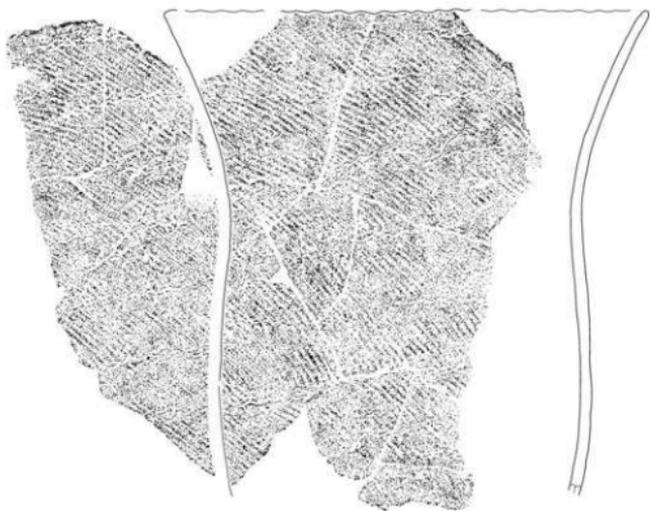
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1792	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2			3.0	0.79	大形、凹基、両面加工。先端、片部欠損。透明黒曜石
1793	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	20.8		3.9	0.72	凹基、両面加工。片部欠損。片面に原石面が残る。透明黒曜石
1794	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	19.2	13.3	4.0	0.88	未成品。凹基、両面加工。原形が仕上がった段階。先端が折損して再調整したものの放棄か。ブルーブラック黒曜石
1795	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	27.0	25.0	6.0	2.80	原石面が残る碎片に鋒部を作り出す。黒曜の透明系黒曜石
1796	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2	20.3		3.1	0.59	凹基、長脚。片部欠損。先端がすぼむ。透明黒曜石
1797	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	24.8	19.5	5.3	1.62	未成品。素材削片の片面を調整。片部削が折損して放棄か。透明黒曜石
1798	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	20.9	15.5	2.9	0.54	凹基、両面加工。先端、片部欠損。透明黒曜石
1799	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	15.8	16.4	4.4	0.91	未成品。三角形状ができた段階。白点のある透明系黒曜石
1800	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	16.8		3.2	0.42	凹基、両面加工。両脚欠損。
1801	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	18.9		3.9	0.77	未成品。凹基、幅広、両面加工。仕上げ調整の前段階。片部欠損。透明黒曜石
1802	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	12.7	16.7	2.4	0.38	平基、縁追加。片部欠損。透明黒曜石
1803	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	17.0	14.8	2.7	0.53	未成品。凹基、両面加工。先端、片部欠損。透明黒曜石
1804	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	16.5	19.2	4.5	1.49	未成品。三角形状ができた段階。先端欠損。透明黒曜石
1805	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2			3.3	0.75	未成品。素材削片の縁辺を調整。基部欠損。透明黒曜石
1806	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	19.2	16.9	6.3	1.71	未成品。三角形状ができたが素材の厚みが残る。片面に原石面あり。透明系黒曜石
1807	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	28.1	21.8	11.6	5.03	未成品。三角形状ができたが素材の厚みが残る。白点の透明系黒曜石
1808	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4			3.8	0.86	大形、両面加工。基部欠損。透明黒曜石
1809	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2			2.72		未成品。素材削片の片面を調整。片部削が欠く欠損。透明系黒曜石
1810	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	23.4	17.6	4.2	1.42	未成品。三角形状が仕上がった段階。黒曜のある透明黒曜石
1811	PJ75	石鏃	黒曜石	1/2			3.9	0.75	未成品。三角形状ができた段階。透明黒曜石
1812	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	19.3	18.6	3.3	1.17	未成品。三角形状ができた段階。基部削が欠損。透明黒曜石
1813	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4		16.8	4.0	0.83	未成品。仕上げ調整段階。先端、片部欠損。すりガラス状。被熱か。透明系黒曜石
1814	PJ75	石鏃	黒曜石	3/4	19.2		2.8	0.37	凹基、両面加工。片部欠損。透明黒曜石
1815	PJ75	石鏃	黒曜石					0.34	石鏃断片。透明系黒曜石
1816	PJ75	打製石斧片	頁岩			42.0	11.0	31.60	打製石斧断片
1817	PJ75	觚器	チャート	1/1	23.0	43.0	7.0	7.40	断片の1辺に刃部。灰色チャート
1818	PJ75	觚器	珪質頁岩	3/4	31.0	42.0	8.0	13.80	打面に縁面が残る短冊状断片の両側縁に片方の刃部。刃部に微小剥離と潰れ。青灰色珪質頁岩
1819	PJ75	原石	黒曜石					28.60	板状のズリ。透明系黒曜石
1820	PJ75	原石	黒曜石					13.10	ズリ
1821	PJ75	原石	黒曜石					10.10	ズリ。透明系黒曜石
1822	PJ75	原石	黒曜石					10.00	ズリ。透明系黒曜石
1823	PJ75	原石	黒曜石					8.20	ズリ
1824	PJ75	剥離のある 断片	玉髓	1/1	26.0	43.0	8.0	8.50	断片の1辺に觚器状の刃部調整。乳白色玉髓
1825	PJ75	原石	黒曜石					7.40	ズリ。透明系黒曜石
1826	PJ75	石鏃	黒曜石	1/1	31.0	39.0	7.0	6.70	片方。刃部に微小剥離と潰れ。原石面が残る。赤褐色黒曜石
1827	PJ75	觚器	珪質頁岩	1/1	30.0	57.0	9.0	13.60	縁面が残る断片の薄い1辺に刃部。白点のある青灰色珪質頁岩
1828	PJ75	石鏃	珪質頁岩				7.0	6.30	石鏃のつまみ部断片。青灰色珪質頁岩
1829	PJ75	石鏃	珪質頁岩	1/1	25.0	39.0	5.0	3.60	片方。刃部に微小剥離。ガジリ。青灰色珪質頁岩
1830	PJ75	原石	石英岩					51.10	不透明白色の石英岩
4520	PT1282	剥離のある 断片	赤色 チャート	1/1				4.10	PT1282出土。縁面が残る断片の1辺に微小剥離。透明感がない赤色チャート
4525	PT1281	剥離のある 断片	黒曜石	1/1				0.80	PT1281出土。断片の1辺に調整跡。透明黒曜石

PJ.075 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見	
7565	106801	球状耳飾	滑石	1/1	2.4	2.1	6.0	4	欠損した球状耳飾に穿孔して巻物に再生か。暗青灰色の滑石	
7566	106813	台石	安山岩類	破片	9.6	7.8	9.0	613	平坦な作業面が摩耗。台石破片。多孔質安山岩	
8168	PJ.75	剥離のある 剥片	黒曜石	3/4				0.50	小さな剥片の1辺に調整刻痕。淺黒黒曜石	
8169	PJ.75	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.00	原石が残る剥片の1辺に調整刻痕。透明系黒曜石	
8170	PJ.75	石匙	黒曜石	1/2				2.20	石匙破片。器体中央で折損。半透明黒曜石	
8171	PJ.75	石鏃	黒曜石	1/1	14.8	11.6	3.6	0.51	小形。凹基。縁辺加工。薄い剥片素材の縁辺のみ調整。粗造なつくり。透明黒曜石	
8172	PJ.75	石鏃	黒曜石					2.9	0.39	凹基。器体中央で折損。透明黒曜石
8401	PJ.75	剥片	砂岩	1/1	90.0	101.0	18.0	216.70	円縁面が残る剥片。薄い縁辺が薄刀か。やや粗粒の砂岩	
10909	PJ.75	台石	安山岩類	破片	(224.0)	(295.0)	(103.0)	10.800	平坦面が摩耗。ハズレ。側面は平坦ではないがやや摩耗。	
10810	PJ.75 14	台石	安山岩類	破片	(101.0)	(158.0)	(157.0)	2.229	蓋円縁破片。全体が弱く摩耗	
10811	PJ.75 31	台石	安山岩類	破片	(130.0)	(100.0)	(107.0)	1.344	円縁破片。平坦面が摩耗。	
10812	PJ.75	台石	安山岩類	破片	(134.0)	(146.0)	(82.0)	1.955	意図的に作出した平坦面あり。摩耗なし	
10813	PJ.75 34	台石	安山岩類	破片	(96.0)	(99.0)	(65.0)	456	円縁破片。10811と同一個体か。	
10814	PJ.75 32	台石	安山岩類	破片	(115.0)	(59.0)	(50.0)	346	円縁破片	
10815	PJ.75 9	石皿	安山岩類	破片	(198.0)	(91.0)	(61.0)	955	石皿破片。皿面が摩耗。多孔質安山岩	
10816	PJ.75	石皿	安山岩類	破片	(127.0)	(148.0)	(66.0)	913	石皿の縁き出し部破片。皿面が摩耗。多孔質安山岩	
10817	PJ.75	石皿	安山岩類	破片	(92.0)	(70.0)	(89.0)	712	いしざらの皿部破片。摩耗あり	
10818	PJ.75 15	磨石類	安山岩類	1/1	139.0	81.0	36.0	649	石鏃型。平坦な2面に射打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。両側面は射打と研磨で平坦。長軸両端面も射打でつる。	
10819	PJ.75	磨石類	安山岩類	1/1	120.0	79.0	49.0	577	楕円形。平坦な2面に射打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。多孔質安山岩。摩耗は不明	
10820	PJ.75 36	磨石類	安山岩類	1/1	130.0	81.0	47.0	833	石鏃型。平坦な1面が研磨に摩耗。両側面も射打で平坦	
10821	PJ.75	磨石類	安山岩類	1/1	110.0	66.0	50.0	507	円縁。平坦な1面がやや摩耗	
10822	PJ.75 12	磨石類	安山岩類	1/1	102.0	64.0	56.0	522	楕円形。平坦な1面に射打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。反対側平坦面にも同様の凹み。局所的に顕著な摩耗。多孔質安山岩	
10823	PJ.75 16	磨石類	安山岩類	1/2	0.0	0.0	0.0	327	石鏃型。器体中央で縁損。平坦な2面に射打集中の凹みと摩耗。両側面は琢磨石状。	
10824	PJ.75 8	磨石類	花崗岩類	1/1	94.0	72.0	57.0	504	楕円形。やや平坦な1面に射打集中の凹みが長軸方向に並び、摩耗。反対面はやや凸面で摩耗。長軸片端面に射打。	
10825	PJ.75	円縁	砂岩類		(66.0)	(50.0)	(39.0)	158	棒状蓋円縁。全体がやや摩耗。ハンマーか。細粒緻密な砂岩	
10826	PJ.75	円縁	砂岩類	1/1	67.0	48.0	25.0	121	蓋円縁。細粒緻密な砂岩	
10827	PJ.75	ハンマー	砂岩類		62.0	(37.0)	(25.0)	103	棒状蓋円縁。長軸片端面に射打集中の平坦面。器体中央で折損。整理番号10815と同一個体か	
10828	PJ.75	磨石類	花崗岩類	3/4	(85.0)	(66.0)	(53.0)	397	平坦面が摩耗。風化して重い	
10829	PJ.75	磯	砂泥交互		(116.0)	(87.0)	(40.0)	420	打製石片の素材のような直角磯	
10830	PJ.75	磨製石斧	緑色岩		(25.0)	(29.0)	(8.0)	8	磨製石斧の刃部破片	
10831	PJ.75	両縁石器	緑色岩	1/1	50.0	41.0	12.0	42	扁平円縁の長軸両端面に割痕	
10832	PJ.75	ハンマー	砂岩類					103	棒状蓋円縁。長軸片端面に鋭い棒状の射打痕。細粒緻密な砂岩	
10833	PJ.75	円縁	砂岩類					74	扁平円縁。器体中央で折損。ハンマーか。細粒緻密な砂岩	
10834	PJ.75	磨石類	砂岩類					24	磨石と思われる破片。細粒砂岩	
10835	PJ.75	ハンマー	砂岩類					28	棒状蓋円縁破片。長軸片端面に射打痕と射打した平坦面。細粒緻密な砂岩	
10836	PJ.75	円縁	砂岩類					39	棒状蓋円縁破片。ハンマーの破片か。細粒緻密な砂岩	
10837	PJ.75	台石	安山岩類	破片				20	台石と思われる破片。平坦面が摩耗	
10838	PJ.75	台石	安山岩類	破片				40	台石と思われる破片。平坦面が摩耗。多孔質安山岩	
10839	PJ.75	台石	安山岩類	破片				157	台石と思われる破片。平坦面が摩耗。側面に射打痕	
10840	PJ.75	ハンマー	緑色岩	1/2				114	棒状蓋円縁。長軸片端面に射打と平坦面。器体中央にも鋭い点状の射打痕集中。器体中央で折損	

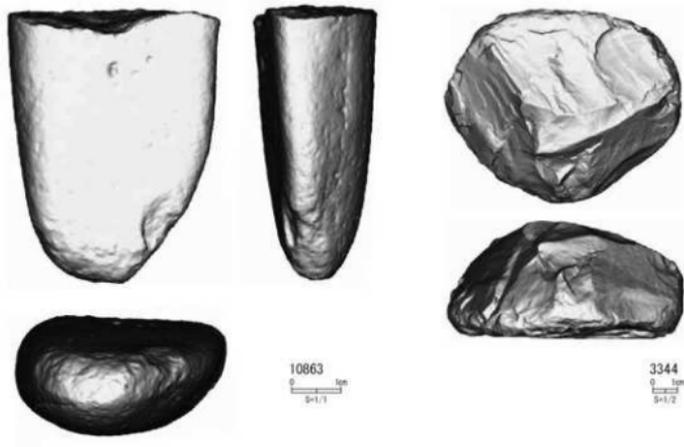
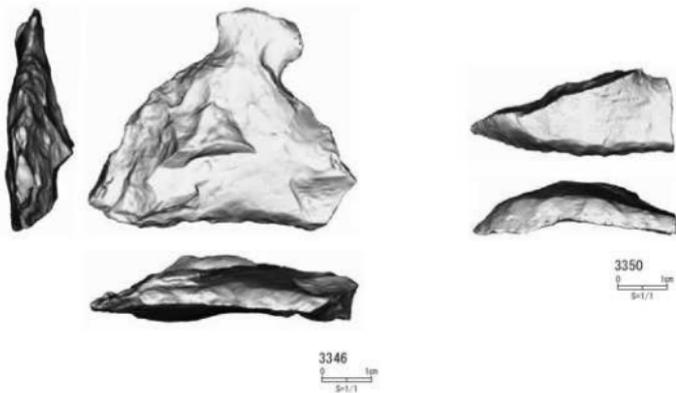


2913
0 2cm
3/4/3



2914
0 2cm
3/4/3

PJ079 号住居出土遺物



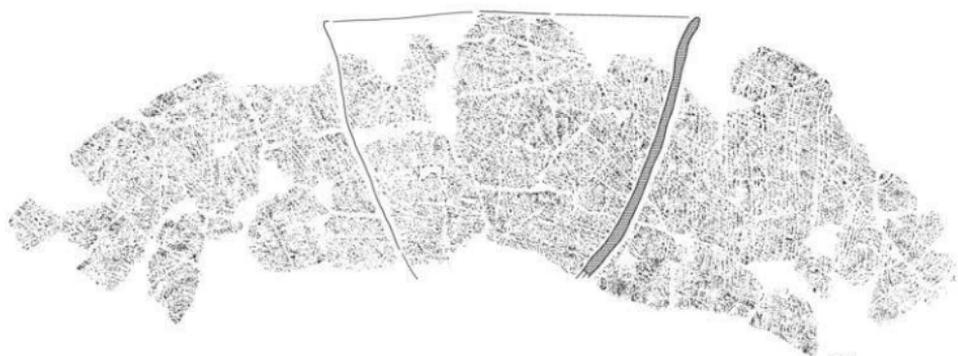
PJ079 号住居出土遺物

PJ079 号住居 土器観察表

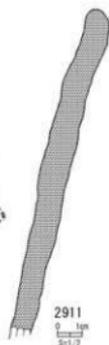
実測番号	注記	部位	口径 (cm)	器高 (cm)	口径 の 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2913	PJ-79 6, PJ-75, PJ-73 40, PJ-79, DK-635, 1084-1	口縁部 ～胴部	(25.0)	-	-	738.0	破片	2.5YR4/8 2.5YR4/6	PJ 079 西壁白い、床面で出土。波状口縁。口縁部に竹管押しきした太い隆帯。縦位区画がある幾何学文様。円文。縄文。内面ミガキ。同一器体の破片がPJ 073、PJ 075、DK 635 から出土。特徴は式古路陶
2914	PJ-79 6, PJ-79, PJ-75, DK-578, DK-635	口縁部 ～胴部	(29.4)	-	-	994.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	PJ 079 西壁白い、床面で2913 とともに出土。口縁部に削み、結節縄文。内面ミガキ。特徴は式

PJ079 号住居 石器観察表

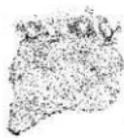
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3344	PJ-79 7	礫器	正岩	1/1	96.0	85.0	50.0	454.00	菱角様の1辺に微小剥離と流れ。硬質な定形
3345	PJ-79 5	礫	黒/カスミ		69.0	96.0	27.0	205.90	角縁の薄い1辺が突出。流れ
3346	PJ-79	石匙	珪質頁岩	1/1	46.0	55.0	13.0	24.60	片刃。灰色珪質頁岩。掘入石材か
3347	PJ-79	原石	黒曜石					22.80	ズリ。透明系黒曜石
3348	PJ-79	原石	黒曜石					8.10	一翼コア。風化程度。透明系黒曜石
3349	PJ-79	原石	黒曜石					7.90	風化程度。透明系黒曜石
3350	PJ-79	礫器	チャート	3/4	18.0	41.0	7.0	6.20	剥片の1辺に片刃。刃部に微小剥離と流れ。赤色チャート
3351	PJ-79	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.10	破面が残る剥片の両面。2辺に調整剥離。漆黒黒曜石
3352	PJ-79	石鏃	黒曜石	1/1	16.7	16.9	4.1	0.62	凹基。両面加工。透明系黒曜石
3353	PJ-79	石鏃	黒曜石	1/2	22.3	19.0	4.5	1.49	未成品。三角形状ができた段階。片側縁欠損。裏面波状半透明黒曜石
3354	PJ-79	石鏃	黒曜石	1/2				1.04	未成品。破面が残る剥片素材。三角形状ができた段階か。中央で折損。漆黒黒曜石
3355	PJ-79	石鏃	黒曜石	3/4	(19.1)	17.2	3.0	(0.68)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
3356	PJ-79	石鏃	黒曜石	1/1	16.3	11.7	2.5	0.46	未成品。薄い剥片素材。縁辺加工。透明黒曜石
4524	PT-1283	石鏃	黒曜石	1/2	21.7	16.7	4.2	1.21	PT1283 出土。未成品。基部欠損。素材の厚い側を先端側に置いたらしい。灰色夾雑物が混じる透明黒曜石
4526	PT-1515	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				3.00	破面が残る剥片の1辺に微小剥離。漆黒黒曜石
4527	PT-1514	石鏃	黒曜石					(0.22)	PT1514 出土。石鏃基部の破片。透明黒曜石
4528	PT-1285	原石	黒曜石					17.90	流紋岩が付着した破面。白部のある透明系黒曜石
4529	PT-1470	剥離のある 剥片	黒曜石					0.70	剥片の1辺に調整剥離。黒底の透明黒曜石
10862	PJ-79 3	磨石類	安山岩類	1/1	80.0	68.0	39.0	268	棒円形。平坦な2面に磨打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。粗粒な安山岩
10863	PJ-79 4	ハンマー	砂岩類					84	棒状円錐形。長軸片破面に磨打による平坦面。器体中央で折損



2886
0 2cm
S=1:4



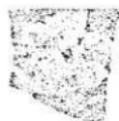
2911
0 1cm
S=1:2



2912
0 1cm
S=1:2

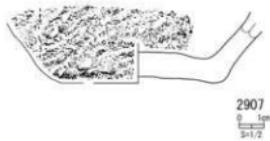
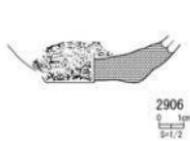
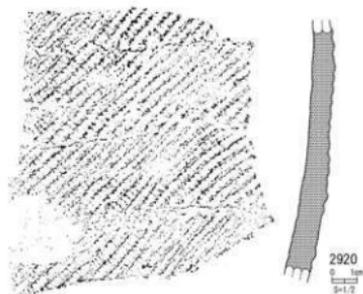


2910
0 1cm
S=1:2

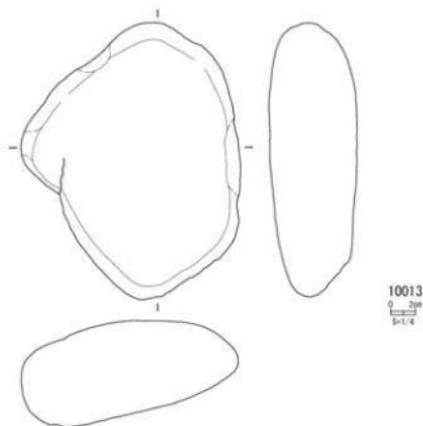
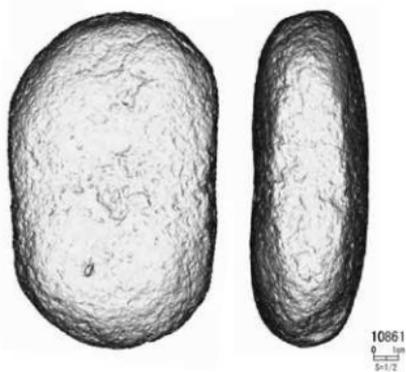
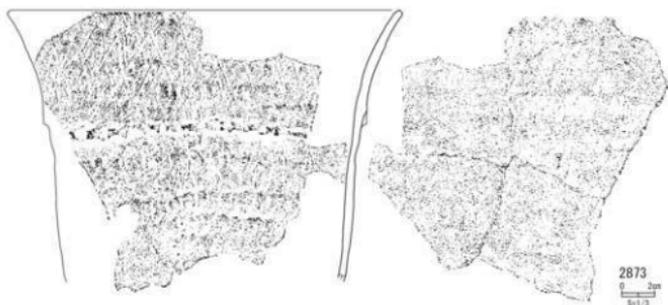


2919
0 1cm
S=1:2

PJ088 号住居出土遺物



PJ088 号住居出土遺物



PJ088 号住居出土遺物

PJ088 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 内径	器高 口径 横	底径 口径 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2873	10-6826	口縁部 →胴部	(24.2)	-	-	200.0	破片	7.5YR6/4 5YR6/6	口唇部剥み、やや肥厚する口縁に格子目文。下腹に段差と剥み。胴部は輪郭み成の凹凸が残る。指張圧痕と爪痕が輪郭み成に沿って施文される。内面指張圧痕とナデ。器壁は肥厚口縁部が7mm、胴部は5mm。胎土に繊維を含まない。木舟式
2886	K-5-21、K-5-22、DK-482	口縁部 →胴部	(30.0)	-	-	1,369.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	DK482 輪郭面出土。出土位置からPJ.88分と判断。外面条線文。内面整形の凹凸が残る。胎土に繊維を含む。中越式併行
2906	PJ-88 13	胴部 →底部	-	-	3.9	36.0	破片	7.5YR5/3 2.5YR5/8	上げ底気味の底面。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2907	PJ-88 4、PJ-83	胴部 →底部	-	-	(6.6)	78.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	純文。上げ底気味の底面。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2908	PJ-88 5、PJ-83、PJ-88 10、PJ-88、PJ-76、DK-482	口縁部 →胴部	-	-	-	528.0	破片	5YR5/4 7.5YR4/3	純文。内面輪郭み成。整形痕の凹凸が残るナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2909	PJ-88 4、PJ-88 6、PJ-88 7、PJ-88 8、PJ-88 9、PJ-88 11、PJ-88、PJ-83、DK-482、PJ-1263、K-5-16、PJ-88 10、PJ-75、PJ-76、PJ-82、DK-513	胴部 →底部	-	-	9.0	1,918.0	破片	5YR7/6 7.5YR7/6	羽状純文。内面ナデミガキ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2910	PJ-88 16	口縁部	-	-	-	36.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	外面ナデ。内面指張圧痕がやや残るナデ。胎土に繊維を含まない。中越式
2911	PJ-88 2、PJ-83、K-5-22、DK-571	口縁部 →胴部	-	-	-	251.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	波状口縁。内外面整形痕の凹凸が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2912	PJ-88、PJ-75	口縁部	-	-	-	47.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR5/4	口唇部剥み。内外面整形痕の凹凸が残るナデ調整。胎土に繊維を含む。中越式
2919	PJ-88、PJ-75	口縁部	-	-	-	27.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR6/4	外面純文。内外面気化。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2920	PJ-88 15、PJ-88 13、PJ-88 14、PJ-88 17、PJ-88、PJ-75、PJ-76 1、PJ-83、DK-483	胴部	-	-	-	903.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/6	純文。内面指張圧痕がやや残るナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木式

PJ088 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1904	PJ-88	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				2.50	風化剥面が残る剥片の1辺に調整跡。透明黒曜石
1905	PJ-88	石鏃	チャート	3/4	18.6	(13.5)	4.0	(0.90)	凹基。縁辺加工。明灰色チャート
7500	10-6834	袂状耳飾	滑石		(37.0)	(20.0)	(13.0)	9	厚みのある袂状耳飾の断片。ベージュ色の滑石
7564	10-6845	磨石類	安山岩類	1/1	90.0	79.0	57.0	513	磨石作業面は2面。表裏に2ヶ所づつ凹部。狭く広い凹部。磨石作業面を凹部が切る。
7568	10-6760	石鏃	黒曜石	1/1	17.2	13.0	3.5	0.53	凹基。縁辺加工。調整が19X5に類似。墓溝状半透明黒曜石
10013	PJ-88 18	台石	安山岩類	1/1	388.0	363.0	157.0	32,000	大きな扁平室内槽。完全な平坦面ではない2面が隆起
10861	PJ-88 3	磨石類	安山岩類	1/1	137.0	84.0	48.0	800	石鏃型。平坦な2面に磨粒。敲打集中の凹み。側面2面は敲打で平坦になっている。

PJ076 号住居

位置 : J-5 グリッドから K-5 グリッドにかけて位置する。PJ082 号住居、PJ083 号住居と重複し、本住居がもっとも新しい。DK519、DK521、DK584 号集石土坑、DK552、DK591、DK613 号土坑に切られる。DK603 号土坑との新旧関係は確認できなかった。

規模 : 長軸長 5m、短軸長 4.1m の楕円形で、竪穴は深さ 40 cm ほどが残る。

埋土 : 黒褐色土と暗褐色土を基調とする埋土がレンズ状に堆積する。埋土断面観察により PJ076 号住居、PJ082 号住居、PJ083 号住居の新旧関係を確認した。

床面 : 黄褐色砂質の地山と PJ082 号住居の暗褐色埋土を平坦に掘り込んで床面としている。床面には大小の風化花崗岩が露出し、床面と同様に平坦に削られていた。

炉 : 検出されなかった。

周溝 : 壁沿いに小溝を検出した。PJ082 号住居と重複する箇所は埋土断面で周溝の存在を確認した。

柱穴 : 多数のピットが検出された。ピットの形状、深さ、位置から想定される柱穴は、PT1238、PT1269、PT1249、PT1253 号ピットの 4 基である。これらは深さが 30 cm から 50 cm である。PT1238 は 14 cm と浅いが PJ082 号住居に切られるため PJ76 号住居床面からの深さはおおむね 30 cm である。

さらに PT1258、PT1235、PT1250、PT1259 号ピットの 4 基も柱穴であった可能性がある。ほかにも柱穴にふさわしい大きさ、深さのピットがあることから本住居は複数回の建替えが想定されるかもしれない。

出土遺物 : 土器、石器は主に埋土から出土した。諸磯式土器が多数出土したが、本住居の周辺では諸磯式期の集石土坑、土坑が多数検出され、諸磯式期の活動が濃密であることから本住居に遺物が混入する機会が多かったと推測される。

出土した土器の総量は 36,357g で、内訳は早期条痕文系 63g、神之木台式 14g、木島式 728g、中越式 7,450g、神ノ木式 3,021g、関山式 171g、堂之上 Z 式 25g、上の坊式 25g、上広甍式 10g、有尾式 10,110g、釈迦堂 Z3 式 676g、黒浜式 402g、諸磯式 9,976g、北白川下層 II 式 177g、前期土器破片 3,313g などである。

出土した石器の内訳は、石鏃 53 点、石錐 9 点、両極石器 3 点、石匙 6 点、打製石斧 2 点、磨石類 7 点、石皿 1 点、台石 4 点、磨製石斧 2 点、礫器 1 点、ハンマー 2 点、剥離のある剥片 12 点、黒曜石石核 1 点、円礫 2 点、黒曜石原石 14 点、黒曜石を主とする剥片・破片 1,019 点 2,712g である。土器と同様に諸磯式期の石器が少なからず混入していると思われる。

時期 : 遺構の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかったが、土器 2885 の黒浜式土器は大きな破片がまとまり、かつ住居中央の埋土下層で出土している。したがって本住居は当該時期までに廃絶し、埋没過程にあったと推測される。

PJ082 号住居

位置 : K-5 グリッドに位置する。PJ076 号住居と PJ083 号住居、DK584 号土坑と DK613 号土坑に切られる。

規模 : 長軸長 2.8m、短軸長 2.4m の不整形形で竪穴は 15 cm が残る。PJ076 号住居に切られたため浅いが本来の深さは 60 cm 程度以上と推測される。

埋土 : 暗褐色土が堆積していた。

床面 : 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。床面には風化した大小の花崗岩が露出し、床面にあわせて平坦に削られていた。

炉 : 検出されなかった。

周溝：北西壁沿いに小溝を検出した。

柱穴：PT1243とPT1226号ピットの2基を想定した。

出土遺物：土器、石器は埋土から出土した。DK584号土坑などに切られ、諸磯式土器が混入している。

：出土した土器の総量は1,391gで、坂平式12g、木島式38g、中越式262g、神ノ木式69g、有尾式310g、釈迦堂Z3式90g、諸磯式464g、前期土器破片146gである。

：出土した石器の内訳は、両極石器1点、磨製石斧1点、黒曜石の剥片・破片44点92gである。

時期：遺構の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。PJ076号住居に切られることから黒浜式期に先行する遺構である。小形、小判形プランで2本柱穴の構造はPJ070B号住居に類似し、同時期の遺構である可能性が高い。

PJ083号住居

位置：K-5グリッドに位置する。PJ076号住居に切られ、PJ082号住居を切る。DK509号土坑など7基の土坑に切られる。

規模：長軸長4.5m、短軸長4.2mの不整形形で堅穴は深さ30cmが残る。

埋土：暗褐色土と黄褐色土混じりの埋土がレンズ状に堆積していた。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。大きな風化花崗岩2個が露出し、床面同様に平坦に削られていた。

炉：住居中央を浅く掘りくぼめた地床炉を検出した。炉底は被熱し、弱く焼土化していた。

周溝：壁沿いで小溝を検出した。北壁沿いは地山の風化花崗岩が露出し、小溝は検出されなかった。

柱穴：PT1230、PT1228、PT1240、PT1242号ピットの4基が柱穴と思われる。PJ082号住居に重複するPT1242とPT1240は浅いが、本来の深さは35cm程度である。

出土遺物：土器、石器は埋土から出土した。土器2869の諸磯b式土器破片と磨石類10859は、本来、本住居に重複する諸磯式期の土坑に帰属するものと思われるが、土坑自体を調査時に見落としたりしい。

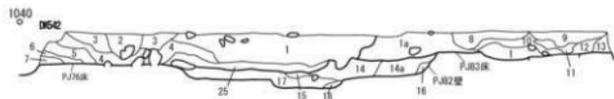
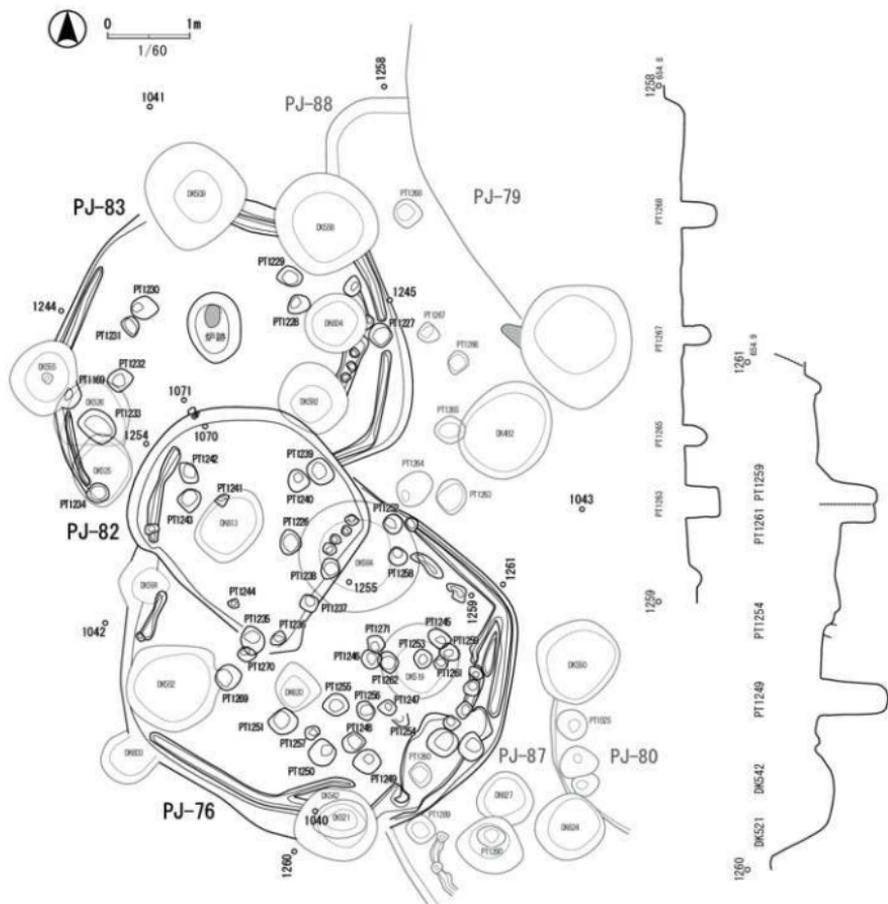
出土した土器の総量は4,814gで、木島式185g、中越式538g、神ノ木式425g、上の坊式7g、有尾式1,193g、釈迦堂Z3式125g、諸磯式1,880g、前期土器破片409gなどである。

出土した石器の内訳は、石鏃6点、石錐1点、素刃削器1点、両極石器1点、打製石斧1点、磨石類1点、石皿1点、台石1点、ハンマー1点、剥離のある剥片4点、黒曜石を主とする剥片・破片145点320gである。

時期：遺構の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。出土した土器は諸磯式を除くと有尾式が多い。またPJ076号住居と近接して重複し、規模、柱穴配置が類似することから、PJ076号住居と同時期、すなわち前期中葉期の遺構と推測される。

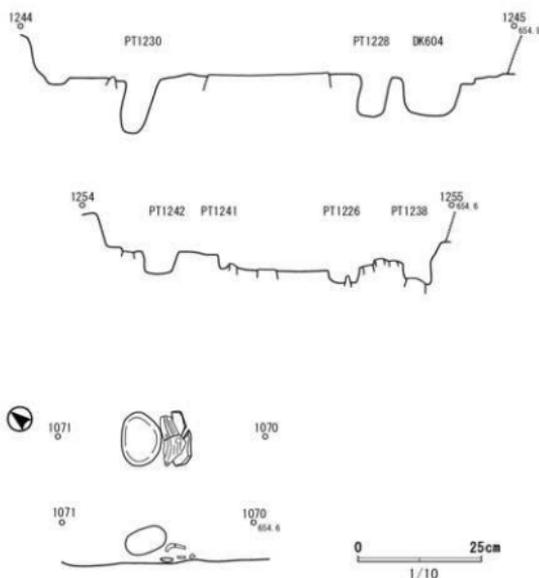
P.J076号・P.J082号・P.J083号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1169	83 住内	33	32	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	DK506、DK555に切られる。
PT-1226	82 住内	26×22	12	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J82 柱穴、中継式、踏礎式
PT-1227	83 住内	27×23	3	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1228	83 住内	22×22	30	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J83 柱穴、踏礎式
PT-1229	83 住内	20×25	15	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1230	83 住内	30×30	40	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J83 柱穴、中継式丸底破片
PT-1231	83 住内	25×15	4	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1232	83 住内	27×22	22	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1233	83 住内	45×43	13	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	中継式。DK526に切られる。
PT-1234	83 住内	20×22	6	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	DK525に切られる。
PT-1235	82 住内	25×25	21	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1236	82 住内	17×13	16	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1237	82 住内	16×16	14	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1238	82 住内	20×20	14	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴、中継式
PT-1239	82 住内	32×26	15	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	踏礎式?
PT-1240	82 住内	20×29	20	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J83 柱穴
PT-1241	82 住内	14×10	14	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1242	82 住内	28×18	20	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J83 柱穴
PT-1243	82 住内	25×22	17	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J82 柱穴、中継式
PT-1244	82 住内	10×10	8	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1245	76 住内	20	10	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	踏礎式
PT-1246	76 住内	23×23	27	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	中継式
PT-1247	76 住内	24×25	17	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1248	76 住内	24×22	30	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1249	76 住内	24×25	45	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴、神ノ木式か有尾式
PT-1250	76 住内	30×27	24	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1251	76 住内	29×33	10	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1252	76 住内	27×27	20	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	神ノ木式
PT-1253	76 住内	20×20	30	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1254	76 住内	18×14	7	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	踏礎式
PT-1255	76 住内	23×23	20	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1256	76 住内	22×20	10	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	神ノ木式
PT-1257	76 住内	13×13	13	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1258	76 住内	20×17	23	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1259	76 住内	22×20	20	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1261	76 住内	13×18	26	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1262	76 住内	24×20	23	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1269	76 住内	30×28	50	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	P.J86 柱穴
PT-1270	76 住内	16×16	30	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	
PT-1271	76 住内	20×20	35	10YR2/4(暗褐)に10YR4/4(褐)が混じる。シルト粘土。	

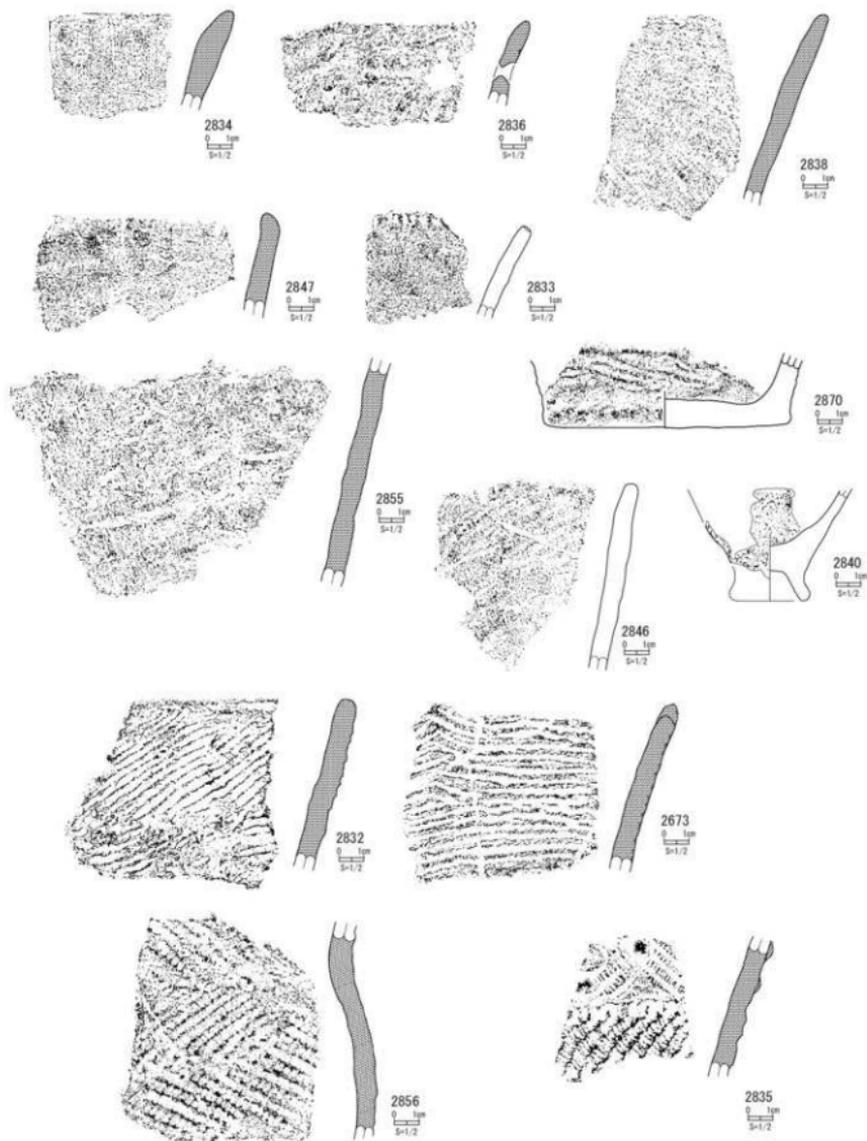


PJ076号·PJ082号·PJ083号住居

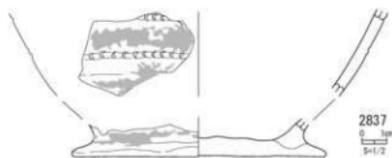
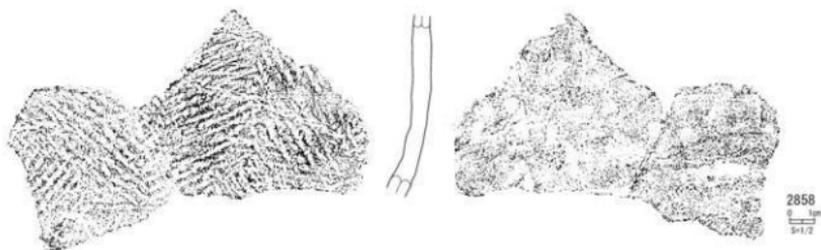
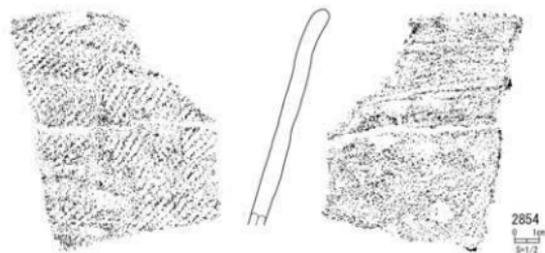
- 1層 K092③(3層)にK094(4層)が9%、K095(6(黄層)が1%、炭化物が1%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-76(埋土)
- 1-a層 1よりやや明るい、PJ-82(埋土)
- 2層 K092③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%以下、粘土が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。PJ-76(埋土)
- 3層 K092③(3層)に炭化物が9%以下、粘土が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-76(埋土)
- 4層 K091③(3層)にK094(4層)が9%、K094(4層)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76(埋土)
- 5層 K091③(3層)にK094(4層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76(埋土)
- 6層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。PJ-76(埋土)
- 7層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76(埋土)
- 8層 K094(4)に二い黄層)にK095(6(黄層)が9%、K093(3(3層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76の2層が)
- 9層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83(埋土)
- 10層 K091③(3層)にK094(4層)が9%、K095(4)に二い黄層)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-82(埋土)
- 11層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83(埋土)
- 12層 K091③(3層)にK095(6(黄層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83(埋土)
- 13層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83(埋土)
- 14層 K091(4(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-82(埋土)
- 14-a層 14よりやや暗い、PJ-82(埋土)
- 15層 K091③(3層)に炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-82(埋土)
- 16層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、花崗岩粒が9%以下、混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-82(埋土)
- 17層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。PJ-82(埋土)
- 18層 17よりやや暗い、PJ-82(埋土)
- 19層 K091③(3層)にK094(4層)が9%、K095(6(黄層)が1%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-82(埋土)
- 20層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、K095(6(黄層)が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-76(埋土)
- 21層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、K094(4層)が9%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-82(埋土)
- 22層 K091③(3層)にK095(4)に二い黄層)が9%、K091③(3層)が9%、K095(6(黄層)が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-82(埋土)
- 23層 K091③(3層)にK094(4層)が9%、K095(6(黄層)が9%、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。PJ-76(埋土)
- 24層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76(埋土)
- 25層 K091③(3層)にK091③(3層)が9%、炭化物が9%以下、花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-76(埋土)
- 床面 K095(6(黄層)に花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83
- 壁 K095(6(黄層)に花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性なし、しまる。PJ-83
- 床面 K095(6(黄層)に花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-76
- 壁 K095(6(黄層)に花崗岩粒が9%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。PJ-76



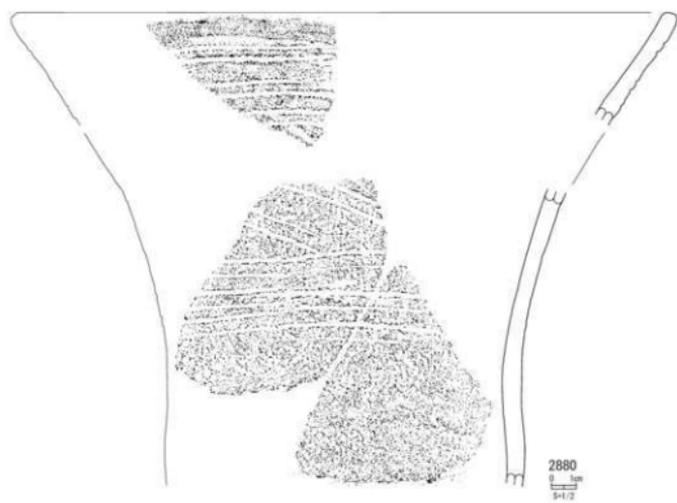
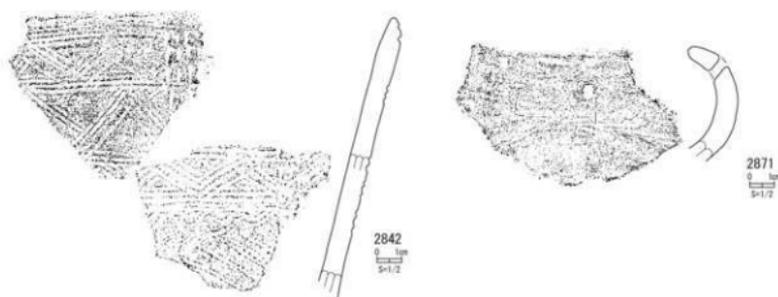
PJ076号・PJ082号・PJ083号住居



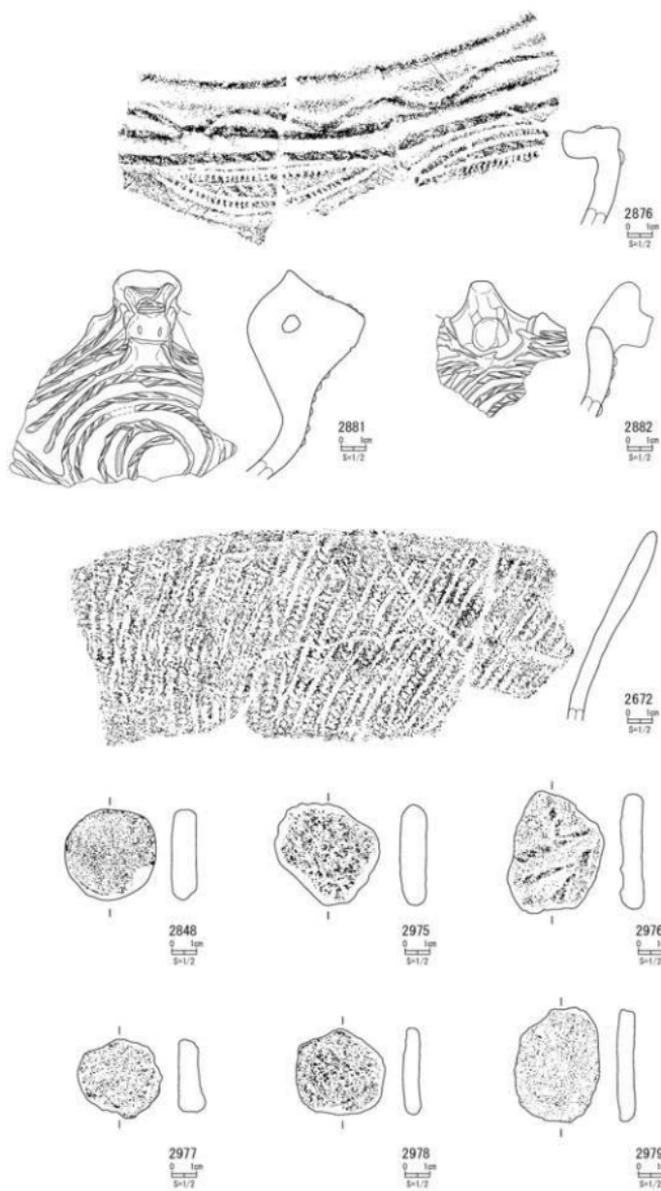
PJ076 号住居出土遺物



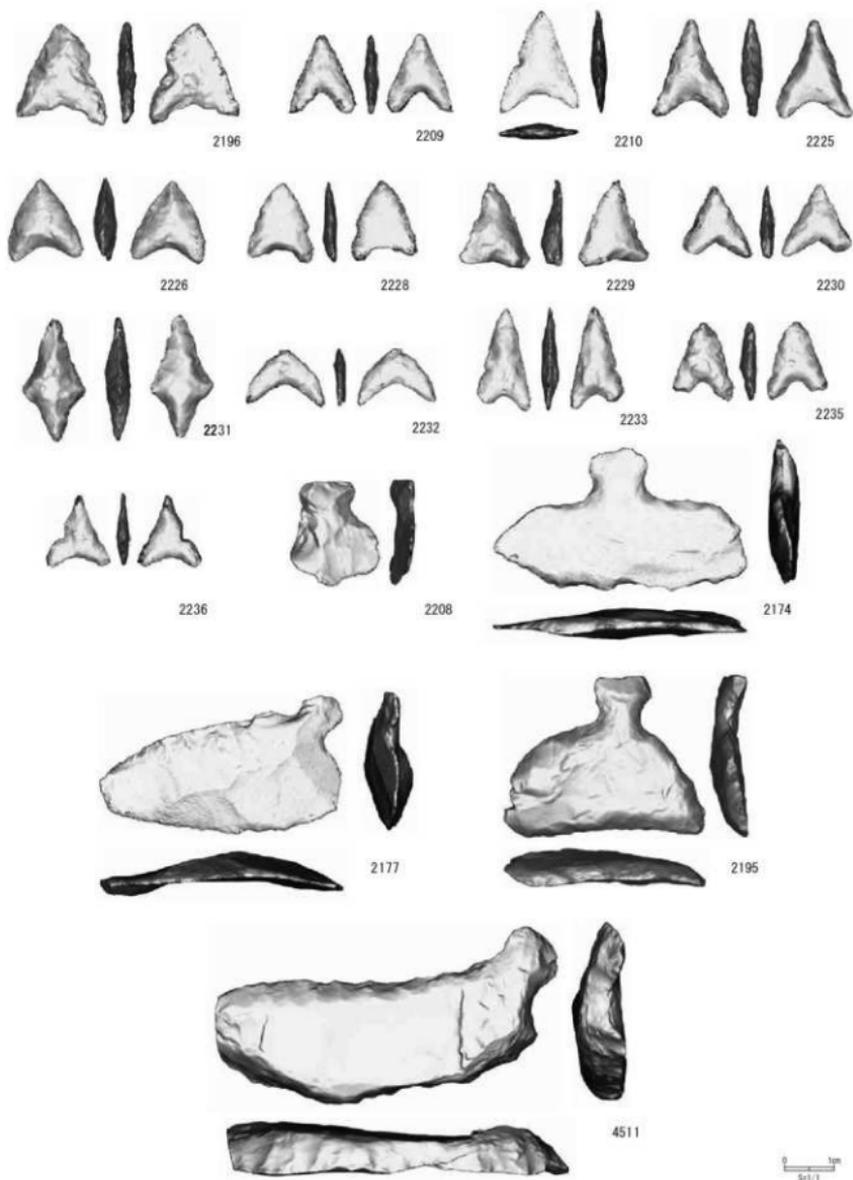
PJ076 号住居出土遺物



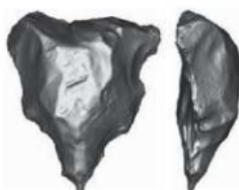
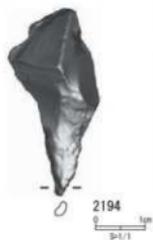
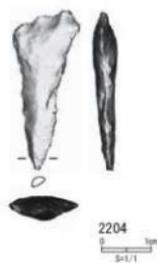
PJ076 号住居出土遺物



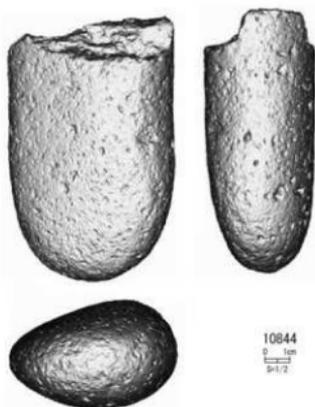
PJ076 号住居出土遺物



PJ076 号住居出土遺物

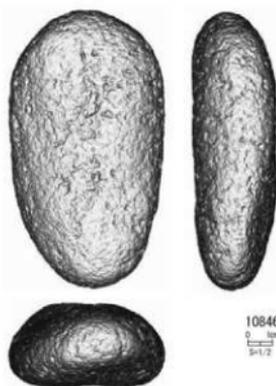


PJ076 号住居出土遺物



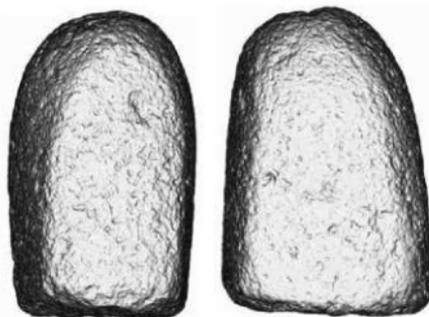
10844

0 1cm
5=1/2



10846

0 1cm
5=1/2



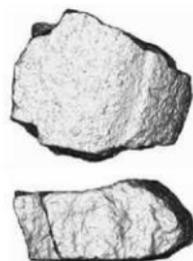
10850

0 1cm
5=1/2



10853

0 1cm
5=1/2



10843

0 2cm
5=1/4



10854

0 1cm
5=1/2



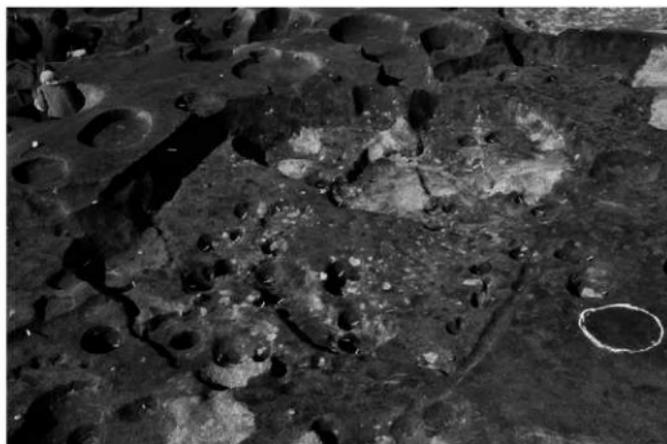
10855

0 1cm
5=1/2

PJ076 号住居出土遺物



PJ076 号住居出土遺物



PJ076

実態状況を南東から撮影。手前の隅丸方形住居がPJ076号住居

PJ076 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2672	PJ-87 2、PJ-87 3	口縁部	-	-	-	164.0	破片	2.5YR4.6 2.5YR4.4	青帯に近い、床面から 35 cm 深いで石帯 7418、7419 とともに出土。PJ76 とは別遺構に帰属する遺物と思われる。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。踏踏式
2673	PJ-87 5	口縁部	-	-	-	52.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4.3	口唇部に突起。たどたどしい平行沈線。内面指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を少量含む。有尾式
2682	PJ-76	口縁部	-	-	-	67.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4.2	縄文。内面ヨコナデ。輪跡のみ残る。胎土に繊維を含む。有尾式
2683	PJ-76	口縁部	-	-	-	16.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7.6	内外面ナデ。胎土に繊維を含まない。中越式
2684	PJ-76	口縁部	-	-	-	31.0	破片	5YR4.6 5YR4.3	外面タテナデ。内面指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2685	PJ-76	胴部	-	-	-	28.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR5/4	円形貼付文。梯子状文。束端磨付き縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を多量に含む。開山式
2686	PJ-76	口縁部	-	-	-	27.0	破片	5YR3.3 5YR3.2	内外面整形痕の凹凸が顕著。胎土に繊維を含む。種輪孔あり。中越式
2687	PJ-76、J-5-15、J-5-20	胴部～ 底部	-	-	-	86.0	破片	7.5YR8/4 7.5YR7.6	浅鉢底部破片。割れ口を研磨し凹状の跡に再生か。赤彩あり。輪跡の竹管押引文。磨擦は薄手。胎土に繊維を含まない。北白川下層式併行
2688	PJ-76	口縁部	-	-	-	45.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4.3	整形痕の凹凸が残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2690	PJ-76	胴部～ 底部	-	-	3.2	57.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	台付きの底部。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2691	PJ-76	口縁部	-	-	-	41.0	破片	5YR4.6 5YR4.3	波状口縁。結節浮線文。内面ミガキ。踏踏 b 式
2692	PJ-76	口縁部	-	-	-	123.0	破片	5YR4.4 5YR4.6	斜交文の縦位区画。波線文と平行沈線。縄文。結節縄文。内面ミガキ。踏踏 a 式
2694	PJ-76	口縁部	-	-	-	133.0	破片	5YR4.5 5YR5.6	結節浮線文。口唇部にも種輪貼付。縄文。内面ミガキ。踏踏 b 式
2695	PJ-76 6	口縁部	-	-	-	34.0	破片	5YR5.4 5YR5.6	縄文。内面整形痕の凹凸が残る。黒化。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2697	PJ-76 21	口縁部	-	-	-	33.0	破片	5YR4.2 5YR3.2	外面硝ナデミガキ。内面指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2698	PJ-76	土製円盤	3.6	3.7	1.0	19.0	ほぼ完形	5YR4.4 5YR3.2	内外面ミガキ。踏踏土器破片を再生した土製円盤。縁辺を研磨整形
2699	PJ-76 20	口縁部～ 胴部	-	-	-	65.0	破片	2.5YR4.6 5YR3.2	斜線文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。磨擦は 6 mm と薄手。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 2 式
2699	PJ-76 23	胴部	-	-	-	100.0	破片	7.5YR6/4 5YR4.3	内外面整形痕の凹凸と指頭圧痕が残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2699	PJ-76 3	胴部	-	-	-	123.0	破片	7.5YR6/6 5YR5.6	羽状縄文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。有尾式
2699	PJ-82 6	胴部	-	-	-	86.0	破片	5YR4.3 5YR4.4	羽状縄文。内面指頭圧痕顕著。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 2 式
2699	PJ-76	胴部～ 底部	-	-	(10.2)	116.0	破片	5YR5.6 7.5YR7/4	縄文。底部縁辺がやや突出。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2699	PJ-76	口縁部	-	-	-	50.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR4.3	丸碗形。内外面ミガキ。赤彩あり。踏踏 a 式
2699	PJ-76	口縁部	(29.4)	-	-	128.0	破片	2.5YR5.8 7.5YR6/4	水平に内陥する口縁部に踏踏。木の皮文。内外面黒化。2 次被熱。踏踏 b 式
2699	PJ-76、DK-509、J-5-15、K-5-18	口縁部	-	-	-	323.0	破片	5YR3.3 5YR3.2	縄文。平行沈線。内面ミガキ。踏踏 b 式古段階
2699	PJ-76	口縁部	-	-	-	122.0	破片	5YR4.5 5YR5.6	写実的な彫面突起。結節縄文。内面ミガキ。踏踏 b 式中段階
2699	PJ-76	口縁部	-	-	-	177.0	破片	5YR4.3 5YR4.4	彫面突起。結節浮線文。踏踏 b 式中段階
2699	PJ-76、PJ-76 2、PJ-75、PJ-82、K-5-6、IP-26	口縁部～ 胴部	(24.3)	-	-	402.0	破片	5YR4.4 5YR4.4	住居中央付近、床面から 12 cm 深いで出土。両ばった口唇部。縦位区画。コンパス文。竹管平行沈線。羽状縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。黒炭式。
2699	PJ-76	土製円盤	4.1	4.3	1.1	17.2	ほぼ完形	10YR4/1 10YR4/1	縁辺が摩耗。不整形
2699	PJ-76	土製円盤	5.0	3.9	0.9	17.0	ほぼ完形	5YR6.6 5YR5.6	結節浮線文のある踏踏 b 式土器破片。縁辺が摩耗。不整形
2699	PJ-76	土製円盤	3.2	3.4	1.1	10.4	ほぼ完形	7.5YR3/1 5YR4.4	縁辺が摩耗。不整形
2699	PJ-76	土製円盤	3.5	3.6	0.7	8.8	ほぼ完形	10YR4/1 5YR6.6	神ノ木式土器? 破片。縁辺が摩耗。やや不整形
2699	PJ-76	土製円盤	4.6	3.5	0.7	12.7	ほぼ完形	7.5YR6/4 7.5YR7.6	中越式土器? 破片。縁辺が摩耗。やや不整形

PJ076 号住居 石器観察表

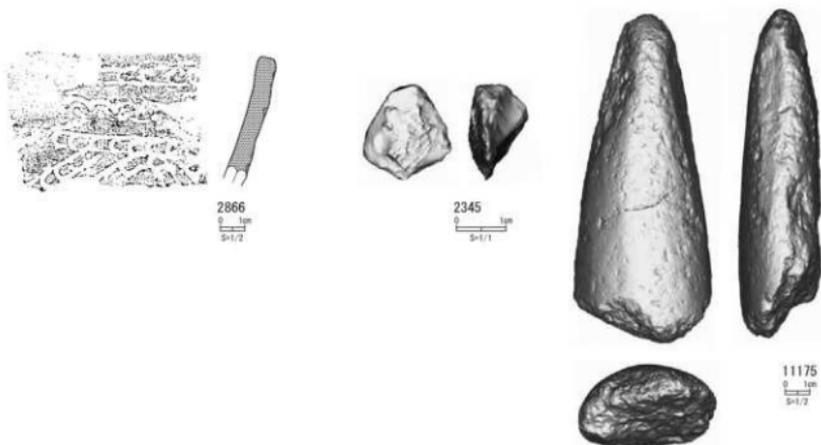
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2150	PJ-76 16	石器	砂岩	1/1	116.0	45.0	29.0	182.00	打製石片未成品のような石器。片割縁に調整跡。やや粗粒の砂岩
2159	PJ-76	剥離のある 剥片	頁岩	1/1	58.0	96.0	23.0	100.30	臺刀縁の直線的な1辺に微小剥離と稜料
2160	PJ-76	打製石片	頁岩	3/4	75.0	52.0	11.0	48.60	剥がれるように破損した打製石片破片。刃部に鋭い稜料
2161	PJ-76	打製石片	緑のAA	3/4	70.0	43.0	13.0	42.90	基部のみの破片。表面風化
2162	PJ-76	石器	黒曜石					30.30	ズリ。透明系黒曜石
2163	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩		48.0	37.0	11.0	14.50	剥片の内湾する縁辺に調整跡。剥離の状態からは削器とも考えられる。青灰色珩質頁岩
2164	PJ-76	原石	黒曜石					24.40	角縁。風化した原石面。透明系黒曜石
2165	PJ-76	原石	黒曜石					20.40	角縁。風化した原石面。灰色夾雑物が望む透明系黒曜石
2166	PJ-76	原石	黒曜石					20.20	ズリ。透明系黒曜石
2167	PJ-76	原石	黒曜石					21.00	ズリ。透明系黒曜石
2168	PJ-76	原石	黒曜石					10.00	ズリ。透明系黒曜石
2169	PJ-76	原石	黒曜石					20.80	一巻コア。ズリ。透明系黒曜石
2170	PJ-76	原石	黒曜石					10.50	角縁。風化した原石面。透明系黒曜石
2171	PJ-76	石器	黒曜石	1/1	37.0	31.0	12.0	10.40	ズリ面が残る剥片の突った縁辺を調整。透明系黒曜石
2172	PJ-76	原石	黒曜石					10.40	ズリ。透明系黒曜石
2173	PJ-76 24	剥離のある 剥片	珩質頁岩	-	-	-	8.0	7.00	折れた短長剥片の1辺に微小剥離。1辺に調整跡。白筋のある青灰色珩質頁岩
2174	PJ-76	石器	珩質頁岩	1/1	29.0	51.0	6.0	7.10	片刃。刃部にガジリ。灰色。緑灰色の縞模様。珩質頁岩。磨入石材か
2175	PJ-76	原石	黒曜石					7.30	ズリ。濃黒黒曜石
2176	PJ-76	原石	黒曜石					6.40	ズリ。濃黒黒曜石
2177	PJ-76	石器	チャート	1/1	27.0	50.0	7.0	7.80	片刃。赤褐色チャート
2178	PJ-76	原石	黒曜石					14.80	河川紀石面と風化剥離面。透明黒曜石
2179	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩	1/1				8.00	両端が折れた短長剥片の1辺に微小剥離。1辺に刃刃の刃調整。緑灰色珩質頁岩
2180	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩					5.20	稜面がある三角形の剥片の1辺に微小剥離。青灰色珩質頁岩
2181	PJ-76	原石	黒曜石					8.40	角縁。風化原石面。透明系黒曜石
2182	PJ-76	両縁石器	黒曜石	1/1	34.0	21.0	12.0	7.30	ズリ面が残る剥片の両端に衝撃剥離。透明系黒曜石
2183	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩	1/1				4.50	短長剥片の2辺に微小剥離。灰色と青灰色縞の珩質頁岩
2184	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩	1/1				4.20	剥片の2辺に調整跡。緑灰色珩質頁岩
2185	PJ-76	石器	珩質頁岩	1/2	39.0	32.0	9.0	6.90	未成品か。つまみ部破片。稜面が残る。節理面で折損。明灰色珩質頁岩
2186	PJ-76	石器	黒曜石	3/4	29.2	22.6	6.4	3.47	未成品。三角形状ができた段階。節理面で欠損。透明系黒曜石
2187	PJ-76	石器	黒曜石	1/1	19.8	18.9	4.3	1.58	未成品。凹底。両面加工。先端欠損。透明系黒曜石
2188	PJ-76	剥離のある 剥片	珩質頁岩	-	21.0	20.0	8.0	4.70	薄手剥片の1辺に掻器状の刃部。刃部に微小剥離。白筋のある青灰色珩質頁岩
2189	PJ-76	石器	黒曜石		25.2	20.5	4.7	2.11	未成品。三角形状ができた段階。器体中央で折損。すりガラス状。被熱か。透明系黒曜石
2190	PJ-76	石器	黒曜石	1/1	28.8	23.6	7.0	3.48	未成品。三角形状ができた段階。白筋の濃黒黒曜石
2191	PJ-76	原石	黒曜石					8.50	ズリ。濃黒黒曜石
2192	PJ-76	原石	黒曜石					5.70	ズリ。濃黒黒曜石
2193	PJ-76	石器	黒曜石	1/1	26.0	22.4	7.7	2.82	未成品。ズリ面が残る。三角形状ができた段階。濃黒黒曜石
2194	PJ-76	石器	黒曜石	1/1	38.0	13.0	10.0	3.80	稜面が残る砕片素材。鋒部に鋭い稜料。透明系黒曜石
2195	PJ-76	石器	チャート	1/1	33.0	41.0	6.0	7.60	片刃。刃部に微小剥離。緑灰色チャート
2196	PJ-76	石器	石英岩	3/4	20.9	18.1	3.8	(0.90)	凹底。両面加工。先端欠損。透明石英岩
2197	PJ-76	石器	黒曜石	1/2				2.12	未成品。両面加工。多角形形状ができた段階。透明系黒曜石

PJ076号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2198	PJ-76	両縁石器	黒曜石	1/1	20.0	17.0	6.0	1.60	小さな碎片の両面に衝撃割痕。透明黒曜石
2199	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	21.9	21.0	8.3	(2.60)	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。黒筋のある透明黒曜石
2200	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/1	28.0	12.0	7.0	1.80	断面裏面に成形した石鏃。白筋のある青灰色珪質頁岩
2201	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	22.2	16.1	3.4	0.87	未成品。両面加工。三角形状ができた段階。漆黒黒曜石
2202	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				1.17	未成品。両面加工。三角形状ができた段階。片割縁欠損。透明系黒曜石
2203	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/1	31.0	22.0	0.7	3.10	縁面が残る素材。乳白色と青灰色珪質頁岩
2204	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/1	32.0	7.0	5.0	1.30	両面加工。断面は薄い層状。白筋のある青灰色珪質頁岩
2205	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	21.8	3.7	-	(0.76)	凹基。両面加工。片割縁欠損。黒筋のある透明黒曜石
2206	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	19.3	18.9	5.2	1.63	未成品。凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
2207	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	21.3	19.0	5.8	2.18	未成品。縁面が残る。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。漆黒黒曜石
2208	PJ-76	石鏃	チャート	1/1	21.7	18.6	3.8	1.28	ミニチュア石鏃。割片素材。つまみ部分のみ調整。刃部は未調整。灰色と褐色色底のチャート
2209	PJ-76	石鏃	チャート	1/1	16.6	13.2	2.7	0.38	凹基。両面加工。灰色チャート
2210	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/1	20.7	15.7	3.2	0.64	凹基。両面加工。先端がすぼむ。割縁にガジリ。青灰色珪質頁岩
2211	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	25.0	11.0	5.0	1.00	縁面が残る素材。先端欠損。透明系黒曜石
2212	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	21.0	14.1	3.3	69.00	未成品。縁面が残る割片素材。三角形状ができた段階。透明系黒曜石
2213	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	18.1	-	3.6	(0.48)	凹基。両面加工。片割欠損。透明系黒曜石
2214	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				1.09	未成品。凹基。両面加工。先端。片割縁欠損。透明黒曜石
2215	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	16.9	-	2.5	(0.32)	凹基。両面加工。片割欠損。墓溝状透明黒曜石
2216	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/1	27.0	9.1	3.0	0.69	断面は薄い層状。基部は石鏃基部のように認められる。先端縁鋭。線条状。白筋のある青灰色珪質頁岩
2217	PJ-76	石鏃	珪質頁岩	1/2	-	17.2	2.9	(0.59)	凹基。両面加工。先端欠損。灰色珪質頁岩
2218	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	22.4	18.7	8.0	3.22	未成品。縁面が残る素材。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。透明系黒曜石
2219	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	19.1	15.8	5.3	1.32	未成品。割片素材。三角形状ができた段階。透明黒曜石
2220	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				1.29	未成品。三角形状ができた段階。片割縁欠損。漆黒黒曜石
2221	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				0.52	未成品。三角形状ができた段階。漆黒黒曜石
2222	PJ-76	石鏃	黒曜石	-	-	19.1	2.9	(0.60)	凹基。両面加工。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
2223	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	19.0	14.4	4.1	0.84	未成品。割片素材。三角形状ができた段階。透明系黒曜石
2224	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	22.7	16.8	3.0	0.96	未成品。割片素材。凹基。厚みが仕上がった段階。片割縁欠損。透明黒曜石
2225	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	19.9	15.3	4.1	0.70	凹基。両面加工。透明黒曜石
2226	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	16.9	15.3	4.6	0.82	凹基。両面加工。赤褐色底の黒曜石
2227	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	21.4	-	3.5	(0.65)	凹基。両面加工。基部縁りは深い。片割縁欠損。透明系黒曜石
2228	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	16.3	13.4	2.8	0.49	凹基。割片素材。縁辺加工。ブルーブラック黒曜石
2229	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	17.5	(14.4)	4.4	(0.68)	凹基。両面加工。両部先端欠損。粗粒なつくり。透明黒曜石
2230	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	14.9	(14.0)	2.9	(0.36)	凹基。両面加工。片割縁欠損。透明黒曜石
2231	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	24.8	12.2	4.9	0.80	有蓋。両面加工。墓溝状透明黒曜石
2232	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	12.5	15.7	2.4	0.22	凹基。長卵。鋭形。墓溝状透明黒曜石
2233	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	21.7	(11.0)	3.8	(0.51)	凹基。両面加工。細身。片割縁先端欠損。黒筋のある透明黒曜石
2234	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	14.7	-	2.3	(0.41)	凹基。両面加工。片割縁欠損。墓溝状透明黒曜石
2235	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	16.0	(12.3)	3.4	(0.44)	凹基。両面加工。片割先端欠損。灰色透明黒曜石
2236	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	14.7	12.5	2.7	(0.22)	凹基。両面加工。片割縁ガジリ。透明黒曜石
2237	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	-	(16.5)	3.0	(0.55)	未成品。三角形状ができた段階。先端欠損。透明系黒曜石
2238	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	15.7	14.6	3.2	0.49	凹基。縁りは深い。片割縁ガジリ。黒筋のある透明黒曜石

PJ076 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2239	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	(16.0)	-	3.6	(0.50)	凹基、両面加工、片鉤欠損。灰色夾雑物が定まる透明黒曜石
2240	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	-	(13.6)	2.5	(0.27)	凹基、両面加工、先端欠損。裏面状透明黒曜石
2241	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	24.3	-	4.4	(0.70)	凹基、両面加工、片鉤欠損。透明黒曜石
2242	PJ-76	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				0.70	剥片の縁辺に調整刻痕。石鏃未成品か。透明黒曜石
2243	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2	14.5	14.4	3.3	0.46	凹基、両面加工、先端欠損。透明系黒曜石
2244	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	-	-	2.3	(0.32)	凹基、両面加工、両鉤欠損。透黒曜石
2245	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	15.5	(10.6)	3.6	(0.39)	凹基、両面加工、片鉤欠損。稚拙なつくり。透明系黒曜石
2246	PJ-76	石鏃	黒曜石	-	-	-	3.9	(0.37)	先端のみの破片。ブルーブラック黒曜石
2247	PJ-76	石鏃	玉髄	1/2	18.4	-	3.1	(0.31)	凹基、両面加工、片鉤欠損。透明感のある赤褐色の玉髄
2248	PJ-76	石鏃	黒曜石	-				(0.18)	先端のみの破片。透明系黒曜石
4511	PT-1248	石匙	珪質頁岩	1/1	25.0	70.0	10.0	21.20	PT1248出土。片刃。灰色珪質頁岩。輸入石材
7418	10-6989	磨石類	安山岩類	1/1	8.8	6.8	5.1	797	南壁近く。床面から22cm浮いて出土。石器7419と並んで出土。磨石作表面1面。反対面ははっきりしない。磨石は平坦面をなし地磨石的。やや薄らか。長軸端部両側に磨打痕。磨打面は平坦面をなし。
7419	10-6990	磨石類	安山岩類	1/1	7.8	7.2	4.8	669	南壁近く。床面から21cm浮いて出土。石器7418と並んで出土。磨石作表面2面。片方は磨料がはっきりしない。両側磨石は平坦面をなし地磨石的。薄らかでない。長軸両端に磨打痕。片方は平坦面をなし。反対側が曲面を成す。
8173	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				0.85	未成品。原形ができた段階。先端欠損。半透明黒曜石
8174	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2				0.54	未成品。原形ができた段階。片鉤欠損。すりガラス状。破熟か。透明系黒曜石
8175	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/2		15.4	3.0	(0.33)	凹基、両面加工、先端欠損。半透明黒曜石
8176	PJ-76	面縁石器	黒曜石	1/1	20.0	12.0	8.0	1.80	縁面がある断面整形の剥片。両端に衝撃刻痕。透明系黒曜石
8177	PJ-76	剥離のある 剥片	黒曜石					0.50	剥片の縁辺に調整。ブルーブラック黒曜石
8178	PJ-76	石鏃	黒曜石	3/4	30.0	21.0	10.0	4.90	未成品。縁面が残る厚手の素材。両端打法で素材の厚みを減じる刻痕。細長い縁部を作出する調整。先端欠損。透明系黒曜石
8179	PJ-76	石鏃	黒曜石	1/1	35.0	21.0	10.0	5.90	縁面が残る剥片素材。先端欠損。赤褐色の黒曜石
8180	PJ-76	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	22.0	19.0	9.0	3.90	縁面が残る厚手の素材。両端打法と調整刻痕。裏面状半透明黒曜石
8181	PJ-76	剥離のある 剥片	黒曜石					0.70	石鏃未成品のような素材に両端打法を加える。透明系黒曜石
10020	PJ-76 5	台石	安山岩類	破片	(235.0)	(350.0)	(105.0)	8.400	住居北西壁際。床面から27cm浮いて出土。扁平円様。広い2面がやや摩耗。多孔質安山岩
10041	PJ-76 25	台石	安山岩類	破片	(165.0)	(197.0)	(66.0)	2.581	埋土上層出土。扁平円様。平坦な2面に摩耗
10042	PJ-76	円鏝	安山岩類	破片				172	扁平円様破片。台石破片か
10043	PJ-76	石皿	安山岩類	破片	120.0	(147.0)	(69.0)	1.499	皿部が摩耗。裏面に磨打集中の凹み
10044	PJ-76	磨石類	安山岩類	1/2	(109.0)	68.0	48.0	446	楕円形。平坦な2面に摩耗
10045	PJ-76	磨石類	安山岩類	1/2	(97.0)	70.0	57.0	559	不整形な楕円様。平坦な1面に摩耗と磨打集中の凹み。側面1面が地磨石状。裏面に磨打集中の深い凹み
10046	PJ-76	磨石類	安山岩類	1/1	115.0	63.0	37.0	335	楕円形。平坦な2面に摩耗と磨打集中の凹み。多孔質安山岩
10047	PJ-76	ハンマー	砂岩類	1/1	44.0	88.0	22.0	118	扁平円円様。長軸端部に磨打痕。細粒砂岩
10048	PJ-76	台石	安山岩類	破片				206	扁平円円様。石皿のような浅い皿部が摩耗。底面は平坦。多孔質安山岩
10049	PJ-76	台石	安山岩類	破片				401	円円円様。平坦な1面に摩耗
10050	PJ-76	磨石類	安山岩類	1/2				730	楕円様。平坦な2面に摩耗。側面1面が地磨石状。多孔質安山岩
10052	PJ-76	磨石類	花崗岩類	破片				302	円鏝に摩耗
10053	PJ-76	ハンマー	結晶片岩	1/1	107.0	52.0	31.0	236	棒状楕円様。長軸端部に磨打痕
10054	PJ-76	磨製石斧	緑色岩類	破片	(66.0)	(41.0)	(29.0)	93	基部側破片。基部端部に平坦面。ハンマーに再利用か
10055	PJ-76 12	磨製石斧	粒紋岩	1/2	(74.0)	50.0	21.0	119	刃部側破片。刃部微小刻痕。磨痕痕
10056	PJ-76	円鏝	砂岩類	破片				203	器面が平滑に摩耗。硬砂岩



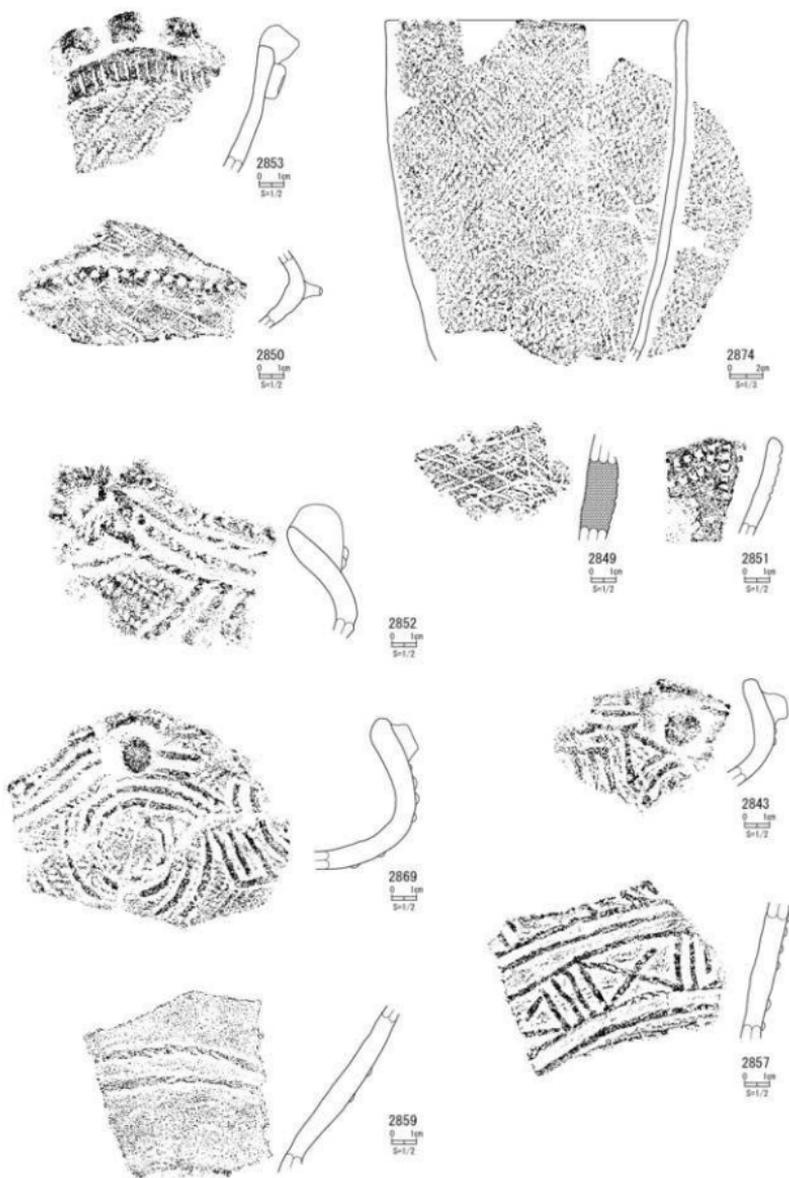
PJ082 号住居出土遺物

PJ082 号住居 土器観察表

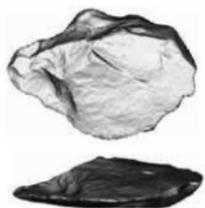
実測番号	注記	部位	口径 cm 縦	器高 cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2866	PJ-02、DK-519	口縁部	-	-	-	61.0	破片	S196:6 S196:6	角ばった口唇部。竹管先端を刻突して押しく幅広の爪形文。コンパース文。内面ミガキ。胎土に線理を含む。有尾式

PJ082 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2345	PJ-02	両縁石器	黒曜石	1/1	18.0	15.0	11.0	2.40	厚手の破片の両端に衝撃割痕。透明系黒曜石
11175	PT-1226	磨製石斧	緑色岩類	破片	135.0	57.0	3.4	169	PT1226で基部破片が出土。J-5-21グリッド出土の破片と接合。断面は扁平楕円形。片面が割れ、再研磨。刃部欠損。割れ面に敲打痕れ。ハンマーなどに転用か。



PJ083 号住居出土遺物



2334
0 1cm
3x1/2



10859
0 1cm
3x1/2



10857
0 1cm
3x1/2



7562
0 1cm
3x1/2

PJ083 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm 縦	高さ cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2843	PJ-82	口縁部	-	-	-	40.0	破片	10YR4/1 7.5YR5.6	退化した断面突起。縄文。結節浮線文。内面ミガキ。踏礎b式中段階
2849	PJ-83	胴部	-	-	-	29.0	破片	7.5YR3/1 7.5YR6.6	網目状黒木文。内面に縦線画が明確。胎土に少量に縦線を含む。二ツ木式併行
2850	PJ-83	胴部	-	-	-	27.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	胎土部に剥み隆帯。内外面指張圧痕顕著。木目式
2851	PJ-83	口縁部	-	-	-	7.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR3/1	先縁が削ばった工具の刺突。内面指張圧痕。巻壁は5mm以下で薄手。上の坊式か
2852	PJ-83	口縁部	-	-	-	49.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	口唇部に剥み。退化した断面突起。縄文。結節浮線文。内面ミガキ。踏礎b式中段階
2853	PJ-83	口縁部	-	-	-	65.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR4/4	口唇部に小突起。肥厚口縁に縦面状刺突。まばらな羽状地文の縄文。内面ヨコナデ。胎土に縦線を含まない。神ノ木式
2857	PJ-82 8	胴部	-	-	-	94.0	破片	7.5YR4/1 7.5YR4/2	土器2843と同一個体。縄文。結節浮線文。内面ミガキ。踏礎b式中段階
2859	PJ-82 2	胴部	-	-	-	60.0	破片	5YR3/2 5YR3/1	透斜線部下位の破片。結節浮線文。内外面ミガキ。踏礎b式
2869	PJ-83 器2、器3	口縁部	-	-	-	86.0	破片	5YR3/3 5YR4/4	PJ083 床面近くで野石類10859とともに出土。踏礎式期の土坑があったと思われる。退化した断面突起。縄文。結節浮線文。
2874	PJ-76、PJ-82 9、 J-5-20	口縁部 ～胴部	(18.4)	-	-	416.0	1/3	5YR4/3 5YR5.6	口唇部に剥み。雲形地文の縄文。内面整形痕の凹凸が残るヨコナデミガキ。胎土に縦線を含まない。有蓋式

PJ083 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2334	PJ-83	素刀削器	6A7:AA	1/1	54.0	77.0	21.0	77.50	薄い縁辺に微小小凹。風化し使用痕不明瞭
2335	PJ-83	打製石斧	頁岩	3/4	78.0	37.0	12.0	34.90	基部剥離片。
2336	PJ-83 遺物 出土状況 4	石錐	珪質頁岩	1/1	59.0	11.0	9.0	6.70	踏礎b式土器、磨石とともに出土。腰部に使用痕なし。オリープ色の珪質頁岩。融入石材。
2337	PJ-83	両縁石器	黒曜石	1/1	36.0	20.0	8.0	5.20	板状ズリの同様に衝撃断端。赤褐色侵入り黒曜石
2338	PJ-83	刺座のある 剥片	黒曜石	1/1				3.00	腰部が残る剥片の2辺に片面ずつ調整痕。透明系黒曜石
2339	PJ-83	刺座のある 剥片	黒曜石					1.80	腰部が残る剥片の2辺に両面から調整痕。透明系黒曜石
2340	PJ-83	石錐	黒曜石	3/4	-	16.1	5.3	(1.14)	未成品。両面加工。先端欠損。透明系黒曜石
2341	PJ-83	刺座のある 剥片	黒曜石					0.80	小さな剥片の1辺に両縁部の方部調整と微小小凹。透明系黒曜石
2342	PJ-83	石錐	黒曜石	3/4	17.3	-	2.8	(0.27)	凹基。両面加工。縦身。片脚欠損。黒縁のある透明系黒曜石
2343	PJ-83	石錐	黒曜石	1/2	-	17.3	3.8	(0.57)	凹基。両面加工。先端欠損。黒縁のある透明系黒曜石
2344	PJ-83	石錐	黒曜石	3/4	18.2	(12.5)	2.6	(0.30)	凹基。両面加工。片脚欠損。透明系黒曜石
4530	PT-1228	刺座のある 剥片	珪質頁岩	1/1				12.20	剥片の1辺に調整。白色のある青灰色珪質頁岩
7562	IG-6827	ハンマー	緑色岩	-	(7.3)	(4.3)	(2.5)	122	磨製石斧破片を転用したハンマー。割れ面の縁に削行痕が強い面を成す。削行面は長軸に平行する。
8187	PJ-83	石錐	黒曜石	-				0.46	未成品。剥片素材。縁辺調整のみ。先端のみの破片。葛湯状半透明黒曜石
8188	PJ-83	石錐	黒曜石	1/2				1.03	腰部が残る剥片素材。縁辺調整のみ。片脚縁欠損。黒縁の透明系黒曜石
10857	PJ-83	石皿	安山岩類	破片	(181.0)	(108.0)	(74.0)	1,211	浅い凹部の破片。凹部に隆起なし。削行整形痕
10858	PJ-83 8	台石	安山岩類	破片				862	西壁凹い。床面出土。扁平円盤。平坦な2面に磨耗。被熱変色
10859	PJ-83 遺物 出土状況 1	磨石類	安山岩類	1/1	108.0	84.0	52.0	634	横溝溝。2面に磨耗と削行痕
10860	PJ-83	台石	安山岩類	破片				302	平坦面が磨耗

PJ077号住居

位置：J-5 グリッドに位置する。住居北西角は調査区外である。PJ89号住居とPJ095号住居、S104号集石土坑、IK484、DK556、DK618、DK630、DK631、DK632、DK633号土坑に切られる。

規模：推定長軸5m、短軸4mの隅丸長方形で、竪穴は深さ40cmが残る。

埋土：遺構の保存状態は良好だが、PJ89号住居とPJ95号住居に切られて、埋土は部分的に残るのみで、埋土の堆積状況は確認できない。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。貼床、硬くしまった床面は検出されなかった。住居の南側部分に地山の風化花崗岩が突出している。

炉：住居の中心でごく浅いくぼみと被熱、焼土化した箇所を検出した。

周溝：北壁沿いを中心に小溝を検出した。北壁沿いでは3本か4本の周溝が同心円状に巡っていた。埋土が断片的に残るのみで、住居が拡張されたのか縮小したのかは不明である。

柱穴：周溝から想定される建替えに対応する柱穴の組み合わせが想定できる。

最も住居が広がった段階の柱穴はPT1338、PT1394、PT1343、PT1318の4基と思われる。PT1394号ビットは深さ68cm、PT1343号ビットは深さ17cmと深さの差が大きいのが気になる。最も住居が狭い段階の柱穴はPT1337、PT1394B、PT1344、PT1319号ビットの4基と思われる。中間段階の柱穴はPT1337、PT1394B、PT1344、PT1319号ビットの4基と思われる。PT1337号ビットとPT1338号ビット、PT1344号ビットで直径15cmの柱痕を検出した。

北壁沿いで検出されたPT1395も上屋を支持する構造物の可能性がある。南壁沿いに対応するビットが存在した可能性があるが検出されなかった。

出土遺物：住居を発掘する過程で諸磯式期の土坑、PJ89号住居の認識が遅れ、取り上げた遺物には諸磯式期の遺物が少なからず混在している。取り上げ位置で分別できる遺物は除外したが埋土一括で取り上げた遺物は分別できなかった。

出土した土器の総量は12,617gで、早期撫系文土器47g、早期条痕文系土器52g、神之木台式33g、木島式356g、中越式3,280g、神ノ木式1,430g、間山式38g、堂之上2式51g、有尾式790g、釈迦堂2式303g、諸磯式139g、前期土器破片4,949gである。

出土した石器は、石鏃52点、削器1点、石匙2点、石錐2点、両極石器1点、打製石斧2点、磨石類2点、石皿1点、台石破片1点、磨製石斧破片1点、剥離のある剥片3点、石核2点、黒曜石原石9点で、このほかに黒曜石を主とする剥片・砕片823点1,579gがある。

時期：住居の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。北壁沿いで出土した諸磯式土器2734と2736は見落とした当該時期の土坑に帰属するべきものであろう。型式別の出土量からみて本住居は、神ノ木式土器を伴う中越式期に廃絶、埋没したと考えられる。

PJ077号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1318	96住内	26×15	23	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴。神ノ木式
PT-1319	77住内	30×26	46	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1320	77住内	30×30	30	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1337	77住内	30×30	22	柱底：10R9/2(黒褐)、埋土：10R9/3(暗褐)	R/J7柱穴。径15cmの柱底
PT-1338	77住内	40×35	32	柱底：10R6/4(にぶい黄褐)、埋土：10R6/4(にぶい黄褐色)	R/J7柱穴。15cm×10cmの隅丸形の柱底。神ノ木式
PT-1340	77住内	22×17	15	10R9/2(黒褐)	
PT-1341	77住内	22×22	30	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1342	77住内	20×18	30	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1343	77住内	24×20	17	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1344	96住西壁	20×30	15	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1394	77住内	43×35	68	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴。中越式
PT-1394b	77住内	43×35	45	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1394c	77住内	43×35	40	10R9/2(黒褐)	R/J7柱穴
PT-1395	77住内	12×10	18	10R9/2(黒褐)	
PT-1396	77住内	23×17	10	10R9/2(黒褐)	

PJ095 号住居

- 位置:** J-5 グリッドに位置する。PJ77 号住居を切り、PJ89 号住居、PJ92 号住居、PJ98 号住居に切られる。
- 規模:** 推定長軸 4m、短軸 3.3m の隅丸長方形で、堅穴は深さ 50 cm が残る。
- 埋土:** 黒褐色土を基調とする埋土で、セクションベルトを適切な位置に設定できなかったため堆積状況が確認できなかった。
- 床面:** 黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。住居北端部分で地山の風化花崗岩が突出している。

炉: 住居中心からやや北に寄った床面が浅く掘り込まれ、被熱、焼土化していた。

- 周溝:** 壁沿いに小溝を検出した。さらに一回り狭く、円形に巡る小溝を検出した。この円形に巡る小溝は北側で二重になっていた。埋土断面の観察所見から拡張されたと考えられる。

- 柱穴:** 周溝から想定される建替回数に対応した柱穴の組み合わせが想定できる。

最も住居が広がった、すなわち最新段階の柱穴は PT1308、PT1310、PT1311、PT1322 号ピットの 4 基である。最も住居が狭い、すなわち最旧段階の柱穴は PT1324、PT1325、PT1317、PT1321 号ピットの 4 基である。中間段階では PT1323、PT1326、PT1317、PT1321 号ピットの 4 基が想定される。この中間段階では北側の 2 基のピットを掘り直し、南側の 2 基のピットは最旧段階を継承しているらしい。北側の円形周溝が二重になっていることと整合的である。

PT1321 号ピットと PT1322 号ピットが浅いのは PJ98 号住居に切られたためで本来の深さは PT1311 号ピットなどと同等である。PT1308 号ピットは小さなピット 2 基が連結している状況が確認され、西側ピットが新しかった。PT1310 号ピットも東西に長細く、かつ西側に PT1310B 号ピットが接続している。こうした状況から北側の柱穴は 4 回ないし 5 回ほど更新されたと考えられる。

- 出土遺物:** 発掘調査過程で PJ89 号住居の認識が遅れたため諸儀式期の遺物が混在した。取り上げ位置から分別可能な遺物は除外したが、埋土一括取り上げた遺物は分別できなかった。

出土土器の総量は 4,237g で、早期条痕文系土器 7g、神之木台式 12g、坂平式 22g、木島式 77g、中越式 1,515g、神ノ木式 1,283g、有尾式 361g、釈迦堂 3 式 483g、前期土器破片 368g などである。

出土石器は石鏃 5 点、石匙 1 点、石錐 2 点、両極石器 2 点、ハンマー 1 点、剥離のある剥片 2 点、黒曜石石核 1 点、黒曜石原石 3 点で、このほか黒曜石を主とする剥片・砕片 256 点 719g がある。

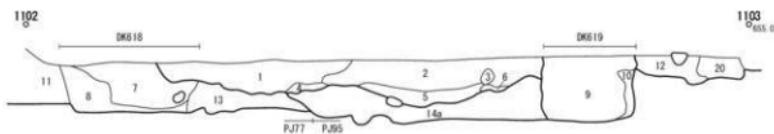
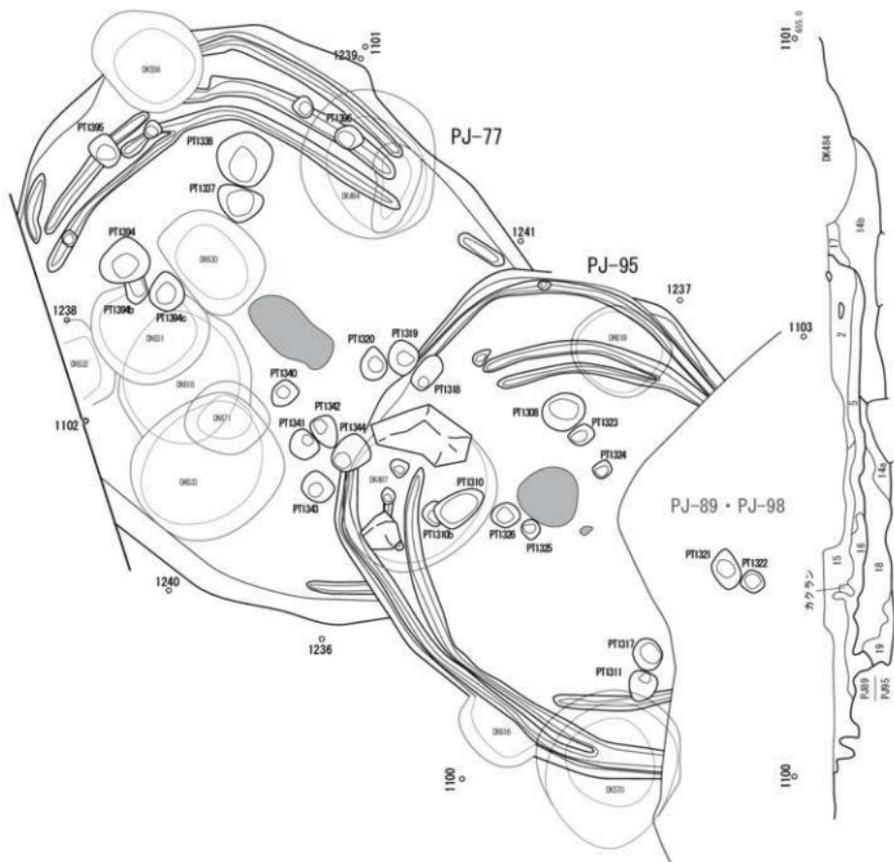
- 時期:** 住居の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。型式別の出土量からみると、本住居は神ノ木式土器を伴う中越式期に廃絶、埋没した可能性が高い。住居の平面形、柱穴配置は PJ077 号住居によく似ており、同時期の遺構とする傍証になろう。ただし釈迦堂 3 式とした土器 2377 の比定が正しければ、やや新しくなる可能性も考えられる。

PJ095 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	埋土色	備考(遺物など)
PT-1308	95 住居内	36×27	33	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴、中越式
PT-1310	95 住居内	37×24	30	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1310b	95 住居内	37×24	30	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1311	95 住居内	24×18	32	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1317	95 住居内	24×21	26	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1321	98 住居内	22×28	12	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴、深さ計測値は P.08 床面からの深さ。本来の深さは 32 cm 程度。
PT-1322	95 住居内	14×15	7	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴、深さ計測値は P.06 床面からの深さ。本来の深さは 27 cm 程度。
PT-1323	95 住居内	18×14	30	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴、神ノ木式
PT-1324	95 住居内	12×12	20	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1325	95 住居内	14×13	30	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴
PT-1326	95 住居内	21×19	20	10YR/1 (黒褐)	P.05 柱穴

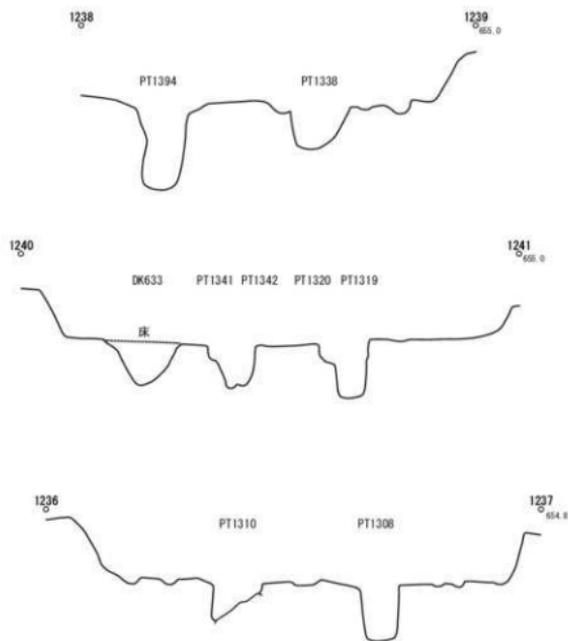


0 1m
1/40

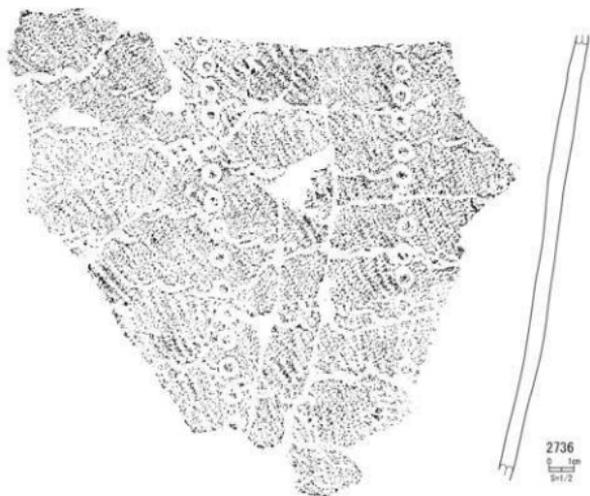


PJ077号・PJ095号住居

- 1層 10R12(黄緑)に10R22(黄緑)が70%、10R44(黄)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 2層 10R12(黄緑)に10R44(黄)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 3層 10R12(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、固くしまる。(PJ49埋土)
- 4層 10R54(白・25%黄緑)に10R12(黄緑)が95%、花崗岩粒(10φ以下)が95%以下で分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 5層 10R12(黄緑)に10R22(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(PJ49埋土)
- 6層 10R12(黄緑)に10R54(白・25%黄緑)が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 7層 10R12(黄緑)に10R22(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(DK63埋土)
- 8層 10R12(黄緑)に10R44(黄)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(DK63埋土)
- 9層 10R12(黄緑)に10R12(黄緑)が70%、10R44(黄)が70%、10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%以下、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(DK63埋土)
- 10層 10R12(黄緑)に10R56(黄緑)が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(DK63埋土)
- 11層 10R12(黄緑)に10R44(黄)が70%、10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(PJ77埋土)
- 12層 10R12(黄緑)に10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 13層 10R12(黄緑)に10R22(黄緑)が70%、10R56(黄緑)が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(PJ77埋土)
- 14a層 10R12(黄緑)に10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性なし、しまる。(PJ49埋土)
- 14b層 5φよりやや明るい。(PJ77埋土)
- 15層 10R12(黄緑)に10R44(黄)が70%、10R54(白・25%黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(PJ49埋土)
- 16層 10R12(黄緑)に10R12(黄緑)が70%、10R54(白・25%黄緑)が70%、10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。(PJ49埋土)
- 17層 10R12(黄緑)に10R44(黄)が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- 18層 10R12(黄緑)に10R22(黄緑)が70%、10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、ややしまる。(PJ49埋土)
- 19層 10R12(黄緑)に10R54(白・25%黄緑)が70%、10R56(黄緑)が70%、炭化物が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。(PJ49埋土)
- PJ77埋 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ77a 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ80埋 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ80a 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ80b 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ80c 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- PJ80d 10R56(黄緑)に花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性あり、しまる。
- 20層 10R12(黄緑)に10R12(黄緑)が70%、10R44(黄)が70%、花崗岩粒が分散するシルト粘土、粘性ややあり、しまる。



PJ077号・PJ095号住居



2734
0 1cm
5x1/2



2477
0 1cm
5x1/2

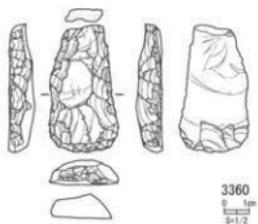
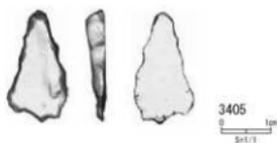
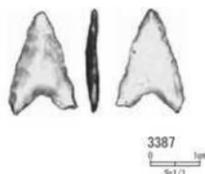
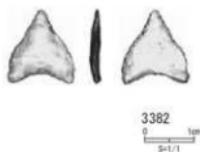


2481
0 1cm
5x1/2

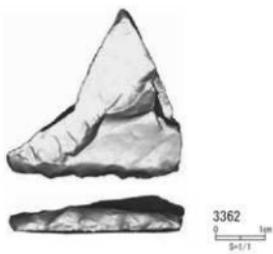
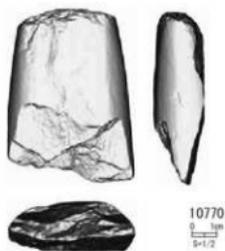
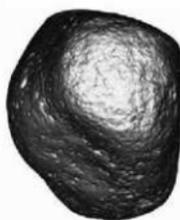
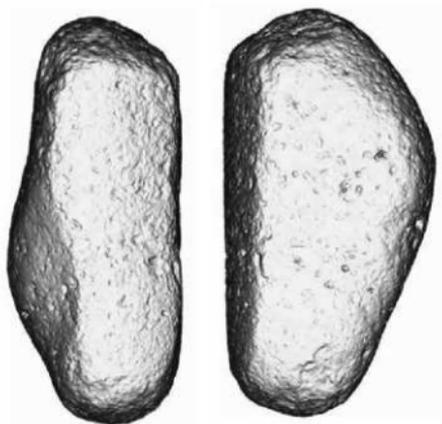
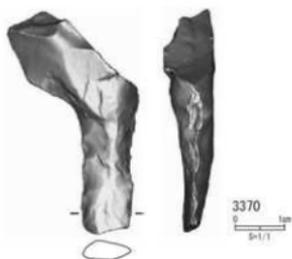


2482
0 1cm
5x1/2

PJ077 号住居出土遺物



PJ077 号住居出土遺物



PJ077 号住居出土遺物

PJ077 号住居 土器観察表

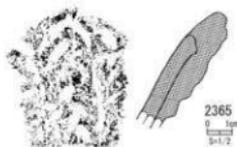
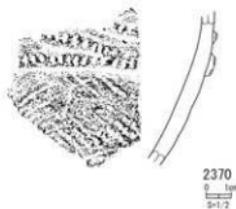
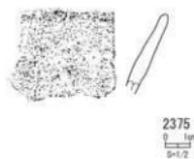
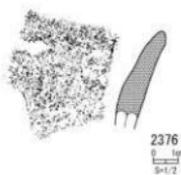
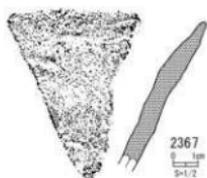
実測番号	注記	部位	口径 cm	高さ cm	底径 cm	底厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2477	PJ-77	胴部～ 底部	-	-	(7.8)	40.0		破片	7.5YR4/2 5YR6.6	上げ底の浅皿。外面に爪形文。胎土に繊維を含まない。堂之上2式
2481	PJ-77	口縁部	-	-	-	13.0		破片	7.5YR6.6 5YR6.6	波状口縁。口唇部に小突起。竹管押引き。内面ナデ。有底式
2482	PJ-77	口縁部	-	-	-	21.0		破片	2.5YR4.6 5YR4.6	尖った口唇部。純文。内面凹凸のあるヨコナデ。扉室直2式
2734	PJ-77 13	胴部～ 底部	-	-	9.2	439.0		破片	5YR4.3 2.5YR4.4	北壁沿い。埴土層出土。内外面ミガキ。膝置き。見境とした踏襲式期の土坑の遺物と思われる。
2736	PJ-77 13、PJ-77 14	胴部	-	-	-	679.0		破片	2.5YR4/4 5YR3.3	北壁沿い。埴土層出土。土器2734と共存。円形刺突文。結節純文。内面ミガキ。袖帯孔あり。膝置き。見境とした踏襲式期の土坑の遺物と思われる。

PJ077 号住居 石器観察表

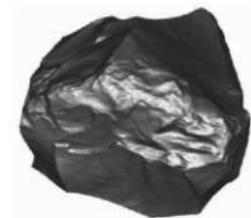
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3357	PJ-77 1	打製石斧	頁岩	1/2	90.0	62.0	21.0	140.00	PT394 上。床面から 33 cm 浮いて出土。円縁面が残る。基部欠損。刃部に摩耗。結核痕。両縁打法。踏襲式期の石器か
3358	PJ-77	原石	黒曜石					51.20	河川転石？溶岩状。白色夾雑物が混じる濃黒黒曜石
3359	PJ-77	打製石斧	頁岩					31.30	割られるように欠損。黄色く風化し使用痕不明
3360	PJ-77	両面	珪質頁岩	1/1	51.0	27.0	10.0	18.90	縦長割片素材。打面に輝面。3辺に縁部状刃部。微小割面。灰色珪質頁岩。搬入石材
3361	PJ-77	割面のある割片	頁岩	1/1	37.0	46.0	8.0	11.80	新断面で割面した薄い割片素材の1辺に微小割面。
3362	PJ-77	割面のある割片	チャート					7.30	新断面で割面した割片素材の1辺に縁部状刃部。微小割面。黒筋のある灰色チャート
3363	PJ-77	原石	黒曜石					22.20	ズリ。一発コア。白筋のある濃黒黒曜石
3364	PJ-77	原石	黒曜石					18.50	ズリ。濃黒黒曜石
3365	PJ-77	原石	黒曜石					20.90	風化剥離面状の輝面。透明系黒曜石
3366	PJ-77	石核	黒曜石		33.0	29.0	10.0	9.40	両縁打法と割片割面。濃黒黒曜石
3367	PJ-77	原石	黒曜石					8.50	ズリ。透明系黒曜石
3368	PJ-77	両縁石器	黒曜石	1/1	23.0	23.0	12.0	7.10	ズリの両縁に衝撃割面。濃黒黒曜石
3369	PJ-77	石鏃	珪質頁岩	3/4	26.0	23.3	7.8	4.85	未成品。割片素材。縁辺を調整。円形を作り出した段階。灰色珪質頁岩
3370	PJ-77	石鏃	チャート	3/4	46.0	27.0	9.0	7.40	長い側部。つまみ部の一部と側部先端欠損。灰色チャート
3371	PJ-77	石鏃	珪質頁岩	1/1	31.4	25.7	5.9	4.71	未成品。三角形状ができた段階。黄灰色と濃灰色の縞模様珪質頁岩。搬入石材
3372	PJ-77	原石	黒曜石					3.90	一発コア。ズリ。濃黒黒曜石
3373	PJ-77	原石	黒曜石					5.40	板状ズリ。透明系黒曜石
3374	PJ-77	原石	黒曜石					4.30	河川転石面と風化剥離面。風化剥離面の縁に準結。透明系黒曜石
3375	PJ-77	原石	黒曜石					4.00	一発コア。ズリ。濃黒黒曜石
3376	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	29.0	23.7	5.1	3.50	未成品。ズリ面が残る割片素材。片面の1辺に調整。調整剥離面以外はすりガラス状。被膜。濃黒状半透明黒曜石
3377	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	20.6	20.7	5.5	2.25	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。黒筋の透明黒曜石
3378	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	21.9	18.4	5.7	1.84	未成品。三角形状ができた段階。濃黒状透明黒曜石
3379	PJ-77 15	石鏃	黒曜石	1/1	21.8	15.5	4.1	0.77	凹基。両面加工。PT336 筋。北壁沿い。床面から 8 cm 浮いて出土。透明黒曜石
3380	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	29.3	-	3.0	(0.74)	凹基。両面加工。大形。片部と片側欠損。透明黒曜石
3381	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	14.4	11.6	2.7	0.29	凹基。両面加工。白筋のある濃黒黒曜石
3382	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	15.7	13.8	2.1	0.35	凹基。片面に主割面が欠け残る。黒筋の透明黒曜石
3383	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	21.8	23.6	3.2	1.11	凹基。幅広。両面加工。すりガラス状。被膜。透明黒曜石
3384	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	18.6	-	3.0	(0.45)	縁辺加工。基部欠損。透明黒曜石
3385	PJ-77 9	石核	石英岩					15.70	北壁沿い。床面から 31 cm 浮いて出土。六角柱状結晶面が残る。透明石英岩
3386	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	-	20.4	3.0	(0.53)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
3387	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	21.5	(14.1)	2.7	(0.52)	凹基。片面は縁辺加工。透明黒曜石
3388	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	21.2	17.4	2.7	0.55	凹基。長柄。両面加工。器体全体が鋭く摩耗。濃黒黒曜石

PJ077号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
3389	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	18.6	11.6	2.7	0.45	凹基、両面加工。墓溝状半透明黒曜石
3390	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.9	3.6	(0.55)	凹基、両面加工。先端欠損。墓溝状半透明黒曜石
3391	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	19.7	(14.3)	3.3	(0.53)	凹基、両面加工。片鉋欠損。墓溝状透明黒曜石
3392	PJ-77	石鏃	石灰岩					3.90	つまみ部のみ破片。半透明石灰岩
3393	PJ-77	剥離のある剥片	珪質頁岩	1/1				1.80	小さな剥片の1辺に調整刻痕。白褐色の青灰色珪質頁岩
3394	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	(19.1)	-	3.0	(0.39)	凹基、両面加工。片鉋欠損。墓溝状透明黒曜石
3395	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	(20.9)	(14.2)	3.8	(0.76)	凹基。片面は縁辺加工のみ。両鉋欠損。漆黒黒曜石
3396	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	(18.0)	16.9	4.4	(1.04)	未成品。凹基。両面加工。奥部の半透明黒曜石
3397	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	14.2	13.8	4.0	0.73	未成品。三角形形状ができた段階。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
3398	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2				1.03	未成品。剥片素材。両面に部分的な調整。赤褐色珪入り黒曜石
3399	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	23.0	15.9	5.1	1.31	未成品。剥片素材。先端部のみ調整。透明黒曜石
3400	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	5.2	(1.15)	未成品。両面加工。基部側欠損。墓溝状透明黒曜石
3401	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	14.7	18.5	2.6	0.63	ミニチュア石。刃部半分が欠損。黒珪入り半透明黒曜石
3402	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	42.0	13.0	6.0	2.50	縁面が残る。墓溝状透明黒曜石
3403	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	(19.8)	-	4.5	(0.78)	未成品。三角形形状ができた段階。片鉋縁欠損。墓溝状透明黒曜石
3404	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	18.5	16.3	8.6	1.60	未成品。凹基。厚形ができた段階。基部がこぶ状に厚みが増える。墓溝状半透明黒曜石
3405	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	23.1	12.4	3.9	0.84	未成品。板状剥片の縁辺に調整。透明黒曜石
3406	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	(0.30)	未成品の断片。原石面が残る。墓溝状透明黒曜石
3407	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	-	(0.47)	未成品の断片。透明黒曜石
3408	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	20.8	15.6	4.0	1.13	未成品。剥片素材。縁辺のみ調整。透明黒曜石
3409	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	16.1	14.5	4.8	0.79	未成品。三角形形状ができた段階。片鉋縁欠損。白底のある漆黒黒曜石
3410	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.4	(0.50)	両面加工。基部欠損。透明黒曜石
3411	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	15.8	-	2.6	(0.27)	凹基。両面加工。片鉋欠損。黒底のある透明黒曜石
3412	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	2.4	(0.20)	細断りの破片。墓溝状透明黒曜石
3413	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.1	(0.18)	凹基。両面加工。片鉋欠損。黒底のある透明黒曜石
3414	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	13.6	14.6	4.0	0.69	未成品。剥片素材。縁辺のみ加工。墓溝状半透明黒曜石
3415	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	15.1	13.7	3.3	0.63	未成品。剥片素材。縁辺のみ加工。透明黒曜石
3416	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	3.5	(0.31)	基部欠損。縁辺加工。墓溝状透明黒曜石
3417	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	17.5	-	3.1	(0.51)	凹基。両面加工。片鉋欠損。黒珪入り透明黒曜石
3418	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	17.7	-	3.4	(0.51)	浅い凹基。両面加工。片鉋欠損。墓溝状透明黒曜石
3419	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/1	11.7	10.2	3.0	0.21	小形。凹基。両面加工。種粒なつくり。墓溝状透明黒曜石
3420	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	-	16.6	2.9	(0.50)	凹基。両面加工。先端欠損。墓溝状透明黒曜石
3421	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	23.3	-	2.6	(0.53)	凹基。両面加工。片鉋欠損。黒珪入り半透明黒曜石
3422	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	14.8	14.4	3.1	0.60	未成品。三角形形状ができた段階。墓溝状透明黒曜石
3423	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	19.5	-	4.1	(0.58)	未成品。凹基。最終調整直前段階。片鉋欠損。漆黒黒曜石
3424	PJ-77	石鏃	黒曜石	-	-	-	4.4	(0.76)	未成品。基部欠損。三角形形状ができた段階。赤褐色珪入り黒曜石
3425	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	19.3	-	3.3	(0.53)	凹基。長脚。幅広。両面加工。片鉋欠損。墓溝状透明黒曜石
3426	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.9	(0.37)	断片。珪入り灰色半透明黒曜石
3427	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	-	14.2	3.3	(0.51)	凹基。両面加工。先端欠損。漆黒黒曜石
3428	PJ-77	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	2.5	(0.43)	凹基。両面加工。両鉋欠損。黒珪入り墓溝状透明黒曜石
3429	PJ-77	石鏃	黒曜石	3/4	20.4	12.6	3.8	0.91	未成品。剥片素材を縁辺調整。三角形形状ができた段階。片鉋欠損。墓溝状半透明黒曜石
8182	PJ-77	石鏃	珪質頁岩	1/2			2.8	(0.28)	先端のみの破片。片面は縁辺調整のみ。灰色珪質頁岩。珪入り石材
10767	PJ-77 4	石皿	安山岩類	1/1	307.0	233.0	65.0	6.750	PT137 兩端。床面から6cm浮いて出土。浅い凹部に射打痕と平滑な摩耗。縁辺部も鋭く摩耗。台石から石皿に作り直したか?
10769	PJ-77 2	磨石類	安山岩類	1/1	74.0	163.0	81.0	1.264	北壁に近い。床面から26cm浮いて出土。不整形精研跡。広い1面と狭い1面に摩耗。長軸端部に射打痕。
10770	PJ-77	磨石類	緑色岩類	-	(70.0)	51.0	(21.0)	112	刃部と基部欠損。縦割れした断片。長軸両端部に射打痕。横などに転用か。
10772	PJ-77 8	磨石類	砂岩類	1/1	42.0	118.0	77.0	428	PT136 近くの北壁に近い。床面から13cm浮いて出土。不整形精研跡。広い1面に摩耗。鋭い尖状の射打痕。長軸1端部に射打痕。細粒。緻密な砂岩
10773	PJ-77	台石	安山岩類	破片				472	扁平円盤断片。平坦な1面に摩耗



PJ095 号住居出土遺物



PJ095 号住居出土遺物

PJ095 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm 縦	器高 cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2365	PJ-95	口縁部	-	-	-	22.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR6/6	波状口縁。波頂部から垂下隆帯。幅広く浅くのある隆帯。胎土に繊維を多量に含む。坂平式
2367	PJ-95	口縁部	-	-	-	24.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	外面輪郭外縁。指頭圧痕。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2368	PJ-95	口縁部	-	-	-	25.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/4	波状口縁。小突起。羽状縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2370	PJ-95	胴部	-	-	-	25.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR4/2	斜み隆帯。羽状縄文。内面平滑なヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2371	PJ-95	口縁部	-	-	-	13.0	破片	5YR4/3 5YR5/4	櫛歯状工具の多線文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2372	PJ-95	口縁部	-	-	-	13.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5/6	外反する口縁。羽状縄文。内面指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 3 式
2373	PJ-95	口縁部	-	-	-	27.0	破片	5YR4/4 2.5YR4/4	外反する口縁。縄文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 3 式
2374	PJ-95	口縁部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR7/6 7.5YR7/6	平行浅縁。内面扁平。胎土に繊維を含まない。後期短之内式か
2375	PJ-95	口縁部	-	-	-	13.0	破片	7.5YR5/2 7.5YR5/1	内外面指頭圧痕がやや残るナデ。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。中越式
2376	PJ-95	口縁部	-	-	-	21.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	内外面整形痕の凹凸が残るナデ。胎土に繊維を含まない。中越式
2377	PJ-95 4	口縁部 ~底部	(12.3)	11.6	5.4	196.0	1/3	5YR3/3 5YR3/4	羽状縄文。内面指頭圧痕が残る。胎土に繊維を含まない。釈迦堂 3 式

PJ095 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1831	PJ-95	ハンマー	珪質頁岩	1/1	54.0	45.0	39.0	116.90	石核の 3 縁辺が削打流れ。青灰色珪質頁岩
1832	PJ-95	原石	黒曜石					9.00	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1833	PJ-95	原石	黒曜石					13.20	風化剥離面。透明系黒曜石
1834	PJ-95	原石	黒曜石					12.50	ズリ。一発コア。透明系黒曜石
1835	PJ-95	石核	黒曜石					10.40	ズリ。濃黒黒曜石
1836	PJ-95	両極石器	黒曜石	1/1	27.0	20.0	13.0	6.30	小石核の両端に衝撃剥離。葛葉伏半透明黒曜石
1837	PJ-95	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	53.0	34.0	10.0	14.90	打面に破面が残る縦長剥片素材。内湾する 1 辺に微小剥離。灰色珪質頁岩。搬入石材
1838	PJ-95	両極石器	黒曜石	1/1	31.0	19.0	10.0	5.40	破面が残る砕片の両端に衝撃剥離。1 辺にガジリ。葛葉伏半透明黒曜石
1839	PJ-95	石錐	珪質頁岩	3/4	41.0	16.0	7.0	3.80	先端欠損。灰色珪質頁岩。搬入石材
1840	PJ-95	石錐	黒曜石	1/1	21.9	26.6	9.0	5.13	未成品。河川転石面が残る厚い素材。片面から 2 辺を調整。一部にガジリ。台形。透明系黒曜石
1841	PJ-95	石錐	黒曜石	1/1	28.0	15.0	7.0	1.90	ズリ面が残る小さな剥片素材。濃黒黒曜石
1842	PJ-95	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1				1.40	ズリ面が残る薄し砕片の 1 辺に調整剥離と微小剥離。濃黒黒曜石
1843	PJ-95	石錐	黒曜石	3/4	19.9	-	3.3	(0.70)	凹釜。両面加工。片部欠損。透明黒曜石
1844	PJ-95	石錐	黒曜石	1/1	19.0	16.0	7.9	1.68	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。白粉のある透明系黒曜石
1845	PJ-95	石錐	黒曜石	3/4	15.7	-	2.3	(0.22)	凹釜。両面加工。片部欠損。透明黒曜石
1846	PJ-95	石錐	黒曜石	3/4	(19.7)	-	2.8	(0.48)	凹釜。両面加工。先端。片部欠損。稚拙なつくり。黒戻り透明黒曜石
1847	PJ-95	石匙	珪質頁岩	破片	-	-	7.0	3.40	刃部側は節理面で欠損。つまみ部のみ破片。白粉のある青灰色珪質頁岩
4510	PT-1300	原石	石英岩	1/1	22.0	15.0	11.0	5.80	PT1300 出土。六角柱結晶面がある石英岩。両端に削打の流れ。両極石器のように尖っていない。

PJ080号・PJ081号・PJ087号・PJ093号・PJ101号住居・PJ103号住居

J-5グリッドからJ-6グリッドにかけて位置するこれらの住居は互いに重複し、かつ諸磯式期の集石土坑などに切られる。集石土坑の確認面は黒色土で、住居の平面形、重複関係が全く確認できず、集石土坑を調査したのちにグリッド単位で確認面を掘り下げ、床面（黄褐色地山）と周溝、柱穴、炉跡を検出しながら「芋づる式」に住居を認定していった。以下に個別住居の調査所見を報告するが、時期が近接しており多分に遺物の混在が懸念される。

PJ080号住居

- 位 置**：J-5グリッドからJ-6グリッドにかけて位置する。PJ81号住居、PJ103号住居、SY7号集石土坑、DK537号土坑、DK560号土坑、DK590号土坑に切られる。
- 規 模**：深さ5cmほどの堅穴の断片が検出されたのみで規模は不明である。小形、円形の住居プランと推測される。
- 埋 土**：土層断面にわずかに残された埋土は黒褐色土に黄褐色土が混じっていた。堆積状況は不明である。
- 床 面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬化面は検出されなかった。
- 炉**：検出されなかった。
- 周 溝**：検出されなかった。
- 柱 穴**：現場調査では認識できなかった。整理段階に図上でPT1479、PT1471、PT1473号ビットの3基が柱穴と想定した。北西角にあるべき1基の柱穴はSY07号集石土坑に切られて失われたと思われる。
- 出土遺物**：土器2689の有尾式と思われる破片が唯一のまとまった土器である。ほかに石器が若干出土した。出土した土器の総量はPJ81号住居と一括して後述する。出土した石器で本住居に帰属する可能性が高いものの内訳は、石鏃6点、石匙1点、石錐1点、黒曜石原石1点である。
- 時 期**：保存状態が悪く、本住居の時期は不明である。わずかに土器2689の有尾式土器がまとまって出土している点から推測すると、本住居は有尾式期に位置づけられると思われる。

PJ081号住居

- 位 置**：J-6グリッドからK-6グリッドにかけて位置する。PJ84号住居に切られる。PJ93号住居、PJ101号住居を切る。諸磯式期のSY03号集石、SY07号集石、SY08号集石土坑（PT1474）、DK537、DK569号土坑に切られる。
- 規 模**：断片的な周溝から想定すると直径4mほどの円形プランと思われる。遺構確認面から床面までの深さは北壁沿いが最大で40cmであった。
- 埋 土**：黒褐色土と暗褐色土がレンズ状に堆積する。
- 床 面**：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。床面には風化花崗岩が露出し床面に合わせて削られていた。
- 炉**：PT1477号ビットとPT1478号ビットの間に床面を浅く掘りくぼめ、弱く焼土化した箇所を検出した。これが地床炉と思われる。
- 周 溝**：断片的な小溝を検出した。
- 柱 穴**：PT1475、PT1476、PT1477、PT1478号ビットの4基を柱穴に想定した。
- 出土遺物**：埋土中から土器、石器がまばらに出土した。地床炉上の埋土中に土器破片、石匙、磨石類がややまとまって出土した。

出土した土器の総量は24,197gで、早期土器97g、神ノ木台式93g、木島式355g、中越式4,548g、神ノ木式4,127g、関山式1,537g、堂之上Ⅰ式18g、清水ノ上Ⅱ式11g、有尾式2,039g、黒浜式131g、釈迦堂Ⅲ式1,180g、上広覧式18g、諸磯式2,192g、前期土器破片7,668g、中期土器破片18gである。諸磯式土器は当該期の土坑などからの混入である。

出土した石器の内訳は、石鏃37点、削器2点、石錐2点、石匙13点、両極石器1点、匕首形石器1点、異形石器1点、磨石類7点、石皿破片1点、台石破片1点、磨製石斧1点、ハンマー1点、剥離のある剥片5点、黒曜石石核1点、黒曜石原石5点、黒曜石を主とする剥片・砕片938点2,186gである。

時期：遺構の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。中越式、神ノ木式、有尾式土器が多く出土したが、いずれも埋土上層からの出土である。土器2654の関山式土器、土器2652の中越式土器、土器2735の神ノ木式土器などが比較的多量に出土したことから、本住居は神ノ木式を伴う中越式期に位置づけられる可能性がある。

PJ087号住居

位置：J-5グリッドに位置する。PJ103号住居、DK585、DK624、DK627、DK628号土坑に切られる。PJ101号住居を切る。PJ76号住居、PJ80号住居との新旧関係は確認できなかった。

規模：南西壁がわずかに検出されたのみで規模、形態は不明である。

埋土：PJ103号住居に切られ埋土は残っていない。

床面：黄褐色砂質地山を平坦に掘り込んで床面としている。

炉：検出されなかった。

周溝：南西壁沿いに断片的な小溝を検出した。

柱穴：ビット形状、深さ、位置から図上で想定した。PT1289、PT1300、PT1525号ビットの3基とDK590号土坑底面で検出されたビットの4基が柱穴と思われる。

出土遺物：PJ87号住居遺物として取り上げた土器、石器のほとんどはPJ103号住居に帰属するもので、PJ87号住居の遺物はない。

時期：遺物がなく時期は不明である。しかしPJ103号住居との重複関係、PJ76号住居、PJ103号住居と柱穴配置が類似することから本住居は前期中葉、有尾式期に位置づけることが適当と思われる。

PJ087B号住居・PJ87C号住居

位置：J-6グリッドに位置する。PJ80、PJ81、PJ84、PJ93、PJ101号住居と重複する。新旧関係は不明である。PJ087B号住居とPJ087C号住居は整理段階で断片的な周溝、柱穴から図上で復元想定した住居である。

PJ87B号住居はPJ101号住居北壁付近に重複し、PJ87C号住居はPJ101号住居とPJ84号住居の中間に位置する。

規模：PJ87C号住居は直径4m程度の円形と思われる。PJ87B号住居は不明である。

埋土：住居を想定した箇所は遺物がまばらに包含される黒褐色土が堆積していた。

床面：黄褐色砂質地山を平坦に掘り込んで床面としている。硬化面は検出されなかった。

炉：検出されなかった。

周溝：PJ87C号住居は北端を区画する小溝、南端を区画するごく断片的な小溝を検出した。

柱 穴：ピット形状と深さから図上で復元想定した。

PJ87B号住居の柱穴は、PT1472、PT1472B、PT1480号ピットの3基を想定した。南西角の柱穴は検出されなかった。

PJ87C号住居の柱穴は、PT1296、PT1304、PJ84号住居南西壁沿いの周溝と重複して検出されたピットの4基を想定した。

出土遺物：床面で中越式と神ノ木式の土器破片が出土したのみである。

時 期：PJ87B号住居の時期は不明である。PJ87C号住居はわずかな土器破片しか手掛かりがないが神ノ木式期と思われる。

PJ093号住居

位 置：J-6グリッドに位置する。PJ81、PJ101号住居、諸磯式期のSY09号集石土坑、SY10号集石土坑、DK623、DK638号土坑、平安時代のDK527号土坑に切られる。

規模：検出された周溝から想定される形態は不整形円形で、規模は南北長3.2m、東西長2.5mである。

埋 土：土層断面の観察からPJ93号住居埋土上にPJ101号住居の床面と思われるやや硬化した土層を検出した。残されたPJ93号住居埋土は黄褐色土が混じる土質であり、PJ101号住居の床面を調整する際に形成された土層と考えるべきかもしれない。

床 面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。風化花崗岩が露出し、床面に合わせて削られていた。

炉：検出されなかった。

周 溝：全周にわたって断片的な小溝を検出した。

柱 穴：周溝に重複してやや深い小ピットを検出した。これらが壁柱穴と想定される。

出土遺物：PJ93号住居の遺物はごく少数である。土器2888の木鳥式土器が床面に密着して出土した。出土土器の内訳はPJ101号住居と一括し後述する。

出土した石器のうち本住居に帰属するものは台石破片1点のみである。

時 期：土器2888の木鳥式土器が本住居の廃絶時期を示すと思われ、木鳥Ⅷ式期ないし中越Ⅰ式期に位置づけられよう。

PJ101号住居

位 置：J-6グリッドに位置する。PJ93号住居埋土上に建築された住居である。2ヶ所の焼土址SD34、SD36、諸磯式期の集石土坑と土坑、平安時代のDK527号土坑に切られる。

規模：断片的な周溝から想定される形態は不整形円形で東西長5m程度である。

埋 土：暗褐色土を基調とする埋土がレンズ状に堆積した。PT1309号ピット西側の埋土中に厚い焼土層を伴う落ち込みを検出した。これをSD36号焼土と命名し、別遺構とした。

床 面：黄褐色砂質地山とPJ93号住居埋土を平坦に掘り込んで床面としている。

炉：住居中心で床面が被熱、焼土化した箇所を検出した。この焼土はPJ93号住居床面より高い位置で検出された。これがPJ101号住居の地床炉と思われる。

周 溝：東側で弧状に小溝を検出した。また西側でもごく断片的な小溝を検出した。

柱 穴：整理段階に図上で想定した。PT1288、PT1307、PT1309号ピットの3基が柱穴と思われる。南西角の柱穴はPJ92号住居と重複して失われたか、見落とした可能性がある。

出土遺物：埋土上層で土器 2725 の中越式がまとまって出土した。出土した土器の総量は 6,072g で、条痕がある早期土器 17g、木島式 1,368g、中越式 2,944g、神ノ木式 361g、関山式 54g、堂之上 Z 式 11g、有尾式 189g、諸磯式 773g、前期土器破片 350g である。

出土した石器は、石鎌 1 点、削器 1 点、石匙 1 点、石錐 2 点、打製石斧 1 点、磨石類 9 点、台石破片 1 点、ハンマー 4 点、剥離のある剥片 1 点、黒曜石石核 1 点、黒曜石原石 11 点、黒曜石を主とする剥片・砕片 94 点 216g である。

時期：木島Ⅷ式期に位置づけられる PJ93 号住居より新しく、土器 2725 の中越式が出土し、かつ中越式土器を伴う SD36 号焼土が埋土中に掘り込まれる。さらに神ノ木式土器の出土も少ないことから、本住居は神ノ木式を伴わない段階の中越式期に位置づけられよう。

PJ103 号住居

位置：J-5 グリッドに位置する。PJ87 号住居を切る。諸磯式期の土坑に切られる。PJ76 号住居との新旧関係は不明である。

規模：断片的に検出された周溝から円形住居と想定されるが、規模は不明である。

埋土：黒褐色土が堆積していたが、堆積状況は不明である。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。

炉：検出されなかった。

周溝：断片的な小溝を検出した。住居南西部と思われる箇所では同心円状に小溝が検出された。

柱穴：整理段階で図上復元した。PT1260、PT1293、PT1301 号ピットの 3 基と DK520 号土坑底面北西端で検出された小ピットの 4 基が柱穴であると想定した。

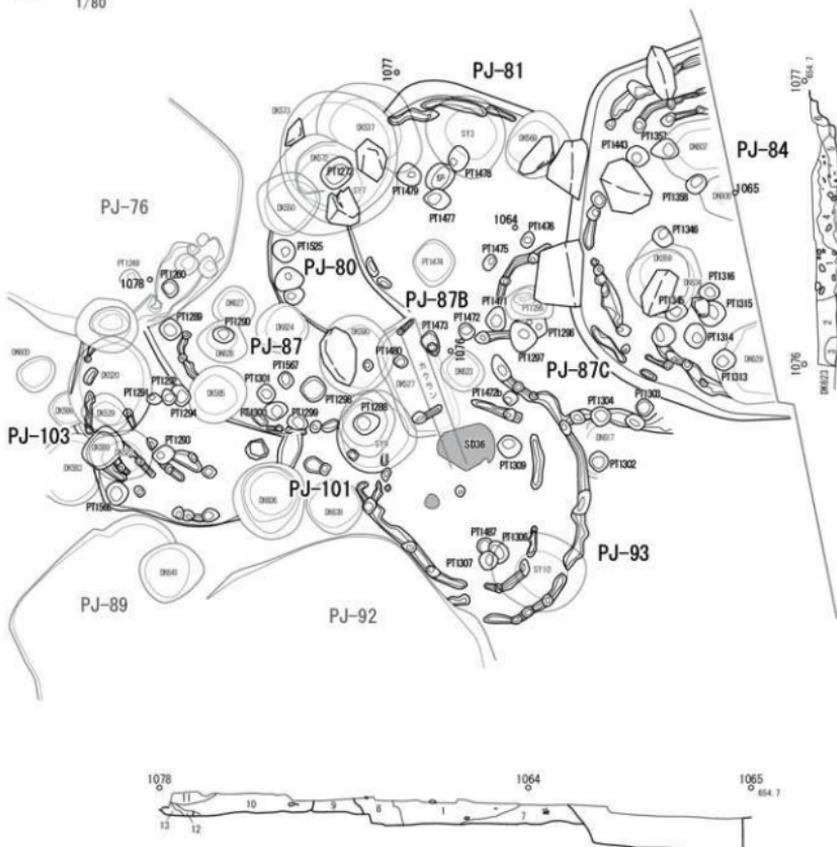
出土遺物：埋土から土器と石器がまばらに出土した。出土した土器の総量は 9,067g で、燃糸文、条痕がある早期土器 63g、神ノ木台式 29g、木島式 227g、中越式 2,635g、神ノ木式 1,396g、関山式 116g、堂之上 Z 式 31g、有尾式 1,100g、釈迦堂 Z3 式 131g、諸磯式 2,129g、前期土器破片 1,177g である。

出土した石器は、石鎌 12 点、削器 1 点、石錐 2 点、磨石類 1 点、石皿破片 2 点、磨製石斧 1 点、礮器 1 点、剥離のある剥片 1 点、円礫 1 点、黒曜石原石 1 点、黒曜石を主とする剥片・砕片 289 点 675g である。

時期：わずかな土器破片は中越式と有尾式が多く、柱穴配置が PJ76 号住居に類似することを勘案すると本住居は有尾式期に位置づけられると思われる。

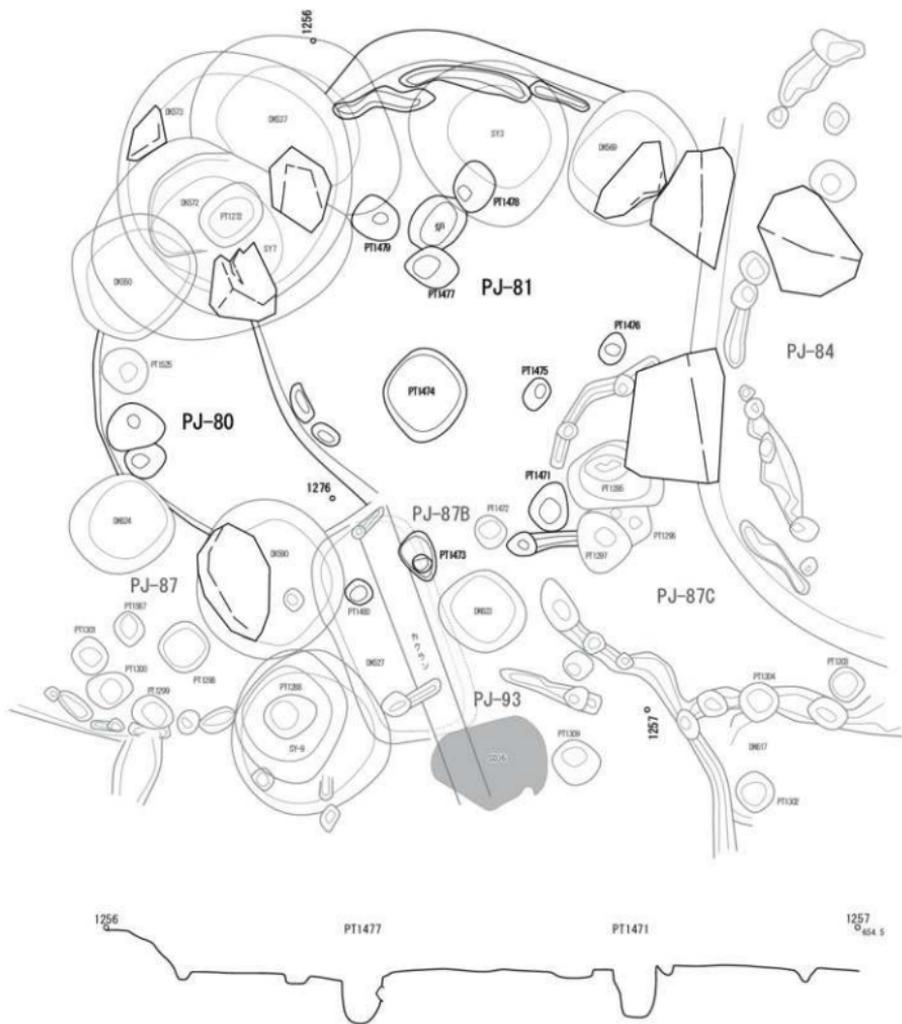
PJ080号・PJ081号・PJ087号・PJ093号・PJ101号・PJ103号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1260	75 住内	25×23	22	10YR2/4(暗褐)に 10YR4/4(褐)が混じる。シルト粒土。	PJ083 柱穴
PT-1288	101 住内	38×35	53	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1289	87 住内	33×31	30	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ087 柱穴、有尾式
PT-1290	87 住内	28×28	13	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	DM28に切られる
PT-1291	103 住内	14×14	30	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	中継式
PT-1292	103 住内	25×23	28	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	中継式、神ノ木式?
PT-1293	103 住内	30×30	40	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ083 柱穴
PT-1294	103 住内	30×20	14	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	擁壁式
PT-1296	81 住内	50×20	30	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ087 柱穴、中継式?
PT-1297	81 住内	40×40	40	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1298	87 住内	39×34	10	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1299	87 住内	30×30	14	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1300	87 住内	31×30	21	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ087 柱穴
PT-1301	87 住内	27×27	42	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ083 柱穴
PT-1302	93 住 東 0.5 m	26×26	18	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	東海系埴手土器破片
PT-1303	84 住 南西 0.5 m	25×25	10	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1304	84 住 南西 0.5 m	30×26	20	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ083 柱穴
PT-1306	93 住内	40×17	34	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PT1307を切る。更新した柱穴か
PT-1307	93 住内	25×30	56	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1309	93 住内	34×34	51	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴、中継式
PT-1471	81 住内	50×30	40	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ080 柱穴、中継式
PT-1472	81 住内	20×23	33	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ088 柱穴
PT-1472b	101 住内	20	25	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ087 柱穴
PT-1473	81 住内	43×34	32	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ080 柱穴
PT-1475	81 住内	24×18	17	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1476	81 住内	22×27	45	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1477	81 住内	40×28	38	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1478	81 住内	33×30	36	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ081 柱穴
PT-1479	81 住内	40×33	33	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ080 柱穴
PT-1480	93 住内	19×19	28	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ088 柱穴、早期弥生文?
PT-1487	93 住内	23×20	18	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1525	90 住内	35×35	36	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	PJ087 柱穴
PT-1566	103 住内	38×34	40	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	
PT-1567	87 住内	20×25	14	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が混じる。シルト粒土。	



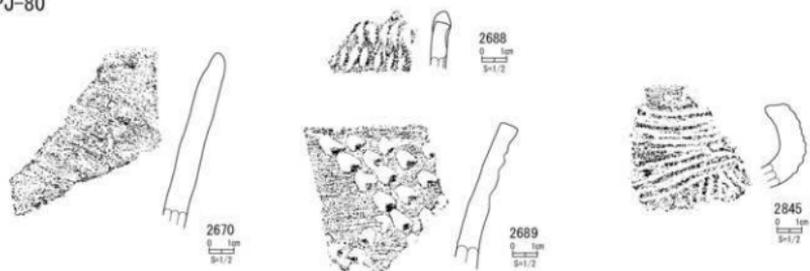
- 1階 PT144埋土、10R2-2(黒地)に10R3-1(黒地)が20%、10R3-2(黒地)が20%、10R3-3(黒地)が20%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 2階 10R1-1(黒地)に10R2-1(黒)が30%、10R2-2(黒地)が20%、10R4-4(黒)が9%、炭化物が2%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 3階 10R2-3(黒地)に10R2-2(黒地)が40%、10R4-3(白)が5%、黄褐)が15%、10R5-6(黄褐)が7%、炭化物が2%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、しめる。
- 4階 10R2-2(黒地)に10R2-1(黒)が9%、炭化物が15%、花崗岩粒が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、ややしめる。
- 5階 10R2-3(黒地)に10R2-3(黒地)が40%、10R4-4(黒)が7%、10R5-6(黄褐)が2%、炭化物が9%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 6階 10R2-3(黒地)に10R2-3(黒地)が30%、10R4-4(黒)が10%、10R5-6(黄褐)が2%、炭化物が2%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 7階 10R2-3(黒地)に10R2-2(黒地)が15%、10R4-2(灰黄褐)が9%、10R5-6(黄褐)が2%、炭化物が2%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 8階 10R2-3(黒地)に10R2-2(黒地)が40%、10R3-3(黒地)が15%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 9階 FLOOR土、10R2-3(黒地)に10R2-4(黒地)が20%、10R2-3(黒地)が10%、10R5-6(黄褐)が9%、炭化物が2%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 10階 10R2-3(黒地)に10R2-3(黒地)が25%、10R3-4(黒地)が20%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 11階 10R2-3(黒地)に10R2-2(黒地)が30%、10R3-1(黒地)が20%、炭化物が9%、花崗岩粒が9%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 12階 10R2-3(黒地)に10R2-4(黒地)が25%、10R3-3(黒地)が20%、花崗岩粒が2%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。
- 13階 10R2-3(黒地)に10R2-3(黒地)が25%、10R3-4(黒地)が20%、10R5-6(黄褐)が10%混入するシルト粒土。粘性ややあり、固くしめる。

PJ080・PJ081・PJ084・PJ087・PJ093・PJ101・PJ103号住居全体図

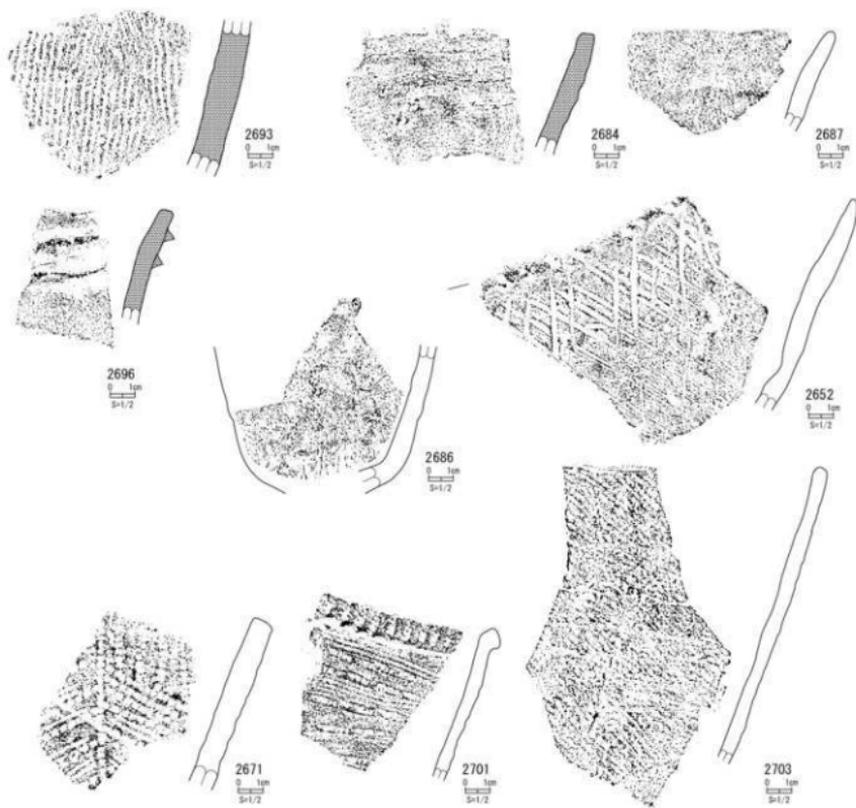


PJ080号・PJ081号住居

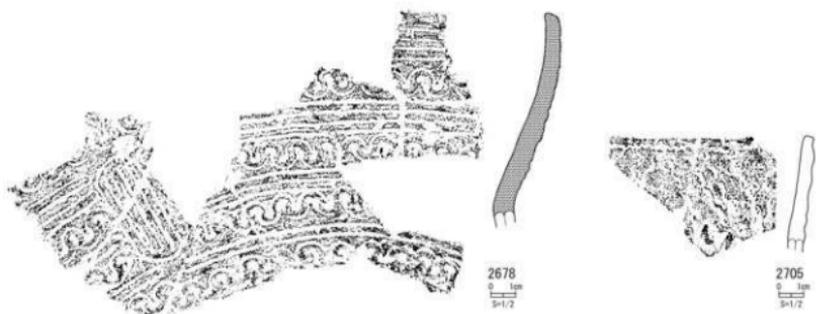
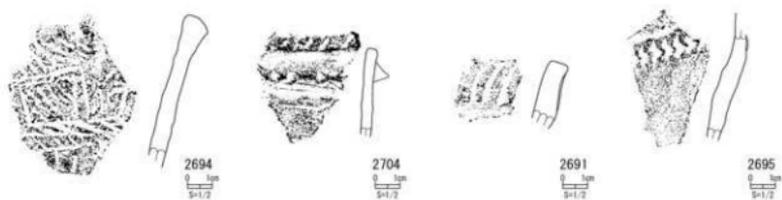
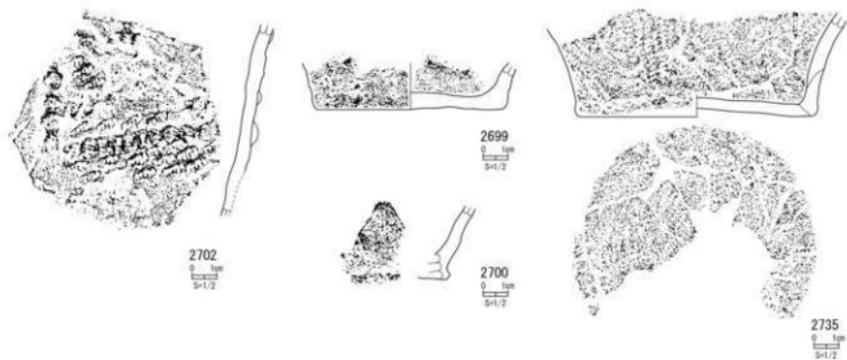
PJ-80



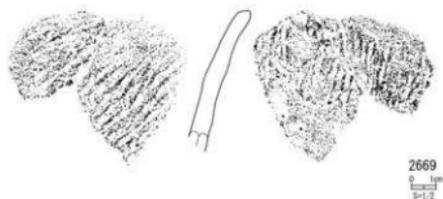
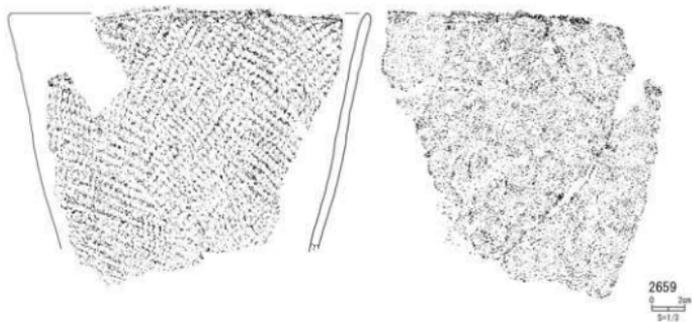
PJ-81



PJ080号·PJ081号住居出土遺物



PJ080号・PJ081号住居出土遺物



PJ080号·PJ081号住居出土遺物

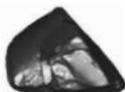
PJ-80



2616
0 1cm
S=1/1

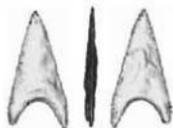


2617
0 1cm
S=1/1

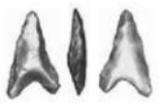


2615
0 1cm
S=1/1

PJ-81



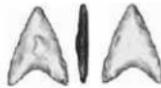
2458
0 1cm
S=1/1



2481
0 1cm
S=1/1



2483
0 1cm
S=1/1



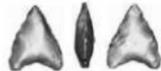
2487
0 1cm
S=1/1



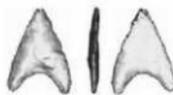
2488
0 1cm
S=1/1



2489
0 1cm
S=1/1



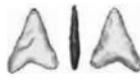
2490
0 1cm
S=1/1



2494
0 1cm
S=1/1



2500
0 1cm
S=1/1

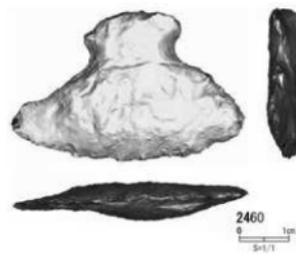
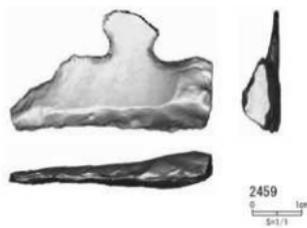
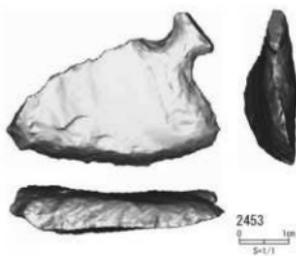
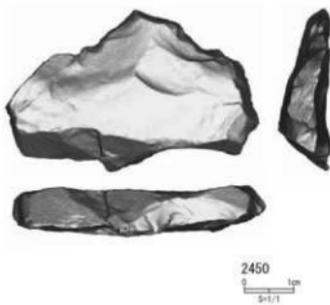
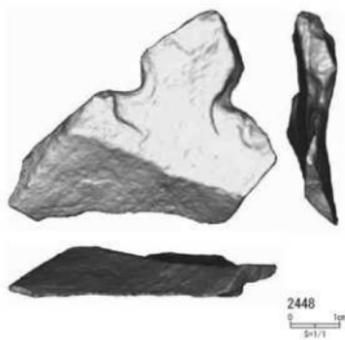
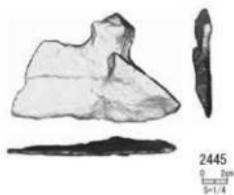


2501
0 1cm
S=1/1

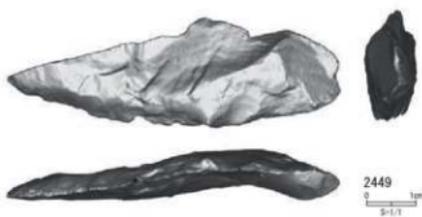
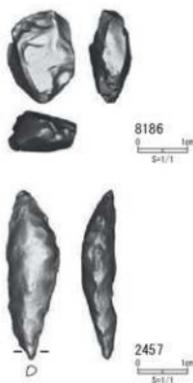
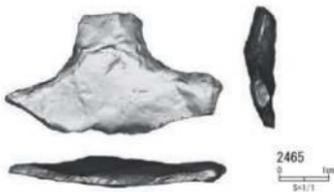
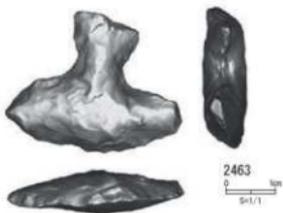
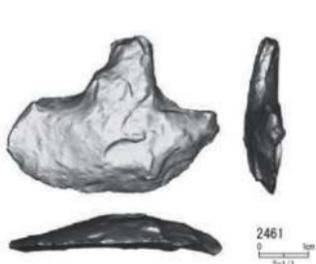


2467
0 1cm
S=1/1

PJ080 号・PJ081 号住居出土遺物



PJ080号・PJ081号住居出土遺物



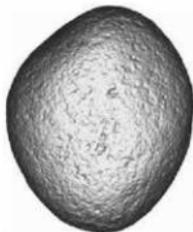
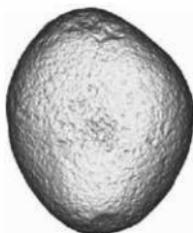
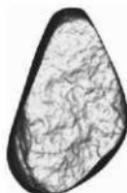
PJ080号・PJ081号住居出土遺物



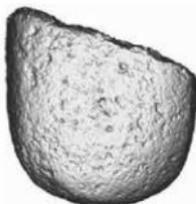
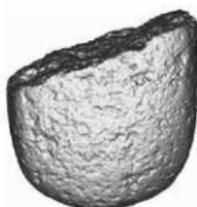
10799
0 1cm
1/2
5=1/2



10802
0 1cm
1/2
5=1/2



10801
0 1cm
1/2
5=1/2



10808
0 1cm
1/2
5=1/2

PJ080号・PJ081号住居出土遺物

PJ080号・PJ081号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考	
2652	PJ-81 12, PJ-81 13, PJ-81, PJ-76, PJ-75, DK-552, K-5-6	口縁部				767.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	波状口縁。口唇部に刻み。粗雑な格子文。内外面整形痕の凹凸が残る。胎土に繊維を含む。中越式	
2654	PJ-81 1, PJ-81 2, 10-6936, 10-6938	口縁部～胴部	31.6			1,335.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR4/3	末端埋付き縄文。内面ミガキ。胎土に多量の繊維を含む。PJ-84 床面出土破片と接合。閉山式	
2659	PJ-81 4, PJ-81 10, PJ-56A 7, PJ-81 3, PJ-81 7, SF-3	口縁部～胴部	22.0			503.0	破片	2.5YR4/6 5YR3/3	羽状縄文。内面輪飾み痕が残り、指張区画顯著。胎土に繊維を含まない。釈迦堂Ⅱ式	
2669	PJ-81	口縁部				176.0	破片	7.5YR3/2 5YR4/4	口縁部の内外に縄文。内面指張区画顯著。胎土に繊維を含まない。釈迦堂Ⅱ式	
2670	PJ-80	口縁部	-	-	-	144.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	内外面指張区画がやや残る。胎土に繊維を含む。中越式	
2671	PJ-81	口縁部				82.0	破片	10YR7/4 7.5YR6/4	波状口縁。磨面状工具の刻文。内面風化。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2677	PJ-81 5, PJ-81 9, PJ-81 32, PJ-81	胴部～底部			(16.3)	241.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	羽状縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。有尾式	
2678	PJ-81, K-6-6	口縁部				131.0	破片	5YR3/3 5YR3/4	緩い波状口縁。角ばった口唇部。コンパス文と平行沈線。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。黒沢式	
2684	PJ-81 16	口縁部				41.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	内外面に整形痕の凹凸が残る。外面ヨコナデ。内面風化。胎土に繊維を含む。中越式	
2686	PJ-81	胴部～底部				34.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	内外面に整形痕の凹凸が残る。外面タナデ。内面風化。胎土に繊維を含まない。中越式	
2687	PJ-81	口縁部				22.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	内外面に整形痕の凹凸が残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。中越式	
2688	PJ-80	口縁部				7.0	破片	5YR5/6 5YR5/4	口唇部に小突起。大きな瓜形文。内面指張区画がやや残る。胎土に繊維を含まない。堂之上Ⅱ式	
2689	PJ-80	口縁部				38.0	破片	5YR5/4 7.5YR4/2	角ばった口唇部。竹管引き文。内面指張区画がやや残るナデミガキ。胎土に繊維を含まない。有尾式	
2690	PJ-81	胴部				24.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	竹管引き。縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。有尾式	
2691	PJ-81	口縁部				7.0	破片	7.5YR7/4 5YR5/4	角ばった口唇部。大きな瓜形文。内面ナデ。胎土に繊維を含まない。堂之上Ⅱ式	
2692	PJ-81	口縁部				35.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	角ばった口唇部。縄文。内面ミガキ。胎土に繊維を含む。閉山式	
2693	PJ-81 26	胴部				60.0	破片	10YR7/3 7.5YR7/6	継糸文。内面指張区画が目立つヨコナデ。胎土に繊維を含む。	
2694	PJ-81	口縁部				22.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR6/4	口唇部に突起。垂下隆帯。へう状工具による沈線文。内面ヨコナデミガキ。胎土に繊維を含まない。	
2695	PJ-81	胴部				11.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/2	くの字状の刻文。内面輪飾み痕がやや残る。磨面は薄手。胎土に繊維を含まない。溝水ノ上Ⅱ式	
2696	PJ-81	口縁部				17.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	山形の波状口縁。浅い口唇部。口縁部に断面三角形の隆帯2条。外面ミガキ調整。内面ナデ調整。磨面は7mm程度。胎土に繊維を少量含む。神ノ木台式	
2699	PJ-81 35	胴部～底部			7.6	60.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	上げ底気味の底面。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2700	PJ-81	胴部～底部				7.0	破片	5YR4/6 5YR3/3	ミニチュア土器の底部破片。胎土に繊維を含まない。神ノ木併行	
2701	PJ-81	口縁部				25.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR7/3	波状口縁。口縁部肥厚。磨面状工具の刻文。委縮文。内面風化。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2702	PJ-81 8	胴部				52.0	破片	5YR6/6 5YR4/2	磨面状工具で刻みを入れた隆帯。垂下隆帯と変形を帯びる磨面にも磨面刻文。内面ミガキ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2703	PJ-81	口縁部～胴部				78.0	破片	5YR5/4 5YR3/2	縄文。内面指張区画が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式	
2704	PJ-81	口縁部				9.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	口唇部刻み。断面三角形の刻み隆帯。内面指張区画。胎土に繊維を含まない。木島式	
2705	PJ-81	口縁部				18.0	破片	5YR4/3 5YR2/2	波状口縁。具数微細文の文様。口縁部と胴部の境界に刻み。内面指張区画が残るナデ。磨面は薄手。胎土に繊維を含まない。上広瓦式併行	
2735	PJ-81 1, PJ-81	胴部～底部				14.8	500.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	縄文。上げ底気味の底面。底面に木葉痕と縄文。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2845	PJ-80, K-5-6, K-5-11	口縁部	-	-	-	72.0	破片	7.5YR4/6 5YR6/6	平行沈線。内面ミガキ。磨面り式中間	

PJ080 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2615	PJ-80	原石	黒曜石					20.00	角縁。風化剥離面の原石。
2616	PJ-80	石匙	頁岩	1/2	44.0	-	10.0	15.60	器体中央で欠損。片刃。黄色く風化し使用痕不明瞭。
2617	PJ-80	石鏃	珪質頁岩	1/1	30.0	13.0	10.0	4.20	太い穂部。穂部に潰れ。白緑の青灰色珪質頁岩
2618	PJ-80	石鏃	黒曜石	3/4	26.7	14.3	4.5	1.46	未成品。三角形状ができた段階。片側縁欠損。葛湯伏半透明黒曜石
2619	PJ-80	石鏃	黒曜石	1/1	20.8	15.2	4.8	1.04	未成品。三角形状ができた段階。白緑の透明黒曜石
2620	PJ-80	石鏃	石英岩	破片	-	-	3.2	(0.36)	凹基。両面加工。片側縁。先端欠損。ていねいなつくり。透明な石英岩
2621	PJ-80	石鏃	黒曜石	3/4	-	15.2	4.2	(0.72)	凹基。両面加工。先端欠損。白色夾雑物が定じる透明黒曜石
2622	PJ-80	石鏃	黒曜石	3/4	17.0	-	3.3	(0.38)	凹基。両面加工。片側欠損。透明黒曜石
2623	PJ-80	石鏃	黒曜石	1/1	10.7	14.3	2.3	0.23	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石

PJ081 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2444	PJ-81	剥離のある 剥片	緑のたれ	3/4	76.0	62.0	21.0	103.50	1辺に打製石斧のような調整跡。反対辺は大きな剥離。打製石斧の破損品もしくは未成品か？ 器体中央で折損
2445	PJ-81 23	石匙	緑のたれ	1/1	89.0	135.0	14.0	112.40	PT1467上。床面から18cm浮いて出土。黄色く風化し使用痕不明瞭
2446	PJ-81	石匙	頁岩	3/4	55.0	71.0	8.0	35.20	つまみ部に比較して刃部が短い。片側縁は剥離面で折損。黄色く風化し使用痕不明瞭
2447	PJ-81	原石	黒曜石					23.70	角縁。風化剥離面状。透明系黒曜石
2448	PJ-81 27	石匙	頁岩	3/4	43.0	54.0	7.0	14.20	PT1477とPT1478の中間。床面から18cm浮き。石器2465とともに出土。黄色く風化し使用痕不明
2449	PJ-81	剥離のある 剥片	珪質頁岩	3/4	22.0	67.0	9.0	10.80	剥片の1辺に舟形状の刃部調整と微小剥離。石匙の破損品か？青灰色珪質頁岩
2450	PJ-81	石匙	珪質頁岩	1/1	32.0	51.0	10.0	15.80	剥片の1辺につまみ部を作り出す調整。刃部未調整。青灰色珪質頁岩
2451	PJ-81	削器	珪質頁岩	-	33.0	25.0	13.0	13.10	薄手剥片の1辺に急傾斜の刃部調整。両端角取りが折損。刃部にガジリ。青灰色珪質頁岩
2452	PJ-81 19	石匙	頁岩	1/1	55.0	73.0	6.0	22.00	PT1477前後。床面から18cm浮いて。石器2445、2446とともに出土。黄色く風化し使用痕不明瞭
2453	PJ-81 11	石匙	珪質頁岩	1/1	32.0	44.0	8.0	11.40	PT1479前後。床面から53cm浮いて出土。片刃。明灰色珪質頁岩。嵌入石材
2454	PJ-81	削器	珪質頁岩	1/2				2.20	剥片の1辺に片刃の刃部調整と微小剥離。暗灰色珪質頁岩
2455	PJ-81	石匙	珪質頁岩	3/4	17.0	31.0	4.0	2.20	片刃。刃部に微小剥離。つまみ部と刃部両側縁が欠損。明灰色珪質頁岩
2456	PJ-81	石鏃	チャート	1/2				2.71	未成品。凹基。両面加工。原形ができた段階。片縁が剥離面で欠損。赤褐色泥入りの青緑色チャート
2457	PJ-81	石鏃	珪質頁岩	1/1	36.0	12.0	7.0	2.70	穂部先端に摩耗。青灰色珪質頁岩
2458	PJ-81	石鏃	珪質頁岩	1/1	24.3	12.4	2.6	0.44	凹基。挟りが深い。縮身。両面加工。白緑の青灰色珪質頁岩
2459	PJ-81	石匙	珪質頁岩	1/1	25.0	41.0	8.0	3.40	片刃。刃部に微小剥離。明灰色珪質頁岩。嵌入石材
2460	PJ-81	石匙	玉髓	1/1	31.0	47.0	8.0	10.50	両刃。刃部に微小剥離。べっ甲色の玉髓
2461	PJ-81	石匙	珪質頁岩	3/4	34.0	44.0	8.0	9.20	片刃。刃部に微小剥離。暗灰色珪質頁岩。嵌入石材
2462	PJ-81	石匙	珪質頁岩	3/4	40.0	53.0	7.0	13.10	片刃。刃部にガジリ。明灰色珪質頁岩。嵌入石材
2463	PJ-81	石匙	チャート	1/1	29.0	35.0	9.0	7.00	両刃。灰色チャート
2464	PJ-81	翼形石鏃	チャート	3/4	26.0	36.0	5.0	3.20	つまみ部が2ヶ所にあるような形態。赤色チャート
2465	PJ-81	石匙	チャート	3/4	25.0	43.0	6.0	4.50	縁面が鋭る剥片素材。片刃。刃部の大半が欠損。赤色チャート
2467	PJ-81	七音形石鏃	黒曜石	1/1	24.0	12.0	6.0	1.40	両尖七音。片縁欠損。黒沢の透明黒曜石
2468	PJ-81	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	25.0	25.0	7.0	4.10	剥片の両面に調整跡。石鏃ブランドか。葛湯伏半透明黒曜石
2469	PJ-81	石鏃	黒曜石	3/4	23.0	16.0	11.0	3.40	細長い穂部の先端欠損。薄いつまみ部。透明黒曜石
2471	PJ-81	原石	黒曜石					16.80	ズリ

PJ081号住居 石器観察表

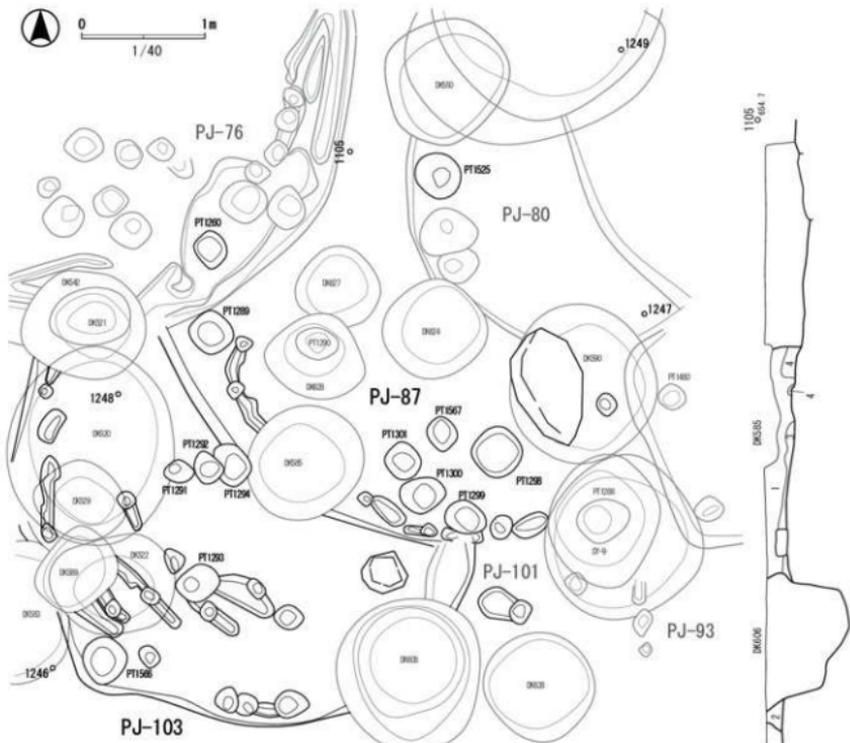
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2472	PJ-01	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	26.0	22.0	13.0	6.90	薄い素材を両端打たて調整製。石鏡プランクか。透明系黒曜石
2473	PJ-01	原石	黒曜石					7.90	ズリ。白筋のある透明系黒曜石
2474	PJ-01	石核	黒曜石					13.60	ズリ。一面で絶石刃状の短剥片を剥離。石核調整なし。透明系黒曜石
2475	PJ-01	原石	黒曜石					7.80	ズリ。透明系黒曜石
2476	PJ-01	剥離のある 剥片	黒曜石	1/1	27.0	25.0	9.0	6.50	黒化剥離面がある厚手の素材。片面に調整製。石鏡プランクか。透明系黒曜石
2477	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	(29.8)	-	5.2	(1.81)	未成品。凹基。両面加工。先端、片脚欠損。白筋のある透明系黒曜石
2478	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	19.5	17.1	8.1	2.31	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。白筋のある透明系黒曜石
2479	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	20.8	16.8	7.8	2.43	未成品。凹基。厚形ができた段階。素材の厚みが先端側に残る。透明系黒曜石
2480	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	-	2.7	(0.36)	先端のみの破片。透明系黒曜石
2481	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	18.4	10.9	3.8	0.42	凹基。両面加工。種地なつくり。透明系黒曜石
2482	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	17.4	3.0	(0.48)	凹基。両面加工。先端欠損。黒底の透明系黒曜石
2483	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	16.8	18.1	2.9	0.53	凹基。長脚。先端がすぼまる。透明系黒曜石
2484	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	16.1	-	2.9	(0.27)	凹基。両面加工。片脚欠損。灰色系の透明系黒曜石
2485	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	-	3.6	(0.38)	凹基。両面加工。片脚欠損。黒底の透明系黒曜石
2486	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	18.1	2.7	(0.52)	凹基。両面加工。先端欠損。黒底のある透明系黒曜石
2487	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	16.7	12.2	2.5	0.30	凹基。両面加工。葛巣状透明系黒曜石
2488	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	14.8	12.3	2.6	0.29	凹基。両面加工。片脚先端欠損。透明系黒曜石
2489	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	21.7	16.2	3.6	0.78	凹基。両面加工。片脚先端欠損。透明系黒曜石
2490	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	13.8	11.1	4.0	0.44	凹基。両面加工。やや厚みが残る。透明系黒曜石
2491	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	15.5	10.6	3.1	0.37	凹基。両面加工。片脚欠損。種地なつくり。黒底のある透明系黒曜石
2492	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	13.3	-	2.4	(0.32)	凹基。両面加工。片脚欠損。黒底の透明系黒曜石
2493	PJ-01	石鏡	黒曜石	-	-	-	3.6	(0.32)	先端のみの破片。黒底の透明系黒曜石
2494	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	17.7	12.9	2.0	0.30	凹基。両面加工。ていせいなつくり。黒底のある透明系黒曜石
2495	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	18.1	14.7	4.8	1.04	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。透明系黒曜石
2496	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	-	2.8	(0.33)	凹基。両面加工。先端、片脚欠損。透明系黒曜石
2497	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	(11.4)	11.2	2.6	(0.21)	凹基。両面加工。先端欠損。透明系黒曜石
2498	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	17.6	14.3	5.7	1.24	未成品。凹基。両面加工。先端、片脚欠損。白色夾雑物が混じる透明系黒曜石
2499	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	15.3	3.4	(0.52)	凹基。両面加工。先端欠損。灰色の半透明系黒曜石
2500	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	13.7	11.2	2.4	0.24	凹基。両面加工。灰色の半透明系黒曜石
2501	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	14.0	10.5	2.0	0.16	小形。凹基。両面加工。片脚先端欠損。透明系黒曜石
2502	PJ-01	石鏡	黒曜石	-	-	-	-	1.06	未成品。ズリ面が残る素材。三角形状ができた段階。先端のみの破片。透明系黒曜石
2503	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	19.6	13.5	3.4	0.95	未成品。凹基。両面加工。先端、片脚欠損。透明系黒曜石
2504	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/2	-	-	3.9	(0.62)	基部欠損。黒底の透明系黒曜石
2505	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	19.2	(15.7)	4.6	(1.13)	未成品。両脚。先端欠損。葛巣状透明系黒曜石
2506	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	16.4	(16.9)	4.4	(1.15)	未成品。剥片素材。三角形状ができた段階。片面は縁辺調整のみ。葛巣状透明系黒曜石
2507	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	15.0	12.9	3.1	(0.30)	凹基。両面加工。片脚先端欠損。透明系黒曜石
2508	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	16.5	12.6	4.1	0.65	未成品。三角形状ができた段階。片脚欠損。透明系黒曜石
2509	PJ-01	石鏡	黒曜石	3/4	14.4	-	3.1	(0.30)	凹基。両面加工。片脚欠損。葛巣状透明系黒曜石
8183	PJ-01	石鏡	黒曜石	1/1	22.1	15.1	5.6	1.68	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。半透明系黒曜石

PJ081 号住居 石器観察表

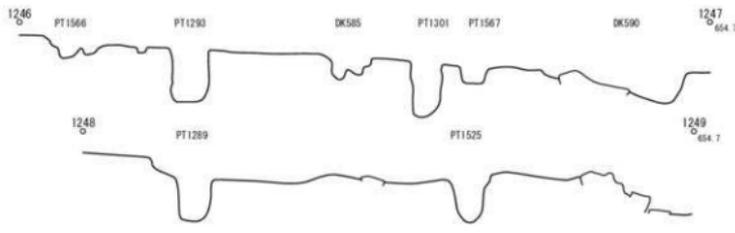
整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
8184	PJ-01	石鏃	黒曜石	1/1	16.6	15.0	5.9	1.25	未成品。両端打法で作出した素材、素材の厚みが残る。三角形ができた段階。漆黒黒曜石
8185	PJ-01	原石	黒曜石					6.60	ズリ。漆黒黒曜石
8186	PJ-01	両端石器	黒曜石	1/1	18.0	14.0	8.0	2.10	破面が残る碎片の両端に衝撃割痕。裏面状透明黒曜石
10796	PJ-01 21	石皿	安山岩類	1/3	(164.0)	(256.0)	(89.0)	4.150	PT147 南西。床面から 35 cm 浮いて出土。基部は摩耗。多孔質安山岩
10797	PJ-01	台石	安山岩類	破片	(247.0)	(259.0)	(150.0)	8.400	粗大な安山岩破片。石皿状に尖曲した面が鋭く摩耗。
10799	PJ-01	磨石類	安山岩類	3/4	(114.0)	79.0	38.0	415	石鏃型。磨り減って扁平。平坦な 2 面が摩耗。敲打痕。2 側面に敲打痕。多孔質安山岩
10800	PJ-01	磨石類	安山岩類	1/1	36.0	30.0	29.0	41	うずら涙大の円礫。やや摩耗
10801	PJ-03 33	磨石類	安山岩類	1/1	94.0	76.0	39.0	358	西壁に近い。床面から 4 cm 浮いて出土。扁平円礫。広い 2 面に摩耗。敲打痕。側縁 2 面に鋭い敲打痕。多孔質安山岩
10802	PJ-01 15	磨石類	砂岩類	1/2	49.0	(109.0)	77.0	603	PT146 南。床面から 20 cm 浮いて出土。棒状圓形礫。狭い 1 様面が砂岩石状に摩耗。点状。線状の鋭い敲打痕が集中した辺り。別の 1 様面にも敲打痕。細粒。緻密な砂岩
10804	PJ-01	磨製石斧	緑色石類	破片	(58.0)	(40.0)	(28.0)	75	断面楕円形の磨製石斧。基部破片。被熱。赤変。基部割れ面に敲打による潰れ。
10805	PJ-01	ハンマー	砂岩類	破片				169	平割された円礫。点状。線状の鋭い敲打痕が集中。細粒。緻密な砂岩
10806	PJ-01	磨石類	安山岩類	破片				235	石鏃型。平割。平坦な 1 面が摩耗。敲打集中の凹み 2 ヶ所。多孔質安山岩
10807	PJ-01 20	磨石類	安山岩類	破片				409	PT147 南。床面から 20 cm 浮いて出土。4 面が摩耗。うち平坦な 1 面が特に摩耗。敲打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。多孔質安山岩
10808	PJ-01 17	磨石類	安山岩類	1/2				373	PT144 北東。床面から 9 cm 浮いて出土。磨り減って扁平になった楕円礫。平坦な 2 面が顕著に摩耗。被熱。赤変。



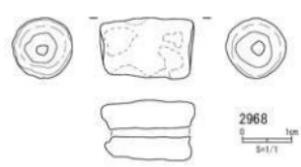
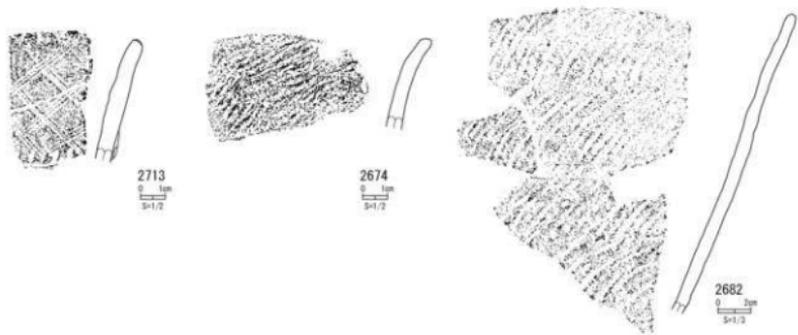
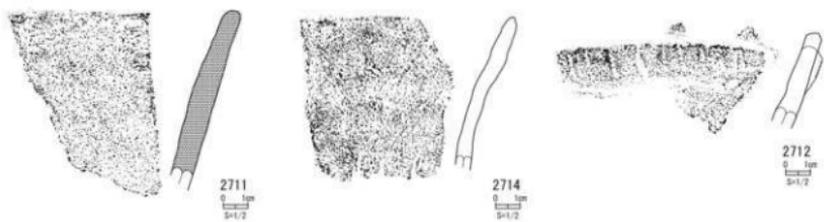
PJ081
遺物の出土状況



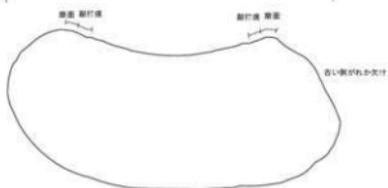
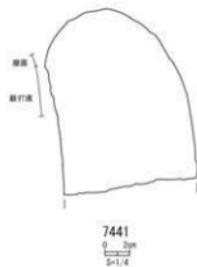
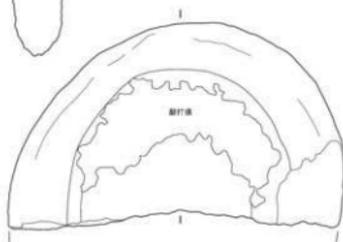
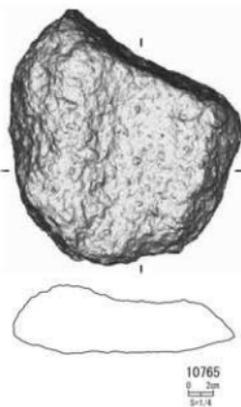
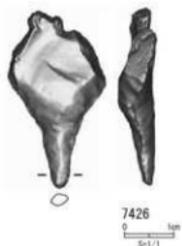
- 1階 1092.2(黒檜)に1092.2(黒檜)が40%、1093.4(黒檜)が9%、1094.4(黒)が0%、炭化物が1%、花崗岩粒(2~3mm)が全体に混じるシルト粘土。粘性なし。しめる。
- 2階 1094.4(黒)に1092.2(黒檜)が90%混じるシルト粘土。粘性なし。ややしめる。
- 3階 1092.2(黒檜)に1094.4(黒)が90%混じるシルト粘土。粘性なし。ややしめる。
- 4階 1094.4(黒)に1092.2(黒檜)が90%混じるシルト粘土。粘性なし。ややしめる。
- 地下 1094.4(黒)に1092.2(黒檜)が90%混じるシルト粘土。粘性なし。しめる。



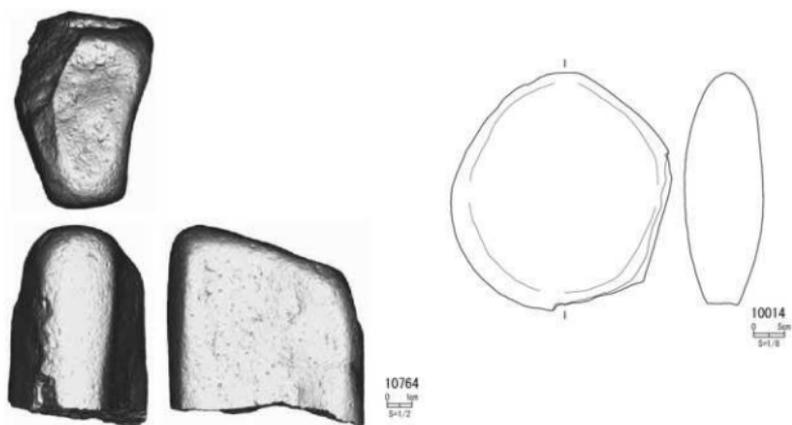
PJ087号・PJ103号住居



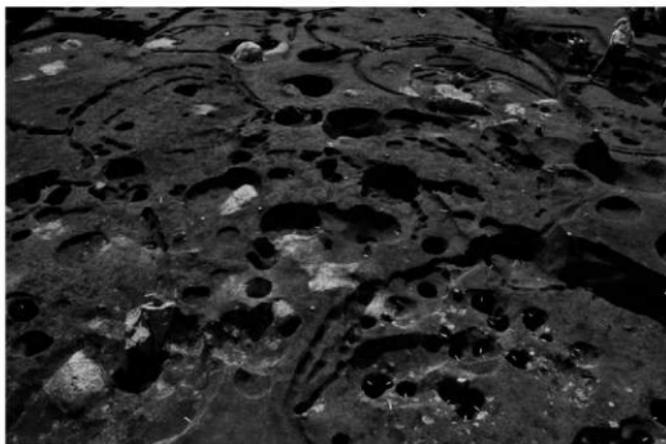
PJ087号·PJ103号住居出土遗物



PJ087号・PJ103号住居出土遺物



PJ087号・PJ103号住居出土遺物



PJ087

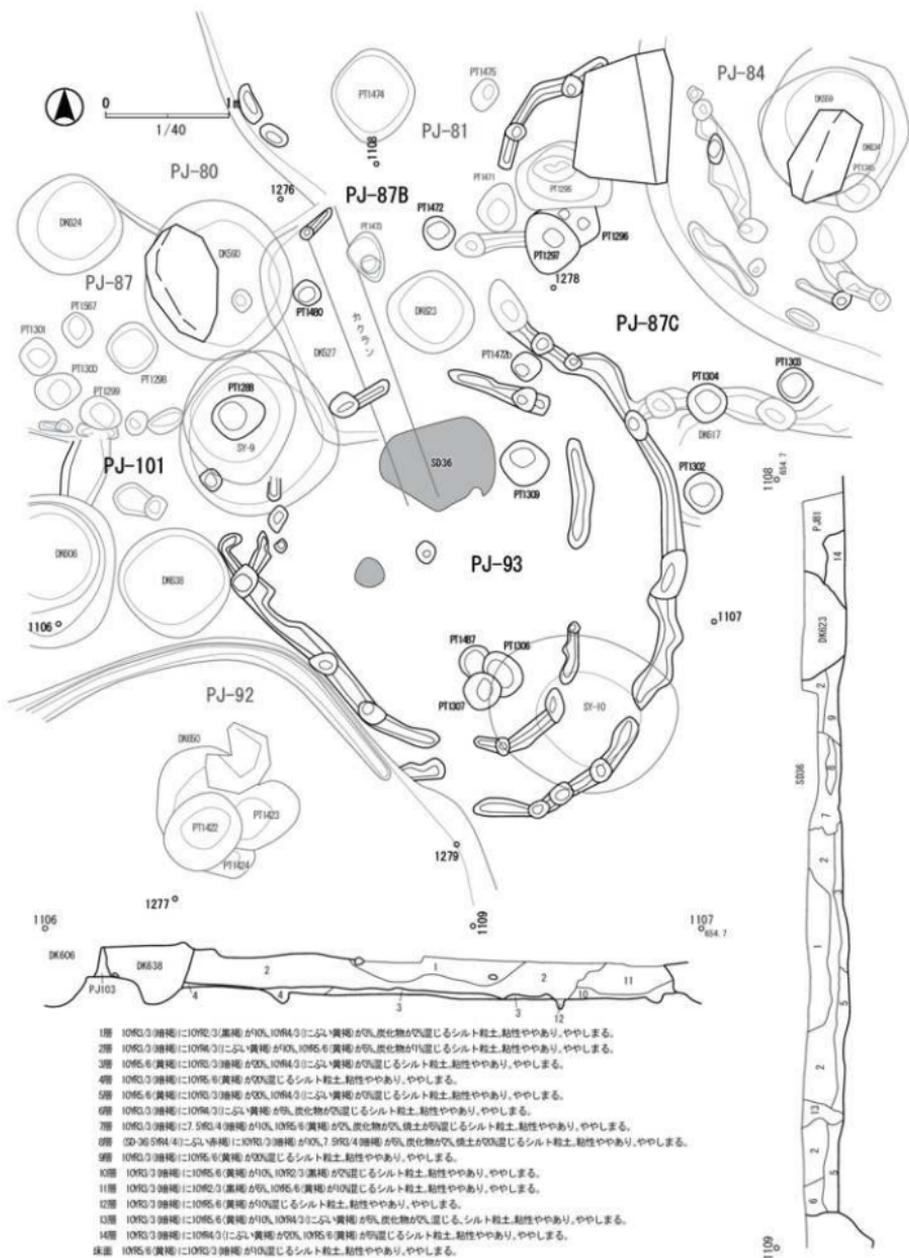
完築状況を北から撮影。中央がPJ087号住居とPJ103号住居

PJ087号・PJ103号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2674	PJ-87	口縁部				23.0	破片	5YR4/3 5YR3/3	やや角ばった口唇部。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有尾式
2682	PJ-87、PJ-87 7、 J-5-19	口縁部 →胴部				339.0	破片	5YR6/4 5YR4/3	PT1289 南の壁石。床面から13cm浮いて出土。内面整形の凹凸が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有尾式
2709	PJ-87	口縁部				20.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	内外面整形の凹凸がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2710	PJ-87	口縁部	-	-	-	13.0	破片	7.5YR6/6 5YR5/4	口唇部削み。削み縁。内面条痕。胎土に繊維を含む。神之木台式
2711	PJ-87	口縁部				51.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	内外面に指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含む。中越式
2712	PJ-87	口縁部				32.0	破片	5YR6/6 7.5YR6/4	口唇部に突起。肥厚口縁。楕圓状工具の刻突文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2713	PJ-87	口縁部				16.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/3	口唇部に削み。波状口縁か? 格子目文。胴部削み。内面指頭圧痕。口縁部はやや肥厚。器壁は肥厚部が6.7mm。胎土に繊維を含まない。木島式
2714	PJ-87	口縁部				34.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	外周縁削み。内面指頭圧痕が残る十字調整。胴部に爪形削み。胎土に繊維を含まない。器壁は5mm。中越式
2715	PJ-87	口縁部				31.0	破片	7.5YR3/3 7.5YR3/3	角ばった口唇部。肥厚口縁に爪形削み。縄文。胎土に繊維を含まない。堂之上2式
2716	PJ-87	口縁部				40.0	破片	7.5YR5/3 5YR5/6	口縁部に細縁縁付。平行沈線。内面ミガキ。縁部ノミ
2968	J-5-18	土製品	1.2	1.9		3.4	完形	5YR4/3	有孔円筒形の土製品。出土グロッドはPJ103もしくはDS22など隣接式期の土器に該当する。時期不明

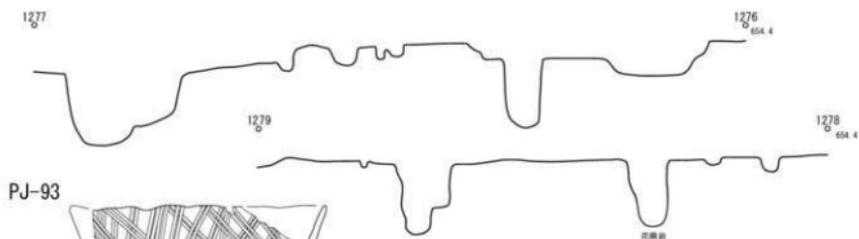
PJ103号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	残存長 (mm)	残存幅 (mm)	残存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1922	PJ-87	刺剣のある 削片	珸/ノミ	1/1	46.0	54.0	15.0	35.00	削片の縁辺に縦溝縁状の刻痕。風化し使用痕不明
1923	PJ-87	石鏃	珪質頁岩	1/1	37.2	28.6	5.8	7.44	未成品。三角形状ができた段階。青灰色珪質頁岩
1924	PJ-87	原石	黒曜石					8.70	ズリ。透明系黒曜石
1926	PJ-87	石鏃	黒曜石	1/1	20.2	21.2	6.6	2.28	未成品。三角形状ができた段階。先端欠損。黒筋のある透明系黒曜石
1927	PJ-87	石鏃	黒曜石	-				0.28	未成品。縁辺加工。新片。透明黒曜石
1929	PJ-87	石鏃	黒曜石	3/4	24.6	-	2.9	(0.68)	凹釜。両面加工。片部欠損。黒筋の透明黒曜石
1930	PJ-87	石鏃	黒曜石	1/2	29.2	19.3	5.0	1.62	未成品。三角形状ができた段階。大形。ていどいなく。片部欠損。透明黒曜石
1931	PJ-87	石鏃	黒曜石	3/4	19.0	13.7	3.4	0.73	未成品。縁辺調整。三角形状ができた段階。黒筋の透明系黒曜石
1933	PJ-87	石鏃	黒曜石	1/1	19.8	12.7	5.2	0.88	凹釜。両面加工。素材の厚みが残る。黒筋透明黒曜石
1934	PJ-87	石鏃	黒曜石	1/1	15.8	13.1	2.7	0.36	凹釜。両面加工。片部先端欠損。黒筋の透明系黒曜石
1935	PJ-87	石鏃	黒曜石	1/1	16.0	11.4	2.7	0.29	凹釜。両面加工。黒筋の透明系黒曜石
1936	PJ-87	石鏃	黒曜石	3/4	19.8	(15.0)	3.1	(0.62)	凹釜。両面加工。片部欠損。ブルーブラック黒曜石
2788	PJ-103 5	削器	安山岩	1/1	51.0	97.0	16.0	96.10	PT1566 南。黄褐色。床面から8cm浮いて出土。半円形削片の割縁に細い刻痕。一部交互刻痕。刻痕風化。多孔質安山岩
2789	PJ-103	石鏃	珪質頁岩		26.0	24.0	5.0	2.20	つまり形未加工。縁部縁割れ縁付。青灰色珪質頁岩
2790	PJ-103	石鏃	黒曜石	1/1	21.0	11.0	7.1	1.44	未成品。三角形状ができた段階。素材の厚みが残る。透明黒曜石
4517	PT-1297	石鏃	チャート	1/1	15.7	11.6	2.7	0.40	PT1297 出土。凹釜。縁辺加工。暗灰色の灰色チャート
7303	10-813	石皿	安山岩類	破片	136	171	80.3	1089	石皿縁き出し部破片。無縁。皿部が厚。多孔隙安山岩
7426	10-6904	石鏃	珪質頁岩	1/1	37.0	20.0	7.0	3.90	埋土上層出土。胴部に磨耗。灰色珪質頁岩。掘入石材
7427	10-6909	磨器	頁岩	1/1	79.0	73.0	24.0	155.00	埋土上層出土。厚い削片の1辺に両面刻痕の楕圓状刀部。刃部片面が灰色の付着物。基部に磨耗。灰色頁岩。掘入石材
7441	10-6942	石皿	安山岩類	1/2	(181.0)	(270.0)	(129.0)	6950	PJ103 埋土上層出土。厚く重量感のある石皿。皿部中心が厚。磨耗
10014	PJ-103 3	台石	安山岩類	1/1	371.0	363.0	125.0	24.60	DK06 北縁。床面出土。磨平円盤。両面凸部が厚
10069	PJ-87 6	磨製石斧	蛇紋岩	1/2	(56.0)	38.0	11.0	3.1	PT1300 上。床面出土。刃部に刻痕。基部削文。
10070	PJ-87	円鏃	砂岩類	破片				269	円鏃削片。使用による磨耗は認められない。細粒微塵な砂岩
10764	PJ-103 2	磨石類	安山岩類	破片				535	DK06 北縁。床面から8cm浮いて出土。蓋円鏃の縁が砂岩。広い平面部も磨耗
10765	PJ-103 1	石皿	砂岩	1/2	(148.0)	188.0	(60.0)	2.709	DK06 北縁。床面出土。花崗岩質砂岩。器壁全体が風化し使用痕不明

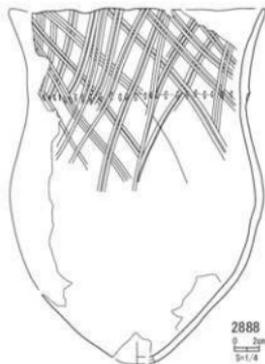


- 1階 10R3.3(3階)に10R2.3(基礎)が10L,10R4.3(2.5L)黄層が0%、炭化物が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 2階 10R3.3(3階)に10R4.3(2.5L)黄層が90%,10R5.6(黄層)が0%、炭化物が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 3階 10R5.6(黄層)に10R2.3(3階)が20%,10R4.3(2.5L)黄層が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 4階 10R3.3(3階)に10R5.6(黄層)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 5階 10R5.6(黄層)に10R2.3(3階)が20%,10R4.3(2.5L)黄層が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 6階 10R3.3(3階)に10R4.3(2.5L)黄層が0%、炭化物が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 7階 10R3.3(3階)に7.5R2.4(2階)が10%,10R5.6(黄層)が0%、炭化物が0%、焼土が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 8階 SD-36.5R4.4(2.5L)赤層に10R2.3(3階)が70%,7.5R2.4(2階)が0%、炭化物が0%、焼土が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 9階 10R3.3(3階)に10R5.6(黄層)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 10階 10R3.3(3階)に10R5.6(黄層)が10%,10R2.3(基礎)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 11階 10R3.3(3階)に10R2.3(基礎)が0%,10R5.6(黄層)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 12階 10R3.3(3階)に10R5.6(黄層)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 13階 10R3.3(3階)に10R5.6(黄層)が10%,10R4.3(2.5L)黄層が0%、炭化物が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 14階 10R3.3(3階)に10R4.3(2.5L)黄層が20%,10R5.6(黄層)が0%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。
- 床面 10R5.6(黄層)に10R2.3(3階)が10%混じるシルト粘土。粘性ややあり、やしまる。

PJ093号・PJ101号住居



PJ-93

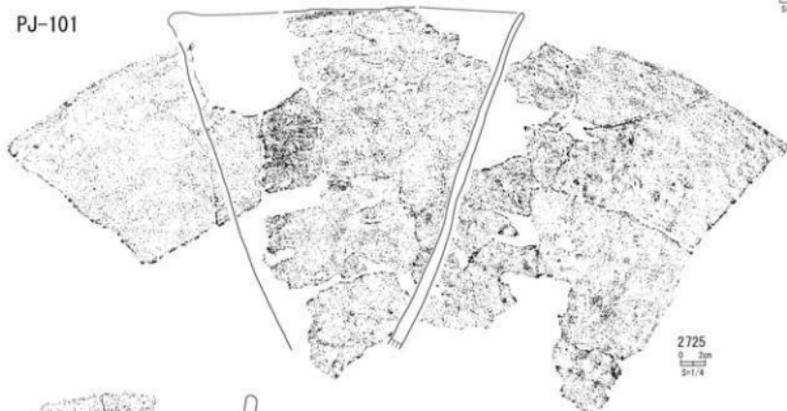


3111
0 1cm
1/2



2717
0 1cm
1/2

PJ-101



2473
0 20cm
1/2

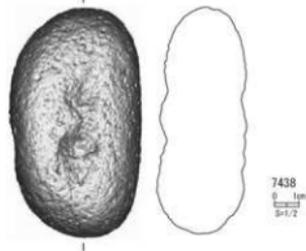
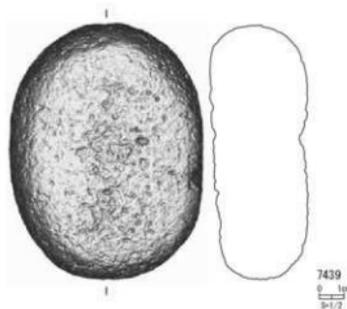
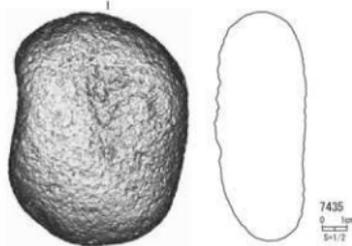
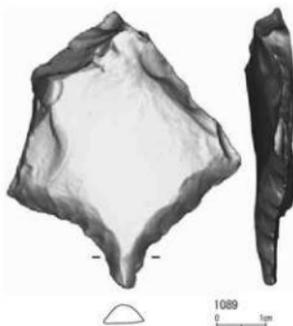
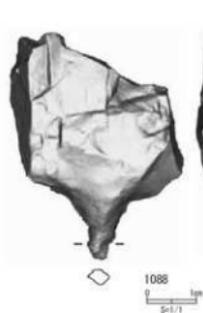


2718
0 1cm
1/2

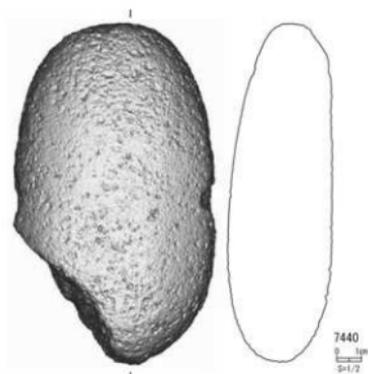


2719
0 1cm
1/2

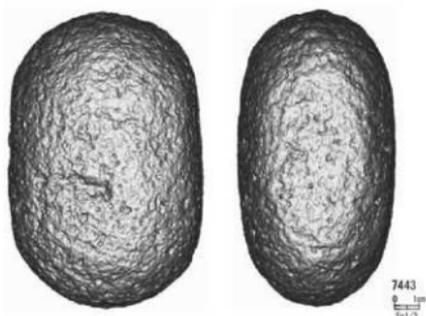
PJ093号・PJ101号住居出土遺物



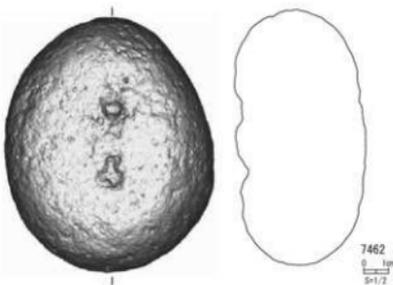
PJ093号・PJ101号住居出土遺物



7440
0 1cm
x=1/2



7443
0 1cm
x=1/2



7462
0 1cm
x=1/2



10698
0 1cm
x=1/2



10762
0 1cm
x=1/2



7437
0 1cm
x=1/2

PJ093号・PJ101号住居出土遺物

PJ093号・PJ101号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm 縦	器高 cm 横	底径 cm 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2473	10-6871、1-6-10、PJ92	口縁部 ～胴部	-	-	-	142.0	破片	5YR5/4 7.5YR4/3	格子目文。内面輪郭のみ。整形の凹凸が残るヨコナデ。器壁は8mm。胎土に繊維を含む。中破式
2717	PJ-101	口縁部				37.0	破片	5YR4/6 5YR4/4	内面指頭圧痕がやや残るナデ。胎土に繊維を含まない。中破式
2718	PJ-101	口縁部				11.0	破片	7.5YR4/3 7.5YR4/3	肥厚口縁に爪形刻み。胴部は楕圓状工具の条線文。内面ナデ。胎土に繊維を少量含む。堂之上ノ式
2719	PJ-101	胴部				54.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/4	末縁部のある純文？口縁部がやや肥厚し胴部と段差。そこに爪形刻文。内面平剛にナデ。胎土に繊維を含む。胎土色調
2725	10-6931、J-6-3	口縁部 ～胴部	28.8	-	-	1,319.0	破片	7.5YR5/3 5YR4/3	99号集石土坑の下、PJ101号住居床面から30cm浮いて出土。内外面とも整形形の凹凸が残る。外面タテナデ。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。中破式
2888	PJ-93 2、PJ-93、10-6919	口縁部 ～底面	(20.0)			1,124.0	2/3	7.5YR6/4 7.5YR6/4	PT1309とPT1307の間、床面出土。格子目文。胴部に刺突刺。段差なし。外面整形形の凹凸がやや残るナデミガキ。内面指頭圧痕が顕著でナデ。胴部器壁は4.5mmと薄手。胎土に繊維を含まない。木島式
3111	10-6789	口縁部				32.0	破片	5YR5/6 5YR3/1	薄く尖った口唇部。楕圓状工具の刺突。内面指頭圧痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式

PJ093号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
10096	PJ-93 4	台石	安山岩類	破片	(93.0)	(92.0)	(96.0)	946	PT1309上。床面出土。扁平円形の平坦な2面に摩耗

PJ101号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
1080	PJ-101	削器	珪質頁岩	1/1	24.0	70.0	12.0	20.40	刃部片面加工。楕圓状刃部。片角約60～70°。刃部面に1mm前後の刺突痕が刃部左側に多く見られる。背部磨耗面。調整加工なし。
1081	PJ-101 1	石匙	頁岩	1/1	37.0	82.0	8.0	20.90	PJ101 両端。周溝上。床面から30cm浮いて出土。片刃。楕圓状の刃部。黄色く風化し使用痕不明
1082	PJ-101	原石	黒曜石					17.30	ズリ。折れ。透明系黒曜石
1083	PJ-101	原石	黒曜石					9.70	ズリ。透明系黒曜石
1084	PJ-101	原石	黒曜石					15.20	ズリ。透明系黒曜石
1085	PJ-101	原石	黒曜石					11.90	ズリ。ブルーブラック黒曜石
1086	PJ-101	原石	黒曜石					10.10	ズリ。折れ。透明系黒曜石
1087	PJ-101	石鏝	黒曜石	1/2	-	-	4.3	(0.99)	未成品。凹底。両面加工。先端欠損。墓溝状半透明黒曜石
1088	PJ-101	石錐	珪質頁岩	3/4	45.0	35.0	9.0	15.80	細長い錐形。つまみ部は未調整。緑灰色珪質頁岩
1089	PJ-101	石錐	珪質頁岩	3/4	57.0	48.0	8.0	18.10	割片素材の1辺に磨部を作り出す。先端欠損。黄灰色珪質頁岩
4513	PT-1306	刺器のある割片	黒曜石	1/1				2.10	PT1306出土。小さな割片の1辺に刺器。すりガラス状。被熱か。透明系黒曜石
7432	10-6872	台石	安山岩類	破片	(147.0)	(137.0)	(93.0)	1418	PJ101 埋土層出土。扁平円形。平坦面に摩耗。射打痕。多孔質安山岩
7434	10-6921	原石	黒曜石	1/1				32.40	PJ101 埋土層出土。ズリ。透明系黒曜石
7435	10-6922	磨石類	安山岩類	1/1	95.0	73.0	28.0	363	PJ101 地床土上。床面から30cm浮いて出土。扁平円形。平坦な2面に射打痕。片面は射打痕中の凹みが長軸方向に並ぶ。
7437	10-6923	ハンマー	砂岩類	1/1	134.0	58.0	31.0	363	PJ101 埋土層出土。棒状器柄部。長軸端部と後に射打痕。反対端部は割れと潰れ。細粒緻密な砂岩
7438	10-6927	磨石類	安山岩類	1/1	94.0	54.0	40.0	256	PJ101 埋土層出土。楕圓形。平坦な2面に摩耗。射打痕中の凹みが長軸方向に並ぶ。
7439	10-6926	磨石類	安山岩類	1/1	105.0	79.0	40.0	505	PJ101 埋土層出土。楕圓形。広い2面は平坦になるまで摩耗。射打痕中の凹み。深く広い射打痕が長軸方向に並ぶ。

PJ101号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
7440	10-6928	磨石類	安山岩類	3/4	129.0	82.0	44.0	637	PJ101 埋土上層出土。横円礫。凸な1面が顕著に摩耗。裏面は平坦だが深い摩耗。側面2面に敲打痕。
7442	10-6929	石核	黒曜石	1/1				98.80	PJ101 北端。埋土上層出土。ズリ。透明系黒曜石
7443	10-6930	磨石類	安山岩類	1/1	120.0	80.0	64.0	769	PJ101 埋土上層出土。広い1面に敲打集中の凹み。側面2面も敲打による平坦面。多孔質安山岩
7451	10-6831	原石	黒曜石	1/1	39.0	32.0	26.0	35.60	PJ101 南側面黄褐色。床面から25 cm浮いて出土。河川転石。透明系黒曜石
7452	10-6831	原石	黒曜石	1/1	35.0	32.0	25.0	30.50	PJ101 南側面黄褐色。床面から25 cm浮いて出土。ズリ。透明系黒曜石
7453	10-6831	原石	黒曜石	1/1	44.0	23.0	13.0	14.00	PJ101 南側面黄褐色。床面から25 cm浮いて出土。ズリ。透明系黒曜石
7454	10-6831	原石	黒曜石	1/1	30.0	28.0	11.0	7.80	PJ101 南側面黄褐色。床面から25 cm浮いて出土。ズリ。透明系黒曜石
7455	10-6831	原石	黒曜石	1/1	39.0	33.0	16.0	16.10	PJ101 南側面黄褐色。床面から25 cm浮いて出土。ズリ。透明系黒曜石
7457	10-6917	ハンマー	砂岩類	1/1	106.0	45.0	31.0	218	PJ101 埋土上層出土。棒状礫の高端部が壊れ。片側端部には敲打痕が残る。細粒緻密な砂岩
7458	10-6785	磨石類	砂岩類	3/4	137.0	165.0	59.0	1279	PJ101 埋土上層出土。扁平横円礫。平坦な2面が摩耗。花崗岩質砂岩
7459	10-6784	打製石斧	頁岩	1/2				61.00	PJ101 中央。床面から29 cm浮いて出土。刃部欠損。黄色く風化。
7460	10-6786	ハンマー	砂岩類					120	PJ101 埋土上層出土。蓋円礫破片。端部に敲打の平坦面。細粒砂岩
7462	10-6790	磨石類	安山岩類	1/1	104.0	94.0	55.0	581	PJ101 埋土上層出土。横円礫。広い2面に敲打集中の凹みが長軸方向に並ぶ。平坦な1面は摩耗。断面風化して使用痕不明瞭
10697	PJ-93 1	磨石類	砂岩類	3/4	95.0	58.0	45.0	359	PT1307 西側。床面から15 cm浮いて出土。横円礫。平坦な2面が摩耗。花崗岩質砂岩
10698	PJ-93 3	磨石類	砂岩類	1/1	48.0	157.0	62.0	641	PJ101 北側面黄褐色。床面から23 cm浮いて出土。不整形な横円礫。幅広い1面に陸殻石状に摩耗。細粒緻密な砂岩
10762	PJ-101	ハンマー	砂岩類	1/1	142.0	61.0	40.0	397	棒状蓋円礫。長軸片端部に線状の敲打痕。細粒緻密な砂岩
10763	PJ-101	剥片	砂岩類	1/1	99.0	77.0	14.0	106	蓋円礫破片。平坦面あり。台石破片か。細粒緻密な砂岩



PJ093

焼土跡の検出状況を南から撮影。住居埋土中でSD34号焼土（中央）、SD36号焼土（写真右端のセクション断面にみえる）を検出した

PJ084 号住居

位置：J-6 グリッドから K-6 グリッドにかけて位置する。西に隣接する PJ081 号住居、DK629 号土坑を切り、DK559 号土坑、SY014 集石土坑（DK607 号土坑と同一遺構）、DK608 号土坑に切られる。

規模：住居の 1/2 弱が調査区内である。隅丸の不整形方形プランと思われる、南北長は 6.3m、堅穴は深さ 52cm が残る。

埋土：灰色がかった耕作土の下位に暗褐色土を基調とする埋土がレンズ状に堆積していた。埋土中に SY014 号集石土坑の焼礫の集中が検出された。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。地山に含まれる風化花崗岩も平坦に削られていた。西壁沿いに大きな地山礫があり壁から突出していた。

炉：調査区内では検出されなかった。

周溝：北壁から南壁にかけて断片的に小溝と小ピットを検出した。北壁沿いでは 3 重に小溝がめぐり、南壁沿いでも断片的ながら 3 重の小溝を検出した。

柱穴：柱穴と思われるピット 10 基ほどが検出された。それらは 27cm から 60cm の深さでばらつきがあるものの大きさは揃っている。3 重にめぐる周溝から想定される住居の建替え、建直しに合わせ、柱穴も更新されたと思われる。PT1313 号ピットでは径 14cm の柱痕が確認された。

出土遺物：住居埋土中でまとまった土器破片、石器が出土した。床面に密着して出土した土器は少ない。諸磯時期の集石土坑が重複するため、諸磯式土器破片が混入している。

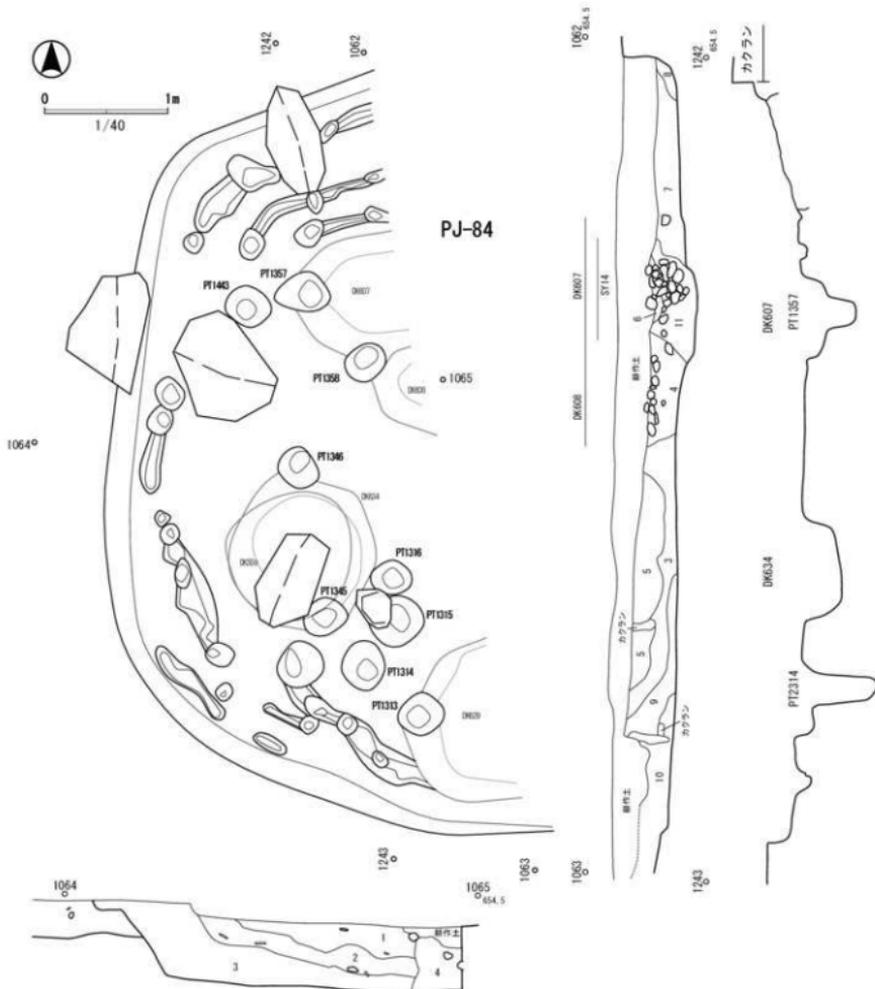
出土した土器の総量は 41,512g で、内訳は早期条痕文土器 210g、木島式 584g、中越式 6,659g、神ノ木式 7,598g、関山式 198g、堂之上 Z 式 11g、清水ノ上 II 式 506g、有尾式 8,315g、釈迦堂 Z 式 9,736g、黒浜式 15g、上広式 38g、諸磯式 2,540g、前期土器破片 4,998g などである。

出土した石器の内訳は、石鏃 33 点、削器 1 点、石匙 4 点、挟入石器 1 点、石錐 2 点、両極石器 4 点、打製石斧 1 点、磨石類 7 点、石皿破片 1 点、台石 1 点、磨製石斧 1 点、装身具 1 点、ハンマー 2 点、礫器 1 点、剥離のある剥片 11 点、板状礫 1 点、円礫 4 点、棒状礫 1 点、黒曜石核 1 点、黒曜石原石 8 点、滑石剥片 2 点、黒曜石など剥片・砕片 919 点 2,533g である。

時期：遺構の時期を端的に示す土器の出土状況は認められなかった。床面から 20cm 浮いた埋土中で前期中葉の釈迦堂 Z 式土器の大きな破片がまとまって出土し、土器破片の総量も有尾式土器と並んで多いことから、本住居は当該時期にはすでに埋没途上にあつたと推測される。

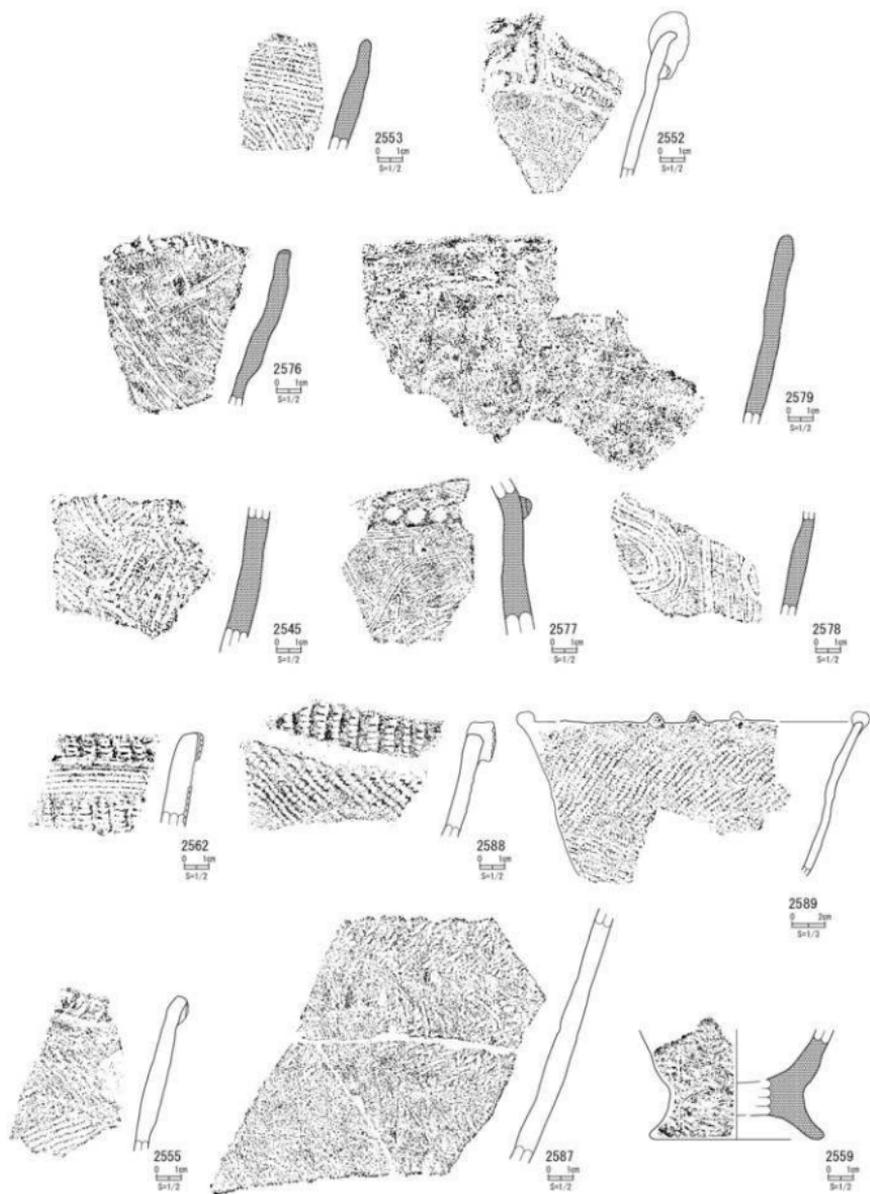
PJ084 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	埋土色	備考(遺物など)	
PT-1313	84 住内	30×32	40	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。		ア
PT-1314	84 住内	25×26	60	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。	中越式、神ノ木式	ア
PT-1315	84 住内	40×35	28	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。		ア
PT-1316	84 住内	26×23	30	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。		ア
PT-1345	84 住内	26×27	43	10YR2/2(黒褐)		ア
PT-1346	84 住内	30×22	47	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。	神ノ木式	ア
PT-1357	84 住内	30×40	37	10YR2/3(黒褐)10YR3/3(暗褐)が 5%混じる。シルト粒土。ややしまる。	有尾式	ア
PT-1358	84 住内	30×26	27	10YR2/3(黒褐)に 10YR3/3(暗褐)が 5%混じる。シルト粒土。ややしまる。		ア
PT-1443	84 住内	23×26	40	10YR2/2(黒褐)に 10YR3/4(暗褐)が 2%混じる。		ア

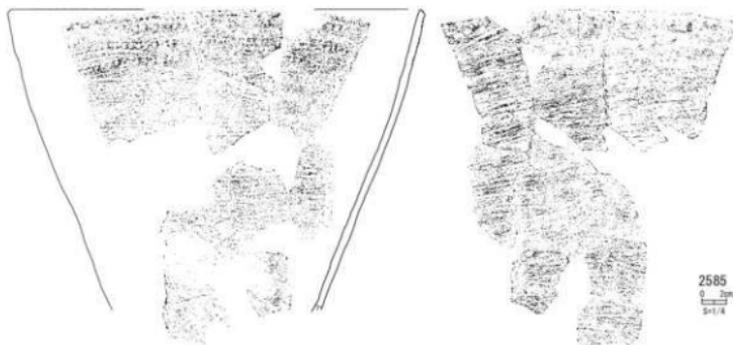
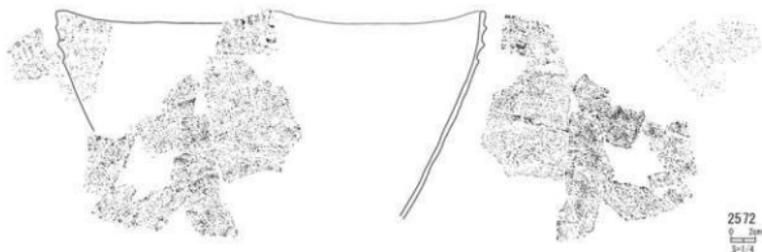
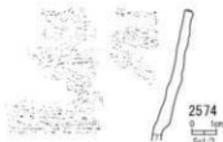
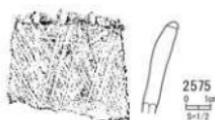
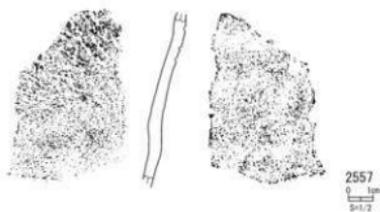


- 1層 10R03(3層)に10R04(3層)20, 10R04(3層)が0, 10R02(2層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 2層 10R04(3層)に10R04(3層)が0, 10R02(2層)が0, 10R04(3層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 3層 10R03(3層)に10R02(2層)が0, 10R02(2層)が0, 10R06(6層)10, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 4層 10R02(2層)に10R03(3層)が0, 10R02(2層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 5層 10R03(3層)に10R02(2層)が0, 10R04(3層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, ややします。
- 6層 10R02(2層)に炭化物が0, 並じる, シルト粒土, 粘性なし, します。S1-14(炭化)
- 7層 10R02(2層)に10R04(3層)が0, 10R06(6層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 8層 10R03(3層)に10R02(2層)が0, 10R04(3層)が0, 10R06(6層)が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 9層 10R03(3層)に10R02(2層)が0, 10R02(2層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性なし, します。
- 10層 10R03(3層)に10R06(6層)が0, 炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 床面 10R06(6層)に花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 壁 10R06(6層)に花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性ややあり, します。
- 1層 10R03(3層)に炭化物が0, 花崗岩粒が0, 並じる, シルト粒土, 粘性なし, します。(S1-14埋土)

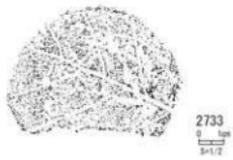
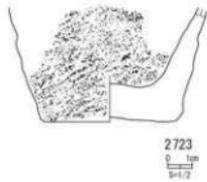
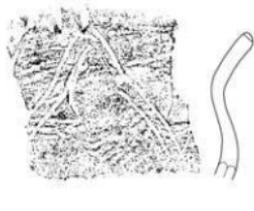
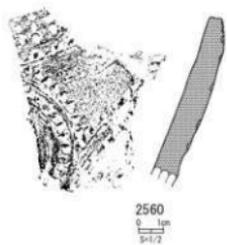
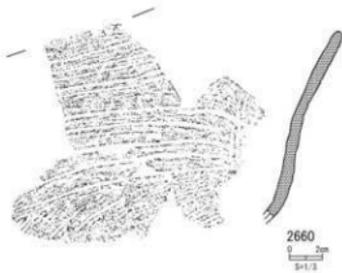
PJ084号住居



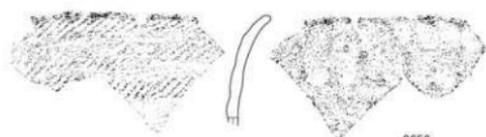
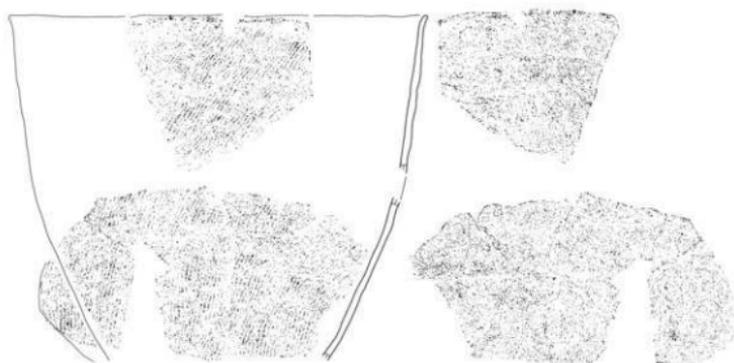
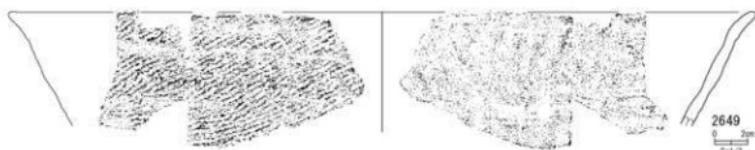
PJ084 号住居出土遺物



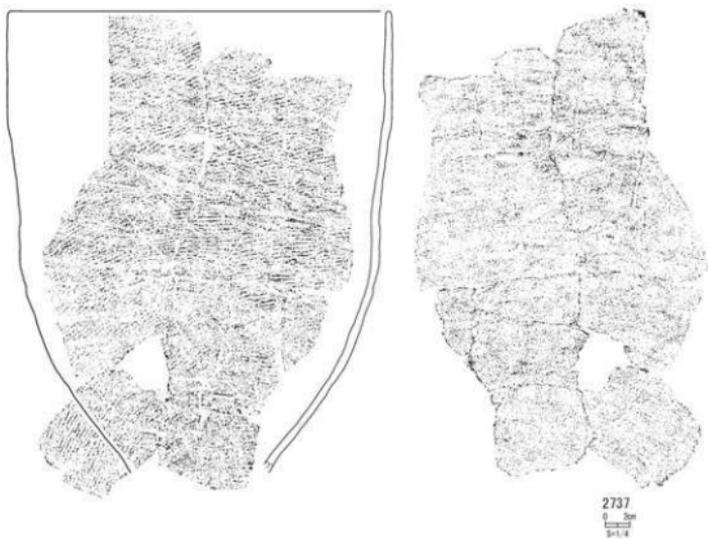
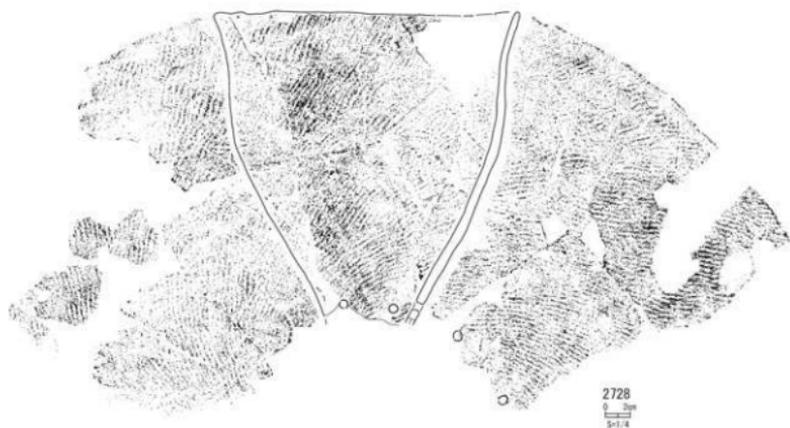
PJ084 号住居出土遺物



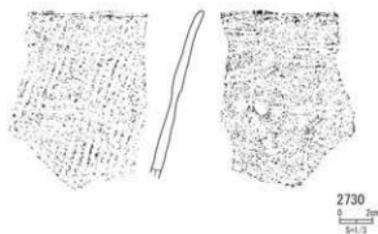
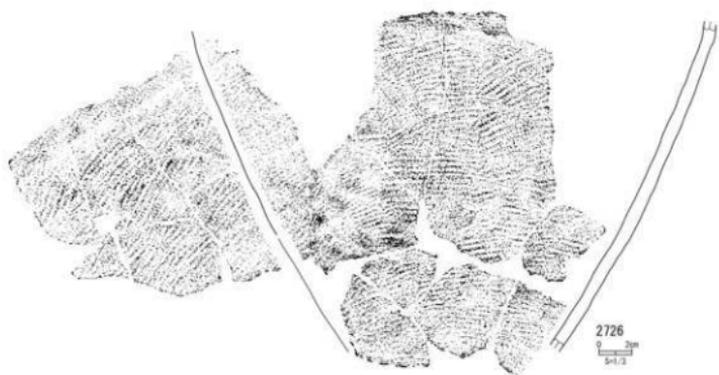
PJ084 号住居出土遺物



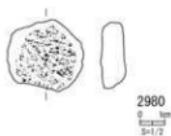
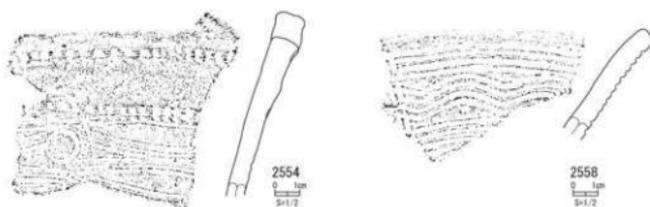
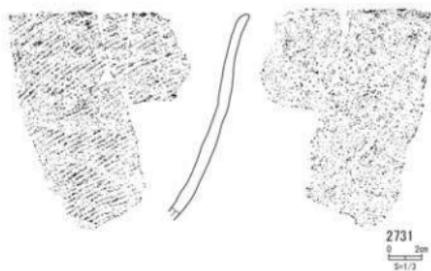
PJ084 号住居出土遺物



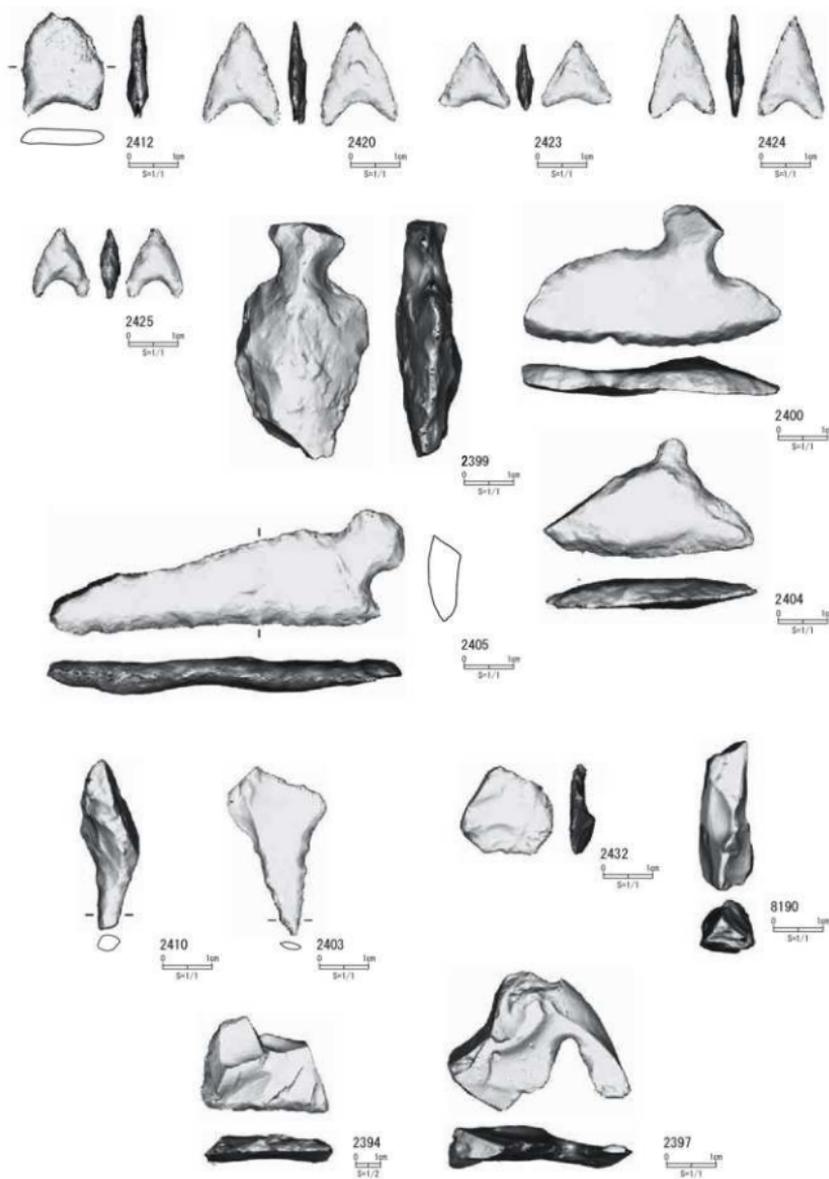
PJ084 号住居出土遺物



PJ084 号住居出土遺物



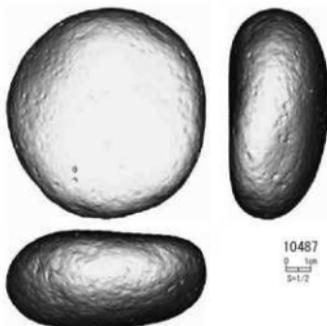
PJ084 号住居出土遺物



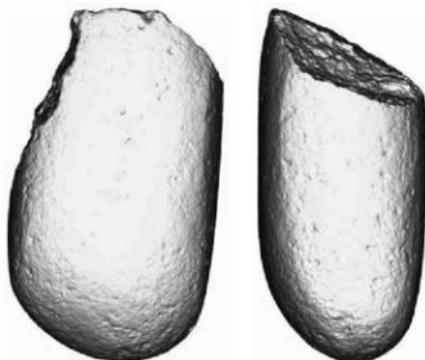
PJ084 号住居出土遺物



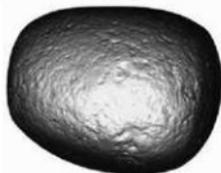
10488
0 1cm
5=1/2



10487
0 1cm
5=1/2



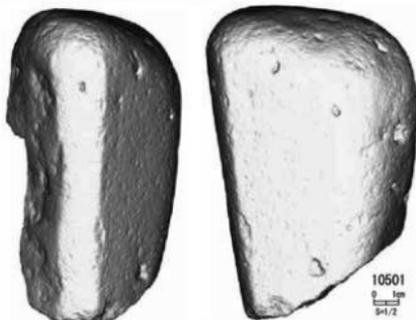
10498
0 1cm
5=1/2



10494
0 1cm
5=1/2

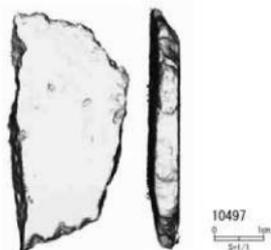
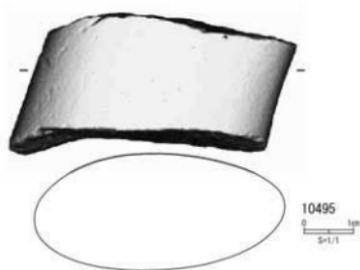


10500
0 1cm
5=1/2

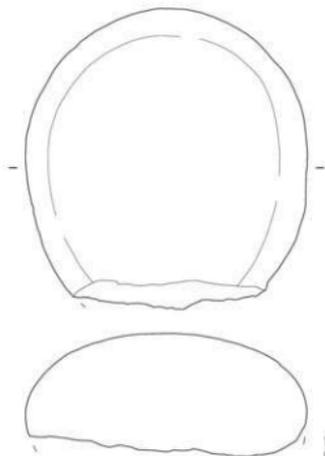
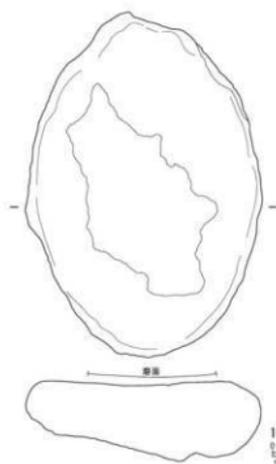


10501
0 1cm
5=1/2

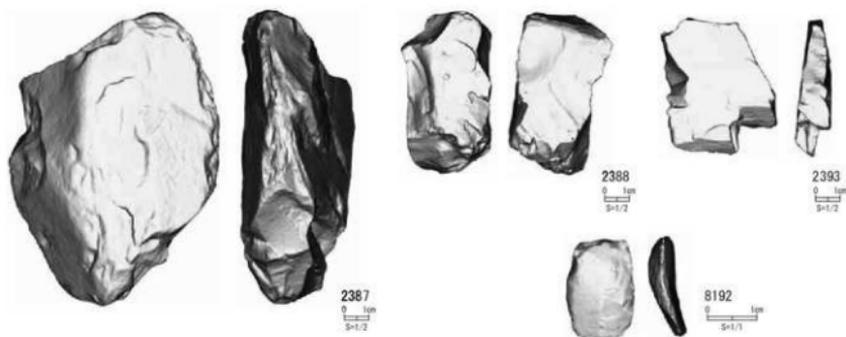
PJ084 号住居出土遺物



10503
0 1cm
1/2



PJ084 号住居出土遺物



PJ084 号住居出土遺物



PJ084

埋土中で集石土坑を検出した。同じレベルで出土した土器は住居埋土に廃棄された遺物と判断した

PJ084号住居 土器観察表

実測 番号	注記	部位	口径 径	器高 径	口径 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2545	PJ-84 24	胴部				44.0	破片	5YR6/6 7.5YR6/6	PI015東、床面から7cm埋り出土。雑な破片状文様。内面指頭圧痕が目立つヨコナデ。胎土に繊維を含む。中絶式併行
2552	PJ-84	口縁部				23.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	耳状の隆帯を添付した突起をもつ波状口縁。角ばった口唇部に認め、斜めは外面側に陥る。口唇部に平行する半円形隆帯。隆帯は幅広で前面カマボコ形。内外面ともていどいなナ字調整。器壁は5.5mm程度。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2553	PJ-84	口縁部				13.0	破片	7.5YR6/4 5YR3/2	山形に突出した波状口縁。みみのある口唇部。外面口縁部は縁位。下位は斜位の条痕。内面後方向のナ字調整。器壁は7mmでやや薄手。胎土に繊維を多量に含む。早期末葉と思われるが、型式不明
2564	PJ-84、J-6-3、J-6-4	口縁部				113.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	口唇部に突起。先端が分かれた工具の刺突利、同じ工具で肋骨文。円文。内面ミガキ。踵線a式新形
2565	PJ-84	口縁部				25.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR4/2	肥厚口縁に認め、異形体を結集した羽状線文？ 内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式併行
2566	PJ-84	口縁部				11.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	波状口縁と思われる破片。口縁部に縮み込みの設置。貝殻線縁文。内外面指頭圧痕が残る。内面条痕。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。上広貫式
2567	PJ-84	胴部				19.0	破片	7.5YR6/1 7.5YR6/3	貝殻線縁文を斜位筋文。内外面指頭圧痕。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。上広貫式
2568	PJ-84	口縁部				40.0	破片	5YR4/6 5YR6/6	3本一組の棒状工具で平行状縮、波線文、刺突利で縦位区画。内面ミガキ。踵線a式新形
2569	PJ-84	胴部～ 底部			(7.0)	44.0	破片	7.5YR6/3 7.5YR7/4	肩付きの底部。胎土に繊維を含む。神ノ木式
2560	PJ-84	口縁部				35.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	波状口縁。微塵起線と連点状刺突文。内面ミガキ。胎土に繊維を多量に含む。有尾式
2561	PJ-84	口縁部				52.0	破片	7.5YR6/2 7.5YR6/2	角ばった口唇部。縄文。内面指頭圧痕が残るナデ。胎土に繊維を含む。有尾式
2562	PJ-84	口縁部				25.0	破片	5YR6/6 5YR4/3	肥厚口縁。楕圓状工具の刺突。条線文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2572	PJ-84、PJ-76、K-6-11、J-6-5、K-5-16	口縁部～ 胴部	34.7	-	-	163.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR4/3	4単位波状口縁。波頭部に指先で押さえたような円文が垂下。口縁に先端が分かれた工具の刺突利2列。内面にも刺突利。外縁縮み込みが残る。内面指頭圧痕が残るナデ。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式
2573	PJ-84	口縁部～ 胴部				40.0	破片	2.5YR4/4 5YR3/3	口唇部に押圧した斜め、括れた頸部。竹管平行状縮の縮痕縁文。縄文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。有尾式
2574	PJ-84	口縁部				21.0	破片	7.5YR6/3 7.5YR4/2	口唇部認め、やや肥厚する口縁。先端が分かれた工具の刺突利。内面指頭圧痕が残るナデ。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式
2575	PJ-84	口縁部				20.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口唇部認め、平行状縮による格子目文。内面指頭圧痕が目立つヨコナデ。胎土に繊維を含まない。本島式
2576	PJ-84	口縁部				29.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/4	口唇部認め、雑な格子目文。内外面指頭圧痕。内面条痕状のナ字調整。胎土に繊維を含む。中絶式併行
2577	PJ-84	胴部				47.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/3	斜め隆帯。楕圓状工具による文様。まばらな縄文。内面ヨコナデ。胎土に繊維を含む。中絶式併行
2578	PJ-84	胴部				25.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/3	先端が平らでできくられたような工具で文様彫出。内面指頭圧痕が残るナ字調整。胎土に繊維を含む。中絶式併行
2579	PJ-84	口縁部～ 胴部				89.0	破片	10YR4/2 5YR4/2	内外面指頭圧痕。胎土に繊維を含む。中絶式
2585	PJ-84 29	口縁部～ 胴部	(33.8)			300.0	1/5	7.5YR6/4 7.5YR6/3	胴29上、床面出土。口唇部認め、口縁部に楕圓状工具の刺突。外面条痕状のナ字調整。内面指頭圧痕が目立つ条痕状のナ字調整。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。清水ノ上Ⅱ式
2587	PJ-84、PJ-76、K-5-13、K-6-11	胴部				182.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	まばらな縄文文。縮み線の雑な格子目文。内面整形痕の凹凸が残るナ字調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式か
2588	PJ-84	口縁部				188.0	破片	7.5YR7/4 5YR6/6	波状口縁。肥厚口縁に楕圓状工具の刺突。縄文。内面指頭圧痕が残るナ字調整。胎土に繊維を含まない。神ノ木式
2589	PJ-84、PJ-84 28	口縁部～ 胴部	(21.0)			141.0	破片	5YR6/4 7.5YR6/3	口唇部に突起貼付。羽状線文。内面指頭圧痕が残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木式

PJ084号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	器高 cm	底径 cm	重量	残存度	胎土色層 上段：内面 下段：外面	備考	
2591	PJ-04 3、J-6-14	胴部～ 底部			(13.6)	290.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	埋土上層出土。底部に脚状突起、内外面ミガキ。縁部b式中段階	
2649	PJ-04	口縁部	(45.4)			125.0	破片	5YR5/6 5YR4/4	縄文。内外面指頭圧痕顯著。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式	
2650	PJ-04 34	口縁部 ～胴部	34.0			432.0	破片	5YR4/6 5YR3/4	西壁沿い。埋土上層出土。縄文。内外面指頭圧痕顯著。胎土に織網を 含まない。釈迦堂 3 式	
2656	PJ-04	口縁部				67.0	破片	5YR4/6 7.5YR3/1	外反する口縁。縄文。内面指頭圧痕顯著。胎土に織網を含まない。釈 迦堂 3 式	
2657	PJ-04	口縁部 ～胴部				120.0	破片	5YR4/6 2.5YR5/6	縄文。内面指頭圧痕顯著。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式	
2658	PJ-04 19	口縁部 ～胴部				238.0	破片	5YR4/6 5YR3/3	埋土上層出土。羽状縄文。内面輪郭み部に指頭圧痕。ヨコナデ。胎土 に織網を含まない。釈迦堂 3 式	
2660	PJ-04、PJ-04 44、 J-5-23	口縁部 ～胴部				271.0	破片	7.5YR4/3 5YR4/2	波状口縁。竹管平行波線と輪位区画。まばらな縄文。内面指頭圧痕と ナデ。胎土に織網を少量含む。有尾式	
2661	PJ-04、PJ-04 26、 PJ-01	口縁部 ～胴部	(25.0)			320.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR5/3	PT1313 西。床面から 14 cm 浮いて出土。口唇部に突起。竹管平行波線。 羽状縄文。内面指頭圧痕が残るナデ。胎土に織網を含む。有尾式	
2662	PJ-04 4	口縁部				88.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR5/3	波状口縁。口唇部に小突起。竹管平行波線。竹管を握らして小刻みな 波縄文ないし小刻みなコンバス文状の文様を描く。内面ヨコナデ。胎 土に織網を含む。有尾式	
2722	PJ-04 9	胴部～ 底部				5.4	77.0	破片	5YR4/2 2.5YR4/6	上げ底気味の底面。縄文。割れ面は厚口縁状。胎土に織網を含まない。 有尾式か
2723	PJ-04 13	胴部～ 底部				5.3	107.0	破片	7.5YR4/2 5YR5/4	上げ底気味の底面。縄文。胎土に織網を含まない。有尾式か
2726	PJ-04 33、PJ-04 6、 PJ-04	胴部					909.0	破片	5YR4/3 2.5YR4/4	PT1357 上から西壁にかけて、床面から 42 cm～53 cm 浮いて出土。縄文。 内面指頭圧痕が目立つヨコナデ。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式
2727	PJ-04 33、PJ-04 38、PJ-04 39、PJ- 04	口縁部 ～胴部	38.0				928.0	破片	5YR3/4 5YR3/3	土器 2726 とともに出土。縄文。内面指頭圧痕顯著。胎土に織網を含ま ない。釈迦堂 3 式
2728	PJ-04 37	口縁部 ～胴部	24.6			1,524.0	2/3	5YR3/4 5YR3/3	PT1443 東。床面から 20 cm 浮いて出土。外面縄文。輪郭み痕の凹凸が残 る。内面指頭圧痕が顯著。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式	
2730	PJ-04 5	口縁部 ～胴部					359.0	破片	5YR4/4 5YR3/3	埋土上層出土。縄文。内面指頭圧痕が顯著。胎土に織網を含まない。 釈迦堂 3 式
2731	PJ-04 22	口縁部 ～胴部					108.0	破片	5YR4/4 5YR3/2	埋土上層出土。縄文。内面指頭圧痕。風化。胎土に織網を含まない。 釈迦堂 3 式
2732	PJ-04 7	口縁部 ～胴部					152.0	破片	5YR4/4 5YR3/2	埋土上層出土。縄文。内面指頭圧痕。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式
2733	PJ-04 20	胴部～ 底部				7.0	113.0	破片	5YR5/6 2.5YR4/4	底面木炭痕。羽状縄文。胎土に織網を含まない。有尾式か
2737	PJ-04 31	口縁部 ～胴部	(30.4)				883.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR4/4	縄文。内面指頭圧痕とナデ。胎土に織網を含まない。釈迦堂 3 式
2980	PJ-04	土製円 盤	2.9	3.1	1.0	8.2	ほぼ完 形	10R3/1 5YR5/4	神ノ木式？と思われる土器破片を縁辺加工した土製円盤。胎土に織網 を含む。	

PJ084号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2387	PJ-04	鎌器	M/F:2A	1/1	91.0	117.0	39.0	470.90	蓋門縁割片の1辺に調整刻痕
2388	PJ-04 27	石核	黒曜石					91.70	床面から14cm浮いて石器2383とともに出土。河川転石。赤褐色斑入り黒曜石
2389	PJ-04	原石	黒曜石					26.50	ズリ。透黒黒曜石
2390	PJ-04	原石	黒曜石					29.90	板状ズリ
2391	PJ-04	原石	黒曜石					12.70	河川転石。透明系黒曜石
2392	PJ-04	原石	黒曜石					20.90	河川転石。風化剥離面。赤褐色斑入り黒曜石
2393	PJ-04 27	原石	黒曜石					38.10	床面から14cm浮いて出土。板状ズリ。透明系黒曜石
2394	PJ-04	削器	珪質頁岩	1/1	38.0	51.0	10.0	20.80	縦長割片の2辺に刃部調整と微小刻痕。青灰色珪質頁岩
2395	PJ-04	打製石斧	緑色岩		54.0	44.0	9.0	26.70	打製石斧の断片。調整刻痕と流れ
2396	PJ-04	剥離のある 割片	黒曜石	1/1				9.80	厚手割片の2辺に調整刻痕。右縁ブランクか。赤褐色斑入り黒曜石
2397	PJ-04	抉入石器	黒曜石	1/1	34.0	30.0	8.0	4.40	割片に深い抉り調整。抉り部に流れ。薄い縁辺に微小刻痕。透明系黒曜石
2398	PJ-04	原石	黒曜石					13.60	ズリ。透黒黒曜石
2399	PJ-04 12	石匙	黒曜石	1/1	27.0	47.0	11.0	13.50	北西壁側。床面から31cm浮いて出土。つまみ部に平行的な刃部。刃部と反対側の縁辺にガジリ。透明系黒曜石
2400	PJ-04	石匙	頁岩	1/1	29.0	52.0	6.0	9.00	片刃。刃部にガジリ。風化し使用痕不明瞭
2401	PJ-04	原石	黒曜石					5.50	板状の河川転石。透明系黒曜石
2402	PJ-04	剥離のある 割片	珪質頁岩		22.0	38.0	5.0	4.90	割片の1辺に微小刻痕。白筋のある青灰色珪質頁岩
2403	PJ-04	石鏃	珪質頁岩	1/1	36.0	20.0	3.0	1.80	割片素材。鏃部に使用痕なし。青灰色珪質頁岩
2404	PJ-04	石匙	頁岩	1/1	24.0	42.0	6.0	6.00	片刃。黄色く風化し、使用痕不明瞭
2405	PJ-04 14	石匙	チャート	1/1	23.0	74.0	7.0	11.20	PT1357とPT1443の間。床面から15cm浮いて出土。細長い器体の?辺に調整刻痕。刃部は縦縁縁。緑灰色筋のあるすんだオリーブ色のチャート
2406	PJ-04	剥離のある 割片	黒曜石		21.0	44.0	9.0	4.70	2辺に調整刻痕。右縁未成品の破損品か。透明黒曜石
2407	PJ-04	剥離のある 割片	珪質頁岩	1/1	33.0	23.0	7.0	5.80	割片の2辺に調整刻痕。青灰色珪質頁岩
2408	PJ-04	剥離のある 割片	黒曜石	1/1				7.10	ズリ。小さな原石を両端打法で割製。1辺を片面から調整。透黒黒曜石
2409	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	29.4	20.6	6.6	3.49	未成品。三角形状ができた段階。基部側が大きく欠損。青灰色。不透明黒曜石。神津島産か
2410	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	35.0	12.0	8.0	2.20	原石面が残る断片の基部を作り出す。先端欠損。葛湯状透明黒曜石
2411	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	19.8		3.9	(0.79)	凹基。抉りは浅い。片面は縁辺調整のみ。片部欠損。黒斑入り透明黒曜石
2412	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	22.2	17.8	4.1	1.48	凹基。縁辺加工。先端欠損。両部のバランスが悪い。ミニチュア石匙かも。赤褐色斑入り黒曜石
2413	PJ-04	高縁石器	黒曜石	1/1	21.0	11.0	5.0	1.10	小さな断片の高縁に調整刻痕。透明系黒曜石
2414	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2	30.5	16.8	6.8	2.22	未成品。三角形状ができた段階。片側縁が大きく欠損。片面は縁辺調整のみ。葛湯状透明黒曜石
2415	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2	23.7	16.4	6.0	2.20	未成品。三角形状ができた段階。先端。片側縁欠損。黒斑入り透明黒曜石
2416	PJ-04	剥離のある 割片	黒曜石					0.90	透明系黒曜石
2417	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	18.4	(10.9)	2.4	(0.27)	凹基。両面加工。片部欠損。葛湯状半透明黒曜石
2418	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	21.4	16.7	5.0	0.84	凹基。両面加工。先端欠損。動縁が内湾する種地なつくり。葛湯状透明黒曜石
2419	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	21.6		3.7	(0.55)	凹基。両面加工。抉り深く長縁。先端。片部欠損。ていねいなつくり。透明黒曜石

PJ084 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2420	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	21.2	15.8	3.5	0.70	凹基、両面加工。ていねいなくつくり、黒斑入り透明黒曜石
2421	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	18.5	13.6	10.4	1.43	未成品。ズリ面が残る。三角形形状ができ、素材の厚みが残る。透明黒曜石
2422	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	19.2	(15.9)	3.1	(0.68)	凹基、両面加工。片鉋欠損。片面に黒化輝面が残る。透明黒曜石
2423	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	14.2	14.8	3.4	0.44	凹基、両面加工。不透明。灰色黒曜石。神津島産か
2424	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	21.8	13.6	3.6	0.57	凹基、細身。両面加工。片鉋先端欠損。ていねいなくつくり。透明黒曜石
2425	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	15.2	11.8	3.8	0.39	凹基、両面加工。透明黒曜石
2426	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	16.8	14.5	3.2	0.39	凹基、両面加工。黒斑入り透明黒曜石
2427	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	(13.7)		2.3	(0.20)	凹基、両面加工。先端、片鉋欠損。透明黒曜石
2428	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	17.7	(13.0)	3.3	(0.43)	凹基、両面加工。片鉋欠損。素材の厚みが局部的に残る。透明黒曜石
2429	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	(20.3)	(12.6)	4.0	(0.72)	凹基、細身。両面加工。両鉋欠損。黒斑伏透明黒曜石
2430	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	17.7	12.4	4.3	0.59	凹基、両面加工。片面に黒化輝面が残る。素材の厚みが局部的に残る。種地なくつくり。黒斑伏透明黒曜石
2431	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	20.2	17.6	4.6	1.21	未成品。片鉋欠損。中心に白色夾雑物があり、そこから欠損。黒斑伏透明黒曜石
2432	PJ-04	両縁石器	黒曜石	1/1	18.0	18.0	5.0	1.30	割片の両端に衝撃剥離。黒斑のある透明黒曜石
2433	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4			2.7	(0.26)	凹基、片面は縁辺調整のみ。先端、片鉋欠損。種地なくつくり。黒斑伏半透明黒曜石
2434	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2	26.7		4.7	(0.83)	大形。凹基、両面加工。中心に灰色夾雑物があり、そこから片鉋が大きく欠損。黒斑伏透明黒曜石
2435	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	26.3	(16.4)	6.1	(1.53)	未成品。凹基、細身、両面加工。ズリ面が残る。片鉋欠損。基部側に素材の厚みが残る。漆黒黒曜石
2436	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	22.6	12.4	5.0	1.04	未成品。黒石面が残る割片素材。基部と片鉋のみ調整。黒斑伏半透明黒曜石
2437	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	18.1	(16.4)	2.9	(0.62)	凹基、片鉋欠損。割片の縁辺のみを調整。褐色斑入り透明黒曜石
2438	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2			4.4	(0.90)	両面加工。細身。先端、両鉋欠損。黒斑伏透明黒曜石
2439	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2			2.6	(0.28)	凹基、両面加工。先端、片鉋欠損。漆黒黒曜石
2440	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	18.3	16.0	5.0	1.23	未成品。割片素材。凹基、先端欠損。片面は縁辺調整のみ。黒斑伏透明黒曜石
2441	PJ-04	石鏃	黒曜石	3/4	12.1		2.8	(0.32)	凹基、両面加工。片鉋欠損。幅広。長細。透明黒曜石
2442	PJ-04	両縁石器	黒曜石	1/1	16.0	12.0	8.0	1.70	輝面が残る割片の両端に衝撃剥離。透明黒曜石
2443	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2			2.3	(0.24)	凹基、両面加工。先端、片鉋欠損。鉋が細長く尖る。ブルーブラック黒曜石
7474	IG-6795	磨石類	安山岩類	1/1	136.0	68.0	53.0	830	両面角削。床面から 7mm 厚いて出土。断面が隅丸方形の溝行機。広い 2 面が顕著に磨耗。敲打痕。側面 1 面は投磨石状。多孔質安山岩
7476	IG-6822	原石	黒曜石	1/1				106.00	透輝輝石結晶で出土。ズリ。漆黒黒曜石
8189	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/1	21.7	19.4	6.3	1.87	割片素材。三角形形状が分かる段階。縁辺調整のみ。黒斑のある透明黒曜石
8190	PJ-04	両縁石器	黒曜石	1/1	30.0	11.0	10.0	3.70	角柱状の破片の両端に衝撃剥離。
8191	PJ-04	剥離のある割片	黒曜石					1.00	割片の 1 辺に調整剥離。黒斑のある透明黒曜石
8192	PJ-04	剥離のある割片	黒曜石	3/4	21.0	14.0	5.0	1.60	黒石面が残る割片の 2 辺に調整剥離。主剥離面が磨耗とキズ。黒斑伏半透明黒曜石
8193	PJ-04	剥離のある割片	黒曜石	3/4				2.20	黒石面が残る素材の片面に調整剥離。黒斑伏半透明黒曜石
8194	PJ-04	剥離のある割片	黒曜石	1/1				2.60	割片の 2 辺に微小剥離。1 辺はノッチ状に狭り。透明黒曜石
8195	PJ-04	石鏃	黒曜石	1/2				0.84	未成品。割片素材。三角形形状が分かる段階。基部側へ欠損。黒斑のある半透明黒曜石

PJ084号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
8196	PJ-84	剥離のある 割片	黒曜石	1/1				1.10	原石面が残る割片の1面に微小剥離。透明黒曜石
8197	PJ-84	石皿	黒曜石	3/4	20.3	24.0	5.0	2.02	未成品。割片素材の2面に調整剥離を始めた段階。黒曜のある透明黒曜石
10487	PJ-84 2	磨石類	砂岩類	1/1	85.0	81.0	43.0	442	埋土上層出土。円盤。平坦な1面が摩耗。細粒砂岩
10488	PJ-84 10	磨石類	安山岩類	3/4	106.0	95.0	46.0	522	埋土上層出土。円盤。平坦な2面が摩耗。被熱、破砕。
10489	PJ-84	磨石類	花崗岩類	1/1	90.0	85.0	64.0	629	蓋円盤。平坦な1面が摩耗。被熱、破砕。S14黒石土坑の壁の一部かも。
10490	PJ-84 16	ハンマー	砂岩類	1/1	113.0	49.0	43.0	337	棒状。器体中央が磨理面で折損。折損面に敲打痕。細粒砂岩
10491	PJ-84 8	棒状物	砂岩類	1/1	132.0	47.0	37.0	340	やや粗粒な砂岩。使用痕不明。ハンマーか
10492	PJ-84 45	円盤	砂岩類	1/1	153.0	83.0	46.0	822	PT1443南。床面から9cm浮いて出土。横円盤。やや粗粒の花崗岩質砂岩。使用痕不明。磨石類か
10493	PJ-84	円盤	花崗岩類	1/1	96.0	93.0	45.0	586	扁平円盤。風化花崗岩。使用痕不明。磨石類か
10494	PJ-84	磨石類	砂岩類	1/1	113.0	56.0	32.0	253	蓋円盤の平坦な1面に敲打集中の深い凹み。やや粗粒な砂岩
10495	PJ-84	磨製石斧	砂岩類		(41.0)	49.0	(24.0)	57	磨製石斧の断片。刃部、基部欠損。単なる円盤破片かも。硬砂岩
10496	PJ-84	板状物	安山岩類	1/2	56.0	(64.0)	14.0	59	板状部理の扁平安山岩。平坦な2面が摩耗。被熱、変色
10497	PJ-84	装身具	滑石	不明	(52.0)	(26.0)	(8.0)	14	未成品。板状の滑石破片。平坦面に研磨輪変痕。淡べっ甲色の滑石
10498	PJ-84	磨石類	安山岩類	3/4	(145.0)	85.0	69.0	1,307	横円盤。平坦な4面が摩耗。広い2面に敲打痕
10499	PJ-84	ハンマー	安山岩類	1/2				82	横円盤。磨石転用。平坦な2面が摩耗。敲打痕。長軸端部に敲打の平坦面
10500	PJ-84 15	磨石類	安山岩類					406	埋土上層出土。扁平円盤。平坦な2面に摩耗。側面に敲打痕
10501	PJ-84 35	磨石類	安山岩類	1/2				877	埋土上層出土。蓋円盤。平坦な1面が摩耗。側面1面が砂磨石状。被熱、破砕。
10502	PJ-84	円盤	安山岩類	破片				340	蓋円盤。台石破片か。多孔質安山岩
10503	PJ-84 21	石皿	安山岩類	破片				1,122	皿部と底面が摩耗。割れ面も角が丸みを帯び摩耗。側面に敲打痕
10504	PJ-84 43	台石	砂岩類	3/4	(284.0)	191.0	75.0	5,500	PT1443南。床面から10cm浮いて出土。扁平横円盤。作業面は石皿状に湾曲し、局所的に摩耗。やや粗粒。花崗岩質の砂岩
10505	PJ-84 42	円盤	花崗岩類	不明	(244.0)	226.0	(105.0)	7,700	PT1443南。床面出土。割れた円盤
11682	PJ-84	割片	滑石					0.7	滑石の小さな破片。うすい色の滑石
11683	PJ-84	割片	滑石					0.3	滑石の小さな破片。乳白色の滑石

PJ085 号住居

位置：1-5 グリッドに位置する。東壁沿いの DK582 号土坑に切られる。DK582 号土坑は底面が不整形で風倒木痕かもしれない。

規模：長軸長推定 4.7m、短軸長 4m の楕円形で竪穴は深さ 40 cm が残る。

埋土：暗褐色を基調とする埋土がレンズ状に堆積していた。

床面：黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込んで床面としている。住居中央部がわずかにくぼみ、踏み固まっていた。

炉：住居の中央部で床面が被熱しわずかに焼土化した箇所を検出した。

周溝：東壁以外の壁際で小溝を検出した。

柱穴：柱穴にふさわしい形状と深さのビットが 2 基ずつ 4 ヶ所で検出された。PT1335、PT1397、PT1401、PT1331 号ビットの 4 基は深さが 50 cm 前後で揃っている。PT1336、PT1334、PT1330、PT1402 号ビットの 4 基は深さが 34 cm から 40 cm とやや浅いが、深さがおおむね揃っている。この 2 組が柱穴であろう。PT1334 号ビットで径 13 cm ほどの柱痕が確認された。

PT1329、PT1403 号ビットの 2 基は浅く大きめの土坑で、貯蔵穴などの付風施設かもしれない。その他、床面でいくつかのビットが検出されたが本住居に帰属するものか不明である。

出土遺物：埋土からまばらに土器と石器が出土した。

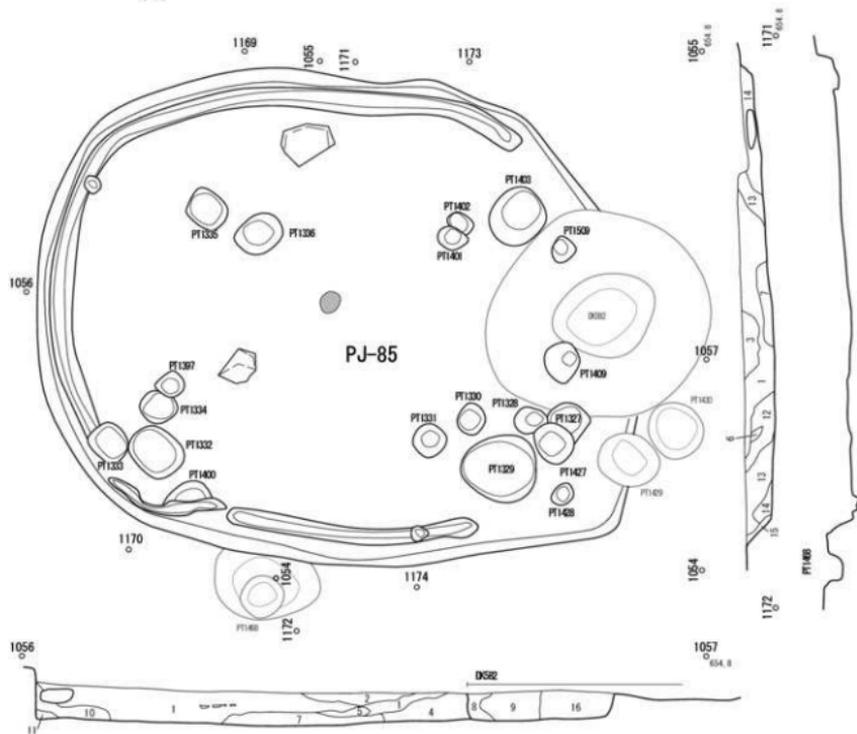
出土した土器の総量は 4,882g で、早期条痕文土器 21g、木島式 331g、中越式 1,953g、神ノ木式 263g、関山式 84g、有尾式 93g、釈迦堂 Z3 式 22g、諸磯式 759g、北白川下層 II b 式 9g、前期土器破片 1,262g である。

出土した石器の内訳は、石織 18 点、削器 1 点、石匙 1 点、石錘 2 点、鋸歯縁石器 1 点、磨石類 1 点、石皿 1 点、台石 1 点、ハンマー 1 点、剥離のある剥片 3 点、黒曜石原石 1 点、礫 1 点のほか黒曜石を主とする剥片・砕片 171 点、594g である。

時期：住居の建築時期、廃絶時期を明確に示す土器の出土状況は認められなかったが、土器 2074 がもともともまって出土した。住居全体でも中越式土器破片がもっとも多く出土していることから、本住居は神ノ木式を伴う中越式期に廃絶し、埋没塗上にあっただと思われる。

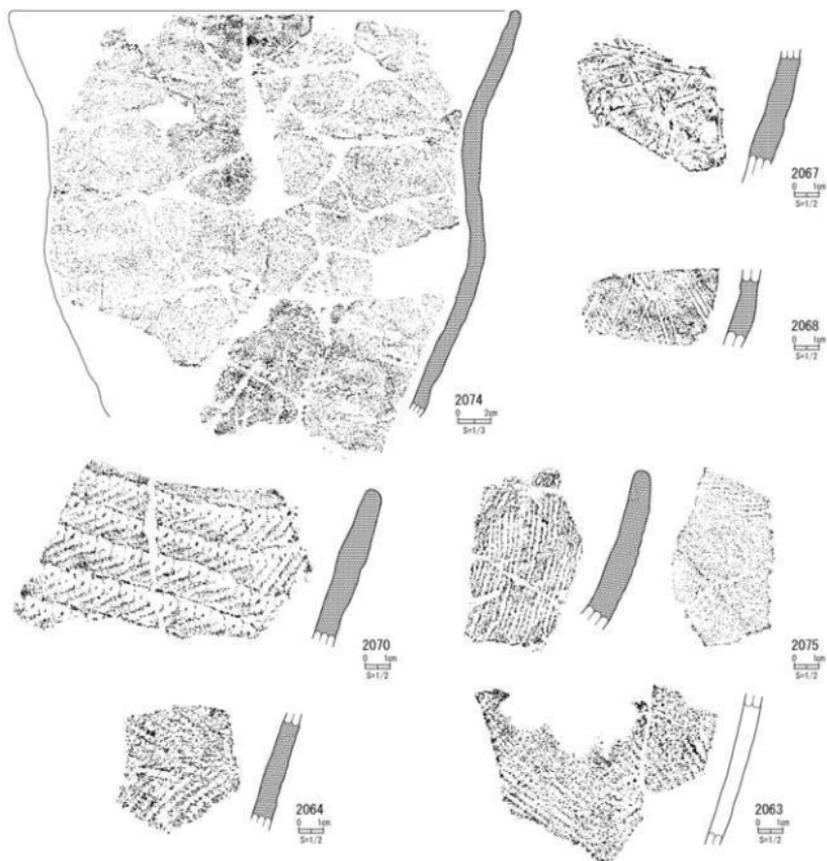
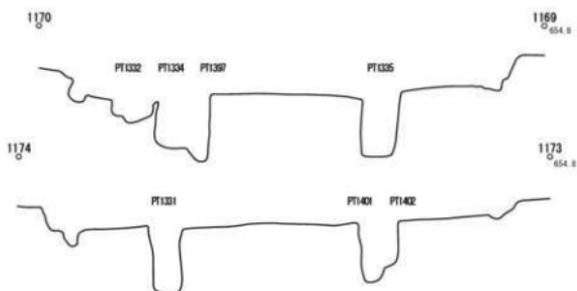
PJ085 号住居 土坑ビット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	埋土色	備考(遺物など)
PT-1327	85 住内	50×25	10	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1328	85 住内	22×20	16	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1329	85 住内	52×57	13	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1330	85 住内	22×19	34	10R3/3(暗褐)に10R4/6(褐)が3%混じる。	柱穴
PT-1331	85 住内	25×20	53	10R2/2(黒褐)に10R3/2(黒褐)	柱穴
PT-1332	85 住内	42×35	10	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	中越式
PT-1333	85 住内	20×28	8	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1334	85 住内	25×20	38	柱底：10R3/1(黒褐)、埋土：10R6/4(1にぶい黄褐色)	柱穴、径 13 cm の柱痕。中越式
PT-1335	85 住内	30×30	50	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	柱穴、中越式、関山式
PT-1336	85 住内	31×35	40	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)が3%混じる。	柱穴、ニツ木式?
PT-1397	85 住内	20×20	55	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	柱穴、PT1334 を切る。
PT-1400	85 住内	26×20	5	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1401	85 住内	14×11	45	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	柱穴
PT-1402	85 住内	16×18	34	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	柱穴
PT-1403	85 住内	40×40	36	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	条痕文土器
PT-1409	85 住内	30×30	45	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	神ノ木式?
PT-1427	85 住内	30×26	13	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	
PT-1428	85 住内	25×25	30	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	中越式?
PT-1509	85 住内	20×18	19	10R2/3(黒褐)に10R3/2(黒褐)	

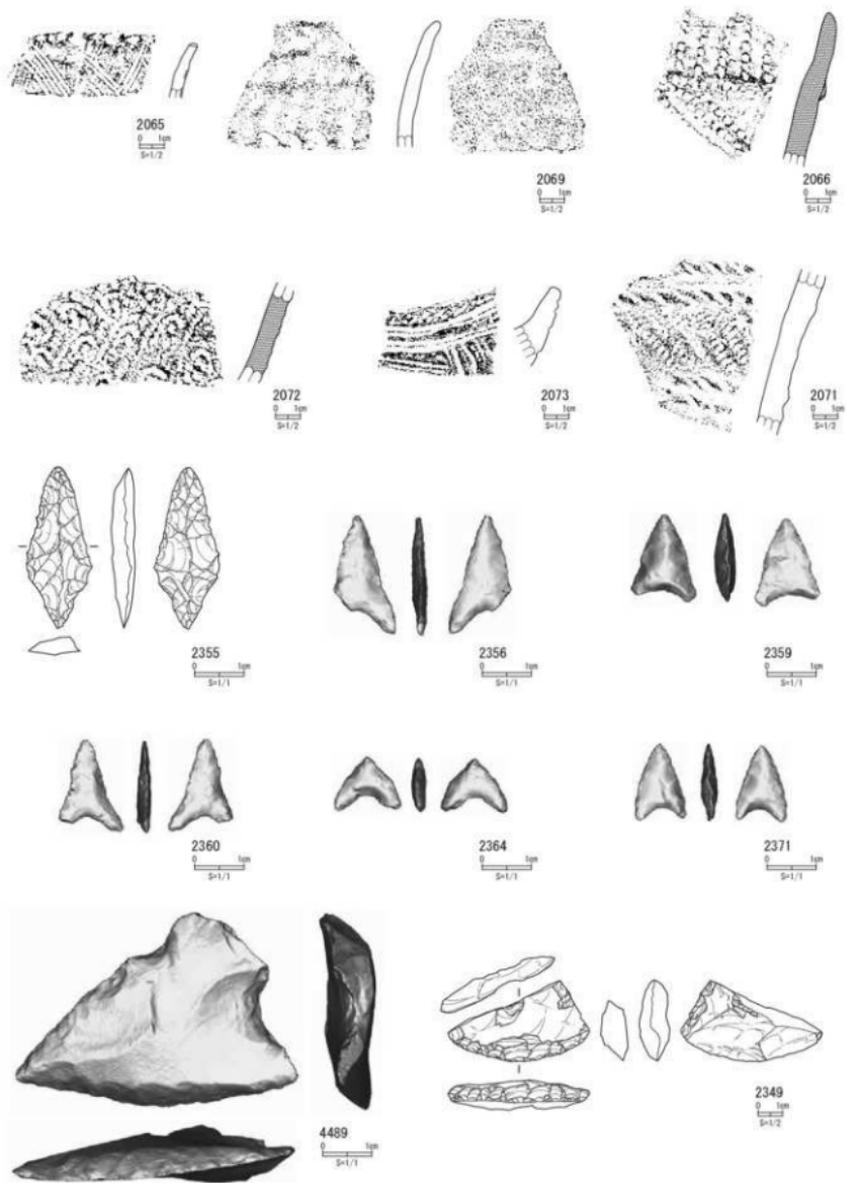


- 1層 10R3-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が90%、炭化物が1%、焼土以下、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 2層 10R3-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が40%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 3層 10R3-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が55%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 4層 10R3-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が50%、炭化物が1%、花崗岩粒が4%、ローム層が10%までらに混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 5層 10R4-R(黄)に10R3-R(黄緑)が48%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 6層 10R4-R(黄)に10R3-R(黄緑)が40%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 7層 10R2-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が45%、10R4-R(黄)が15%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 8層 10R4-R(黄)に10R3-R(黄緑)が50%、炭化物が1%以下、花崗岩粒が1%、ローム層が10%粒子で混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 9層 10R6-R(黄緑)に10R2-Q(黄緑)が15%、10R4-R(黄)が10%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまりなし。
- 10層 10R2-Q(黄緑)に10R2-Q(黒褐)が50%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%、ローム層が10%までらに混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 11層 10R2-Q(黄緑)に10R4-R(黄)が40%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 12層 10R2-Q(黄緑)に10R4-R(黄)が25%、炭化物が2%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 13層 10R2-Q(黄緑)に10R4-R(黄)が30%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 14層 10R2-Q(黄緑)に10R4-R(黄)が25%、炭化物が1%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 15層 10R4-R(黄)に10R3-Q(黄緑)が20%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 16層 10R2-Q(黄)に10R3-Q(黄緑)が30%、ローム層が10%粒子で混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。
- 17層 10R6-R(黄緑)に10R2-Q(黄緑)がまだらに20%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、非常に固くしまる。
- 壁 10R6-R(黄緑)に10R4-R(黄)が25%、花崗岩粒が7%混じるシルト粘土。粘性ややあり、しまる。

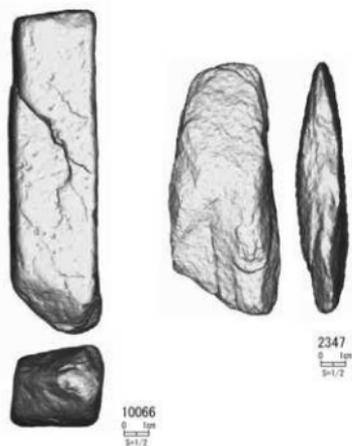
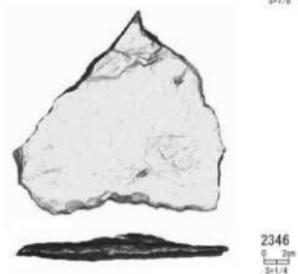
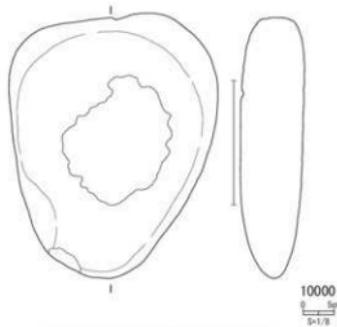
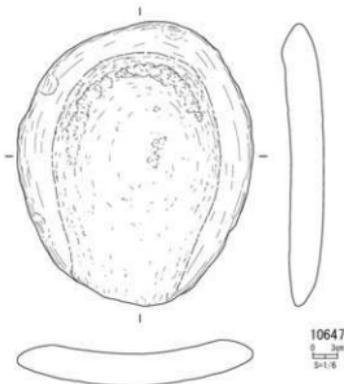
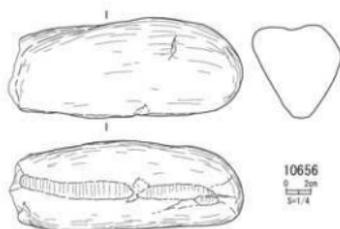
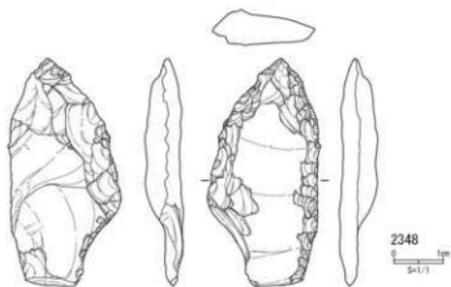
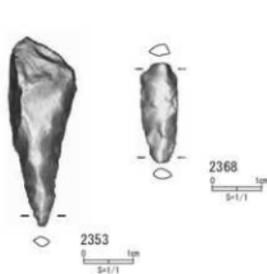
PJ085号住居



PJ085号住居・出土遺物



PJ085 号住居出土遺物



PJ085 号住居出土遺物

PJ085 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 径	器高 径	底径 径 厚さ	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2063	PJ-85	胴部				51.0	破片	5YR5/4 7.5YR6/6	羽状縄文。輪郭みぞで割れた面は短口縁状。内面平滑なヨコナデ。胎土に縄縷を含まない。神ノ木式
2064	PJ-85	胴部				22.0	破片	5YR5/6 7.5YR5/4	結節羽状縄文。内面平滑。胎土に縄縷を含む。神ノ木式
2065	PJ-85、I-5-8	口縁部				10.0	破片	7.5YR6/3 7.5YR5/3	口唇部に割み。磨面状工具で磨子目文。内面ヨコナデ。器壁は薄手。胎土に縄縷を含まない。木島式
2066	PJ-85	口縁部				32.0	破片	5YR6/6 7.5YR6/4	波状口縁。口唇部に三角突起。やや肥厚する口縁。磨面状工具の遺点状突起。5Y6 黒石土坑出土の土器 2901 と同一個体。胎土に縄縷を少量含む。有尾式
2067	PJ-85	胴部				35.0	破片	5YR7/6 7.5YR6/3	異なる磨子目文。内面整形の凹凸が目立つヨコナデ。胎土に縄縷を含む。中越式
2068	PJ-85	胴部				20.0	破片	7.5YR7/4 10YR6/4	竹管の平行沈線で磨子目文。内面整形の凹凸が残るヨコナデ。胎土に縄縷を含む。中越式
2069	PJ-85	口縁部				29.0	破片	7.5YR7/6 5YR6/6	口縁部下縁につまみ状割み。内外面接頭圧痕が顕著。ヨコナデ。胎土に縄縷を含まない。器壁は 5mm 強。木島式
2070	PJ-85	口縁部				90.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR7/3	波状口縁。角ばった口唇。未確認付縄文。内面ヨコナデ。PJ7 出土の土器 2792 と同一個体。胎土に縄縷を含まない。神ノ木式
2071	PJ-85	胴部				41.0	破片	5YR5/4 5YR5/6	結節浮縄文。縄文。内面平滑。磨破り式
2072	PJ-85、I-5-19	胴部				51.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	側面環付ループ文。内面ミガキ。胎土に縄縷を含む。関山式
2073	PJ-85	口縁部				63.0	破片	5YR4/4 5YR4/2	波状口縁。竹管平行沈線。縄文。磨破り式
2074	PJ-85 11、PJ-85、I-5-13	口縁部 ～胴部	30.8)			782.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR5/4	住居中心から西寄り、床面から 8cm 厚いで出土。外反する口縁部と括れた腹部。内外面に整形の凹凸がやや残るナツ灰整。器壁は 10mm で厚手。胎土に縄縷を多量に含む。中越式
2075	PJ-85	口縁部				36.0	破片	5YR6/6 5YR6/6	粗糸。口縁部内面にも施文。内面ヨコナデ。胎土に縄縷を含む。神ノ木式



PJ085

完備状況を北から撮影。住居左端の不整形土壌は風倒木痕と思われる。

PJ085 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2346	PJ-85 13	剥離のある 割片	安山岩		176.0	170.0	20.0	436.70	PT1329 南側の床面出土。後状整理安山岩の縁辺に片刃の刃部調整。刃部は鋭が欠く摩耗。
2347	PJ-85	短冊状の破	砂岩	3/4	100.0	43.0	18.0	108.30	形状は打製石斧のようだが基部、側縁に調整跡無し。刃部側は風化・剥離。全体に黄色く風化し使用痕不明
2348	PJ-85 1	鋸歯縁石器	珪質頁岩	1/1	55.0	90.0	15.0	60.50	PT1335 北東部、床面出土。縦長割片の1辺に片刃の刃部調整。反対辺は両面から鋸歯縁状の調整。目立った使用痕なし。白粉のある黄灰色珪質頁岩
2349	PJ-85	舟形	珪質頁岩	1/1	30.0	56.0	10.0	19.20	外溝する縁辺に片刃の刃部調整。目立った使用痕なし。白粉のある黄灰色珪質頁岩
2350	PJ-85	剥離のある 割片	珪質頁岩	1/1				10.50	外溝する縁辺に微小割離。ガジリ。白粉のある黄灰色珪質頁岩
2351	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/1	43.0	27.0	11.0	10.60	未成品。ズリ面が残る厚手の割片素材。両面を四方から調整跡無。素材の厚みが残る。楕円形。透明系黒曜石
2352	PJ-85	石鏃	チャート	1/1	32.2	21.7	9.8	5.06	未成品。先端部形状ができ、基部側の調整を始めた段階。基部側に素材の厚みが残る。黒粉のある灰色チャート
2353	PJ-85	石鏃	珪質頁岩	1/1	38.0	14.0	7.0	3.50	黄灰色珪質頁岩
2354	PJ-85	剥離のある 割片	珪質頁岩					1.30	三角形の薄い割片の2辺に微小割離。白粉のある黄灰色珪質頁岩
2355	PJ-85	石鏃	珪質頁岩	1/1	32.9	13.3	5.3	1.88	有蓋の石鏃。黄灰色珪質頁岩
2356	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	24.4	(11.8)	2.9	(0.50)	凹基。両面加工。片鉋欠損。透明黒曜石
2357	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	(14.5)	(13.5)	3.4	(0.53)	未成品。両面加工。三角形状ができた段階。先端欠損。透明黒曜石
2358	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/1	22.2	17.3	4.7	1.22	未成品。割片素材。縁辺を調整し三角形状ができた段階。片側縁が欠れるように欠損。透明黒曜石
2359	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/1	17.8	13.3	4.2	0.64	凹基。両面加工。透明黒曜石
2360	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	18.8	(13.3)	2.8	(0.36)	凹基。軸身。両面加工。片鉋欠損。裏溝状透明黒曜石
2361	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	-	(12.2)	2.9	(0.27)	凹基。両面加工。先端欠損。透明黒曜石
2362	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.3	(0.34)	凹基。両面加工。先端。片鉋欠損。裏溝状半透明黒曜石
2363	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/2	-	-	3.7	(0.43)	凹基。両面加工。両鉋が欠く欠損。漆黒黒曜石
2364	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/1	11.4	13.6	3.2	0.28	凹基。両面加工。裏溝状透明黒曜石
2365	PJ-85	石鏃	黒曜石	破片	-	-	2.1	(0.16)	片鉋のみの破片。裏溝状半透明黒曜石
2366	PJ-85	石鏃	黒曜石	破片	-	-	-	(0.24)	片鉋のみの破片。裏溝状半透明黒曜石
2367	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	(10.1)	(7.8)	2.9	(0.15)	小形。凹基。両面加工。両鉋欠損。透明黒曜石
2368	PJ-85	石鏃	黒曜石	3/4	20.0	7.0	4.0	0.60	先端？欠損。透明黒曜石
2369	PJ-85	石鏃	黒曜石	破片	-	-	2.0	(0.10)	断片。透明黒曜石
2370	PJ-85	石鏃	黒曜石	破片	-	-	1.9	(0.12)	先端破片。透明黒曜石
2371	PJ-85	石鏃	黒曜石	1/1	16.0	10.7	3.2	0.35	凹基。両面加工。赤褐色入り透明黒曜石
4489	PT-1329	石鏃	珪質頁岩	1/1	40.0	57.0	10.0	19.30	PT1329 出土。片刃。刃部に微小割離。白粉のある黄灰色珪質頁岩
8198	PJ-85	黒石	黒曜石					14.30	ズリ。白粉のある漆黒黒曜石
10000	PJ-85 12	台石	安山岩類	1/1	440.0	339.0	104.0	19.900	北壁8い。床面出土。扁平楕円形。平坦な2面が磨耗。多孔質安山岩
10066	PJ-85 8	ハンマー	ホルンフェルス	1/1	129.0	40.0	32.0	290	PT1333 上。床面出土。棒状並列。長軸端部に耐打面2面。砂岩質ホルンフェルス？
10647	PJ-85 7	石皿	安山岩類	1/1	232.0	191.0	38.0	1.640	PT1329 上。床面出土。薄く扁平な石皿。両部は浅く、周縁部が磨耗。皿部中心は浅い耐打痕が広がる。
10656	PJ-85 6	磨石類	砂岩類	3/4	77.0	(189.0)	80.0	1.500	PT1331 西端。床面から20cm深い出土。棒状並列。狭い1稜面が残る。花崗岩質砂岩

PJ086号住居

位置: J-6 グリッドに位置する。住居の北東角は調査区外（現状保存区域）である。PJ97号住居、PJ99号住居と重複しPJ99号住居を切る。PJ97号住居との新旧関係は把握できなかった。

規模: 長軸長4.4m、短軸長4m程度の小判形の平面形で、竪穴は深さ70cmが残る。

埋土: 暗褐色を基調とした埋土がレンズ状に堆積する。6a層、9a層は黄褐色土ブロックが混じり床面に硬化していたことから、埋設途上にある竪穴中に2回にわたり床面を設け、住居の平面形を大きく変更しない建て直し、もしくは再利用があったと想定した。ただし埋土中で床面とした土層はレンズ状に大きく湾曲する。埋土が圧縮し沈み込んだ結果としてもやや不自然さを感じる。

床面: もっとも深い床面は黄褐色砂質の地山を平坦に掘り込み、床面としていた。これをPJ86A号住居とした。床面には風化した花崗岩が露出し、床面に合わせて削られていたが、西壁沿いの礫は床面から突出していた。

9a層を床面とした住居をPJ86B号住居とした。PJ86B号住居の床面、すなわち9a層はPJ86A号住居の埋土で部分的に地山由来の黄褐色土ブロックが混じっていた。PJ86A号住居床面との高低差は10cm程度で、平坦でなく波打つように凹凸があった。

6a層、7層に設けられたPJ86C号住居の床面はPJ86B号住居埋土上に該当し、レンズ状に湾曲していた。これはPJ86A号住居とPJ86B号住居埋土が圧縮沈下した結果であると解釈した。したがって本来の床面の高さはPJ86A号住居床面から60cmほど高い位置となる。ただし南北方向の土層断面ではPJ86C号住居床面は比較的平坦で、壁際に向かって極端に高くなることはなかった。

炉: PJ86B号住居、PJ86C号住居の炉は確認できなかった。PJ86A号住居中心の床面が被熱、焼土化していた。これがPJ86A号住居の地床炉であろう。

周溝: 南西壁沿いを除き壁際をめぐる小溝を検出した。

柱穴: PJ86A号住居の柱穴は、PT1360、PT1362、PT1363、PT1404号ビットの4基と思われる。住居北東角の未調査部分にさらに1基のビットが想定できる。

これと別にやや径が小さく浅いPT1359とPT1361の2基を検出した。これらも上屋の支持材を固定する柱穴であるかもしれない。

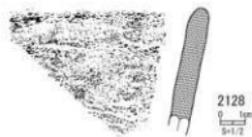
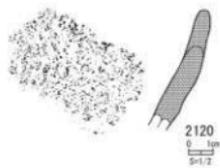
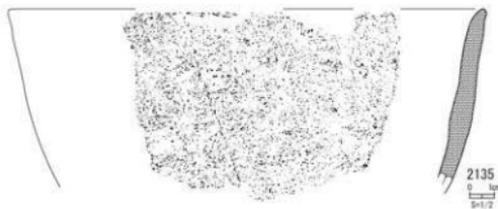
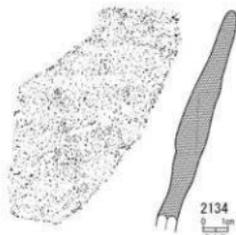
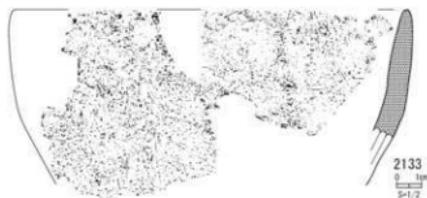
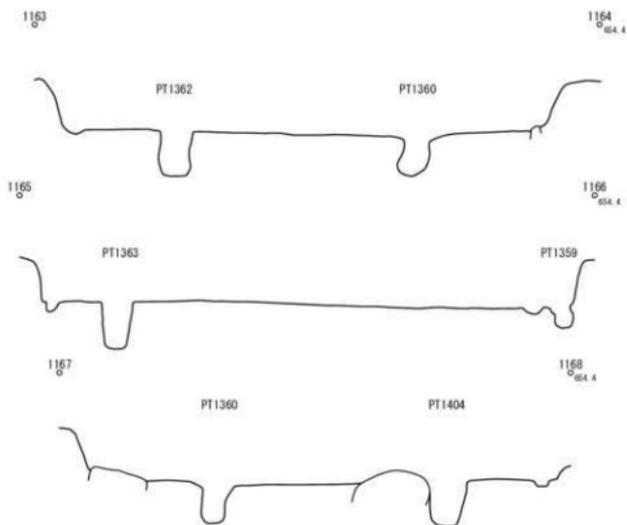
PJ86B号住居とPJ86C号住居にも柱穴があったものと思われるが、埋土中に設けられた床面に気づかずに掘り下げてしまったため、不明である。

出土遺物: PJ86A号住居からPJ86C号住居までを認識した時点でセクションベルト以外の埋土を発掘してしまったため、遺物の多くはPJ86号住居一括として取り上げた。セクションベルトから出土した遺物は3回の居住期ごとに分別して取り上げた。分別取り上げた土器をみる限り3回の居住期に大きな時間差はないように思われる。

PJ86号住居全体で出土した土器の総量は実測分のみ18,660gで、早期末葉土器518g、神之木台式473g、坂平式24g、木島式3,145g、中越式9,985g、神ノ木式360g、有尾式237g、諸磯式401g、前期土器破片3,088gなどである。

PJ86号住居全体で出土した石器の内訳は、石鏃17点、削器8点、石錐3点、石匙4点、磨石類19点、石皿破片3点、礫器1点、ハンマー8点、玦状耳飾1点、棒状礫1点、円礫2点、剥離のある剥片8点、黒曜石石核2点、黒曜石原石1点、頁岩の大形剥片1点、黒曜石を主とする剥片316点、1,691gである。

時期: 3枚の床面ごとに取り上げた土器破片に明瞭な時期差は認められなかったことから、本住居は神ノ木式を伴わない段階の中越式期と思われる。

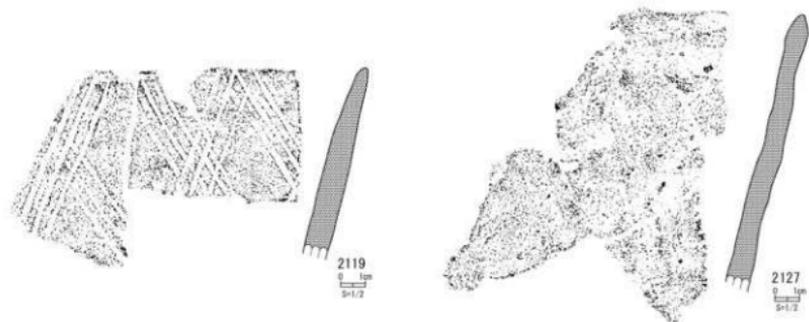


PJ086 号住居出土遺物



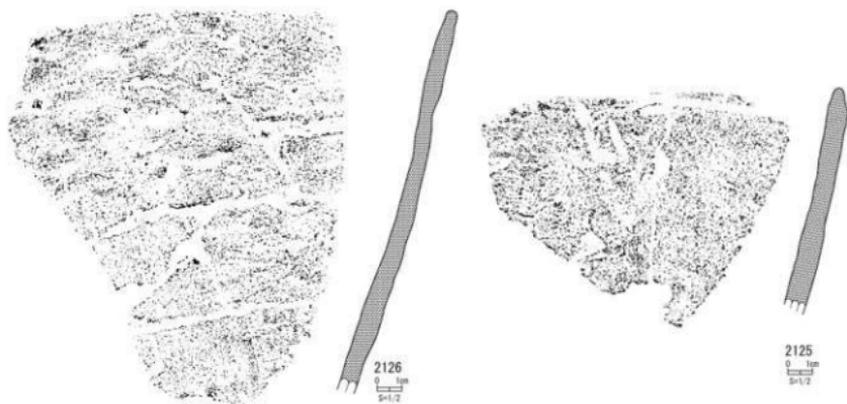
2108
0 1cm
5:1

2123
0 1cm
5:1



2119
0 1cm
5:1

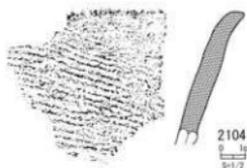
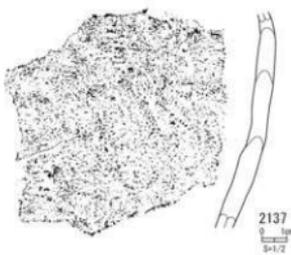
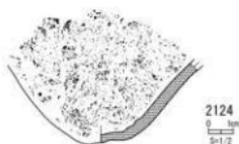
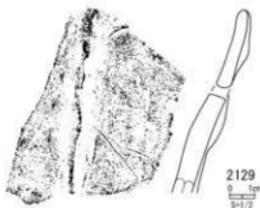
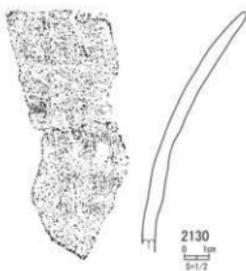
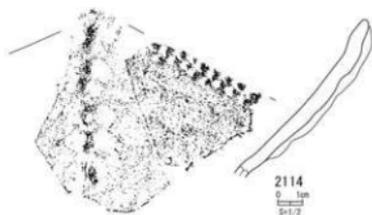
2127
0 1cm
5:1



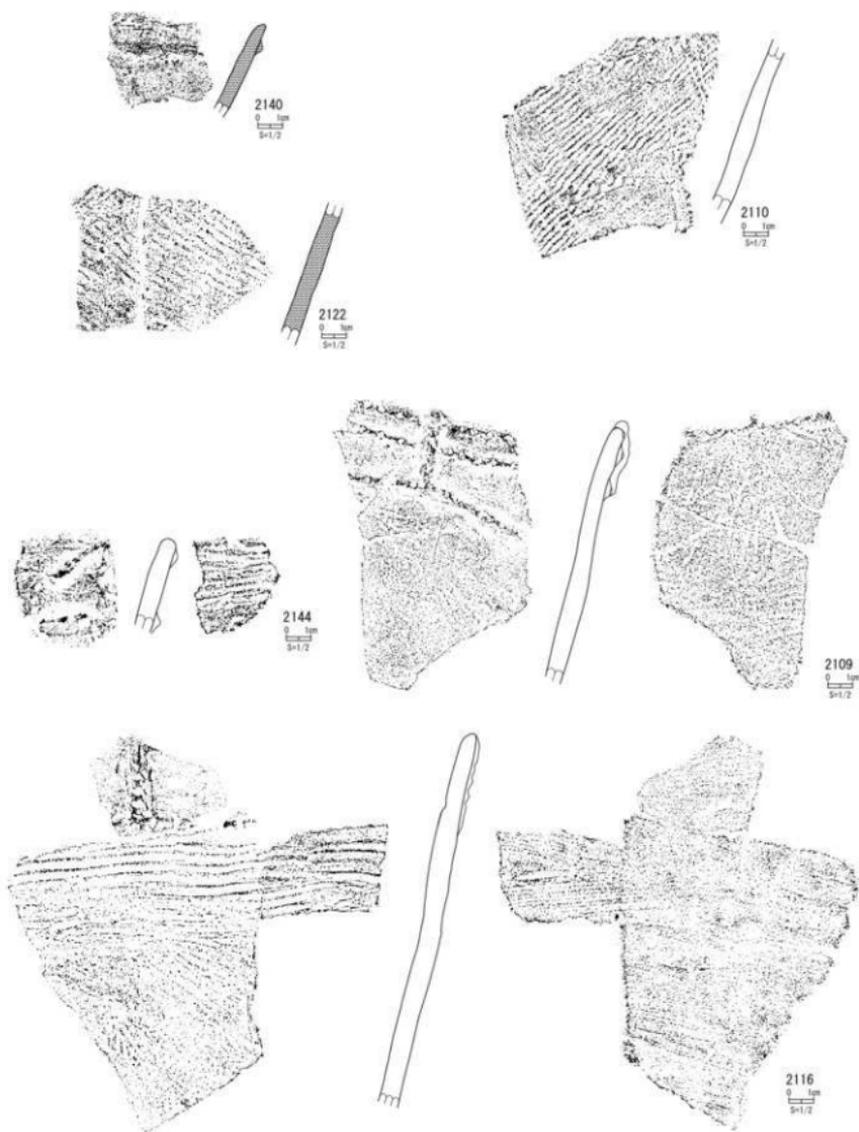
2126
0 1cm
5:1

2125
0 1cm
5:1

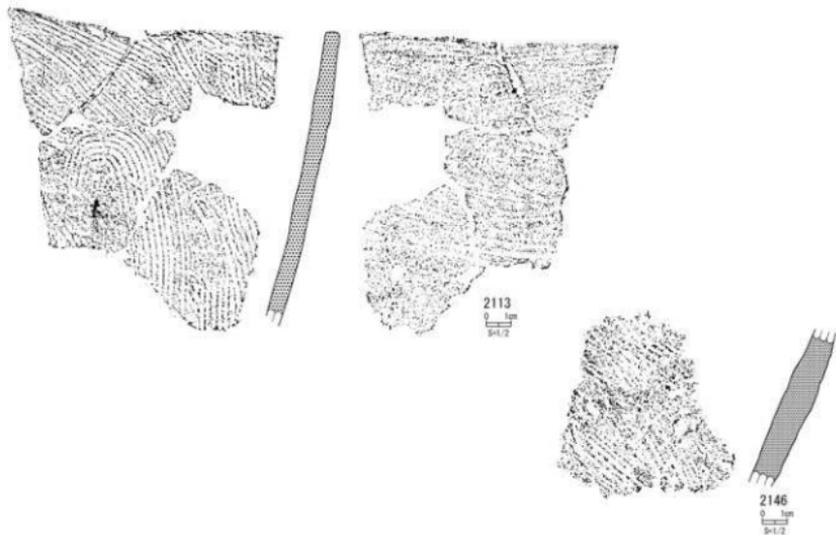
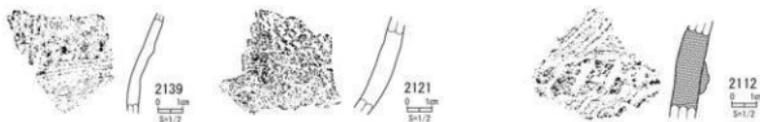
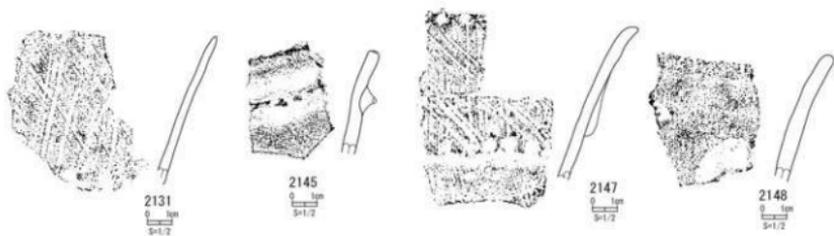
PJ086 号住居出土遺物



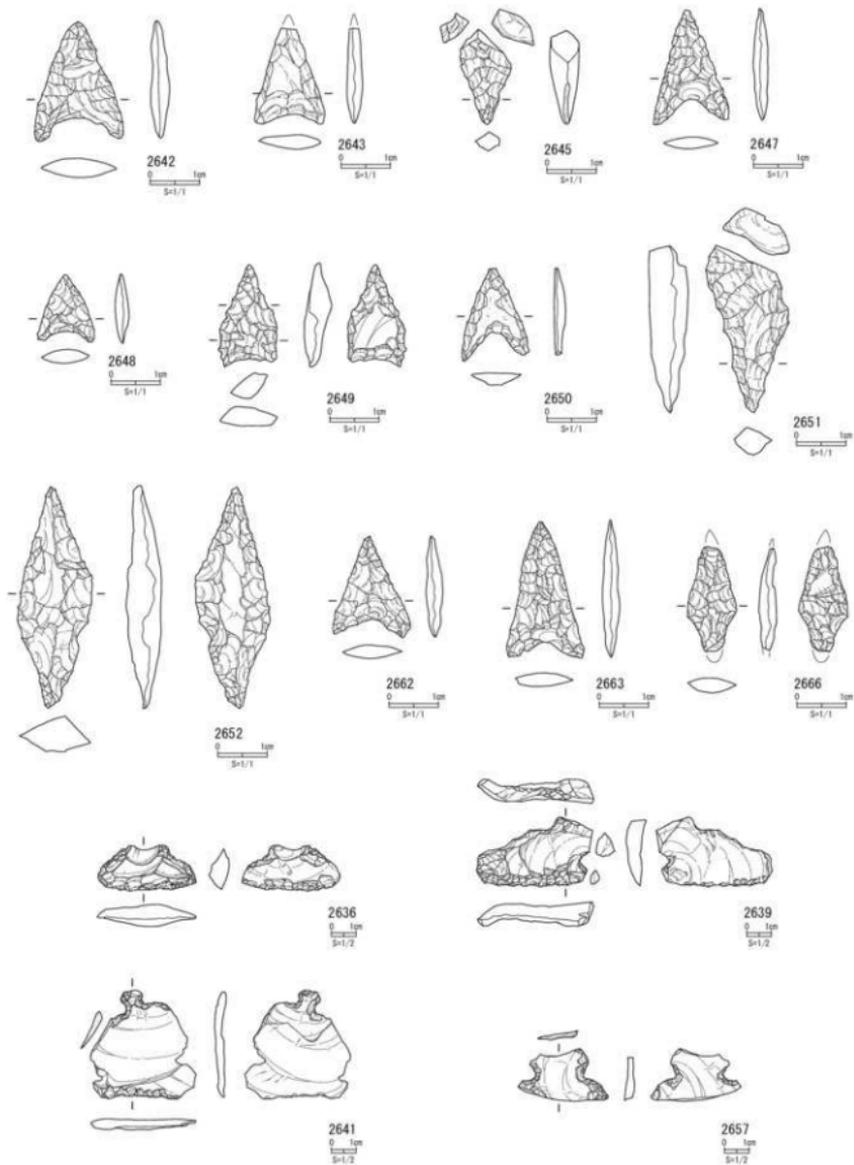
PJ086 号住居出土遺物



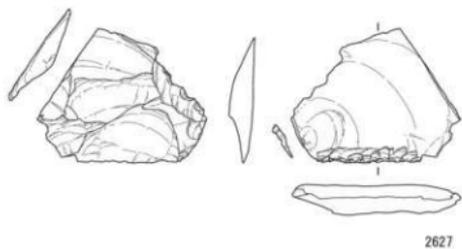
PJ086 号住居出土遺物



PJ086 号住居出土遺物



PJ086 号住居出土遺物



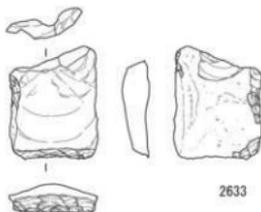
2627



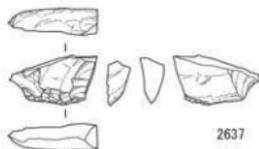
2628



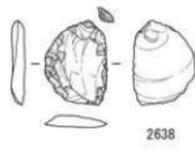
2632



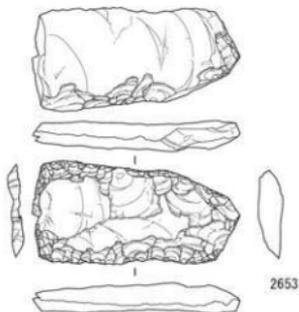
2633



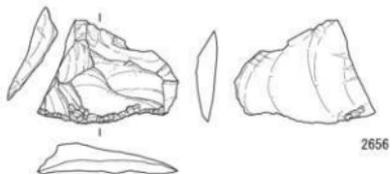
2637



2638



2653



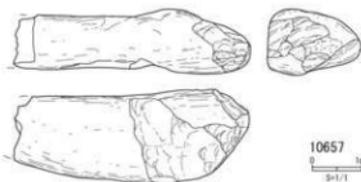
2656

PJ086 号住居出土遺物





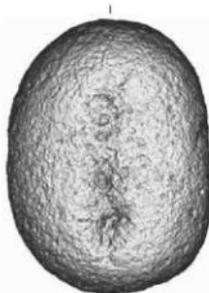
7480
0 1cm
5/1/2



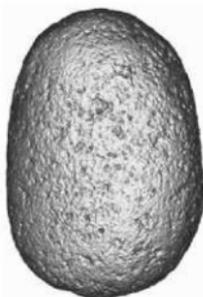
10657
0 1cm
5/1/1



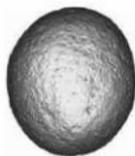
10658
0 1cm
5/1/1



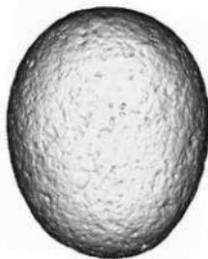
7477
0 1cm
5/1/2



7478
0 1cm
5/1/2

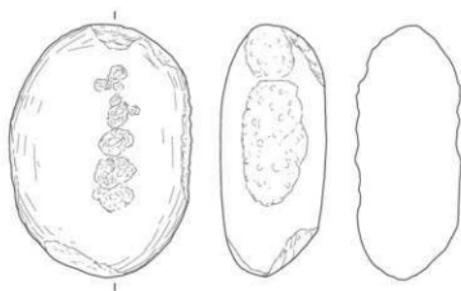


10648
0 1cm
5/1/2

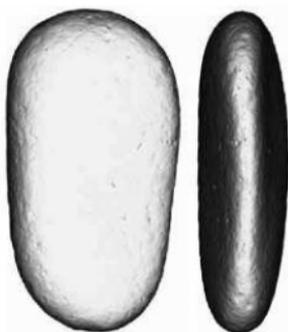


10649
0 1cm
5/1/2

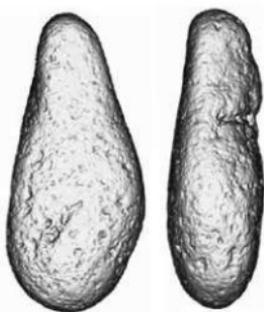
PJ086 号住居出土遺物



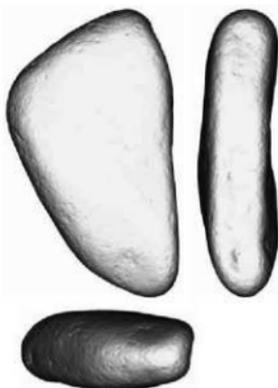
10650
0 1cm
S=1/2



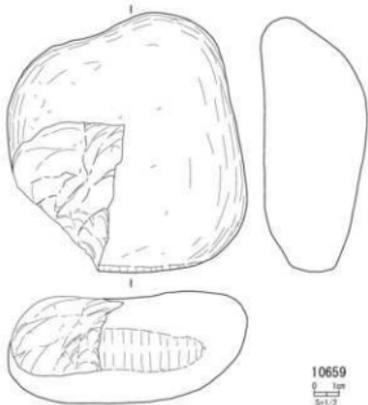
10651
0 1cm
S=1/2



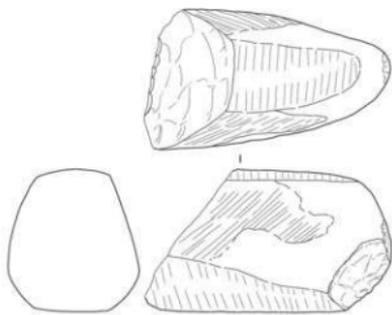
10652
0 1cm
S=1/2



10654
0 1cm
S=1/2



10659
0 1cm
S=1/2



10662
0 1cm
S=1/2

PJ086 号住居出土遺物



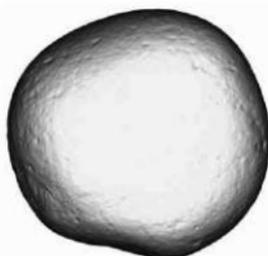
10664
0 1cm
1/2
S=1/2



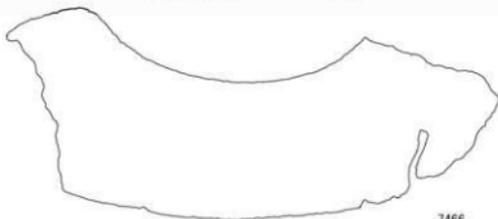
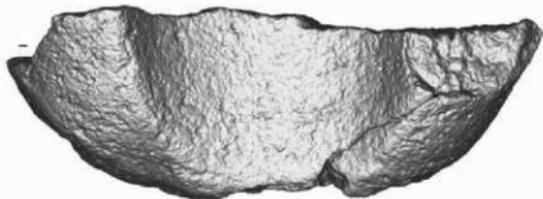
10668
0 1cm
1/2
S=1/2



10669
0 1cm
1/2
S=1/2

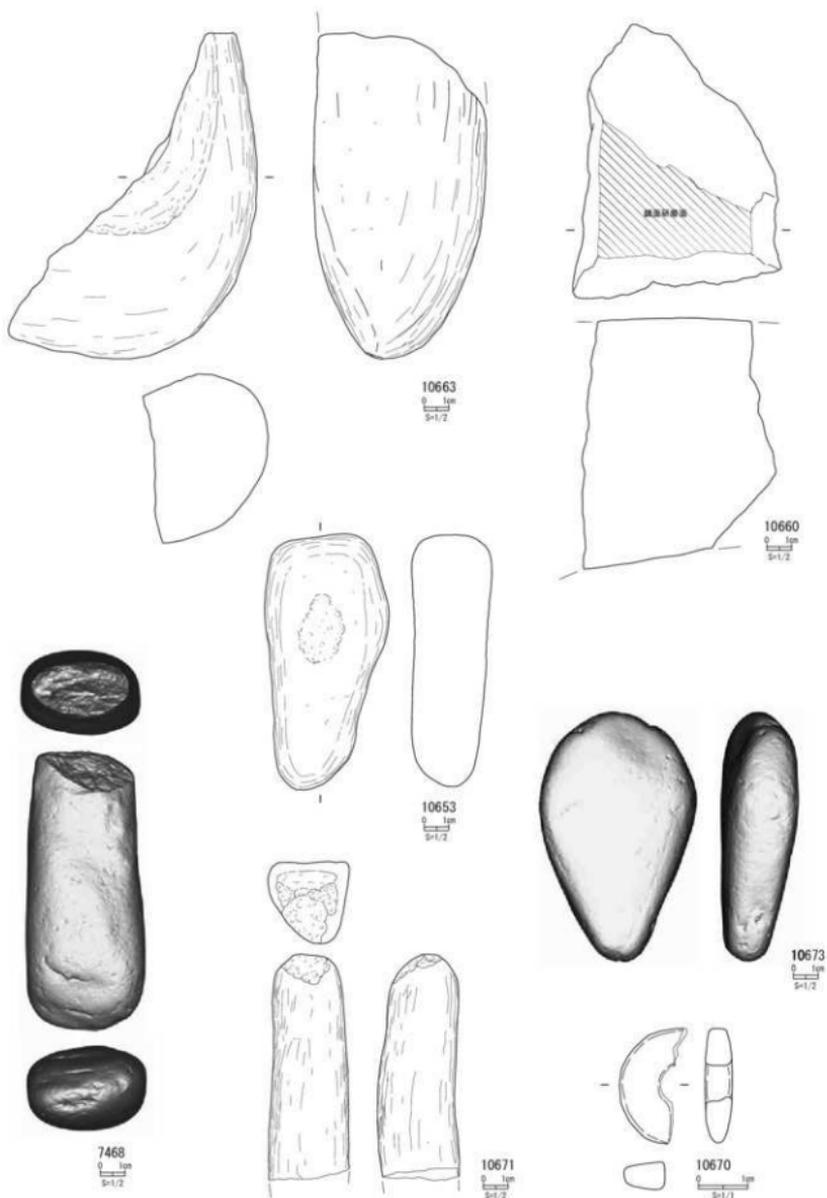


10672
0 1cm
1/2
S=1/2

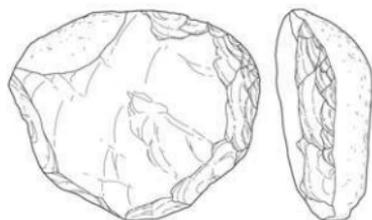


7466
0 1cm
1/2
S=1/2

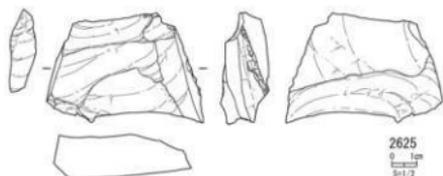
PJ086 号住居出土遺物



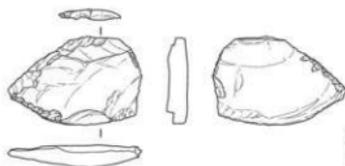
PJ086 号住居出土遺物



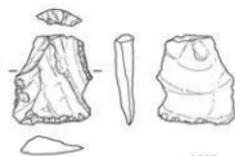
2624
0 1cm
S=1/2



2625
0 1cm
S=1/2



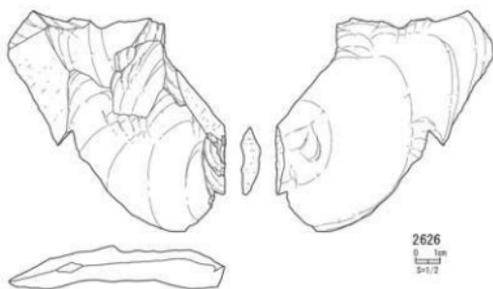
2629
0 1cm
S=1/2



2635
0 1cm
S=1/2



2655
0 1cm
S=1/2



2626
0 1cm
S=1/2

PJ086 号住居出土遺物

PJ086 号住居 土坑ピット一覧表

遺構番号	位置	大きさ	深さ	覆土色	備考(遺物など)
PT-1359	86 住内	15×15	16	10YR3/3(雑穢)、シルト粘土、ややしまる。	
PT-1360	86 住内	23×25	32	10YR2/2(黒穢)に10YR2/4(雑穢)が混じる。	
PT-1361	86 住内	16×19	17	10YR2/3(黒穢)に10YR2/2(黒穢)が3割混じる。	
PT-1362	86 住内	21×25	38	10YR2/3(黒穢)に10YR2/4(雑穢)が3割混じる。	
PT-1363	86 住内	21×18	40	10YR2/3(黒穢)に10YR2/4(雑穢)が混じる。	
PT-1404	86 住内	34×20	32	10YR2/2(黒穢)に10YR2/4(雑穢)が混じる。	木舟式、中越式

PJ086 号住居 土器観察表

発掘番号	注記	部位	口径 cm 縦	器高 cm 横	底径 cm 高さ	重量	残存度	胎土色調 上段：内面 下段：外面	備考
2104	PJ-86	口縁部				31.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR2/2	外反する口縁部。縄文、内外面整形痕の凹凸がやや残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。
2105	PJ-86、J-6-12	胴部				51.0	破片	10YR7/4 5YR5/4	竹管削突のC字、円形削突文。隆帯と横円形起付文。内面縦縞み痕が残るヨコナデ。断面調整と胎土質は木舟式に類似。器壁は6～8mmで中厚手。胎土に繊維を含まない。
2108	PJ-86 24	口縁部 ～胴部				113.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/3	P.86A 床面出土。磨歯状工具による磨歯状文と波状文。口縁部内面にも雑な格子目文。内外面とも整形痕の凹凸がやや残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2109	PJ-86 26	口縁部 ～胴部				80.0	破片	2.5YR4/6 5YR4/4	P.86A 床面出土。山形波状口縁。波頂部のあいだに小さな突起。角ばった口唇部の内外面両端角に斜め。突起部から垂下する斜み隆帯。口唇に平行する2条の斜み隆帯。外面口縁部はナデ調整。隆帯より下位はていねいなミガキ調整。内面斜位条痕文を磨り消すようにナデミガキ調整。器壁は7.5mm程度。胎土に繊維を少量含む。神ノ木台式
2110	PJ-86 6	胴部				76.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/6	P.86C 埋土出土。縄文。内面指環瓦痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を含まない。神ノ木台式
2112	PJ-86	胴部				24.0	破片	5YR6/6 7.5YR4/2	斜みのある幅広隆帯。内面指環瓦痕がやや残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。返平式
2113	PJ-86、J-6-11	口縁部 ～胴部				96.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	内外面条痕あり。2546と接合。やや角ばった口唇部。外面は口縁部が斜位の条痕。下位に逆U字状の条痕文。内面は横方向の条痕文。器壁は8mm。胎土に繊維を含む。早期木台式
2114	PJ-86 C	口縁部				41.0	破片	7.6YR6/3 7.5YR5/3	P.86C 埋土出土。波状口縁の斜刺土器。波頂部に斜みのある垂下隆帯。口縁部と胴部に角ばった押引文。内外面指環瓦痕。器壁は4mm。胎土に繊維を含まない。胎土質は木舟式に類似。板橋遺跡 6号住居に類似あり。中越式
2115	PJ-86	底部				22.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR6/4	外面は平滑にミガキ。内面風化。胎土に繊維を含まない。中越式
2116	PJ-86 C、PJ-86、16-6980	胴部				177.0	破片	5YR6/6 5YR4/4	波状口縁。角ばった口唇部の外面端角に斜み。波頂部から垂下する斜み隆帯。口縁部に横位隆帯。外面の隆帯下位は斜位条痕文。内面は横位条痕文と磨り消すようなナデ調整。器壁は7mm程度。胎土に繊維を含まない。神ノ木台式
2119	PJ-86、PJ-86 A	口縁部				78.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	格子目文。内外面とも比較的平滑にナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2120	PJ-86	口縁部				21.0	破片	5YR4/3 7.5YR6/6	口縁部に突起。外面まばらな縄文。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2121	PJ-86	胴部				15.0	破片	7.5YR4/2 7.5YR6/4	へう状工具？の先端で削突。内外面平滑なナデ調整。胎土に繊維を含まず。砂粒も少ない。東海土器か？
2122	PJ-86	胴部				39.0	破片	5YR6/6 7.5YR5/6	縄文。内面平滑なヨコナデ。胎土に繊維を含む。神ノ木台式
2123	PJ-86 7	口縁部				83.0	破片	7.5YR7/6 5YR6/4	P.86B 埋土出土。内外面とも整形痕の凹凸が顕著に残る。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2124	PJ-86 17	底部				166.0	破片	5YR5/6 5YR5/6	P.86A 床面から7cm浮いて出土。丸底碗片。内外面整形痕の凹凸が残る。胎土に繊維を含む。中越式
2125	PJ-86、PJ-86 C	口縁部				96.0	破片	7.5YR6/6 7.5YR6/6	内外面とも整形痕の凹凸が残る。胎土に繊維が多量に混じる。中越式
2126	PJ-86 14	口縁部 ～胴部				166.0	破片	5YR5/6 5YR5/4	P.86A 床面から9cm浮いて出土。内外面とも整形痕の凹凸が残るヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2127	PJ-86 B、J-6-11	口縁部 ～胴部				94.0	破片	2.5YR5/6 5YR4/4	内外面とも整形痕の凹凸が残る。内面ヨコナデ。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2128	PJ-86 B	口縁部				23.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	P.86B 埋土出土。内外面とも比較的平滑にナデ調整。胎土に繊維を多量に含む。中越式
2129	PJ-86 B	口縁部				34.0	破片	7.5YR7/6 5YR5/6	P.86B 埋土出土。波状口縁の波頂部から垂下隆帯。隆帯の断面は三角形。内面指環瓦痕顕著。器壁は7mmで中厚手。補綴孔あり。胎土に繊維を含まない。中越式

PJ086 号住居 土器観察表

実測番号	注記	部位	口径 cm	高さ cm	底径 cm	底厚 cm	重量	残存度	胎土色調 上段・内面 下段・外面	備考
2130	PJ-86 B	口縁部 ～胴部					35.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR4/3	PJ086 埴土出土。内外面とも指頸圧痕が残る。外面タテ、ヨコナデ。内面ヨコナデ。器壁は6.8mmで薄手。胎土に繊維を含まない。中絶式
2131	PJ-86、J-6-11	口縁部					20.0	破片	2.5YR5/6 2.5YR5/6	格子目文。口縁部と胴部の境に段差と刻み。器壁は4.8mmと薄手。胎土に繊維を含まない。赤褐色の色調。木鳥式
2133	PJ-86 B	口縁部 (16.0)					67.0	破片	7.5YR7/4 7.5YR6/4	PJ086 埴土出土。内外面指頸圧痕と整形痕が残る。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
2134	PJ-86 B	口縁部					62.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR4/2	PJ086 埴土出土。内外面とも輪飾み痕と整形痕の凹凸が残る。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
2135	PJ-86 C	口縁部 (19.4)					82.0	破片	5YR5/4 5YR4/3	PJ086 埴土出土。内外面とも輪飾み痕と整形痕の凹凸が残る。胎土に繊維を多量に含む。中絶式
2136	PJ-86、PJ-86 C	胴部					40.0	破片	7.5YR2/1 7.5YR7/6	内外面とも指頸圧痕がやや残る。器壁は3.5mmと薄手。内面黒色。砂粒が目立たない土器類のような埴土質。
2137	PJ-86 9	胴部					86.0	破片	5YR6/6 5YR5/4	PJ086 埴土出土。内外面とも指頸圧痕が残る。内面に輪飾み痕が残る。胎土に繊維を含まない。中絶式
2139	PJ-86 C、I-6-25	胴部					14.0	破片	7.5YR5/4 7.5YR5/3	肥厚する口縁の下端に刻み。格子目文。内面指頸圧痕。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
2140	PJ-86 B	口縁部					11.0	破片	5YR4/4 2.5YR5/6	丸い口唇部。口縁部に断面三角形の器壁。内外面ミガキ調整。器壁は5mmと薄手。胎土に繊維を含まない。神之木台式
2143	PJ-86 C	口縁部					48.0	破片	5YR6/6 5YR4/3	内外面指頸圧痕顯著。胎土に繊維を含む。中絶式
2144	PJ-86 C	口縁部					11.0	破片	5YR5/6 5YR5/4	PJ086 埴土出土。埴帯文と内面条痕。胎土に繊維を含まない。神之木台式
2145	PJ-86	口縁部					12.0	破片	7.5YR5/3 7.5YR6/3	口唇部に竹管押し引き状の刻み。刻み殘破。PJ86 埴土出土破片と接合。内面指頸圧痕。器壁薄手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
2146	PJ-86 C	胴部					60.0	破片	7.5YR4/3 2.5YR4/4	外面条痕文。内面に凹凸が残るが小さいにナ子調整。器壁は10mm以上と厚手。胎土に繊維を多量に含む。早期後半か。
2147	PJ-86 C、PJ-86 B	口縁部					33.0	破片	7.5YR6/4 7.5YR6/4	口唇部刻み。肥厚する口縁部の下端に刻み。格子目文。内面指頸圧痕が残るタテナデ。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
2148	PJ-86	口縁部					20.0	破片	5YR5/6 5YR5/4	液状口縁。外面タテナデ。内面指頸圧痕が残るヨコナデ。器壁は薄手。胎土に繊維を含まない。木鳥式
2149	PJ-86 A、PJ-86 B、PJ-86 C、PJ-86	口縁部 ～胴部	15.2				295.0	1/4	5YR5/4 5YR4/3	口縁部に4単位の下下隆部。口唇部刻み。外面輪飾み痕が残るタテナデ。内面輪飾み痕と指頸圧痕が残るヨコナデ。器壁は4mmで薄手。胎土に繊維を含まない。中絶式

PJ086 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2624	PJ-86 16	雑器	結晶片	1/1	101.0	88.0	38.0	392.60	PJ086 床蓮。PT1454 西脇出土。墨川礫剥片の縁辺に片刃の刃部。黄色く風化し使用痕不明瞭
2625	PJ-86B	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	63.0	49.0	18.0	50.00	PJ086 埴土出土。折取り剥片の1辺に微小剥離。刃角が大きい。白筋のある黄灰色珪質頁岩
2626	PJ-86	剥片	頁岩		91.0	87.0	13.0	81.50	大形剥片。使用痕なし。黄色く風化。
2627	PJ-86	削器	珪質頁岩	1/1	54.0	69.0	11.0	43.60	剥片の1辺に片刃の刃部。微小剥離は少ない。白筋の濃灰色珪質頁岩。購入石材か
2628	PJ-86	削器	珪質頁岩	1/1	28.0	73.0	19.0	34.60	縦長剥片の長辺2辺に刃部調整と微小剥離。白筋のある黄灰色珪質頁岩
2629	PJ-86	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	54.0	35.0	9.0	20.70	薄手剥片の2辺に微小剥離。白筋のある黄灰色珪質頁岩
2630	PJ-86C	石核	黒曜石					36.00	PJ086 埴土出土。板状の河川結石。透明系黒曜石
2631	PJ-86C	原石	黒曜石					22.80	PJ086 埴土出土。角礫柱状原石。透明系黒曜石
2632	PJ-86B	削器	珪質頁岩	1/1	33.0	62.0	10.0	24.90	PJ086 埴土出土。断面面で剥れた剥片の1辺に片刃刃部と微小剥離。白筋のある黄灰色珪質頁岩
2633	PJ-86B	削器	珪質頁岩	1/1	46.0	36.0	11.0	22.80	PJ086 埴土出土。薄手剥片素材。1辺に急縁部。片刃の刃部と微小剥離。白筋のある黄灰色珪質頁岩
2634	PJ-86C	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	40.0	41.0	8.0	12.20	PJ086 埴土出土。剥片の内湾する1辺に微小剥離。裏方削器。縁面が残る黄灰色珪質頁岩
2635	PJ-86B	剥離のある 剥片	珪質頁岩	1/1	31.0	30.0	8.0	7.60	PJ086 埴土出土。面磨削と縁部微小剥離。微小剥離は3辺とも7面側に発達。主剥離面跡は少ない。白筋のある黄灰色珪質頁岩

PJ086号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
2626	PJ-06C	石匙	珪質頁岩	3/4	18.0	39.0	9.0	5.50	R06C 埋土出土。つまみ部が欠損。もしくは打ち欠いた石匙。刃部は両刃。右側から削器へ転用か。白磁のある青灰色珪質頁岩
2627	PJ-06B	削器	緑色岩類					7.90	R06B 埋土出土。折取った削片の1辺に両刃の刃部。淡緑灰色の凝灰岩か。
2628	PJ-06C	削器	緑色岩類	1/1	30.0	31.0	6.0	5.30	R06C 埋土出土。削片の2辺に刃部調整と物小剥離。淡緑灰色の凝灰岩か。
2629	PJ-06C	石匙	チャート	1/1	28.0	47.0	5.0	10.30	R06C 埋土出土。片刃。裏面に物小剥離が発達。黒磁のある灰色チャート
2640	PJ-06B	石鏝	黒曜石	3/4	26.5	17.2	3.5	1.44	R06B 埋土出土。未成品。凹基。彫削ができた刃部。片側欠損。透明黒曜石
2641	PJ-06C	石匙	珪質頁岩	1/1	44.0	43.0	3.0	6.80	R06C 埋土出土。薄い削片素材。片刃。物小剥離が両面に発達。白磁のある明灰色珪質頁岩。掘入石材か
2642	PJ-06C	石鏝	チャート	1/1	24.3	18.2	4.4	1.32	R06C 埋土出土。凹基。両面加工。基部削が鋭状に欠損。灰色チャート
2643	PJ-06B	石鏝	頁岩	3/4	(19.5)	14.2	3.2	(0.84)	凹基。両面加工。先端ガジリ欠損。黄色く風化
2644	PJ-06C	石鏝	黒曜石	1/1	19.0	15.0	6.8	1.72	R06C 埋土出土。未成品。三角形状ができた刃部。素材の厚みが残る。透明系黒曜石
2645	PJ-06B	石鏝	珪質頁岩	1/2	19.0	10.0	6.0	1.00	R06B 埋土出土。基部先端に顕著な摩耗と線欠損。白磁のある青灰色珪質頁岩
2646	PJ-06C	剥離のある削片	黒曜石					0.60	R06C 埋土出土。削片の1辺に調整彫削。透明系黒曜石
2647	PJ-06C	石鏝	黒曜石	1/1	22.6	15.6	3.1	0.62	R06C 埋土出土。凹基。両面加工。基部がすりガラス状。破損か。透明黒曜石
2648	PJ-06C	石鏝	黒曜石	1/1	13.5	11.6	3.4	0.32	R06C 埋土出土。小形。凹基。両面加工。裏面入り半透明黒曜石
2649	PJ-06C	石鏝	黒曜石	1/1	20.7	12.1	4.6	0.91	R06C 埋土出土。凹基。片面は縁辺加工のみ。種々なつくり。透明黒曜石
2650	PJ-06C	石鏝	珪質頁岩	3/4	18.9	13.4	2.4	(0.30)	R06C 埋土出土。凹基。両面加工。先端欠損。両面に節理面が残る。青灰色珪質頁岩
2651	PJ-06	石鏝	珪質頁岩	1/1	33.0	17.0	8.0	4.00	基部に使用痕なし。白磁のある青灰色珪質頁岩
2652	PJ-06	石鏝	珪質頁岩	1/1	45.0	15.0	8.0	4.10	両面に突った基部。使用痕なし。有基石鏝に転用?白磁のある青灰色珪質頁岩
2653	PJ-06 19	削器	珪質頁岩	1/1	42.0	83.0	9.0	48.90	R06A 床面から10cm深いで出土。打製石斧のような形。長辺約の1辺に片刃の刃部と物小剥離。反対辺に両面調整。白磁のある青灰色珪質頁岩
2654	PJ-06	石核	黒曜石					35.30	ズリ。2面の剥離。透明系黒曜石
2655	PJ-06 8	剥離のある削片	黒曜石	1/1				8.40	台形の削片の3辺に物小剥離。打点削に調整彫削。葛湯伏半透明黒曜石
2656	PJ-06	削器	珪質頁岩	3/4	42.0	54.0	11.0	21.10	削片の1辺に片刃刃部と物小剥離。濃灰色珪質頁岩。掘入石材か
2657	PJ-06	石匙	珪質頁岩					2.60	刃部を折損した石匙。濃灰色珪質頁岩。掘入石材か
2658	PJ-06	石鏝	黒曜石	1/2				2.50	未成品。三角形状ができた刃部。片側欠損。素材の厚みが残る。灰色黒曜石
2659	PJ-06	剥離のある削片	チャート	1/1				3.10	削片の内実する1辺に片刃の刃部調整と物小剥離。灰色チャート
2660	PJ-06	石鏝	黒曜石	-				1.32	未成品。三角形状ができた刃部。素材の厚みが残る。片側欠損。葛湯伏透明黒曜石
2661	PJ-06	石鏝	黒曜石	1/1	22.1	16.9	5.6	2.05	未成品。ズリ面が残る削片素材。三角形状が分る刃部。濃黒曜石
2662	PJ-06	石鏝	珪質頁岩	1/1	20.5	15.5	3.9	0.75	凹基。両面加工。緑灰色チャート
2663	PJ-06 土サ ンプル①	石鏝	黒曜石	1/1	27.8	15.6	3.6	1.02	凹基。縮身。両面加工。透明黒曜石
2664	PJ-06	石鏝	黒曜石	3/4	20.9	(12.3)	4.0	(0.61)	凹基。両面加工。片側欠損。赤褐色掘入り黒曜石
2665	PJ-06	石鏝	黒曜石	1/1	15.1	12.1	2.7	0.31	凹基。両面加工。先端欠損。葛湯伏透明黒曜石
2666	PJ-06 土サ ンプル①	石鏝	黒曜石	1/2	21.0	9.0	3.0	0.60	有基。先端と基部欠損。石鏝から石鏝に変更か。葛湯伏半透明黒曜石
2667	PJ-06	石鏝	黒曜石	3/4	-	12.3	4.3	(0.57)	凹基。両面加工。先端欠損。葛湯伏透明黒曜石
4865	PJ-06	剥離のある削片	黒曜石	1/1				7.80	厚石面が残る削片の外実する1辺に物小剥離。
7464	10-6836	磨石類	安山岩類	1/1	73.0	89.0	49.0	393	おにぎりのような形状の磨石。広い1面に局所的な摩耗。被熱し、赤く変色。ガジリあり。
7465	10-6836	円鏝	安山岩類	1/1				317	使用痕はみられない。多孔質安山岩
7466	10-6835	石皿	安山岩類	破片	(81.0)	(185.0)	(89.0)	1288	D0050出土の石皿11046と検出。基部が磨耗。底面もやや摩耗。被熱し、変色。多孔質安山岩

PJ-086 号住居 石器観察表

整理番号	注記	器種	石材種	残存度	現存長 (mm)	現存幅 (mm)	現存厚 (mm)	重量 (g)	観察所見
7467	10-6799	磨石類	砂岩類	1/2	98.0	78.0	51.0	378	楕円形。使用痕は不明確。被蝕し変色。割れ。細粒。緻密な砂岩
7468	10-6866	ハンマー	緑色岩類	3/4	118.0	51.0	37.0	357	棒状重円錐。長軸端部が削打による割れと流れ。反対側端面に削打の流れ
7477	10-6790	磨石類	安山岩類	1/1	110.0	82.0	43.0	495	楕円形。広い2面に摩耗。片面に射打集中の凹み。側面2面と長軸端部1面に射打痕。多孔質安山岩
7478	10-6977	磨石類	安山岩類	1/1	70.0	82.0	42.0	543	楕円形。広い2面に摩耗とまばらな射打痕。側面と長軸端部にも射打痕。多孔質安山岩
7480	10-6979	打製石片	緑色岩	1/1	146.0	41.0	12.0	144.60	緑色岩重円錐削片の縁辺を両端打製により調整。調整式様の石割か
7482	10-6805	磨石類	花崗岩類	3/4	91.0	79.0	44.0	389	不整形楕円形。広い1面に摩耗。
10648	PJ-86	磨石類	安山岩類	1/1	61.0	53.0	36.0	138	小さな楕円形。広い2面がやや摩耗
10649	PJ-86 25	磨石類	安山岩類	1/1	101.0	81.0	57.0	572	PJ-86中央の床面出土。広い1面に摩耗。射打痕
10650	PJ-86 23	磨石類	砂岩類	1/1	103.0	75.0	45.0	414	PJ-86南壁に近い床面出土。扁平楕円形。広い2面に摩耗。射打集中の凹みが長軸方向に凸ぶ。側面と端部にも割れ。安山岩質のやや粗粒な砂岩
10651	PJ-86 11	磨石類	砂岩類	1/1	71.0	129.0	38.0	503	PJ-86埋土出土。扁平楕円形。狭い1面に射打痕。細粒。緻密な砂岩
10652	PJ-86 2	磨石類	安山岩類	1/1	130.0	61.0	43.0	350	PJ-86埋土出土。不整形楕円形。広い1面に強い摩耗。多孔質安山岩
10653	PJ-86 1	ハンマー	砂岩類	1/1	106.0	51.0	33.0	259	PJ-86埋土出土。扁平重円錐。平坦な2面に点状の鋭い射打痕。細粒。緻密な砂岩
10654	PJ-86	磨石類	安山岩類	1/1	67.0	73.0	33.0	398	扁平重円錐。広く平坦な1面と側面2面が摩耗。
10655	PJ-86 21	磨石類	砂岩類	1/1	86.0	72.0	60.0	510	PJ-86床面出土。重円錐。広く平坦な1面が摩耗。器面が風化。花崗岩質砂岩
10657	PJ-86 22	ハンマー	砂岩類	1/2	96.0	38.0	28.0	131	PJ-86床面出土。棒状重円錐の長軸端部に射打痕。細粒緻密な砂岩
10658	PJ-86 3	棒状類	頁岩類	1/2	149.0	58.0	33.0	292	PJ-86埋土出土。棒状重円錐。器端面で折損。黄色く風化。ハンマー破片か
10659	PJ-86 20	磨石類	安山岩類	3/4	104.0	93.0	48.0	680	PJ-86床面出土。扁平重円錐。広い1面が摩耗。射打痕。1側面に粒磨石状。
10660	PJ-86 27	石皿	安山岩類	破片	108.0	83.0	98.0	1,064	PJ-86西壁に近い床面出土。底部破片。皿部はやや摩耗。底面は平坦で磨石に摩耗。
10661	PJ-86	ハンマー	砂岩類					223	断面四角形の棒状重円錐。折損。鋭い端状。点状射打痕。硬砂岩
10662	PJ-86	磨石類	閃緑岩	1/2				431	棒状重円錐。広い3面と後面3面から構成される。広い面は摩耗。後面は粒磨石状。細粒。緻密な岩質
10663	PJ-86B	石皿	安山岩類	破片	109.0	120.0	75.0	714	皿部がわずかに残る破片。残存部は使用痕なし。多孔質安山岩
10664	PJ-86B	磨石類	安山岩類	1/1	53.0	46.0	27.0	83	PJ-86埋土出土。小さな楕円形。平坦な2面がやや摩耗。多孔質安山岩
10665	PJ-86B	円錐	頁岩類	1/1	51.0	32.0	25.0	56	PJ-86埋土出土。小さな重円錐。全体がなめらかに摩耗。端にわずかな縁破
10666	PJ-86B	ハンマー	砂岩交互	1/1	110.0	49.0	36.0	252	PJ-86埋土出土。棒状重円錐。長軸端部に割れ
10667	PJ-86B	ハンマー	砂岩類	-				46	PJ-86埋土出土。扁平重円錐。長軸端部に射打痕。細粒。緻密な砂岩
10668	PJ-86C	磨石類	安山岩類	1/1	66.0	56.0	44.0	171	PJ-86C埋土出土。楕円形。広い2面に射打集中の凹み2箇所ずつ。
10669	PJ-86C	磨石類	安山岩類	1/1	75.0	69.0	32.0	192	PJ-86C埋土出土。扁平重円錐。広く平坦な1面に射打集中の凹み。端部に割れ。多孔質安山岩
10670	PJ-86C	球状耳飾	滑石	1/2	24.0	12.0	5.0	2	PJ-86C埋土出土。中心孔部内面に線条痕。乳白色の滑石
10671	PJ-86C	ハンマー	砂岩類	3/4	92.0	35.0	34.0	160	PJ-86C埋土出土。棒状重円錐。長軸端部に射打による平坦面。細粒砂岩
10672	PJ-86C	磨石類	花崗岩類	1/1	102.0	98.0	61.0	886	PJ-86C埋土出土。平坦な1面に摩耗。硬質。緻密な花崗岩
10673	PJ-86C	ハンマー	砂岩類	1/1	106.0	69.0	30.0	287	PJ-86C埋土出土。扁平重円錐。すばまった端部に射打痕。細粒。緻密な砂岩
10674	PJ-86C	磨石類	砂岩類	破片				50	PJ-86C埋土出土。棒状。扁平な重円錐。平坦な面が摩耗。硬砂岩